

令和 6 年度

主要施策成果報告書

碧 南 市

令和6年度決算に係る主要施策の成果について

令和6年度碧南市の一般会計及び特別会計の決算を議会の認定に付するにあたり、地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定により提出する。

令和7年9月3日提出

碧南市長 小 池 友 妃 子

目 次

○主要な財政指標等（普通会計）	3
地方消費税交付金（社会保障財源分）、森林環境譲与税の充当状況	7
収入未済額一覧	1 2
第6次総合計画 実施計画掲載事業一覧表	1 5
第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況	1 8
○一般会計	2 3
歳入	2 7
歳出	6 3
1 款 議会費	6 5
2 款 総務費	6 9
3 款 民生費	1 2 2
4 款 衛生費	1 7 7
5 款 労働費	2 0 5
6 款 農林水産業費	2 1 2
7 款 商工費	2 3 6
8 款 土木費	2 4 8
9 款 消防費	2 7 5
1 0 款 教育費	2 8 3
1 1 款 災害復旧費	3 7 3
1 2 款 公債費	3 7 4
1 3 款 予備費	3 7 5
一般会計人件費款別支出状況	3 7 6
給与費支出内訳（特別会計を含む）	3 7 7
会計年度任用職員支出内訳（特別会計を含む）	3 8 5
繰越明許費事業決算額（特別会計を含む）	3 8 6
物価高騰対策関連経費（特別会計を含む）	3 9 0
建設工事の概況（特別会計を含む）	3 9 2
物品購入の概況（特別会計を含む）	3 9 8
○特別会計	3 9 9
国民健康保険特別会計	4 0 0
訪問看護事業特別会計	4 1 5
介護保険特別会計（保険事業勘定）	4 1 8
介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	4 4 4
後期高齢者医療保険特別会計	4 4 9

主要な財政指標等

※この資料の計数は、単純計算をしておりますので、端数が整合しない場合がありますことをご承知ください。

なお、数値の直前の△は減額を表します。

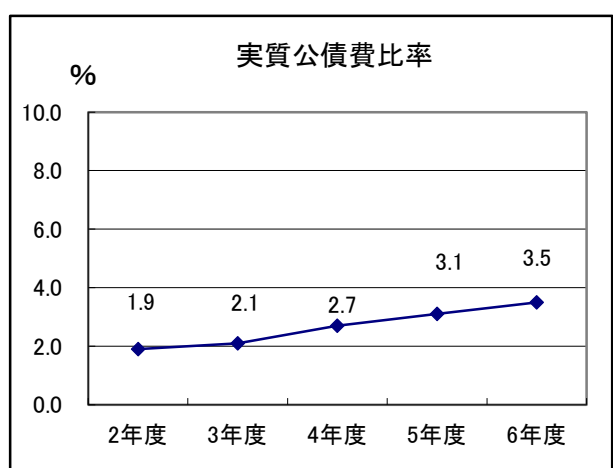
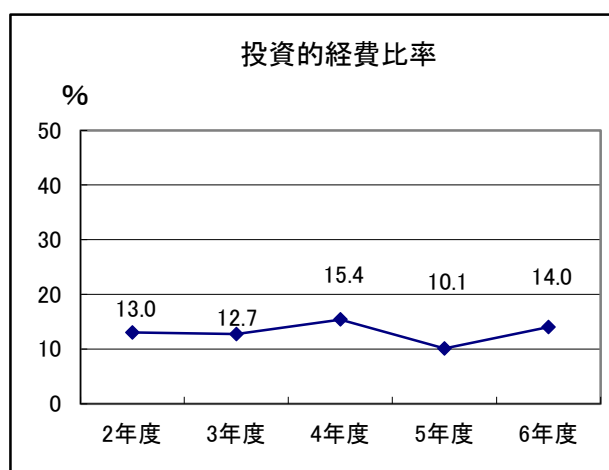
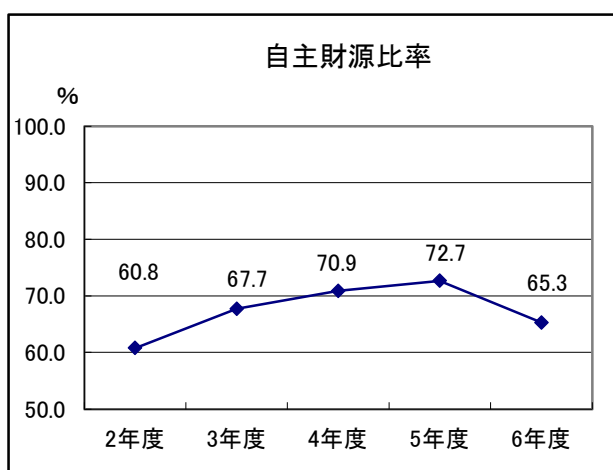
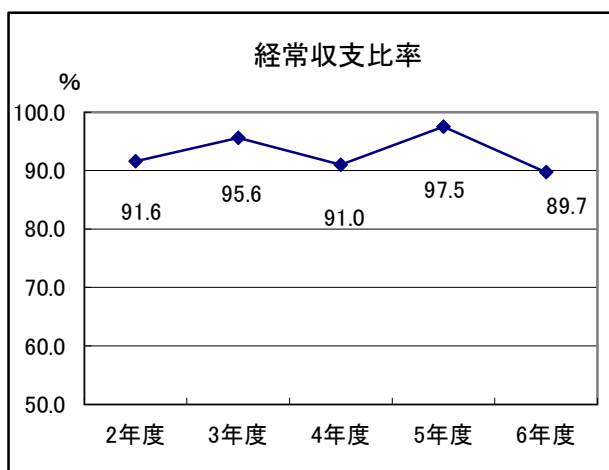
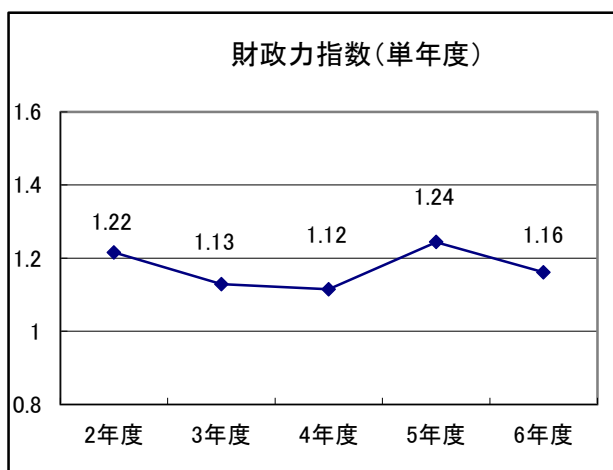
普通會計
(單位：千元，%)

4

主 要 な 財 政 指 標 等

普通会計
(単位：千円，％)

財政指標等	説 明	令和 6 年度	令和 5 年度
一般財源比率	一般財源比率＝一般財源※／歳入総額×100 大きくなることが望ましい ※ 一般財源に含まれるもの 地方税、市町村交付金・納付金、地方譲与税、地方交付税、交通安全対策特別交付金、利子割交付金、地方消費税交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、特別交付金、一般寄附金、繰入金（財政調整基金分）、繰越金、普通財産の売却による財産収入	一般財源比率	
		77.3	79.0
		一般財源	
		28,591,984	27,806,077
自主財源比率	自主財源比率＝自主財源※／歳入総額×100 地方公共団体が自主的に収入しうる財源で、自主財源比率が高いことは行政活動の自主性と安定性が確保できる。 ※ 自主財源に含まれるもの 地方税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入	自主財源比率	
		65.3	72.7
		自主財源	
		24,146,788	25,585,647
経常収支比率	経常収支比率＝経常経費充当一般財源額／（経常一般財源収入額＋減税補てん債発行予定額＋臨時財政対策債発行予定額）×100 財政構造の弾力性を測定するもので、70～80%の間で分布するのが通常で80%を著しく超えると財政の硬直化が進んでいるといわれている。 経常一般財源収入額とは、毎年定例的に収入されかつその用途になんら制約のない収入額で、一般にその範囲は、普通税、地方譲与税、普通交付税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、交通安全対策特別交付金、市町村交付金・納付金、地方消費税交付金並びに経常的に収入される使用料、手数料、財産収入及び諸収入のうち使途の特定されていないもの。	89.7	97.5
実質収支比率	実質収支比率＝実質収支※1／標準財政規模×100 黒字の場合は正数、赤字の場合は負数で表される。 ※1 実質収支＝形式収支※2－翌年度へ繰越すべき財源 ※2 形式収支＝歳入決算額－歳出決算額	実質収支比率	
		10.9	8.4
		実質収支	
		2,124,372	1,711,265
投資的経費比率	投資的経費比率＝（普通建設事業費＋災害復旧費＋失業対策事業費）／標準財政規模 投資的経費（普通建設事業費＋災害復旧費＋失業対策事業費）は、消費的経費に対するもので、財政の弾力性の指数でもあり、行政施設水準の向上に直接投資する経費で国民経済上の需要創設効果、雇用効果などの諸点できわめて重要な意味をもつ。	14.0	10.1



地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障施策に要する経費

（歳入）

地方消費税交付金（社会保障財源化分） 1,056,554 千円

（歳出）

（単位：千円）

社会保障施策	事業費	財源内訳		
		特定財源	一般財源	うち、引上げ分の 地方消費税交付金 充当額
社会福祉	7,863,862	4,633,300	3,230,562	415,992
障害者福祉事業	2,506,948	1,633,601	873,347	112,459
高齢者福祉事業	226,867	22,366	204,501	26,333
児童福祉事業	3,992,151	2,519,839	1,472,312	189,586
母子福祉事業	26,175	4,566	21,609	2,783
生活保護扶助事業	520,889	409,958	110,931	14,284
その他	590,832	42,970	547,862	70,547
社会保険	1,519,967	250,450	1,269,517	163,473
介護保険への繰出	820,924	30,436	790,488	101,789
国民健康保険への繰出	695,915	220,014	475,901	61,281
その他	3,128	0	3,128	403
保健衛生	4,061,334	356,300	3,705,034	477,088
高齢者医療事業	1,080,738	120,854	959,884	123,601
病院事業への繰出	1,746,530	0	1,746,530	224,897
疾病予防事業	752,595	102,003	650,592	83,775
その他	481,471	133,443	348,028	44,815
合 計	13,445,163	5,240,050	8,205,113	1,056,554

※引上げ分の地方消費税交付金充当額は各施策経費の一般財源額から按分して算出しております。

森林環境譲与税が充てられる経費

（歳入）

森林環境譲与税 8,124 千円

（歳出）

【事業１】 病院事業会計出資事業 8,472 千円

【事業内容】 碧南市民病院の待合室等に使用する木製の机、椅子を購入した。

【事業２】 中学校管理用備品整備事業 3,762 千円

【事業内容】 地産材を利用して中学校で使用する机を整備した。

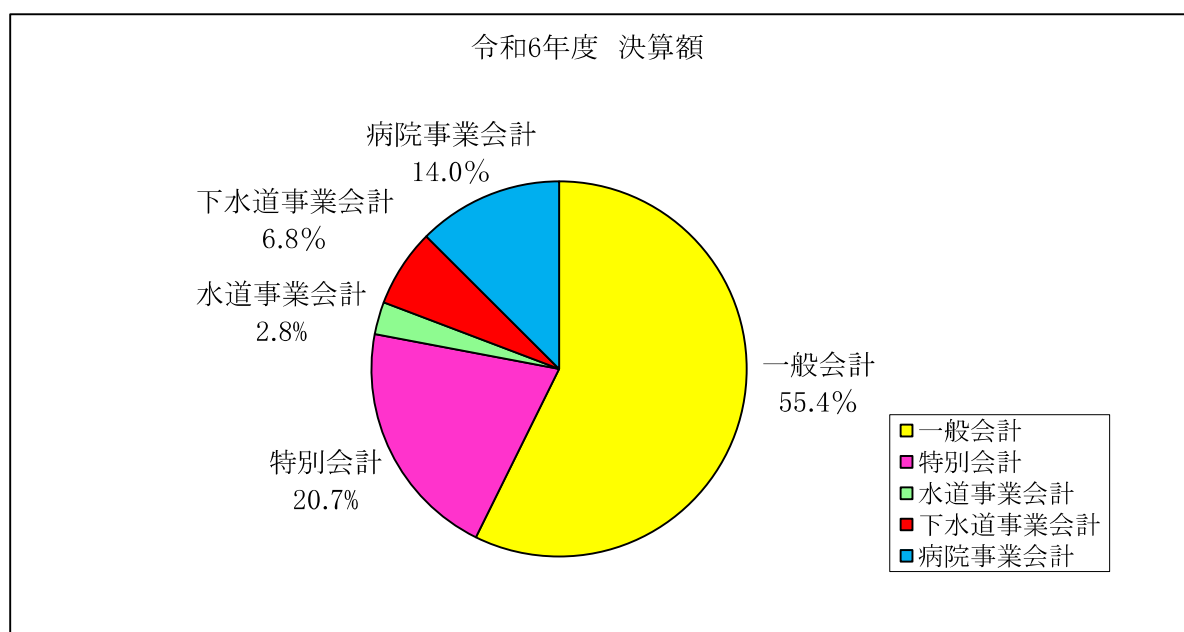
（総括）

【総事業費】 12,234千円（うち譲与税8,124千円）

【実 績】 碧南市民病院で使用する机及び椅子の購入 机 9 台
椅子 3 2 脚
机（中学校 5 校へ各 1 8 台） 9 0 台

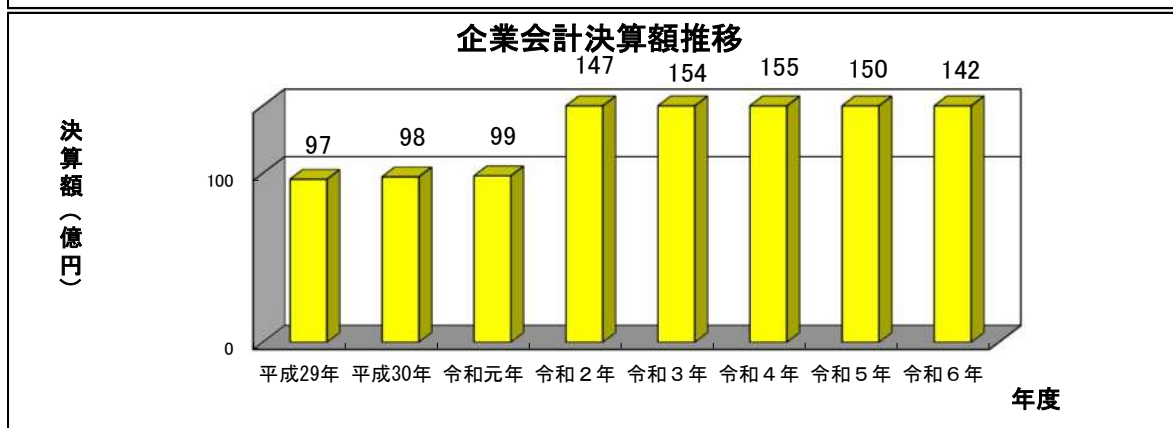
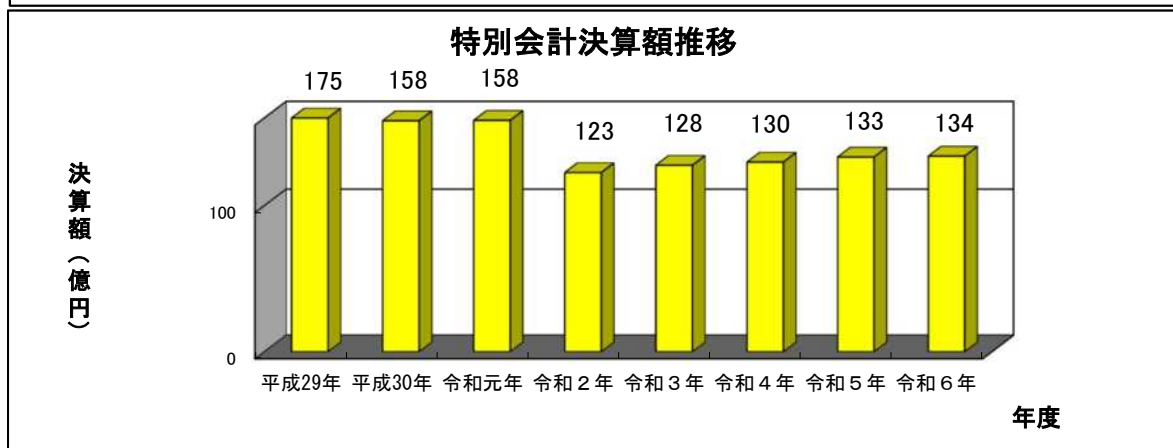
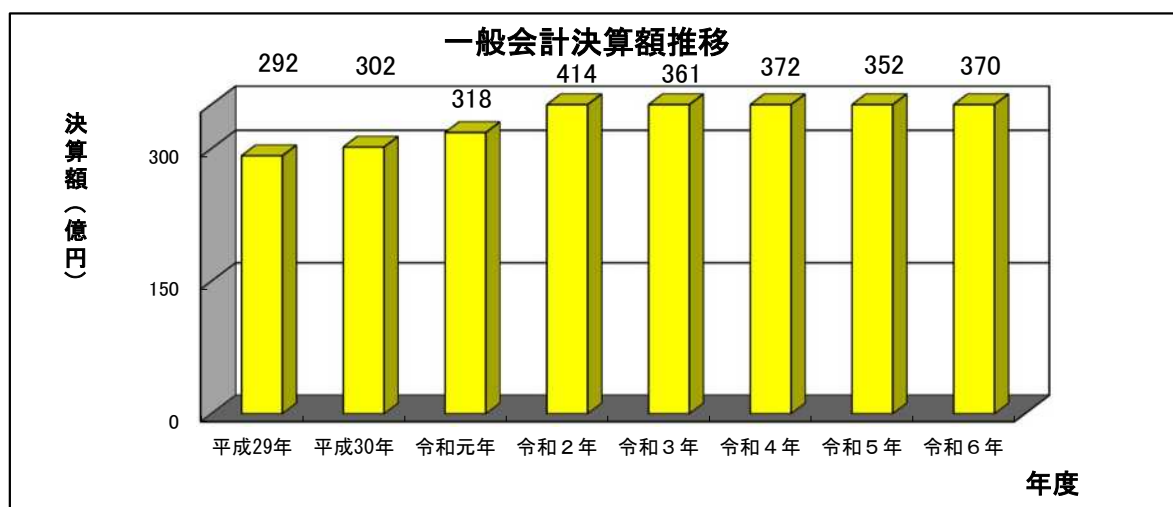
令和6年度 碧南市 決算（歳入）総括表

会 計 名	令和6年度 決算額	令和5年度 決算額	比 較	伸 率
	円	円	円	%
一般会計	37,006,140,731	35,212,234,651	1,793,906,080	5.1
特別会計	13,391,175,580	13,328,990,536	62,185,044	0.5
国民健康保険	6,377,356,740	6,510,065,381	△ 132,708,641	△ 2.0
訪問看護事業	120,826,221	131,752,972	△ 10,926,751	△ 8.3
介護保険	5,666,641,964	5,625,868,493	40,773,471	0.7
保険事業勘定	5,583,732,812	5,545,499,449	38,233,363	0.7
介護サービス事業勘定	82,909,152	80,369,044	2,540,108	3.2
後期高齢者医療保険事業	1,226,350,655	1,061,303,690	165,046,965	15.6
企業会計	14,215,102,891	14,958,551,927	△ 743,449,036	△ 5.0
水道事業会計	1,811,291,355	1,746,480,312	64,811,043	3.7
(収益的 収入)	1,535,083,094	1,518,397,490	16,685,604	1.1
(資本的 収入)	276,208,261	228,082,822	48,125,439	21.1
下水道事業会計	4,336,856,004	4,335,898,524	957,480	0.0
(収益的 収入)	2,742,940,864	2,885,411,092	△ 142,470,228	△ 4.9
(資本的 収入)	1,593,915,140	1,450,487,432	143,427,708	9.9
病院事業会計	8,066,955,532	8,876,173,091	△ 809,217,559	△ 9.1
(収益的 収入)	7,116,156,532	7,419,459,091	△ 303,302,559	△ 4.1
(資本的 収入)	950,799,000	1,456,714,000	△ 505,915,000	△ 34.7
総 合 計	64,612,419,202	63,499,777,114	1,112,642,088	1.8



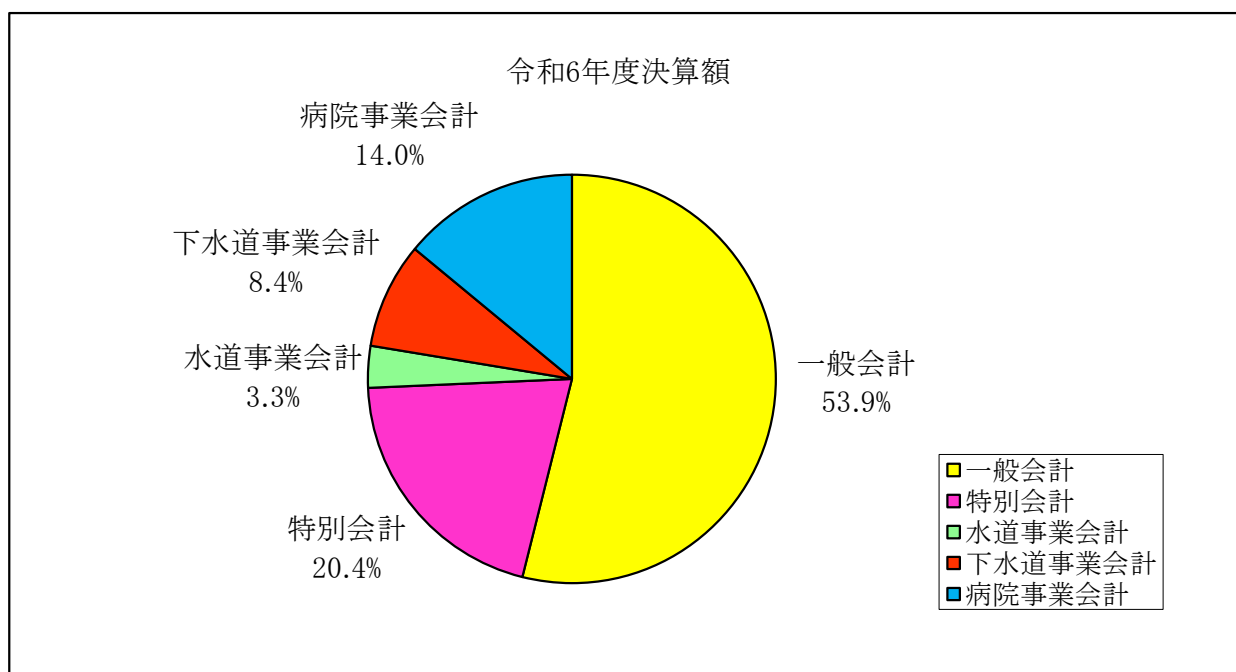
会計別決算額（歳入）の推移

年 度	一般会計決算額		特別会計決算額		企業会計決算額	
		伸率		伸率		伸率
	円	%	円	%	円	%
平成29年	29,211,821,973	△ 2.8	17,451,569,874	4.2	9,653,030,274	△ 9.8
平成30年	30,197,713,416	3.4	15,813,302,945	△ 9.4	9,799,083,514	1.5
令和元年	31,837,797,371	5.4	15,838,714,132	0.2	9,856,930,457	0.6
令和2年	41,390,498,981	30.0	12,266,357,863	△ 22.6	14,679,829,361	48.9
令和3年	36,138,811,462	△ 12.7	12,764,446,831	4.1	15,350,820,370	4.6
令和4年	37,214,717,491	3.0	12,980,587,972	1.7	15,455,378,824	0.7
令和5年	35,212,234,651	△ 5.4	13,328,990,536	2.7	14,958,551,927	△ 3.2
令和6年	37,006,140,731	5.1	13,391,175,580	0.5	14,215,102,891	△ 5.0



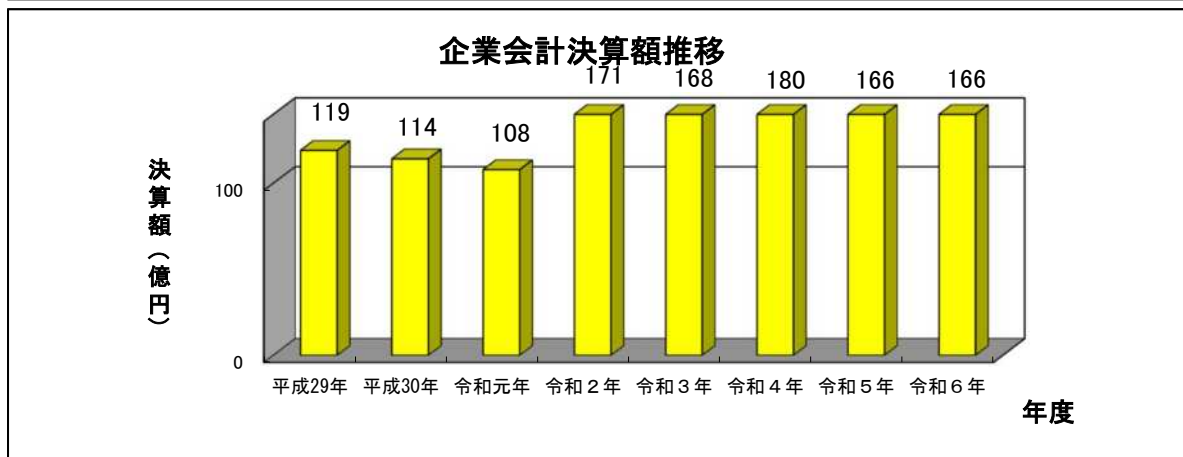
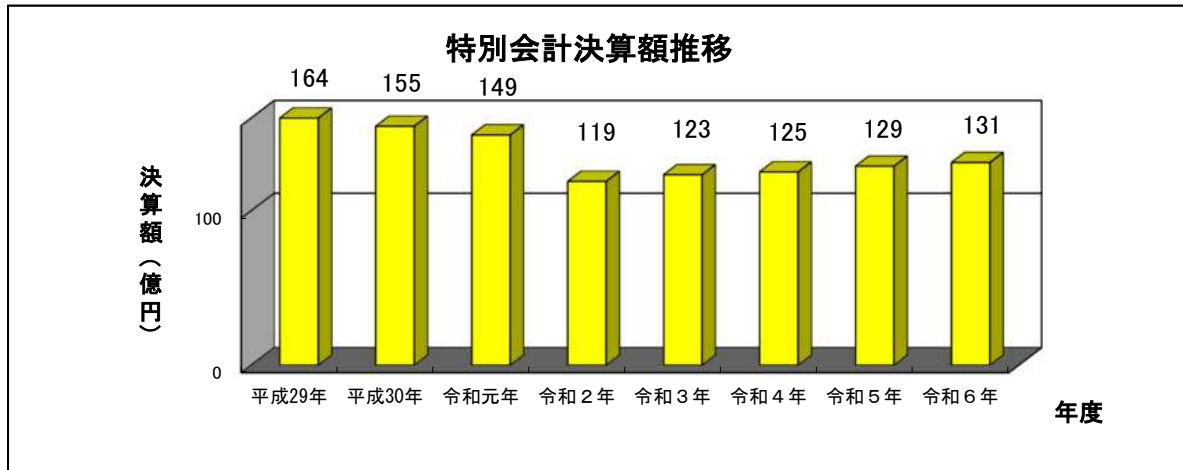
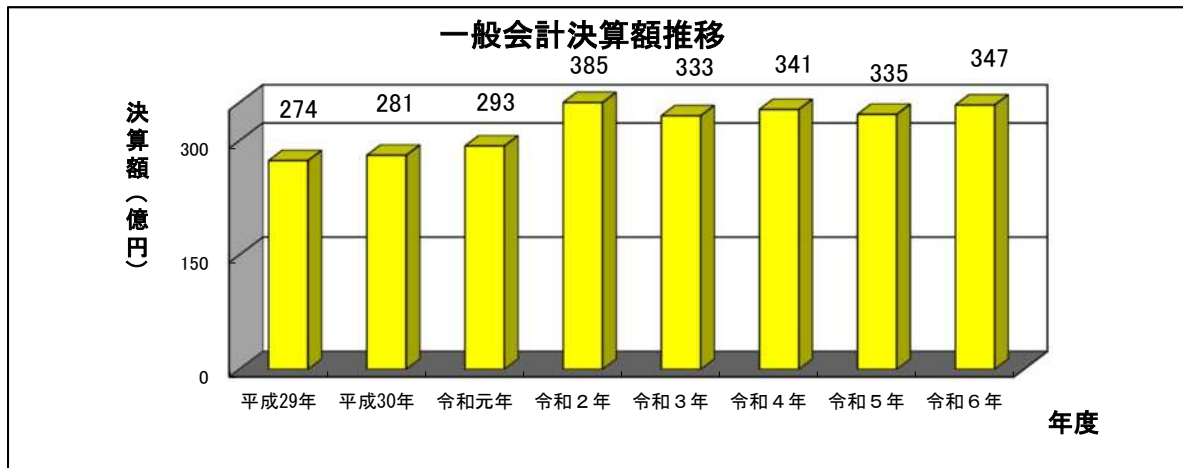
令和6年度 碧南市 決算（歳出）総括表

会 計 名	令和6年度 決算額	令和5年度 決算額	比 較	伸 率
	円	円	円	%
一般会計	34,680,407,531	33,455,800,534	1,224,606,997	3.7
特別会計	13,123,826,750	12,886,604,669	237,222,081	1.8
国民健康保険	6,312,777,566	6,470,132,539	△ 157,354,973	△ 2.4
訪問看護事業	61,778,492	54,531,439	7,247,053	13.3
介護保険	5,524,988,577	5,308,654,501	216,334,076	4.1
保険事業勘定	5,471,544,606	5,257,206,423	214,338,183	4.1
介護サービス事業勘定	53,443,971	51,448,078	1,995,893	3.9
後期高齢者医療保険事業	1,224,282,115	1,053,286,190	170,995,925	16.2
企業会計	16,585,850,316	16,587,992,677	△ 2,142,361	△ 0.0
水道事業会計	2,142,597,051	2,032,997,589	109,599,462	5.4
(収益的 支出)	1,455,580,691	1,437,916,832	17,663,859	1.2
(資本的 支出)	687,016,360	595,080,757	91,935,603	15.4
下水道事業会計	5,409,443,968	5,494,666,916	△ 85,222,948	△ 1.6
(収益的 支出)	2,581,013,238	2,537,875,172	43,138,066	1.7
(資本的 支出)	2,828,430,730	2,956,791,744	△ 128,361,014	△ 4.3
病院事業会計	9,033,809,297	9,060,328,172	△ 26,518,875	△ 0.3
(収益的 支出)	8,369,856,699	7,927,756,602	442,100,097	5.6
(資本的 支出)	663,952,598	1,132,571,570	△ 468,618,972	△ 41.4
総 合 計	64,390,084,597	62,930,397,880	1,459,686,717	2.3



会計別決算額（歳出）の推移

年 度	一般会計決算額		特別会計決算額		企業会計決算額	
		伸率		伸率		伸率
	円	%	円	%	円	%
平成29年	27,373,244,230	△ 2.8	16,402,567,472	5.3	11,906,695,144	6.3
平成30年	28,078,924,407	2.6	15,472,245,516	△ 5.7	11,418,216,665	△ 4.1
令和元年	29,299,408,615	4.3	14,907,689,625	△ 3.6	10,790,806,790	△ 5.5
令和2年	38,539,820,118	31.5	11,902,847,649	△ 20.2	17,078,428,388	58.3
令和3年	33,269,887,867	△ 13.7	12,332,242,086	3.6	16,786,690,264	△ 1.7
令和4年	34,102,371,998	2.5	12,513,299,858	1.5	18,031,912,296	7.4
令和5年	33,455,800,534	△ 1.9	12,886,604,669	3.0	16,587,992,677	△ 8.0
令和6年	34,680,407,531	3.7	13,123,826,750	1.8	16,585,850,316	△ 0.0



令和6年度収入未済額一覧(一般会計及び企業会計を除く特別会計)

単位:円

徴収科目名			6年度								
		会計区分	款 項 目 節				調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納未済件数
市税(注1)	(現年分)	一般会計	次項詳細				19,027,790,290	18,953,436,354	273,733	74,080,203	3,242件
	(滞繰分)						137,517,208	68,288,305	9,260,444	59,968,459	3,335件
保育園保育料	(現年分)		12	1	1	1	72,450,100	72,389,510	0	60,590	14件
	(滞繰分)		12	1	1	1	874,340	1,410	232,600	640,330	55件
保育園使用料	(現年分)		13	1	2	1	23,420,020	23,395,800	0	24,220	12件
	(滞繰分)		13	1	2	1	351,060	160,000	9,000	182,060	12件
道路・水路占用料	(現年分)		13	1	7	1	32,585,024	32,551,721	0	33,303	2件
	(滞繰分)		13	1	7	1	0	0	0	0	-
公営住宅使用料	(現年分)		13	1	7	5	102,395,600	101,521,300	0	874,300	25件
	(滞繰分)		13	1	7	5	2,167,300	333,400	0	1,833,900	75件
物価高騰対応重点支援地方創 生臨時交付金	(現年分)		14	2	2	45	175,413,105	137,283,105	0	38,130,000	1件
	(滞繰分)		14	2	2	45	0	0	0	0	-
長田橋橋梁改修事業費	(現年分)		14	2	4	2	40,685,000	27,375,000	0	13,310,000	1件
	(滞繰分)		14	2	4	2	0	0	0	0	-
無電柱化推進計画補助金	(現年分)		14	2	5	3	61,050,000	17,600,000	0	43,450,000	1件
	(滞繰分)		14	2	5	3	0	0	0	0	-
高額療養費返納金	(現年分)		20	4	2	1	91,388,557	91,246,553	0	142,004	3件
	(滞繰分)		20	4	2	1	329,745	176,772	0	152,973	1件
福祉医療費返納金	(現年分)		20	4	2	2	379,742	354,161	0	25,581	2件
	(滞繰分)		20	4	2	2	200,080	37,356	28,033	134,691	11件
学校給食費	(現年分)		20	4	2	3	302,830,144	302,557,864	0	272,280	68件
	(滞繰分)		20	4	2	3	5,395,348	119,097	0	5,276,251	1,460件
老人ホーム措置費徴収金	(現年分)		20	4	2	5	12,479,060	9,617,640	0	2,861,420	128件
	(滞繰分)		20	4	2	5	0	0	0	0	-
児童扶養手当返納金	(現年分)		20	4	2	5	0	0	0	0	-
	(滞繰分)		20	4	2	5	528,435	130,675	0	397,760	5件
児童手当返納金	(現年分)		20	4	2	5	0	0	0	0	-
	(滞繰分)		20	4	2	5	10,000	0	0	10,000	1件
保育園給食代	(現年分)		20	4	2	5	18,758,035	18,742,705	0	15,330	3件
	(滞繰分)		20	4	2	5	88,835	11,440	0	77,395	17件
生活保護費返還金	(現年分)		20	4	2	5	9,624,615	7,932,024	0	1,692,591	28件
	(滞繰分)		20	4	2	5	33,134,219	1,820,147	3,182,501	28,131,571	69件
市営住宅退去者 補修負担金等	(現年分)		20	4	2	10	2,917,135	2,418,339	0	498,796	3件
	(滞繰分)		20	4	2	10	1,175,043	10,000	0	1,165,043	6件
国民健康保険税	(現年分)	国民健康保険 特別会計	次項詳細				1,504,509,900	1,448,962,024	123,600	55,424,276	2,602件
	(滞繰分)						101,170,071	48,583,574	4,989,330	47,597,167	2,753件
不当利得返納金	(現年分)		7	3	2	1	2,845,906	2,755,984	0	89,922	12件
	(滞繰分)		7	3	2	1	395,397	218,603	53,102	123,692	21件
介護保険料	(現年分)	介護保険特別会計 (保険事業勘定)	1	1	1	2	94,206,266	88,552,516	0	5,653,750	433件
	(滞繰分)		1	1	1	3	6,792,205	1,786,513	1,203,005	3,802,687	356件
後期高齢者医療保険料	(現年分)	後期高齢者医療 保険特別会計	1	1	2	1	487,755,000	485,721,900	0	2,033,100	92件
	(滞繰分)		1	1	2	2	2,031,480	1,123,420	112,000	796,060	21件

※収納未済件数については納期限毎の件数とする。注1)固定資産税交付金、軽自動車税環境性能割、市たばこ税、国保税を除く。

令和6年度収入未済額(市税分内訳)

単位:円

徴収科目名		6年度									
		会計区分	款	項	目	節	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納未済件数
個人市民税	(現年分)	一般会計	1	1	1	1	4,560,682,490	4,520,932,011	76,133	39,674,346	2,235件
	(滞繰分)		1	1	1	2	102,637,620	44,268,184	8,441,448	49,927,988	2,662件
法人市民税	(現年分)		1	1	2	1	4,110,893,700	4,109,476,500	45,800	1,371,400	16件
	(滞繰分)		1	1	2	2	1,487,345	618,074	145,126	724,145	12件
固定資産税	(現年分)		1	2	1	1	8,959,604,800	8,931,574,669	134,176	27,895,955	759件
	(滞繰分)		1	2	1	2	25,177,184	19,458,906	175,164	5,543,114	256件
軽自動車税 (種別割)	(現年分)		1	3	2	1	219,941,700	218,466,779	0	1,474,921	232件
	(滞繰分)		1	3	2	2	4,904,820	1,384,729	475,659	3,044,432	405件
都市計画税	(現年分)		1	5	1	1	1,176,667,600	1,172,986,395	17,624	3,663,581	-
	(滞繰分)		1	5	1	2	3,310,239	2,558,412	23,047	728,780	-
市税 (注1)	現年課税分						19,027,790,290	18,953,436,354	273,733	74,080,203	3,242件
	滞納繰越分						137,517,208	68,288,305	9,260,444	59,968,459	3,335件
国保・ 一般被保険者	医療給付費 現年分	国民健康 保険特別 会計	1	1	1	1	1,009,204,117	972,758,214	73,800	36,372,103	-
	後期支援金 現年分		1	1	1	2	370,373,592	356,774,719	27,000	13,571,873	-
	介護納付金 現年分		1	1	1	3	124,932,191	119,429,091	22,800	5,480,300	-
	医療給付費 滞繰分		1	1	1	4	68,346,665	32,696,951	3,462,771	32,186,943	-
	後期支援金 滞繰分		1	1	1	5	23,586,877	11,296,420	1,187,599	11,102,858	-
	介護納付金 滞繰分		1	1	1	6	9,236,529	4,590,203	338,960	4,307,366	-
国保 ・退職被保険者	医療給付費 現年分		1	2	1	1	0	0	0	0	-
	後期支援金 現年分		1	2	1	2	0	0	0	0	-
	介護納付金 現年分		1	2	1	3	0	0	0	0	-
国保税	現年課税分						1,504,509,900	1,448,962,024	123,600	55,424,276	2,602件
	滞納繰越分						101,170,071	48,583,574	4,989,330	47,597,167	2,753件

※収納未済件数については納期限毎の件数とする。注1) 固定資産税交付金、軽自動車税環境性能割、市たばこ税、国保税を除く。

令和6年度収入未済額一覧（企業会計）

単位:円

徴収科目名	6年度					
	会計区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納未済件数
水道料金	水道事業 会計	1,298,188,015	1,187,310,033	295,296	110,582,686	16,639件
内今年度分		1,223,844,540	1,114,537,498	0	109,307,042	16,070件
内過年度分		74,343,475	72,772,535	295,296	1,275,644	569件
工事負担金		162,165,818	0	0	162,165,818	3件
出資金		4,023,862	4,023,862	0	0	0件
上記以外		219,764,834	206,038,664	0	13,726,170	8件
下水道使用料	下水道 事業会計	688,378,871	630,600,184	136,204	57,642,483	13,543件
内今年度分		630,784,491	574,235,848	0	56,548,643	12,972件
内過年度分		57,594,380	56,364,336	136,204	1,093,840	571件
上記以外		3,335,141,695	3,171,596,624	0	163,545,071	7件
診療費患者負担額	病院事業 会計	813,846,954	766,311,882	2,570,723	44,964,349	4,028件
内今年度分		764,911,334	733,178,228	45,960	31,687,146	3,380件
内過年度分		48,935,620	33,133,654	2,524,763	13,277,203	648件
上記以外		10,042,447,913	9,101,704,737	0	940,743,176	34件

※収入未済額の合計は、各事業会計決算における貸借対照表の未収金、破産更生債権等の合計金額と一致します。

※水道料金は、碧南市水道事業給水条例第31条の料金を含んでいます。

第6次総合計画 実施計画掲載事業一覧表

※該当ページの事業名ではなく、事業の詳細に記載されているものもあります。

事業名	決算額（円）	ページ
施策分野1 安心安全で住みやすいまち		
基本施策① 防災対策		
企業防災力向上研修支援補助事業	4,800,000	276
災害備蓄品整備事業	25,081,083	280
基本施策② 防犯・交通安全		
防犯カメラ設置促進事業	4,935,000	103
基本施策④ 公園・緑地		
公園施設長寿命化対策事業	39,193,000	268
街区公園等整備事業	43,384,100	268
明石公園整備事業	28,497,700	270
基本施策⑤ 環境・ごみ・エネルギー		
スマートハウス設備設置費補助事業	27,880,000	196
次世代自動車購入費補助事業	4,300,000	196
施策分野2 人と文化が育ち・支え合うまち		
基本施策⑥ 就学前教育・子育て支援		
保育総合システム運用事業	1,876,380	
産後ケア事業	1,392,500	190
出産・子育て応援事業	63,452,568	190
不妊治療助成事業	9,252,000	191
基本施策⑦ 学校教育		
少人数指導授業推進事業	24,486,180	291
小中学校ハートフレンド派遣事業	2,190,135	293
日本語教育支援充実事業	14,487,790	294
小学校英語専科事業	7,097,201	294
小学校施設長寿命化事業	332,962,300	297
小学校教育用コンピュータ運営事業	29,758,410	300
小学校GIGAスクール構想推進事業	63,991,940	301
小学校ICT支援員配置事業	8,703,684	301
中学校施設長寿命化事業	22,405,300	303
中学校教育用コンピュータ運営事業	19,990,767	306
中学校GIGAスクール構想推進事業	35,269,121	307
中学校ICT支援員配置事業	4,427,588	307
学校部活動地域移行支援事業（運動部）	9,451,730	357
学校部活動地域移行支援事業（文化部）	2,953,318	357
基本施策⑧ 生涯学習・スポーツ		
棚尾公民館臨時事業（棚尾公民館昇降機改修）	2,814,570	317
南部市民プラザ大規模改修事業	17,877,200	328
碧南緑地ビーチスポーツ推進事業	6,993,424	363
スケートボード大会実施補助事業	200,000	364
スポーツ振興基金積立事業	25,378,877	364
基本施策⑨ 芸術・文化		
歴史系企画展開催事業	3,039,820	321
巡回展開催事業	15,280,727	321
水族館費臨時事業	37,980,379	349
美術館企画展開催事業	39,884,045	350

第6次総合計画 実施計画掲載事業一覧表

※該当ページの事業名ではなく、事業の詳細に記載されているものもあります。

事業名	決算額（円）	ページ
基本施策⑩ 健康・医療		
へきなん健康づくり21プラン推進事業	3,452,649	186
筋トレルーム60運営事業	27,004,631	434
基本施策⑪ 地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉		
高齢者入浴サービス事業	41,906,411	140
高齢者タクシー料金助成事業	1,742,880	141
ICF情報把握・共有システムを使った発達支援普及事業	319,607	159
基本施策⑫ 社会保障(福祉医療・低所得者・保険制度)		
保健事業と介護予防の一体的実施事業	2,707,956	150
元気っ子医療費助成事業	423,721,240	166
地域包括支援センター運営事業	81,651,154	436
施策分野3 都市の発展に向けた活力を生み出すまち		
基本施策⑬ 基盤整備(道路・港湾)		
生活道路整備事業	133,493,536	251
長田橋橋梁改修事業	172,486,700	252
主要道路整備事業	76,432,726	252
矢作川堤防リフレッシュ事業	25,319,900	253
橋梁長寿命化対策事業	180,731,100	255
衣浦みなとまつり花火大会実施事業	3,155,000	257
港湾施設老朽化対策事業	21,270,920	257
(都) 碧南駅前線整備事業	323,327,318	263
基本施策⑭ 市街地整備・景観・住宅		
狭あい道路整備促進事業	49,777,175	253
鴻島地区土地区画整理事業	18,348,000	262
住宅耐震化等促進事業	10,528,000	271
空家等対策事業	6,350,082	271
新築住宅建設等促進補助事業	14,012,100	272
三世代住宅建設等促進事業	2,700,000	272
市営住宅長寿命化事業	82,186,500	273
基本施策⑮ 農業・水産業		
農業経営改善支援事業	1,661,000	216
農産物ブランド化推進事業	1,223,000	219
農業振興地域整備計画定期変更事業	5,896,000	220
土地改良施設維持管理適正化事業	53,002,883	231
県営排水施設保全対策事業	20,999,979	232
県営川口揚水機場更新事業	34,293,985	232
農地等多面的機能促進事業	30,751,000	233
碧南用水上部整備事業	47,383,600	233
基本施策⑯ 工業・地場産業		
青少年発明クラブ補助事業	1,850,000	209
中小企業振興対策補助金交付事業	47,930,500	241
中小企業出展料補助事業	5,593,000	241
創業チャレンジ支援事業	10,694,000	242
企業再投資促進補助事業	44,234,000	242
カーボンニュートラル推進支援補助事業	29,923,000	242
北部産業地整備事業	158,482,500	260

第6次総合計画 実施計画掲載事業一覧表

※該当ページの事業名ではなく、事業の詳細に記載されているものもあります。

事業名	決算額（円）	ページ
基本施策⑰ 商業・観光・公共交通		
市内巡回バス運営事業	47,212,847	243
ふれんどバス運行事業	21,179,000	244
大浜地区観光推進事業	1,950,000	246
観光行事開催事業	9,994,200	246
施策分野4 とともに創る自立したまち		
基本施策⑱ 開かれた市政・広報戦略		
ふるさと応援寄附金事業	1,175,220,211	82
シティプロモーション促進事業	41,023,292	82
基本施策⑲ 市民協働・コミュニティ		
市民協働推進事業	797,764	95
元気ッス！へきなん実施事業	11,209,578	96
きらきらウォーク実施補助事業	6,865,692	97
多文化共生推進事業	1,584,000	98
基本施策⑳ 行財政運営		
公共施設等LED照明整備事業	67,558,819	
情報システム標準化対応事業	136,915,900	84
電子図書館運営事業	3,584,303	329

第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況

碧南市人口ビジョンにおける将来目標人口(2060年まで70,000人維持)の実現に向け、令和3年度から令和7年度までの基本目標や重要業績評価指標(KPI)について第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略で定めたが、PDCAサイクルにより施策・事業の効果を検証し、改善を図ることが重要とされているため、各年実績値を取りまとめ、進捗状況として報告する。

※令和7年3月31日現在進捗状況

基本目標1:しごとづくり

本市の特徴でもある製造業を中心とした産業集積を活かし、革新的な技術の創出や成長産業への展開を促進するとともに衣浦港を拠点とした物流機能を強化することで、生産性・利便性の向上を図る。

①中小企業支援

中小企業の経営、創業の事業承継を支援するために、職員による企業訪問や情報発信を強化するほか、商工会議所、金融機関、他の行政機関などと連携した支援体制を強化する。

②農水産業支援

営農・営漁環境の改善により、生産性の向上をめざすとともに、地元産物の知名度向上と地産地消を推進し、農水産業の維持・発展をめざす。

③産業基盤整備

道路・港湾の適切な維持管理と長寿命化により既存ストックの有効活用を図るとともに、新たな道路・港湾施設の整備を促進し、人・モノの交流を支える産業基盤の充実をめざす。

1 数値目標

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標値(R7年度)
就業者数(年間)	32,348人	33,082人	32,495人	32,493人	32,605人	33,600人
設備投資額(年間)	45,029,311 千円	46,593,454 千円	48,130,915 千円	45,801,106 千円	43,365,044 千円	46,000,000 千円

2 重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標値(R7年度)
企業訪問数(年間)	150社	77社	59社	152社	199社	180社
償却資産新規取得補助対象の 総取得価額(年間)	5,957,830 千円	3,887,821 千円	4,112,862 千円	5,666,046 千円	4,333,472 千円	6,200,000 千円
見本市出展に対する支援を行っ た企業が獲得した取引先件数 (年間)	126件	100件	73件	111件	137件	150件
漁業従事者数(漁協組合員数)	208名	197名	189名	185名	179名	208名
認定農業者及び認定新規就農 者数	172経営体	173経営体	170経営体	167経営体	161経営体	172経営体
担い手等への農地集積率	57.8%	68.2%	68.1%	70.2%	71.5%	80.0%

基本目標2:新しい人の流れづくり

本市の地域資源である歴史・文化・伝統や農業、漁業、醸造業などの地場産品に加え、特色のある公共施設などを全国に発信するシティプロモーションを推進し、関係人口や交流人口を増やすことで新たな人の流れをつくる。

①交流人口の増

魅力あるスポーツ、芸術・文化事業や観光事業を展開することで、碧南への交流人口を増やし、地域の活性化を図る。

②駅周辺の利便性向上

駅前広場等の駅周辺の整備を進めることでまちの賑わいを創出するとともに、公共交通の利便性を向上させるなど市民や来客の利便性の向上を図る。

③ふるさと応援寄附金の推進

ふるさと応援寄附金事業をさらに推進することで碧南のファンを増やすとともに、寄附を契機に本市の情報発信や誘客に努める。

1 数値目標

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標値(R7年度)
観光入込客数(年間)	1,908,225人	2,436,997人	2,440,181人	2,393,298人	2,324,866人	2,200,000人
ふるさと応援寄附金件数(年間)	114,730件	246,575件	221,546件	189,425件	161,429件	140,000件

2 重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標値(R7年度)
全国規模スポーツ大会の誘致・開催件数と動員人数(年間)	5件 3,150人	4件 800人	5件 1,371人	5件 1,484人	6件 2,069人	6件 3,950人
市内宿泊者数(年間)	80,000人	13,716人	8,834人	11,412人	12,464人	90,000人
観光協会ホームページの閲覧回数(年間)	83,000回	466,829回	503,278回	481,739回	440,763回	100,000回
くるくるバス利用者数(年間)	120,000人	89,869人	94,664人	105,444人	109,359人	130,000人
ふれんどバス利用者数(年間)	300,000人	247,915人	255,499人	276,002人	281,541人	320,000人
名鉄三河線利用者数(年間)	4,700,000人	3,950,186人	4,185,118人	4,435,856人	4,507,348人	5,000,000人
駅前広場整備箇所数	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	3箇所	3箇所
ふるさと応援寄附金パートナー企業数	78事業者	109事業者	115事業者	107事業者	118事業者	90事業者
ふるさと応援寄附金返礼品目数	400品目	840品目	915品目	843品目	909品目	600品目

基本目標3:結婚・出産・子育て環境づくり

若い世代や女性が輝ける機会の拡大を図るとともに、安心して子どもを産み、育てられる環境をつくることで、移住や定住を促す。

①結婚出産支援

市のイベントなどを通じて若者が集える場を提供することや妊婦・母子が交流できる場を提供することなど、人と人とが集い合い交流できる機会を創出する。

②仕事と家庭の両立支援

子育てにおいては、家族形態や働き方の多様化によるニーズを把握し、効果的な支援を実施し、低年齢児保育・学童保育の充実や待機児童ゼロを維持するとともに、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進に努める。

③学校教育の充実

ICTを活用し、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向かうとともに、少人数指導授業や外国人児童生徒への日本語教育支援など、きめ細やかな指導による確かな学力定着と健全育成を図る。また、学校施設の老朽化対策を進め、安全・良好な教育環境を図る。

④快適な居住環境の整備

狭あい道路や密集市街地の解消を図るとともに、土地区画整理事業などによって良好な住宅地の供給を図る。また、交通安全対策を充実し、地域の安全性を高めるとともに、自然環境の保全、ゴミの減量化など快適で潤いのある環境づくりを進める。

1 数値目標

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標値(R7年度)
女性(20歳から50歳まで)の就業者率(年間)	82.5%	83.4%	83.7%	84.4%	84.8%	85.0%
合計特殊出生率(年間)	1.53(H30)	1.44(R2)	1.38(R3)	1.40(R4)	1.36(R5)	1.65

2 重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標値(R7年度)
赤ちゃんサロンの参加者数	172組 (令和2年度見込)	266組	297組	293組	236組	288組
保育園等待機児童数(年間)	0人	0人	0人	0人	0人	0人
児童クラブ待機児童数(年間)	0人	0人	0人	0人	0人	0人
日本語初期指導教室通室率	73.9%	93.0%	96.0%	91.0%	85.0%	100%
あいち女性の活躍促進宣言実施事業所数	20事業所 (令和2年9月現在)	20事業所	21事業所	43事業所	47事業所	50事業所
碧南市LINE公式アカウントにおける「友だち」の数	—	9,007人	13,570人	16,275人	20,031人	5,000人

基本目標4:元氣あふれる地域づくり

誰もが健康で安心して暮らせる地域づくりのため、日ごろからの地域住民の交流を促進する。また、高齢になっても元気で働き、生きる楽しみや生きがいを感じられるよう、若年からのスポーツや生涯学習活動を支援する。

①まちの担い手づくり

市民が主体となったまちづくりを推進するため、町内会を始めとするコミュニティ団体を支援するとともに、まちづくりの担い手育成を推進する。

②健康寿命の延伸

「人生100年時代」と言われる今日において、65歳を超えても働くことができるよう健康寿命の延伸をはかるため、生活習慣病の予防とライフステージに合わせた健康づくりを支援する。

③外国人との共生

本市特有の産業構造や人手不足により外国人の人口が年々増加していることから、多文化共生についての取り組みを着実に実施する。

1 数値目標

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標値(R7年度)
高齢者(65歳以上)の就業者率(年間)	33.4%	34.3%	33.7%	33.7%	33.9%	36.0%
住みやすさ満足度(年間)	85.9%	85.5%	85.5%	82.9%	85.1%	86%

2 重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標値(R7年度)
防災訓練の市民参加率	10%	7%	8%	7%	9%	15%
防犯ボランティア活動参加団体数	26団体	26団体	24団体	26団体	26団体	35団体
公園等愛護会活動団体数	33団体	37団体	35団体	35団体	31団体	36団体
花いっぱい活動団体数	27団体	30団体	27団体	30団体	27団体	30団体
市民活動センターでのボランティア登録団体数(累計)	262団体	276団体	280団体	265団体	289団体	300団体
地域まちづくり組織の数(準備組織含む)	3団体	3団体	3団体	3団体	3団体	5団体
週1回以上スポーツを行っている市民の割合	37.5%	47.2%	50.6%	49.0%	51.9%	60.0%
筋トレルーム60利用者数	12,000人	25,594人	27,517人	34,702人	41,945人	34,000人

一 般 会 計

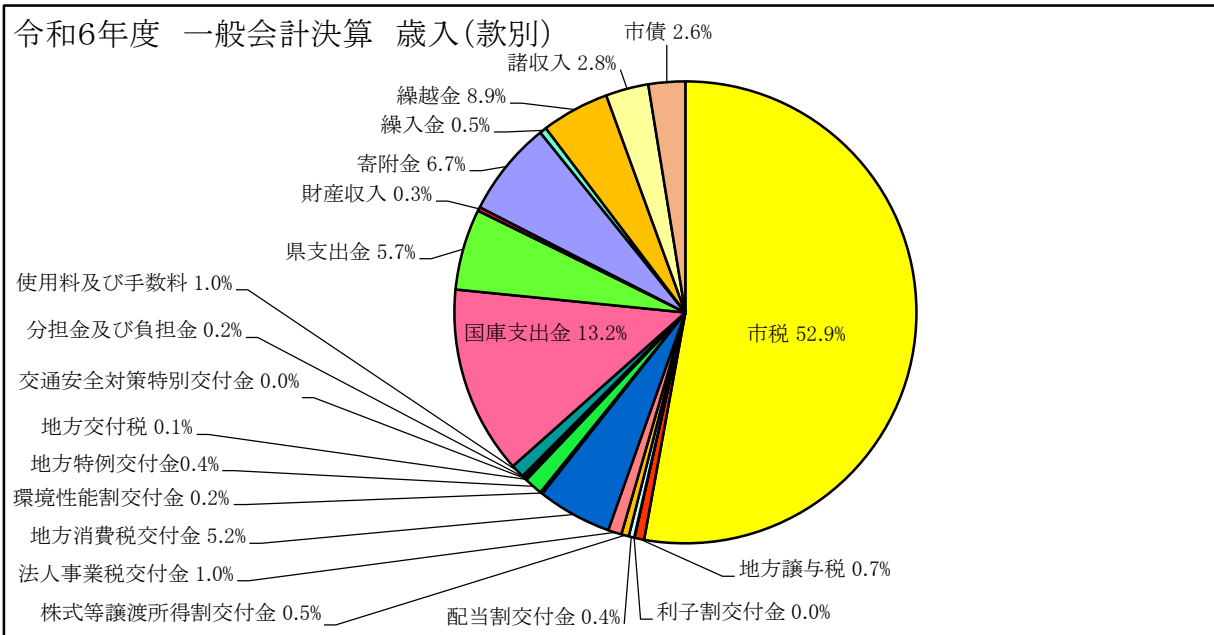
※この資料の計数は、単純計算をしておりますので、端数が整合しない場合がありますことをご承知ください。

なお、数値の直前の△は減額を表します。

令和6年度一般会計款別決算の状況

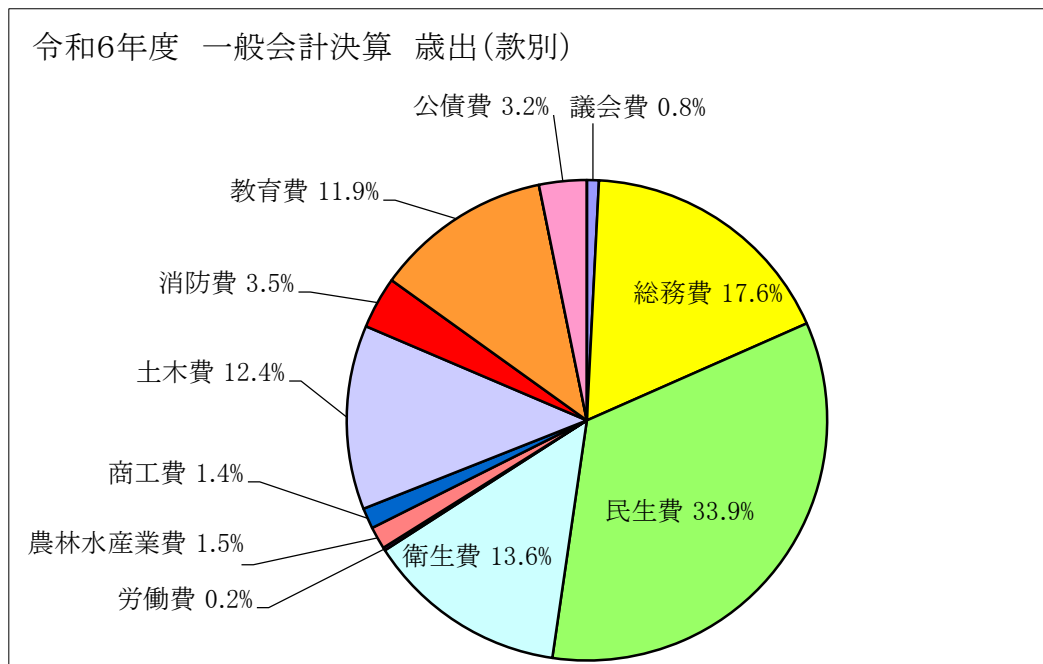
歳入

区分 款別	令和6年度		令和5年度		差引額 A－B	伸び率 (A－B) ／B×100
	決算額A 円	決算総額 に占める 割合 %	決算額A 円	決算総額 に占める 割合 %		
1 市税	19,564,014,210	52.9	17,688,678,472	50.2	1,875,335,738	10.6
2 地方譲与税	251,423,202	0.7	253,988,239	0.7	△ 2,565,037	△ 1.0
3 利子割交付金	7,126,000	0.0	5,279,000	0.0	1,847,000	35.0
4 配当割交付金	145,966,000	0.4	109,521,000	0.3	36,445,000	33.3
5 株式等譲渡所得割交付金	193,611,000	0.5	112,640,000	0.3	80,971,000	71.9
6 法人事業税交付金	351,916,000	0.9	265,274,000	0.8	86,642,000	32.7
7 地方消費税交付金	1,923,224,000	5.2	1,835,221,000	5.2	88,003,000	4.8
8 環境性能割交付金	59,982,560	0.2	49,507,966	0.2	10,474,594	21.2
9 地方特例交付金	482,277,000	1.3	135,698,000	0.4	346,579,000	255.4
10 地方交付税	54,146,000	0.1	38,686,000	0.1	15,460,000	40.0
11 交通安全対策特別交付金	8,162,000	0.0	8,373,000	0.0	△ 211,000	△ 2.5
12 分担金及び負担金	73,253,980	0.2	81,964,920	0.2	△ 8,710,940	△ 10.6
13 使用料及び手数料	356,243,806	1.0	356,367,943	1.0	△ 124,137	△ 0.0
14 国庫支出金	4,869,782,147	13.1	4,201,109,278	11.9	668,672,869	15.9
15 県支出金	2,100,721,579	5.7	1,937,988,754	5.5	162,732,825	8.4
16 財産収入	96,996,032	0.3	81,563,268	0.2	15,432,764	18.9
17 寄附金	2,471,781,787	6.7	2,746,405,106	7.8	△ 274,623,319	△ 10.0
18 繰入金	177,942,739	0.5	549,857,272	1.6	△ 371,914,533	△ 67.6
19 繰越金	1,756,434,117	4.7	3,112,345,493	8.9	△ 1,355,911,376	△ 43.6
20 諸収入	1,111,336,572	3.0	968,465,940	2.8	142,870,632	14.8
21 市債	949,800,000	2.6	673,300,000	1.9	276,500,000	41.1
歳入合計	37,006,140,731	100.0	35,212,234,651	100.0	1,793,906,080	5.1



歳出

区分 款別	令和6年度		令和5年度		差引額 A－B 円	伸び率 (A－B) ／B×100 %
	決算額A 円	決算総額 に占める 割合 %	決算額A 円	決算総額 に占める 割合 %		
1 議会費	261,364,460	0.8	262,930,953	0.8	△ 1,566,493	△ 0.6
2 総務費	6,105,207,905	17.6	5,060,307,143	15.1	1,044,900,762	20.6
3 民生費	11,773,247,946	33.9	11,633,950,265	34.8	139,297,681	1.2
4 衛生費	4,712,260,774	13.6	5,332,940,615	15.9	△ 620,679,841	△ 11.6
5 労働費	78,541,227	0.2	77,611,454	0.2	929,773	1.2
6 農林水産業費	514,469,585	1.5	469,574,487	1.4	44,895,098	9.6
7 商工費	491,583,413	1.4	550,342,145	1.7	△ 58,758,732	△ 10.7
8 土木費	4,290,043,597	12.4	3,963,401,353	11.9	326,642,244	8.2
9 消防費	1,208,795,374	3.5	1,105,515,163	3.3	103,280,211	9.3
10 教育費	4,137,049,955	11.9	3,781,119,673	11.3	355,930,282	9.4
11 災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	－
12 公債費	1,107,843,295	3.2	1,218,107,283	3.6	△ 110,263,988	△ 9.1
13 予備費	0	0.0	0	0.0	0	－
歳出合計	34,680,407,531	100.0	33,455,800,534	100.0	1,224,606,997	3.7



歳 入

●歳入の見かた

一般会計		歳入	○項	○○費
○款	○○費	所管課		
			○○課 ほか	
予算現額	1,000,000 円 (1,000,000 円)	増減無		
決算額	900,000 円 (950,000 円)	5.3%減		
1 目 個人市民税	予算現額	1,000,000 円	(1,000,000 円)	増減無
見かたはこちらと同じ⇒	決算額	900,000 円	(950,000 円)	5.3%減
		現年度	前年度	前年比

1 款 市税	税務課
予算現額 19,226,701,000 円 (17,385,701,000 円) 10.6%増 決算額 19,564,014,210 円 (17,688,678,472 円) 10.6%増	

説 明

市税全体の調定額は、197億759万円余で、これに対する収入済額は195億6,401万円余、収納率99.27%（前年度99.18%）、予算額に対し3億3,731万円余の増となった。

この内、現年課税分の調定額は、195億7,007万円余で、前年度対比18億7,739万円余、率にして10.6%の増となった。税目別では、個人市民税が3億6,562万円余の減額、法人市民税が24億1,532万円余の増額、固定資産税が1億6,700万円余の減額、都市計画税が191万円余の増額、軽自動車税が900万円余の増額、市たばこ税が1,797万円余の減額となった。なお、現年課税分全体の収入済額は194億9,572万円余、収納率99.62%（前年度の収入済額176億1,593万円余、収納率99.57%）となった。

また、滞納繰越分の調定額は、1億3,751万円余で、前年度対比450万円余、率にして3.2%の減となった。なお、滞納繰越分の収入済額は6,828万円余、収納率49.66%（前年度の収入済額7,274万円余、収納率51.22%）となった。

令和6年度 税目別予算額・調定額・収入額等年度比較表

(単位：円)

区 分 税 目		予 算 額		調 定 額			収 入 済 額			不納欠損額 G	収入未済額 (C－E－G)	収 納 率	
		R 6年度 A	R 5年度 B	R 6年度 C	R 5年度 D	増減 (C－D)	R 6年度 E	R 5年度 F	増減 (E－F)			R 6年度 E / C	R 5年度 F / D
市 民 税	個 人 小 計	4,455,000,000	4,812,000,000	4,560,682,490	4,926,307,800	△ 365,625,310	4,520,932,011	4,875,118,696	△ 354,186,685	76,133	39,674,346	99.13%	98.96%
	滞納繰越分	52,800,000	55,300,000	102,637,620	102,052,967	584,653	44,268,184	42,500,388	1,767,796	8,441,448	49,927,988	43.13%	41.65%
	現年課税分	4,507,800,000	4,867,300,000	4,663,320,110	5,028,360,767	△ 365,040,657	4,565,200,195	4,917,619,084	△ 352,418,889	8,517,581	89,602,334	97.90%	97.80%
	滞納繰越分	3,912,000,000	1,617,000,000	4,110,893,700	1,695,571,200	2,415,322,500	4,109,476,500	1,694,978,400	2,414,498,100	45,800	1,371,400	99.97%	99.97%
市 民 税	個 人 小 計	700,000	700,000	1,487,345	1,384,445	102,900	618,074	591,100	26,974	145,126	724,145	41.56%	42.70%
	滞納繰越分	3,912,700,000	1,617,700,000	4,112,381,045	1,696,955,645	2,415,425,400	4,110,094,574	1,695,569,500	2,414,525,074	190,926	2,095,545	99.94%	99.92%
	現年課税分	8,420,500,000	6,485,000,000	8,775,701,155	6,725,316,412	2,050,384,743	8,675,294,769	6,613,188,584	2,062,106,185	8,708,507	91,697,879	98.86%	98.33%
	滞納繰越分	8,860,000,000	9,001,000,000	8,959,604,800	9,126,613,000	△ 167,008,200	8,931,574,669	9,106,421,655	△ 174,846,986	134,176	27,895,955	99.69%	99.78%
固 定 資 産 税	滞納繰越分	28,900,000	28,600,000	25,177,184	29,442,941	△ 4,265,757	19,458,906	24,309,588	△ 4,850,682	175,164	5,543,114	77.29%	82.57%
	交付金	25,000,000	23,000,000	25,472,500	23,712,700	1,759,800	25,472,500	23,712,700	1,759,800	0	0	100.00%	100.00%
	小 計	8,913,900,000	9,052,600,000	9,010,254,484	9,179,768,641	△ 169,514,157	8,976,506,075	9,154,443,943	△ 177,937,868	309,340	33,439,069	99.63%	99.72%
	現年課税分	216,000,000	206,000,000	219,941,700	214,333,900	5,607,800	218,466,779	212,156,793	6,309,986	0	1,474,921	99.33%	98.98%
軽 自 動 車 税	滞納繰越分	1,600,000	1,500,000	4,904,820	5,351,872	△ 447,052	1,384,729	2,211,275	△ 826,546	475,659	3,044,432	28.23%	41.32%
	現年課税分	12,000,000	13,000,000	14,853,500	11,456,600	3,396,900	14,853,500	11,456,600	3,396,900	0	0	100.00%	100.00%
	滞納繰越分	1,000	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	小 計	229,601,000	220,501,000	239,700,020	231,142,372	8,557,648	234,705,008	225,824,668	8,880,340	475,659	4,519,353	97.92%	97.70%
市 た ば こ 税	現年課税分	504,000,000	465,000,000	501,963,551	519,937,782	△ 17,974,231	501,963,551	519,937,782	△ 17,974,231	0	0	100.00%	100.00%
	滞納繰越分	1,155,000,000	1,159,000,000	1,176,667,600	1,174,751,500	1,916,100	1,172,986,395	1,172,152,528	833,867	17,624	3,663,581	99.69%	99.78%
	小 計	3,700,000	3,600,000	3,310,239	3,792,120	△ 481,881	2,558,412	3,130,967	△ 572,555	23,047	728,780	77.29%	82.57%
	現年課税分	1,158,700,000	1,162,600,000	1,179,977,839	1,178,543,620	1,434,219	1,175,544,807	1,175,283,495	261,312	40,671	4,392,361	99.62%	99.72%
合 計	滞納繰越分	19,139,000,000	17,296,000,000	19,570,079,841	17,692,684,482	1,877,395,359	19,495,725,905	17,615,935,154	1,879,790,751	273,733	74,080,203	99.62%	99.57%
	現年課税分	87,701,000	89,701,000	137,517,208	142,024,345	△ 4,507,137	68,288,305	72,743,318	△ 4,455,013	9,260,444	59,968,459	49.66%	51.22%
	小 計	19,226,701,000	17,385,701,000	19,707,597,049	17,834,708,827	1,872,888,222	19,564,014,210	17,688,678,472	1,875,335,738	9,534,177	134,048,662	99.27%	99.18%
	總 計												

1 項 市民税	税務課
予算現額 8,420,500,000 円 (6,485,000,000 円) 29.8%増 決算額 8,675,294,769 円 (6,613,188,584 円) 31.2%増	

1 目 個人市民税 予算現額 4,507,800,000 円 (4,867,300,000 円) 7.4%減
決 算 額 4,565,200,195 円 (4,917,619,084 円) 7.2%減

説 明

現年課税分の調定額は、前年度対比 3 億 6,562 万円余、率にして 7.4%の減となった。均等割において、令和 5 年度をもって東日本復興特例が終了し、所得割において令和 6 年度は定額減税が実施されたことによるためである。

調定額等の状況

区分	所得者区分	納税義務者		調 定 額		
		6 年度	5 年度	6 年度	5 年度	比較
所得割	人 人 円 円 %					
	給与所得者	29,714	31,005	3,686,701,446	3,901,167,220	94.5
	営業所得者	1,115	1,250	195,170,713	219,727,821	88.8
	農業所得者	126	182	24,247,469	66,322,698	36.6
	その他所得者	3,952	4,572	256,218,152	278,641,394	92.0
	分離短・長期等譲渡所得者	493	452	219,684,726	266,180,367	82.5
	過年度所得者	69	50	13,617,200	10,443,200	130.4
	退職所得者	95	122	41,424,000	40,913,400	101.2
	計	35,564	37,633	4,437,063,706	4,783,396,100	92.8
均 等 割 (うち、家屋敷課税)		41,271 (43)	40,937 (55)	123,618,784 (129,000)	142,911,700 (165,000)	86.5 (78.2)
合 計		—	—	4,560,682,490	4,926,307,800	92.6
均等割のみの者		5,802	3,426			
所得割のみの者		95	122			
均等割、所得割両方の者		35,469	37,511			

※ 複数の所得がある場合、所得者区分については、所得金額が最も大きい所得に分類。
ただし、譲渡所得がある場合は譲渡所得者に分類計上。なお、過年度及び退職所得については、その区分で一括計上。

2 目 法人市民税 予算現額 3,912,700,000円 (1,617,700,000円) 141.9%増
 決算額 4,110,094,574円 (1,695,569,500円) 142.4%増

説 明

現年課税分の調定額は、前年度対比 2 億 1,532 万円余、率にして 142.4%の増となった。これは主に、臨海部大手企業において、大幅な売上高の増、円安効果を含めた純利益の増によるものである。

1 法人税割調定額の状況（現年課税分）

ラ ン ク	区 分	法 人 数		法 人 税 割 調 定 額		
		6 年度	5 年度	6 年度	5 年度	比
1	資本等の金額が 1 千万円以下で、従業員数が 50 人以下等	社 422 (31)	社 397 (29)	円 53,109,000 (8,264,300)	円 59,930,600 (7,427,600)	% 88.6 (111.3)
2	資本等の金額が 1 千万円以下で、従業員数が 50 人超	12 (4)	14 (4)	12,763,300 (4,489,900)	14,720,600 (3,362,000)	86.7 (133.5)
3	資本等の金額が 1 千万円超、1 億円以下で、従業員数が 50 人以下	125 (44)	127 (36)	48,040,000 (25,657,400)	42,623,500 (23,583,800)	112.7 (108.8)
4	資本等の金額が 1 千万円超、1 億円以下で、従業員数が 50 人超	22 (9)	22 (8)	32,243,700 (18,531,900)	22,211,900 (7,124,400)	145.2 (260.1)
5	資本等の金額が 1 億円超、10 億円以下で、従業員数が 50 人以下	35 (11)	33 (13)	39,148,400 (20,230,400)	22,306,400 (9,677,300)	175.5 (209.1)
6	資本等の金額が 1 億円超、10 億円以下で、従業員数が 50 人超	13 (8)	12 (8)	78,321,300 (45,836,600)	48,039,100 (35,214,800)	163.0 (130.2)
7	資本等の金額が 10 億円超、従業員数が 50 人以下	57 (19)	58 (23)	51,620,400 (28,335,300)	31,019,800 (13,601,600)	166.4 (208.3)
8	資本等の金額が 10 億円超、50 億円以下で、従業員数が 50 人超	4 (2)	3 (2)	92,165,400 (78,312,600)	15,600,300 (12,035,600)	590.8 (650.7)
9	資本等の金額が 50 億円超、従業員数が 50 人超	7 (4)	7 (3)	3,519,729,300 (3,423,956,600)	1,265,781,500 (1,255,407,600)	278.1 (272.7)
合 計		697 (132)	673 (126)	3,927,140,800 (3,653,615,000)	1,522,233,700 (1,367,434,700)	258.0 (267.2)

() 内は、臨海部企業に係るもの

2 均等割調定額の状況（現年課税分）

ラン ク	区 分	法 人 数		均等割のみの 法人数		均 等 割 調 定 額		
		6 年度	5 年度	6 年度	5 年度	6 年度	5 年度	比較
1	資本等の金額が 1 千万 円以下で、従業員数が 50 人以下等	社 1,233 (63)	社 1,228 (64)	社 813 (32)	社 832 (35)	円 61,443,900 (3,078,900)	円 60,785,800 (3,091,500)	% 101.1 (99.6)
2	資本等の金額が 1 千万 円以下で、従業員数が 50 人超	25 (8)	26 (9)	13 (4)	12 (5)	2,845,000 (900,000)	3,060,000 (1,080,000)	93.0 (83.3)
3	資本等の金額が 1 千万 円超、1 億円以下で、従 業員数が 50 人以下	226 (55)	225 (56)	104 (12)	98 (20)	29,031,300 (7,179,100)	29,559,700 (7,300,000)	98.2 (98.3)
4	資本等の金額が 1 千万 円超、1 億円以下で、従 業員数が 50 人超	35 (11)	36 (11)	13 (2)	15 (3)	5,430,000 (1,705,000)	5,227,500 (1,555,000)	103.9 (109.6)
5	資本等の金額が 1 億円 超、10 億円以下で、従 業員数が 50 人以下	53 (17)	50 (15)	18 (6)	17 (3)	8,359,800 (2,600,000)	7,733,200 (4,786,600)	108.1 (54.3)
6	資本等の金額が 1 億円 超、10 億円以下で、従 業員数が 50 人超	15 (9)	15 (9)	2 (1)	2 (1)	6,000,000 (3,400,000)	6,000,000 (3,800,000)	100.0 (89.5)
7	資本等の金額が 10 億円 超、従業員数が 50 人以 下	71 (24)	67 (23)	14 (5)	13 (3)	27,913,800 (8,575,700)	25,658,800 (8,404,800)	108.8 (102.0)
8	資本等の金額が 10 億円 超、50 億円以下で、従 業員数が 50 人超	6 (3)	5 (3)	2 (1)	2 (1)	11,229,100 (5,250,000)	8,312,500 (4,812,500)	135.1 (109.1)
9	資本等の金額が 50 億円 超、従業員数が 50 人超	10 (5)	10 (5)	3 (1)	3 (2)	31,500,000 (16,500,000)	27,000,000 (13,500,000)	116.7 (122.2)
合 計		1,674 (195)	1,662 (195)	982 (64)	994 (73)	183,752,900 (49,188,700)	173,337,500 (48,330,400)	106.0 (101.8)

() 内は、臨海部企業に係るもの

3 法人税割及び均等割調定額の合計（現年課税分）

区 分	法 人 数			調 定 額		
	6 年度	5 年度	比較	6 年度	5 年度	比較
法人税割調定額	社 697 (132)	社 673 (126)	% 103.6 (104.8)	円 3,927,140,800 (3,653,615,000)	円 1,522,233,700 (1,367,434,700)	% 258.0 (267.2)
均等割調定額	1,674 (195)	1,662 (195)	100.7 (100.0)	183,752,900 (49,188,700)	173,337,500 (48,330,400)	106.0 (101.8)
合 計	1,674 (195)	1,662 (195)	100.7 (100.0)	4,110,893,700 (3,702,803,700)	1,695,571,200 (1,415,765,100)	242.4 (261.5)

() 内は、臨海部企業に係るもの。

2 項 固定資産税	税務課
予算現額 8,913,900,000 円 (9,052,600,000 円) 1.5%減 決算額 8,976,506,075 円 (9,154,443,943 円) 1.9%減	

1 目 固定資産税 予算現額 8,888,900,000 円 (9,029,600,000 円) 1.6%減
決算額 8,951,033,575 円 (9,130,731,243 円) 2.0%減

説 明

1 土地

現年課税分の調定額は、前年度対比 5,422 万円余の増で、率にして 1.7%の増となった。これは、令和 6 年度が評価替えの年度であり、一部土地の評価額の上昇及び新規課税の対象となる土地の面積が増加したことにより、増額となったものである。

2 家屋

現年課税分の調定額は、前年度対比 4,112 万円余、率にして 1.5%の減となった。これは、主に評価替えに伴う経年減価により減額となったものである。

3 償却資産

現年課税分の調定額は、前年度対比 1 億 8,010 万円余、率にして 5.6%の減となった。これは主に、大規模な設備投資が無かったこと及び大手企業の償却資産の除却により減額となったものである。

調定額等の状況（現年課税分）

（ ）内は、臨海部企業に係るもの

区分	面 積		調 定 額		
	6 年度	5 年度	6 年度 (円)	5 年度 (円)	比 較
土地	23,945,200㎡ (5,466,152)	23,689,475㎡ (5,210,081)	3,183,351,026 (847,372,538)	3,129,125,780 (822,091,603)	101.7% (103.1)
家屋	39,052棟 (1,503) 6,460,145㎡ (1,555,271)	39,104棟 (1,509) 6,443,173㎡ (1,552,661)	2,713,018,579 (706,999,313)	2,754,142,648 (744,631,101)	98.5% (94.9)
償 却 資 産			3,063,235,195 (2,524,605,165)	3,243,344,572 (2,704,970,946)	94.4% (93.3)
合 計			8,959,604,800 (4,078,977,016)	9,126,613,000 (4,271,693,650)	98.2% (95.5)

2 目 国有資産等所在市町村交付金 予算現額 25,000,000 円 (23,000,000 円) 8.7%増
決算額 25,472,500 円 (23,712,700 円) 7.4%増

説 明

現年課税分の調定額は、前年度と比較して 7.4%の増となった。これは、鷺塚住宅 D 棟の管理開始により増額となったものである。

なお、交付金は、国、地方公共団体が所有し公益的な事業に用いる資産（港湾施設、住宅施設等）について固定資産税の代わりに国、地方公共団体から交付されるものである。

3 項 軽自動車税	税務課
予算現額 229,601,000 円 (220,501,000 円) 4.1%増 決算額 234,705,008 円 (225,824,668 円) 3.9%増	

1 目 環境性能割 予算現額 12,001,000円 (13,001,000円) 7.7%減
決 算 額 14,853,500円 (11,456,600円) 29.7%増

説 明

令和元年10月1日から自動車取得税（県税）が廃止され、軽自動車税（市税）に環境性能割が新設された。税の賦課徴収は、当分の間県が行い、市へ払込む。現年課税分の調定額は、前年度対比339万円余、率にして29.7%の増となった。これは主に、新規登録台数の増によるものである。

2 目 種別割 予算現額 217,600,000円 (207,500,000円) 4.9%増
決 算 額 219,851,508円 (214,368,068円) 2.6%増

説 明

令和元年10月に軽自動車税に環境性能割が新設されたことに伴い、それまでの軽自動車税は軽自動車税種別割となった。現年課税分の調定額は、前年度対比560万円余、率にして2.6%の増となった。これは、課税台数の増加及び平成27年3月31日以前の登録車両の買替えにより税率引き上げ後の車両の増加によるものである。

調定額等の状況（現年課税分）

種 別	台 数		調 定 額		
	6 年度	5 年度	6 年度	5 年度	比 較
	台	台	円	円	%
原付1種	2,455	2,419	4,910,000	4,838,000	101.5
原付2種乙	187	186	374,000	372,000	100.5
原付2種甲	590	567	1,416,000	1,360,800	104.1
ミニカー	46	45	170,200	166,500	102.2
特定小型	12	-	24,000	-	-
軽自2輪	891	843	3,207,600	3,034,800	105.7
軽自3輪	1	1	4,600	4,600	100.0
軽自4輪貨物（自）	4,867	4,869	24,930,300	24,602,000	101.3
軽自4輪貨物（営）	205	196	781,400	734,500	106.4
軽自4輪乗用（自）	16,737	16,611	172,853,100	168,407,700	102.6
軽自4輪乗用（営）	39	12	288,900	82,200	351.5
特殊農耕用	539	539	1,293,600	1,293,600	100.0
特殊小型（その他）	440	428	2,596,000	2,525,200	102.8
2輪小型自動車	1,182	1,152	7,092,000	6,912,000	102.6
合 計	28,191	27,868	219,941,700	214,333,900	102.6

4 項 市たばこ税	税務課
予算現額 504,000,000 円 (465,000,000 円) 8.4%増 決算額 501,963,551 円 (519,937,782 円) 3.5%減	

説 明

調定額は、前年度対比 1,797 万円余、率にして 3.5%の減となった。これは、課税標準本数が前年度より 274 万本余、3.5%の減となったことによるものである。

調定額等の状況（現年課税分）

課 税 標 準 数 量			調 定 額		
6 年度	5 年度	比較	6 年度	5 年度	比較
本	本	%	円	円	%
76,612,263	79,355,583	96.5	501,963,551	519,937,782	96.5

5 項 都市計画税	税務課
予算現額 1,158,700,000 円 (1,162,600,000 円) 0.3%減 決算額 1,175,544,807 円 (1,175,283,495 円) 0.0%増	

説 明

1 土地

現年課税分の調定額は、前年度対比 876 万円余、率にして 1.3% の増となった。これは、令和 6 年度が評価替えの年度であり、一部土地の評価額の上昇により、増額となったものである。

2 家屋

現年課税分の調定額は、前年度対比 685 万円余、率にして 1.4% の減となった。主に評価替えに伴う経年減価により減額となったものである。

調定額等の状況（現年課税分）

（ ）内は、臨海部企業に係るもの

区分	面 積		調 定 額		
	6 年度	5 年度	6 年度 (円)	5 年度 (円)	比 較
土地	15,200,527 m ² (5,209,977)	15,205,019 m ² (5,210,081)	700,292,888 (147,485,289)	691,524,754 (147,276,940)	101.3% (100.1)
家屋	36,412 棟 (1,500) 5,970,510 m ² (1,554,120)	36,438 棟 (1,507) 5,952,423 m ² (1,551,509)	476,374,712 (126,280,305)	483,226,746 (132,996,232)	98.6% (95.0)
合 計			1,176,667,600 (273,765,594)	1,174,751,500 (280,273,172)	100.2% (97.7)

3 都市計画税の用途状況

都市計画税は都市計画事業などのための目的税で、次の事業に充てている。

事 業 区 分	事 業 費(円)	充 当 額(円)
街路事業	239,108,918	3,301,339
下水道事業	584,853,000	356,506,526
地方債償還額(都市計画事業関連)	1,338,747,113	815,736,942
計	2,162,709,031	1,175,544,807

※充当額は、都市計画税の決算額を各事業費の一般財源額の比率により按分している。

市税の概要・まとめ

1 臨海部調定額（現年課税分）

税 目	企 業 数			調 定 額		
	6 年 度	5 年 度	臨海部 の割合	6 年 度	5 年 度	臨海部 の割合
法人市民税	社 195	社 195	% 11.6	3,702,803,700	円 1,415,765,100	% 90.1
法人税割	132	126		3,653,615,000	1,367,434,700	93.0
均等割	195	195		49,188,700	48,330,400	26.8
固定資産税	255	262		4,087,938,016	4,280,688,450	45.5
土地	145	145		847,372,538	822,091,603	26.6
家屋	172	173		706,999,313	744,631,101	26.1
償却資産	176	183		2,524,605,165	2,704,970,946	82.4
交付金	2	2		8,961,000	8,994,800	35.2
都市計画税	185	187		273,765,594	280,273,172	23.3
土地	144	147		147,485,289	147,276,940	21.1
家屋	171	172		126,280,305	132,996,232	26.5
臨 海 部 合 計				8,064,507,310	5,976,726,722	41.2
市 税 合 計				19,570,079,841	17,692,684,482	—

2 市税減免の状況

区 分		年 度		減 免 税 額		
		6 年 度	5 年 度	6 年 度	5 年 度	比較
個人市民税	死 亡	件 272	件 284	円 5,241,334	円 7,331,200	% 71.5
	合計所得見込み額が前 年の 1/2 以下	2	8	63,848	95,300	67.0
	生活保護	12	11	397,851	452,300	88.0
	災害	6	0	191,178	0	皆増
	勤労学生	16	14	46,638	59,000	79.0
	小 計	308	317	5,940,849	7,937,800	74.8
固定資産税	生活保護	8	7	157,400	154,000	102.2
	災害	2	0	48,004	0	皆増
	母子・高齢者等	156	154	6,105,200	5,843,300	104.5
	その他	64	92	12,681,548	13,761,598	92.2
	小 計	230	253	18,992,152	19,758,898	96.1
都市計画税	生活保護	8	7	47,000	44,100	106.6
	災害	2	0	8,572	0	皆増
	母子・高齢者等	151	149	1,458,600	1,384,500	105.4
	その他	60	81	2,158,202	2,352,875	91.7
	小 計	221	237	3,672,374	3,781,475	97.1
軽自動車税	身体障害者	265	249	2,548,400	2,335,700	109.1
	その他	66	64	581,500	541,600	107.4
	小 計	331	313	3,129,900	2,877,300	108.8
合 計		1,090	1,120	31,735,275	34,355,473	92.4

3 納税の状況

収納率 現年課税分 99.62% 滞納繰越分 49.66% 合計 99.27%

(前年度 現年課税分 99.57% 滞納繰越分 51.22% 合計 99.18%)

現年課税・滞納繰越合計の収納率 県下 38 市中第 7 位(現年課税分第 10 位、
滞納繰越分第 3 位)

4 滞納処分の執行停止状況

滞納処分の執行停止は、前年度対比 846 万円余の減、人数は 142 人の減となった。
これは、滞納のある人の国外転出の減少により、執行停止する案件が減少したためである。

該当条文	財産がない (地方税法第 15 条 の 7 第 1 項第 1 号)		生活窮迫 (地方税法第 15 条 の 7 第 1 項第 2 号)		所在・財産不明 (地方税法第 15 条 の 7 第 1 項第 3 号)		合 計	
税 目	人数	金 額 (単位：円)	人数	金 額 (単位：円)	人数	金 額 (単位：円)	人数	金 額 (単位：円)
個人市民税	4	122,781	18	711,902	93	3,744,350	115	4,579,033
法人市民税	1	50,000	0	0	4	984,200	5	1,034,200
固定資産税 都市計画税	1	84,000	0	0	2	312,100	3	396,100
軽自動車税	3	62,081	3	16,900	25	180,280	31	259,261
合 計	9	318,862	21	728,802	124	5,220,930	154	6,268,594

5 不納欠損の状況

不納欠損は、前年度対比 48 万円余の増で、人数は 37 人の減となった。

該当条文	執行停止即欠損 (地方税法第 15 条 の 7 第 5 項)		執行停止 3 年後欠損 (地方税法第 15 条 の 7 第 4 項)		5 年 時 効 (地方税法第 18 条)		合 計	
税 目	人数	金 額 (単位：円)	人数	金 額 (単位：円)	人数	金 額 (単位：円)	人数	金 額 (単位：円)
個人市民税	12	1,183,949	91	5,559,025	38	1,774,607	141	8,517,581
法人市民税	2	140,926	0	0	1	50,000	3	190,926
固定資産税 都市計画税	3	344,611	0	0	2	5,400	5	350,011
軽自動車税	1	12,900	15	234,159	19	228,600	35	475,659
合 計	18	1,682,386	106	5,793,184	60	2,058,607	184	9,534,177

1 項 地方揮発油譲与税	財政課
予算現額 49,000,000 円 (49,000,000 円) 増減無 決算額 47,660,000 円 (48,302,000 円) 1.3%減	

説 明

地方揮発油譲与税法の規定による地方揮発油譲与税の収入額の 100 分の 42 に相当する額を市町村に譲与されるもので、道路特定財源の一般財源化により地方道路譲与税から名称が改められ、配分については市町村道の延長及び面積により按分して算定され、6 月、11 月、3 月の各期に譲与された。

2 項 自動車重量譲与税	財政課
予算現額 143,000,000 円 (143,000,000 円) 増減無 決算額 145,854,000 円 (145,619,000 円) 0.2%増	

説 明

自動車重量税法の規定による自動車重量税の収入額の 1,000 分の 431 に相当する額を市町村に譲与されるもので、配分については自動車重量譲与税法により、毎年度 4 月 1 日現在の市町村道の延長及び面積（2 分の 1 の額を道路の延長、他の 2 分の 1 を道路の面積）により按分して算定され、6 月、11 月、3 月の各期に譲与された。

3 項 特別とん譲与税	税務課
予算現額 45,000,000 円 (45,000,000 円) 増減無 決算額 49,785,202 円 (52,489,239 円) 5.2%減	

説 明

衣浦港に入港する外国貿易船の純トン数により、トン当たり 20 円（1 年分を一時に納付する場合は、トン当たり 60 円）が課税され、9 月と 3 月に関係 3 市 1 町に譲与されるもので、配分率は、港湾施設、外貿船停泊位置、荷役量、港湾費の支払状況により 3 市 1 町で協議し決定した。

区 分	6 年度	5 年度	増 減
配 分 額	49,785,202 円	52,489,239 円	△2,704,037 円
配 分 率	40.25%	42.23%	△1.98 ポイント

4 項 森林環境譲与税	財政課
予算現額 9,234,000 円 (7,392,000 円) 24.9%増 決算額 8,124,000 円 (7,578,000 円) 7.2%増	

説 明

森林環境税の収入額の 10 分の 9 に相当する額を市町村に譲与されるもので、配分については市町村の私有林人工林面積、林業就業者数及び人口により按分して算出され、9 月、3 月の各期に譲与された。

1 項 利子割交付金	財政課
予算現額 5,000,000 円 (5,000,000 円) 増減無 決算額 7,126,000 円 (5,279,000 円) 35.0%増	

説 明

県民税利子割（税率 5 %）から控除・還付額を差し引いた額の 59.4 %が、8 月、12 月、3 月の各期に交付された。

1 項 配当割交付金	財政課
予算現額 73,000,000 円 (73,000,000 円) 増減無 決算額 145,966,000 円 (109,521,000 円) 33.3%増	

説 明

県民税配当割から還付額を差し引いた額の 59.4 %が、8 月、12 月、3 月の各期に交付された。

一般会計

歳入

5 款

株式等譲渡所得割交付金

1 項	株式等譲渡所得割交付金	財政課
予算現額	54,000,000 円 (54,000,000 円) 増減無	
決算額	193,611,000 円 (112,640,000 円) 71.9%増	

説 明

県民税株式等譲与所得割から還付額を差し引いた額の 59.4%が、3 月期に交付された。

一般会計

歳入

6 款

法人事業税交付金

1 項	法人事業税交付金	財政課
予算現額	216,000,000 円 (216,000,000 円) 増減無	
決算額	351,916,000 円 (265,274,000 円) 32.7%増	

説 明

都道府県の法人事業税額の 100 分の 7.7 に相当する額を市町村の事務所統計の結果による従業者数に応じて 8 月、12 月、3 月の各期に交付された。

一般会計

歳入

7 款

地方消費税交付金

1 項	地方消費税交付金	財政課
予算現額	1,761,000,000 円 (1,761,000,000 円) 増減無	
決算額	1,923,224,000 円 (1,835,221,000 円) 4.8%増	

説 明

地方消費税の収入額の 2 分の 1 に相当する額で、一般財源分については、都道府県から国勢調査の結果による市町村の人口及び事務所統計の結果による従業者数により按分され、社会保障財源分については、国勢調査の結果による市町村の人口按分により算定され、6 月、9 月、12 月、3 月の各期に交付された。この内、社会保障財源分は 10 億 5,655 万 4 千円であった。

1 項 環境性能割交付金	財政課
予算現額 56,000,000 円 (56,000,000 円) 増減無 決算額 59,982,560 円 (49,507,966 円) 21.2%増	

説 明

道府県の自動車税環境性能割のうち、徴税費（５％）を除いた額の１００分の４３を各市町村の道路延長及び面積で按分して算出され、１２月、３月の各期に交付された。

1 項 地方特例交付金	財政課
予算現額 458,000,000 円 (98,000,000 円) 367.3%増 決算額 461,777,000 円 (113,262,000 円) 307.7%増	

説 明

個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の実施に伴う減収分の減収補てん措置であり、４月、９月の各期に交付された。令和６年度は、国の実施する原油価格・物価高騰対策における個人住民税の定額減税の補てん額も合わせて交付された。

2 項 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	財政課
予算現額 22,543,000 円 (21,484,000 円) 4.9%増 決算額 20,500,000 円 (22,436,000 円) 8.6%減	

説 明

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも新規に先端設備投資を行う中小事業者等の支援を目的とし、生産性革命の実現に向けた償却資産に係る固定資産税の特例措置が延長されたことに伴い、延長による減収額について全額減収補てん措置として交付された。

1 項 地方交付税	財政課
予算現額 35,000,000 円 (32,000,000 円) 9.4%増 決算額 54,146,000 円 (38,686,000 円) 40.0%増	

説 明

地方交付税のうち、普通交付税は、全国各自治体の財政力格差が大きいため、財源不足となる自治体に対し、一定の行政水準が保てるよう交付されるものであるが、当市の場合本年度も不交付団体となったため、特別な財政需要を補うための特別交付税のみ12月、3月の各期に交付された。

1 項 交通安全対策特別交付金	財政課
予算現額 12,000,000 円 (12,000,000 円) 増減無 決算額 8,162,000 円 (8,373,000 円) 2.5%減	

説 明

道路交通法の規定による交通反則金の収入額に相当する額が都道府県及び市町村に交付されるもので、配分は4分の2を交通事故発生件数（前年及び前々年に発生した人身事故）、4分の1を国勢調査による人口集中地区の人口、4分の1を市町村道に係る改良済道路の延長により算定され、9月、3月の各期に交付された。

1 項 負担金	保育課 国保年金課
予算現額 89,481,000 円 (89,389,000 円) 0.1%増 決算額 73,253,980 円 (81,964,920 円) 10.6%減	

説 明

碧南市特定教育・保育施設等利用者負担額徴収規則に規定する私立8保育園に通う保育を必要とする児童の保育料及び母子保健法第21条の4第1項の規定により、扶養義務者等から所得に応じ徴収する負担金である。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
民生費負担金	保育園保育料	保育園保育料（現年度分）	72,389,510
その他 100 万円未満のもの		2 件	864,470

1 私立8保育園及び広域入所の保育を必要とする児童の保育料である。

(1) 保育を必要とする児童1人当りの平均月額

区 分	3 歳未満児
1 人当り平均月額	20,481 円

※幼児教育・保育無償化により原則3歳以上児の保育料は無料となっている。ただし、延長保育料はかかってくる。

(2) 保育を必要とする児童数

(令和7年3月1日現在)

区 分	3 歳未満児	3 歳以上児	計
児童数	288 人	618 人	906 人

(3) 保育料収納状況（現年度）

単位：円

	園名	調定額	収納済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
1	荒子	7,856,490	7,855,290	0	1,200	99.98%
2	西端	11,633,880	11,597,870	0	36,010	99.69%
3	大浜	8,817,040	8,817,040	0	0	100.00%
4	棚尾	12,148,110	12,148,110	0	0	100.00%
5	新川	8,156,310	8,156,310	0	0	100.00%
6	二葉	7,483,700	7,474,280	0	9,420	99.87%
7	かしの木	6,816,820	6,808,660	0	8,160	99.88%
8	碧のうさぎ	9,537,750	9,531,950	0	5,800	99.94%
	計	72,450,100	72,389,510	0	60,590	99.92%

※こども園については、保育料は自園徴収している。

(4) 保育料収納状況（過年度）

単位：円

調定額	収納済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
874,340	1,410	232,600	640,330	0.16%

2 未熟児養育医療負担金は、母子保健法第21条の4第1項の規定により、扶養義務者等から所得に応じ徴収する負担金である。ただし、本負担金は、元気っ子医療費助成事業より充当している。

令和6年度 対象人員 14 人 決算額 863,060 円

1 項 使用料	建築課 ほか
予算現額 278,403,000 円 (273,011,000 円) 2.0%増 決算額 299,329,850 円 (295,821,978 円) 1.2%増	

説 明

公の施設の利用又は行政財産の目的外使用をする者等から、碧南市使用料及び手数料条例に基づき徴収するものである。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
総務費使用料	行政財産目的外使用料	庁舎目的外使用料	1,049,938
民生費使用料	福祉センターあいくる使用料	福祉センターあいくる使用料	1,139,989
	保育園使用料	保育園使用料公立保育認定分	23,395,800
	東部市民プラザ使用料	東部市民プラザ使用料	4,449,243
農林水産業費使用料	農業者コミュニティセンター使用料	農業者コミュニティセンター使用料	2,070,566
	あおいパーク使用料	あおいパーク使用料	3,434,870
		あおいパーク目的外使用料	5,494,896
土木費使用料	道路・水路占用料	道路・水路占用料	32,551,721
	都市公園使用料	都市公園使用料	1,339,838
	碧南中央駅公共駐車場使用料	公共駐車場使用料	5,942,800
	公営住宅使用料	公営住宅使用料	101,854,700
	行政財産目的外使用料	広場等目的外使用料	10,710,986
教育費使用料	学校体育施設使用料	学校体育施設使用料	3,021,630
	公民館使用料	公民館使用料	4,496,067
	社会体育施設使用料	臨海公園グラウンド等使用料	5,655,660
		港湾スポーツセンター使用料	3,113,740
		碧南緑地使用料	2,855,175
	文化会館中央公民館使用料	ホール等使用料	7,648,859
	南部市民プラザ使用料	南部市民プラザ使用料	2,907,143
	臨海公園ドーム使用料	臨海公園ドーム使用料	4,262,520
	勤労者体育センター使用料	勤労者体育センター使用料	1,675,215
	水族館使用料	水族館入館料	48,404,600
	臨海体育館使用料	臨海体育館使用料	8,511,211
	芸術文化ホール使用料	芸術文化ホール食堂使用料	1,044,108
	美術館使用料	美術館使用料	5,227,200
	文化財課使用料	文化財課使用料	2,167,460
その他 100 万円未満のもの		31 件	4,903,915

- 1 保育園使用料は公立 5 保育園の保育を必要とする児童の使用料である。幼児教育・保育の無償化に伴い、3 歳以上児の使用料は私的契約児を含め、無料となっているが、延長保育料はかかってくる。なお、3 歳以上児が対象の幼稚園使用料も同様に無料となっている。

(1) 公立児童 1 人当りの平均月額

区 分	3 歳未満児
1 人当り平均月額	18,681 円

(2) 公立児童数

令和7年3月1日現在

区 分	3歳未満児	3歳以上児	計
児童数	102人	380人	482人

(3) 使用料収納状況（現年度）

（単位：円）

園名	調定額	収納済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
羽久手	3,927,210	3,927,210	0	0	100.00%
天道	2,058,420	2,039,900	0	18,520	99.10%
築山	2,574,420	2,574,420	0	0	100.00%
日進	3,136,300	3,130,600	0	5,700	99.82%
鷺塚	11,723,670	11,723,670	0	0	100.00%
計	23,420,020	23,395,800	0	24,220	99.90%

(4) 使用料収納状況（過年度）

（単位：円）

調定額	収納済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
351,060	160,000	9,000	182,060	45.58%

2項 手数料	市民課 ほか
予算現額 61,279,000円（58,950,000円）4.0%増 決算額 56,913,956円（60,545,965円）6.0%減	

説 明

市が特定の市民のために行う役務に対し、その費用の全部又は一部を碧南市使用料及び手数料条例に基づき徴収するものである。

（単位：円）

目	節	説 明	金 額
総務費手数料	税務関係諸手数料	諸証明等手数料	3,269,400
	戸籍住民基本台帳関係手数料	戸籍住民基本台帳関係手数料	20,080,380
衛生費手数料	生活習慣病予防健診等手数料	生活習慣病予防健診等手数料	13,890,100
	ごみ処理手数料	ごみ処理手数料（環境課窓口分）	1,159,650
		ごみ処理手数料（指定袋販売店分）	11,056,500
	犬登録等手数料	犬登録等手数料	2,817,400
土木費手数料	屋外広告物許可手数料	屋外広告物許可手数料	1,349,500
その他100万円未満のもの		14件	3,291,026

1 項 国庫負担金	こども課 ほか
予算現額 3,333,343,000 円 (3,096,522,000 円) 7.6%増 決算額 3,245,167,547 円 (2,895,750,408 円) 12.1%増	

説 明

特定の事業を実施するために、地方財政法に基づき国が経費の一部又は全部を交付するものである。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
民生費 国庫負担金	特別障害者福祉手当給付費負担金	特別障害者福祉手当給付費負担金	22,054,125
	児童福祉費負担金	子どものための教育・保育給付費国庫負担金（施設型給付費）	644,000,379
	生活保護費等負担金	生活保護費負担金	396,506,518
	保険基盤安定等負担金	保険基盤安定負担金	54,951,387
		未就学児均等割保険料負担金	2,109,761
	児童扶養手当費負担金	児童扶養手当事業費	60,716,486
	障害者自立支援給付費負担金	障害者自立支援給付費負担金	719,032,772
	障害者医療費負担金	障害者医療費負担金	31,478,809
	児童手当国庫負担金	児童手当国庫負担金	993,834,774
	児童入所施設措置費等国庫負担金	母子生活支援施設入所措置事業費	1,621,545
	障害児施設措置費（給付費等）負担金	障害児施設措置費（給付費等）負担金	221,022,672
	介護保険料負担金	介護保険料負担金	17,506,200
	生活困窮者自立相談支援等事業費負担金	生活困窮者自立相談支援事業費負担金	7,013,658
		住居確保給付金事業費負担金	1,166,400
		被保護者就労支援事業費負担金	3,750,000
	母子保健衛生費等負担金	未熟児養育医療費等負担金	1,538,950
	子育てのための施設等利用給付交付金	子育てのための施設等利用給付交付金	9,617,852
衛生費 国庫負担金	新型コロナウイルスワクチン接種事業費負担金	新型コロナウイルスワクチン接種事業費負担金（繰越明許費）	10,152,747
		新型コロナウイルスワクチン接種健康被害給付費負担金	46,077,253
その他 100 万円未満のもの		3 件	1,015,259

2項 国庫補助金	こども課 ほか
予算現額 2,059,390,000 円 (1,719,941,000 円) 19.7%増 決算額 1,604,493,039 円 (1,285,489,625 円) 24.8%増	

説 明

特定の事業を実施するために、国が経費の一部又は全部を交付するものである。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
総務費 国庫補助金	社会保障・税番号制度システム整備費補助金	個人番号カード交付事務費補助金	11,178,000
		社会保障・税番号制度システム整備費補助金（総務省）	3,876,000
		社会保障・税番号制度システム整備費補助金（総務省／繰越明許費）	8,525,000
		社会保障・税番号制度システム整備費補助金（法務省）	1,760,000
		社会保障・税番号制度システム整備費補助金（法務省／繰越明許費）	8,833,000
	デジタル基盤改革支援費補助金	情報システム標準化整備事業費	127,015,000
	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	3,564,000
		給付金・定額減税一体支援事業費交付金	538,169,107
	外国人受入環境整備交付金	外国人受入環境整備交付金（運営事業分）	7,133,000
民生費 国庫補助金	地域生活支援事業費等補助金	地域生活支援事業費等補助金	21,046,000
	生活困窮者自立相談支援等事業費補助金	被保護者就労準備支援事業費補助金	3,024,000
		生活困窮者就労準備支援・家計改善支援一体実施事業費補助金	2,495,000
	母子家庭等自立支援対策事業費補助金	母子自立支援給付金給付事業費	1,843,000
	子ども・子育て支援交付金	子ども・子育て支援交付金	100,953,000
	保育対策総合支援事業費補助金	保育対策総合支援事業費補助金	16,316,000
	子ども・子育て支援事業費補助金	子ども・子育て支援事業費補助金	9,212,000
	子ども・子育て支援施設整備交付金	子ども・子育て支援施設整備交付金	4,711,000
	地域障害児支援体制強化事業費等補助金	地域障害児支援体制強化事業費等補助金	6,287,000
	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	給付金・定額減税一体支援事業費交付金	132,718,511

		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（繰越明許費）	27, 250, 388
		給付金・定額減税一体支援事業費交付金（繰越明許費）	44, 764, 928
		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（令和 6 年度追加分）	137, 283, 105
		地域介護・福祉空間整備推進交付金	7, 729, 000
衛生費 国庫補助金	母子保健衛生費国庫補助金	産婦健康診査事業費	2, 750, 000
	出産・子育て応援交付金	出産・子育て応援事業費	35, 068, 000
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費（繰越明許費）	4, 890, 000
土木費 国庫補助金	社会資本整備総合交付金	地域住宅事業費	43, 001, 000
		住宅・建築物安全ストック形成事業費	4, 918, 000
		狭あい道路整備等促進事業費	10, 490, 000
		空き家再生等推進事業費	2, 000, 000
	無電柱化推進計画補助金	（都）碧南駅前線整備事業費	17, 600, 000
		（都）碧南駅前線整備事業費（繰越明許分）	46, 000, 000
	防災・安全交付金	長田橋橋梁改修事業費	27, 375, 000
		都市公園事業費	20, 000, 000
		長田橋橋梁改修事業費（繰越明許費）	1, 660, 000
		主要道路事業費（繰越明許費）	4, 400, 000
	道路更新防災等対策事業補助金	道路メンテナンス事業費	19, 250, 000
		道路メンテナンス事業費（繰越明許費）	70, 400, 000
教育費 国庫補助金	特別支援教育就学奨励費補助金	特別支援教育就学奨励費補助金（小学校分）	1, 837, 000
	教育支援体制整備費補助金	帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業費	4, 011, 000
	学校施設環境改善交付金	小学校施設整備事業費	40, 400, 000
		中学校施設整備事業費	5, 383, 000
		学校給食センター整備事業費	11, 330, 000
その他 100 万円未満のもの		14 件	6, 044, 000

3 項 国庫委託金	国保年金課 ほか
予算現額 18,652,000 円 (18,408,000 円) 1.3%増 決算額 20,121,561 円 (19,869,245 円) 1.3%増	

説 明

特定の事業を実施するために、地方財政法に基づき国が経費の一部又は全部を交付するものである。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
総務費委託金	中長期在留者住居地届出等事務委託金	中長期在留者住居地届出等事務委託金	1,333,000
民生費委託金	国民年金事務費委託金	基礎年金等事務費	17,898,743
その他 100 万円未満のもの		3 件	889,818

1 項 県負担金	福祉課 ほか
予算現額 1,311,940,000 円 (1,152,411,000 円) 13.8%増 決算額 1,232,609,594 円 (1,164,387,882 円) 5.9%増	

説 明

特定の事業を実施するために、地方財政法に基づき県が経費の一部又は全部を交付するものである。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
民生費県負担金	児童福祉費負担金	施設型教育・保育給付費等県費負担金	266,621,640
	生活保護費負担金	住所不定者分	5,462,105
	保険基盤安定等負担金	保険基盤安定負担金	160,967,902
		未就学児均等割保険料負担金	1,054,880
	障害者自立支援給付費等負担金	障害者自立支援給付費等負担金	359,516,385
	後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金	後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金	120,854,182
	障害者医療費負担金	障害者医療費負担金	15,739,402
	児童手当県費負担金	児童手当県費負担金	171,697,385
	障害児施設措置費（給付費等）負担金	障害児施設措置費（給付費等）負担金	110,511,335
	介護保険料負担金	介護保険料負担金	8,753,100
	民生委員・児童委員活動等費用弁償費等負担金	民生委員・児童委員活動等費用弁償費等負担金	6,958,760
	子育て支援施設等利用給付費負担金	子育て支援施設等利用給付費負担金	2,101,050
その他 100 万円未満のもの		5 件	2,371,468

2 項 県補助金	国保年金課 ほか
予算現額 759,384,000 円 (690,122,000 円) 10.0%増 決算額 692,432,461 円 (627,474,102 円) 10.4%増	

説 明

特定の事業を実施するために、県が経費の一部又は全部を交付するものである。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
総務費県補助金	元気な愛知の市町村づくり補助金	元気な愛知の市町村づくり補助金	9,182,000
民生費県補助金	老人福祉費補助金	老人クラブ活動等事業費	3,668,000
	保育園費等補助金	第三子保育料無料化事業費	4,238,000
		1 歳児保育事業費	5,925,000
		施設型教育・保育給付費等補助金	12,748,906
		保育所等給食費軽減対策支援事業費補助金	6,394,000
	福祉医療費補助金	障害者医療費	74,910,000
	児童福祉医療費補助金	元気っ子医療費	83,024,000
		元気っ子医療事務費	1,231,000
		母子家庭等医療費	21,626,000
	在宅重度障害者福祉費補助金	特別障害者手当等給付費	3,276,450
	地域生活支援事業費等補助金	地域生活支援事業費等補助金	10,523,000
	地域障害児支援体制強化事業費等補助金	地域障害児支援体制強化事業費等補助金	3,143,000
	後期高齢者福祉医療費補助金	後期高齢者福祉医療費	55,141,000
	子ども・子育て支援交付金	子ども・子育て支援交付金	86,689,000
	保育対策総合支援事業費補助金	保育対策総合支援事業費補助金	21,756,000
衛生費県補助金	愛知県住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金	住宅用地球温暖化対策設備設置補助事業	11,919,000
	健康増進費補助金	保健事業費	4,630,000
	出産・子育て応援交付金	出産・子育て応援事業費	8,270,000
農林水産業費県補助金	農業委員会費補助金	農業委員会交付金	2,229,000
	排水機維持管理費補助金	排水機維持管理事業費	3,984,000
	多面的機能支払交付金	多面的機能支払交付金	22,859,750
	新規就農総合支援費補助金	新規就農総合支援事業費	2,250,000
	単独県費土地改良事業補助金	碧南用水上部整備事業費	25,549,000
商工費県補助金	愛知県新あいち創造産業立地補助金	愛知県新あいち創造産業立地補助金	22,117,000
土木費県補助金	市町村土木事業費補助金	道路改築事業費	132,355,000
	住宅・建築物安全ストック形成事業費補助金	住宅耐震改修費補助事業費	1,692,000
	空家等対策推進事業費補助金	空家等対策推進事業費	1,300,000
	あいち森と緑づくり都市緑化推進事業費補助金	緑の街並み推進事業費	1,334,000
	公園整備費補助金	街区公園整備事業費	9,360,000

一般会計

歳入 15款 県支出金

	地籍調査費補助金	地籍調査事業費	4,080,000
消防費県補助金	南海トラフ地震等対策事業費	南海トラフ地震等対策事業費補助金	6,016,000
	石油貯蔵施設立地対策等交付金	石油貯蔵施設立地対策等交付金	15,362,000
教育費県補助金	放課後子ども教室推進事業費補助金	放課後子ども教室推進事業費補助金	1,047,000
	私立幼稚園授業料等軽減補助金	私立幼稚園授業料等軽減補助金	2,968,950
	スクールソーシャルワーカー活用事業費補助金	スクールソーシャルワーカー活用事業費補助金	1,124,000
その他 100 万円未満のもの		28 件	8,510,405

3 項 県委託金	税務課 ほか
予算現額 172,148,000 円 (145,707,000 円) 18.1%増 決算額 173,271,592 円 (144,658,694 円) 19.8%増	

説 明

特定の事業を実施するために、県が経費の一部又は全部を交付するものである。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
総務費委託金	県民税徴収取扱費委託金	県民税徴収費	139,447,173
	衆議院議員総選挙費委託金	衆議院議員総選挙費委託金	26,874,651
	統計調査費委託金	統計調査費委託金	3,631,384
土木費委託金	水門樋門等操作費委託金	水門樋門等操作委託金	2,352,000
その他 100 万円未満のもの		10 件	996,384

4 項 県交付金	企画政策課
予算現額 2,418,000 円 (1,528,000 円) 58.2%増 決算額 2,407,932 円 (1,468,076 円) 64.0%増	

説 明

移譲事務交付金

愛知県事務処理特例条例及び愛知県教育委員会事務処理特例条例により、旅券法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、県民の生活環境の保全等に関する条例、文化財保護法に基づく事務等を県から権限移譲を受け、処理した経費を県が交付するものである。

1 項 財産運用収入	財政課 ほか
予算現額 81,557,000 円 (56,558,000 円) 44.2%増 決算額 69,570,227 円 (55,934,447 円) 24.4%増	

説 明

市有財産の貸付料、基金の利子収入、株券の配当金である。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
財産貸付収入	土地貸付料	市有地貸付料	15,726,037
		臨海公園貸付料 (自動販売機)	6,064,300
		港南緑地貸付料 (自動販売機)	1,469,600
	建物貸付料	海浜水族館貸付料 (自動販売機)	1,886,940
		本庁舎貸付料 (広告モニター)	1,161,600
		本庁舎貸付料	1,368,000
利子及び配当金	基金利子収入	財政調整基金利子	19,432,789
		公共施設維持基金利子	4,352,041
		緑化推進基金利子	1,187,563
	配当金	名古屋競馬 (株) 配当金	8,624,500
その他 100 万円未満のもの		35 件	8,296,857

2 項 財産売払収入	財政課 ほか
予算現額 20,748,000 円 (39,898,000 円) 48.0%減 決算額 27,425,805 円 (25,628,821 円) 7.0%増	

説 明

市有の動産、不動産の売却収入である。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
財産売払収入	不動産売払収入	市有地売却代（資産活用課分）	19,619,136
		市有地売却代（土木港湾課分）	7,791,769
その他 100 万円未満のもの		3 件	14,900

一般会計

歳入 17款 寄附金

1項 寄附金	企画政策課 ほか
予算現額 2,562,911,000円 (2,810,849,000円) 8.8%減 決算額 2,471,781,787円 (2,746,405,106円) 10.0%減	

説 明

寄附者の意志に沿い、市民福祉の一助として受入れたものである。

なかでも、「碧南市ふるさと応援寄附金」には、全国から多くの寄附が集まった。

(単位：円)

目・節	細節	件数	金額
総務費寄附金	総務費寄附金（ふるさと応援寄附金）	161,427件	2,457,422,101
	総務費寄附金（企業版ふるさと応援寄附金）	2件	11,700,000
民生費寄附金	民生費寄附金（福祉課分）	2件	29,686
	民生費寄附金（こども課分）	3件	850,000
衛生費寄附金	衛生費寄附金（健康課分）	1件	50,000
教育費寄附金	教育費寄附金（庶務課分）	4件	1,700,000
	教育費寄附金（藤井達吉現代美術館分）	1件	30,000

一般会計

歳入 18款 繰入金

1項 基金繰入金	庶務課 ほか
予算現額 180,023,000円 (553,077,000円) 67.5%減 決算額 177,942,739円 (549,857,272円) 67.6%減	

説 明

各基金からの繰入金である。

(単位：円)

目	節	説明	金額
基金繰入金	まなびさぼーと基金繰入金	まなびさぼーと基金繰入金	621,000
	交通安全基金繰入金	交通安全基金繰入金	3,800,000
	緑花推進基金繰入金	緑花推進基金繰入金	1,795,421
	国際交流基金繰入金	国際交流基金繰入金	3,553,318
	公共施設維持基金繰入金	公共施設維持基金繰入金	162,535,000
	福祉基金繰入金	福祉基金繰入金	5,638,000

1 項 繰越金	財政課
予算現額 1,756,434,083 円 (3,112,344,900 円) 43.6%減 決算額 1,756,434,117 円 (3,112,345,493 円) 43.6%減	

説 明

前年度からの繰越金である。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
繰越金	繰越金	繰越金	1,634,043,034
		繰越金（繰越明許費）	122,391,083

1項	延滞金、加算金及び過料	税務課
予算現額	7,300,000円(7,300,000円)増減無	
決算額	8,048,045円(8,327,707円)3.4%減	

説 明

市税条例等に規定された延滞金である。

2項	市預金利子	財政課
予算現額	851,000円(391,000円)117.6%増	
決算額	3,775,981円(822,381円)359.2%増	

説 明

一般会計の歳計現金及び歳入歳出外現金に係る利子収入である。

3項	貸付金元利収入	商工課
予算現額	180,002,000円(180,004,000円)0.0%減	
決算額	180,010,769円(180,001,582円)0.0%増	

説 明

一般会計から地方公共団体以外の者に直接貸し出された資金の元利収入である。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
貸付金元利収入	労働金庫預託金収入	労働金庫預託金、預託金利子	40,000,797
	産業預託金収入	小規模企業等振興資金預託金	100,000,000
	商工中金預託金収入	商工中金預託金、預託金利子	40,009,972

4項 雑入	庶務課 ほか
予算現額 975,021,000 円 (832,072,000 円) 17.2%増 決算額 919,501,777 円 (779,314,270 円) 18.0%増	

説 明

他の歳入科目に計上されない収入である。

(単位：円)

目	節	説 明	金 額
雑入	高額療養費返納金	障害者医療費立替分	40,932,697
		元気っ子医療費立替分	19,583,434
		母子家庭等医療費立替分	4,166,209
		後期高齢者福祉医療費立替分	26,740,985
	学校給食費	学校給食費	302,676,961
	総務費雑入	団体取扱生命保険事務費	3,157,998
		後期高齢者医療広域連合派遣職員負担金	7,455,327
		愛知県都市職員共済組合派遣職員負担金	12,393,714
		上下水道オンライン運用負担金	2,583,239
		庁舎使用料等負担金	15,279,424
		職員駐車場負担金	6,239,800
		全国市有物件等損害保険金	1,131,778
		新宝くじ交付金	10,149,000
		自治総合センターコミュニティ助成金	2,500,000
		市町村振興協会基金交付金	17,488,000
		雇用保険本人負担金	5,088,793
		収入印紙等販売代金	18,387,000
		広報・ホームページ広告料	3,917,100
		その他	9,012,174
	民生費雑入	障害福祉サービス過誤請求返還金等	13,771,973
		老人ホーム措置費徴収金	9,617,640
		保育園職員給食代	7,624,772
		民間保育所園医事務費委託金	1,411,280
		碧南高浜地域活動支援センター高浜市負担金	4,689,719
		プチ保育事業利用者負担金	3,059,100
		後期高齢者医療広域連合受託事業収入	56,594,133
		後期高齢者医療広域連合交付金	1,345,000
		生活保護費返還金	9,752,171
		保育園給食代	18,754,145
	衛生費雑入	保健センター維持管理費負担金	2,805,447
		分別収集資源売却代	13,919,089
		休日歯科診療所診療料	2,735,019
		障害者歯科診療所診療料	1,371,258
		新型コロナウイルスワクチン接種費助成金	31,988,200
		過年度新型コロナウイルスワクチン予防接種健康被害給付費負担金	88,934,480

一般会計

歳入

20款

諸収入

	農林水産業費雑入	農産物売払収入	9,432,691
		あおいパーク食堂等電気料負担金	4,029,354
		土地改良施設維持管理適正化事業交付金	28,800,000
	商工費雑入	ボートレースチケットショップ高浜環境整備協力費	14,885,502
	土木費雑入	釣り広場管理費	7,173,358
		市営住宅退去者補修負担金	2,428,339
		下水道取付管設置工事負担金 (繰越明許分)	2,418,900
	消防費雑入	消防団員退職報奨金	7,954,000
	教育費雑入	日本スポーツ振興センター保護者負担金	2,510,220
		博物館学習活動参加者負担金	1,556,900
		水族館物品販売等売上料	12,326,910
		無我苑呈茶料	5,124,000
		臨海公園変圧器及び照明器具修繕費用弁償金	4,200,350
		スポーツ振興くじ助成金	2,624,000
		スポーツ教室受講者負担金	4,588,800
		美術館特別展図録等売上料	4,124,620
		歴史系企画展図録売上料	1,192,000
		教育文化助成金	1,000,000
		違約金	2,692,800
	その他 100 万円未満のもの	185 件	23,181,974

1 項 市債	財政課
予算現額 1,671,400,000 円 (968,100,000 円) 72.6%増 決算額 949,800,000 円 (673,300,000 円) 41.1%増	

説 明

地方財政法の規定により主に特定の事業を行う場合の財源とするため長期の借入資金とするもので、後年度負担を勘案し、起債した。

目	説 明	金額 (円)	借入先	利率 (%)	償還期間 (据置)
民生債	東部市民プラザ費臨時事業(受水槽更新工事)	10,000,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
農林水産業債	県営川口揚水機場更新事業	19,800,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
		8,200,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	県営排水施設保全対策事業	18,800,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	碧南用水上部整備事業	16,300,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
土木債	生活道路整備事業	26,200,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	長田橋橋梁改修事業	24,600,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
		8,700,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	主要道路整備事業	51,200,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	矢作川堤防リフレッシュ事業	22,700,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	北部工業地整備事業	89,100,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	(都) 碧南駅前線整備事業	12,900,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
		100,800,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	名鉄碧南中央駅前広場整備事業	24,400,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	街区公園等整備事業	18,100,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	公園施設長寿命化対策事業	9,900,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
		4,000,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	都市下水路費臨時事業(天神町水路整備)	11,400,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
教育債	小学校施設長寿命化事業(中央小トイレ改修)	37,500,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
		68,500,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	小学校施設長寿命化事業(新川小トイレ改修)	37,500,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
		37,400,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	学校給食費臨時事業	28,000,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
		43,500,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	棚尾公民館臨時事業(棚尾公民館昇降機改修)	1,400,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
土木債	水族館費臨時事業(水族館・科学館外壁改修)	24,800,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	長田橋橋梁改修事業(繰越明許費)	1,400,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
		93,000,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	主要道路整備事業(繰越明許費)	3,200,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
		1,300,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
	橋梁長寿命化対策事業(港南橋(下流側)橋梁修繕工事)(繰越明許費)	57,600,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
		3,300,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)

一般会計

歳入 2 1 款 市債

	(都) 碧南駅前線整備事業 (繰越明許費)	33,800,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)
		500,000	碧海信用金庫	0.949	10 年(1)

歲 出

●歳出報告の見かた
一般会計

○款 ○○費
□項 □□費

所管課		該当するSDGsアイコン	
○目	△△費	○○課	SDGs
予算現額	円		
決算額	円		
(前年度決算額)	円		
		決算額の	その他特財
		財源内訳	一般財源
			円
			円

説明

1 ○○事業	予算現額	1, 000, 000, 000 円	(1, 000, 000, 000 円)	増減無
	決算額	900, 000, 000 円	(950, 000, 000 円)	5.3%減
		現年度	前年度	前年比

●持続可能な開発目標（SDGs）の詳細

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられました。2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。

1 貧困をなくそう	目標 1 [貧困] あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	2 飢餓をゼロに	目標 2 [飢餓] 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
3 すべての人に健康と福祉を	目標 3 [保健] あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	4 質の高い教育をみんなに	目標 4 [教育] すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
5 ジェンダー平等を實現しよう	目標 5 [ジェンダー] ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	6 安全な水とトイレを世界中に	目標 6 [水・衛生] すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	目標 7 [エネルギー] すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	8 働きがいも経済成長も	目標 8 [経済成長と雇用] すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する
9 産業と雇用創出の振興をつくろう	目標 9 [インフラ、産業化、イノベーション] 強靱（レジリエント）なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る	10 人や国の不平等をなくそう	目標 10 [不平等] 国内および国家間の不平等を是正する
11 住み続けられるまちづくりを	目標 11 [持続可能な都市] 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱（レジリエント）かつ持続可能にする	12 つくる責任 つかう責任	目標 12 [持続可能な消費と生産] 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
13 気候変動に具体的な対策を	目標 13 [気候変動] 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	14 海の豊かさを守ろう	目標 14 [海洋資源] 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
15 陸の豊かさも守ろう	目標 15 [陸上資源] 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	16 平和と公正をすべての人に	目標 16 [平和] 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
17 パートナリシップで目標を達成しよう	目標 17 [実施手段] 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する		

1 目 議会費	議事課	S D G s	   
予算現額	266,167,000 円	決算額の	その他特財 98,400 円
決算額	261,364,460 円	財源内訳	一般財源 261,266,060 円
(前年度決算額)	262,930,953 円)		

説 明

- 1 議員人件費 予算現額 199,018,000 円 (196,718,000 円) 1.2%増
決 算 額 199,015,096 円 (196,715,997 円) 1.2%増

議員人件費 (22人)

(事業の目的及び概要)

「碧南市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例」に基づく支給。
議員報酬と6月、12月に支給した期末手当。

報酬月額

議 長 543,000 円

副議長 503,000 円

議 員 448,000 円

- 2 議会事務管理事業 予算現額 49,288,000 円 (52,397,000 円) 5.9%減
決 算 額 46,461,401 円 (51,061,545 円) 9.0%減

一般職人件費 (6人) ※内1名年度途中で育児休業取得

(事業の目的及び概要)

一般職員人件費、他市町村議会からの行政視察の受け入れ及び諸般の事項について研究、
審議し、交流及び意思の疎通を図る。

- 3 議長等政策推進事業 予算現額 1,460,000 円 (1,388,000 円) 5.2%増
決 算 額 751,518 円 (876,823 円) 14.3%減

(事業の目的及び概要)

市民及び各種団体との交流や情報交換を通じて、市政運営の理解と協力を得る。

全国の各協議会と連携し市議会の運営に関する調査、地方自治についての情報・資料の
収集を図る。

全国市議会議長会研究フォーラム出席

(事業の成果)

議会運営や地方自治に関する情報や資料が得られ、議会の円滑な運営を図った。

【交際費執行状況】

項目	香 料		会 費		その他		合 計	
	件数	支出額 (円)	件数	支出額 (円)	件数	支出額 (円)	件数	支出額 (円)
合計	7	85,000	25	195,500	2	16,154	34	296,654

- 4 議事録等作成事業 予算現額 3,779,000 円 (3,434,000 円) 10.0%増
決 算 額 3,069,572 円 (3,366,220 円) 8.8%減

(事業の目的及び概要)

地方自治法第 1 2 3 条の規定により会議録を調製し、会議録の写しを添えて会議の結果を市長に報告するとともに、市民図書館等へ配付して公開している。

また、会議録検索システムをインターネットで公開し、市民が自由に閲覧できるようにしている。

(事業の成果)

定例会・臨時会等音声データ反訳、会議録検索システム用データ加工を行い、会議録検索システムにより会議録検索が容易にできるようにし、議会情報の公開を図り、市民に開かれた議会に資することができた。

5 議会選彰事業

予算現額 79,000 円 (73,000 円) 8.2%増

決 算 額 36,433 円 (36,597 円) 0.4%減

(事業の目的及び概要)

各種大会、コンテストの市議会議長賞の賞品代。市議会議長賞については、子どもは 1 点につき 1,500 円以内、大人は 1 点につき 3,000 円以内で交付している。

議長賞 1 3 件

(事業の成果)

市議会の存在が広く知られ、身近なものになり、議会運営への理解と協力が得られた。

6 議員研修事業

予算現額 6,725,000 円 (6,753,000 円) 0.4%減

決 算 額 6,325,120 円 (5,622,580 円) 12.5%増

(事業の目的及び概要)

地方自治に関する調査研究活動を行い、議員活動の活性化を図る。

(1) 議員研修会

7 月 2 9 日 「Z o o m にホストで挑戦」 (大野裕史氏)

8 月 8 日 J E R A 碧南火力発電所及び衣浦ポートアイランドの視察

9 月 2 6 日 「Z o o m 運用編」 (大野裕史氏)

1 月 2 1 日 愛知県陶器瓦工業組合シャモット工場の視察

2 月 2 1 日 「巨大地震発生時に地方議員に求めること」 (危機管理教育研究所
代表 国崎信江氏)

(2) その他研修会

1 月 2 8 日 「災害からいのちと暮らしをどう守るか～能登半島地震等の現場から」
(認定 N P O 法人レスキューストックヤード代表理事 栗田暢之氏)
〔西三河市議会議員合同研修会〕

(3) 委員会行政視察研修

常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会において以下の日程で視察を実施し、

1 2 月定例会及び 1 2 月開催の市議会協議会で各委員長から視察報告が行われた。

総務文教委員会 1 0 月 2 2 日から 1 0 月 2 4 日

福祉健康委員会 1 1 月 1 8 日から 1 1 月 2 0 日

経済建設委員会 1 0 月 2 2 日から 1 0 月 2 4 日

臨海対策特別委員会 1 0 月 2 9 日

議会基本条例推進特別委員会 1 0 月 3 1 日から 1 1 月 1 日

一般会計	歳出	1 款 1 項	議会費 議会費

議会運営委員会

10月15日から10月16日

(4) 政務活動費

1人当り 16,500円/月

会派（所属議員が1人の場合を含む）に支給

心政会	8人	みらい市民クラブ	5人
日本共産党碧南市会議員団	2人	公明党	2人
翔政会	2人	碧南維新の会	1人
みどりクラブ	1人	碧南市民の会	1人

(事業の成果)

調査研究活動の一助となり、本会議や委員会において活発な議論が交わされ、会議が活性化した。

7 議会報発行事業

予算現額 1,468,000円(1,652,000円) 11.1%減

決算額 1,463,825円(1,583,811円) 7.6%減

(事業の目的及び概要)

開かれた議会をめざし、市民にわかりやすい議会を広報するために「へきなん議会だより」を発行する。また、目の不自由な方に「声の議会だより」を送付する。

(事業の成果)

5月(3月定例会)、7月(5月臨時会)、8月(6月定例会)、11月(9月定例会)及び2月(12月定例会)の計5回発行した。

議会の活動状況を積極的に市民に提供でき、議会への関心を高めた。

8 議会インターネット映像配信事業

予算現額 1,656,000円(1,662,000円) 0.4%減

決算額 1,655,280円(1,661,220円) 0.4%減

(事業の目的及び概要)

市政への住民参画、開かれた議会及び議会の情報公開を目的として実施。

アクセス件数 10,132件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
件数	485	481	967	1105	626	648	339	142	1040	406	2049	1844

(事業の成果)

市民が自宅のパソコンから、インターネットで本会議及び常任委員会の様子を見ることができる。開催日から5日ほどで配信を行っている。

9 議会ICT推進事業

予算現額 2,040,000円(2,023,000円) 0.8%増

決算額 2,024,787円(2,006,160円) 0.9%増

(事業の目的及び概要)

ICT機器の導入により、会議資料のペーパーレス化を図るとともに、非常時における円滑な議会活動を推進するために実施。

(事業の成果)

各議員にタブレット端末を貸与し、会議資料のペーパーレス化を実施した。

一般会計	歳出	1 款	議会費
		1 項	議会費
1 0 議員改選事業	予算現額	654,000 円 (0 円)	皆増
	決算額	561,428 円 (0 円)	皆増

(事業の目的及び概要)

市議会議員改選に伴う第 2 0 期議員受入れに要する経費である。主な経費は次のとおりである。

- (1) 議員章 (2 2 名分) 等購入
- (2) 第 2 0 期碧南市議会議員集合写真撮影
- (3) 議場内、議員名柱作成 (4 面氏名及び議席番号)

(事業の成果)

市議会議員改選後、第 2 0 期議員の受入れを円滑に行うことができた。

1 目 一般管理費	秘書課 行政課 監査委員事務局	S D G s	
予算現額	1,309,013,000 円	決算額の	その他特財 289,009,167 円
決算額	1,228,695,444 円	財源内訳	一般財源 939,686,277 円
(前年度決算額	925,938,278 円)		

説 明

- 1 総務事務管理事業 予算現額 1,264,967,000 円 (944,400,000 円) 33.9%増
決 算 額 1,196,771,326 円 (859,813,645 円) 39.1%増

特別職及び一般職人件費等

(特別職 2 人、一般職 7 8 人、一般職 (再任用) 9 人)

- 2 文書集配事務事業 予算現額 3,210,000 円 (3,084,000 円) 4.1%増
決 算 額 2,896,822 円 (2,783,637 円) 4.1%増

(事業の目的及び概要)

市役所と各公共施設との文書及び物品の集配、郵便局への郵便物の運搬等に要する経費
(事業の成果)

市役所及び公共施設間の文書等のやり取りを円滑に行うことができた。

- 3 公平委員会運営事業 予算現額 442,000 円 (414,000 円) 6.8%増
決 算 額 261,240 円 (153,360 円) 70.3%増

(事業の目的及び概要)

公平委員会の運営に要する経費

(事業の成果)

- (1) 公平委員会の開催 (2 回)

委員数 3 人

- (2) 申立状況

(単位 件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
申立件数	0	0	1

- 4 固定資産評価審査委員会運営事業 予算現額 200,000 円 (200,000 円) 増減無
決 算 額 25,200 円 (27,200 円) 7.4%減

(事業の目的及び概要)

固定資産評価審査委員会の運営に要する経費

(事業の成果)

- (1) 固定資産評価審査委員会の開催 (1 回)

委員数 3 人

(2) 審査申出状況

(単位 件)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
申出件数	0	0	0	0
	0	0	0	0

5 顧問弁護士委託事業

予算現額 600,000 円 (600,000 円) 増減無

決算額 600,000 円 (600,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

行政上の諸問題について顧問弁護士に相談するために要する経費

(事業の成果)

行政事務事業推進における法律上の諸問題についての対応を相談し、適切な助言を受けることができた。

相談実績

(単位 件)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数		1 1	2 6	2 7

6 情報公開・個人情報保護審査会運営事業

予算現額 105,000 円 (105,000 円) 増減無

決算額 0 円 (0 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

情報公開・個人情報保護審査会の運営に要する経費

(事業の成果)

(1) 情報公開・個人情報保護審査会の開催 (令和6年度開催実績なし)

委員数 5 人

(2) 情報公開及び個人情報開示請求件数

(単位 件)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
情報公開請求		6 2	7 1	1 0 0
個人情報開示請求		6 9	5 9	5 8

(3) 決定内容 (情報公開請求及び個人情報開示請求)

(単位 件)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
公開(部分公開含む)		1 2 7	1 2 4	1 5 4
非公開		0	0	2
非公開(文書不存在)		4	6	2

(4) 不服申立て件数

(単位 件)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
不服申立て (うち取下げ)		0 (0)	0 (0)	2 (0)

一般会計	歳出	2 款 1 項	総務費 総務管理費
7 行政不服審査会運営事業	予算現額	63,000 円 (63,000 円)	増減無
	決 算 額	0 円 (0 円)	増減無

(事業の目的及び概要)

行政不服審査会の運営に要する経費

(事業の成果)

(1) 行政不服審査会の開催 (令和 6 年度開催実績なし)

委員数 3 人

(2) 審査請求件数

(単位 件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
審査請求	0	0	0

8 一般管理費全庁事務管理事業	予算現額	39,426,000 円 (32,024,000 円)	23.1%増
	決 算 額	28,140,856 円 (26,560,436 円)	6.0%増

(事業の目的及び概要)

市の文書発送に伴う郵便料金、庁内複写機コピー料等、全庁的な事務管理に要する経費

(事業の成果)

(1) 複合機設置状況 (令和 6 年度末現在)

庁内 21 台、施設 33 台 合計 54 台

(2) 郵便等取扱い件数

(単位 通)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
郵便等取扱件数	873,552	676,517	795,030

(3) 地図訂正件数

(単位 件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地図訂正委任件数	0	1	0

2 目 秘書管理費	秘書課	S D G s		
予算現額	7,971,000 円	決算額の	一般財源	5,400,060 円
決算額	5,400,060 円	財源内訳		
(前年度決算額)	5,142,508 円)			

説 明

- 1 秘書事務管理事業 予算現額 1,272,000 円 (1,223,000 円) 4.0%増
決 算 額 1,077,648 円 (1,081,942 円) 0.4%減

秘書課の事務管理に要する経費

- 2 市長等政策推進事業 予算現額 3,285,000 円 (4,077,000 円) 19.3%減
決 算 額 1,690,807 円 (2,668,052 円) 36.6%減

(事業の目的及び概要)

市長、副市長が行う各種政策の推進に要する経費

(事業の成果)

市長及び副市長が行う各種政策を、円滑に推進することができた。

- 3 市制記念式典開催事業 予算現額 627,000 円 (664,000 円) 5.6%減
決 算 額 568,450 円 (539,365 円) 5.4%増

(事業の目的及び概要)

市制記念式典の開催に要する経費

(事業の成果)

市制施行記念日である令和6年4月5日に「市制76周年記念式典」を執り行い、碧南市出身の音楽家による記念コンサートを開催するとともに、住民福祉の向上に貢献し、又は永く公職に従事しその功績が顕著な方を、市政功労者として表彰した。

(1) 市政功労者の表彰 18名

(2) 記念コンサート サクソフォンカルテット コンサート

大塚加奈恵、岸野舞美、佐藤杏奈、山田悠維 (サクソフォン)

(3) 出席者数 300名

- 4 市長選彰事業 予算現額 2,787,000 円 (1,085,000 円) 156.9%増
決 算 額 2,063,155 円 (853,149 円) 141.8%増

(事業の目的及び概要)

市長賞の賞品等の購入及び表彰審査会の運営に要する経費

(事業の成果)

市長賞の授与や各種行事への後援等を通じて、市民活動の支援を行うことができた。また、表彰審査会を開催し、市政功労者の選考について調査及び審議を行った。

(1) 各種大会賞品等の購入

(2) 表彰審査会 令和7年2月5日開催 出席委員7名

(3) 市政功労章バッジの購入

3 目 姉妹友好都市費	地域協働課	S D G s	 
予算現額	5,774,000 円	決算額の	その他特財 4,186,050 円
決算額	4,382,610 円	財源内訳	一般財源 196,560 円
(前年度決算額)	5,546,608 円)		

説明

1 友好親善交流事業

予算現額 5,141,000 円 (8,380,000 円) 38.7%減

決 算 額 3,749,878 円 (5,289,441 円) 29.1%減

(事業の目的及び概要)

昭和 63 年に市制 40 周年を記念して姉妹都市、青年友好都市提携をそれぞれ締結したアメリカ合衆国ワシントン州エドモンズ市、北海道夕張郡由仁町との交流を中心に、その後友好都市、姉妹都市提携を行った豊田市小原地区（旧小原村）、クロアチア共和国プーラ市との交流を実施している。

(主な事業)

(1) 姉妹都市友好都市交流

2,269,878 円

ア 姉妹都市交流

(ア) エドモンズ市学生使節団受け入れ

日程 7 月 30 日（火）～8 月 8 日（木）

人数 7 名（学生 6 名、引率教諭 1 名）

(イ) 中高生等エドモンズ市派遣

日程 8 月 19 日（月）～8 月 29 日（木）

人数 8 名（碧南市学生 7 名、引率教諭 1 名）

(ウ) プーラ市との交流

大浜てらまちウォーキングの前夜祭の一つとして、エリス・ロヴリッチ氏（プーラ市出身歌手）とトオヤマウタコ氏（歌手）が、クロアチア語の方言であるラビン語と日本語を組み合わせた曲によるコンサートを開催した。

日程 10 月 19 日（土）17 時 30 分～18 時 15 分

場所 林泉寺

人数 96 名

イ 友好都市交流

(ア) 北海道由仁町

由仁町夏まつり訪問

日程 8 月 3 日（土）～8 月 4 日（日）

人数 4 名（市長、地域協働課長、公募の会員 2 名）

(イ) 豊田市小原地区（旧西加茂郡小原村）

小原歌舞伎五月公演訪問 5 月 26 日（日） 23 名

小原四季桜まつり訪問 11 月 24 日（日） 31 名

(2) 碧南市友好親善協会補助

1,450,000 円

碧南市友好親善協会は平成 2 年 4 月 21 日に設立。碧南市から姉妹都市・友好都市交流事業を受託し、市民レベルでの交流を推進している。

また、多文化社会での地域在住外国人との交流、国際理解の促進のため、各種自主事業を展開している。

ア 碧南市友好親善協会会員数(令和 7 年 3 月 31 日現在)

(ア) 個人会員 279 名

(イ) 団体会員 11 団体

(3) 姉妹都市・友好都市及び提携年月日

	都市名	提携内容	提携年月日
1	エドモンズ市	姉妹都市	昭和 63 年 4 月 5 日
2	プーラ市	姉妹都市	平成 19 年 4 月 5 日
3	由仁町	青年友好都市	昭和 63 年 4 月 5 日
4	豊田市小原地区	文化・スポーツ友好都市	平成 4 年 4 月 5 日

(事業の成果)

市の実施事業、碧南市友好親善協会への委託による姉妹都市及び友好都市との交流を始め、碧南市友好親善協会への補助による自主事業(市内在住外国人との交流、語学講座等)を通じて、市民レベルでの国際交流・国際相互理解の推進が促進されている。在住外国人との共生を図るものとしての多文化共生事業(日本語教室の実施)なども、ボランティアが主体的に活動しており、市民活動推進にもつながっている。

2 国際交流基金積立事業

予算現額 633,000 円 (258,000 円) 145.3%増

決算額 632,732 円 (257,167 円) 146.0%増

(事業の目的及び概要)

国際交流事業の推進を図る資金に充てるため、国際交流基金利子を基金へ積み立てる。

(事業の成果)

632,732 円を積み立てた。

(年度末残高の推移)

年度	当初残高	取り崩し額	利息	年度末残高
令和 2 年度	175,584,265 円	1,397,990 円	294,209 円	174,480,484 円
令和 3 年度	174,480,484 円	1,480,000 円	225,080 円	173,225,564 円
令和 4 年度	173,225,564 円	1,488,550 円	178,422 円	171,915,436 円
令和 5 年度	171,915,436 円	5,098,845 円	257,167 円	167,073,758 円
令和 6 年度	167,073,758 円	3,553,318 円	632,732 円	164,153,172 円

4 目 人事管理費	秘書課	S D G s			
予算現額	1,040,315,000 円	決算額の	国庫支出金	31,556,633 円	
決算額	1,016,474,375 円	財源内訳	その他特財	13,978,086 円	
(前年度決算額	861,095,307 円)		一般財源	970,939,656 円	

説 明

1 人事事務管理事業 予算現額 28,810,000 円 (29,268,000 円) 1.6%減
決 算 額 27,625,398 円 (28,463,296 円) 2.9%減

(1) 人事事務管理事業

身分証明書用消耗品・書籍等

愛知県派遣職員負担金（都市計画課主幹 1 人、教育委員会指導主事 2 人）

(2) 人事管理システム運営事業

人事管理給与計算システム使用料等

2 会計年度任用職員人件費 予算現額 992,287,000 円 (885,614,000 円) 10.8%増
決 算 額 972,769,857 円 (817,158,710 円) 16.0%増

会計年度任用職員 414 人（令和 7 年 3 月 31 日現在）

内訳 本庁勤務 131 人、施設勤務 130 人、保育園・幼稚園等勤務 153 人

3 職員研修事業 予算現額 6,115,000 円 (6,016,000 円) 1.6%増
決 算 額 4,637,911 円 (4,847,533 円) 4.3%減

(事業の目的及び概要)

碧南市職員研修計画に基づき、きめ細かな住民サービスの提供に向けて、職員一人ひとりの資質及び公務効率の向上により市民に信頼される職員を育成するため、各種研修を実施する。

(事業の成果)

一般研修（階層別研修）、特別研修（実務研修）、自主研修（自己啓発研修）、職場研修（OJT）、派遣研修の 5 つの分野において研修事業を実施した。

一般研修（階層別研修）では、入庁 5、6 年目の主事級の職員を対象に、職場の中核として必要な知識・技能を習得するため、オーナーシップ研修を実施した。また、昇格後 1、2 年目の主査級職員を対象に、中堅職員としての役割を意識し、指導力・率先力を学ぶため、主査研修を実施した。

特別研修（実務研修）では、係長級以上の職員を対象に、ハラスメント防止研修を実施した。

(1) 一般研修（階層別研修）

研 修 名	期間	回数	参 加 人 員
新規採用職員事前研修	2 日	1 回	21 人
新規採用前期研修	2 日	1 回	22 人
主事研修（オーナーシップ研修）	1 日	1 回	36 人
主査研修	1 日	1 回	20 人
行政課題研修	7 ヶ月	1 回	9 人

一般会計

歳出 2 款 総務費
1 項 総務管理費

教養研修（管理者研修）	半日	2 回	3 0 人
管理職研修	1 日	1 回	1 4 3 人
レジリエンス研修	1 日	1 回	3 1 人
ライフプラン研修	半日	1 回	3 3 人

計 3 4 5 人

(2) 特別研修（実務研修）

研 修 名	期間	回数	参 加 人 員
新就職者を励ます会	1 時間	1 回	1 3 人
防火管理講習会	2 日	4 回	1 5 人
人事評価研修（評価者）	3 時間	4 回	1 5 7 人
ハラスメント防止研修（係長級以上）	3 時間	4 回	1 6 4 人

計 3 4 9 人

(3) 自主研修

研 修 名	期間（回数）	参 加 人 員
資格取得支援	随時	4 人

計 4 人

(4) 派遣研修

研 修 名	期間（回数）	参 加 人 員
市町村職員中央研修所（市町村アカデミー：千葉）	5 日～9 日	2 人
市町村職員国際文化研修所（国際アカデミー：大津）	3 日～1 1 日	5 人
自治大学（第 3 部）	2 5 日	1 人
自治大学（第 1 部・第 2 部特別課程）	2 9 日	1 人
自治大学（第 2 部）	9 1 日	1 人
自治大学（デジタル人材確保・育成特別セミナー）	4 日	1 人
国土交通大学	4 日～1 1 日	4 人
愛知県市町村振興協会研修センター	1 ～5 日	6 2 人
西三河 7 市町職員研修協議会	2 ～4 日	7 2 人
日本下水道事業団技術開発研修センター	2 ～1 7 日	2 人
日本経営協会行政講座	1 ～2 日	6 人

計 1 5 7 人

4 職員被服貸与事業

予算現額 659,000 円（745,000 円）11.5%減

決 算 額 511,588 円（529,925 円） 3.5%減

（事業の目的及び概要）

碧南市職員被服貸与規程に基づく、作業服その他の被服購入費

（事業の成果）

作業服の夏上着 2 7 着、夏ズボン 2 7 着、冬上着 2 7 着、冬ズボン 2 6 着を貸与した。

5 職員健康管理事業	予算現額	10,487,000 円 (10,317,000 円)	1.7%増
	決算額	9,049,985 円 (8,451,489 円)	7.1%増

(事業の目的及び概要)

職員の健康管理のため、各種健康診断の実施、産業医面接、カウンセリング及び各種予防接種等を実施するために要する経費

(事業の成果)

(1) 定期健康診断	3 1 3 人
(2) 人間ドック	9 0 1 人
(3) 特殊業務従事者健康診断 (潜水業務従事者)	7 人
(4) 情報機器作業健康診断	1 3 人
(5) ストレスチェック	7 0 3 人
※受検率 87.77%	
(6) 予防接種 (破傷風、B型肝炎)	延べ 3 4 人
(7) 職員定期健康相談	延べ 1 3 人
(8) 新規採用職員健康診断	2 8 人
(9) 常備薬品の補充	秘書課管理
(10) 産業医面接	延べ 2 3 人
(11) 職員メンタルヘルスカウンセリング	延べ 5 1 人

6 職員採用事務事業	予算現額	866,000 円 (836,000 円)	3.6%増
	決算額	833,356 円 (628,034 円)	32.7%増

(事業の目的及び概要)

採用試験の実施に伴う消耗品等の需用費と試験問題及び採点等の委託費

(事業の成果)

令和6年度は事務職、技術職 (土木)、技術職 (建築)、社会福祉士、保健師、水族館学芸員、事務職 (障害者)、保育士・幼稚園教諭、学芸員 (歴史)、看護師、助産師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカー、臨床検査技師、診療情報管理士、医療安全管理室職員の採用試験を実施し、応募者総数は278人、採用者数は63人であった。

7 C・S向上研修実施事業	予算現額	1,091,000 円 (1,129,000 円)	3.3%減
	決算額	1,046,280 円 (1,016,320 円)	2.9%増

(事業の目的及び概要)

C・S (市民満足度) の向上を目標に掲げ、職員一人ひとりの能力をレベルアップさせるために要する経費

(事業の成果)

市長の政策推進を図るため、新規採用職員及び会計年度任用職員を対象に、市民対応の手法を学ぶ市民対応力向上研修を実施した。また、DX及びBPM (ビジネス・プロセス・マネジメント) に関する基本知識を習得し、主体的に業務のスリム化や効率化を推進するためのスキルとマインドを醸成するため、BPM研修を実施した。さらに、BPR (ビジネス・プロセス・リエンジニアリング) に関する基本知識の習得や、窓口業務に焦

点を当て、職員が市民目線で窓口利用体験調査を実施し考察することを通じて、市民サービスの向上及び業務改善を図るため、B P R 研修（窓口利用体験調査）を実施した。

研 修 名	期間	回数	参 加 人 員
市民対応力向上研修（※会計年度任用職員含む）	1 日	1 回	3 1 人
クレーム対応研修	1 日	1 回	3 5 人
C・S マナー職場診断・フォローアップ研修	1 日	1 回	1 2 人
B P M 研修	1 日	1 回	3 3 人
B P R 研修（窓口利用体験調査）	3 日	1 回	2 1 人

計 1 3 2 人

※市政アンケート結果（参考）

設問：市役所職員の対応についてどう思いますか。

（回答数は人数、回答は％）

	回答数	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	無回答
6 年 度	727	16.1	22.3	40.2	9.5	3.9	7.8	0.2
5 年 度	631	19.8	23.3	35.2	10.6	3.3	7.6	0.2
4 年 度	642	18.8	25.2	39.9	7.6	2.5	5.9	0.0

5 目 企画費	企画政策課	S D G s				
予算現額	7,822,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金		25,500 円	
決算額	7,000,964 円		その他特財		775,614 円	
(前年度決算額	7,754,447 円)		一般財源		6,199,850 円	

説明

- 1 企画事務管理事業 予算現額 1,258,000 円 (1,256,000 円) 0.2%増
決算額 628,600 円 (752,640 円) 16.5%減

(事業の目的及び概要)

(一財) 地域活性化センター会費、平和首長会議負担金及び政策形成に係る旅費等の事務に要する経費

- 2 広域行政推進事業 予算現額 6,159,000 円 (6,157,000 円) 0.0%増
決算額 6,158,012 円 (6,156,208 円) 0.0%増

- (1) 広域行政推進事業 52,600 円

(事業の目的及び概要)

衣浦東部広域行政圏協議会 (碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市の5市で構成) とリニア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟会を通して、広域行政を推進する。

(事業の成果)

衣浦東部広域行政圏協議会

令和6年5月 7日 第1回衣浦東部広域行政圏協議会 (書面決議)

令和7年1月30日 第2回衣浦東部広域行政圏協議会

リニア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟会

令和6年8月 9日 2024年度リニア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟会総会

- (2) 衣浦東部情報化推進事業 5,505,412 円

(事業の目的及び概要)

(株)エフエムキャッチに行政番組の作成を委託し、コミュニティラジオの特長を最大限に生かし、市民にとって様々な有益生活情報を発信するとともに、台風・地震等の災害時には関係機関と連携して緊急災害情報を発信し、市民生活の安全を確保する。

(事業の成果)

碧南市に関する情報の放送実績

まちなまど 52件

ウィークリー情報 314件

- (3) 矢作川水源基金負担事業 600,000 円

(事業の目的及び概要)

矢作川水系における治水と水資源の確保のため、矢作川の上下流域地域が連帯して、治山、治水の観点から森林の保全、水源開発に伴う影響緩和のための措置を継続的に実施する。

(事業の成果)

水資源のかん養と安定的確保を図るため、水源林地域市町村が講ずる水源林対策事

業に要する経費に対して助成する水源林地域対策事業を実施した。また、水源林対策事業研究会及び水源地域対策研究会を開催し、令和 7 年度水源林対策事業負担金等についての協議を行った。

3 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業

予算現額 405,000 円 (274,000 円) 47.8%増

決 算 額 214,352 円 (113,439 円) 89.0%増

(事業の目的及び概要)

まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）に基づき、令和 3 年 3 月に策定された「第 2 期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進するため、数値目標や K P I（重要業績評価指標）を客観的に評価・効果検証をする、産・学・官・金・労・言の各分野の有識者や市民を含む「碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を開催する。また、「碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標とマッチングできた企業と包括連携協定の締結、企業版ふるさと納税制度における寄附獲得等、官民連携の強化を図り、総合戦略の推進を図る。

(事業の成果)

- (1) 碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の開催（3 回）

委員数 16 人

開催日 令和 6 年 8 月 1 日、令和 6 年 11 月 12 日、令和 7 年 3 月 18 日

なお、国及び愛知県の総合戦略の改訂を受け、当市の総合戦略についても第 2 期計画の計画期間を 1 年前倒し、令和 7 年 3 月、新たに第 3 期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。今後は新たな数値目標の達成に向け総合戦略に基づく事業を推進していく。

- (2) 包括連携協定

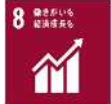
令和 6 年度末の連携企業等数 10 社

- (3) 企業版ふるさと応援寄附金

令和 6 年度実績 現金寄附 1 社（150 万円）

物納寄附 1 社（薬用泡ハンドソープ 720 個）

人材派遣型寄附 1 社（1 人派遣）

6 目 広報広聴費	秘書課 企画政策課	S D G s	   
予算現額 1,318,097,000 円 決算額 1,231,650,719 円 (前年度決算額 1,625,432,439 円)		決算額の 財源内訳	国庫支出金 396,000 円 一般財源 1,231,254,719 円

説明

- 1 広報広聴事務管理事業 予算現額 4,990,000 円 (4,405,000 円) 13.3%増
決算額 4,502,351 円 (3,888,778 円) 15.8%増

(事業の目的及び概要)

市政情報を的確にわかりやすく市民にお知らせするとともに、広く市民の声を聴くことで、今後の市政の推進に活かす。

(事業の成果)

(1) LINE 公式アカウント

まちの話題やイベント、資源ごみ・粗大ごみの日の前日通知など、よりタイムリーな情報の配信を行った。

令和6年度末の友だち登録者数 20,031人

(2) 市長とのおしゃべり会

申込者の指定したテーマについて、考えや感じている事などを市長と話し合い、対話を通じて意見や思いを聞きながら、市の将来像を考える機会とすることを目的とする。令和6年7月から実施し、17件の申込み、延べ248名の参加があった。

(3) 市長への手紙

市長への手紙用紙を市内18か所の公共施設に設置し、郵便料金受取人払いの方法で市民から市政全般についての意見要望を聴いた(総数110通116件)。

項 目	市長とのおしゃべり会 の申込みテーマ数	市長への手紙 の意見数
福祉・健康・病院	5	21
教育・文化	3	5
環境・公害	1	20
公園・まちづくり	5	22
道路・河川・下水道	0	5
交通・防犯・防災	1	8
産業・観光・公共交通	1	2
行革・職員	0	25
その他	1	8
合計	17	116

- 2 広報へきなん作成事業 予算現額 11,636,000 円 (14,540,000 円) 20.0%減
決算額 10,904,865 円 (13,516,995 円) 19.3%減

(事業の目的及び概要)

市政情報をわかりやすく、タイムリーに伝え、市政への関心を高めてもらう。

(事業の成果)

市民に親しまれる広報紙づくりに努めるとともに、必要に応じて特集を組み、市の施策

をより理解していただけるように努めた。

▽広報紙発行 毎月 1 回、22,800 部/回

3 シティプロモーション促進事業 予算現額 50,746,000 円 (90,856,000 円) 44.1%減
決算額 41,023,292 円 (56,694,970 円) 27.6%減

(事業の目的及び概要)

碧南市の魅力や施策の効果的発信方法を研究・実践することにより、市外での認知度の向上による交流人口の増加及び移住・定住の促進を図る。

(事業の成果)

本市にふるさと納税をしていただいた方に寄附への感謝を伝えるとともに、シティプロモーションとして本市の観光や事業者の魅力を発信した。

また、碧南市ふるさと応援寄附金返礼品新規開発費等補助金について 5 件、2,138,000 円の交付決定を行った。

4 ふるさと応援寄附金事業 予算現額 1,250,725,000 円 (1,615,917,000 円) 22.6%減
決算額 1,175,220,211 円 (1,551,331,696 円) 24.2%減

(事業の目的及び概要)

平成 26 年 9 月から市内のパートナー企業と協力し、新たな財源を確保しつつ、寄附者に対して地元特産品をお礼の品として贈呈することで、全国に碧南を広く発信すると共に、パートナー企業と消費者の継続性のある取引に寄与し、地場産業の活性化を目指す。

(事業の成果)

総務省が定めるルール改定により、令和 5 年 10 月より取り扱うことができなくなった返礼品などの影響があり寄附受入金額は減少したが、新規事業者や返礼品の掘り起こしを進め、周知に力を入れることにより、全国に魅力的な地場産品を知っていただき、多くの寄附を受けることができた。

(1) 寄附実績

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
件数 (件)	161,427 件	189,425 件	221,546 件
金額 (円)	2,457,422,101 円	2,733,215,009 円	3,206,838,473 円

(2) 使途別寄附額

寄附金区分	寄附金額(割合)	主な使途分野等
市長が必要と認めるまちづくり (市長にお任せ)	880,394,162 円 (35.8%)	主にマニフェスト事業
結婚・出産・子育て環境づくり	639,876,240 円 (26.0%)	結婚、出産、子育て環境の整備
碧南市民病院の応援	433,944,716 円 (17.7%)	碧南市民病院の運営
しごとづくり	223,830,073 円 (9.1%)	産業振興、産業防災力の強化
元気あふれる地域づくり	200,024,258 円 (8.2%)	市民協働の推進、健康推進、スポーツの振興
新しい人の流れづくり	79,352,652 円 (3.2%)	定住促進、住環境の整備、碧南ブランド力の向上、観光強化

(3) パートナー企業等

令和 6 年度末	118 社 909 品目
令和 5 年度末	107 社 843 品目
令和 4 年度末	115 社 915 品目

7 目 電算管理費	企画政策課	S D G s		
予算現額	417,006,000 円	決算額の	国庫支出金	139,416,000 円
決算額	400,131,433 円	財源内訳	一般財源	260,715,433 円
(前年度決算額	236,148,263 円)			

説 明

- 1 総合行政情報事務管理事業 予算現額 30,593,000 円 (26,517,000 円) 15.4%増
決 算 額 27,906,297 円 (23,472,896 円) 18.9%増

(事業の目的及び概要)

行政情報システムの維持管理に関する事務管理的経費

(事業の成果)

大きなネットワーク回線トラブルなど無く維持管理することができた。

- (1) 旅費 12,420 円
研究会等参加旅費
- (2) 消耗品費及び修繕料 2,566,913 円
プリンタのトナーや消耗品、ケーブル、データ保存用メディア等の市役所で使用する機器の消耗品を購入するとともに、パソコン・プリンタ等の修理を行った。
- (3) 役務費 8,330,740 円
外部施設等との公共施設予約案内システム、証明発行業務、情報の共有や伝達による事務の簡素効率化を図るための庁外ネットワーク (WAN) 及び総合行政ネットワーク (LGWAN) の回線使用料
- (4) 全国町・字ファイル保守委託契約 (委託料) 154,000 円
日本全国の町・字・丁目までの地名の最新データの取得を行う。
- (5) 磁気テープ分散保管 (委託料) 149,424 円
災害時に対するデータの安全対策のため、磁気ディスク内の全データを毎月 1 回磁気テープ等に保存し、愛知県外で分散保管を行う。
- (6) マシン室内機器保守委託等 275,000 円
マシン室空調機保守の保守委託
- (7) 地方公共団体情報システム機構会費 (負担金) 90,000 円
総合行政ネットワーク (LGWAN)、マイナンバーカード等の運営を行っている地方公共団体情報システム機構への会費
- (8) あいち電子自治体推進協議会負担金 3,267,800 円
電子自治体構築を目指し、データセンターの運営及び電子申請・届出システム、電子調達 (電子入札) システムなどの共同開発と運用を行うため、名古屋市を除く県内市町村と愛知県が設立した「あいち電子自治体推進協議会」への負担金
- (9) 中間サーバ利用者負担金 6,977,000 円
マイナンバー情報連携のため整備を行った中間サーバを運用している地方公共団体情報システム機構への負担金。令和 6 年度から 7 年度にかけて新しい環境に更新
- (10) 自治体セキュリティクラウド負担金 6,083,000 円
国からのセキュリティ強化要請により県が調達をすすめた自治体セキュリティクラウド (不審メールへの対応や 24 時間のログ監視などを行う) への負担金

一般会計	歳出	2 款	総務費
		1 項	総務管理費
2 行政情報系システム運用事業	予算現額	165,877,000 円 (174,393,000 円)	4.9%減
	決算額	165,184,138 円 (173,483,577 円)	4.8%減
(事業の目的及び概要)			
住民記録・印鑑・国保・年金・総合税・財務会計等オンラインシステム及び庁内ネットワーク等の行政情報系システムの運用・管理を行う経費			
(事業の成果)			
住民記録・印鑑・国保・総合税等各システムの維持管理に努め、安定的な運用を図ることができた。			
(1) 各システムの運用に伴う保守委託料		6,639,600 円	
総合税等基幹系システム保守委託始め 4 件のシステム及びソフトウェアの保守委託			
(2) 各システムの機器及びシステムの使用料及び賃借料		158,544,538 円	
基幹系システム機器リース、総合税システム機器リースなど機器、ソフトウェアライセンス及びシステムに係る 21 件の賃貸借契約			
3 行政情報システム開発事業	予算現額	204,366,000 円 (42,300,000 円)	483.1%増
	決算額	191,101,998 円 (39,191,790 円)	487.6%増
(事業の目的及び概要)			
行政情報系システムの改修及び新規システムの開発・導入を行った。			
(事業の成果)			
情報システムの標準化対応、総合税システムの改修や社会保障・税番号制度に伴う改修等を実施し、適正な業務運用を図ることができた。			
(1) 事業用消耗品		277,860 円	
職員用 PC 更新に伴う機器及びソフトウェアの更新			
(2) OS 変更委託		550,000 円	
職員用 PC 更新により、既存システムのインストール作業を委託			
(3) 総合税システム等カスタマイズ委託		5,700,200 円	
個人住民税の定額減税、二輪の軽自動車及び二輪の小型自動車に係る軽自動車税の電子化及び確定申告支援システムの申告書電子化対応			
(4) LGWAN アクセス回線作業委託		625,900 円	
LGWAN の回線変更及びガバメントクラウドへの接続を行うための設定変更委託			
(5) ネットワーク機器追加委託		3,975,400 円	
Microsoft 365 導入によるネットワーク機器追加作業委託			
(6) 情報システム標準化対応委託		136,915,900 円	
情報システム標準化システムへ移行のためデータメンテナンス、移行環境構築等の作業委託			
(7) 公共施設予約システム改修作業委託		891,000 円	
施設利用前日までオンライン上でキャンセルができるようにシステム改修			
(8) 各システムの開発・導入に係る使用料及び賃借料		42,087,638 円	
ソフトウェアライセンス更新、職員用 PC 更新等を行った。			
(9) 備品購入		78,100 円	
アンドロイドタブレット 2 台購入			

一般会計	歳出	2 款	総務費
		1 項	総務管理費
4 行政情報系システム運用事業（繰越明許費）	予算現額	16,170,000 円（0 円）	皆増
	決 算 額	15,939,000 円（0 円）	皆増

（事業の目的及び概要）

行政情報系システムの改修を行った。

（事業の成果）

総合税システムの改修や社会保障・税番号制度に伴う改修等を実施し、適正な業務運用を図ることができた。

(1) 社会保障・税番号制度に伴うシステム改修 8,525,000 円

マイナンバーカードへの氏名ローマ字表記等に対応するため住民記録システムの改修

(2) 総合税システム等カスタマイズ委託 7,414,000 円

令和 6 年度に個人住民税で追加された森林環境税等税制改正によるシステム改修

8 目 会計管理費	会計課	S D G s		
予算現額	26,602,000 円	決算額の	一般財源	23,882,663 円
決算額	23,882,663 円	財源内訳		
(前年度決算額	18,427,108 円)			

説 明

1 会計事務管理事業

予算現額 12,732,000 円 (5,911,000 円) 115.4%増

決 算 額 10,477,522 円 (5,093,443 円) 105.7%増

(事業の目的及び概要)

公金出納事務に要する経費

指定金融機関派出業務委託料 (人員)2 人 (開設時間)午前 9 時～午後 5 時

口座振替手数料、ファイル伝送サービス手数料

コンビニ収納代行業務委託料

振込手数料

2 歳入事務電算処理委託事業

予算現額 13,624,000 円 (13,654,000 円) 0.2%減

決 算 額 13,159,291 円 (13,333,665 円) 1.3%減

(事業の目的及び概要)

市税、使用料、その他の収入の領収済通知書や口座振替等の内容を電算化し、収入日計表等の作成を委託する。

(事業の成果)

歳入事務電算処理件数

処理媒体等	処理件数
電子データ (口座振替)	111,483 件
光学読取 (OCR)	82,162 件
パンチ入力	10,483 件
光学読取 (OCR) コンビニ収納分	65,739 件
地方税納入サービス収納	8,965 件
地方税共通納税システム	54,419 件

3 会計管理費臨時事業

予算現額 246,000 円 (0 円) 皆増

決 算 額 245,850 円 (0 円) 皆増

(事業の目的及び概要)

帳票の印刷 (5 年分) に要する経費

(事業の成果)

収入報告書 (1 組 3 枚複写、1 冊 50 組) 300 冊

9 目 財政管理費	財政課	S D G s	
予算現額	399,541,000 円	決算額の	その他特財 61,845,978 円
決算額	399,529,146 円	財源内訳	一般財源 337,683,168 円
(前年度決算額	215,104,300 円)		

説 明

- 1 財政事務管理事業 予算現額 3,459,000 円 (4,604,000 円) 24.9%減
決 算 額 3,448,616 円 (4,594,200 円) 24.9%減

(事業の目的及び概要)

発生主義・複式簿記の導入、固定資産台帳の整備により、客観性・比較可能性を担保した統一的な基準による地方公会計の整備の方針が総務省より示され、当該基準による財務書類等を整備した。

(事業の成果)

統一的な基準に対応した財務書類等（財務書類（連結財務書類を含む）及び附属明細書）を作成した。

- 2 財政調整基金積立事業 予算現額 19,433,000 円 (8,945,000 円) 117.2%増
決 算 額 19,432,789 円 (8,944,668 円) 117.3%増

(事業の目的及び概要)

財政調整基金とは、予期しない収入減や不時の支出増等に備え、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うための積立金である。

(事業の成果)

財源不足に対応するため、19,432,789 円を積み立てた。

基 金 の 状 況	5 年度末現在高	6 年度積立額	6 年度取崩額	6 年度末現在高
(円)	5,970,688,168	19,432,789	0	5,990,120,957

- 3 減債基金積立事業 予算現額 26,000 円 (11,000 円) 136.4%増
決 算 額 25,685 円 (10,130 円) 153.6%増

(事業の目的及び概要)

市債の償還（繰上げ償還含む）に必要な財源を確保し、健全な財政を維持するために減債基金に積立てを行うものである。

(事業の成果)

基金の取り崩しを行わず、基金利子分を積み立てた。

基 金 の 状 況	5 年度末現在高	6 年度積立額	6 年度取崩額	6 年度末現在高
(円)	6,782,108	25,685	0	6,807,793

- 4 公共施設維持基金積立事業 予算現額 376,623,000 円 (201,556,000 円) 86.9%増
決 算 額 376,622,056 円 (201,555,302 円) 86.9%増

(事業の目的及び概要)

将来にわたり公共施設の円滑な維持保全を図ることで安定した市民サービスを提供するため、公共施設維持基金に積立てを行うものである。

(事業の成果)

将来の公共施設維持補修の財源とするため、376,622,056 円を積み立てた。

基 金 の 状 況 (円)	5 年度末現在高	6 年度積立額	6 年度取崩額	6 年度末現在高
	1,149,161,516	376,622,056	162,535,000	1,363,248,572

10目 財産管理費	行政課 財政課	SDG s	 7 清潔で安全なエネルギーに わたるすべての人に アクセス可能に	 8 働きがいも 経済成長も	 11 住み続けられる まちづくりを	 16 平和と公正を すべての人に
予算現額	436,569,762 円	決算額の 財源内訳	その他特財		16,277,605 円	
決算額	405,944,841 円		一般財源		389,667,236 円	
(前年度決算額	370,354,914 円)					

説 明

- 1 契約事務管理事業 予算現額 1,667,000 円 (1,426,000 円) 16.9%増
決 算 額 1,195,275 円 (1,015,131 円) 17.7%増

(事業の目的及び概要)

一定額以上の契約事務を一括で実施し、公正かつ適正な契約を行う。建設工事において工事検査監を配置し、厳正な工事検査を実施する。

<主な支出>

工事等設計書、契約書印刷・製本代 1,000,549 円

(事業の成果)

契約事務を一括で処理することにより電子入札を活用でき、効率よく入札から契約まで行うことができた。

- 2 全庁事務管理事業 予算現額 134,401,000 円 (129,030,000 円) 4.2%増
決 算 額 123,816,123 円 (120,971,257 円) 2.4%増

(事業の目的及び概要)

全庁的に必要な事務用消耗品を一括購入するとともに、物品等の購入、印刷物の発注、委託の発注事務等をまとめて行うことにより事務の合理化を図る。

高齢者教室、小学生や園児の交通教室、水族館での学習等の送迎用バスにおいて、市バスと併せて委託バスを利用し運行を行う。

民有地を公共施設駐車場用地等として借用し、来客者の利便を図る。

<主な支出>

消耗品費 9,719,485 円

バス借上げ委託料 9,130,462 円

有料道路等使用料 1,088,406 円

民有地等借地料 91,678,434 円

(事業の成果)

事務の合理化と経費の削減に努めた。

- 3 市有財産維持管理事業 予算現額 82,465,000 円 (36,352,000 円) 126.9%増
決 算 額 77,132,090 円 (31,645,359 円) 143.7%増

(事業の目的及び概要)

市有地等の除草、庁用車両の点検・車検、更新を実施し、適正な維持管理を図る。

<主な支出>

市有地等除草委託料 2,400,039 円

自動車燃料費 16,260,919 円

自動車修繕料(車検・点検を含む) 4,242,692 円

一般会計	歳出	2 款 1 項	総務費 総務管理費
自賠責保険料、任意保険料			3,520,435 円
自動車重量税			1,033,600 円
車両購入費			10,092,008 円
公有財産購入費（公社から取得後、県に売却）			32,089,145 円
職員駐車場整備工事			2,548,700 円

（事業の成果）

市有地等の適正な管理及び庁用車両の効率的な利用と管理に努めた。

4 庁舎維持管理事業	予算現額	206,120,000 円（240,615,000 円）	14.3%減
	決算額	194,634,613 円（209,908,667 円）	7.3%減

（事業の目的及び概要）

庁舎等を安全で快適に使用するため、庁舎建物の管理、電話交換業務、清掃、各種点検等の委託を行う。また、そのために必要な工事等を適宜行う。

<主な支出>

電気料	41,887,400 円
電話料	23,023,473 円
上下水道料	4,590,203 円
維持管理委託料	80,993,035 円
工事請負費	16,282,200 円
備品購入費	2,869,944 円

<主な委託>

委 託 名	内 容	金 額（円）
庁舎建物管理業務委託	設備管理業務	18,216,000
庁舎宿日直警備業務委託	宿日直業務	15,588,360
庁舎電話交換業務等委託	電話交換業務、庁舎玄関案内業務、玄関案内誘導業務	12,500,400
庁舎清掃業務委託	日常清掃業務、定期清掃業務	14,520,000
庁舎空調用自動機器及び中央監視室装置保守点検委託	自動制御系統、中央監視系統保守点検	1,793,000
庁舎エレベーター・エスカレーター保守点検業務委託	エレベーター 5 基、エスカレーター 2 基の保守点検	6,106,320

<主な工事>

工 事 名	内 容	金 額（円）
市庁舎LED照明整備工事	庁舎照明のLED化	7,720,900
本庁舎北側植栽整備工事	庁舎周辺の植栽の整備	4,376,900
消防設備取替工事（避難器具 3 階救助袋）	庁舎 3 階の避難器具の取替	2,886,400
庁舎東側来客駐車場整備工事	来客駐車場の舗装	1,298,000

（事業の成果）

庁舎建物の設備運転・監視、エレベーター等の保守点検、電話交換・宿日直業務や清掃、及び庁舎直流電源装置蓄電池等の取替工事を行い、庁舎の適切な維持管理に努めた。



庁舎直流電源装置蓄電池等取替工事

5 庁舎維持管理事業（繰越明許費）

予算現額 11,916,762 円（0 円）皆増

決算額 9,166,740 円（0 円）皆増

（事業の目的及び概要）

庁舎直流電源装置蓄電池の故障により庁舎停電時の予備受電回路への切替及び避難誘導に必要な照明への電力供給や非常用発電機の始動が行われないため、工事を行う。

＜主な工事＞

工 事 名	内 容	金 額（円）
庁舎直流電源装置蓄電池等取替工事	庁舎直流電源の取替等	9,166,740

（事業の成果）

修繕が完了して、通常通り作動するようになった。

1 1 目 市民協働費	地域協働課	S D G s	    
予算現額	168,328,000 円	決算額の	国庫支出金 80,882 円
決算額	165,804,225 円	財源内訳	県支出金 1,000,000 円
(前年度決算額)	174,890,337 円)		その他特財 2,500,000 円
			一般財源 162,223,343 円

説 明

1 連絡委員事務事業

予算現額 45,858,000 円 (47,429,000 円) 3.3%減
決 算 額 45,475,382 円 (45,906,613 円) 0.9%減

(主な事業)

- (1) 連絡事務委託 33,751,200 円
 1 世帯あたり月 140 円×20,090 世帯×12 月
 ・広報紙 ……全 12 号／年
 ・全戸配布 …… 9 件／年(地区を限定した配布物も別途あり)
 ・全戸回覧 …… 14 件／年(地区を限定した回覧物も別途あり)
- (2) 地区連絡委員会委託 9,996,000 円
 1 名あたり 7,000 円×地区連絡委員 119 名×12 月
- (3) 連絡委員幹事会委託 1,008,000 円
 1 名あたり 7,000 円×連絡委員幹事 12 名×12 月
 ※全 12 回、原則、毎月第 1 火曜日に開催。
- (4) 市民活動総合補償制度 595,920 円
 保険事故 2 件 保険請求額 43,000 円

(事業の成果)

広報紙や回覧物等を通じて、碧南市民に対する市政の周知、啓発及び連絡業務の円滑化を図ることができた。また、各地区の代表で構成する連絡委員幹事会では、地区の実情、諸課題が把握でき、各地区間の情報交換の場となった。

2 地域振興事務事業

予算現額 40,840,000 円 (41,240,000 円) 1.0%減
決 算 額 40,591,926 円 (41,012,628 円) 1.0%減

(事業の目的及び概要)

- (1) 地域振興事務事業 39,961,926 円
 区及び町内会が行う住民の連帯感及び市民性を高めるためのコミュニティ事業に対し助成することにより、地域の健全な発展を図ることを目的とする。

助成額

(町内会加入 20,090 世帯×2,000 円) + (町内会未加入 10,154 世帯×500 円)

※調整率 0.883 を乗じて予算額内とした。

- (2) 地域内連携まちおこし事業費補助事業 630,000 円
 地域の活性化を図り個性あるまちづくりを推進するため、地域内のさまざまな団体が連携協力して行う創意工夫あふれるまちづくり活動に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。
- ア 蓮如ウォーク 210,000 円
 イ ヘきなん自転車散歩 210,000 円

一般会計		歳出	2 款 1 項	総務費 総務管理費
ウ たなを村まつり		210,000 円		
(事業の成果)				
(1) 地域振興事務事業				
地域の課題解決や一体感の醸成を目的として実施する各種事業に対し助成することで、地域コミュニティの活性化に寄与した。				
(2) 地域内連携まちおこし事業費補助事業				
各種団体が地域のために協力して企画・実施するイベントに補助することで、地域の活性化やつながりを作ることができた。				
3 区民館等運営事業	予算現額	37,118,000 円	(37,458,000 円)	0.9%減
	決 算 額	37,064,000 円	(37,415,000 円)	0.9%減
(事業の目的及び概要)				
地域住民の自治活動の振興を図り、またその活動拠点となる区民館等の管理運営費及び施設整備費の一部を助成することにより、地域の健全な発展を図ることを目的とする。				
(1) 区民館等運営補助事業		33,581,000 円		
補助対象施設：28区民館、5集会所				
(2) 区民館等施設整備補助事業		3,483,000 円		
内訳：中山区民館トイレ改修工事		1,166,000 円		
大浜上区民館トイレ洋式改修工事		291,000 円		
棚尾ふれあい館エアコン取替工事		741,000 円		
半崎区民館大ホール照明LED化工事		357,000 円		
東町内会館消防設備更新工事		365,000 円		
東町内会館大ホール照明LED化工事		272,000 円		
西松江区民館エアコン修繕工事		291,000 円		
(事業の成果)				
区民館は地域コミュニティの拠点の一つであり、区民館の運営費及び施設整備費を補助することで、地域住民の自治活動の振興に寄与した。				
4 コミュニティ助成事業	予算現額	2,646,000 円	(2,931,000 円)	9.7%減
	決 算 額	2,631,584 円	(2,532,070 円)	3.9%増
(事業の目的及び概要)				
コミュニティ活動を促進するため、一般財団法人自治総合センター(宝くじの普及広報事業)からの助成金を財源として、地区における備品等の購入に対して助成を行った。				
購入物品				
新川地区				
エアコン、冷蔵庫、デスクトップパソコン、ノートパソコン、複合機、液晶テレビ、折りたたみテーブル等				
(事業の成果)				
区民館の備品等が充実することで、地区活動の活発化が図られたほか、区民館の快適な環境整備につながった。				

5 市民活動推進事業

予算現額 19,389,000 円 (20,718,000 円) 6.4%減
 決算額 18,898,204 円 (20,410,090 円) 7.4%減

(事業の目的及び概要)

ボランティア団体、市民活動団体等の支援（情報提供、活動場所の提供、団体交流等）を促進するため、平成15年1月21日に「ボランティアサポートプラザ」を設置し、ボランティア活動の支援を実施してきた。

平成26年4月からはボランティアの更なる支援体制強化のため、へきなん福祉センターあいくる内に「市民活動センター」を設置し、市民活動、ボランティア活動支援について、専門的なノウハウを持つNPO法人を指定管理者として管理運営を行っている。

また、市民活動センターのホームページでは、各種団体のPRやボランティア募集等を広く周知することにより市民活動の活性化を図っている。

さらに、平成26年度から市民公益活動活性化補助事業を創設し、市民公益活動を行う団体の活動を支援することにより、市民公益活動の活性化及び市民活動団体の育成、自立を促し、市民主体のまちづくりを推進している。

(主な事業の内容)

(1) 市民活動推進事業 18,611,204 円

ア 市民活動センター指定管理 18,078,704 円

(ア) 利用実績

利用者数	相談件数	マッチング
11,752名	107件	36件

(イ) 講座等

- a 車座集会（5回） 66名
- b スキルアップ講座（7回） 49名
- c プロボノ説明会・相談会（4回） 19名
- d サポプラカフェミニ講座（2回） 36名 など

(ウ) その他

情報誌「サポプラ通信」の発行(年6回)、メルマガ発行(毎月)、第2回碧南きづなあぐ実施支援

イ 碧南きづなあぐ実施補助金 500,000 円

日 時 令和6年9月22日（日）10時～15時

場 所 へきなん福祉センターあいくる

参加者 1,500名

内 容 市民活動団体の活動報告・物販、スタンプラリー等

(2) 市民公益活動活性化補助事業 287,000 円

ア 初動期活動支援補助金

- ・ママチル（子育て支援） 56,000円
- ・たーねHEKINAN（子育て支援） 51,000円

イ 活動活性化支援補助金

- ・西端おやじの会（子ども食堂） 150,000円
- ・碧南レクリエーション指導者協議会（レクリエーション普及） 30,000円

一般会計	歳出	2 款 1 項	総務費 総務管理費
(事業の成果)			
市民活動センターの車座集会で補助金のPRをしたことにより、新たな団体の自立や活動の後押しにつながった。また、市内の市民活動団体が主体で実施する新たな市民活動まつり「碧南きづなあぐ」に補助をすることで、団体活動の発表の場を創出することができた。			
6 市民協働推進事業	予算現額 918,000 円 (1,556,000 円) 41.0%減		
	決 算 額 797,764 円 (1,466,405 円) 45.6%減		
(事業の目的及び概要)			
平成25年4月1日に施行された「碧南市協働のまちづくりに関する基本条例(以下「条例」という。)」及び協働の理念等の周知を図るとともに、条例に規定する「地域まちづくり組織」の設置に向けての検討を行う等、条例に基づいたまちづくりを推進する。			
(主な事業の内容)			
(1) まちづくり講演会の開催	70,000 円		
条例の内容や協働の理念等の周知及びまちづくりへの参加意識向上を図るため、碧南市連絡委員を主な対象とした講演会を開催した。			
日 時 12月8日(日)			
場 所 碧南市役所会議室4・5			
講 師 岩崎恭典氏(四日市大学名誉教授)			
参加者 32名			
(2) まちづくりの担い手育成講座の実施	660,000 円		
市民及び市職員の協働や市民活動に関する理解の促進を図るとともに、地域住民自らの手でまちづくりを進めていける「まちづくりの核」となる人材を育成するため、市民参加型会議の運営及び進行の手法を学ぶ講座を計4回開催した。			
講師 加藤武志氏(まち楽房有限会社代表)			
ア アイスブレイク講座			
日 時 令和7年2月13日(木)			
参加者 15名(一般13名、事務局2名)			
イ 相手の話を引き出す講座			
日 時 令和7年2月27日(木)			
参加者 12名(一般10名、事務局2名)			
ウ 話し方・伝え方講座			
日 時 令和7年3月6日(木)			
参加者 14名(一般13名、事務局1名)			
エ カフェでフューチャーセッション			
日 時 令和7年3月20日(木)			
場 所 喫茶七宝			
参加者 15名(一般13名、事務局2名)			
7 市民憲章推進事業	予算現額 965,000 円 (315,000 円) 206.3%増		
	決 算 額 451,995 円 (308,028 円) 46.7%増		

(事業の目的及び概要)

市民憲章の目指す「あたたかく明るい郷土碧南」の実現に向けて、碧南市民憲章推進協議会を推進母体として、市民憲章の普及啓発並びに実践活動の推進に努めた。

(1) 市民憲章実践者表彰

市民憲章の実践者として、個人15名と3団体を表彰した。

日 時 令和6年6月25日(火)

(2) 講演会

日 時 令和6年6月25日(火)

講 師 鈴木健三氏(株式会社共同テレビジョン メディア戦略部専任部長)

演 題 「失敗だらけの人生だけど」

参加者 100名

(事業の成果)

市民憲章の実践者を表彰することで、市民憲章の理念の普及につながる良い機会となった。

8 元気ッス！へきなん実施事業

予算現額 11,500,000 円(12,500,000 円) 8.0%減

決 算 額 11,209,578 円(11,452,355 円) 2.1%減

(事業の目的及び概要)

市民のつながりを深め、世代間交流やまちの活性化を図ることを目的とし、市民と協働で育てる市民祭りとして、元気ッス！へきなん市民会議が中心となり、イベント内容の企画を行い、元気ッス！へきなんを開催した。

(事業の内容)

(1) 名 称 第25回元気ッス！へきなん

ア 前夜祭

日 時 令和6年7月26日(金) 18時～20時45分

場 所 碧南市文化会館前駐車場

内 容 ダンスコンテスト、飲食店出店(キッチンカー9台、一般4店舗)

来場者 4,000名

イ 本祭

日 時 令和6年7月27日(土) 14時～20時45分

場 所 碧南市役所前道路、市役所及び文化会館駐車場

内 容 (ア) 元気ッス！へきなん第25回記念パレード

陸上自衛隊第10音楽隊、キッズダンサーがパレードした。

(イ) 市民総踊り(巡回式)

1部 23連 884名 2部 23連 961名

(ウ) パフォーマンスステージ

15団体が歌や踊りを披露

(エ) 元気ッス！商店街

キッチンカー 26台、一般 35店舗

来場者 33,000名

(事業の成果)

4年ぶりの通常開催となった前年に比べ、総踊りの参加連、来場者ともに増加し、真夏

のまちのにぎわいに大きく貢献した。

9 男女共同参画推進事業

予算現額 400,000 円 (6,136,000 円) 93.5%減

決算額 234,100 円 (5,779,128 円) 95.9%減

(事業の目的及び概要)

男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会推進のため各種事業を開催し、市民への啓発とその浸透を図ることを目的とした。

(1) 男女共同参画推進事業委託

ア 男の料理教室 おにぎりとお汁を極める！

日 時 令和6年11月23日(土) 午前10時～午後1時

場 所 あおいパーク 調理加工室

内 容 男性の家事への参画を推進するため男性向けの料理教室を開催した。

参加者 17名

イ 男女共同参画フォーラム「元イタメンのしくじり先生から学ぶ！夫婦で取り組む育児・育児のリアル体験談」開催

日 時 令和7年2月2日(日) 午後1時30分～午後3時30分

場 所 碧南市役所 会議室4・5

参加者 47名(一般34名、委員10名、事務局3名)

ウ 小学校出張授業

日 時 令和7年2月12日(水) 5・6時間目

場 所 西端小学校

対象者 6年生(2クラス) 67名

内 容 固定的な性別役割分担意識(アンコンシャス・バイアス)について

エ 男女共同参画パネル展示

日 時 令和7年2月7日(金)～26日(水)

場 所 市役所市民ホール

内 容 男女共同参画のキホンー移り行く男女の意識編ー

(事業の成果)

フォーラム、男性向け料理教室のほか、今年度は新たに小学校出張授業、パネル展示を行い、一層の男女共同参画事業の啓発、広報を実施することができた。

10 きらきらウォーク補助事業

予算現額 6,875,000 円 (7,075,000 円) 2.8%減

決算額 6,865,692 円 (7,020,880 円) 2.2%減

(事業の内容)

(1) きらきらウォーク関連イベント

日 時 令和6年12月14日(土) 午後5時から午後9時まで

場 所 イルミネーション点灯区間に下記2ヶ所のイベント会場を設置。

ア 千福ポケット広場

イ 芸術文化ホール野外ステージ及びその駐車場

参加者 13,000名

内 容 イベントにおいて下記の内容を行った。

- ア 一般・キッチンカー出店者による飲食物の販売
 イ ステージにてバンド演奏やダンスなどの披露
 ウ イベント会場を巡るウォークラリーの実施

(2) イルミネーション

期 間 令和6年12月1日（日）～12月25日（水）

※期間中の17時～23時に点灯。

内 容 芸文北交差点から千福ポケット広場までの約550メートル区間の樹木の一部にLED電球を施工。（合計約80,000球）

(事業の成果)

イベントには実行委員会として地元有志、地元商店街、地区が参画し企画運営しており、まちの活性化や住民相互の交流につながっている。

1 1 多文化共生推進事業

予算現額 1,819,000 円 (2,128,000 円) 14.5%減

決 算 額 1,584,000 円 (1,587,140 円) 0.2%減

(事業の目的及び概要)

在留外国人が在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、情報提供及び相談を多言語で行う一元的相談窓口を設置し、地域における外国人の受入環境整備を促進し、多文化共生社会の実現に資することを目的とする。

(事業の成果)

令和4年4月から市役所1階に外国人相談窓口を開設した。ポルトガル語、ベトナム語の通訳兼相談員による対応のほか、タブレットや電話を利用して15か国語で市役所庁舎内等での相談を受けている。全体としては件数が伸びており、窓口の認知が順調に進んでいる。

(相談実績) カッコ内は昨年度実績

	ポルトガル語	ベトナム語	その他	合 計
窓口	9,271件 (7,438件)	2,170件 (1,832件)	69件 (113件)	11,510件 (9,383件)
タブレット	21件 (3件)	42件 (6件)	39件 (33件)	102件 (42件)
電話	5件 (20件)	6件 (4件)	6件 (17件)	17件 (41件)

1 2 目 交通安全対策費	地域協働課	S D G s			
予算現額	67,277,000 円	決算額の 財源内訳	県支出金		1,179,220 円
決算額	62,467,390 円		その他特財		3,944,069 円
(前年度決算額	79,423,835 円)		一般財源		57,344,101 円

説 明

1 交通安全事務管理事業

予算現額 25,000 円 (23,000 円) 8.7%増

決 算 額 9,030 円 (8,550 円) 5.6%増

(事業の内容)

交通安全事務の管理に要する経費。

2 施設等維持管理事業

予算現額 450,000 円 (350,000 円) 28.6%増

決 算 額 325,753 円 (308,054 円) 5.7%増

(事業の内容)

車両の維持管理に要する経費。

3 交通安全推進周知事業

予算現額 13,464,000 円 (14,609,000 円) 7.8%減

決 算 額 13,237,065 円 (14,024,124 円) 5.6%減

(事業の目的及び概要)

碧南市交通安全都市推進協議会を中心に碧南交通安全協会、碧南警察署等関係機関とともに各季の市民運動を展開した。

(事業の成果)

(1) 交通事故分析

ア 交通事故発生総数 (碧南署管内)

年	人身 事故 総件数	死者数	負傷者数		
			重傷者	軽傷者	合計
令和 6 年	294	3	10	330	340
増減	-5	1	-1	6	5

イ 月別推移 (碧南市内)

月		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
令和 5 年死傷者数		23	24	16	8	11	8	14	19	14
令和 6 年死傷者数		12	15	15	5	12	10	22	9	26
対 比	増減数	-11	-9	-1	-3	1	2	8	-10	12
	増減率	-47.8	-37.5	-6.3	-37.5	9.1	25.0	57.1	-52.6	85.7

月		1 0 月	1 1 月	1 2 月	合計
令和 5 年死傷者数		18	20	17	192
令和 6 年死傷者数		11	21	22	180
対 比	増減数	-7	1	5	-12
	増減率	-38.9	5.0	29.4	-6.3

ウ 時間帯別死傷者数（碧南市内）

区分		死傷者数	構成率	増減数	増減率	1 時間当
昼間	朝 (A6～A9)	45	25.0	8	21.6	15.0
	昼 (A9～P6)	102	56.7	-12	-10.5	11.3
夜間	前夜 (P6～P10)	25	13.9	-8	-24.2	6.3
	中夜 (P10～A0)	1	0.6	-3	-75.0	0.5
	深夜 (A0～A4)	4	2.2	2	100.0	1.0
	早朝 (A4～A6)	3	1.7	1	50.0	1.5

エ 事故類型別人身事故件数（主要類型）（碧南市内）

類型	追突	出合頭	右左折	横断中
事故件数	48	55	27	4
構成率	30.0	34.4	16.9	2.5
増減数	1	-7	4	-7
増減率	2.1	-11.3	17.4	-63.6

※その他 26 件

オ 年齢層別死傷者数（碧南市内）

区分	死傷者数	構成率	増減数	増減率
こども (15 歳以下)	9	5.0	-4	-30.8
若 者 (16～24 歳)	30	16.7	-1	-3.2
一 般 (25～64 歳)	102	56.7	-14	-12.1
高齢者 (65 歳以上)	39	21.7	7	21.9

カ 当事者別死傷者数（碧南市内）

区分	歩行者	自転車	原 付	自 二	四輪車
死傷者数	9	41	13	9	105
構成率	5.1	23.2	7.3	5.1	59.3
増減数	-10	-3	0	1	0
増減率	-52.6	-6.8	0.0	12.5	0.0

キ 高齢者当事者別死傷者数（碧南市内）

区分	歩行者	自転車	原 付	自 二	四輪車
死傷者数	1	11	2	3	22
増減数	-5	2	-1	2	9

(2) 交通安全推進周知事業

園児用交通安全ワッペン等、各種啓発資材を配布し、交通安全を呼びかけた。

(3) 交通安全都市推進協議会委託事業

地域住民の交通安全意識を高め、交通事故防止を図るため、交通安全団体等研修事業及び交通安全市民運動等の実施を碧南市交通安全都市推進協議会に委託した。

ア 交通少年団活動（7 小学校）

イ 幼児交通安全クラブ活動（21 園）

ウ 交通安全協会交通指導員研修

エ 交通安全市民運動（春・夏・秋・年末）

オ 各種交通安全キャンペーン

(4) 交通安全協会補助事業

碧南交通安全協会による交通安全街頭指導等事業の実施に対し、補助を行った。

(5) 交通安全教育指導事業

交通教室の開催等による実践的な指導を行い、市民一人ひとり、特に子どもと高齢者の交通安全の基礎習得を図った。

＜令和 6 年度の交通教室実施状況＞

区 分	小学校		幼・保育園		高齢者		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
明石公園	24	1,283	41	1,133	0	0	0	0	65	2,416
移動教室	0	0	27	1,482	4	192	1	900	32	2,574
合 計	24	1,283	68	2,378	4	192	1	900	97	4,990

(6) 交通指導員被服購入事業

交通指導員の制服・手袋等を購入した。

4 駅駐輪場整理事業

予算現額 4,703,000 円 (4,476,000 円) 5.1%増

決 算 額 4,632,838 円 (4,405,137 円) 5.2%増

(事業の目的及び概要)

市内主要駅付近において、公共駐輪場の自転車整理と放置自転車の指導整理を実施する。

(事業の成果)

交通安全と利用者の利便性の確保に寄与した。

5 交通安全施設・防犯灯維持管理事業

予算現額 17,800,000 円 (28,843,000 円) 38.3%減

決 算 額 15,763,138 円 (27,087,367 円) 41.8%減

(事業の目的及び概要)

道路照明灯や防犯灯、道路反射鏡等の交通安全施設の維持管理を行う。

(事業の成果)

電気料の支払い及び必要な修繕等、迅速な対応を行った。

(1) 道路照明灯・防犯灯電気料 15,569,538 円

(2) 道路照明灯・防犯灯・道路反射鏡等修繕料 193,600 円

6 交通安全施設整備事業

予算現額 6,113,000 円 (8,036,000 円) 23.9%減

決 算 額 5,399,460 円 (7,930,780 円) 31.9%減

(事業の目的及び概要)

道路照明灯の球切れに伴う灯具交換や道路反射鏡等の交通安全施設の設置等を行い、交通事故の防止を図る。

(事業の成果)

(1) 交通安全施設設置工事費 4,904,460 円

道路照明灯の灯具交換や道路反射鏡の設置を行った。

施設名	新設(基)	灯具交換 鏡面増設	撤去(基)	移管(基)	総数(基) (令和6年度末)
道路照明灯	1	(灯具交換) 3	7	0	1,522
道路反射鏡	17	(鏡面増設) 1	1	0	1,099

(2) 道路区画線整備工事費 495,000 円

人身事故の発生件数の多い交差点にカラー舗装等を施工することにより、交通事故防止を図る。

施工箇所 西山町・千福町・植出町地内

7 防犯灯整備事業

予算現額 2,420,000 円 (1,671,000 円) 44.8%増

決算額 2,417,640 円 (1,618,540 円) 49.4%増

(事業の目的及び概要)

夜間の事故・犯罪防止のため防犯灯を設置し、市民生活の安全を図った。

(事業の成果)

平成21年度末より長寿命で消費電力の少ないLED灯を採用し、事故・犯罪の防止に寄与した。

施設名	新設(基)	蛍光灯→ LED 取替(基)	ナトリウム灯→ LED 取替(基)	撤去(基)	移管(基)	総数(基) (6年度末)
防犯灯	22	0	0	9	15	3,542

(防犯灯種類別数)

種類	蛍光灯	ナトリウム灯	LED 灯	総数(基) (6年度末)
防犯灯	60	0	3,482	3,542

8 放置自動車対策事業

予算現額 82,000 円 (90,000 円) 8.9%減

決算額 8,577 円 (63,963 円) 86.6%減

(事業の目的及び概要)

放置車両の移動・処分等を実施し、市民の生活環境の改善を図る。

(事業の成果)

(1) 令和6年度中では放置自動車の処分は行っていないが、現在鉄くず等が高値で取引されているので運搬費を含めて無料で処分が可能である。

(2) 令和6年度末の放置車両保管台数 1 台

9 防犯協会補助事業

予算現額 1,670,000 円 (1,670,000 円) 増減無

決算額 1,670,000 円 (1,670,000 円) 増減無

(事業の内容)

碧南高浜防犯協会連合会に対する運営費を補助した。

10 まちの安全対策推進事業

予算現額 10,623,000 円 (22,248,000 円) 52.3%減

決算額 9,390,522 円 (18,946,620 円) 50.4%減

(事業の目的及び概要)

「まちの安全推進員」を置き、警察、地域等との連携を図りながら窓口業務の相談等を

行った。また、自主防犯パトロール隊への資材の支援や防犯知識向上のため防犯勉強会の開催、各種啓発活動を実施した。なお、平成 28 年度より青色防犯パトロール車維持費補助、及び防犯カメラ設置費補助を新設、令和 5 年度よりカメラ設置費補助の対象を従前の町内会・商店街から事業者に拡大し、市域の防犯機能強化に努めている。

(事業の成果)

(1) 地区自主防犯パトロール隊数 26 団体

(2) 市の青色回転灯装備車両 2 台

(3) 主な防犯事業実施状況

ア 各季の「安全なまちづくり県民運動」期間中での各種啓発活動

イ 防犯リーダー研修会（7 月・10 月）

ウ 防犯関係資材の支援

(ア) 子ども 110 番のぼり旗の配布

(イ) 帽子、腕章等の配布

(4) 防犯パトロール事業 3,993,000 円

安心・安全な街を保持するため、犯罪抑止効果のある青色防犯パトロールを委託実施した。青色回転灯を搭載した車両 1 台に警備員を 2 名乗車させ、市内全域で夜間（22 時から翌朝 4 時まで）巡回パトロールを行った。期間は、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの間で 120 日間実施した。

(5) 青色防犯パトロール車維持費補助事業

町内会等で組織され、自主的に防犯活動に取り組むボランティア団体が、専用の青色防犯パトロール車により自主防犯パトロールを行う場合において、当該車両の維持管理にかかる経費に対し補助を行った。

令和 6 年度実績 補助件数 1 件 補助額計 117,000 円

(6) 防犯カメラ設置費補助事業

地域の防犯活動の一端を担う防犯カメラを設置しようとする区または町内会及び商店街に加え事業者に対し、その設置に要する経費の補助を行った。

申請団体種類	補助件数(件)	カメラ台数(台)	補助額(円)
町内会商店街 等	3	6	982,000
事業者	26	34	3,953,000
計	29	40	4,935,000

1 1 交通安全基金積立事業

予算現額 145,000 円 (60,000 円) 141.7%増

決算額 144,069 円 (59,062 円) 143.9%増

(事業の目的及び概要)

道路区画線整備を始め交通安全施設の設置、整備等を目的として必要な財源の確保を行う。

(事業の成果)

基金の状況 (円)	5 年度末現在高	6 年度積立額	6 年度取崩額	6 年度末現在高
	38,041,630	144,069	3,800,000	34,385,699

1 2 交通安全対策臨時事業

予算現額 1,100,000 円 (1,560,000 円) 29.5%減

決算額 824,250 円 (1,214,630 円) 32.1%減

(事業の目的及び概要)

自転車乗車用ヘルメットの購入費用の一部を補助することにより、自転車を利用する児童生徒等及び高齢者のヘルメットの着用を促進し、自転車乗車時における交通事故による被害の軽減を図る。

(事業の成果)

令和 6 年度補助金交付実績

	申請件数 (件)	補助額 (円)
高齢者	107	207,750
児童・生徒等	332	616,500
計	439	824,250

1 3 道路照明灯 L E D 化促進事業 予算現額 7,800,000 円 (2,105,000 円) 270.5%増
 決算額 7,763,448 円 (1,293,908 円) 500.0%増

(事業の目的及び概要)

令和 5 年度に L E D 化未実施の道路照明灯の一括 L E D 化を行い、電気料金的大幅な削減を行った。またリース契約とすることで初期導入コストを抑えている。

リース契約期間：令和 6 年 2 月 1 日から令和 16 年 1 月 31 日まで (10 年間)

(事業の成果)

・電気料の比較

年 度	電気料 (円)	前年度比較 (円)
令和 4 年度	47,090,202	11,554,367
令和 5 年度	26,681,347	-20,408,855
令和 6 年度	15,569,538	-11,111,809

L E D 化に伴い前年度から大幅な削減ができており、電気料の削減分でリース料は賄うことができています。

1 4 まちの安全対策臨時事業 予算現額 882,000 円 (840,000 円) 5.0%増
 決算額 881,600 円 (793,100 円) 11.2%増

(事業の目的及び概要)

高齢者又はその属する世帯を対象に特殊詐欺対策電話機器等の購入に要した費用の一部を補助することにより、特殊詐欺対策装置の普及を促進し、深刻化する高齢者の特殊詐欺被害の未然防止を図ることを目的とする。

(事業の成果)

令和 6 年度補助金交付実績

申請件数 (件)	補助額 (円)
133	881,600

1 3 目 開発推進費	財政課	S D G s	
予算現額	3,575,000 円	決算額の	県支出金 13,000 円
決算額	1,417,892 円	財源内訳	一般財源 1,404,892 円
(前年度決算額	2,312,070 円)		

説明

1 土地開発総務事務事業

予算現額 3,562,000 円 (3,616,000 円) 1.5%減

決算額 1,404,892 円 (2,300,070 円) 38.9%減

(事業の目的及び概要)

土地開発を円滑に進めるため、市有地の測量、鑑定評価等を実施する。

<主な支出>

市有地測量・登記業務委託料

1,257,912 円

市有地鑑定評価業務委託料

110,000 円

<主な委託>

委 託 名	委 託 場 所	金 額 (円)
測量業務委託	中町4丁目地内	222,200
	中町4丁目地内	526,412
	舟江町1丁目地内	509,300
不動産鑑定評価業務委託	中町4丁目地内	44,000
	中町3丁目、4丁目地内	44,000
	舟江町1丁目地内	22,000

(事業の成果)

測量及び不動産鑑定評価を実施し、市有地の売却に努めた。

2 土地取引規制事務事業

予算現額 13,000 円 (12,000 円) 8.3%増

決算額 13,000 円 (12,000 円) 8.3%増

(事業の目的及び概要)

国土利用計画法に基づき愛知県から受託した土地取引規制等の事務を進めるため、事業用消耗品を購入する。

<主な支出>

事業用消耗品 (フラットファイル等)

13,000 円

(事業の成果)

土地取引規制等に関する事務の円滑な遂行に努めた。

<実績>

区 分	内 容	件 数 (件)
国土利用計画法	土地に関する権利の移転又は設定後における利用目的等の届出 (第23条関係)	7
公有地の拡大の推進に関する法律	土地を譲渡しようとする場合の届出 (第4条関係)	11
	地方公共団体等に対する土地の買取り希望の申出 (第5条関係)	1
合 計		18

16 目 定額減税補足給付金支給事業費	税務課	S D G s	 	
予算現額	656,898,000円	決算額の	国庫支出金	538,169,107円
決算額	538,169,107円 (新規)	財源内訳		

説 明

1 定額減税補足給付金支給事業

予算現額 656,898,000円 (新規)

決 算 額 538,169,107円

(事業の目的及び概要)

「デフレ脱却のための総合経済対策」が令和5年11月2日に閣議決定され、その中で、デフレ脱却のため、令和6年度に限り（一部令和7年度）の措置として「定額減税」を設け、減税しきれない者に対しては、定額減税補足給付金（調整給付）を支給する。

(事業の成果)

(1) 定額減税補足給付金支給事業 538,169,107円

令和6年度個人住民税及び令和6年分所得税の定額減税について、減税しきれないと見込まれる者に対して、給付金を支給する。

役務費（電話料、郵送費、振込手数料） 4,636,283円

委託料（コールセンター、受付業務委託） 10,092,824円

補助金（給付済み納税義務者数12,122人） 523,440,000円

1 目 税務総務費	税務課	S D G s	
予算現額	208,247,000 円	決算額の 財源内訳	県支出金 139,447,173 円
決算額	198,062,296 円		その他特財 3,345,950 円
(前年度決算額	190,859,944 円)		一般財源 55,269,173 円

説 明

1 税務事務管理事業	予算現額 208,247,000 円 (201,369,000 円) 3.4%増
	決 算 額 198,062,296 円 (190,859,944 円) 3.8%増
(1) 一般職人件費 (26人)	185,873,574 円
(2) 税務事務管理事業	12,188,722 円
使用料 地方税電子申告支援サービス及びデータ連携サービス提供業務	
	4,976,400 円
負担金 地方税共同機構負担金	5,858,930 円

2 目 賦課徴収費	税務課	S D G s	
予算現額	143,427,000 円	決算額の	その他特財 3,300 円
決算額	127,246,355 円	財源内訳	一般財源 127,243,055 円
(前年度決算額	128,102,559 円)		

説 明

1 市税賦課事務事業

予算現額 56,119,000 円 (51,488,000 円) 9.0%増

決 算 額 51,485,879 円 (47,436,258 円) 8.5%増

(1) 市民税賦課事業	予算現額	12,791,000 円
	決 算 額	10,734,603 円
(2) 固定資産税等賦課事業	予算現額	11,895,000 円
	決 算 額	11,175,389 円
(3) 軽自動車税賦課事業	予算現額	1,663,000 円
	決 算 額	1,560,537 円
(4) 固定資産評価等事務事業	予算現額	29,770,000 円
	決 算 額	28,015,350 円

(事業の目的及び概要)

市民が豊かで健康な暮らしができるように各施策を進めるうえで、最も重要な財源を確保するための事業である。

(事業の成果)

迅速かつ適正な課税を行うため、課税資料及び税額等の点検を行った。

2 市税徴収事務事業

予算現額 4,132,000 円 (4,557,000 円) 9.3%減

決 算 額 2,634,126 円 (2,454,365 円) 7.3%増

(事業の目的及び概要)

市税を徴収するため、督促状の作成及び発送並びに滞納処分に係る事業である。

(事業の成果)

現年度課税分の徴収のほか、滞納繰越分は催告書の送付、滞納処分の適正執行など市税の徴収に努めた。

3 市税収納事務事業

予算現額 83,176,000 円 (104,331,000 円) 20.3%減

決 算 額 73,126,350 円 (78,211,936 円) 6.5%減

(事業の目的及び概要)

市税の納税通知書、納付書の作成及び過年度還付に係る事業である。

(事業の成果)

予定どおり納税通知書等を発送し、過年度還付が発生した場合は速やかに処理を行った。

市税 3 税納税通知書印刷印字封入封緘作業委託等 6,369,780 円

還付金 66,756,570 円

内訳	本税還付金	1,138 件	66,463,970 円
	延滞金還付	80 件	70,000 円
	還付加算金	25 件	222,600 円

1 目 戸籍住民基本台帳費	市民課	S D G s	
予算現額	180,921,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金 13,383,609 円
決算額	169,739,881 円		県支出金 142,109 円
(前年度決算額	159,111,297 円)		その他特財 39,136,180 円
			一般財源 117,077,983 円

説 明

1 戸籍住民基本台帳事務管理事業 予算現額 146,182,000 円 (154,684,000 円) 5.5%減 決算額 138,042,693 円 (136,945,689 円) 0.8%増

(1) 一般職人件費 (16 人)	決 算 額	112,439,281 円
(2) 戸籍住民基本台帳事務管理事業	決 算 額	1,837,412 円
(3) 戸籍管理事業	決 算 額	14,056,867 円
(4) 社会保障・税番号制度運用事業	決 算 額	1,993,842 円
(5) コンビニ交付事業	決 算 額	7,715,291 円

2 戸籍住民基本台帳事務管理事業 (繰越明許費)

予算現額 10,461,000 円 (0 円) 皆増

決算額 8,833,000 円 (0 円) 皆増

(1) 戸籍管理事業	決 算 額	6,952,000 円
(2) コンビニ交付事業	決 算 額	1,881,000 円

3 住民人口等調査事業

予算現額 231,000 円 (230,000 円) 0.4%増

決算額 206,168 円 (223,933 円) 7.9%減

(1) 人口動態調査事業	決 算 額	119,460 円
(2) 人口動向調査事業	決 算 額	86,708 円

(事業の目的・概要)

住民基本台帳法、戸籍法等に基づき各種届出の受付及び諸証明の発行事務等を行った。

(事業の成果)

適正な処理を行うことができた。

世帯及び人口

令和 7 年 3 月 31 日現在

区 分	男	女	計	世 帯 数
日 本 人	33,472 人	32,043 人	65,515 人	27,226 世帯
外 国 人	3,640 人	2,956 人	6,596 人	3,443 世帯
総 計	37,112 人	34,999 人	72,111 人	30,669 世帯

人口動向

(人)

区 分	増 加				減 少				差引 増減
	自然増	社会増	その他増	増の計	自然減	社会減	その他減	減の計	
	出 生	転 入	住所設定等		死 亡	転 出	職権消除等		
日本人	419	1,847	27	2,293	811	1,978	3	2,792	△499
外国人	54	1,451	33	1,538	4	1,196	110	1,310	228
総 計	473	3,298	60	3,831	815	3,174	113	4,102	△271

戸籍届の受付及び取扱処理件数

(件)

区分 受理別	出生	死亡	婚姻	離婚	養子 縁組	養子 離縁	認知	入籍	転籍	その他	計
本市で 受理したもの	487	815	223	104	45	19	4	62	195	143	2,097
他市町村より 送付	130	119	417	57	22	4	6	33	96	42	926
計	617	934	640	161	67	23	10	95	291	185	3,023

市民課、各出張所及びコンビニにおける証明関係取扱件数（無料、免除分を含む）（件）

区 分	計	内 PayPay	区 分	計	内 PayPay
戸籍関係手数料	20,430	(1,172)	印鑑登録関係手数料	21,567	(1,238)
(内訳) 戸籍謄抄本	10,049		(内訳) 印鑑登録	2,265	
除籍・原戸籍	6,748		印鑑証明	19,302	
記載事項証明	601		臨時運行許可手数料	478	(7)
身分証明	440		船員法関係手数料	315	(0)
健保無料証明	0		(内訳) 雇入等	313	
不在籍証明	37		手帳交付	1	
その他証明	144		報告証明	1	
戸籍広域交付	2,411		その他証明	49	(1)
住民票関係手数料	37,627	(1,294)	マイナンバーカード再交付	912	(0)
(内訳) 住民票（除票）	33,038		電子証明	917	(0)
附票	2,419		特急発行	5	(0)
住民票閲覧	1,235		合 計	82,300	(3,712)
記載事項証明	831				4.5 %
不在住証明	60				
住民票広域交付	44				

マイナンバーカード交付件数 (件)

令和6年度	8,117

(累計 64,737 件)

コンビニ交付事業による取扱件数 (件)

令和6年度	12,123

(平成30年2月より事業開始)

日曜市役所取扱処理件数 (件)

区 分	計
戸 籍 届 出	71
証 明 発 行	2,169
合 計	2,240

1 日平均処理件数 46 件 (49 日)

出張所における証明取扱件数 (件)

区 分	計
北 部 出張所	1,079
図書館内 //	560
東 部 //	554
南 部 //	1,617
合 計	3,810

4 旅券交付事業

予算現額 21,103,000 円 (19,571,000 円) 7.8%増

決 算 額 20,077,660 円 (19,472,566 円) 3.1%増

(事業の目的・概要)

愛知県の旅券申請窓口の内、碧南市民が最も多く利用していた知多旅券コーナーの廃止に伴い、令和元年度より一般旅券の発給申請受付及び交付事務を開始した。

(事業の成果)

新型コロナウイルス感染症の収束以降、海外渡航者が増加しており、旅券の申請件数、交付件数が伸びた。

令和6年度 一般旅券発給申請件数 (件)

区 分	新規10年用	新規5年用	残存有効期間 同一	紛失届	計
申請件数	1,048	569	23	8	1,648

令和6年度 一般旅券発給交付件数 (件)

区 分	新規10年用	新規5年用	新規12歳 未満	残存有効 期間同一	計
交付件数	1,001	443	107	24	1,575

5 中長期在留者住居地届出等事務事業

予算現額 58,000 円 (58,000 円) 増減無
決 算 額 7,351 円 (3,230 円) 127.6%増

(事業の目的・概要)

入管法に基づき、中長期在留者及び特別永住者の住居地の異動等に係る届出事務を行った。

(事業の成果)

適正な処理を行うことができた。

中長期在留者住居地届出等事務取扱件数

令和 7 年 3 月 3 1 日現在 (件)

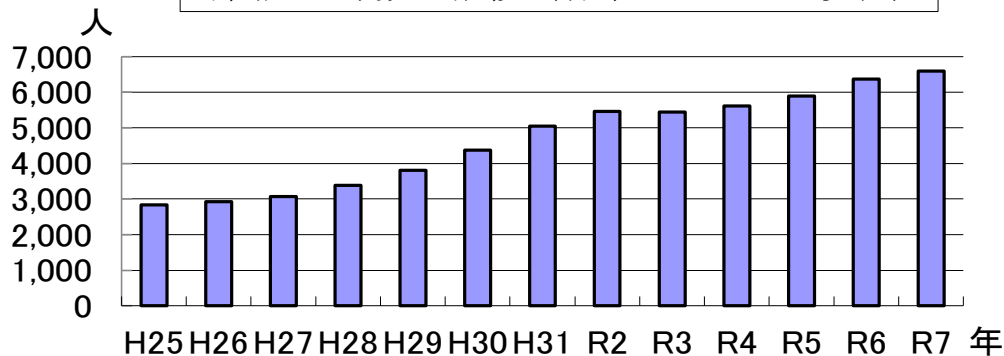
区分	取扱種別	計
住居地の届出等	中長期在留者の新規上陸後の住居地届出 (国外転入)	446
	中長期在留者への在留資格変更等に伴う住居地届出 (在留資格を得た者の転入)	30
	中長期在留者の住居地の変更届出 (転入)	902
	中長期在留者の住居地の変更届出 (転居)	637
	特別永住者の住居地の変更届出 (転入)	2
	特別永住者の住居地の変更届出 (転居)	2
特別永住者証明書の交付等	特別永住者証明書の有効期間の更新	6

国籍別外国人登録人員

令和 7 年 3 月 3 1 日現在 (人)

国 籍	計	国 籍	計	国 籍	計	国 籍	計
ブラジル	2,770	韓国及び朝鮮	78	バングラデシュ	17	カンボジア	14
ベトナム	1,676	パラグアイ	39	インド	22	英国	4
フィリピン	668	タイ	47	米国	9	ポーランド	5
インドネシア	466	ミャンマー	70	モンゴル	15	ラオス	10
中国	200	パキスタン	30	台湾	7	無国籍(出生による経過滞在者)	6
ペルー	225	スリランカ	42	ボリビア	5		
アルゼンチン	103	ネパール	30	マレーシア	7		
ナイジェリア 5 / チリ、ウガンダ、ベネズエラ、モルドバ 各 3 / イラン、イタリア、トルコ 各 2 / オーストラリア、メキシコ、グアテマラ、エジプト、ケニア、スペイン、リビア、レソト 各 1 合計 6,596 人							

外国人登録数の推移 (各年 3 月 3 1 日現在)



6 市民相談事業

予算現額 2,886,000 円 (2,784,000 円) 3.7%増

決 算 額 2,573,009 円 (2,465,879 円) 4.3%増

(事業の目的及び概要)

市民生活における満足度の向上のため、市民の各種相談に応じ適切な助言及び支援を行った。

(事業の成果)

身近な相談窓口として市民に認識されており、相談内容も多様化する中、的確な助言等が適切に行われた。

- ・ 市民相談 相談員 23 名 開催回数 40 回
- ・ 法律相談 弁護士 7 名 開催回数 50 回

(件)

相 談 内 容	市民相談	法律相談	計
遺産相続に関する相談	48	76	124
離婚に関する相談	1	25	26
土地に関する相談	14	15	29
金銭に関する相談	1	31	32
交通事故に関する相談	0	3	3
職業に関する相談	0	2	2
住居・建築に関する相談	5	7	12
家庭不和に関する相談	1	9	10
消費行政に関する相談	1	1	2
その他	12	45	57
合 計	83	214	297

- ・ 人権特設相談（人権擁護委員による） 開催回数 2 回 0 件

1 目 選挙管理委員会費	行政課	S D G s		
予算現額	1,888,000 円	決算額の	県支出金	8,559 円
決算額	1,863,970 円	財源内訳	一般財源	1,855,411 円
(前年度決算額	1,726,600 円)			

説 明

1 選挙管理委員会事務管理事業 予算現額 1,888,000 円 (1,883,000 円) 0.3%増
 決 算 額 1,863,970 円 (1,726,600 円) 8.0%増

(事業の目的及び概要)

選挙管理委員会及び事務局の事務管理に要する経費

(事業の成果)

(1) 選挙管理委員会の開催 (13回)

委員数 4人

(2) 選挙人名簿の登録事務

定時登録 (令和7年3月1日現在)

男 28,145人

女 27,219人

計 55,364人

(3) 明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施

対 象 市内中学生

応募者 108人

2 目 碧南市長・碧南市議会議員一般選挙費	行政課	S D G s	
予算現額	47,433,000 円	決算額の	一般財源
決算額	47,428,420 円	財源内訳	47,428,420 円
(前年度決算額	4,358,583 円)		

説 明

1 碧南市長・碧南市議会議員一般選挙費

予算現額 47,433,000 円 (8,241,000 円) 475.6%増

決 算 額 47,428,420 円 (4,358,583 円) 988.2%増

(事業の目的及び概要)

碧南市長及び碧南市議会議員の任期満了に伴う、碧南市長選挙及び碧南市議会議員一般選挙の執行に要する経費

(事業の成果)

(1) 碧南市長選挙及び碧南市議会議員一般選挙

選挙期日 令和6年4月21日(告示日 令和6年4月14日)

(2) 主な支出

ア 報酬(投票立会人、開票立会人等)	962,000 円
イ 会計年度任用職員報酬(パートタイム)	515,714 円
ウ 職員手当(選挙担当職員時間外手当等)	5,177,531 円
エ 役務費(入場券郵送料等)	2,278,574 円
オ 委託料(入場券作成、ポスター掲示場、機器点検保守委託等)	19,642,041 円
カ 負担金(ポスター、ビラ、自動車等公営負担金)	17,391,952 円

(3) 投票率等

区 分	男	女	合 計
当日有権者数	27,878人	27,036人	54,914人
投票者数 (うち期日前投票者数)	15,818人 (6,301人)	15,521人 (6,293人)	31,339人 (12,594人)
投票率	56.74%	57.41%	57.07%

(4) 主な選挙啓発

- ア 電光掲示板の利用
市民病院電光掲示板の利用
- イ 啓発グッズの配布
市庁舎、公共施設及び市内スーパーマーケットでのポケットティッシュの配布
- ウ 啓発放送
市庁舎、市民病院、明石公園、あおいパーク及び市内スーパーマーケット
- エ その他選挙啓発
 - (ア) くるくるバス車体側面に広報用マグネットステッカー掲載
 - (イ) 市庁舎広告塔への懸垂幕の提示

7 目 最高裁判所裁判官 国民審査費	行政課	S D G s		
予算現額	230,000 円	決算額の	県支出金	52,374 円
決算額	184,717 円	財源内訳	一般財源	132,343 円
(前年度決算額	0 円)			

説 明

1 最高裁判所裁判官国民審査費

予算現額 230,000 円 (0 円) 皆増

決 算 額 184,717 円 (0 円) 皆増

(事業の目的及び概要)

最高裁判所裁判官国民審査に要する経費

(事業の成果)

(1) 最高裁判所裁判官国民審査

期日 令和6年10月27日 (告示日 令和6年10月15日)

(2) 主な支出

ア 消耗品 (裁判官掲示表等) 4,702 円

イ 委託料 (国民審査用ポスター掲示場設置委託) 180,015 円

1 2 目 衆議院議員総選挙費	行政課	S D G s	
予算現額	34,194,000 円	決算額の	県支出金 26,874,651 円
決算額	28,208,974 円	財源内訳	一般財源 1,334,323 円
(前年度決算額	0 円)		

説明

1 衆議院議員総選挙費

予算現額 34,194,000 円 (0 円) 皆増

決 算 額 28,208,974 円 (0 円) 皆増

(事業の目的及び概要)

衆議院の解散に伴う、衆議院議員総選挙の執行に要する経費

(事業の成果)

(1) 衆議院議員総選挙

選挙期日 令和6年10月27日 (公示日 令和6年10月15日)

(2) 主な支出

ア 報酬 (投票立会人、開票立会人等)	1,030,000 円
イ 会計年度任用職員報酬 (パートタイム)	910,665 円
ウ 職員手当 (選挙事務従事職員時間外手当)	8,155,457 円
エ 役務費 (入場券郵送料等)	3,047,272 円
オ 委託料 (入場券作成、ポスター掲示場、投開票所設営等委託等)	10,702,576 円
カ 備品購入費 (投票用紙計数機4台等)	3,300,000 円

(3) 投票率等

区 分	男	女	合 計
当日有権者数	28,149 人	27,293 人	55,442 人
投票者数 (うち期日前投票者数)	16,603 人 (7,640 人)	15,145 人 (7,129 人)	31,748 人 (14,769 人)
投票率	58.98 %	55.49 %	57.26 %

(4) 主な選挙啓発

ア 電光掲示板の利用

市民病院電光掲示板の利用

イ 啓発グッズの配布

(ア) 市庁舎、公共施設及び市内スーパーマーケットでのポケットティッシュの配布

(イ) 市内高等学校の3年生を対象に啓発用ボールペンを配布

ウ 啓発放送

市庁舎、市民病院、明石公園、あおいパーク及び市内スーパーマーケット

エ その他選挙啓発

(ア) くるくるバス車体側面に広報用マグネットステッカー掲載

(イ) 市庁舎広告塔への懸垂幕の提示

1 目 統計調査総務費	秘書課	S D G s	
予算現額	649,000 円	決算額の	県支出金 21,000 円
決算額	611,279 円	財源内訳	一般財源 590,279 円
(前年度決算額)	608,406 円)		

説 明

1 統計調査事務管理事業

予算現額 24,000 円 (49,000 円) 51.0%減

決 算 額 20,020 円 (18,850 円) 6.2%増

(事業の目的及び概要)

愛知県統計協会、衣浦地区統計研究会負担金及び統計に係る事務に要する経費

2 市常任統計調査員運営事業

予算現額 597,000 円 (598,000 円) 0.2%減

決 算 額 570,000 円 (570,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

各種統計調査に対応するため、研修会を実施して調査員の育成を図る。

(事業の成果)

研修会を2回実施し、調査員の育成が図られた。

(1) 碧南市常任統計調査員登録報償 350,000 円 (5,000 円×70 人)

(2) 碧南市常任統計調査員会助成金 220,000 円

3 統計調査員確保対策事業

予算現額 28,000 円 (28,000 円) 増減無

決 算 額 21,259 円 (21,556 円) 1.4%減

(事業の目的及び概要)

国が実施する統計調査に際して、統計調査員の任命が困難となっている現状を改善するため、予め調査員を登録し確保を図る。

(事業の成果)

70 名の登録調査員の確保ができた。

2 目 諸統計費	秘書課	S D G s	
予算現額	4,411,000 円	決算額の	県支出金 3,610,384 円
決算額	3,611,298 円	財源内訳	一般財源 914 円
(前年度決算額	4,284,270 円)		

説 明

1 経済センサス調査区管理事業

予算現額 29,000 円 (28,000 円) 3.6%増

決 算 額 11,587 円 (12,518 円) 1.2%減

(事業の目的及び概要)

経済センサスの調査区について、毎年修正の要否を確認し、必要に応じて調査区の修正を行う。

(事業の成果)

修正報告基準日である令和6年6月1日現在の住所情報で調査区の確認を行った。

2 国勢調査調査区設定事業

予算現額 504,000 円 (6,000 円) 8,300.0%増

決 算 額 387,629 円 (3,980 円) 9,639.4%増

(事業の目的及び概要)

令和7年国勢調査の実施にあたり、前回調査の時点から地形等が変化した結果生ずる、調査区地図と現地の状況との不一致や、調査区に生じた世帯数の偏りを改めることにより、国勢調査員の担当区域を明確にし、調査の重複・脱漏を防ぎ、調査の正確性を期するとともに、調査結果の集計及び各種統計調査実施のための基礎資料を得ることを目的とする。

(事業の成果)

本調査は令和7年度に実施するが、前年度より準備が開始され、調査区の区割変更を実施した。また、愛知県が開催した調査説明会に出席した。

3 農林業センサス事業

予算現額 2,490,000 円 (17,000 円) 14,547.1%増

決 算 額 2,101,128 円 (3,927 円) 53,404.7%増

(事業の目的及び概要)

農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握し、農林行政の企画・立案・推進のための基礎資料を得ることを目的とする。

調査期日：令和7年2月1日

(事業の成果)

指導員4人、調査員56人をもって39農業集落、1,990世帯を調査し、調査票の点検業務・提出を行った。調査結果は令和7年11月末日までに概要が公表され、その後、令和8年3月以降に確定値が公表される予定。

4 全国家計構造調査

予算現額 1,388,000 円 (0 円) 皆増

決 算 額 1,111,054 円 (0 円) 皆増

(事業の目的及び概要)

家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的とする。

一般会計	歳出	2 款 5 項	総務費 統計調査費

調査期日：令和 6 年 1 0 月～1 1 月（2 か月間）

（事業の成果）

指導員 1 人、調査員 2 人をもって 2 基本調査単位区から 2 人以上世帯 2 0 世帯、単身世帯 4 世帯を抽出し、世帯票、年収・貯蓄等調査票、家計簿（1 0 月、1 1 月分）の点検業務、提出を行った。また、2 簡易調査区から 2 人以上世帯 2 0 世帯、単身世帯 4 世帯を抽出し、世帯票、年収・貯蓄等調査票の点検業務、提出を行った。調査結果は、令和 7 年 1 2 月から順次公表される予定。

1 目 監査委員費	監査委員事務局	S D G s	 	
予算現額	38,668,000 円	決算額の	一般財源	37,299,746 円
決算額	37,299,746 円	財源内訳		
(前年度決算額	38,610,496 円)			

説 明

1 監査事務管理事業 予算現額 38,606,000 円 (40,457,000 円) 4.6%減
 決 算 額 37,283,576 円 (38,391,586 円) 2.9%減
 一般職人件費 (4 人)

2 監査委員運営事業 予算現額 62,000 円 (386,000 円) 83.9%減
 決 算 額 16,170 円 (218,910 円) 92.6%減

(事業の目的及び概要)

地方自治法、地方公営企業法に基づき公正で合理的かつ効率的な行政を確保するため、監査等を実施するための費用である。

監査等の実施状況

(1) 例月出納検査

- ・実施時期 毎月 1 回 (原則として 25 日)
- ・検査実施 一般会計、特別会計、水道事業会計、下水道事業会計及び病院事業会計に属する現金の出納

(2) 決算審査

- ・実施時期 令和 6 年 6 月～7 月
- ・審査実施 全部局

(3) 財政健全化審査

- ・実施時期 令和 6 年 7 月～8 月
- ・審査実施 令和 5 年度健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類について審査

(4) 定期監査

- ・実施時期 令和 6 年 10 月～令和 7 年 2 月
- ・監査実施 全部局

(5) 財政援助団体等監査

- ・実施時期 令和 6 年 8 月
- ・監査実施 碧南コンセッション
碧南市老人クラブ連合会

(6) 随時監査 (工事)

- ・実施時期 令和 7 年 1 月
- ・監査実施 西端中学校卓球場・柔剣道場外壁等改修工事

(事業の成果) 監査等を実施し、その結果を議会及び市長に報告するとともに公表した。

1 目 社会福祉総務費	福祉課	S D G s		
予算現額	789,796,000円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	353,148,990円
決算額	539,513,614円		県支出金	7,022,760円
(前年度決算額	757,623,114円)		その他特財	442,405円
			一般財源	178,899,459円

説 明

- 1 社会福祉事務管理事業 予算現額 102,080,000円 (111,145,000円) 8.2%減
決 算 額 95,573,597円 (106,949,834円) 10.6%減

一般職人件費 (12人) 他 95,147,002円
旅費 161,180円
需用費 213,915円
負担金 51,500円

- 2 民生委員・児童委員運営事業 予算現額 13,477,000円 (13,474,000円) 0.0%増
決 算 額 13,473,260円 (13,473,260円) 増減無

(事業の目的及び概要)

地域住民と行政等専門機関とのつなぎ役としての民生委員児童委員の活動を支援することを目的に、費用弁償費の支出及び運営費補助金を交付する。

(事業の成果)

民生委員児童委員活動費用弁償費 (115名) 6,958,760円
民生委員・児童委員活動助成金 (6地区) 6,244,500円
民生委員・児童委員協議会運営補助金 270,000円

- 3 社会福祉活動事業 予算現額 588,000円 (515,000円) 14.2%増
決 算 額 588,000円 (515,000円) 14.2%増

(事業の目的及び概要)

犯罪をした者及び非行のある少年の改善更生を助け、犯罪予防の啓発を目的に社会を明るくする運動を実施する。

(事業の成果)

市内における第74回社会を明るくする運動の実施 588,000円

- 4 社会福祉団体助成事業 予算現額 580,000円 (580,000円) 増減無
決 算 額 580,000円 (580,000円) 増減無

(事業の目的及び概要)

社会福祉団体の健全な運営を図り、社会福祉の向上及び増進に寄与することを目的とした運営費補助金を交付する。

(事業の成果)

交付団体	補助金額
碧南市赤十字奉仕団	110,000円
碧南市身体障害者福祉協会	180,000円

一般会計		歳出	3 款 1 項	民生費 社会福祉費
碧南市ボランティア連絡協議会		60,000 円		
碧南市手をつなぐ育成会		60,000 円		
碧南保護区保護司会碧南支部		90,000 円		
碧南市更生保護女性会		80,000 円		
5 社会福祉協議会補助事業		予算現額 59,406,000円 (57,225,000円) 3.8%増 決 算 額 56,258,856円 (53,864,960円) 4.4%増		
(事業の目的及び概要)				
社会福祉法人碧南市社会福祉協議会の運営及び事業の充実を図るため、補助金を交付する。				
(事業の成果)				
事務局職員人件費、福祉のまちづくり事業及び協議会運営費の一部を助成した。				
6 災害援護等事業		予算現額 954,000円 (220,000円) 333.6%増 決 算 額 650,800円 (57,000円) 1,041.8%増		
(事業の目的及び概要)				
災害や火災等により被害を受けた市民に、災害弔慰金や災害見舞金の支給等を行う。また、災害時に備え避難行動要支援者名簿及び個別避難計画を整備する。				
(事業の成果)				
郵便料		85,000 円		
個別避難計画作成業務委託 (社会福祉協議会、ダブルエッチジェー)		180,800 円		
災害見舞金 7 件		385,000 円		
7 福祉基金積立事業		予算現額 776,000円 (970,000円) 20.0%減 決 算 額 775,305円 (969,999円) 20.1%減		
(事業の目的及び概要)				
福祉事業の円滑な推進に必要な財源を確保するための福祉基金に、利子、寄附金等を積み立てる。				
(事業の成果)				
基金の状況				
令和 5 年度末基金現在高		108,978,888 円		
令和 6 年度積立額 (利子及び寄附金)		775,305 円		
取崩額 (碧南ふれあい作業所車両購入費の半額)		5,638,000 円		
令和 6 年度末基金現在高		104,116,193 円		
8 遺族援護事業		予算現額 1,676,000円 (1,746,000円) 4.0%減 決 算 額 1,382,460円 (1,398,366円) 1.1%減		
(事業の目的及び概要)				
戦没者を追悼し、恒久の平和を願うために平和祈念祭を実施するとともに、碧南市遺族連合会が実施する事業に対し、補助金を交付する。				
(事業の成果)				
平和祈念祭会場設営等		482,460円		

一般会計		歳出	3 款 1 項	民生費 社会福祉費
令和 6 年 4 月 7 日（日） 平和の広場（明石公園内） 参加者 3 9 人 戦没者 1, 1 7 8 柱に追悼の意を表すとともに、恒久の平和を祈念した。 碧南市戦没者遺族援護事業補助金 900, 000 円				
9 碧南市地域福祉計画推進事業	予算現額	220, 000 円（220, 000 円）	増減無	
	決 算 額	153, 263 円（132, 000 円）	16. 1%増	
（事業の目的及び概要） へきなん地域福祉ハッピープラン（第 3 次碧南市地域福祉計画）の進行状況の管理及び 評価を行うため、地域福祉計画推進委員会を開催する。				
（事業の成果）				
令和 6 年度地域福祉計画推進委員会	1 回開催	73, 263 円		
地域福祉推進会議	6 地区で各 1 回、シンポジウム 1 回	80, 000 円		
1 0 社会福祉法人指導監査実施事業	予算現額	149, 000 円（275, 000 円）	45. 8%減	
	決 算 額	148, 500 円（235, 000 円）	36. 8%減	
（事業の目的及び概要） 社会福祉法に基づき、市が所轄庁となる社会福祉法人に対し、監査・監督を実施する。				
（事業の成果） 社会福祉法人（1 法人）に対する指導監査等支援業務委託 148, 500 円				
1 1 生活困窮者自立相談支援等事業	予算現額	28, 309, 000 円（36, 666, 000 円）	22. 8%減	
	決 算 額	26, 293, 403 円（32, 619, 205 円）	19. 4%減	
（事業の目的及び概要） 経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対し て、個々の状況に応じた支援を行い、自立の促進を図る。				
（事業の成果）				
(1) 生活困窮者自立相談支援事業		25, 059, 593 円		
ア 生活困窮者自立相談支援事業		23, 538, 161 円		
生活困窮者が抱える多様で複合的な問題につき、生活困窮者からの相談に応じ、必 要な情報提供及び助言を行うとともに、生活困窮者に対する支援の種類及び内容等を 記載した計画の作成、生活困窮者に対する認定生活困窮者就労訓練事業の利用のあつ せん等様々な支援を一体的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を 図るための支援を実施するため碧南市社会福祉協議会へ業務委託した。				
受付件数	1 6 6 件	（令和 5 年度 1 9 5 件）		
プラン作成件数	4 件	（令和 5 年度 6 件）		
イ 令和 5 年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金の返還金		1, 508, 000 円		
ウ 令和 4 年度補助金における仕入控除税額確定による返還金		13, 432 円		
(2) 生活困窮者住居確保給付金支給事業		187, 500 円		
離職又は自営業の廃業、休業等に伴う収入減少により経済的に困窮し、住宅を喪失し た者又は喪失するおそれのある者に対して、住居確保給付金を支給することにより、こ				

一般会計	歳出	3 款 1 項	民生費 社会福祉費

これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を実施する。

支給期間 原則 3 月間

支給世帯数 2 世帯 (令和 5 年度 8 世帯)

支給件数 延べ 6 件 (令和 5 年度 9 件)

(3) 生活困窮者一時生活支援事業 1,046,310円

ア 生活困窮者一時生活支援事業 228,780円

市内に一定の住居を持たない生活困窮者に対し、一定の期間内に限り、宿泊場所の供与、食事の提供及びその他日常生活を営むため必要な物資を貸与又は提供することにより、一時的な支援を実施する。

利用期間 上限 2 週間

利用者数 2 人 (令和 5 年度 4 人)

泊数 延べ 36 泊 (令和 5 年度 42 泊)

イ 令和 5 年度生活困窮者自立相談支援事業費等国庫負担金の返還金 817,530円

1 2 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業（繰越明許費）

予算現額 158,741,000円 (0円) 皆増

決算額 72,733,210円 (0円) 皆増

(事業の目的及び概要)

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し、給付金を支給する。

(事業の成果)

(1) 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業 27,968,282円

令和 5 年度住民税非課税世帯に 7 万円を追加支給する。

ア 支給数 306 件 (事業全体で 4,521 件)

イ 申請期限 令和 6 年 4 月 30 日

(2) 物価高騰対応重点支援給付金 (令和 5 年度支援世帯分) 支給事業 44,764,928円

令和 5 年度住民税均等割のみ課税世帯に 1 世帯当たり 10 万円を支給するとともに非課税・均等割のみ世帯に属する 18 歳以下の児童 1 人あたり 5 万円を加算支給する。

ア 支給数

(ア) 均等割のみ課税世帯 300 件 (事業全体で 1,139 件)

(イ) 非課税世帯子ども加算 121 人 (事業全体で 556 人)

(ウ) 均等割のみ課税世帯子ども加算 105 人 (事業全体で 269 人)

イ 申請期限 令和 6 年 5 月 31 日

1 3 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業

予算現額 422,840,000円 (731,094,000円) 42.2%減

決算額 270,902,960円 (546,828,490円) 50.5%減

(事業の目的及び概要)

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し、給付金を支給する。

(事業の成果)

(1) 物価高騰対応重点支援給付金 (令和 6 年度支援世帯分) 支給事業 132,718,531円

令和 5 年度に給付金を受けていない世帯で、令和 6 年度住民税非課税・均等割のみ課税世帯に 1 世帯当たり 10 万円を支給するとともに世帯に属する 18 歳以下の児童 1 人あたり 5 万円を支給する。

ア 支給数

(ア) 非課税世帯	7 7 6 件
(イ) 非課税世帯子ども加算	1 4 4 人
(ウ) 均等割のみ課税世帯	3 7 7 件
(エ) 均等割のみ課税世帯子ども加算	9 8 人

イ 申請期限 令和 6 年 10 月 31 日

(2) 物価高騰対応重点支援給付金（令和 6 年度追加分）支給事業 138,184,429 円

令和 6 年度住民税非課税世帯に 1 世帯当たり 3 万円を支給するとともに属する 18 歳以下の児童 1 人あたり 2 万円を給付

ア 支給世帯数

(ア) 非課税世帯	4, 1 9 7 件
(イ) 非課税世帯子ども加算	5 4 7 人

イ 申請期限 令和 7 年 4 月 30 日

2 目 福祉医療費	国保年金課	S D G s		
予算現額	289,973,000 円	決算額の	県支出金	75,349,000 円
決 算 額	276,807,181 円	財源内訳	その他特財	40,932,697 円
(前年度決算額	276,408,683 円)		一般財源	160,525,484 円

説 明

- 1 福祉医療事務管理費 予算現額 42,830,000 円 (38,865,000 円) 10.2%増
決 算 額 37,898,960 円 (37,464,885 円) 1.2%増
一般職人件費 (6 人)

- 2 障害者医療費助成事業 予算現額 244,878,000 円 (252,338,000 円) 3.0%減
決 算 額 236,643,541 円 (231,745,750 円) 2.1%増

(事業の目的及び概要)

障害者の健康保持と福祉の増進を図るため、心身障害者に医療費の自己負担額を助成するために要する経費である。

また、市単独の制度を含む精神障害者を対象とした医療費の助成に要する経費である。

(事業の成果)

区分	3 月末 受給者	年間診療件数	一人当りの 支出額	支出額 (扶助費)
障害者	847 人	20,237 件	173,931 円	147,319,496 円
精神障害者	入院 15 人	67 件	85,184 円	1,277,767 円
	通院 757 人	15,698 件	36,261 円	27,449,870 円
	全疾病 454 人	入院 465 件	62,870 円	28,542,952 円
		通院 12,169 件	66,605 円	30,238,492 円
	小計 1,226 人	28,399 件	71,378 円	87,509,081 円
合計	2,073 人	48,636 件	113,280 円	234,828,577 円

- 3 福祉医療システム管理事業 予算現額 2,265,000 円 (7,199,000 円) 68.5%減
決 算 額 2,264,680 円 (7,198,048 円) 68.5%減

(事業の目的及び概要)

平成 30 年度中に業者選定したシステムの管理及び保守に関する経費である。

なお、令和元年度以降、システム保守料はリース会社による代理回収となるため、リース期間中 (平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの 5 年長期継続契約) において、保守委託料は発生しない。

(事業の成果)

福祉医療システムを導入したことにより、適正な業務運用が図られた。

3 目 心身障害者福祉費	福祉課	S D G s		
予算現額	2,225,196,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	942,768,008 円
決算額	2,134,253,645 円		県支出金	497,066,624 円
(前年度決算額	2,029,974,160 円)		その他特財	10,542,769 円
			一般財源	683,876,244 円

説明

- 1 心身障害者福祉事務管理事業 予算現額 4,688,000 円 (8,675,000 円) 46.0%減
 決算額 4,630,014 円 (8,669,182 円) 46.6%減
 (1) 消耗品 538,014 円
 (2) 使用料及び賃借料 4,092,000 円

- 2 社会福祉総合助成事業 予算現額 7,211,000 円 (6,778,000 円) 6.4%増
 決算額 6,234,649 円 (6,049,106 円) 3.1%増

(事業の目的及び概要)

障害者の福祉向上に資するため、各種事業を実施する。

(事業の成果)

- (1) 福祉タクシー料金助成事業 4,564,010 円

実申請者	交付枚数	基本料金	利用者数	利用枚数	備考
695 人	16,442 枚	700 円	444 人	6,544 枚	利用券印刷費 216,700 円

- (2) 障害者入浴サービス事業 1,380,500 円

ア 障害者優待利用券作成費 93,500 円

イ サンビレッジ衣浦回数利用券 1,287,000 円

大人 116 冊×11,000 円 (1 冊 30 回分)

小人 5 冊×2,200 円 (1 冊 11 回分)

- (3) 軽・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業 (4 件) 215,139 円

- (4) 障害者施設歯科健診事業 75,000 円

- 3 難病患者等支援事業 予算現額 1,508,000 円 (1,598,000 円) 5.6%減
 決算額 1,043,100 円 (1,411,786 円) 26.1%減

(事業の目的及び概要)

難病患者及び小児慢性特定疾患児の福祉向上に資するため、各種事業を実施する。

(事業の成果)

- (1) 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業 158,100 円

用具区分	件数	給付費
ストーマ装具(消化器系)	1 件	61,110 円
人工鼻	1 件	40,590 円
電気式たん吸引器	1 件	56,400 円
合計	3 件	158,100 円

- (2) 特定疾患見舞金支給事業 (@ 5,000 円×177 人) 885,000 円

4 ふれあい作業所運営事業

予算現額 14,102,000 円 (15,223,000 円) 7.4%減

決 算 額 13,175,798 円 (13,701,252 円) 3.8%減

(事業の目的及び概要)

障害者が自立した日常生活や社会生活を営むことができる施設として、碧南ふれあい作業所を運営する。

(事業の成果)

指定管理者制度に基づき、碧南ふれあい作業所の管理及び運営を社会福祉法人ダブルエッチジェーに委託し、利用者へ日常生活上の支援、創作的活動又は生産活動の機会の提供を行った。

(1) 指定管理事業

612,880 円

ふれあい作業所通所者の状況

R7.3.31

区 分	知的障害者			身体障害者						身体障害 と知的障 害の合併	精神障害者		
	重 度	中 度	軽 度	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級		1 級	2 級	3 級
男(人)	32	2	0	3	3	2	1	0	0	7	0	0	1
女(人)	15	5	0	2	3	1	0	0	0	6	0	0	0
計(人)	47	7	0	5	6	3	1	0	0	13	0	0	1

(2) 指定管理者審査委員会運営事業

13,511 円

(3) 施設維持管理事業

12,549,407 円

施設修繕工事 2 件 (ふれあい農園ビニールハウス張替、2 階厨房屋内ガス給湯器取替修繕)

備品購入 1 件 (送迎用マイクロバス)

5 障害者自立支援事業

予算現額 1,958,732,000 円 (1,793,696,000 円) 9.2%増

決 算 額 1,911,906,814 円 (1,793,138,630 円) 6.6%増

(事業の目的及び概要)

障害者の自立を支えるため提供される各種障害福祉サービスに関する介護給付費等を支出する。

(事業の成果)

(1) 医療手数料 (給付費審査手数料)

2,192,169 円

(2) 扶助費

1,907,956,554 円

ア 障害福祉サービス費・障害児給付費

1,906,675,266 円

イ 高額障害児通所給付費

281,042 円

ウ 高額障害福祉サービス費

422,539 円

エ 新高額障害福祉サービス費

577,707 円

主なサービスの給付費

サービス種類 (者)	給付額 (円)
居宅介護	180,621,388
生活介護	410,789,712
共同生活援助 (GH)	171,572,995
就労継続支援 A 型	116,146,788
就労継続支援 B 型	348,958,673

サービス種類 (児)	給付費 (円)
児童発達支援	108,105,795
放課後等デイサービス	300,515,948
保育所等訪問支援	26,679,548

(3) 障害支援区分認定事業 1,758,091 円

ア 認定審査会委員報酬 1,121,000 円

イ 認定審査用医師意見書料 637,091 円

6 身体障害者等補装具費給付事業 予算現額 19,386,000 円 (14,955,000 円) 29.6%増
決算額 18,132,262 円 (14,954,695 円) 21.2%増

(事業の目的及び概要)

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、補装具費を給付する。

(事業の成果)

(1) 扶助費 18,132,262 円

補装具種目	決定件数(件)				支出済額(円)
	購入件数	修理件数	借受件数	件数計	支出済額計
義肢	7	7	0	14	4,103,006
装具	11	0	0	11	1,081,618
座位保持装置	4	2	0	6	4,073,129
視覚障害者安全つえ	1	0		1	4,140
義眼	0	0		0	0
眼鏡	4	0		4	100,202
補聴器	10	10		20	990,096
車いす	7	15		22	3,274,940
電動車いす	1	4		5	790,930
座位保持いす(児のみ)	3	3	0	6	2,342,976
起立保持具(児のみ)	0	0		0	0
歩行器	1	0	0	1	494,920
頭部保持具(児のみ)	1	0		1	6,795
排便補助具(児のみ)	0	0		0	0
歩行補助つえ	1	0		1	10,000
重度障害者用意思伝達装置	1	0	0	1	859,510
人工内耳		0		0	0
合 計	52	41	0	93	18,132,262

7 障害者自立支援医療給付事業 予算現額 50,204,000 円 (59,234,000 円) 15.2%減
決算額 44,211,549 円 (49,775,442 円) 11.2%減

(事業の目的及び概要)

心身の障害の軽減を図る医療に対し、自立支援医療費を支給する。

一般会計	歳出	3 款 1 項	民生費 社会福祉費
(事業の成果)			
(1) 報償費 医師審査謝礼	35,910 円		
(2) 役務費 審査手数料	266,188 円		
(3) 扶助費	43,909,451 円		

8 地域生活支援事業 予算現額 157,099,000 円 (148,525,000 円) 5.8%増
決 算 額 124,356,341 円 (132,066,008 円) 5.8%減

(事業の目的及び概要)

障害者が自立した生活を営むことができるよう、状況に応じた事業を実施する。

(事業の成果)

(1) 相談支援事業	19,694,688 円
ア 報償費等	565,993 円
イ 委託料	19,128,695 円
(2) コミュニケーション支援事業	749,000 円
手話通訳者設置事業	171,750 円
利用実人数 8 人 延べ利用回数 4 2 回	
手話通訳者派遣	137,150 円
利用実人数 5 人 延べ利用回数 2 7 回	
要約筆記派遣	0 円
碧南高浜手話通訳者養成研修事業	430,100 円
講習会 全 2 0 回実施 受講者数 1 0 名 (碧南市 3 名、高浜市 7 名)	
需用費 (消耗品、印刷製本費)	0 円
負担金 (全国手話言語市区長会年会費)	10,000 円
(3) 日常生活用具等給付等事業	14,123,988 円

用 具 区 分	件 数	給 付 費	用 具 区 分	件 数	給 付 費
特殊寝台	1	138,600 円	ネブライザー (吸引器)	1	19,800 円
特殊マット	2	37,240 円	電気式たん吸引器	5	265,080 円
体位変換器	1	15,000 円	盲人用体温計 (音声式)	1	9,000 円
移動用リフト	1	143,100 円	人工呼吸器用バッテリー	3	261,568 円
エアーマット	2	118,611 円	動脈血中酸素飽和度測定器 (パルスオキシメーター)	1	49,500 円
入浴補助用具	3	235,350 円	視覚障害者用ポータブルレコーダー	1	85,000 円
移動・移動支援用具	1	54,000 円	視覚障害者用拡大読書器	3	439,380 円
頭部保護帽	2	26,928 円	ストーマ装具	943	8,950,804 円
透析液加湿器	3	139,050 円	紙おむつ等	280	3,135,977 円
合 計				1,254	14,123,988 円

(4) 移動支援事業	33,728,295 円
扶助費	
移動支援事業	33,600,717 円

一般会計	歳出	3 款 1 項	民生費 社会福祉費
延べ利用人数 899人			
延べ利用時間（小数点切り上げ） 9,480時間			
高額地域生活支援費		127,578 円	
(5) 訪問入浴サービス事業		7,220,512 円	
障害者移動入浴事業 利用実人数 8人 延べ利用回数 544回			
(6) 更生訓練費給付事業		0 円	
(7) 日中一時支援事業 扶助費		15,222,866 円	
日中一時支援事業		14,975,000 円	
延べ利用人数 1,394人 延べ利用日数 3,351日			
高額地域生活支援費		247,866 円	
延べ対象者数 67人			
(8) 生活サポート事業		0 円	
(9) 声の広報発行事業		92,160 円	
声の広報カセットテープ複製料 利用実人数 5人 複製本数 96回			
(10) 自動車運転免許取得助成事業	2 件	200,000 円	
(11) 自動車改造助成事業	5 件	500,000 円	
(12) 火災警報器給付事業	0 件	0 円	
(13) 地域活動支援センター事業		12,611,000 円	
碧南高浜地域活動支援センター（あおみ J センター）			
延通所者 911名 運営事業費補助金		12,138,000 円	
安城市地域活動支援センター（地域活動支援センター 陽なた）			
延利用者数 101名 通所利用実績に基づく負担金		473,000 円	
(14) 障害者就労相談員設置事業		10,154,968 円	
月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時15分まで 碧南市社会福祉協議会へ委託 相談者人数 34人（男 22人 女 12人）、相談件数延べ 47回			
(15) 成年後見支援事業		10,058,864 円	
相談者延べ人数 137人（高齢者 73人 障害者 60人、その他 4人）			

9 障害者自立支援推進事業 予算現額 1,966,000 円（3,385,000 円）41.9%減
決算額 1,807,894 円（1,797,778 円）0.6%増

（事業の目的及び概要）

障害者及びその家族の福祉向上を図ることを目的とし、共同生活援助及び重症心身障害者を対象とした短期入所を行う事業所へ補助金を交付する。

（事業の成果）

(1) 障害者共同生活援助事業費補助事業 1,714,894 円
 障害支援区分 4 から 6 利用者 1 人 1 日につき 2,290 円
 障害支援区分 3 以下 利用者 1 人 1 日につき 1,297 円
 社会福祉法人 ダブルエッチジェー
 やまぼうしの郷 対象者 1 人 延べ 97 日 222,130 円

一般会計	歳出	3 款 1 項	民生費 社会福祉費
社会福祉法人 岩崎学園			
岩崎障害者地域生活支援ホーム			
対象者 1 人 延べ	1 1 8 日	153,046 円	
アペックスハイム I W A T A			
対象者 1 人 延べ	1 1 8 日	153,046 円	
社会福祉法人 ポテト福祉会			
ポテトホーム 対象者 2 人 延べ	1 2 4 日	283,960 円	
特定非営利活動法人 ハッピースマイルわかば			
わかばの里 対象者 4 人 延べ	4 3 6 日	565,492 円	
特定非営利活動法人 セブンデイズ			
セブンデイズきよす 対象者 1 人 延べ	9 6 日	124,512 円	
社会福祉法人 翌檜			
チャレンジかすが 対象者 1 人 延べ	4 6 日	59,662 円	
特定非営利活動法人 インクル			
グループホームインクル			
対象者 1 人 延べ	1 1 8 日	153,046 円	
(2) 重症心身障害者短期入所利用支援事業			93,000 円
短期入所のみを利用した場合	1 日につき 1,	0 0 0 円	
愛厚半田の里 対象者 1 人 延べ	7 6 日	76,000 円	
社会福祉法人 歩々の会			
ピカリコ 対象者 1 人 延べ	1 7 日	17,000 円	
1 0 障害福祉施設等整備事業	予算現額	9,025,000 円 (5,790,000 円) 55.9%増	
	決 算 額	8,024,024 円 (4,832,281 円) 66.1%増	
(事業の目的及び概要)			
障害福祉サービス事業所等を開設する法人に対し補助金を交付する。			
(事業の成果)			
新規整備 1 件 こうのどり (就労継続支援 B 型) 58,932,000 円	8 分の 1 補助		
		7,366,000 円	
元利償還金 1 件 愛生館 1,316,048 円	2 分の 1 補助		
		658,024 円	
1 1 地域生活支援拠点等整備事業	予算現額	1,275,000 円 (1,272,000 円) 0.2%増	
	決 算 額	731,200 円 (718,000 円) 1.8%増	
(事業の目的及び概要)			
障害者の心身の安全を確保するため、居室確保及び緊急時の支援を行う。			
(事業の成果)			
「一人暮らし、グループホームへの入居等の体験の機会及び場の提供」及び「緊急時の受入対応体制の確保」のための場所を確保した。			
居室確保使用料		343,200 円	
前年度補助額確定による国・県への返還		388,000 円	

4 目 心身障害者 福祉センター費	福祉課	S D G s	 
予算現額	14,284,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金 626,867 円
決算額	12,757,281 円		県支出金 313,445 円
(前年度決算額	11,216,841 円)		その他特財 88,015 円
			一般財源 11,728,954 円

説 明

- 1 施設維持管理事業 予算現額 14,284,000 円 (12,859,000 円) 11.1%増
決 算 額 12,757,281 円 (11,216,841 円) 13.7%増

(事業の目的及び概要)

障害者及び障害児の福祉の増進を図るため、碧南市心身障害者福祉センターを運営する。

(事業の成果)

- (1) 心身障害者福祉センター指定管理事業 12,730,770 円

指定管理者制度により、心身障害者福祉センターの管理運営を碧南市社会福祉協議会に委託し、障害者及び障害児への福祉サービスとして、創作活動、社会適応訓練及び日常生活訓練を実施した。

管理体制 所長等職員（兼務）2 人（事務局長、管理課課長補佐）、臨時職員 2 人
(参考)

障害者デイサービス事業

事業名	実施回数(回)	延べ参加人数(人)	事業費(円)	事業名	実施回数(回)	延べ参加人数(人)	事業費(円)
陶芸教室	46	108	156,000	車椅子ダンス教室	12	116	78,000
水泳教室	10	163	412,500	卓球教室	43	184	39,000
手話教室	23	110	276,000	絵はがき教室	11	36	71,500
点訳教室	24	116	156,000	パン作り教室	6	40	78,000
ストレッチ教室	11	43	71,500	機能訓練教室	24	129	360,000
カラオケ教室	31	124	45,500	フラワーアレンジメント教室	12	81	78,000
盲人卓球教室	44	284	71,500	たのしいデー	12	79	19,500
パソコン教室	25	139	78,000	合 計	334	1,752	1,991,000

社会参加促進事業

事業名	参加人数(人)	事業費(円)
身体障害者社会見学	55	877,098
障害者レクリエーション事業	40	25,717
障害者ふれあいスポーツ大会	119	194,264
心身障害児親子研修事業	98	750,000
二十歳を祝う会事業	180	382,365
心身障害者社会見学	78	745,283
障害児者卒業生を祝うひなまつり会事業	127	130,000
点訳交流会事業	9	32,525
手話交流会事業	10	34,806
合 計	716	3,172,058

- (2) 指定管理者審査委員会運営事業 26,511 円

5 目 福祉手当費	福祉課	S D G s		
予算現額	140,907,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	22,054,125 円
決算額	136,342,810 円		県支出金	3,276,450 円
(前年度決算額	131,976,662 円)		一般財源	111,012,235 円

説 明

- 1 特別障害者手当等支給事業 予算現額 33,115,000 円 (30,481,000 円) 8.6%増
決 算 額 32,672,810 円 (29,487,662 円) 10.8%増

(事業の目的及び概要)

心身障害者の福祉の増進を図るため、各種手当を支給する。

(事業の成果)

- (1) 役務費 郵便料 12,000 円
(2) 扶助費

区 分	年度末受給者	月額手当	支給額
特別障害者手当	64 人	A種 35,690 円 B種 29,890 円 C種 28,840 円	32,660,810 円
障害児福祉手当	36 人	A種 22,590 円 B種 16,840 円 C種 15,690 円	
経過的福祉手当	1 人	B種 16,840 円	
合 計	101 人		

- 2 市心身障害者手当支給事業 予算現額 107,791,000 円 (104,429,000 円) 3.2%増
決 算 額 103,670,000 円 (102,489,000 円) 1.2%増

(事業の目的及び概要)

心身障害者の生活の安定及び福祉の増進を図るため、各種手当を支給する。

(事業の成果)

- (1) 郵便料 133,000 円
(2) 扶助費

月額	年度末受給者	支給額
4,000 円	638 人	103,537,000 円
3,500 円	964 人	
3,000 円	321 人	
2,000 円	843 人	
合 計	2,766 人	

一般会計	歳出	3 款 1 項	民生費 社会福祉費
3 在日外国人福祉給付金支給事業	予算現額	1,000 円 (1,000 円)	増減無
	決 算 額	0 円 (0 円)	増減無

(事業の目的及び概要)

過去、制度的に国民年金に加入できなかったことに起因する年金の受給権がない外国人に対し、在日外国人福祉給付金を支給する。

(事業の成果)

扶助費 0 円

6 目 国民年金費	国保年金課	S D G s		
予算現額	34,229,000 円	決算額の	国庫支出金	18,216,885 円
決算額	30,880,000 円	財源内訳	一般財源	12,663,115 円
(前年度決算額	31,519,035 円)			

説 明

1 国民年金事務管理事業

予算現額 34,229,000 円 (33,203,000 円) 3.1%増

決 算 額 30,880,000 円 (31,519,035 円) 2.0%減

(事業の目的及び概要)

老齢、障害又は死亡によって生活の安定が損なわれることを防ぐ国民年金制度に関する事務の内、法令で定められた市町村の処理する事務及び日本年金機構との協力・連携事務に要する経費である。

(1) 一般職人件費 (4 人)

予算現額 33,265,000 円

※内 1 名育児休業取得

決 算 額 30,017,384 円

(2) 基礎年金事務事業

予算現額 964,000 円

決 算 額 862,616 円

・被保険者

※ 3 月末時点

被保険者区分	人数	保険料額 (月額)
第 1 号	6,984 人	16,980 円
第 3 号	4,624 人	年金制度が負担
任意加入	73 人	
合 計	11,681 人	

・保険料免除者

※ 3 月末時点

免除区分	人数	保険料額 (月額)
法定免除	535 人	0 円
全額免除	870 人	0 円
4 分の 3 免除	65 人	4,250 円
半額免除	46 人	8,490 円
4 分の 1 免除	25 人	12,740 円
納付猶予	291 人	0 円
学生納付特例	593 人	0 円
合 計	2,425 人	

・年金受給者

※ 3 月末時点

老齢基礎年金	障害基礎年金	遺族基礎年金	総計
16,927 人	248 人	103 人	17,278 人

7 目 国民健康保険 特別会計事業費	国保年金課	S D G s		
予算現額	732,800,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	57,680,705 円
決算額	695,914,855 円		県支出金	162,332,560 円
(前年度決算額	714,905,573 円)		一般財源	475,901,590 円

説 明

- 1 国民健康保険特別会計繰出事業 予算現額 732,800,000 円 (736,324,000 円) 0.5%減
決 算 額 695,914,855 円 (714,905,573 円) 2.7%減

(事業の目的及び概要)

一般会計から碧南市国民健康保険特別会計へ繰り出しを行うもので、国保財政の安定化を図るものである。

(1) 国民健康保険特別会計繰出事業

職員給与費等繰出金	88,496,477 円
出産育児一時金等繰出金	10,786,116 円
財政安定化支援事業繰出金	17,975,000 円
保険税減免分等	85,550,237 円
決算補填等目的分	199,756,000 円

(2) 保険基盤安定繰出事業

保険基盤安定繰出金 (保険税軽減分)	177,989,613 円
保険基盤安定繰出金 (保険者支援分)	109,902,774 円

(3) 未就学児均等割保険料繰出事業

未就学児均等割保険料繰出金	4,219,523 円

(4) 産前産後期間保険料繰出事業

産前産後期間保険料繰出金	1,239,115 円

(事業の成果)

国民健康保険特別会計へ繰り出したことにより、国保財政の安定化が図られた。

8 目 高齢者福祉費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	206,224,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金 760,000 円
決算額	188,713,808 円		県支出金 4,075,000 円
(前年度決算額	188,727,295 円)		その他特財 191,445 円
			一般財源 183,687,363 円

説 明

1 高齢者福祉事務管理事業

予算現額 62,880,000 円 (62,293,000 円) 0.9%増
決 算 額 60,474,573 円 (59,892,425 円) 1.0%増

- (1) 一般職人件費 (6 人) 59,691,368 円
(2) 高齢者福祉事務管理事業 13,345 円
(3) ひとり暮らし高齢者等実態調査事業 769,860 円

ひとり暮らし高齢者	高齢者世帯
1,628 人	2,597 人／1,333 世帯

2 敬老事業

予算現額 10,247,000 円 (10,187,000 円) 0.6%増
決 算 額 10,247,000 円 (10,187,000 円) 0.6%増

(事業の目的及び概要)

社会の進展に貢献した高齢者に感謝の意を表し、長寿をお祝いする経費である。

(事業の成果)

地区及び高齢者施設で実施された敬老事業に補助金を支出した。また、対象年齢の高齢者に敬老金を支給した。

- (1) 敬老会助成事業 6,967,000 円
7 地区 (数え 80 歳以上) 6,719 人及び 4 施設
(2) 敬老金支給事業 3,280,000 円

対象年齢	満 90 歳	満 99 歳以上
人 数	256 人	72 人
1 人当たり金額	10,000 円	

3 老人クラブ活動推進事業

予算現額 14,011,000 円 (14,494,000 円) 3.3%減
決 算 額 13,231,428 円 (13,775,918 円) 4.0%減

(事業の目的及び概要)

老人クラブの活動を推進することにより、高齢者の生きがいや健康づくり、社会参加を推進するための経費である。

(事業の成果)

老人クラブの運営及び各種事業に対し、補助金等を支出した。

- (1) 活動費助成事業 7,784,908 円
27 地域の会 114 単位クラブ 会員数 6,234 人
(2) 健康づくり事業 2,269,520 円
ア らくらく体操(26 地域の会、延 487 回) 参加者延 5,121 人

イ 5大スポーツ大会

大会名	グラウンド ゴルフ大会	ゲートボール 大会	レクリエーション ピンポン大会	ペタボード 大会	歩け歩け大会
参加人数	306 人	45 人	119 人	171 人	245 人

(3) 社会参加事業 3,177,000 円

- ア ふれあい農園管理 8 地域の会
 イ 清掃奉仕活動 20 地域の会
 ウ 花いっぱい活動 17 地域の会
 エ 生きがい推進活動 27 地域の会
 オ 老人福祉大会開催 参加者 384 人

4 高齢者健康増進事業 予算現額 43,596,000 円 (47,666,000 円) 8.5%減
 決算額 41,906,411 円 (43,527,900 円) 3.7%減

(事業の目的及び概要)

高齢者の外出促進による健康保持及び地域交流の促進を図るための経費である。

(事業の成果)

市内の公衆浴場が実施する高齢者無料入浴サービス事業に補助金を支出した。また、高齢者入浴等施設利用券を年間 48 枚交付した。

公衆浴場	新川温泉
利用者数	234 人

※令和 6 年 5 月 3 日廃業に伴い 4 月分のみ。

高齢者入浴等 施設利用券	あおいパーク 浴室	サン・ビレッジ衣浦		元気ッス館 浴室	合 計
		浴 場	プー ル		
利 用 者 数	19,384 人	107,229 人	5,480 人	52,388 人	184,481 人

※あおいパーク浴室は、令和 6 年 10 月 3 日から改修工事のため使用不可。

※サンビレッジ衣浦は、令和 6 年 7 月 1 日から 12 月 2 日まで改修でプール使用不可。

5 高齢者能力活用推進事業 予算現額 23,450,000 円 (23,450,000 円) 増減無
 決算額 23,450,000 円 (23,450,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

高齢者の就業機会を確保し、能力を活かした活力ある地域づくりを推進するための経費である。

(事業の成果)

公益社団法人碧南市シルバー人材センターに対し補助金を支出した。

6 介護保険低所得利用者負担対策事業 予算現額 535,000 円 (625,000 円) 14.4%減
 決算額 86,724 円 (88,163 円) 1.6%減

(事業の目的及び概要)

低所得者の負担軽減のため、介護保険の利用料助成等に要する経費である。

(事業の成果)

一般会計		歳出	3 款 1 項	民生費 社会福祉費
社会福祉法人が実施した利用者負担軽減に対し一部助成を行った。				
(1) 介護保険低所得利用者負担助成事業				16,400 円
低所得利用者負担額助成	対象者 1 人			
(2) 社会福祉法人助成事業				70,324 円
利用者負担軽減制度	対象者 1 人			
7 高齢者等生活支援事業	予算現額	18,696,000 円	(19,396,000 円)	3.6%減
	決 算 額	11,809,815 円	(12,674,320 円)	6.8%減
(事業の目的及び概要)				
高齢者の自立した在宅生活を支援するための各種福祉サービスを実施する経費である。				
(事業の成果)				
事業の周知とともに、高齢者の状況に合わせたサービスの利用促進を図った。				
(1) 外出支援サービス事業				147,420 円
年度末利用人数 3 人	延回数 21.0 回			
(2) 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業				1,142,790 円
年度末利用人数 16 人	延回数 196 回			
(3) 軽度生活援助（ウェルヘルプ）事業				172,840 円
年度末利用人数 14 人	延回数 153 回			
(4) 住宅改善費補助事業				2,050,881 円
23 件				
(5) 訪問理容サービス事業				2,106,000 円
利用券発行者数 281 人	延回数 468 回			
(6) 高齢者日常生活用具給付事業				129,872 円
種目	簡易消火器	電磁調理器	火災警報器	
支給者数	32 人	3 人	6 世帯	
(7) 緊急通報体制等整備事業				2,614,623 円
年度末設置台数 64 台				
(8) 高齢者世話付住宅等生活援助員派遣事業				1,702,509 円
年度末利用人数 19 世帯 20 人	(県営鷺塚住宅シルバーハウジング全 21 戸)			
(9) 高齢者タクシー料金助成事業				1,742,880 円
タクシー券交付人数 193 人	タクシー券利用枚数 1,875 枚			
8 高齢者見守りネットワーク構築事業	予算現額	6,000 円	(6,000 円)	増減無
	決 算 額	0 円	(0 円)	増減無
(事業の目的及び概要)				
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進するための経費である。				
(事業の成果)				
事業者と高齢者等の見守りに関する協定を締結し、事業の利用促進を図った。				
年度末協定締結者数 合計 63 事業者				
9 高齢者等防災対策事業	予算現額	4,503,000 円	(1,280,000 円)	251.8%増
	決 算 額	1,939,181 円	(1,151,339 円)	68.4%増

(事業の目的及び概要)

ひとり暮らし高齢者等の防災対策に関する経費である。

(事業の成果)

事業の周知とともに、利用促進を図った。

- (1) 家具等転倒防止対策事業 13,887 円

設置件数 高齢者 3 件 障害者 0 件

- (2) 避難行動要支援者名簿等作成事業 1,925,294 円

年度末対象者数	内訳				個別避難計画作成者数
	同意者数	不同意者数	未提出数	施設入所	
合計 6,417 人	5,022 人	380 人	567 人	448 人	3,216 人

10 福祉有償運送運営協議会運営事業

予算現額 59,000 円 (65,000 円) 9.2%減

決算額 45,500 円 (52,000 円) 12.5%減

(事業の目的及び概要)

福祉有償運送運営協議会の開催に関する経費である。

※福祉有償運送とは、道路運送法及び同施行規則に基づき、移動制約者に限り、自家用車による有償運送を可とするもので、市が主宰する運営協議会による同意を得て運輸局に登録する制度。

(事業の成果)

福祉有償運送の必要性やサービス内容について協議し、福祉有償運送の適正な運営の確保を図った。

福祉有償運送運営協議会 委員 10 人 1 回開催

福祉有償運送事業者 NPO 法人大樹の会 年度末会員数 2 人

11 高齢者等福祉手当支給事業

予算現額 15,010,000 円 (15,610,000 円) 3.8%減

決算額 13,200,000 円 (12,295,000 円) 7.4%増

(事業の目的及び概要)

ねたきり高齢者等の生活の向上と福祉の増進を図るための経費である。

(事業の成果)

事業の周知とともに、利用促進を図った。

- (1) 市在宅ねたきり高齢者等福祉手当支給事業 13,200,000 円

対象者	ねたきり	認知症	計
受給者数	187 人	61 人	248 人

- (2) 市外国人福祉給付金支給事業 0 円

対象者 0 人

12 成年後見制度利用支援事業

予算現額 746,000 円 (410,000 円) 82.0%増

決算額 213,445 円 (13,710 円) 1,456.9%増

(事業の目的及び概要)

判断能力が不十分な認知症高齢者等の成年後見制度の利用を支援するための経費である。

(事業の成果)

事業の周知とともに、利用促進を図った。

一般会計		歳出	3 款 1 項	民生費 社会福祉費
成年後見人等審判請求	実績 2 人			
成年後見人等報酬助成	実績 1 人			
1 3 介護人材育成確保事業		予算現額 752,000 円 (752,000 円)	増減無	
		決 算 額 532,000 円 (532,000 円)	増減無	
(事業の目的及び概要)				
介護人材の資質向上及び介護人材確保を図るための経費である。				
(事業の成果)				
介護サービス機関連絡協議会と連携して研修会や介護の魅力発信の説明会等開催				
(1) 介護人材育成事業			232,000 円	
現任リーダー研修 (2 日間コース) 実参加者数	16 人			
プレリーダー研修	実参加者数	13 人		
(2) 介護人材確保支援事業			300,000 円	
介護サービス機関連絡協議会に委託				
介護のお仕事説明会 6 回開催 延べ参加数 163 人				
1 4 居宅介護支援補助事業		予算現額 8,000 円 (8,000 円)	増減無	
		決 算 額 7,731 円 (0 円)	皆増	
(事業の目的及び概要)				
配食サービス利用時の居宅介護支援の円滑な運用を図るための経費である。				
(事業の成果)				
事業の周知とともに、利用促進を図った。				
居宅介護支援補助事業 実績 1 件				
1 5 家族介護支援事業		予算現額 9,950,000 円 (9,950,000 円)	増減無	
		決 算 額 9,795,000 円 (9,337,000 円)	4.9%増	
(事業の目的及び概要)				
ねたきり高齢者等に紙おむつ等の介護用品を支給するための経費である。				
(事業の成果)				
市内薬局で紙おむつ等の購入時に利用できる給付券を交付した。				
給付券発行者数 347 人				
1 6 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業		予算現額 243,000 円 (243,000 円)	増減無	
		決 算 額 243,000 円 (230,520 円)	5.4%増	
(事業の目的及び概要)				
認知症高齢者等及び家族が地域で安心して生活することができる環境の整備を図るため、認知症高齢者等が法律上の損害賠償責任を負った場合を補償の対象とする保険に市が加入する経費である。				
(事業の成果)				
事業の啓発周知に取り組む 保険加入人数 (令和 7 年 3 月末) 139 人				

一般会計	歳出	3 款	民生費
		1 項	社会福祉費
1 7 認知症伴走型支援事業	予算現額	1,532,000 円	(1,520,000 円) 0.8%増
	決 算 額	1,532,000 円	(1,520,000 円) 0.8%増

(事業の目的及び概要)

介護サービス事業所の既存資源を活用してグループホームにおいて、認知症の人と家族に対する専門的な相談・助言等を日常的かつ継続的に行う伴走型支援拠点を整備することで認知症の人やその家族の支援体制構築に関する経費である。

(事業の成果)

相談実人数 19 人 延べ相談件数 63 件

9 目 高齢者福祉施設費	高齢介護課	S D G s		
予算現額	111,195,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	7,729,000 円
決算額	97,876,730 円		その他特財	9,762,086 円
(前年度決算額	91,022,576 円)		一般財源	80,385,644 円

説 明

- 1 老人クラブ施設運営事業 予算現額 3,274,000 円 (3,490,000 円) 6.2%減
決 算 額 2,917,318 円 (3,342,168 円) 12.7%減

(事業の目的及び概要)

老人憩の家及びゲートボール場の管理運営等に関する経費である。

(事業の成果)

老人クラブに対し、老人憩の家の管理費及び備品費等の補助金を支出した。また、ゲートボール場の適正な維持管理を実施した。

- (1) 老人憩の家管理運営事業 2,578,800 円

施設数	利 用 状 況		
	延利用人数	延日数	1 日平均
30 施設	50,137 人	5,345 日	9 人

- (2) 老人憩の家整備事業 306,800 円

老人憩の家 4 箇所に備品購入等補助 (千福親友会他 3 箇所、カラオケ機器等)

- (3) ゲートボール場管理事業 31,718 円

ゲートボール場上下水道料

- 2 高齢者福祉施設措置事業 予算現額 51,795,000 円 (50,307,000 円) 3.0%増
決 算 額 41,058,265 円 (45,216,018 円) 9.2%減

(事業の目的及び概要)

老人福祉法に基づく養護老人ホームへの措置事務に関する経費である。

(事業の成果)

養護老人ホームへ措置費及び生活補給金を支出した。

- (1) 養護老人ホーム等保護措置事業 40,880,665 円

碧南市 年度末措置人数 計 16 人

内訳 碧南市養護老人ホーム 11 人

半田養護老人ホーム Link 5 人

碧南市養護老人ホーム年度末入所状況(定員 50 人)

計 48 人 (碧南市措置者 11 人、その他県内市町からの措置者 37 人)

碧南市養護老人ホーム入所判定委員会

委員 10 人 年 1 回開催

- (2) 養護老人ホーム生活補給金給付事業 177,600 円

年度末利用者 2 人 (延べ 24 人)

一般会計	歳出	3 款 1 項	民生費 社会福祉費

3 まちかどサロン事業 予算現額 19,829,000 円 (20,137,000 円) 1.5%減
決算額 17,604,962 円 (17,942,608 円) 1.9%減

(事業の目的及び概要)

まちかどサロンの管理運営及び施設を活用した介護予防や高齢者同士の交流を促進するための経費である。

(事業の成果)

指定管理者制度に基づいた施設の管理運営を委託するとともに、高齢者の交流の推進及び外出の促進による健康保持を図る事業を実施した。

(1) 新川まちかどサロン運営事業 6,795,342 円

新川まちかどサロン管理組合へ委託

(2) 大浜まちかどサロン運営事業 7,716,795 円

大浜まちかどサロン管理組合へ委託

(3) まちかどサロン施設維持管理事業 1,417,680 円

自動ドア・エレベーター・消防設備保守点検及び夜間警備委託
駐車場用地借上料

(4) まちかどサロン活用事業 1,642,645 円

いきいきサロン委託

施設名	延参加人数	開催日数
新川まちかどサロン	371 人	50 日
大浜まちかどサロン	212 人	50 日

(5) 指定管理者審査委員会運営事業 32,500 円

碧南市まちかどサロン指定管理者審査委員会 委員 8 人 1 回開催

4 生活支援ハウス運営事業 予算現額 9,505,000 円 (9,505,000 円) 増減無
決算額 9,505,000 円 (9,505,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

生活支援ハウスの運営により、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるように支援するための経費である。

(事業の成果)

社会福祉法人碧晴会への委託により実施した。

年度末利用人数 3 人 延べ 4 人

5 高齢者福祉施設補助事業 予算現額 14,854,000 円 (15,017,000 円) 1.1%減
決算額 14,853,630 円 (15,016,782 円) 1.1%減

(事業の目的及び概要)

社会福祉法人の施設整備に要する費用を補助する経費である。

(事業の成果)

社会福祉法人愛生館の養護老人ホーム施設整備借入金の償還金に対して補助金を支出した。

一般会計	歳出	3 款	民生費
		1 項	社会福祉費
6 地域医療介護総合確保基金補助事業		予算現額	9,000 円 (0 円) 皆増
		決 算 額	8,555 円 (0 円) 皆増
(事業の目的及び概要)			
令和 4 年度地域医療介護総合確保基金補助事業費の一部を返還する経費である。			
(事業の成果)			
令和 4 年度消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額の報告を受け、愛知県に返還額を支出した。			
7 地域包括支援センター開設準備事業		予算現額	4,200,000 円 (0 円) 皆増
		決 算 額	4,200,000 円 (0 円) 皆増
(事業の目的及び概要)			
地域包括支援センター開設準備の経費である。			
(事業の成果)			
社会福祉法人愛生館に、碧南東部地域包括支援センターの開設準備のため、人件費、事務用品購入費を支出した。			
8 地域介護・福祉空間整備推進補助事業		予算現額	7,729,000 円 (0 円) 皆増
		決 算 額	7,729,000 円 (0 円) 皆増
(事業の目的及び概要)			
介護施設等における防災・減災対策に対する費用を補助する経費である。			
(事業の成果)			
大規模地震時において電力供給が途絶した際に、入所者の生活環境を必要最低限確保するために非常用自家発電設備を整備するための経費を一部補助した。			

10 目 介護保険 特別会計事業費	高齢介護課	S D G s		
予算現額	820,926,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	17,506,200 円
決算額	820,923,869 円		県支出金	17,935,100 円
(前年度決算額	849,376,424 円)		一般財源	785,482,569 円

説明

1 介護保険特別会計（保険事業勘定）繰出事業

予算現額 820,926,000 円（849,377,000 円）3.3%減

決算額 820,923,869 円（849,376,424 円）3.3%減

（事業の目的及び概要）

介護保険事業経費のうち、介護保険給付費及び地域支援事業費の市負担分と事務費・人件費の全額及び介護保険料軽減負担分を介護保険特別会計へ繰り出すための経費である。

（事業の成果）

適正な介護保険事業運営のため適正額を繰り出した。

(1) 介護給付費市負担金	563,519,690 円
保険給付費の 12.5%相当	
(2) 地域支援事業費市負担金（介護予防・日常生活支援総合事業）	8,580,026 円
地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業）の 12.5%相当等	
(3) 地域支援事業費市負担金（その他の地域支援事業）	31,254,655 円
地域支援事業費（その他の地域支援事業）の 19.25%相当等	
(4) 事務費等	183,342,306 円
(5) 介護保険料軽減負担金	34,227,192 円
介護保険料第 1 ～ 3 段階軽減負担分	

1 1 目 後期高齢者医療費	国保年金課 健康課	S D G s		
予算現額	1,088,904,000 円	決算額の 財源内訳	県支出金	176,514,182 円
決算額	1,080,738,354 円		その他特財	84,680,118 円
(前年度決算額	957,482,764 円)		一般財源	819,544,054 円

説 明

- 1 後期高齢者医療保険事業 予算現額 878,339,000 円 (769,990,000 円) 14.1%増
決 算 額 872,293,704 円 (767,278,664 円) 13.7%増

(事業の目的及び概要)

75歳以上の方又は65歳以上の方で一定の障害があると認定された方が加入する後期高齢者医療保険事業の一般事務管理に要する経費である。

(事業の成果)

(1) 負担金

○療養給付費負担金 682,871,066 円

後期高齢者医療費のうち、碧南市の費用負担 (1 / 1 2) となる療養給付費

○広域連合事務費負担金 20,752,827 円

広域連合で行う事務に対する碧南市の費用負担

(2) 繰出金

○事務費繰出金 2,873,925 円

碧南市で行う保険料徴収事務に対する後期高齢者医療保険特別会計への繰出し

○保険基盤安定繰出金 161,138,910 円

低所得者等の保険料軽減分を公費で負担することにより、後期高齢者医療財政の基盤安定を目的として、後期高齢者医療保険特別会計へ繰り出すもの

(県負担分 3 / 4 市負担分 1 / 4)

- 2 後期高齢者福祉医療費支給事業 予算現額 148,989,000 円 (139,137,000 円) 7.1%増
決 算 額 147,887,412 円 (135,386,589 円) 9.2%増

(事業の目的及び概要)

後期高齢者医療保険に加入している障害を有する者、戦傷病者、非課税寝たきり・認知症、非課税ひとり暮らしの高齢者に対して健康保持と福祉の増進に寄与するため、医療費の自己負担額を助成するために要する経費である。

(事業の成果)

3 月末 受給者	入院・通院の別	年間件数	一人当りの 支給額	支出額 (扶助費)
1,221 人	入院	1,831 件	44,667 円	54,537,858 円
	通院	35,880 件	75,324 円	91,970,958 円
	合計	37,711 件	119,991 円	146,508,816 円

受給者内訳

障害者 医療	精神障害者 (手帳 1 又は 2 級所持)	自立支援 医療 (精 神通院)	精 神 科 入院	非課税 ねたきり	非課税ひ とり暮らし	計
905 人	92 人	41 人	6 人	20 人	157 人	1,221 人

※戦傷病者医療、母子家庭医療、措置入院、結核予防法 の該当者はなし

3 後期高齢者医療保健事業

予算現額 58,761,000 円 (57,572,000 円) 2.1%増

決 算 額 57,849,282 円 (54,817,511 円) 5.5%増

(事業の目的及び概要)

後期高齢者に対する糖尿病等の早期発見を目的とする健診を実施する経費である。

(事業の成果)

受診者数 4,202 人 【受診率 46.3%】

4 保健事業と介護予防の一体的実施事業

予算現額 2,815,000 円 (新規)

決 算 額 2,707,956 円

(事業の目的及び概要)

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができる期間の延伸を図るために要する経費である。

(事業の成果)

(1) 糖尿病性腎症重症化予防	保健指導実施者	7 名
(2) 生活習慣病 (糖尿病) 重症化予防	訪問実施者	7 名
(3) 健康状態不明者対策	訪問実施者	40 名
(4) 通いの場への関与	市内各地区会場にて健康教育を実施	

1 2 目 福祉センター あいくる費	福祉課	S D G s		
予算現額	33,909,000円	決算額の	その他特財	1,930,100円
決算額	31,034,034円	財源内訳	一般財源	29,103,934円
(前年度決算額	28,542,972円)			

説 明

1 施設維持管理事業	予算現額 33,909,000円 (30,689,000円) 10.5%増
	決 算 額 31,034,034円 (28,542,972円) 8.7%増

(事業の目的及び概要)

市民活動、心身障害者福祉の増進、児童の健全育成を図るため、地域福祉の拠点施設としてへきなん福祉センターあいくるを運営する。

(事業の成果)

(1) 福祉センターあいくる事務管理事業	6,668,030円
施設の適正な管理を図るため、施設の窓口業務及び管理業務を碧南市社会福祉協議会に委託した。	
管理体制 正規職員（兼務）2人（事務局長及び管理課課長補佐）、正規職員1人	
(2) 福祉センターあいくる施設維持管理事業	24,366,004円
消耗品（ロータリー花苗）	22,000円
燃料費、光熱水費（ガス、電気、水道料金）	8,816,996円
修繕料（空調機フロートスイッチ交換、排煙・換気窓開閉装置、スライディングウォール、外灯電球取替及び通用口照明器具取替、正面内側自動ドア装置取替、防火シャッター制御盤バッテリー取替、敷地入口P看板修繕、玄関照明）	1,898,160円
通信費等	466,150円
維持管理委託	13,162,698円

1 3 目 東部市民プラザ費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	161,788,000 円	決算額	17,583,652 円
決算額	121,177,849 円	の財源	一般財源
(前年度決算額	97,025,123 円)	内訳	103,594,197 円

説明

- 1 東部市民プラザ事務管理事業** 予算現額 19,549,000 円 (19,141,000 円) 2.1%増
決算額 18,823,491 円 (18,387,545 円) 2.4%増

一般職人件費 (2 人)

施設利用状況

施設名	利用回数	利用率
文化施設 会議室、研修室、和室	1,449 回	22.5%
体育施設 アリーナ、プレイルーム	6,352 回	73.9%
計	7,570 回	51.9%
()は令和 5 年度	(7,570 回)	(50.0%)

施設名	利用回数	利用人数
高齢者元気ッス館 浴場	—	53,199 名
娯楽室 1	121 回	1,246 名
筋トレルーム 60	—	6,893 名
計	—	61,338 名
()は令和 5 年度	—	(56,936 名)

※浴場利用者のうち障害者は 266 名

- 2 東部市民プラザ運営事業** 予算現額 89,558,000 円 (79,273,000 円) 13.0%増
決算額 84,266,268 円 (75,056,693 円) 12.3%増

(事業の目的及び概要)

東部市民プラザ運営、施設維持及び管理に要する経費。

(事業の成果)

東部市民プラザ内での委託作業、リース、資材購入等により、管理・運営を順調に行った。浴室のボイラー給湯側の配管の安全弁を、水圧が低い安全弁に取替して配管内圧を抑える等の修繕を行い、設備の長寿命化を図った。

- (1) 消耗品費 (浴場用消耗品、体育施設消耗品、設備部品等) 1,863,142 円
(2) 燃料費・光熱水費 38,610,467 円
(3) 修繕料 (ボイラー給湯側安全弁取替修繕始め 1 1 件) 1,397,082 円
(4) 役務費 (施設賠償責任保険、水質検査料) 190,508 円
(5) 委託料 40,086,615 円

業務	金額	業務	金額
	円		円
清掃	15,580,028	運転管理・保守点検	19,859,400
夜間管理	1,576,317	エレベーター保守点検	640,200
施設夜間警備	174,570	ゴミ収集	339,240

自家用電気工作物保安管理	538, 560	害虫駆除	200, 200
排煙・換気窓保守点検	324, 500	消防設備保守点検	169, 400
植栽管理	495, 000	駐車場草刈等	189, 200

(6) 使用料及び賃借料 (LED 照明リース、レンタルマット等)	2,118,454 円

3 東部市民プラザ費臨時事業

予算現額 52,681,000 円 (3,581,000 円) 1371.1%増

決算額 18,088,090 円 (3,580,885 円) 405.1%増

(事業の目的及び概要)

東部市民プラザの施設維持管理に要する臨時的経費。老朽化した設備・施設や故障した機器の修繕を実施した。

(事業の成果)

主に浴室へ送る水を溜めるFRP製受水槽が劣化し、亀裂と水漏れが発見されたため、急遽ステンレス製へ更新を行い、安定的な水の供給を図った。

(1) 修繕料(ながれの湯大浴槽ろ過機ろ材補充修繕始め9件) 4,598,220 円

(2) 工事請負費 (受水槽更新工事 前払金)	13,400,000 円

(契約額 33,658,900 円 令和 7 年度繰越明許費 34,560 千円 令和 7 年 6 月完了)

(3) 備品購入費 (エントランスホールテレビ 旧テレビ引取り含む) 89,870 円

1 目 児童福祉総務費	こども課 保育課	S D G s		
予算現額	455,667,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	93,574,606 円
決算額	382,113,834 円		県支出金	74,807,178 円
(前年度決算額)	345,258,668 円		その他特財	26,701,454 円
			一般財源	187,030,596 円

説 明

- 1 児童福祉事務管理事業 予算現額 77,236,000 円 (50,089,000 円) 54.2%増
 決算額 68,749,509 円 (48,586,010 円) 41.5%増
- (1) 一般職人件費 (20 人分) 68,537,839 円
 (2) 児童福祉事務管理費 211,670 円

- 2 子どもを守る地域ネットワーク事業 予算現額 4,863,000 円 (5,188,000 円) 6.3%減
 決算額 4,827,371 円 (5,146,198 円) 6.2%減

(事業の目的及び概要)

虐待、いじめ等の社会的問題に早期に対応するため、相談体制の充実及び関係機関と連携を図り、要保護家庭等の支援と児童虐待防止に努める。

(事業の成果)

- (1) 家庭児童相談室運営事業

令和 6 年度相談件数

内訳	養護相談	保健相談	障害相談	非行相談	育成相談	その他	計
延べ件数	1,615	0	3	10	28	54	1,710

ア 負担金 (愛知県家庭相談員連絡協議会等負担金) 7,000 円

イ 国庫返納金 889,000 円

- (2) 子ども家庭総合支援拠点事業

ア 消耗品費 10,000 円

イ 使用料及び賃借料 3,853,080 円

- (3) 要保護児童対策協議会運営事業 68,291 円

・代表者会 1 回開催 ・ケース検討会 17 回開催 (11 ケース検討)

・受理会議 15 回開催 ・実務担当者会議 12 回開催

・研修会 1 回開催 申込者 73 名

演題 「暴力を手放す～児童虐待・家庭内暴力等へのアプローチの基礎～」

講師 東海学園大学心理学部 准教授 佐々木 大樹氏

令和 6 年度虐待内容別相談人数 (新規受付)

身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	計
28 人	5 人	0 人	9 人	42 人

- 3 子育て支援事業 予算現額 654,000 円 (636,000 円) 2.8%増
 決算額 465,764 円 (407,697 円) 14.2%増

(事業の目的及び概要)

家庭における育児不安の解消や保護者の居場所づくりなどを目的として子育て支援事業を行う。

(事業の成果)

- (1) 子育て支援事業 75,000 円
 公立保育園と私立保育園において子育て支援の講演会等を行った。
 講演会等 11 回 延べ参加人員 317 人
- (2) 園庭開放事業 370,764 円
 就園前児童とその保護者を対象として、公立保育園（5 園）と、私立保育園・こども園（11 園）において園庭開放を実施した（費用は砂場清掃・消毒業務委託）。
 延べ利用人数 2,049 人
- (3) 短期入所生活援助事業
 18 歳未満の児童を、児童福祉施設等において一定期間、養育及び保護を行う。
 ショートステイ事業・トワイライトステイ事業 実績なし
 国庫返納金 20,000 円

4 地域子育て支援拠点事業 予算現額 100,400,000 円（105,650,000 円） 5.0%減
 決算額 83,079,482 円（93,758,226 円） 11.4%減

- (1) 児童センター運営事業 25,238,088 円

(事業の目的及び概要)

遊びを通して児童の社会性を伸ばし、心と体の健康づくりの機会を提供し、児童の健全な育成を図る。

(事業の成果)

指定管理者（社会福祉法人碧南市社会福祉協議会）により運営を行っている。健全な遊びの機会や居場所を提供した。

ア 指定管理料

施設名	指定管理料
棚尾児童センター	11,207,175 円
東部児童センター	13,931,693 円

イ 利用状況

- (ア) 棚尾児童センター (人)

乳幼児	保護者	小学生	中学生	高校生	合計
9,687	8,698	3,899	220	9	22,513

- (イ) 東部児童センター (人)

乳幼児	保護者	小学生	中学生	高校生	合計
6,852	6,183	4,054	470	34	17,593

- ウ 棚尾児童センター自動給茶機撤去委託 99,220 円

- (2) 地域子育て支援センター事業 57,841,394 円

(事業の目的及び概要)

乳幼児及び保護者が相互の交流を行う場所を開放し、子育てについての相談、情報の提供、助言、その他の援助を行うことにより、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健

やかな育ちを促進する。

(事業の成果)

委託料	実施施設名
各 5,850,000 円／年間	へきなんこども園、第2へきなんこども園、かしの木保育園（3か所）
15,610,027 円／年間	荒子保育園、西端保育園、棚尾保育園（3か所）
5,164,069 円／年間	棚尾児童センター
5,626,507 円／年間	こどもプラザこころつくしんかわ
5,315,917 円／年間	こどもプラザららくるにしばた
4,246,886 円／年間	東部児童センター
4,327,988 円／年間	碧のうさぎ保育園

5 放課後児童健全育成事業

予算現額 181,772,000 円（151,879,000 円）19.7%増

決算額 147,293,979 円（127,684,268 円）15.4%増

(事業の目的及び概要)

保護者の居宅外就労等により、家庭において十分保護することができない小学生を、保護者に代わり保育することで、児童の生活を支援し、健全育成を図る。

(事業の成果)

公立児童クラブの運営を指定管理者（社会福祉法人碧南市社会福祉協議会）に委託するとともに、私立の児童クラブには補助金を支給し、児童の保護及び育成に努めた。

(1) 指定管理料

施設名	指定管理料
公立児童クラブ（7箇所 16 支援単位）	130,865,599 円

(2) 補助金

私立児童クラブ名	補助金額	減免対象補助	処遇改善
第2へきなんこども園児童クラブ	4,000,000 円	0 円	127,000 円

(3) 利用状況

(人)

児童クラブ名	定員	年度当初	年度末
新川児童クラブ（分館含む）	140	162	134
中央児童クラブ（分館含む）	140	135	107
西端児童クラブ（分館含む）	75	68	53
棚尾児童クラブ（分館含む）	130	142	114
鷺塚児童クラブ（分館含む）	80	92	91
大浜児童クラブ（分館含む）	80	92	76
日進児童クラブ	50	60	60
第2へきなんこども園児童クラブ	20	21	18
合 計	715	772	653

(4) 新川児童クラブ屋根修繕工事

10,103,500 円

新川児童クラブ屋根修繕工事に係るアスベスト調査委託

96,800 円

一般会計	歳出	3 款 2 項	民生費 児童福祉費
(5) 中央・日進児童クラブエアコン修繕			1,147,080 円
(6) 国庫返納金			954,000 円

6 母子家庭等自立支援対策事業 予算現額 3,196,000 円 (2,665,000 円) 19.9%増
 決算額 2,690,000 円 (1,182,802 円) 127.4%増

(事業の目的及び概要)

ひとり親家庭の生活の安定向上を目指し、相談体制の充実及び自立促進事業の充実により、母子家庭等の支援と児童福祉に努める。

(事業の成果)

(1) 母子寡婦福祉推進事業

母子寡婦福祉会運営補助金 70,000 円

母子寡婦福祉促進事業委託料 162,000 円

(2) 日常生活支援事業 0 円

父子家庭又は母子家庭の父又は母が、疾病、事故、就業等により一時的に生活援助、保育サービス等が必要な場合、家庭生活支援員を派遣する。 実績なし

(3) 母子自立支援給付金給付事業 2,458,000 円

母子家庭の経済的自立のために、能力開発および生活の安定に資する資格の取得のための講座を受講する場合に一部給付金等を給付した。

区分	受給者	金額
自立支援教育訓練給付金	0 人	0 円
高等職業訓練促進給付金	非課税世帯 (1 人分)	1,120,000 円
	課税世帯 (2 人分)	1,288,000 円
高等職業訓練修了支援給付金	1 人	50,000 円

(4) 母子自立支援プログラム策定給付事業 0 円

母子自立支援プログラムを策定し、一定の就労に就いた者が6か月継続して就労したとき、給付金2万円を給付する。 実績なし

7 病児保育事業 予算現額 19,574,000 円 (16,376,000 円) 19.5%増
 決算額 17,632,000 円 (14,794,000 円) 19.2%増

(事業の目的及び概要)

治療中で当面症状の急変のおそれがない状態の児童又は回復期にあり集団保育が困難な児童を一時的に保育することにより、保護者の子育てと就労との両立を支援する。

(事業の成果)

(1) 病児保育事業委託料 17,068,000 円

登録児童数	利用件数
515 人	379 件

※登録児童数は、令和7年3月31日現在

※利用件数は、令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

(2) 印刷製本費 54,000 円

(3) 国庫返納金 510,000 円

一般会計	歳出	3 款 2 項	民生費 児童福祉費
8 広域入所実施事業	予算現額	400,000 円 (730,000 円)	45.2%減
	決 算 額	0 円	(0 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

里帰り出産等で市民が他市町村で保育を必要とする場合に、相互協力により保育を実施する。

(事業の成果)

実績なし。

9 子育て拠点施設運営事業	予算現額	38,261,000 円 (30,605,000 円)	25.0%増
	決 算 額	33,791,695 円 (24,247,031 円)	39.4%増

(事業の目的及び概要)

子どもの健全な遊び場の提供、地域の子育て支援、中高生の居場所づくりなど多様なプログラムを提供し、児童の健全な育成を図る。

(事業の成果)

こどもプラザららくるにしばた及びこころつくしんかわの運営を指定管理者（社会福祉法人碧南市社会福祉協議会）に委託し、就園前の児童と保護者や障害をもつ児童など、小・中・高校生を含む18歳以下の児童に健全な遊びの機会や居場所を提供した。

(1) 指定管理料

施設名	指定管理料
ららくるにしばた	17,735,403 円
こころつくしんかわ	15,613,512 円

(2) 利用状況

ア ららくるにしばた (人)

乳幼児	保護者	小学生	中学生	高校生	合計
8,902	8,074	7,373	1,106	1,311	26,766

イ こころつくしんかわ (人)

乳幼児	保護者	小学生	中学生	高校生	合計
13,185	11,796	5,084	207	6	30,278

(3) ららくるにしばたエアコン・トイレベビーチェア修繕 318,780 円

(4) 国庫返納金 124,000 円

10 子ども・子育て支援事業	予算現額	407,000 円 (405,000 円)	0.5%増
	決 算 額	345,734 円 (241,985 円)	42.9%増

(事業の目的及び概要)

子ども・子育て支援法に基づき策定する子ども・子育て支援事業計画についての現状の検討、計画内容の協議、施策の実施状況の調査審議を行う。

(事業の成果)

子ども・子育て会議 3回開催 次期計画の策定に係る審議等

一般会計	歳出	3 款	民生費
		2 項	児童福祉費
1 1 地域療育事業	予算現額	16,985,000 円 (18,356,000 円)	7.5%減
	決 算 額	13,915,408 円 (14,596,869 円)	4.7%減

(事業の目的及び概要)

地域療育推進のため、発達に遅れがある子どもとその保護者に対する集団での療育指導、子どもの発達に不安を持つ保護者とその子どもに対する個別相談と小集団での早期療育、また支援者のスキルアップのため発達支援の普及事業を実施する。

(事業の成果)

- (1) にじの学園運営事業 10,000,101 円
発達に遅れがある子どもが保護者とともに通園し、児童の日常生活及び集団生活への適応能力の増進を図るため、集団での療育指導を行った。
通所親子数 23 組にじの学園での療育後、1 名が特別支援学校に入学、9 名が幼稚園・保育園に入園、11 名は翌年度も継続通所、2 名は途中退所
- (2) にじの学園保育室整備事業 726,000 円
保育室の整備（組立ハウスのリース）のための経費（H23 年度から再リース）
- (3) にじの学園発達支援事業 593,802 円
作業療法－68 件実施（23 名） 言語訓練－136 件実施（23 名）
臨床心理士相談－4 件実施（2 名）
- (4) 早期療育親子支援事業 164,908 円
就園前の子どもの発達に不安を持つ保護者とその子どもに対し、子どもの成長を促すとともに、その保護者が子どもの個性にあった育て方を学び、子育ての困難の解消を図るため、小集団での早期療育を行った。
参加親子数 51 組（2 歳 8 組、3 歳 43 組）このうちフォローアップ移行数 8 組
- (5) ICF 情報把握・共有システムを使った発達支援普及事業 319,607 円
気になる子どもや障害を持つ子どもの発達支援、保護者支援及び支援者のスキルアップのための、ICF 情報把握・共有システムを活用した発達支援普及事業
ICF 研修会の実施、コアセット版 ICF システムの活用、コアセット版 ICF に直結した日々の支援記録様式の作成、ICF 情報把握・共有システムを活用した事業所へ 1 件あたり 7,000 円の費用支弁を行った。
ICF 研修会参加者 支援者向け研修 35 名、保護者向け研修延べ 27 名
- (6) 児童発達支援ネットワーク事業 2,110,990 円
保育園、幼稚園、学校等への訪問支援 延べ 95 回（延べ観察児数 95 名）
支援者向けの講習会 延べ 11 回（延べ参加者数 322 名）
保護者向けの講習会 延べ 15 回（延べ参加者数 41 名）
保護者向けの発達相談 延べ相談者数 686 名

1 2 子育てのための施設等利用給付金支給事業（認可外保育施設等）

予算現額	8,192,000 円 (12,726,000 円)	35.6%減
決 算 額	6,209,146 円 (8,972,954 円)	30.8%減

(事業の目的及び概要)

幼児教育・保育の無償化により対象施設を利用した際に要する費用（3 歳未満児 42,000 円、3 歳以上児 37,000 円上限）を支給し、子育てに係る負担軽減を図る。

(事業の成果)

一般会計	歳出	3 款 2 項	民生費 児童福祉費
(1) 補助対象園児 延べ262人（実人数33人）			5,979,692 円
(2) 国庫返納金			13,587 円
(3) 県費返納金			215,867 円

1 3 母子生活支援施設入所措置事業 予算現額 3,660,000 円（5,040,000 円）27.4%減
 決算額 3,087,149 円（5,010,282 円）38.4%減

（事業の目的及び概要）

配偶者暴力（DV）を受ける母子を保護するとともに、自立の促進のために生活を支援する。

（事業の成果）

母子生活支援施設入所措置費	1 世帯	2,857,322 円
国庫返納金		153,218 円
県費返納金		76,609 円

1 4 児童センター・児童クラブ運営事業 予算現額 67,000 円（0 円）皆増
 決算額 26,597 円（0 円）皆増

（事業の目的及び概要）

指定管理者の候補者の選定、指定後の施設の管理の状況その他市長等が必要と認める事項について調査審議を行う。

（事業の成果）

指定管理者審査委員会	1 回開催

2 目 保育園等運営費	保育課	S D G s		
予算現額	2,215,950,000 円			国庫支出金 670,309,129 円
決算額	1,909,162,897 円	決算額の		県支出金 327,751,546 円
(前年度決算額	1,792,485,440 円)	財源内訳		その他特財 72,563,511 円
				一般財源 838,538,711 円

説 明

1 私立保育園児童保育等委託事業

予算現額 1,888,285,000 円 (1,575,544,000 円) 19.8%増

決 算 額 1,657,088,557 円 (1,562,743,422 円) 6.0%増

(事業の目的及び概要)

保育の実施を民間保育所・こども園に委託し、安心安全な保育環境を市民に提供する。

(事業の成果)

保育園名	保育委託料(円)	保育園名	保育委託料(円)
荒子保育園	141,279,021	へきなんこども園	219,687,343
西端保育園	159,093,675	第2へきなんこども園	129,894,579
大浜保育園	156,214,245	こども園ひまわり	162,509,815
棚尾保育園	160,304,842	てらベクリエイティブこども園	895,096
新川保育園	133,333,704	はずみやこ幼稚園	1,570,972
二葉保育園	130,574,732	聖カタリナ幼稚園	765,672
かしの木保育園	124,803,190	西尾中央幼稚園	781,220
碧のうさぎ保育園	135,375,859	合計	1,657,083,965

※ 決算額には前年度交付額の確定に係る県費返納金 4,592 円を含む。

2 特別保育等実施補助事業

予算現額 207,833,000 円 (211,155,000 円) 1.6%減

決 算 額 170,327,000 円 (174,878,000 円) 2.6%減

(事業の目的及び概要)

民間保育所等 12 園において一時保育等の特別保育事業を実施することにより、就労等の社会的活動と子育て等の家庭活動との両立に資するとともに、子育ての負担感を緩和し、安心して子育てができる環境を整備することで児童福祉の向上を図る。

(事業の成果)

(円)

区分	合計	プチ保育促進事業	延長保育事業	障害児保育事業	1歳児保育促進事業	低年齢児途中入所円滑化事業
荒子保育園	16,215,000	—	3,962,000	10,565,000	1,188,000	500,000
西端保育園	19,548,000	5,257,000	3,962,000	7,909,000	2,420,000	—
大浜保育園	10,152,000	—	3,962,000	3,962,000	1,892,000	336,000
棚尾保育園	14,295,000	—	3,962,000	7,924,000	2,409,000	—
新川保育園	13,635,000	—	3,962,000	7,924,000	1,749,000	—
二葉保育園	9,222,000	—	—	7,924,000	1,298,000	—
かしの木保育園	15,437,000	—	6,270,000	7,924,000	1,243,000	—

一般会計				歳出	3 款 2 項	民生費 児童福祉費
碧のうさぎ保育園	8,792,000	4,811,000	505,000	1,320,000	2,156,000	—
へきなんこども園	20,381,000	5,569,000	3,962,000	7,924,000	2,926,000	—
第2へきなんこども園	19,422,000	5,875,000	7,924,000	3,962,000	1,661,000	—
こども園ひまわり	21,251,000	6,276,000	1,212,000	11,343,000	2,420,000	—
西尾中央幼稚園	788,000	—	—	788,000	—	—
合計	169,138,000	27,788,000	39,683,000	79,469,000	21,362,000	836,000

※ 決算額には前年度交付額の確定に係る国庫返納金 1,189,000 円を含む。

3 私立保育園等運営費補助事業

予算現額 10,478,000 円 (6,735,000 円) 55.6%増
 決算額 10,477,110 円 (6,534,618 円) 60.3%増

(事業の目的及び概要)

民間保育所等の施設整備に係る独立行政法人福祉医療機構及び愛知県社会福祉協議会からの借入金の返済に要する元利償還金の4分の3以内を補助することにより、保育事業者の安定的な保育運営に資する。

(事業の成果)

碧のうさぎ保育園園舎創設元利償還補助	6,158,828 円
こども園ひまわり園舎創設元利償還補助	4,318,282 円

4 保育対策総合支援事業費補助事業

予算現額 68,462,000 円 (41,674,000 円) 64.3%増
 決算額 32,335,226 円 (23,768,000 円) 36.0%増

(事業の目的及び概要)

民間保育所等における保育体制の強化、保育補助者の雇上げ、医療的ケア児の保育に係る体制整備等の保育士等確保対策及び事故防止対策、ICTの導入による保育業務の負担軽減等を支援することにより、保育人材の確保及び安定的な保育環境の整備を図る。

(事業の成果)

事業名	対象	金額
保育体制強化事業	西端保育園はじめ6園	7,200,000 円
保育補助者雇上強化事業	荒子保育園はじめ5園	14,996,000 円
保育所等業務効率化推進事業	荒子保育園はじめ5園	2,639,000 円
医療的ケア児保育支援事業	こども園ひまわり	4,346,000 円
保育士確保対策支援事業	西端保育園はじめ5園	3,113,000 円
合計		32,294,000 円

※ 決算額には前年度交付額の確定等に係る国庫返納金 41,226 円を含む。

5 私立保育園等園舎整備補助事業

予算現額 19,603,000 円 (0 円) 皆増
 決算額 19,601,500 円 (0 円) 皆増

(事業の目的及び概要)

令和7年4月開設の小規模保育事業所を整備するにあたり、設置事業者が既存建築物を小規模保育事業所に改修するために要する費用の4分の3以内を補助することにより、保育環境の整備を図る。

(事業の成果)

設置事業者	園名	定員	開所日
社会福祉法人一雅会	碧のこうさぎ保育園	19 名	令和 7 年 4 月 1 日

- 6 保育所等給食費軽減対策支援事業 予算現額 21,289,000 円 (28,821,000 円) 26.1%減
決算額 19,333,504 円 (24,561,400 円) 21.3%減

(事業の目的及び概要)

物価高騰に直面する民間保育所及び認定こども園 11 園に、給食の賄材料費として利用
児童一人当たり 1 食 64 円を補助することで、保護者及び事業者の負担軽減を図る。

(事業の成果)

利用児童数 (4 月～翌 3 月) 延べ 302,086 人 19,333,504 円

3 目 保育園等費	保育課	S D G s	
予算現額	721,883,000 円	決算額の	国庫支出金 229,000 円
決算額	694,615,579 円	財源内訳	その他特財 52,374,942 円
(前年度決算額	668,447,992 円)		一般財源 642,011,637 円

説明

- 1 公立保育園等運営事業 予算現額 546,768,000 円 (536,006,000 円) 2.0%増
決 算 額 530,897,477 円 (510,230,238 円) 4.1%増

(事業の目的及び概要)

公立保育園の人件費をはじめ運営に必要な報償費・需用費等の支払いを行い、適正な園運営を行う。

(事業の成果)

- (1) 一般職人件費 (71人) 498,250,984 円
(2) 公立保育園運営管理費 32,646,493 円

- 2 公立保育園運営事業 (園配分) 予算現額 75,058,000 円 (78,104,000 円) 3.9%減
決 算 額 67,718,559 円 (64,718,642 円) 4.6%増

(事業の目的及び概要)

公立保育園の管理運営に必要な経常経費を各保育園へ配分することにより、質の高い安心安全な保育環境を提供する。

(事業の成果)

(円)

保育園名	羽久手保育園	天道保育園	築山保育園	日進保育園	鷺塚保育園
運営事業費	7,350,076	9,729,979	11,519,279	15,699,656	23,419,569

- 3 保育園維持管理事業 予算現額 30,283,000 円 (32,136,000 円) 5.8%減
決 算 額 27,344,325 円 (28,220,876 円) 3.1%減

(事業の目的及び概要)

公立保育園の維持管理に必要な消耗品購入・委託・修繕を適切に行うことにより、安心安全な保育環境を提供する。

(事業の成果)

- 消耗品費 (蛍光灯始め 54 件) 531,018 円
光熱水費 (電気・上下水道料) 16,105,599 円
修繕料 (鷺塚保育園インターホン修繕始め 30 件) 3,094,389 円
委託料 (ごみ収集・夜間警備・消防設備点検ほか) 7,378,250 円
原材料費 (砂場洗砂始め 8 件) 235,069 円

- 4 保育園給食業務委託事業 予算現額 59,884,000 円 (56,551,000 円) 5.9%増
決 算 額 59,664,000 円 (56,551,000 円) 5.5%増

(事業の目的及び概要)

公立保育園児に適切な食事を提供するため、衛生管理に基づいた調理加工作業を委託す

一般会計		歳出	3 款 2 項	民生費 児童福祉費
る事業である。				
(事業の成果)				
公立 5 園給食業務委託（株式会社ヘキナンシティカンパニー）				59,664,000 円
5 保育園給食栄養管理業務委託事業	予算現額	9,733,000 円	(9,504,000 円)	2.4%増
	決 算 額	8,834,468 円	(8,727,236 円)	1.2%増
(事業の目的及び概要)				
市内保育園・こども園の献立作成・栄養管理を専門知識のある事業者に委託することにより、質の高い献立を提供するとともに、適切な食育を実施する。				
(事業の成果)				
給食栄養管理業務委託（碧南市社会福祉協議会）				8,834,468 円
6 保育園費臨時事業	予算現額	157,000 円	(0 円)	皆増
	決 算 額	156,750 円	(0 円)	皆増
(事業の目的及び概要)				
公立保育園の管理運営に必要な施設修繕等を適切に行うことにより、安心安全な保育環境を提供する。				
(事業の成果)				
修繕料（給湯器取替修繕始め 2 件）				156,750 円

4 目 児童福祉医療費	国保年金課	S D G s		
予算現額	485,502,000 円	決算額の	国庫支出金	1,538,950 円
決算額	475,640,695 円	財源内訳	県支出金	106,990,415 円
(前年度決算額	459,988,963 円)		その他特財	24,612,703 円
			一般財源	342,498,627 円

説明

1 元気っ子医療費助成事業 予算現額 429,704,000 円 (428,830,000 円) 0.2%増
 決算額 423,721,240 円 (411,822,990 円) 2.9%増

(事業の目的及び概要)

子どもの健康増進並びに福祉の増進に寄与するため、高校生世代以下の入院・通院に係る医療費の自己負担分を助成するために要する経費である。

(事業の成果)

3 月末受給者	年間診療件数	一人当たり支出額	支出額 (扶助費)
11,429 人	169,289 件	36,271 円	414,541,144 円

(内訳)

	3 月末受給者	入院・通院の別	年間診療件数	一人当たり支出額	支出額
就学前	3,926 人	入院	636 件	9,093 円	35,700,524 円
		通院	73,944 件	30,796 円	120,905,320 円
		計	74,580 件	39,889 円	156,605,844 円

	3 月末受給者	入院・通院の別	年間診療件数	一人当たり支出額	支出額
小学生	3,678 人	入院	210 件	3,972 円	14,609,660 円
		通院	61,349 件	39,455 円	145,114,312 円
		計	61,559 件	43,427 円	159,723,972 円

	3 月末受給者	入院・通院の別	年間診療件数	一人当たり支出額	支出額
中学生	1,898 人	入院	71 件	4,103 円	7,787,979 円
		通院	25,610 件	37,171 円	70,550,482 円
		計	25,681 件	41,274 円	78,338,461 円

	3 月末受給者	入院・通院の別	年間診療件数	一人当たり支出額	支出額
高校生等	1,927 人	入院	24 件	810 円	1,560,438 円
		通院	7,445 件	9,503 円	18,312,429 円
		計	7,465 件	10,150 円	19,872,867 円

※高校生等の通院費助成は令和 6 年 1 0 月より実施。支出は受診月の 2 か月後のため、令和 6 年度における通院費の実績は 4 か月分を計上。

2 母子家庭等医療費助成事業	予算現額 50,141,000 円 (43,718,000 円) 14.7%増
	決 算 額 48,396,644 円 (42,917,157 円) 12.8%増

(事業の目的及び概要)

母子又は父子家庭の母及び父並びに児童（18歳到達年度まで）の健康保持並びに福祉の増進に寄与するため、医療費の自己負担分を助成するために要する経費である。

(事業の成果)

3 月末受給者	年間診療件数	一人当たり支出額	支出額（扶助費）
1,020 人	15,794 件	46,552 円	47,483,331 円

3 未熟児養育医療給付事業	予算現額 5,657,000 円 (7,555,000 円) 25.1%減
	決 算 額 3,522,811 円 (5,248,816 円) 32.9%減

(事業の目的及び概要)

国民保健の向上に寄与することを目的に、母子保健法第20条の規定に基づき、養育のため病院又は診療所に入院することを必要とする未熟児（出生時体重2,000グラム以下の者）に対し、その養育に必要な医療の給付を行うための経費である。

(事業の成果)

受給者	延件数	一人当たり支出額	支出額（扶助費）
14 人	29 件	242,247 円	3,391,457 円

5 目 児童福祉手当費	福祉課 こども課	S D G s		
予算現額	1,647,472,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	1,063,763,260 円
決算額	1,599,249,937 円		県支出金	171,697,385 円
(前年度決算額	1,622,225,078 円)		その他特財	130,675 円
			一般財源	363,658,617 円

説 明

1 児童手当支給事業 予算現額 1,431,962,000 円 (1,219,741,000 円) 17.4%増
決 算 額 1,389,051,798 円 (1,204,865,000 円) 15.3%増

(事業の目的及び概要)

児童を養育している保護者に対し、児童手当法に基づき児童手当を支給する。令和6年10月からの制度改正により、①所得制限の撤廃、②支給対象児童の年齢を「中学校第3学年修了前までから高校生年代（18歳到達後の最初の年度末まで）」に延長、③第3子以降の手当額（多子加算）を増額、④第3子以降の算定に含める対象の年齢を「高校生年代から22歳到達後の最初の年度末まで」に延長、⑤支給回数を年3回から6回に変更となった。

(事業の成果)

(1) 支給実績

	区 分	延べ児童数	手当月額	支給額
制度改正前	0～3歳未満	11,943 人	15,000 円	179,145,000 円
	3歳～小学校第6学年修了前 第1子・第2子	36,127 人	10,000 円	361,270,000 円
	3歳～小学校第6学年修了前 第3子以降	5,921 人	15,000 円	88,815,000 円
	中学生	13,121 人	10,000 円	131,210,000 円
	特例給付	3,125 人	5,000 円	15,625,000 円
制度改正後	0歳～3歳未満 第1子・第2子	4,947 人	15,000 円	74,205,000 円
	0歳～3歳未満 第3子以降	993 人	30,000 円	29,790,000 円
	3歳以上 第1子・第2子	34,004 人	10,000 円	340,040,000 円
	3歳以上 第3子以降	5,380 人	30,000 円	161,400,000 円
合計		115,561 人	—	1,381,500,000 円

支給月 6月、10月、12月、2月

(2) 消耗品 5,610 円
(3) 印刷製本費 88,000 円
(4) 役務費（郵便料・振込手数料） 1,749,188 円
(5) 委託料（児童福祉基幹システム制度改正対応） 5,709,000 円

2 こどもすこやか手当支給事業 予算現額 21,016,000 円 (21,616,000 円) 2.8%減
 決算額 20,266,000 円 (20,466,000 円) 1.0%減

(事業の目的及び概要)

ひとり親家庭の児童の健全育成及び社会福祉の増進に寄与するため、18歳到達年度の末日までの児童一人当たり月額2,500円を支給する。

(事業の成果)

(1) 支給実績

延べ児童数	支給額
8,100 人	20,250,000 円

支給月 5月、7月、9月、11月、1月、3月

(2) 役務費 (郵便料) 16,000 円

3 児童扶養手当支給事業 予算現額 190,688,000 円 (182,994,000 円) 4.2%増
 決算額 186,307,650 円 (179,778,502 円) 3.6%増

(事業の目的及び概要)

ひとり親家庭及び父または母が重度障害者である家庭等の18歳到達年度の末日までの児童、または20歳未満で一定の障害のある児童に対して、経済的援助を講ずるため児童扶養手当法に基づいて支給する。

(事業の成果)

(1) 支給実績

区 分		延べ対象児童数	支給額
全額支給者 月額 45,500 円		2,139 人	97,074,260 円
一部支給者 月額 45,490 円～10,740 円		2,216 人	65,039,830 円
加 算	2子加算 月額 10,750 円～5,380 円加算	1,688 人	16,383,890 円
	3子加算 月額 6,450 円～3,230 円加算 (11月分の手当てからは2子加算と同額)	632 人	4,761,850 円
合 計	延べ受給者数	4,355 人	183,259,830 円
	延べ対象児童数	6,675 人	

支給月 5月、7月、9月、11月、1月、3月

(2) 報償費 5,000 円

(3) 印刷製本費 80,520 円

(4) 役務費 (郵便料) 121,000 円

(5) 委託料 (児童福祉基幹システム保守) 2,841,300 円

4 特別児童扶養手当事務委託事業 予算現額 409,000 円 (390,000 円) 4.9%増
 決算額 227,489 円 (294,923 円) 22.9%減

一般会計	歳出	3 款 2 項	民生費 児童福祉費
(事業の目的及び概要)			
20歳未満の重度障害児の保護者に経済的援助を講ずるための国の制度に要する事務費			
(事業の成果)			
(1) 消耗品費			154,489円
(2) 役務費 郵便料			73,000円
5 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業			
	予算現額	3,397,000 円	(71,995,000 円) 95.3%減
	決 算 額	3,397,000 円	(69,649,835 円) 95.1%減
(事業の目的及び概要)			
令和5年度に実施した、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業の実績に基づき国補助金を返納する。			
(事業の成果)			
国庫返納金			3,397,000円

1 目 生活保護総務費	福祉課	S D G s	
予算現額	45,458,000円	決算額の	国庫支出金 7,764,000円
決算額	40,028,510円	財源内訳	県支出金 226,008円
(前年度決算額	48,776,940円)		一般財源 32,038,502円

説 明

- 1 生活保護事務管理事業 予算現額 27,592,000円 (28,277,000円) 2.4%減
 決算額 24,641,736円 (26,486,338円) 7.0%減
 一般職人件費 (4人) 24,641,736円

- 2 生活保護適正化等事業 予算現額 17,838,000円 (21,488,000円) 17.0%減
 決算額 15,381,774円 (18,898,152円) 18.6%減

(事業の目的及び概要)

生活保護の適正な運営を図るための経費及び行旅病人及行旅死亡人取扱法又は墓地、埋葬等に関する法律に基づく葬祭費用等に係る経費。

(事業の成果)

- (1) 生活保護適正実施推進事業 6,109,573円

- ア 嘱託医報償費 600,000円
 イ レセプト管理システムクラウド利用料 1,920,600円
 ウ 生活保護システム保守業務委託料 891,000円
 エ 扶助費 2,022,159円

墓地、埋葬等に関する法律に基づく火葬 9件

行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づく火葬 3件

- オ その他事務費 461,908円

- (2) 被保護者就労支援等事業 9,272,201円

- ア 被保護者就労支援等事業 9,272,201円

碧南市社会福祉協議会へ委託し、支援員1名が福祉課に常駐し、支援を実施する。

- (ア) 被保護者就労支援事業

被保護者の就労に関する問題について、被保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行う事業を実施し、被保護者の自立の促進を図る支援を実施する。

支援者数 12人 (令和5年度 12人)

延べ支援回数 260回 (令和5年度 331回)

- (イ) 被保護者就労準備支援事業

就労意欲が低い者や基本的な生活習慣に課題を有する者など就労に向けた課題をより多く抱える被保護者に対し、就労支援にあわせて、就労意欲の喚起や一般就労に従事する準備としての日常生活習慣の改善を総合的かつ段階的に行う事業を実施し、就労の可能性を高めるための支援を実施する。

支援者数 8人 (令和5年度 7人)

延べ支援回数 295回 (令和5年度 260回)

- (ウ) 社会的な居場所づくり支援事業

生活保護受給者のうち、ひきこもり状態にある等、社会とのつながりを結び直す

一般会計	歳出	3 款 3 項	民生費 生活保護費
必要のある者に対し、地域社会との交流を維持するため、例えばボランティア等の社会参加活動を促す等の支援を行う。			
支援者数 0 人 （令和5年度 0 人）			
(エ) 子どもの学習・生活支援事業			
生活保護世帯の中学生とその保護者に対して、日常的な生活習慣を身につけ、学習環境を整えるための助言及び進学に関する相談に応じ、必要な情報の提供や助言による支援を実施する。			
支援者数 0 人 （令和5年度 1 人）			
延べ支援回数 0 回 （令和5年度 23 回）			
3 国民生活基礎調査事業	予算現額	21,000円（20,000円）	5.0%増
	決 算 額	0円	（0円）増減無
(事業の目的及び概要)			
保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得ることを目的とした統計法に基づく調査を実施する。			
(事業の成果)			
令和6年度は、国が抽出する調査対象区域に選出されなかったため未実施。			
4 ホームレス実態調査事業	予算現額	5,000円（5,000円）	増減無
	決 算 額	5,000円（5,000円）	増減無
(事業の目的及び概要)			
ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法に基づき、国が地方公共団体の協力を得て行うホームレスの実態に関する全国調査に係る経費			
(事業の成果)			
事業用消耗品			5,000円
調査概要			
調査日	令和6年12月24日実施		
調査体制	福祉課保護係職員2名、まちの安全推進員1名		
調査場所	市内の公園、河川、道路、駅舎等		
調査結果	0名		

2 目 扶助費	福祉課	S D G s		
予算現額	555,916,000円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	396,506,518円
決算額	505,502,464円		県支出金	5,462,105円
(前年度決算額	530,965,962円)		その他特財	9,752,171円
			一般財源	93,781,670円

説 明

- 1 生活保護措置事業 予算現額 555,916,000円 (530,967,000円) 4.7%増
決 算 額 505,502,464円 (530,965,962円) 4.8%減

(事業の目的及び概要)

資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を実施する。

(事業の成果)

(1) 生活保護措置事業

生活保護の適正実施、運営に要する経費

ア 扶助費

501,062,281円

区 分		支 給 額(円)	構成比(%)	令和6年度	
				延世帯数	延人員
保 護 費	生 活 扶 助	135,726,102	27.1	2,280世帯	2,758人
	住 宅 扶 助	78,793,420	15.7	2,450	2,950
	教 育 扶 助	469,720	0.1	40	74
	出 産 扶 助	455,980	0.1	—	—
	生 業 扶 助	153,700	0.0	33	33
	葬 祭 扶 助	1,889,385	0.4	—	—
	就労自立給付金	154,395	0.0	—	—
	進学準備給付金	0	0.0	—	—
	小 計	217,642,702			
保護施設事務費		11,903,119	2.4		
医 療 扶 助 費		256,546,980	51.2	2,339	2,862
介 護 扶 助 費		14,969,480	3.0	510	506
合 計		501,062,281	100.0		

※ 世帯数及び人員：のべ人数（福祉行政報告例）

(参考) 世帯類型別保護基準額（令和7年7月1日現在）

	生活扶助※	住宅扶助(上限)	教育扶助	計
標準3人世帯 (男33歳, 女29歳, 子供4歳)	139,090	46,600	—	185,690
母子3人世帯 (女30歳, 子供9歳と4歳)	179,360	46,600	2,600	228,560
高齢2人世帯 (男72歳, 女67歳)	111,200	43,000	—	154,200
高齢単身世帯 (男70歳)	69,670	36,000	—	105,670

※ 冬期加算額は含まない。

イ 令和5年度生活保護費等国庫負担金返還金扶助費

4,440,183円

(2) 参考資料

表 1 生活保護扶費助別状況

単位：円

区 分		令和 4 年度		令和 5 年度	
		決 算 額(円)	構成比(%)	決 算 額(円)	構成比(%)
保 護 費	生 活 扶 助	121,207,980	31.5	132,056,526	26.2
	住 宅 扶 助	69,869,717	18.1	76,463,078	15.2
	教 育 扶 助	601,075	0.2	802,880	0.2
	出 産 扶 助	471,020	0.1	0	0.0
	生 業 扶 助	292,884	0.1	151,520	0.0
	葬 祭 扶 助	1,110,715	0.3	1,716,700	0.3
	就労自立給付金	0	0.0	201,179	0.0
	進学準備給付金	0	0.0	0	0.0
	小 計	193,553,391		211,190,704	
保護施設事務費		12,146,362	3.2	13,123,941	2.6
医 療 扶 助 費		172,607,233	45.0	267,898,658	53.2
介 護 扶 助 費		5,600,077	1.5	11,359,993	2.3
合 計		383,907,063	100.0	503,774,475	100.0

表 2 世帯類型別生活保護世帯数

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

区 分	高齢者 世帯	母子世帯	傷病・ 障害世帯	その他 世帯	計	構成比
単 身 世 帯	97		76	13	186	83.4
二人以上世帯	11	7	8	11	37	16.6
計	108	7	84	24	223	100.0

表 3 地区別被保護者人員

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

地区名	新川	中央	大浜	棚尾	旭	西端	入院 入所	計
人口 (人)	15,402	9,889	15,861	6,339	16,899	8,126		72,516
世帯数 (世帯)	74	36	27	8	33	17	28	223
被保護者人員(人)	82	48	35	11	45	22	28	271
保護率 (‰)	5.32	4.85	2.14	1.73	2.72	2.83		3.79

表 4 生活保護世帯(人員)推移状況

区 分	世帯数	人員数	保護率 (‰)
令和 3 年 4 月 1 日	188	226	3.10
令和 4 年 4 月 1 日	198	236	3.24
令和 5 年 4 月 1 日	214	255	3.52
令和 6 年 4 月 1 日	220	261	3.61
令和 7 年 4 月 1 日	223	271	3.79

表 5 保護の開始・廃止の状況

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
相談件数	90(12)	91(18)	89 (4)	127(9)
開始件数	37(6)	39(6)	45 (1)	40(6)
廃止件数	28(3)	19(3)	34 (4)	37(0)

() 内は外国人分

表 6 年齢・性別被保護人員数

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

区分	0～ 5歳	6～ 19歳	20～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	合計
男	1	9	11	15	30	18	21	17	31	153
女	1	6	7	11	17	9	5	17	45	118
計	2	15	18	26	47	27	26	34	76	271
構成比	0.7	5.5	6.6	9.5	17.3	9.9	9.5	12.5	28.0	100.0

表 7 世帯人員別被保護世帯数

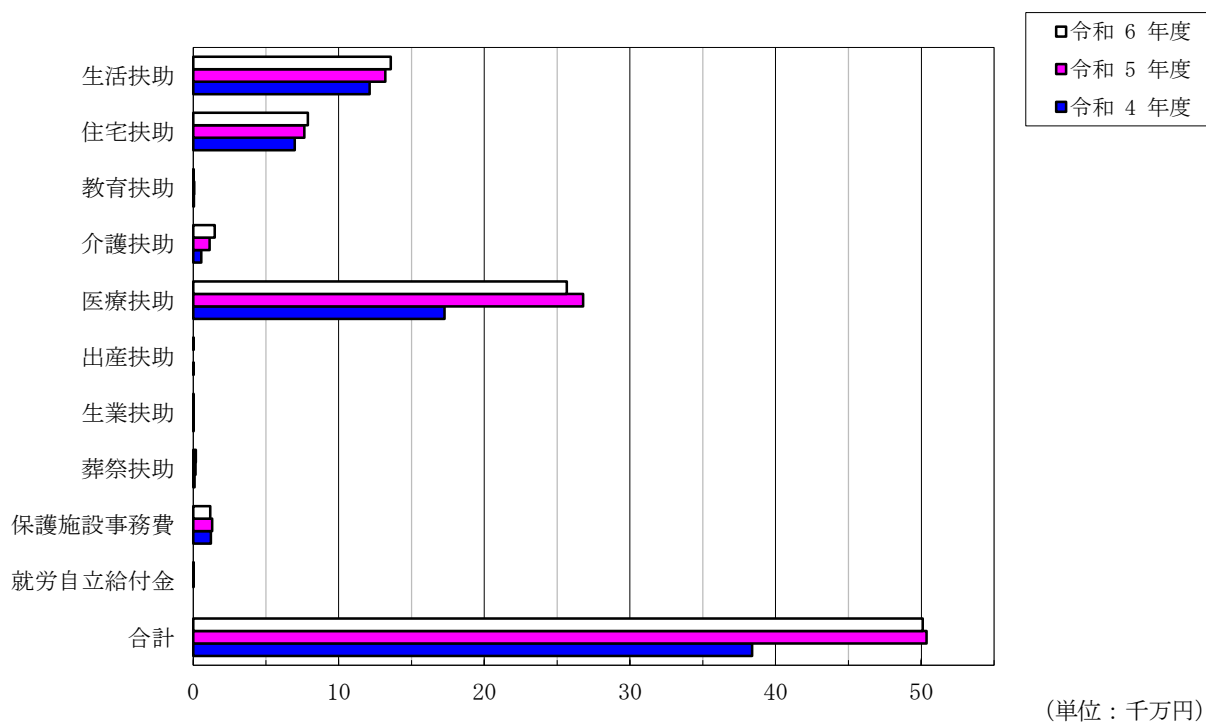
(各年 4 月 1 日現在)

区 分	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人超世帯	総 数
令和 5 年	181	27	5	0	1	0	214
令和 6 年	185	31	3	0	1	0	220
令和 7 年	186	31	3	1	2	0	223

表 8 年度別被保護実世帯・実人員及び 1 人当たり平均保護費

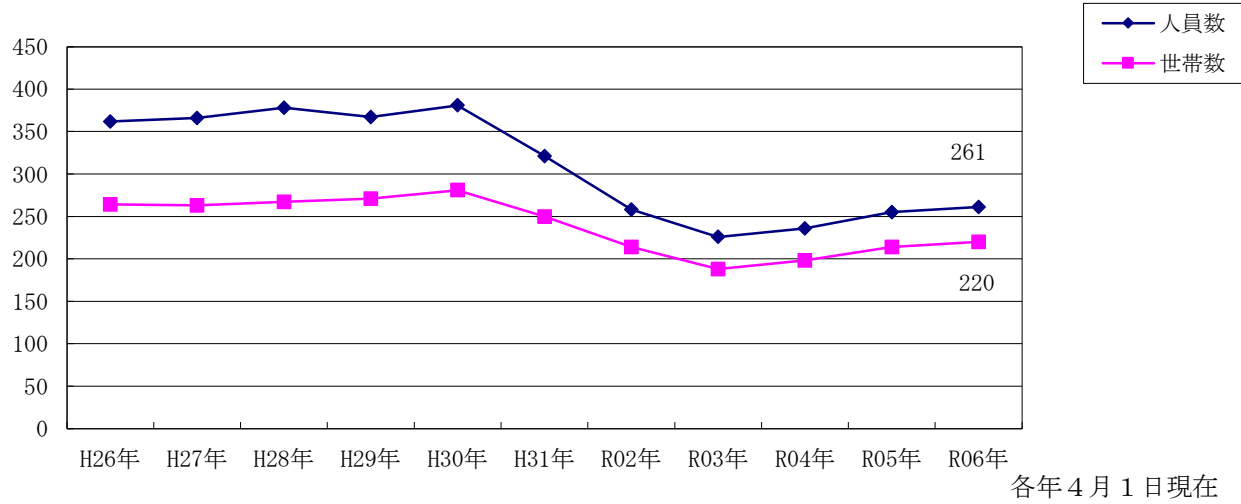
区 分	総 数		平 均		1 人当たり 平均保護費 円／月
	世 帯 世帯	人 員 人	世 帯 世帯	人 員 人	
令和 2 年度	2,380	2,868	198	239	158,019
令和 3 年度	2,338	2,809	195	234	142,345
令和 4 年度	2,423	2,867	201	238	133,905
令和 5 年度	2,651	3,171	220	264	158,869
令和 6 年度	2,713	3,255	226	271	153,936

生活保護費年度比較

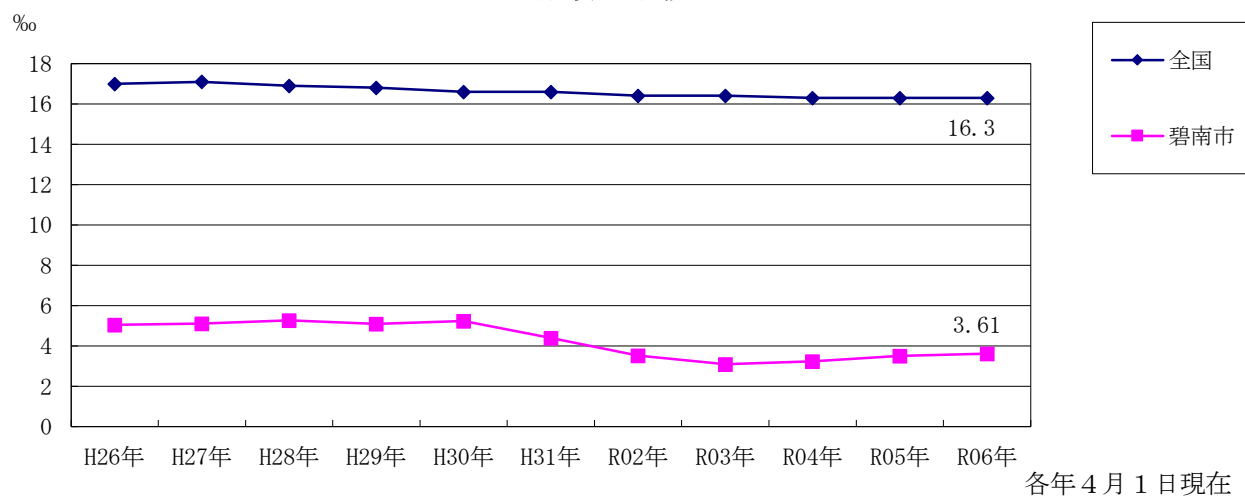


(世帯・人)

世帯・人数推移



保護率推移



1 目 保健衛生総務費	健康課	S D G s	
予算現額	219,177,000 円	決算額の	その他特財 7,030,859 円
決算額	194,566,461 円	財源内訳	一般財源 187,535,602 円
(前年度決算額	193,234,833 円)		

説 明

- 1 健康事務管理事業 予算現額 130,993,000 円 (134,310,000 円) 2.5%減
 決 算 額 124,648,271 円 (128,029,529 円) 2.6%減
 一般職人件費 (17人)

- 2 施設管理医師運営事業 予算現額 3,520,000 円 (2,697,000 円) 30.5%増
 決 算 額 1,553,750 円 (2,696,460 円) 42.4%減

(事業の目的及び概要)

保健センターの設置及び管理に関する条例に基づく保健センター医長及び管理歯科医等に要する経費

(事業の成果)

保健センター医長に西中康人医師を、保健センター管理歯科医に齋藤英延医師をおき、各種健診等をおこなった。

- 3 保健センター運営協議会運営事業 予算現額 121,000 円 (121,000 円) 増減無
 決 算 額 92,874 円 (92,194 円) 0.7%増

(事業の目的及び概要)

保健センターの設置及び管理に関する条例に基づく運営協議会に要する経費

(事業の成果)

令和6年7月31日に保健センターの管理運営及び保健衛生事業等の推進について協議した。委員13名出席。

- 4 医療問題対策協議会運営事業 予算現額 420,000 円 (630,000 円) 33.3%減
 決 算 額 0 円 (175,000 円) 皆減

(事業の目的及び概要)

保健センターの設置及び管理に関する条例に基づく対策協議会に要する経費

(事業の成果)

令和6年度中は協議会の開催はなかった。

- 5 保健センター維持管理事業 予算現額 22,861,000 円 (22,425,000 円) 1.9%増
 決 算 額 19,166,647 円 (19,706,076 円) 2.7%減

(事業の目的及び概要)

保健センターの施設等の維持管理に要する経費

(事業の成果)

- (1) 報償費 1,620 円
 (2) 需用費 6,105,129 円

一般会計		歳出	4 款 1 項	衛生費 保健衛生費
(3) 役務費	80,300 円			
(4) 委託料	12,784,172 円			
(5) 使用料及び賃借料	195,426 円			
6 碧南市健康を守る会運営事業	予算現額 3,113,000 円 (5,684,000 円) 45.2%減			
	決 算 額 2,195,288 円 (4,970,731 円) 55.8%減			
(事業の目的及び概要)				
昭和42年に発足した、碧南市健康を守る会（四師会、健康推進員、保健所、関係団体、地域住民、行政等が一体となった市民総ぐるみの組織）により広く乳児から高齢者までの総合的な保健活動の推進、疾病の予防、早期発見等に重点をおき、市民の健康水準の向上を図る。				
(事業の成果)				
(1) 会報「すこやか碧南」発行 年4号発行 91,780部				
(2) へきなんヘルスキーパーの委嘱 25地区 86人				
(3) 保健センター年報発行 140部				
7 救急医療対策推進事業	予算現額 39,803,000 円 (44,032,000 円) 9.6%減			
	決 算 額 29,842,478 円 (32,175,489 円) 7.3%減			
(事業の目的及び概要)				
休日において急病患者に適正な医療を提供するため、休日診療所（内科及び小児科）及び休日歯科診療所（歯科）を開設している。また一般の歯科医院では治療が困難な障がい者の歯科診療をおこなうため、障害者歯科診療所を開設している。				
(事業の成果)				
(1) 在宅当番医制年間診療日数 70日（延べ114箇所）				
(2) 休日診療所年間診療日数及び延べ患者数 70日 1,872人				
(3) 休日歯科診療所年間診療日数及び延べ患者数 75日 178人				
(4) 障害者歯科診療所年間診療日数及び延べ患者数 49日 408人				
8 救急対策事業	予算現額 3,475,000 円 (3,460,000 円) 0.4%増			
	決 算 額 3,467,173 円 (3,452,116 円) 0.4%増			
(事業の目的及び概要)				
救急患者に備えての一次医療体制確保事業。併せて災害時の医療救急体制に寄与。又、第一次救急医療機関の後方病院として、休日及び夜間の入院または緊急手術を要する救急患者の医療を担当する碧南市民病院、西尾病院、八千代病院、西尾市民病院に対し、広域二次救急医療ブロック（碧南、刈谷、安城、西尾、知立、高浜）6市が人口割で負担する負担金。				
(事業の成果)				
(1) 救急一次対策負担金				
端末機設置箇所 市内医療機関1箇所（市民病院）				
市民病院以外はインターネット対応				
(2) 病院群輪番制病院運営費補助金				
負担金 碧南市（10.31%）3,460,274 円、刈谷市（21.97%）7,372,960 円				

一般会計		歳出	4 款 1 項	衛生費 保健衛生費
1 2	健康都市推進基金積立事業	予算現額	13,000 円 (5,000 円)	160.0%増
		決 算 額	12,381 円 (4,883 円)	153.6%増
(事業の目的及び概要)				
健康都市推進基金の利子分の積み立て金				
(事業の成果)				
健康都市推進基金 令和 6 年度当初 3,269,180 円、令和 6 年度末 3,281,561 円				
1 3	保健センター費臨時事業	予算現額	13,054,000 円 (3,089,000 円)	322.6%増
		決 算 額	12,561,406 円 (619,059 円)	1929.1%増
(事業の目的及び概要)				
保健センターの臨時的な施設修繕及び機器修繕に要する経費				
(事業の成果)				
(1) 碧南市保健センター東面外壁雨漏り漏水調査委託		499,994 円		
(2) 雨漏り漏水修繕及びタイル剥落防止修繕工事		2,585,000 円		
(3) 空調設備チラー（冷温水発生機）更新工事補助金		9,350,000 円		
(4) ロビーチェアー（1 階待合ロビー用）		126,412 円		

2 目 予防費	健康課	S D G s		
予算現額	549,612,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	93,853,200 円
決算額	451,788,420 円		県支出金	5,000 円
(前年度決算額	793,951,296 円)		一般財源	357,930,220 円

説明

1 予防接種事業

予算現額 491,329,000 円 (273,084,000 円) 79.9%増

決 算 額 405,178,421 円 (256,537,491 円) 57.9%増

(事業の目的及び概要)

予防接種法に定められた定期の予防接種を個別医療機関にて実施

(事業の成果)

(1) 定期予防接種状況 (表中の () 内は、当該年度碧南市内での接種数)

ア 混合ワクチン第1期 5種 (百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ・Hib 感染症)

	対象者数	被接種者数	接種率
初回 1 回目	498 人	486 (478) 人	97.6%
2 回目	498 人	445 (439) 人	89.4%
3 回目	498 人	396 (391) 人	79.5%
追加	498 人	50 (50) 人	10.0%

イ 混合ワクチン第1期 4種 (百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ)

	対象者数	被接種者数	接種率
初回 1 回目	—	9 (0) 人	—
2 回目	—	40 (38) 人	—
3 回目	—	99 (96) 人	—
追加	—	540 (536) 人	—

ウ 混合ワクチン第2期 2種 (ジフテリア・破傷風)

	対象者数	被接種者数	接種率
第2期	1,289 人	820 (818) 人	63.6%

エ 麻しん風しん

	対象者数	被接種者数	接種率
第1期	507 人	511 (510) 人	100.8%
第2期	614 人	564 (563) 人	91.9%

オ 日本脳炎

		対象者数	被接種者数	接種率
第 1 期	初回 1 回目	531 人	535(530) 人	100.8%
	2 回目	531 人	544(538) 人	102.4%
	追加	531 人	580(578) 人	109.2%
第 2 期		1,295 人	981(979) 人	75.8%

カ 結核

	対象者数	被接種者数	接種率
1 回のみ	483 人	490(481) 人	101.4%

キ 小児の肺炎球菌感染症

	対象者数	被接種者数	接種率
初回 1 回目	498 人	495(488) 人	99.4%
2 回目	498 人	484(477) 人	97.2%
3 回目	498 人	486(480) 人	97.6%
追加	498 人	509(507) 人	102.2%

ク ヒブ感染症

	対象者数	被接種者数	接種率
初回 1 回目	—	2(0) 人	—
2 回目	—	35(33) 人	—
3 回目	—	89(86) 人	—
追加	—	465(464) 人	—

ケ ヒトパピローマウイルス感染症 (定期及びキャッチアップ接種)

	対象者数	被接種者数	接種率
1 回目	6,442 人	1,173(1,156) 人	18.2%
2 回目	6,442 人	1,022(1,005) 人	15.9%
3 回目	6,442 人	862(848) 人	13.4%

コ 水痘

	対象者数	被接種者数	接種率
1 回目	507 人	517(516) 人	102.0%
2 回目	507 人	487(483) 人	96.1%

サ B型肝炎

	対象者数	被接種者数	接種率
1 回目	498 人	490(482) 人	98.4%
2 回目	498 人	482(474) 人	96.8%
3 回目	498 人	470(464) 人	94.4%

シ ロタウイルス感染症

	対象者数	被接種者数		接種率
		1 価	5 価	
1 回目	498 人	60(55) 人	427(424) 人	97.8%
2 回目	498 人	60(57) 人	417(413) 人	95.8%
3 回目	498 人		414(411) 人	83.1%

(2) 定期予防接種状況（B類）（表中の（）内は、当該年度における碧南市内での接種数）

		対象者数	被接種者数	接種率
インフルエンザ	65 歳以上	17,737 人	9,461 (9,191) 人	53.4%
	60 から 64 歳		14 (13) 人	
高齢者の肺炎球菌感染症	65 歳	547 人	137 (136) 人	25.0%
	60 から 64 歳		0 (0) 人	
新型コロナウイルス感染症	65 歳以上	17,807 人	3,849 (3,719) 人	21.7%
	60 から 64 歳		7 (6) 人	

(3) 風しん第 5 期予防接種

ア 対象者 昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日までの間に生まれた男性

イ 実施期間 令和元年度から令和 6 年度

ウ 実施方法

風しん抗体検査を実施後、抗体価が基準の範囲内の場合、風しんの予防接種を実施

エ 実績

風しん抗体検査実施数	45 人
風しん予防接種実施数	8 人

2 風しんワクチン接種費助成事業

予算現額 776,000 円（720,000 円） 7.8%増

決 算 額 575,600 円（664,850 円）13.4%減

（事業の目的及び概要）

妊婦が風しんに感染し胎児に障害が現れる先天性風しん症候群の発症を防止するため風しん予防接種費用の助成を行う。

（事業の成果）

	風しんワクチン	麻しん風しん混合ワクチン
①妊娠を予定又は希望している女性で、予防接種時において妊娠していない者	4 人	6 人
②妊娠を予定又は希望している女性の配偶者（婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情がある者を含む）又は同居者※	0 人	0 人
③妊娠をしている女性の配偶者又は同居者※	0 人	0 人

※昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日の間に生まれた男性を除く

3 新型コロナウイルスワクチン接種事業

予算現額 42,464,000 円（750,425,000 円）94.3%減

決 算 額 42,463,204 円（526,236,479 円）91.9%減

（事業の目的及び概要）

国民への円滑な接種を実施するため、個別医療機関における接種に向けた体制確保を図るもので、市民に対する接種の案内、接種記録の適切な管理を図るものである。

(1) 令和 5 年度（令和 4 年度からの繰越分）新型コロナワクチン接種体制確保事業費

一般会計	歳出	4 款 1 項	衛生費 保健衛生費
国庫補助金の確定に伴う返還			6,608,000円
(2) 令和5年度（令和4年度からの繰越分）新型コロナワクチン接種体制確保事業費			
国庫負担金の確定に伴う返還			35,855,204円
(事業の成果)			
国庫負担金の返還を円滑に行うことができた。			

4 新型コロナウイルスワクチン接種事業（繰越明許費）

予算現額 15,043,000円（146,316,000円）89.7%減

決 算 額 3,571,195円（10,512,476円）66.0%減

(事業の目的及び概要)

国民への円滑な接種を実施するため、個別医療機関における接種に向けた体制確保を図るもので、市民に対する接種の案内、接種記録の適切な管理を図るものである。

(1) 業務委託

ア 新型コロナワクチン接種費（時間外・休日等含む）	73,128円
イ 新型コロナワクチン追加接種に伴う健康管理システム改修業務委託	401,500円
ウ 新型コロナワクチン追加接種に伴う予診票データ入力、システム連携等業務委託	44,000円
エ 感染性廃棄物等収集運搬処理委託	72,947円
オ その他	77,000円
計	668,575円

(2) その他

ア 消耗品費	61,126円
イ 役務費（新型コロナワクチン接種費等事務費他）	26,614円
ウ その他（報酬等）	2,814,880円
計	2,902,620円

(事業の成果)

個別接種を主体とし、円滑な接種を行うことができた。

3 目 保健推進費	健康課	S D G s	
予算現額	246,562,000 円	決算額の	国庫支出金 165,000 円
決算額	223,664,563 円	財源内訳	県支出金 5,081,000 円
(前年度決算額	220,750,880 円)		その他特財 15,240,000 円
			一般財源 203,178,563 円

説 明

1 生活習慣病予防健診事業

予算現額 82,952,000 円 (79,118,000 円) 4.8%増

決 算 額 74,179,341 円 (76,388,844 円) 2.9%減

(事業の目的及び概要)

生活習慣病の予防やがん等の早期発見を目的とした健康診査事業の実施に要する経費

(事業の成果)

生活習慣病予防健診実施状況

区 分	回数 (回)	受診者 (人)	要精検者		精検受診者	
			人	%	人	%
A コース	41	55	25	45.5	9	36.0
B コース (準総合健診)	73	754	263	34.9	150	57.0
C コース (総合健診)	73	911	301	33.0	177	58.8
E コース (腹部超音波)	78	1,086	57	5.2	39	68.4
乳がん検診 (乳房 X 線検査)	31	795	36	4.5	28	77.8
婦人総合健診	6	113	28	24.8	3	10.7
(子宮頸部細胞診の結果) (女性専用日を含む)	22	549	10	1.8	5	50.0
前立腺がん検診	55	305	20	6.6	12	60.0
胃がんリスク検査	43	71	14	19.7	2	14.3
骨粗しょう症検診	85	320	43	13.4	22	51.2
脳ドック検診	随時	188	69	36.7	24	34.8

がん発見者

大腸がん 2 人、前立腺がん 1 人

2 健康増進事業

予算現額 145,633,000 円 (132,206,000 円) 10.2%増

決 算 額 133,743,481 円 (127,852,250 円) 4.6%増

(事業の目的及び概要)

健康増進法に基づく健康増進事業等の実施に要する経費

(事業の成果)

(1) 健康手帳 配布数 1,650 冊

(2) 健康診査事業

(個別方式は市内 19 医療機関で実施、集団方式は集団特定健康診査と同時実施)

がん検診種別	受診者 (人)	要精検者		精検受診者		がん発見者 (人)
		人	%	人	%	
胃がん検診	2,170	82	3.8	56	68.3	1
肺がん検診	7,146	74	1.0	58	78.4	8
大腸がん検診	5,217	478	9.2	249	52.1	20
子宮がん検診	1,680	60	3.6	41	68.3	0
(内) 子宮体がん検診	80					
乳がん検診 (マンモグラフィ)	692	61	8.8	43	70.5	1
乳がん検診 (超音波)	849	63	7.4	40	63.5	1
前立腺がん検診	2,994	208	6.9	126	60.6	11

肝炎ウイルス検診受診者 B型 769人、C型 768人

生活保護受給者の健診受診者 37人

(3) へきなん健康づくり 21 プラン推進事業

ア 健康教育、健康相談

事業名	実施回数 (回)	延受講者数 (人)
市民健康教育講座	7	367
ボディメンテナンス教室 (糖尿病予防教室)	3	56
男の料理塾	4	17
へきなん健康づくり 21 プラン推進講演会	1	66
健康づくり食ボランティア養成講座	隔年開催	
病態別健康相談	33	59
糖尿病・高血圧栄養相談	22	42
いきいき健康相談	3	3

イ 地域保健活動事業

へきなんヘルスキーパー研修会開催 1回 受講者数 30人

ウ へきなん健康マイレージ事業 優待カードまいか発行数 165枚

(4) がん患者アピアランスケア支援事業

補整用具購入費用の助成 32件 (ウィッグ 23件、乳房補整具 9件)

(5) 若年がん患者在宅療養支援事業

在宅サービス等の利用費用の助成 1件

3 歯周病個別健診事業

予算現額 9,461,000 円 (8,837,000 円) 7.1%増

決算額 8,307,300 円 (7,895,649 円) 5.2%増

(事業の目的及び概要)

歯周病の早期発見及び予防を目的に、歯周病個別健康診査を実施。75歳については、口腔機能評価を併せて実施。

(事業の成果)

節 目 健 診 対 象 年 齢 等	受診者
20 歳・30 歳・40 歳・45 歳・50 歳・55 歳・60 歳・65 歳 ・70 歳・75 歳・妊婦・妊婦のパートナー	1,619 人

4 成人歯科保健事業

予算現額 1,119,000 円 (1,093,000 円) 2.4%増

決 算 額 1,049,771 円 (926,340 円) 13.3%増

(事業の目的及び概要)

歯周病の早期発見及び予防を目的とした健康診査を実施。8020 歯科保健運動等を推進するために健康診査及び表彰を実施。

(事業の成果)

- (1) 成人歯科健診 実施回数 12 回 受診者 95 人
 (2) 6024 歯科保健運動 (60 歳で 24 本以上の自歯) 達成者 155 人
 (3) 7521 歯科保健運動 (75 歳で 21 本以上の自歯) 達成者 187 人
 (4) 8020 歯科保健運動 (80 歳で 20 本以上の自歯) 達成者 103 人

5 生活習慣病対策事業

予算現額 5,484,000 円 (5,554,000 円) 1.3%減

決 算 額 4,919,903 円 (4,882,015 円) 0.8%増

(事業の目的及び概要)

小学4年生と中学1年生を対象に、健全な成長を妨げるような貧血や生活習慣病などを早期に発見をし、よりよい生活習慣の定着及び健康増進を推進することを目的として実施。

学校保健法による健康診査に加え、腹囲・血圧測定、血液検査と生活習慣等に関するアンケートを実施。健診結果から保健指導対象者には、健康づくり教室や学校での保健指導等を案内。

(事業の成果)

(1) 実施状況及び血液検査結果

		小学4年生	中学1年生
血圧測定、腹囲測定、貧血検査及び血液生化学検査		570 人	585 人
総合判定	異常なし	331 人 (58.1%)	312 人 (53.3%)
	要注意	115 人 (20.2%)	136 人 (23.2%)
	要受診	129 人 (22.6%)	137 人 (23.4%)

(2) 保健指導への参加状況

	小学4年生	中学1年生
対 象 数	85 人	81 人
生活習慣改善プログラム	13 人 (15.3%)	—
学校での保健指導	17 人 (20.0%)	74 人 (91.4%)

6 がん検診推進事業

予算現額 1,575,000 円 (1,636,000 円) 3.7%減

決 算 額 1,168,016 円 (1,268,580 円) 7.9%減

(事業の目的及び概要)

がん検診の受診を促進し、がんの早期発見につなげ、がんによる死亡者の減少を図ることを目的とした新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業の実施に要する経費

(事業の成果)

新たなステージに入ったがん検診総合支援事業

	無料クーポン配布数	受診者数	受診率
子宮頸がん (20 歳)	374 人	24 人	6.4%
乳がん (40 歳)	429 人	69 人	16.1%

7 自殺対策計画推進事業

予算現額 338,000 円 (1,943,000 円) 82.6%減

決 算 額 296,751 円 (1,537,202 円) 80.7%減

(事業の目的及び概要)

自殺対策基本法に基づき、令和6年3月に策定した「へきなん自殺対策計画」の推進に要する経費

(事業の成果)

ゲートキーパー研修 3 回 (市民、介護サービス機関連絡協議会、市職員)

延 1 1 2 人受講

4 目 母子保健事業費	健康課	S D G s		
予算現額	190,963,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	38,597,000 円
決算額	159,717,165 円		県支出金	8,270,000 円
(前年度決算額	150,813,638 円)		その他特財	391,200 円
			一般財源	112,458,965 円

説 明

1 母子保健事業

予算現額 102,903,000 円 (91,117,000 円) 12.9%増

決 算 額 88,191,547 円 (78,251,349 円) 12.7%増

(事業の目的及び概要)

母子健康手帳の交付、乳幼児健康診査、相談、教室、家庭訪問等、母子保健事業を実施する。

(事業の成果)

(1) 母子保健推進事業 (相談、教室、訪問等)

事業名	実施回数	参加者数等
母子健康手帳の交付	随時	481 冊 (実 474 人)
パパママ教室	4 回	86 人
育児相談	42 回	延 941 人
2 歳児育児相談	12 回	89 人
すくすく教室	12 回	延 61 人 (実 19 人)
離乳食教室 (前期)	12 回	109 組
離乳食教室 (後期)	6 回	75 組
離乳食教室 (完了期)	6 回	51 組
のびのび教室	47 回	延 243 人 (実 45 人)
母子訪問指導 (職員)	随時	妊産婦 延 239 人 新生児 延 19 人 乳幼児 延 409 人 その他 延 10 人

(2) 乳幼児健康診査

事業名	実施回数	受診者数
3 か月児健康診査	24 回	475 人
1 歳 6 か月児健康診査 (うちフッ化物塗布)	24 回	546 人 (437 人)
3 歳児健康診査 (うちフッ化物塗布)	24 回	583 人 (400 人)

(3) 幼児歯科保健事業

事業名	実施回数	参加者数
幼児歯科健診 (2 歳、2 歳 6 か月) (うちフッ化物塗布)	22 回	501 人 (467 人)
よい子の歯みがき運動 (保育園・幼稚園・認定こども園)	21 園	1,629 人

E 6 保護育成事業 (保育園・幼稚園・認定こども園)	21 園	1,595 人
歯と口の健康週間に伴う親子歯科健診	1 回	児 229 人 保護者 226 人
歯っぴい検定	1 回	163 人
歯みがき習慣確立事業	7 校	608 人

(4) 母子保健推進員の養成事業

事業名	実施回数	参加者数
母子保健推進員養成講習会及び フォローアップ研修	講習会 3 回	延 12 人 (実 4 人)
	研修会 3 回	延 40 人
赤ちゃんサロン	24 回	延 236 組

(5) 赤ちゃんお誕生おめでとう訪問事業

対象数 (乳児)	保護者人数	母子保健推進員 による訪問	市職員に よる訪問	訪問 未実施
499 人	491 人	251 人	237 人	11 人

※訪問実績には対象者以外 (月遅れ訪問等) 含む

未実施の理由：里帰り中 4 人 (里帰り先の市へ訪問依頼)、居住実態が他市 2 人
(他市へ訪問依頼)、入院中 1 人、施設入所 1 人、その他 2 人
(予定が合わず令和 7 年 4 月に訪問予定)、不在 1 人

(6) 産後ケア事業

	宿泊ケア	通所ケア	訪問ケア
申請件数 (件)	7	23	46
実利用者数 (人)	6	15	24
延利用日数 (日)	19	33	59

(7) 出産・子育て応援事業

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と妊娠期の妊婦及び出生した子どもを対象として応援給付金を支給する「経済的支援」を一体的に実施する。

ア 伴走型相談支援

① 妊娠届出時	面談実施数	474 人
② 妊娠 8 か月頃	アンケート送付数	433 人
	アンケート返送数	333 人 (76.9%)
	うち、面談希望数	7 人
	面談実施数	7 人 (うち電話対応 3 人)
③ 出生後	赤ちゃんお誕生おめでとう訪問数	488 人

イ 経済的支援 (逡及分・転入分含む)

出産応援給付数	479 人
子育て応援給付	486 人

2 妊婦・乳児健康診査事業

予算現額 77,980,000 円 (70,541,000 円) 10.5%増

決算額 62,273,618 円 (64,756,289 円) 3.8%減

(事業の目的及び概要)

妊産婦健康診査、乳児健康診査、新生児聴覚検査を実施し、異常の早期発見を図るとともに、必要な保健指導や治療につなげる。

(事業の成果)

妊婦健康診査 (14 回) 延 5,809 人

妊婦健康診査 (子宮頸がん検診) 465 人

産婦健康診査 (2 回) 延 898 人

新生児聴覚検査 388 人

乳児健康診査 (2 回) 延 844 人

県内の指定医療機関以外で妊産婦健康診査、乳児健康診査を受けた者には、申請に基づき償還払いで費用を公費負担している。実績：14 人の申請

3 不妊治療助成事業

予算現額 10,080,000 円 (11,250,000 円) 10.4%減

決算額 9,252,000 円 (7,806,000 円) 18.5%増

(事業の目的及び概要)

国民健康保険法、社会保険各法の被保険者又は被扶養者で不妊治療を受けている夫婦に対し、不妊治療に要する費用を助成することにより、当該夫婦の経済的な負担の軽減を図り、もって少子対策の推進に寄与する。

(事業の成果)

一般不妊治療 申請件数 68 件 (実人数 52 人)

(妊娠が確認できた者 13 人：令和 7 年 3 月末現在)

生殖補助医療 申請件数 97 件 (実人数 61 人)

(妊娠が確認できた者 46 人：令和 7 年 3 月末現在)

5 目 環境保全対策費	環境課	S D G s				
予算現額	49,958,000 円	決算額の 財源内訳	県支出金		12,620,342 円	
決算額	44,887,509 円		その他特財		173,298 円	
(前年度決算額	36,542,827 円)		一般財源		32,093,869 円	

説明

1 環境保全事務管理事業

予算現額 367,000 円 (354,000 円) 3.7%増

決算額 143,580 円 (99,896 円) 43.7%増

(事業の目的及び概要)

碧南市における環境保全活動に要する事務経費等

(事業の成果)

(1) 公害関係届出状況

騒音特定施設等設置事業場数	4 3 6 事業場
振動特定施設等設置事業場数	4 1 8 事業場
悪臭関係工場等届出事業場数	2 5 事業場
特定建設作業実施届出件数	5 8 4 件

(2) 公害苦情受付件数 4 8 件 (前年度比 4 件減)

ア 種類別受付件数

大気	水質	騒音	振動	悪臭	土壌	その他	合計
2 0	2	1 8	2	3	0	3	4 8

イ 用途地域別受付件数

住居	近商	商業	準工	工業	工専	調整等	合計
2 5	4	0	1 2	0	2	5	4 8

※住居：第 1 種低層住居専用地域、第 1 種中高層住居専用地域、第 2 種中高層住居専用地域、第 1 種住居地域、第 2 種住居地域、準住居地域の合計

2 環境審議会運営事業

予算現額 242,000 円 (242,000 円) 増減無

決算額 220,744 円 (99,621 円) 121.6%増

(事業の目的及び概要)

碧南市の環境の保全、公害の防止に関する施策等を調査審議する環境審議会を運営するために要する経費

(事業の成果)

令和 6 年 1 0 月 1 5 日 (火) 及び令和 7 年 3 月 3 1 日 (月) 開催。前年度の環境に関する状況、第 3 次碧南市環境基本計画の進捗状況及び今後の廃棄物処理施設のあり方に関する高浜市との協議結果について報告した。

3 施設等維持管理事業

予算現額 6,328,000 円 (3,138,000 円) 101.7%増

決算額 6,120,297 円 (2,534,506 円) 141.5%増

(事業の目的及び概要)

碧南市内の各種環境測定所の維持管理に要する経費

(事業の成果)

(1) 大気汚染測定所維持管理事業

西端大気汚染測定所の電気料、水道料及び敷地内の草刈りに係る維持管理経費

(2) 環境等監視機器維持管理事業

ア 大気汚染測定機器の定期点検、データ収集、オーバーホール等に要する経費

イ 西端大気汚染観測所 OS 更新委託に関する経費

(3) 碧南地盤沈下観測所維持管理事業

碧南地盤沈下観測所の垣根剪定に係る維持管理経費

4 環境等監視事業

予算現額 3,205,000 円 (3,381,000 円) 5.2%減

決算額 2,728,451 円 (2,742,483 円) 0.5%減

(事業の目的及び概要)

碧南市内の環境の状況を監視するための各種調査を実施するために要する経費。

市内の環境（大気・水質・騒音・振動等）の汚染・汚濁状況を把握し、環境保全に関する施策の資料とするための調査を実施した。

(事業の成果)

(1) 大気監視事業

ア 調査地点等

調査地点	調査項目	調査回数
西端大気汚染測定所	一酸化窒素、二酸化窒素、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、風向風速	連続測定
碧南市役所	ダイオキシン	年 2 回
臨海部事業所 ばい煙発生施設	ばいじん(濃度)、硫黄酸化物(濃度・排出量)、窒素酸化物(濃度・排出量)、アンモニア(濃度)	年 1 回

イ 調査結果

調査の結果、環境基準に定める大気汚染物質は、前年度比較ほぼ横ばいであり、全て基準を下回った。

(2) 水質監視事業

ア 調査地点等

調査地点	調査項目	調査回数
河川 6 地点 新川、高浜川、長田川、 矢作川、鹿乗川、掘川	生活項目 13 項目 水温、透視度、導電率、水素イオン、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、浮遊物質、n-ヘキサン抽出物質、溶存酸素、大腸菌、全燐、全窒素、亜鉛	生活項目 毎月
湖沼 1 地点 油ヶ淵		
海域 2 地点 中央埠頭、出光興産(株)碧南 LPG 基地埠頭	健康項目 9 項目 陰イオン界面活性剤、シアン、六価クロム、鉛、カドミウム、PCB、アルキル水銀、総水銀、砒素	健康項目 年 2 回

イ 調査結果

河川の生物化学的酸素要求量(BOD)は、全ての調査地点で環境基準に適合であった。湖沼・海域の化学的酸素要求量(COD)は、油ヶ淵が環境基準に不適合、海域は環境基準に適合していた。シアン・カドミウム等の健康項目は、全調査地点で環境基準に適合していた。前年度と比較すると、全体的に横ばいといえる状態にある。

(3) 騒音・振動監視事業

ア 調査地点等

(7) 環境騒音

調査地点		調査回数
用途地域	調査地点名	
第一種低層住居専用地域	碧南市哲学たいけん村無我苑	年 1 回 24 時間測定
第一種中高層住居専用地域	下山公園	
第一種住居地域	碧南市上水道第 2 配水場	
第一種住居地域	碧南市西端公民館	
市街化調整地域	碧南市前浜集落センター	
近隣商業地域	碧南市役所	
準工業地域	踏分公園	
準工業地域	若宮公園	

(4) 自動車騒音

調査地点			調査回数
用途地域	路線名	調査地点名	
準工業地域	国道 247 号線	碧南市南部市民プラザ前	年 1 回 2 日間 連続測定
準工業地域	国道 247 号線	碧南海浜水族館前	
第 1 種住居地域	県道西尾新川港線	鷺塚公民館	
第 1 種住居地域	県道米津碧南線	日進公民館	

イ 調査結果

環境騒音調査では、昼間及び夜間ともに環境基準に適合していた。

自動車騒音調査では、過年度調査結果を含め評価区間内の全戸数 3,346 戸中、昼夜ともに環境基準値以下は 3,320 戸で 99.2%であり、要請限度調査結果は、騒音実測 4 地点とも基準内であった。

(4) 地盤沈下監視事業

ア 調査地点等

調査地点	調査項目	調査回数
碧南地盤沈下観測所 (油ヶ渚遊園地内)	地下水位 地盤沈下	連続測定
衣浦衛生組合 井戸	地下水位	毎月
潮見町地内 井戸		

イ 調査結果

地盤沈下の傾向は認められない。

5 環境啓発事業

予算現額 69,000 円 (69,000 円) 増減無
決 算 額 15,708 円 (14,669 円) 7.1%増

(事業の目的及び概要)

環境の日 (6 月 5 日) 及び環境月間 (6 月) の啓発のため、市内中学生を対象に募集したポスターの審査・表彰に要する経費

(事業の成果)

市民の環境保全に対する啓発を図るため、6 月の環境月間に合わせ環境保全ポスター

を募集したところ、51 件の応募があり、市長賞始め 18 件の優秀作品を表彰した。

6 矢作川沿岸水質保全事業

予算現額 520,000 円 (520,000 円) 増減無

決算額 520,000 円 (520,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

矢作川沿岸及び水域の水質保全に必要な調査、対策及び運動を行うために要する経費

(事業の成果)

矢作川沿岸水質保全対策協議会と連携しつつ矢作川水系水質保全に努めた。

7 生活排水対策事業

予算現額 374,000 円 (465,000 円) 19.6%減

決算額 348,163 円 (311,491 円) 11.8%増

(事業の目的及び概要)

生活排水対策重点地域の指定をうけ、地域住民の協力を得て、より一層生活排水対策を推進するための実践活動及び啓発事業等に要する経費

(事業の成果)

河川や海域などの水質汚濁の大きな要因とされる生活排水の対策のため、水質汚濁の原因となる廃食用油の回収を月 1 回、市内公共施設で行い、590 リットルを回収した。

8 三河湾浄化推進事業予算現額

予算現額 53,000 円 (53,000 円) 増減無

決算額 53,000 円 (53,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

地域住民の共有財産である三河湾の環境再生を推進し、三河湾が総合的に発展するために、関係機関への協力要請や実践活動の促進を図るために要する経費

(事業の成果)

三河湾の環境再生推進のための啓発を目的として、「豊かな海“三河湾”環境再生推進週間」である令和 6 年 7 月 24 日から 31 日まで啓発グッズを配布した。

9 環境基本計画推進事業

予算現額 37,586,000 円 (33,867,000 円) 11.0%増

決算額 33,580,832 円 (29,202,976 円) 15.0%増

(事業の目的及び概要)

碧南市環境基本計画に基づき、その具体的な推進を図るために要する経費

(事業の成果)

第 3 次碧南市環境基本計画の推進のため、へきなん市民環境会議と協働して、リーディングプロジェクト(先導的環境施策)の取り組みに努めた。

(1) 環境基本計画推進事業

ア へきなん市民環境会議の開催

市民・事業者代表計 15 名の委員にて、月 1 回の定例会議を開催し、リーディングプロジェクトへの具体的な取り組みについて検討した。

イ リーディングプロジェクト事業の実施

率先して取り組むべき環境施策をリーディングプロジェクトとして定め、その推進のための各事業を、へきなん市民環境会議と協働して実施した。

(ア) みんなでやろう私の環境宣言プロジェクト

(イ) 環境きっかけプロジェクト（環境学習講座）

開催日	内容	開催場所	参加人数
令和6年 8月 6日（火）	冷熱実験講座	碧南市役所	33人
令和6年 8月 19日（月）	ミニビオトープ を作ろう	碧南市役所	50人 （2部制）
令和6年 11月 24日（日）	自然観察会	岡崎東公園	8人
令和7年 2月 9日（日）	自然観察会	豊田市前田公園	8人

(2) スマートハウス設備設置費補助事業

種類	補助金額	補助件数	補助実績
一体的導入（住宅用太陽光発電、住宅用エネルギー管理システム及び住宅用リチウムイオン蓄電池システムを同時に設置）	一律32万円	42件	13,440,000円
一体的導入（住宅用太陽光発電、住宅用エネルギー管理システム及び住宅用次世代自動車充電設備を同時に設置）	一律22万円	0件	0円
住宅用燃料電池	1基あたり10万円	6件	600,000円
住宅用リチウムイオン蓄電池	1基あたり15万円	90件	13,500,000円
住宅用次世代自動車充電設備	1基あたり5万円	1件	50,000円
住宅用エネルギー管理システム	1基あたり1万円	29件	290,000円
合計		168件	27,880,000円

(3) 次世代自動車購入費補助事業

ア 事業用

種類	補助金額	補助件数	補助実績
電気自動車	1台につき20万円	5件	1,000,000円
燃料電池自動車	1台につき30万円	0件	0円
プラグインハイブリッド自動車	1台につき10万円	7件	700,000円
合計		12件	1,700,000円

イ 個人向け

種類	補助金額	補助件数	補助実績
電気自動車	1台につき5万円	16件	800,000円
燃料電池自動車	1台につき40万円	0件	0円
プラグインハイブリッド自動車	1台につき10万円	18件	1,800,000円
合計		34件	2,600,000円

10 墓園維持管理事業

予算現額 1,214,000円（1,116,000円） 8.8%増

決算額 1,156,734円（964,185円） 20.0%増

（事業の目的及び概要）

市営墓園（新川墓園、明石墓園、東山墓園、荒子墓園、神有墓園）を適正管理するため、新川墓園を除き、地区に清掃等管理を委託。新川墓園は業者委託。

6 目 環境衛生費	環境課	S D G s	  
予算現額	67,145,000 円	決算額の	その他特財 760,904 円
決算額	66,383,478 円	財源内訳	一般財源 65,622,574 円
(前年度決算額	70,679,148 円)		

説明

1 クリンピー実施事業

予算現額 769,000 円 (769,000 円) 増減無

決 算 額 760,320 円 (766,238 円) 0.8%減

(事業の目的及び概要)

ごみ散乱防止市民行動の日として、春期の「清掃週間一斉清掃」、秋期の「クリンピーときれいな街づくり事業」を実施。

(事業の成果)

春期 5月26日実施 参加者2,457人 ごみ重量1,680kg

秋期 11月17日実施 参加者6,300人 ごみ重量2,620kg

2 衣浦衛生組合（斎園）運営事業

予算現額 62,070,000 円 (66,934,000 円) 7.3%減

決 算 額 62,070,000 円 (66,934,000 円) 7.3%減

(事業の成果)

衣浦衛生組合同規約第12条に基づく負担金（斎園の経費）を支出した。

区 分	均等割 (千円)	人口割 (千円)	計 (千円)	算 率 (%)
維持管理費	0	61,783	61,783	R6.1.1 人口比率 59.554
工事費	49	238	287	R2 国調人口比率 61.113
公債費	0	0	0	
計	49	62,021	62,070	

3 狂犬病予防事業

予算現額 1,650,000 円 (1,278,000 円) 29.1%増

決 算 額 1,457,266 円 (1,064,039 円) 37.0%増

(事業の目的及び概要)

狂犬病の発生を予防し、その蔓延を防止し及びこれを撲滅することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。また、愛知県動物保護管理センターと協力し、犬猫に関する苦情を処理。糞の放置に対しては、看板設置・広報・ホームページ・回覧で啓蒙。

(事業の成果)

令和6年度は4月に3日間の日程、市内の公民館、区民館等12カ所の会場で集合注射を実施した。集合注射以外に開業獣医師でも注射を行っている。

(頭)

登録件数	新規登録総数	注射件数		
			集合注射	開業獣医師
3,884	329	3,328	212	3,116

4 環境美化事業

予算現額 1,272,000 円 (1,386,000 円) 8.2%減

決 算 額 1,113,892 円 (1,224,871 円) 9.1%減

(事業の目的及び概要)

地域の衛生環境保全のため、草刈機の貸出を実施。雑草での苦情があった場合、地主等管理者に草刈を要請。公共用地について臨時的除草作業を委託。

(事業の成果)

地区、町内会において、地区役員により屋内・側溝消毒を実施。

【消毒実施状況】 実施件数 9 件 (延べ煙霧機貸出し台数 26 台)

【草刈機貸出状況】 貸出台数 333 台

【雑草等苦情件数】 113 件 (95, 715 m²)

5 浄化槽設置整備事業

予算現額 864,000 円 (1,584,000 円) 45.5%減

決算額 462,000 円 (360,000 円) 28.3%増

(事業の目的及び概要)

下水道事業認可区域外において、生活排水をし尿と併せて処理する合併処理浄化槽の設置を奨励し河川の水質汚濁を防止する。

(事業の成果)

補助件数 1 件 (高度処理合併浄化槽の新設 1 件)

6 地域猫不妊・去勢手術費補助事業

予算現額 520,000 円 (450,000 円) 15.6%増

決算額 520,000 円 (330,000 円) 57.6%増

(事業の目的及び概要)

地域にいる所有者のいない猫を排除するのではなく、命あるものとしてとらえ、地域の中で猫を適正管理することで、地域住民との共生を認め、地域ぐるみでトラブル解決・環境美化を図る地域猫活動を支援する。

(事業の成果)

区 分		不妊手術 (メス)	去勢手術 (オス)	合計
令和5年度	件数 (匹)	23	20	43
	補助金額 (円)	230,000	100,000	330,000
令和6年度	件数 (匹)	37	30	67
	補助金額 (円)	370,000	150,000	520,000

1 目 清掃総務費	環境課	S D G s	  
予算現額	1,244,455,000 円	決算額の	その他特財 10,000 円
決算額	1,235,698,826 円	財源内訳	一般財源 1,235,688,826 円
(前年度決算額	1,224,192,032 円)		

説明

- 1 清掃事務管理事業 予算現額 54,657,000 円 (41,275,000 円) 32.4%増
決算額 51,887,215 円 (39,051,827 円) 32.9%増

(1) 一般職人件費 清掃・し尿関係職員 6 名分 51,177,425 円

(2) 清掃事務管理事業 709,790 円

- 2 塩浜事務所施設維持管理事業 予算現額 41,494,000 円 (25,462,000 円) 63.0%増
決算額 36,775,442 円 (15,091,832 円) 143.7%増

(事業の目的及び概要)

環境課塩浜事務所の適切な維持管理を行う。

(1) 塩浜事務所維持管理事業 983,607 円

(2) 塩浜事務所整備事業 35,791,835 円

(事業の成果)

塩浜事務所改築工事を行った。

- 3 衣浦衛生組合（清掃）運営事業

予算現額 1,143,210,000 円 (1,165,715,000 円) 1.9%減

決算額 1,143,210,000 円 (1,165,715,000 円) 1.9%減

(事業の成果)

衣浦衛生組合同規約第 12 条に基づく負担金(清掃・し尿関係)を支出した。

区 分	均等割 (千円)	人口割 (千円)	計 (千円)	算 率 (%)
維持管理費	0	832,320	832,320	R6. 1. 1 人口比率 59.554
工事費	6,245	30,533	36,778	R2 国調人口比率 61.113
公債費	46,546	227,566	274,112	
計	52,791	1,090,419	1,143,210	

- 4 ごみ減量化対策事業 予算現額 5,094,000 円 (6,024,000 円) 15.4%減
決算額 3,826,169 円 (4,333,373 円) 11.7%減

(1) 生ごみたい肥化促進事業 1,476,744 円

(事業の目的及び概要)

コンポスト及び生ごみ処理機購入に要する費用を補助することにより、家庭の台所から出る生ごみの自家処理を推進し、もって生ごみの減量化を図る。

(事業の成果)

種 別	補助金額 (円)	台 数 (台)		累積台数 (台)
		5 年度	6 年度	
コンポスト	37,744	10	7	2,412
生ごみ処理機	1,439,000	38	40	1,614

(2) 資源回収推進報奨金交付事業 1,595,705 円

(事業の目的及び概要)

ごみの減量化と資源の再利用を積極的に推進するため、自主的に資源の集団回収活動をする町内会、PTA、子供会等の市民団体に対して報奨金を交付する。またこれにより、活動の活性化を図り、もって快適な生活環境の実現向上に資する。

(事業の成果)

資源回収登録団体 37 団体

(3) EMボカシによる生ごみたい肥化事業 753,720 円

(事業の目的及び概要)

生ごみのたい肥化を推進するため、市民にEMボカシを配布。

(事業の成果)

EMボカシ1回に一人あたり1袋(300g)を各公民館、農業者コミュニティセンターで11,420袋配布した。

2 目 じんかい処理費	環境課	S D G s			
予算現額	524,323,000円	決算額の	その他特財	26,935,239円	
決算額	514,769,644円	財源内訳	一般財源	487,834,405円	
(前年度決算額	494,240,363円)				

説 明

- 1 最終処分場維持管理事業 予算現額 29,637,000円(28,457,000円)4.1%増
決算額 28,725,177円(26,990,097円)6.4%増

(事業の目的及び概要)

最終処分場施設が正常に機能するための保守点検、ダイオキシン類調査、運転維持管理を行う。

- 2 分別収集事業 予算現額 86,063,000円(85,932,000円)0.2%増
決算額 81,101,311円(83,662,445円)3.1%減

(事業の目的及び概要)

地区ごとに資源ごみステーション(88箇所)を設営できるように委託するとともに、指定袋を作成し市民に配布した。

(事業の成果)

燃やすことのできる指定ごみ袋作成数

大3,126,000枚 中130,000枚

- 3 回収運搬業務委託事業 予算現額 408,623,000円(387,023,000円)5.6%増
決算額 404,943,156円(383,587,821円)5.6%増

- (1) 燃やすことのできるごみ収集運搬業務 154,836,330円

(事業の成果)

燃やすことのできるごみ袋の収集を、市内を6分割し3業者に委託。

北部は月、木曜日 南部は火、金曜日に収集。

- (2) 粗大ごみ収集運搬業務 11,906,400円

(事業の成果)

粗大ごみの収集及び運搬を市内7地区、8ステーションに区分して委託。

- (3) 資源ごみ収集運搬等業務 180,648,426円

(事業の成果)

資源ごみステーションで収集された資源ごみを回収し、リサイクルルートまで運搬委託した。(ペットボトル、硬質プラスチックは再生加工の中間処理を含む。)

ごみの種類別排出量（過去3か年）

単位：kg

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
分類項目				
資源ごみ	缶類	104,211	123,994	128,008
	びん類	232,508	291,650	273,243
	プラスチック類	トレ・発砲スチロール	41,389	44,953
		ペットボトル	97,562	122,715
		硬質プラスチック	227,372	294,576
	紙類	604,002	750,137	695,660
	布類	61,543	112,012	105,206
	金属類・その他	102,172	227,805	248,566
	小計	1,470,759	1,967,842	1,904,054
資源ごみ以外	埋立てごみ	111,040	101,230	91,490
	特別ごみ	21,109	37,772	25,880
	粗大ごみ	244,600	251,770	234,910
	可燃ごみ（指定袋）	11,818,860	11,170,010	10,908,880
	市民直接持ち込み（注1） （内、不法投棄ごみ回収分）	3,070,357 (124,008)	2,248,158 (116,630)	2,346,615 (107,910)
	業者直接持ちこみ（注2）	8,569,855	9,112,540	9,420,990
	小計	23,835,821	22,921,480	23,028,765
	合計	25,306,580	24,889,322	24,932,819

※（注1、注2）は、クリーンセンター衣浦に直接持ち込み分

※ 資源ごみには、集団回収分を含む

(4) 不法投棄ごみ等収集運搬業務

57,552,000 円

(事業の目的及び概要)

不法投棄ごみのパトロール・収集処理、へい獣回収業務、防疫・機械器具の管理業務、分別収集指導など環境美化に関する業務、日曜資源ごみ回収業務を業者へ委託。

(事業の成果)

【不法投棄廃棄物収集量】 【不法投棄（家電リサイクル法対象製品）】

年度	合計(kg)	年 度	テレビ	エアコン	冷蔵庫	洗濯機	合計(台)
令和5年度	111,520	令和5年度	52	6	12	15	85
令和6年度	102,180	令和6年度	11	2	5	8	26

【へい獣死骸処理状況】

年 度	犬	猫	その他	合計(匹)	月平均
令和5年度	2	204	122	328	27
令和6年度	0	161	116	277	23

【草刈り機貸出状況】

【消毒用機具貸出状況】

年 度	貸出台数	月平均	年 度	煙霧機(台)
令和5年度	382	32	令和5年度	45
令和6年度	333	28	令和6年度	26

1 目 上水道費	水道課 財政課	S D G s	
予算現額	74,285,000 円	決算額の 財源内訳	一般財源 74,254,708 円
決算額	74,254,708 円		
(前年度決算額	74,693,598 円)		

説 明

1 水道事業会計繰出事業

予算現額 74,285,000 円 (74,731,000 円) 0.6%減

決 算 額 74,254,708 円 (74,693,598 円) 0.6%減

(事業の目的及び概要)

地方公営企業法第17条の2の規定による一般会計と水道事業会計との間の経費の負担区分の原則に基づく繰出金及び第18条の規定による繰出金である。

児童手当については繰出基準による市負担分を、配水池増設関連事業については企業債借入金の利息（負担金）と元金（出資金）を繰り出した。また、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、水道料基本料金2か月分の減免を行ったため、免除額を繰り出した。さらに、令和6年能登半島地震において水道課職員を派遣し、応急給水活動を実施したため、その活動に係る経費を繰り出した。

(事業の成果)

水道事業会計の費用軽減に寄与し事業の進捗を図ることができた。また、水道料基本料金の免除により市民及び事業者の経済的な負担の軽減を図ることができた。

内訳

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額
児童手当	320,000	320,000
配水池増設関連事業	4,454,000	4,453,678
水道料基本料金の免除に係る費用	69,279,000	69,250,005
令和6年能登半島地震における災害派遣に係る費用	232,000	231,025
計	74,285,000	74,254,708

2 目 病院費	医事経営課 財政課	S D G s	 
予算現額	1,746,530,000 円	決算額の	一般財源 1,746,530,000 円
決算額	1,746,530,000 円	財源内訳	
(前年度決算額	2,073,842,000 円)		

説 明

- 1 病院事業会計繰出事業 予算現額 1,746,530,000 円 (2,073,842,000 円) 15.8%減
決 算 額 1,746,530,000 円 (2,073,842,000 円) 15.8%減

(事業の目的及び概要)

地方公営企業法第 17 条の 2 の規定による一般会計と病院事業会計との間の経費の負担区分の原則に基づく繰出金、負担区分に基づかない同法第 17 条の 3 及び第 18 条の規定による繰出金である。これらは、救急医療等の不採算部門の経費、経営安定化に要する経費及び企業債元金の償還金に充てられる。

(事業の成果)

救急医療、高度医療及び医師確保等に要する経費として一般会計負担金 10 億 2,783 万 1 千円、企業債元金の償還等に要する経費及び基準外繰出金として一般会計出資金 7 億 1,869 万 9 千円を繰り出し、市民病院の経営安定化、設備投資等に寄与した。

内訳

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額
負担事業 (内訳)	1,027,831,000	1,027,831,000
企業債利息	(3,966,000)	(3,966,000)
リハビリテーション医療に要する経費	(113,926,000)	(113,926,000)
周産期医療に要する経費	(45,276,000)	(45,276,000)
小児医療に要する経費	(132,066,000)	(132,066,000)
救急医療確保に要する経費	(145,987,000)	(145,987,000)
高度医療に要する経費	(147,833,000)	(147,833,000)
院内保育所運営経費	(21,213,000)	(21,213,000)
医師・看護師等研究研修経費	(9,257,000)	(9,257,000)
病院事業会計に係る共済追加費用	(32,174,000)	(32,174,000)
公立病院改革推進に要する経費	(9,900,000)	(9,900,000)
医師の勤務環境の改善に要する経費	(28,539,000)	(28,539,000)
医師の派遣を受けることに要する経費	(216,624,000)	(216,624,000)
基礎年金拠出金の公的負担経費	(104,334,000)	(104,334,000)
児童手当に要する費用	(16,248,000)	(16,248,000)
特別減収対策企業債の利子負担軽減経費	(488,000)	(488,000)
出資事業 (内訳)	718,699,000	718,699,000
建設改良費	(32,258,000)	(32,258,000)
企業債元金償還額	(178,821,000)	(178,821,000)
経営安定化に要する経費	(300,000,000)	(300,000,000)
森林環境譲与税活用に要する経費	(8,000,000)	(8,000,000)
経営安定化に要する経費 (12 月補正)	(199,620,000)	(199,620,000)
計	1,746,530,000	1,746,530,000

1 目 労働諸費	商工課	S D G s	
予算現額	56,130,000 円	決算額の	その他特財 40,000,000 円
決算額	53,980,740 円	財源内訳	一般財源 13,980,740 円
(前年度決算額)	53,798,700 円)		

説明

1 勤労者対策事業

予算現額 12,380,000 円 (12,546,000 円) 1.3%減

決 算 額 11,335,740 円 (11,297,700 円) 0.3%増

(事業の目的及び概要)

中小企業の従業員の福祉の増進と雇用の安定を図るとともに、中小企業の振興と発展に寄与することを目的とする。

(事業の成果)

(1) 中小企業退職金制度普及対策事業

110,640 円

前年度中に中小企業退職金共済制度、特定退職金共済制度に加入した事業所に対して、その経費の一部を補助した。

種 類	補助率(%)	事業所数(社)	加入者数(人)	補助額(円)
中小企業退職金共済制度	10	3	18	110,640
特定退職金共済制度	20	0	0	0
計		3	18	110,640

(2) 労働安全衛生推進対策補助事業

300,000 円

市内事業所に対する労働安全衛生の普及と従業員の健康の確保のために、労働災害の防止及び職業性疾病の予防のPR、労働安全衛生教育事業を実施する碧南労働基準協会へ補助した。

(3) 企業健康診断実施補助事業

10,925,100 円

市内事業所を有する事業主が従業員に対して実施する労働安全衛生規則第44条に規定する健康診断に対して、その経費の一部を補助した。

事業所数 458社

種 類	受診者1人あたりの補助額(円)	受診者数(人)	補助額(円)
省略型健康診断(※)	800	430	344,000
全項目型健康診断	1,900	5,569	10,581,100
計		5,999	10,925,100

※省略型健康診断とは、労働安全衛生規則第44条第2項の規定により医師が必要でないと認め、省略した健康診断をいう。

2 雇用推進対策事業

予算現額 2,000,000 円 (2,000,000 円) 増減無

決 算 額 2,000,000 円 (2,000,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

中小企業の雇用安定及び勤労者福祉の向上を図るとともに、雇用の創出に寄与することを目的とする。

雇用推進対策補助事業

2,000,000 円

一般会計	歳出	5 款 1 項	労働費 労働諸費
・新就職者を励ます会 ・雇用推進懇談会 ・就職情報ホームページ ・合同企業説明会 ・理工系大学教授等との意見交換会 ・新入社員研修講座 ・永年勤続、模範従業員表彰式 ・企業ガイドブック発刊 ・雇用対策セミナー (事業の成果) 中小企業の安定雇用と従業員の定着に寄与する事業を展開したことで、中小企業の振興と発展に寄与することができた。			
3 労働関係団体補助事業	予算現額	450,000 円 (450,000 円)	増減無
	決 算 額	450,000 円 (450,000 円)	増減無
(事業の目的及び概要) 労働者が所属する労働組合の協議会が行う、明るい職場づくり、健康な労働者及び文化・教養のある組織づくりにより、労働条件・労働者福祉の向上に寄与することを目的とする。 (事業の成果) 労働組合の協議会への補助を通じ、労働者の労働条件・労働者福祉に寄与できた。 ・連合愛知三河西地域協議会 ・労働者福祉協議会 270,000 円 180,000 円			
4 市民融資事業	予算現額	40,000,000 円 (40,000,000 円)	増減無
	決 算 額	40,000,000 円 (40,000,000 円)	増減無
(事業の目的及び概要) 勤労者に対する生活安定のための融資の円滑化を図るため、労働金庫（ろうきん）へ預託する。ろうきんには住宅ローン、カーライフローン、教育ローン、福祉ローンなどの融資制度があり、市民なら誰でも利用することができる。 (事業の成果) 碧南市在住者の東海労働金庫全店貸付状況 ・令和 6 年度中融資実績 169 件 1,875,850 千円 ・令和 6 年度末融資残高 1,952 件 15,395,156 千円			
5 移住支援補助事業	予算現額	1,300,000 円 (1,300,000 円)	増減無
	決 算 額	195,000 円 (51,000 円)	282.4%増
(事業の目的及び概要) 本市への移住・定住の促進及び中小企業等における人材不足の解消に資し、本市の商工業振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。 (事業の成果) (1) 首都圏人材確保事業 0 円 東京一極集中を是正し、U I J ターンを促進するため国及び県とともに実施する補助制度であるが、利用がなかった。 (2) インターンシップ支援事業 195,000 円 市内の中小企業においてインターンシップを行う大学生等に対し、インターンシップ			

期間中に登録宿泊施設（旅館業法に規定する旅館業で市の登録を受けた市内宿泊施設）に支払う宿泊料の一部を補助する制度を設けたことで、長期間のインターンシップを行う大学生が現れ、企業への理解が深まった。

受入企業数	利用宿泊施設	受入人数	宿泊数	補助額
2 社	2 施設	6 人	130 泊	195,000 円

2 目 ものづくり センター費	商工課	S D G s	 
予算現額	26,156,000 円	決算額の	その他特財 716,328 円
決算額	24,560,487 円	財源内訳	一般財源 23,844,159 円
(前年度決算額	23,812,754 円)		

説 明

1 ものづくりセンター事務管理事業

予算現額 10,677,000 円 (10,772,000 円) 0.9%減

決 算 額 10,213,419 円 (10,391,481 円) 1.7%減

(1) 一般職人件費 (1 人) 10,059,284 円

(2) ものづくりセンター事務管理事業 154,135 円

2 ものづくりセンター施設維持管理事業

予算現額 11,085,000 円 (10,565,000 円) 4.9%増

決 算 額 10,018,817 円 (9,083,359 円) 10.3%増

(1) ものづくりセンター施設維持管理事業 10,018,817 円

3 ものづくりセンター運営事業

予算現額 4,394,000 円 (4,394,000 円) 増減無

決 算 額 4,328,251 円 (4,337,914 円) 0.2%減

(1) ものづくりセンター運営審議会運営事業 28,720 円

(2) ものづくりセンター自主事業 2,030,000 円

(事業の目的及び概要)

子どもから高齢者に至るまでの技能及び技術の能力開発を促進し、技能及び技術を身につけたい方々への支援、青少年を対象とした創造性豊かな人材育成など、ものづくりをキーワードとした事業を展開する。

(事業の成果)

令和 6 年度碧南市ものづくりセンター事業計画に基づき、自主事業として 19 事業 42 教室等を実施した。参加延べ人数は、1,425 人であった。主な自主事業の概要及び参加人数は次のとおり。

実施日	事業名	概 要	参加人数 (延数)
12 月 1 日	女性工作教室	女性を対象とした「ものづくり」を体験する教室。室内に飾るものを製作。	14 人
5 月～翌年 3 月 (全 10 回)	親子工作教室	身近な材料を利用して親子で作成。小学 1・2 年生とその保護者を対象とした工作教室。	77 組 154 人

7 月 28 日、 3 月 20 日	子ども木工教室	木材を使い、自分で作るにより作る楽しみを体感する。小学 1・2 年生を対象とした教室。	18 人
6 月 2 日、 12 月 15 日	女性のための木工教室	木工作品を通じて電動工具の使い方を学ぶ女性を対象とした教室。	22 人
8 月 6 日、 8 月 8 日、 8 月 9 日、 8 月 22 日	おもしろものづくり教室 (碧南工科高等学校共催)	碧南工科高等学校各科教師及び生徒が講師となり、世代間交流を図りながら行う小学 3～6 年生対象とした教室。	76 人
8 月 4 日	親子木工教室	子どもだけでは工作が困難なテーマに親子で取り組む木工・板金工作教室。	58 人
9 月 21 日、 9 月 22 日	碧南市創意くふう展 2024 (碧南市少年少女発明クラブ共催)	市内小中学校から選ばれた夏休みアイデア工作作品の展示会を開催。出展された 52 点のうち、特に優秀と認められた 23 作品に特別賞を贈る表彰式を開催。	373 人
3 月 16 日	バルーンアート教室	イベントや季節にあったバルーンアート作品を制作する教室。	10 人
2 月 24 日	プログラミング教室 (碧南商工会議所共催)	小学 5・6 年生を対象にプログラミングへの興味や関心を追求する場を提供する体験教室。	16 人
2 月 23 日	鉄道模型展 (衣浦鉄道倶楽部協力)	鉄道模型を展示するとともにペーパークラフトを作成するなど子どもから大人まで楽しめる展示会。	350 人



親子木工教室



女性木工教室



バルーンアート教室

(3) 少年少女発明クラブ運営事業

1,850,000 円

碧南市少年少女発明クラブ運営事業補助金

(事業の目的及び概要)

目 的：ものづくりを通じて、少年少女に“作る楽しさ”、“工夫する楽しさ”を知ってもらい、創造性豊かな人を育成する。

対 象：小学 3～6 年生、中学生及び高校生

クラブ員：224 人 (小学生 219 人・中学生 5 人)

(事業の成果)

次の活動を行い、多くの子ども達の創造性を高めることができた。

ア 定例活動（出席率 89.4%。令和 5 年度は 86.4%）

各学年月 1 回、年 10 回の定例活動を実施した。

イ プログラミング教室

小学 5・6 年生を対象に 4 回コースの講座を実施し、プログラミングしたロボットカーを自動で運転させることができた。参加者は 13 人（5 年生 7 人・6 年生 6 人）

ウ 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

走行とからくりパフォーマンスを競う全国大会に出品し、2 作品が以下のとおり受賞した。



「海の世界へレッツゴー」
【JKA 会長賞】6 位相当



「緊急出動！にゃんころ警察」
【グッドチャレンジ賞】10 位相当

エ あいち少年少女創意くふう展 2024

市内小中学校から選抜された優れたアイデア工作作品を出品し、その内 2 作品が以下のとおり受賞した。



「高循環型農園 My Eco Farm」
【愛・地球博メモリアル賞】（15 位相当）
全日本学生児童発明くふう展【入選】



「2way 石鹸ケース」
【中日新聞社賞】（10 位相当）

(4) 職業訓練対策事業

419,531 円

ア 優秀修了生賞状及び記念品代

7,531 円

イ 愛知建連技能専門校建設工技能養成事業補助金

202,000 円

ウ 愛知県瓦協会屋根瓦工技能養成事業補助金

110,000 円

エ 愛知建連技能専門校訓練生作品製作委託料

100,000 円

(事業の目的及び概要)

愛知県建設職業訓練協議会及び愛知県瓦協会に補助することにより、大工、造園、屋根施工に関する若年技能者の養成を行うことを目的とする。

(ア) 愛知建連技能専門校（愛知県建設職業訓練協議会）の概要

西三河及び知多地域 17 市町の建設技能者（大工、造園）の技能向上のための訓練を行っている。

令和 6 年度訓練生数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

訓練科目	1 年生	2 年生	3 年生	合計
木造建築科	6 人	5 人	4 人	15 人
造 園 科	0 人	1 人	3 人	4 人
建築板金科	1 人	0 人		1 人
合 計	7 人	6 人	7 人	20 人

(イ) 愛知県瓦高等職業訓練校（愛知県瓦協会）の概要

伝統的な屋根葺きの技術を若い世代、他地方の屋根技工士志望者に伝えていくために、高浜市に開設された東海地方唯一の昼間制瓦高等職業訓練校。

令和 6 年度普通課程（1 年間）訓練修了生数

屋根施工科 ルーフワークコース 3 人

（事業の成果）

多くの若年技能者の養成を職業訓練校で行い、建設業の人材育成に寄与することができた。

1 目 農業委員会費	農業水産課	S D G s	
予算現額	34,890,000 円	決算額の	県支出金 2,457,450 円
決算額	30,257,093 円	財源内訳	その他特財 230,416 円
(前年度決算額	33,682,142 円)		一般財源 27,569,227 円

説 明

1 農業委員会事務管理事業 予算現額 26,445,000 円 (26,588,000 円) 0.5%減
決 算 額 21,959,751 円 (25,374,841 円) 13.5%減

(1) 一般職人件費 (3 人)

2 農業委員会運営事業 予算現額 8,290,000 円 (8,688,000 円) 4.6%減
決 算 額 8,169,940 円 (8,170,382 円) 0.0%減

(事業の目的及び概要)

農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農業者の地位向上に寄与する。

(事業の成果)

農地法に基づき農地を適正に管理し、また、担い手への集積及び耕作放棄地の発生防止を図るなど、農地の利用最適化を推進した。

(1) 農業委員報酬等 6,938,000 円

ア 農業委員報酬 11 人 3,228,000 円

イ 農地利用最適化推進委員報酬 9 人 2,538,000 円

ウ 地区協力員報償 43 人 1,172,000 円

《事務処理件数》

① 農地法関係 177 件

(ア) 3 条 使用収益権の設定、所有権の移転 15 件

(イ) 4 条 農地転用の許可・届出 18 件

(ウ) 5 条 農地転用の許可・届出 (権利移動を伴うもの) 97 件

(エ) 18 条 賃貸借権の解約通知 47 件

② 相続税納税猶予証明 2 件

③ 農業経営基盤強化促進法関係 485 件

④ 農業振興地域の整備に関する法律関係 1 件

⑤ 生産緑地関係 23 件

⑥ 農地改良届 0 件

⑦ その他 (証明に係る審議、諮問、協議依頼等) 9 件

合計 697 件

《利用集積状況》 (担い手及びその農地利用の実態に関する調査)

項目	農地面積	利用集積面積	集積率
令和 5 年度	895ha	628ha	70.2%
令和 6 年度	886ha	634ha	71.5%
増減	△ 9ha	6ha	1.3%

(2) 委託料 495,000 円

農地台帳帳票支援システム保守委託

一般会計	歳出	6 款 1 項	農林水産業費 農業費
(3) 負担金			269,000 円
愛知県農業会議賛助会費			

3 農業者年金事業

予算現額 155,000 円 (175,000 円) 11.4%減

決算額 127,402 円 (136,919 円) 7.0%減

(事業の目的及び概要)

農業者年金基金との業務委託契約に基づき、被保険者である農業者に対し、老後の生活安定と農業後継者への経営委譲を促進し、農業経営の近代化に寄与するために要する経費である。

(事業の成果)

加入促進のための広報や裁定請求手続き、現況届等の委託された事務事業を適正に実施した。

令和6年度 新規加入者 2人

令和7年3月末現在 被保険者 13人、受給者 53人

2 目 農業総務費	農業水産課	S D G s				
予算現額	74,812,000 円	決算額の	その他特財 12,557 円			
決算額	70,965,299 円	財源内訳	一般財源 70,952,742 円			
(前年度決算額	64,534,241 円)					

説 明

1 農業総務事務管理事業 予算現額 74,634,000 円 (64,499,000 円) 9.5%増
 決算額 67,667,371 円 (61,502,680 円) 10.0%増
 (1) 一般職人件費 (7 人) 67,560,889 円

2 農業者施設維持管理事業 予算現額 3,433,000 円 (3,155,000 円) 8.8%増
 決算額 2,591,564 円 (2,334,900 円) 11.0%増

(事業の目的及び概要)

農業構造改善事業等によって建設した集会所施設 (前浜集落センター、川口農業センター) 及び川口地区ゲートボール場の維持管理に要する経費である。

(事業の成果)

各施設の適正な維持管理が図られた。

- (1) 川口農業センター指定管理料 507,870 円
- (2) 前浜集落センター指定管理料 704,943 円
- (3) 修繕料 1,314,500 円

3 農業施設整備融資事業 予算現額 36,000 円 (36,000 円) 増減無
 決算額 0 円 (0 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

融資機関より長期の制度資金の融資を受けた農業者等に対し、利子補給を行うことにより農業経営の近代化を推進するために要する経費である。

(事業の成果)

対象者なし

4 食育推進計画推進事業 予算現額 709,000 円 (698,000 円) 1.6%増
 決算額 706,364 円 (696,661 円) 1.4%増

(事業の目的及び概要)

令和3年度に策定した「第4次碧南市食育推進計画」(計画期間: 令和4年度～令和8年度)に基づき、食育に関する事業を推進するために要する経費である。

(事業の成果)

ふれあい体験農園での田植え、稲刈り体験等の取組を通じて、食育の推進、啓蒙が図られた。

- (1) 食育推進会議
1 回開催
- (2) 食育アンケート 230,000 円
郵便料

(3) 体験農園管理委託 464,717 円

ふれあい体験農園（平和町、北浦町）

（令和 6 年度実績）

体験農園	北浦町ふれあい体験農園	平和町ふれあい体験農園
対象	鷺塚小学校 5 年生 112 人	棚尾小学校 5 年生
田植え	令和 6 年 5 月 24 日	雨天中止
稲刈り	令和 6 年 10 月 2 日	雨天中止
品種	あいちのかおり	あいちのかおり
収穫量	424.5kg	581.0kg
備考	収穫された米は、調理実習等で活用	収穫された米は、調理実習等で活用

【鷺塚小学校の田植えと稲刈りの様子】



【棚尾小学校に米を搬入する様子】



3 目 農業振興費	農業水産課	S D G s	2 気候変動に 適応する	8 働きがいも 経済成長も	12 つくる責任 つかう責任	17 パートナリプで 目標を達成しよう
予算現額	20,064,000 円					
決算額	18,141,435 円	決算額の 財源内訳	県支出金	2,828,000 円		
(前年度決算額	20,229,670 円)		その他特財	356,615 円		
			一般財源	14,956,820 円		

説 明

- 1 地域農政総合推進事業 予算現額 2,286,000 円 (2,526,000 円) 9.5%減
決 算 額 1,933,796 円 (1,980,845 円) 2.4%減

(事業の目的及び概要)

農業経営基盤強化促進法に基づき、効率的かつ安定的な農業経営を育成するとともに、これらの農業経営が碧南市の農業生産の相当部分を担うような農業構造を確立するために要する経費である。

(事業の成果)

認定農業者に利用権を集積することにより経営規模の拡大を促進するとともに、機械設備等経営基盤の整備を支援し経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営者の育成が図られた。

- (1) 農地流動化地域総合推進等事業 156,796 円

ア 土地移動あっせん委員の報酬 130,000 円

- (2) 農業経営体活性化事業 1,777,000 円

ア 地域担い手育成総合支援協議会 10 回開催

イ 農業経営改善計画等認定者 (令和6年度末) 161 経営体

ウ 農業経営改善支援事業補助金 1,661,000 円

認定農業者等が農業経営改善計画に掲げる目標を達成するための経営改善に係る費用 (機械設備の更新、防犯対策、六次産業化推進) の一部を助成 21 件分

- 2 水田農業対策事業 予算現額 2,139,000 円 (3,788,000 円) 43.5%減
決 算 額 2,038,052 円 (3,656,000 円) 44.3%減

(事業の目的及び概要)

米穀の需給調整及び経営所得安定対策等の推進並びに関係団体に関する助言、指導に係る事業に対する経費である。

(事業の成果)

地域における需要に応じた米の生産及び水田を活用した作物生産の推進が図られるとともに、水田農業経営の効率化の推進を図ることができた。

- (1) 水田農業対策事業 2,038,052 円

ア 農業団体推進費補助金 500,000 円

J A あいち中央が実施する米の生産調整の推進に係る事業に対する補助 (定額)

イ 地域農業再生協議会運営費補助金 128,052 円

地域農業再生協議会が実施する米の生産調整を円滑に推進するための協議会運営等に係る補助 (定額)

(ア) 地域農業再生協議会 3 回開催

(イ) 米の生産数量目標の目安及び生産調整面積 (令和6年産)

一般会計		歳出	6 款 1 項	農林水産業費 農業費
	生産数量目標の目安（面積換算値）	A	3 0 9 . 0 ha	
	主食用水稻作付面積	B	2 8 8 . 2 ha	
	水稻作付率（B／A）		9 3 . 3 %	
	小麦大豆等作付面積		9 4 . 6 ha	
ウ	水田農業経営所得安定対策推進費補助金			571,000 円
	地域農業再生協議会が実施する水田農業経営所得安定対策等の事業推進に要する経費			
エ	代かき濁水流出対策等推進事業補助金			839,000 円
	(ア) 水稻直播栽培推進事業補助金			839,000 円
	代かきによらない鎮圧方式による整地を行い、乾田直播により水稻栽培を行うことに対して助成（1 0 a あたり 3, 0 0 0 円）	2 件分	面積 2 8 . 0	ヘクタール

3 有害鳥獣駆除事業

予算現額 1,349,000 円（1,349,000 円）増減無
決 算 額 1,348,500 円（1,346,780 円）0.1%増

（事業の目的及び概要）

令和 3 年度に策定した碧南市鳥獣被害防止計画（計画期間：令和 4 年度～令和 6 年度）に基づき、鳥獣による農作物等の被害を防止するために要する経費である。

（事業の成果）

衣浦猟友会の協力による有害鳥獣の駆除により、農作物の被害軽減が図られた。

(1) 鳥獣捕獲等事業委託 1,341,500 円

ア 銃による捕獲（年 7 回） 捕獲実績：1, 2 3 4 羽（回収不能分を含む。）

（カラス 7 5 6 羽、ドバト 8 4 羽、キジバト 2 8 8 羽、ムクドリ 1 0 6 羽）

イ 捕獲箱による捕獲（通年） 捕獲実績：1 7 8 羽（カラス）

4 園芸産地活性化推進事業

予算現額 2,900,000 円（2,500,000 円）16.0%増
決 算 額 1,907,000 円（1,683,000 円）13.3%増

（事業の目的及び概要）

碧南市の農業における園芸産地の活性化及び環境保全型農業の推進に要する経費である。

（事業の成果）

園芸産地の活性化及び環境保全型農業の推進が図られた。

(1) 園芸産地活性化推進事業 1,260,000 円

ア 園芸産地活性化推進事業費補助金 200,000 円

J A あいち中央の生産者部会等が行う新技術及び新品種の導入等園芸産地の活性化を図るための事業に要する経費の一部を助成（2 分の 1 上限 2 0 万円） 1 団体

イ 農作物病虫害等防除対策事業費補助金 1,060,000 円

水稻の斑点病及び食害を軽減するために原因となるミナミアオカメムシ及びスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の薬剤防除に対する助成（1 0 分の 3）

(2) 環境保全型農業推進事業 647,000 円

ア 農業用使用済プラスチック等回収促進対策事業費補助金 362,000 円

農業用使用済プラスチック等の不法投棄、野焼き防止のための自主回収事業に対する助成（4 分の 1）

イ 減農薬資材導入促進事業費補助金 285,000 円

大豆を始め、野菜や花、果樹等に広く被害を与える害虫である「ハスモンヨトウ」の減農薬資材（フェロモントラップ）を活用した共同防除に対する助成（2分の1、上限20万円） 2団体

5 農業団体補助事業

予算現額 850,000 円（850,000 円）増減無
決 算 額 600,000 円（640,000 円）6.3%減

（事業の目的及び概要）

経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営者の育成を図るとともに、地域農業振興に寄与するための農業団体への助成に要する経費である。

（事業の成果）

各農業団体の活動を支援することで、団体の育成と地域農業の振興が図られた。

(1) J Aあいち中央碧南地区農業まつり総合共進会補助金（定額） 300,000 円

碧南地区農業まつり開催（令和7年1月19日） 出品数171点

(2) 農水産業後継者育成事業費補助金（定額） 110,000 円

若手後継者団体（J Aあいち中央青年部）が行う先進地視察研修に係る費用に対し、参加者1人あたり1万円を助成 11名参加

(3) J Aあいち中央碧南地区青年部育成補助金（定額） 70,000 円

(4) 碧南市青年農業士会事業費補助金（定額） 40,000 円

(5) 碧南市農業経営士会事業費補助金（定額） 40,000 円

(6) 農村生活アドバイザー碧南地区事業費補助金（定額） 40,000 円

6 農業者育成振興事業

予算現額 404,000 円（404,000 円）増減無
決 算 額 228,137 円（199,338 円）14.4%増

（事業の目的及び概要）

農業経営、技術等において、他の模範となる優れた個人及び団体への表彰と、新たに就農した農業青年の督励事業等を通じて、地域農業の振興を図るために要する経費である。

（事業の成果）

地域農業の発展に貢献した者等の顕彰、農業後継者等の育成により、地域農業の振興が図られた。

(1) 農業振興顕彰者・新規就農者激励会事業委託 228,137 円

ア 令和6年度実績

農業功労賞2人 農業奨励賞2人、1団体 新規就農者4人

7 新規就農総合支援事業

予算現額 2,250,000 円（1,500,000 円）50.0%増
決 算 額 2,250,000 円（1,500,000 円）50.0%増

（事業の目的及び概要）

国が実施する農業人材力強化総合支援事業実施要綱の要件を満たした新規就農者に、最長5年間資金を交付するための経費である。

（事業の成果）

農業経営開始直後の新規就農者の経営基盤の安定と就農後の定着促進が図られた。

(1) 農業次世代人材投資資金（経営開始型）※従来制度の継続分 750,000 円

交付対象者1人

一般会計	歳出	6 款 1 項	農林水産業費 農業費
(2) 経営開始資金 交付対象者 1 人			1,500,000 円
8 地産地消推進事業	予算現額 767,000 円 (717,000 円) 7.0%増 決 算 額 716,950 円 (716,950 円) 増減無		
(事業の目的及び概要)			
農水産物の地産地消の推進及び 6 次産業化の推進を図るために要する経費である。			
(事業の成果)			
碧南市地産地消推進協議会ははじめ関係団体等の取組を通じ、地産地消の推進が図られた。また、6 次産業化人材育成研修を実施し、6 次産業化に取り組む農業者の育成が図られた。			
(1) 6 次産業化人材育成研修			499,950 円
ポストコロナの時代での新たな経営手法の一つとして 6 次産業化に取り組み、新たな販路の拡大を目指す農業者の育成を図るため、先進事例等を学ぶ座学研修及びマルシェに実際に出店する実践型研修「へきなん農業マルシェ」を開催した。			
計 4 回開催（うち 1 回は県事業を活用）			
(2) 地産地消推進協議会事業費補助金			200,000 円
碧南市地産地消推進協議会が行う地産地消推進事業に対する補助金			
ア 地元農畜産物（たまねぎ・にんじん）の学校給食への無償提供			
(ア) 愛知の新たなたまねぎの日記念事業			
「へきなんサラダたまねぎ」を使った給食メニューを提供した。（令和 6 年 4 月 10 日）			
(イ) 良いきゅうりの日記念事業			
「三河みどり」を使った給食メニューを提供した。（令和 6 年 4 月 19 日）			
(ウ) 碧南人参の日記念事業			
へきなん美人を使った給食メニューを提供した。（令和 7 年 1 月 23 日）			
イ 児童・生徒等の食育推進に関する事業			
(ア) 幼稚園児及び保育園児対象			
野菜のもぎとり体験及びエプロンシアターを開催するとともに、おやつ用としてさつま芋の購入助成を行った。また、地元産のカーネーションなどを使った花育講座を開催した。			
(イ) 小学生対象			
「へきなん美人」を楽しく学ぶニンジン講習会、碧南の食材を使用した朝食メニューのクッキングコンテストを実施した。			
ウ 地域食品の商品開発及び啓発資料に関する事業			
自主制作した子ども向け食育紙芝居「へきなんのたからもの」にて、イベントや子ども食堂等で読み聞かせを行った。			
9 農産物ブランド化推進事業	予算現額 1,223,000 円 (1,623,000 円) 24.6%減 決 算 額 1,223,000 円 (1,623,000 円) 24.6%減		
(事業の目的及び概要)			
他産地との差別化に積極的に取り組む生産者団体の P R 活動を支援すること等により、地元農産物のブランド化を推進し、農業の振興及び地域の活性化を図るために要する経費			

である。

(事業の成果)

地元農家の代表、J Aあいち中央、愛知県、碧南市で組織する碧南市農業振興協議会が行う農産物ブランド化推進事業により、ブランド化の推進が図られた。

(1) 農産物ブランド化推進事業費負担金

1,223,000 円

碧南市農業振興協議会が実施する農産物ブランド化推進事業に対する負担金

ア おうちに花を飾りましょうプロジェクト

地元産の花の地産地消を推進するとともに新たな需要の創出を図るため、プロジェクトに参画する生産者と生花店が連携してPRイベント等を開催した。

(ア) クルクマの展示販売会 (令和6年7月20日)

(イ) 大浜てらまちウォーキングにおける花手水の展示 (令和6年10月19日)

(ウ) フラワーバレンタイン (令和7年2月13日)

【クルクマの展示販売会】

【花手水の展示】



【フラワーバレンタイン】



イ トップセールスPR

市場やメディア等に影響力のある組織や機関等に対し、市長自ら特産農産物のPRを行い、ブランド化の推進を図った。

10 農業振興地域整備計画定期変更事業

予算現額 5,896,000 円 (5,027,000 円) 17.3%増

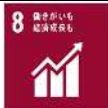
決算額 5,896,000 円 (4,554,000 円) 29.5%増

(事業の目的及び概要)

概ね5年ごとに社会情勢の変動、その他情勢の推移を反映し、農業振興地域整備計画を変更するための経費である。

(事業の成果)

農用地区域の現状を把握し、農業振興地域整備計画の基礎となるデータの収集・分析結果をもとに農業振興地域整備計画を変更した。

4 目 畜産業費	農業水産課	S D G s				
予算現額	1,363,000 円	決算額の	一般財源			
決算額	700,000 円	財源内訳				
(前年度決算額	1,344,200 円)					
			700,000 円			

説明

1 家畜伝染病予防対策事業

予算現額 1,363,000 円 (1,363,000 円) 増減無

決 算 額 700,000 円 (700,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

畜産（養豚）経営の安定化を図るため、各畜産農家と協力しながら防疫を実施するために要する経費である。

(事業の成果)

各畜産農家と協力し、衛生的な畜産環境の保持を図ることにより家畜伝染病等の防疫に努めた。また、CSF（豚熱）への対応として豚熱ワクチンの接種を推進し、市内畜産農家への感染防止を図った。

(1) 家畜伝染病予防対策事業

0 円

近隣自治体での家畜伝染病の発生がなく、在庫状況を勘案し、畜産農家への消毒剤の配布を見送った。

(2) 碧海豚防疫対策協議会負担金

700,000 円

碧南市及び安城市並びに管内の養豚農家で設立された碧海豚防疫対策協議会が行う事業に対する負担金

区分	補助率等	補助の実績
豚熱対策消毒剤配布	50,000 円／件	養豚農家 5 軒
豚熱ワクチン接種補助	接種費用の 10 分の 1	接種頭数 23,059 頭

5 目 農業活性化センター あおいパーク費	農業水産課	S D G s			
予算現額	240,822,000 円	決算額の	その他特財	23,248,884 円	
決算額	150,159,084 円	財源内訳	一般財源	126,910,200 円	
(前年度決算額	152,101,927 円)				

説 明

1 あおいパーク事務管理事業 予算現額 26,945,000 円 (18,267,000 円) 47.5%増
決 算 額 24,549,056 円 (17,306,856 円) 41.8%増

(1) 一般職人件費 (3 人) 23,534,918 円

(2) あおいパーク事務管理事業 1,014,138 円

ア 報償費 555,000 円

(ア) 農業活性化センター事業推進会議

あおいパークの運営に関する基本的事項を審議 委員数: 27 名

(イ) 観賞温室展示アドバイザー

観賞温室の展示内容に関する助言及び作業

イ 消耗品費 302,638 円

ウ 食糧費 4,800 円

エ 役務費 (簡易水道検査手数料、広告掲載料) 150,700 円

オ 負担金 (産直運営協力登録料) 1,000 円

カ 参考

(ア) あおいパーク利用状況

開園日数 309 日 (産直市のみ 310 日)

区分		利用者数等	備考
来 園 者		950,794 人	
浴 室		26,179 人	浴室天井等修繕が必要のため 10 月 3 日より浴室臨時休業
内 訳	一 般	25,856 人	
	シルバー優待券	19,384 人	
	障害者優待利用券	544 人	介護者を含む
	小 学 生	323 人	
小 型 遊 具		955 人	
体 験 農 園		22,827 人	
市 民 農 園		70 区画	

(イ) あおいパーク施設利用状況

使用可能日数 309 日、各室の使用可能コマ数 926 回 (午前・午後・夜間の計)

施設名	日数による利用率	コマ数による利用率
研修室	66.0% (204 日)	50.3% (466 回)
調理加工室	58.3% (180 日)	47.3% (438 回)
和室	54.4% (168 日)	37.7% (349 回)

2 あおいパーク自主事業

予算現額 6,169,000 円 (6,695,000 円) 7.9%減

決 算 額 5,292,830 円 (6,324,701 円) 16.3%減

(事業の目的及び概要)

施設の特性を活かした教室、講座及び、各種イベントの開催を通じ、碧南市の農業の活性化を図る。

(事業の成果)

各種事業の開催やもぎとり体験農園の運営を通じ、食と健康について楽しく学び、知る機会を提供するとともに、地産地消の推進、及び地域農業のPRを図ることができた。

(1) 教室・講座開催及び施設PR事業等

1,084,731 円

ア 報償費

852,500 円

イ 消耗品費

184,831 円

ウ 負担金

47,400 円

施設間連携事業（もぎとり券発行事業）負担金

エ 参考

教室・講座開催状況

教室・講座名	開催回数	延べ受講者数	内 容
手作りパン教室	10 回	123 人	コーンパンやチョコリングなどのパン作り
料理教室	9 回	106 人	地産地消：新鮮野菜を使った料理
お菓子教室	11 回	174 人	四季折々の洋菓子・和菓子作り
フラワーアレンジメント教室	12 回	117 人	生花・造花を使ったアレンジ、装飾品作り
ガーデニング教室	10 回	157 人	ハンギングバスケット、コンテナ他
園芸講座	18 回	187 人	野菜・花・家庭果樹・バラコース
手作り味噌教室	1 回	24 人	地元産大豆を使った味噌作り
手作りソーセージ教室	1 回	13 人	三河産の豚肉とハーブを使ったソーセージ作り
計	72 回	901 人	

(2) イベント開催等

4,208,099 円

ア 委託料（イベント実施、駐車場警備等）

4,208,099 円

イ 参考

イベント開催状況

イベント名	開催日	来園者数	内 容
春のフェスティバル	4 月 27 日～29 日 5 月 3 日～6 日 (7 日間)	40,977 人	開園日記念大抽選会、クラウン グリーティング、どろんこ田植 え体験、ふれあい動物園、野菜 チャレンジゲーム、玉葱無料配 布、試食等
(バラまつり)	5 月 11・12 日	8,408 人	バラモチーフの雑貨の展示即売
夏のイベント	7 月 20 日～8 月 11 日の土日曜日 (8 日間)	30,714 人	絵日記作り、オリジナル風船作 り、スイカたたき、アイシンテ イルマーレコラボコーナー、粘 土で野菜を作ろう等

収穫祭	10 月 26 ・ 27 日	9,252 人	ふれあい動物園、かかし展示、菊花展、ハロウィンかぼちゃ作り、新米すくい等
クリスマスイベント	12 月 7 日～22 日の土日曜日（6 日間）	23,083 人	碧南高校 K プロジェクト、ツリー飾りを作ろう、親子 de ミニツリー、サンタキャラ弁を作ろう等
新春イベント	1 月 4 ・ 5 日	13,789 人	新春抽選会、紅白野菜プレゼント、植物スタンプアート作り、へきなん特産品 de 親子クッキング、野菜プレゼント等
	1 月 19 日		J A 農業まつりタイアップ
フラワーフェスタ	3 月 1 ・ 2 日	9,875 人	ハーブの鉢植えプレゼント、描こう植えよう春の花、へきなん美人を使ったゼリー&ジュース教室等
計		136,098 人	

3 あおいパーク施設維持管理事業 予算現額 111,819,000 円（113,962,000 円）1.9%減
決 算 額 107,060,060 円（108,880,770 円）1.7%減

（事業の目的及び概要）

あおいパーク（もぎとり体験農園・市民農園を含む）内の全ての施設、農地及び設備等の施設維持管理に要した経費である。

（事業の成果）

施設の適正な運営に努め、来園者の安全確保及び満足度の向上、地元農業の活性化を図った。

(1) 消耗品費（本館棟、浴室、観賞温室、体験農園等）	3,976,646 円
(2) 燃料費（重油、灯油、L P ガス）	6,033,157 円
(3) 光熱水費	18,639,880 円
ア 電気料	12,463,378 円
イ 上下水道料	6,176,502 円
(4) 修繕料（体験農園入口カーテンゲート修繕はじめ 3 8 件）	6,103,579 円
(5) 役務費（入場者傷害保険料）	1,072,212 円
(6) 委託料（施設管理委託）	70,075,347 円
ア 清掃及び施設管理業務委託	29,920,000 円
イ 体験農園・観賞温室管理業務委託	29,509,810 円
ウ 浴室用濾過機保守及び配管洗浄業務委託	1,056,000 円
エ 屋外植栽管理業務委託	1,223,640 円
オ おはなしひろば管理業務委託	1,178,320 円
カ 空調設備保守点検業務委託	1,958,000 円
キ その他委託	5,229,577 円
(7) 使用料及び賃借料（レンタルマット、有線放送等）	604,474 円

一般会計	歳出	6 款 1 項	農林水産業費 農業費
(8) 原材料費（温室、園内花壇用資材等）			82,641 円
(9) 備品購入費（芝刈機、セット動噴）			393,360 円
(10) 公課費（排水土木費、水利費）			78,764 円

4 あおいパーク費臨時事業	予算現額	95,889,000 円（6,864,000 円）	1,297.0%増
	決算額	13,257,138 円（6,863,300 円）	93.2%増

（事業の目的及び概要）

あおいパークの施設維持管理に要する臨時的経費である。

（事業の成果）

経年劣化の為不具合の出ていた本館非常照明の更新工事や受変電設備の修繕を行うなど、適切な施設の維持管理に努めた。

また、レストランの客席用座席や故障した備品の更新をすることにより来園者の利便性の向上を図った。

(1) 修繕料	2,239,538 円
ア 男女浴室点検に伴う解体箇所補修	214,610 円
イ レストラン客用座敷及び壁破損部修繕	807,950 円
ウ 受変電設備高圧気中開閉器取替修繕	762,300 円
エ 体験農園温室立樋修繕はじめ6件	454,678 円
(2) 委託料（浴室改修事業設計業務委託）	5,170,000 円
(3) 工事請負費	4,422,000 円
ア 非常照明更新工事	4,422,000 円
（令和7年度へ繰越 浴室改修工事	80,000,000 円）
(4) 備品購入費（レストラン食器洗浄機及びガスブースター）	1,425,600 円

6 目 農業者コミュニティセンター費	農業水産課	S D G s		
予算現額	9,279,000 円	決算額の	その他特財	2,157,210 円
決算額	7,886,512 円	財源内訳	一般財源	5,729,302 円
(前年度決算額	14,507,772 円)			

説明

1 農業者コミュニティセンター事務管理事業

予算現額 136,000 円 (139,000 円) 2.2%減

決算額 87,218 円 (115,990 円) 24.8%減

(1) 消耗品費 (コピー料、再生紙等)

87,218 円

令和6年度 農業者コミュニティセンター利用状況

区 分	体育室	テニス コート	プレイ ロット	会議室	和 室	合 計
利用回数	2,312 回	2,299 回	431 回	588 回	630 回	6,260 回
利用可能 回数	4,192 回	7,075 回	3,652 回	1,820 回	1,832 回	18,571 回
利用率	55.14%	32.49%	11.80%	32.30%	34.39%	33.71%
利用人数	21,120 人	8,501 人	2,889 人	7,585 人	7,464 人	47,559 人
利用割合	44.41%	17.88%	6.07%	15.95%	15.69%	100.00%

2 農業者コミュニティセンター施設維持管理事業

予算現額 8,095,000 円 (7,231,000 円) 11.9%増

決算額 6,779,594 円 (6,244,170 円) 8.6%増

(事業の目的及び概要)

農業者コミュニティセンター施設の維持管理に要する経費である。

(事業の成果)

施設の適正な運営に努め、施設利用者の安全確保及び満足度の向上を図った。

- (1) 消耗品費 (バドミントンネット、塩化カルシウム、卓球フェンス等) 181,425 円
- (2) 光熱水費 (電気料、水道料) 1,419,268 円
- (3) 修繕料 (屋外水栓修繕、トイレ修繕、会議室床修繕等) 207,685 円
- (4) 役務費 (施設所有者賠償責任保険、浄化槽法定検査手数料) 39,140 円
- (5) 委託料 (夜間パート業務、清掃業務、樹木管理等 9 件) 3,584,620 円
- (6) 使用料及び賃借料 (マット・モップレンタル、LED照明) 1,347,456 円

3 農業者コミュニティセンター費臨時事業

予算現額 1,048,000 円 (9,497,000 円) 89.0%減

決算額 1,019,700 円 (8,147,612 円) 87.5%減

(事業の目的及び概要)

建物及び機器設備等の老朽化に伴い、随所で利用に際して安全性の低下や不具合が発生していたため、修繕等の対策を講じた。

(事業の成果)

施設の安全性かつ利便性が向上し、利用者が快適に利用できる環境整備が進んだ。

(1) 修繕料（屋外ベンチ取替修繕、浄化槽放流ポンプ取替修繕） 1,019,700 円

【屋外ベンチ（取替後）】



【浄化槽放流ポンプ】



1 目 水産業振興費	農業水産課	S D G s	
予算現額	5,140,000 円	決算額の	
決算額	4,719,127 円	財源内訳	一般財源 4,719,127 円
(前年度決算額	3,164,120 円)		

説明

1 水産業事務管理事業 予算現額 185,000 円 (220,000 円) 15.9%減
決算額 169,285 円 (210,320 円) 19.5%減

2 漁場清掃事業 予算現額 100,000 円 (100,000 円) 増減無
決算額 100,000 円 (100,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

内水面漁場周辺に集積した廃棄物等の回収、処分と漁場の環境保全に努めるために要する経費である。船により廃棄物回収を行う等水面清掃の特殊性のため、一般的な清掃業者ではできないことから油ヶ渚漁業協同組合に委託して行う。

(事業の成果)

油ヶ渚漁業協同組合関係者 25 人が参加し、250kg の廃棄物を回収した。

3 営漁事業推進補助事業 予算現額 1,800,000 円 (1,800,000 円) 増減無
決算額 1,800,000 円 (1,800,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

漁業振興に資するため、漁業の近代化、漁業後継者の育成指導及び情報収集活動並びに事務の合理化等を推進するための経費への補助である。

(事業の成果)

大濱漁業協同組合の購買石油部の野外タンクの塗装補修工事を行い、安全に油を貯蔵・供給できるようになった。組合保有の大漁丸の給油用ギャポンプの修繕工事を行い、船への給油が安全にできるようになった。

また、冷凍庫のパレットを買い替えることにより、食品の汚破損の心配がなくなり、安心安全な市場経営が図られた。

4 漁業近代化資金利子補給事業 予算現額 655,000 円 (700,000 円) 6.4%減
決算額 429,890 円 (633,800 円) 32.2%減

(事業の目的及び概要)

漁業者等の資本装備の高度化及び経営の近代化を図り、漁業振興に要する経費への補助である。

(事業の成果)

令和 3 年度及び 4 年度に承認した 2 件の機関換装事業、令和 4 年度に承認した 1 件の製氷棟事業の計 3 件に対し、利子補給金を補助した。

利子補給率 借入日より 2 年間 年 2.0%以内
利子補給件数 3 件 (エンジン及び製氷棟)

一般会計	歳出	6 款	農林水産業費
		2 項	水産業費
5 漁業協同組合女性部補助事業	予算現額	50,000 円 (50,000 円)	増減無
	決 算 額	50,000 円 (50,000 円)	増減無
(事業の目的及び概要)			
大濱漁業協同組合女性部が行う地域実践活動を推進するための調査及び研修会等、各種事業の展開に要する経費への補助である。			
(事業の成果)			
大濱漁業協同組合の各種事業及び清掃活動等、女性部の実践活動を実施し、水産業の振興が図られた。			
6 漁業後継者育成補助事業	予算現額	250,000 円 (70,000 円)	257.1%増
	決 算 額	70,000 円 (70,000 円)	増減無
(事業の目的及び概要)			
大濱漁業協同組合青年部が行う漁業後継者の育成及び本市漁業の活性化を図るための各種事業展開に要する経費への補助である。			
(事業の成果)			
大濱漁業協同組合の各種事業及び清掃活動等、青年部の実践活動を実施し、漁業後継者の育成及び水産業の振興が図られた。なお、当初予定した漁業後継者研修事業は、日程調整及び視察研修先の選定が難航し、中止となった。			
7 碧南市漁業まつり補助事業	予算現額	300,000 円 (300,000 円)	増減無
	決 算 額	300,000 円 (300,000 円)	増減無
(事業の目的及び概要)			
市民・消費者に対し、水産資源を守り育て自然環境と共存する漁業への理解を深めるための活動を展開することにより、愛知の豊かな海づくりに寄与することを目的とする事業の展開に要する経費への補助である。			
(事業の成果)			
大浜てらまちウォーキングと同日開催することにより、より多くの集客を図ることができ、カニ汁 2,500 食を振る舞い、広く市民に水産業への理解を得ることができた。			
8 漁港施設整備負担事業	予算現額	1,800,000 円 (新規)	
	決 算 額	1,799,952 円	
(事業の目的及び概要)			
愛知県が大浜漁港製氷棟前に整備する浮棧橋の事業費の一部を負担するものである。			
漁業者が、より安全で使いやすい港に改善するための整備を推進し、漁業・漁村の持続的な発展をもって水産物の安定供給を図ることを目的とする。			
(事業の成果)			
令和 6 年度は工事に着手し、浮棧橋の杭設置を行った。			

1 目 農地総務費	農業水産課	S D G s		
予算現額	1,311,000 円	決算額の	一般財源	809,356 円
決算額	809,356 円	財源内訳		
(前年度決算額	918,956 円)			

説 明

1 農地総務事務管理事業

予算現額 1,311,000 円 (1,178,000 円) 11.3%増

決 算 額 809,356 円 (918,956 円) 11.9%減

(1) 農地総務事務管理事業

809,356 円

2 目 農地事業費	農業水産課	S D G s		
予算現額	236, 171, 000 円	決算額の 財源内訳	県支出金	52, 392, 750 円
決算額	218, 456, 984 円		その他特財	92, 482, 480 円
(前年度決算額	166, 790, 034 円)		一般財源	73, 581, 754 円

説 明

- 1 農業用施設維持管理事業 予算現額 24, 694, 000 円 (35, 417, 000 円) 30.3%減
決 算 額 20, 216, 234 円 (29, 827, 538 円) 32.2%減

(事業の目的及び概要)

農道等、農業用施設の維持管理に要する経費である。

(事業の成果)

用水路の浚渫・清掃、農道の修繕等を実施し、各施設の適正な維持管理に寄与した。

- (1) 用排水路維持管理費 4, 393, 816 円
農業用排水路施設の維持管理に要する費用
- (2) 農業用排水機維持管理費 11, 862, 418 円
農業用排水機場 9 施設の運転および維持管理に要する費用
- (3) 農道維持管理費 3, 960, 000 円
農業用道路の舗装修繕等の維持管理に要する費用

- 2 土地改良施設維持管理適正化事業 予算現額 54, 430, 000 円 (54, 327, 000 円) 0.2%増
決 算 額 53, 002, 883 円 (52, 311, 883 円) 1.3%増

(事業の目的及び概要)

土地改良施設の機能保持、長寿命化および農村地域の防災・減災機能の強化等に対する助成制度を活用し、施設の改修を実施するために要する経費である。

(1) 制度の概要

ア 整備補修事業

土地改良施設の計画的な維持修繕に要する経費の 30%を 5 か年間、拠出積立し、工事実施時に国及び県の補助金の 60%を加えた 90%が交付され、残りの 10%の自己資金で事業を実施する。

イ 防災減災機能等強化事業

5 か年間、拠出積立し、工事実施時に国及び県の補助金の 75%を加えた 100%が交付され、事業を実施する。

(2) 負担割合

事業の種類	負担割合		
	国	県	市
整備補修事業	30%	30%	40%
防災減災機能等強化事業	50%	25%	25%

(事業の成果)

令和 6 年度は、北浦 1 号排水機場除塵機更新整備工事を行い、適正な排水環境を確保した。

工事請負費 45, 045, 000 円

一般会計	歳出	6 款 3 項	農林水産業費 農地費
北浦 1 号排水機場 除塵機更新整備工事 拠出金 7,957,883 円	除塵機更新整備	1 式	
44 期生 事務拠出金 (北浦 1 号排水機場 除塵機更新整備)			480,000 円
44 期生 拠出金 (北浦 1 号排水機場 除塵機更新整備)			1,920,000 円
45 期生 拠出金 (西端 2 号排水機場 1・2 号ポンプ更新整備)			750,000 円
46 期生 拠出金 (前浜排水機場 潮遊池浚渫委託)			2,700,000 円
47 期生 拠出金 (農業用排水機場 遠方監視システム更新整備)			1,632,883 円
46 期生 特別拠出金 (前浜排水機場 潮遊池浚渫委託)			378,000 円
47 期生 特別拠出金 (農業用排水機場 遠方監視システム更新整備)			97,000 円

3 県営土地改良負担事業

予算現額 57,557,000 円 (33,130,000 円) 73.7%増
 決 算 額 57,372,667 円 (33,096,713 円) 73.3%増

(事業の目的及び概要)

農道や用排水施設等の整備により農業基盤及び農村環境の維持向上を図るため、愛知県が実施する県営事業に対する負担金である。

(事業の成果)

(1) 県営水環境整備事業 (中井筋地区) 238,644 円

碧南市、高浜市、安城市、刈谷市の用水路跡地の景観保全施設整備に要する経費負担割合 国 50%、県 25%、関係市 25%

関係市負担割合 碧南 2.22%、安城 70.27%、刈谷 18.17%、高浜 9.34%

県営事業費 42,999,000 円の 25%×2.22%が市負担金

(2) 県営川口揚水機場更新事業 34,293,985 円

川口揚水機場の更新整備に要する経費

ア 県営川口揚水機場更新事業負担金 33,149,985 円

県営川口揚水機場の上屋建築工事が完了し、適切に進捗が図られた。

負担割合 国 50%、県 27.5%、市 15.0%、受益農家 7.5%

県営事業費 220,999,900 円の 15.0%が市負担金

機械設備工事、上屋建築工事、場内設備工事

進捗率 87.3%

イ 農地利用集積率調査業務委託料 495,000 円

ウ 川口地区 整備計画書変更業務委託料 649,000 円

(3) 国営造成施設管理体制整備促進事業 (明治用水地区) 55,400 円

国営造成施設及びこれと一体不可分な国営附帯県営造成施設の管理に要する経費であり、県が事業主体となって国営造成施設等を管理する明治用水土地改良区の管理体制の整備・強化を図る。

負担割合 国 50%、県 25%、関係市 25%

関係市負担割合 碧南市 5.54%、岡崎市 1.33%、刈谷市 14.02%、豊田市 6.02%

安城市 58.08%、西尾市 3.54%、知立市 7.87%、高浜市 3.60%

県営事業費 4,000,000 円の 25%×5.54%が市負担金

(4) 県営排水施設保全対策事業 (負担金) 20,999,979 円

碧南干拓排水機場及び川口排水機場の長寿命化対策としての上屋修繕工事が完了した。

負担割合 国 50%、県 29%、市 21%

一般会計		歳出	6 款 3 項	農林水産業費 農地費
県営事業費 99,999,900 円の 21% が市負担金				
機械設備工事、上屋修繕工事				
進捗率 100.0% (工事契約完了)				
(5) 県営矢作川利水総合管理緊急整備事業			1,784,659 円	
老朽化に伴う不具合の補修・修繕が急務となっている矢作川利水施設の整備を実施し、農業用水の安定供給、生産性の向上を図る。				
県営矢作川利水総合管理緊急整備事業負担金				
負担割合 国 50%、県 29%、関係市 14%、受益農家 7%				
関係市負担割合 碧南市 8.976%、岡崎市 21.844%、豊田市 5.137%、安城市 9.54%、西尾市 53.634%、幸田町 0.869%				
県営事業費 142,018,246 円の 14% × 8.976% が市負担金				
4 農地等多面的機能促進事業		予算現額 31,415,000 円 (31,415,000 円) 増減無		
		決 算 額 30,751,000 円 (30,425,100 円) 1.1%増		
(事業の目的及び概要)				
農業・農村の有する国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観等の多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動（営農者と地域住民等）に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するため、農地や農業用施設等の保全管理活動や農村環境の保全活動に対する補助金である。				
活動交付金				
国・県より 75% の補助金を受け市が活動団体に補助金を交付する。				
負担割合 国 50%、県 25%、市 25%				
(事業の成果)				
各活動組織（西端、北浦鷺塚、伏見屋、前浜中江、川口：面積 726ha）が交付金を活用し農地・農業用施設の維持管理等を実施した。				
多面的機能支払事業補助金			30,174,600 円	
多面的機能支払交付金活動推進業務委託			576,400 円	
5 単独県費補助土地改良事業		予算現額 58,043,000 円 (7,799,000 円) 644.2%増		
		決 算 額 47,383,600 円 (7,150,000 円) 562.7%増		
(事業の目的及び概要)				
農道や用排水施設等の整備の実施により農業基盤の維持向上を図るものである。				
(事業の成果)				
パイプライン化された碧南用水の上部整備及び既設用水施設の撤去を実施し、施設の適切な維持管理を行い、安全を確保した。				
(1) 碧南用水上部整備事業			47,383,600 円	
ア 碧南用水上部整備工事（1 工区）			23,390,400 円	
イ 碧南用水上部整備工事（2 工区）			23,993,200 円	

6 市単独土地改良事業

予算現額 10,032,000 円 (16,007,000 円) 37.3%減
決算額 9,730,600 円 (13,978,800 円) 30.4%減

(事業の目的及び概要)

農道や用排水施設等の整備により、農業基盤の維持向上を図るものである。

(事業の成果)

老朽化が進む農道の舗装工事を実施し、機能向上及び安全な農業基盤を確保した。

(1) 農道整備事業

9,730,600 円

ア 農道舗装修繕工事 (宝町)

4,660,700 円

【着手前】



【完了】



イ 農道舗装修繕工事 (若水町)

5,069,900 円

【着手前】



【完了】



3 目 土地改良費	農業水産課	S D G s		
予算現額	16,387,000 円	決算額の	一般財源	12,374,695 円
決算額	12,374,695 円	財源内訳		
(前年度決算額	12,301,425 円)			

説 明

- 1 碧南市土地改良区補助事業 予算現額 13,379,000 円 (11,782,000 円) 13.6%増
決 算 額 9,653,695 円 (8,563,110 円) 12.7%増

(事業の目的及び概要)

碧南市土地改良区が管理する用排水施設に係る費用の一部負担金である。

(事業の成果)

土地改良施設の適正な維持管理が図られた。

(1) 碧南市土地改良区維持管理補助事業	2,373,000 円
排水機維持管理事業補助金	2,373,000 円
(前浜・前浜第2・碧南干拓・川口排水機場)	
(2) 碧南市土地改良区建設事業補助事業	6,129,520 円
単独県費土地改良事業(揚水機場維持管理補助)	4,186,750 円
(前浜・伏見屋・伏見屋第2・川口・山下揚水機場)	
基幹水利施設管理技術者指導事業補助金	1,848,000 円
(排水機場・揚水機場の点検整備および技術者育成)	
農業用施設賠償責任保険負担金	94,770 円
(3) 碧南市土地改良区機械揚水事業補助事業	1,151,175 円
単独県費土地改良事業(機械揚水)	1,151,175 円
(前浜揚水機場 ファームポンド補修工事)	

- 2 明治用水土地改良区補助事業 予算現額 3,008,000 円 (3,836,000 円) 21.6%減
決 算 額 2,721,000 円 (3,738,315 円) 27.2%減

(事業の目的及び概要)

明治用水土地改良区が管理する水源および取水施設の維持管理に係る費用の負担金である。

(事業の成果)

農業用水の安定供給が図られた。

(1) 水源かん養林事業負担金	997,000 円
(2) 明治用水環境用水対策負担金	1,724,000 円

1 目 商工総務費	商工課	S D G s	
予算現額	85,521,000 円	決算額の	
決算額	82,346,690 円	財源内訳	一般財源 82,346,690 円
(前年度決算額	74,734,301 円)		

説 明

1 商工事務管理事業 予算現額 84,965,000 円 (78,292,000 円) 8.5%増
決 算 額 81,836,103 円 (74,222,583 円) 10.3%増

(1) 一般職人件費 (10 人) 81,031,213 円

(2) 商工事務管理事業 804,890 円

2 計量対策事業 予算現額 16,000 円 (16,000 円) 増減無
決 算 額 15,964 円 (19,983 円) 0.1%減

(事業の目的及び概要)

計量取引商品の量目の過不足を検査することにより、計量法に基づく食料品等の正量取引を確保することを目的とする。

(事業の成果)

計量法に基づき、市内事業者の食糧品等の正量取引を確保するため、軽量取引商品の過不足を検査できた

3 消費者行政事務事業 予算現額 448,000 円 (448,000 円) 増減無
決 算 額 447,933 円 (447,933 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

消費生活に関する基礎的な問題を取り上げ、消費者問題に関心を起こさせ、消費者の意識の高揚を図るため消費生活講座を開催するとともに、消費者団体の育成強化を図ることを目的とする。

(事業の成果)

(1) 消費生活講座 0 円

消費生活に関する知識普及と消費者意識の向上を目指して講座を開催している。

(2) 愛知県消費者協会への負担金 7,933 円

消費者の利益を保護するため、消費生活に関する情報の提供、啓発活動など地域住民の消費者問題の解決と消費生活の向上を図ることができた。

(3) 消費者団体補助 440,000 円

団 体 名	補助額 (円)
碧南市消費生活保護協会	260,000
碧南市生活学校	180,000

消費生活に関する知識の普及と消費者意識の向上を図ることができた。また、消費者団体の継続的な育成と強化を図ることができた。

4 消費生活相談開設事業

予算現額 92,000 円 (87,000 円) 5.7%増
 決算額 46,690 円 (47,802 円) 2.3%減

(事業の目的及び概要)

悪徳商法や契約トラブルをはじめ、消費生活に関する相談に対して専門相談員を配置し、適切な助言、援助を行う消費生活相談窓口を開設する。

平成29年4月から消費生活センターを開設。相談日は週2日から週4日に増やした。

(事業の成果)

相談件数：157件

相談日：毎週月・火・木・金

相談時間：午後1時30分から午後4時まで

消費生活相談窓口の継続的な運営を図ることができた。また、消費生活啓発品の配布など、相談業務の他に消費者被害の注意喚起やセンターの啓発活動に活用することができた。

【性別】

男性	60
女性	93
不明・無関係	4
合計	157

【年代別】

0-19 歳	4
20 代	14
30 代	17
40 代	24
50 代	37
60 代	20
70 代	24
不明・無関係	17
合計	157

【相談内容】

架空請求	0
通信販売	49
クーリングオフ	6
多重債務	1
店舗購入	37
訪問販売	9
電話勧誘	9
その他	52
合計	163

※相談内容が複数該当するものあり。

2 目 商工業振興費	商工課	S D G s	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と経済活動の 振興をつつくり	11 住み続けられる まちづくりを
予算現額	477,898,000 円	決算額の 財源内訳	県支出金	22,117,000 円	
決算額	395,280,652 円		その他特財	140,541,700 円	
(前年度決算額	452,238,442 円)		一般財源	232,621,952 円	

説明

1 地場産業振興対策事業 予算現額 1,848,000 円 (1,775,000 円) 4.1%増
決 算 額 1,719,480 円 (1,599,000 円) 7.5%増

(1) 三州瓦ブランド推進協議会負担金 1,500,000 円

(事業の目的及び概要)

愛知県三河地方で生産される粘土瓦(三州瓦)の販売需要促進及び出荷量増加のため
様々な広報事業を展開して三州瓦ブランドを確立し、その地方での産業振興に資する
ことを目的とする。

(事業の成果)

令和6年度活動内容

ア 三州瓦ブランドサイトの運営・更新

サイト内に窯業関連企業・施設、三州エリアの企業・店舗等を取材した記事を
掲載

イ「瓦屋根の家を建ててみた！」プロジェクトの展開

名古屋の設計事務所「パパママハウス(株)」(以下、PMS)とコラボして新居を
建築する施主様に設計段階から三州瓦を提案。家が建つまでの様子をブランドサ
イトで公開。

ウ 三州瓦TVCM(災害対策編・イメージアップ編)作成

エ 防災産業展(東京)に三州瓦ブース出展

オ SNSによる情報発信

(2) 醸造のまち碧南継承事業 99,000 円

(事業の目的及び概要)

地場産業である醸造に関する講座等を開催し、碧南の醸造文化への理解を深めると
ともに、次世代への継承を図ることを目的とする。

(事業の成果)

市内小学校で「白しょうゆ博士の出前講座」を開催し、碧南市の白しょうゆや三河
みりんとのつながりを伝え、醸造のまちへきなをPRした。

実施学校

西端小学校 3年生 62人

新川小学校 3年生 130人

(3) 醸造のまち発掘発信事業 120,480 円

(事業の目的及び概要)

碧南の地場産業である醸造の新たな魅力発見とPRを目的とする。

(事業の成果)

全国醤油サミット in 小豆島(香川県土庄町)へ参加した。

一般会計	歳出	7 款 1 項	商工費
			商工費
2 商工振興事業補助事業	予算現額	25,429,000 円 (21,306,000 円)	19.4%増
	決算額	24,650,859 円 (21,016,454 円)	17.3%増

(事業の目的及び概要)

商工会議所の事業費等に対して補助し、商工業の振興を図ることを目的とする。

(事業の成果)

商工会議所の各種事業費等に対して補助し、商工業の振興に寄与することができた。

(1) 中小企業相談所補助事業	9,721,000 円
(2) 商工業各種講演会等開催補助事業	750,000 円
(3) 商工業振興施設運営費補助事業	7,595,859 円
(4) 企業防災対策補助事業	200,000 円
(5) 地域産業振興事業補助事業	884,000 円
(経営者実践塾開催事業	389,000 円)
(ものづくりセミナー開設事業	495,000 円)
(6) へきなん食フェア開催事業	1,500,000 円
(7) 碧南商工会議所 75 周年記念事業	4,000,000 円

3 商業振興対策事業	予算現額	2,801,000 円 (2,898,000 円)	3.3%減
	決算額	2,005,871 円 (2,548,871 円)	21.3%減

(1) 商店・商店街活性化支援事業	1,909,000 円

ア へきなんダントツゼミ事業負担金 (1,000,000 円)

(事業の目的及び概要)

講師と参加者が一緒に、商売の課題について意見を出し合い、課題解決に向けた糸口を見つけ、自発的に行動することで個店を磨き、参加者同士の交流を深めながら、売り上げと魅力をアップすることを目的とする。

(事業の成果)

視察研修を行い、参加店の特色や個性を再認識したうえで、「碧南ダントツ塾商店街」で実践できた。参加店同士のつながりもでき、商店街の魅力づくりにつながる事業となった。

参加人数 30 人

イ 商店街連携活性化事業負担金 (909,000 円)

(事業の目的及び概要)

碧南市内の 13 商店街が連携した大売出し事業の実施により、市民の消費意欲の向上、消費喚起・拡大につなげ、市内全域での商業活性化を図る。

(事業の成果)

「夢をあなたに 商店街わくわくスタンプラリー」

期 間：令和 6 年 12 月 1 日～令和 7 年 1 月 31 日

参 加 店 数： 125 店

応 募 数：3,522 件

(2) 新川町駅西駐車場管理事業	96,871 円

(事業の目的及び概要)

商店街活性化のために設置した共同駐車場の管理運営を行うことを目的とする。平

成 30 年 4 月から指定管理者制度に移行した。駐車台数 68 台。

駐車場料金：最初の 1 時間まで無料、以後 1 時間毎に 5 時間まで 100 円

(※ 24 時間毎に上限 500 円 (定期利用 1 か月 5,000 円/台))

(事業の成果)

駐車場運営により、地区商店街の活性化に寄与することができた。また、指定管理者が管理と料金収集業務等を担うことにより、効率的に運営することができた。

4 商工業団体助成事業

予算現額 11,929,000 円 (14,217,000 円) 16.1%減

決算額 11,097,171 円 (13,333,667 円) 16.8%減

(事業の目的及び概要)

商工関係団体等の育成を図るため、各団体の事業費について助成することにより、商工業の振興を図ることを目的とする。

(事業の成果)

(1) 商工関係団体等補助事業

2,680,000 円

事業名	補助額 (円)
碧南市商店街連盟	1,700,000
碧南市鉄工会	600,000
碧南市鋳物工業協同組合	300,000
三河窯業試験場運営協議会	50,000
愛知県鬼瓦技能評価認定協議会	30,000

(2) 商工業団体共同事業補助事業

2,438,000 円

団体名	内容	補助額 (円)
愛知県陶器瓦工業組合	三州瓦製品実態調査、新入社員研修、安全衛生パトロール、安全衛生特別教育経費の一部を補助	84,000
三河陶器協同組合	地域産業資源である三河焼を国内外に広く周知し、地域産業の活性化に繋げるための三河焼ポロシャツ・エプロン作成に係る費用の一部を補助	29,000
1 商店街振興組合 1 振興会	商店街活性化のため、当該団体が主催する共同事業経費の一部を補助	325,000
碧南市商店街連盟	商店街活性化のため、当該団体が主催する歳末商店街装飾事業の経費の一部を補助	2,000,000

(3) 商店街街路灯電灯料補助事業

5,379,171 円

商業団体が維持管理する街路灯等の電灯料を補助した。

(2 商店街振興組合・1 振興会・9 発展会・1 街路灯組合)

(4) がんばる商店街応援事業

600,000 円

碧南市商店街連盟及び市内 13 商店街の活性化に向け、組織のあり方や運営方法などの調査研究及びイベント実施に係る経費の一部を補助した。

5 中小企業振興対策補助金交付事業

予算現額 184,907,000 円 (218,017,000 円) 15.2%減

決算額 138,374,500 円 (210,644,600 円) 34.3%減

(1) 信用保証料補助事業 23,806,600 円

(事業の目的及び概要)

市内の中小企業が経済環境の変化に適応しつつ、経営の合理化及び設備の近代化などの資金について市が指定する融資を受けた場合、その融資額に応じて愛知県信用保証協会へ支払った信用保証料の50%（補助限度額20万円）を補助することにより、中小企業の健全な発展を促進することを目的とする。

なお、不況対策、事業力強化、創業及び再生等の政策性の高い融資については、信用保証料の100%（補助限度額25万円）を補助する。

(事業の成果)

資 金 名	補助率 (%)	件数 (件)	融資金額 (千円)	補助額 (円)
①愛知県小規模企業等振興資金	50	23	84,600	903,800
②愛知県一般事業資金		1	40,000	200,000
③愛知県経済環境適応資金(④を除く)		16	115,050	983,400
④愛知県経済環境適応資金(サポート資金)	100	197	2,830,200	21,719,400
合 計		237	3,069,850	23,806,600

(2) 利子補給事業 11,685,500 円

(事業の目的及び概要)

市内の中小企業が経済環境の変化に適応しつつ、経営の合理化及び設備の近代化などの資金について市が指定する融資を受けた場合、1年間に支払った利子（貸付利率年2%を上限、補助限度額100万円）を補助することにより、中小企業の健全な発展を促進することを目的とする。

(事業の成果)

資 金 名	件数 (件)	融資金額 (千円)	補助額 (円)
①愛知県経済環境適応資金（パワーアップ資金）	0	0	0
②愛知県一般事業資金	20	236,100	2,889,100
③日本政策金融公庫経営改善貸付	7	46,700	137,600
④日本政策金融公庫生活衛生改善貸付	0	0	0
⑤碧南商工会議所中小企業育成融資制度	48	664,000	8,658,800
合 計	75	946,800	11,685,500

(3) 償却資産新規取得補助事業 12,438,400 円

(事業の目的及び概要)

市内の中小企業が経営の合理化及び設備の近代化などのために償却資産として新規に取得した設備投資に対し補助することにより、中小企業の健全な発展を促進することを目的とする。

(事業の成果)

件 数	総 取 得 価 格	補 助 額
135 件	4,333,472,224 円	12,438,400 円

(4) 中小企業出展料補助事業 5,593,000 円

(事業の目的及び概要)

合同企業説明会への出展による人材確保及び見本市の出展による販路拡大の支援を行うことにより、中小企業の自立的発展の促進を図り、もって本市の産業振興に資することを目的とする。

(事業の成果)

補助金の種類	件 数	補 助 額
合同企業説明会	4 件	480,000 円
見本市	44 件	5,113,000 円
合 計	48 件	5,593,000 円

(5) 創業チャレンジ支援事業 10,694,000 円

(事業の目的及び概要)

市内で新たに創業する者に対し、創業に必要な初期投資の一部を補助することにより、市内商工業の振興、地域経済の活性化及び雇用の確保を図ることを目的とする。

(事業の成果)

飲食店 6 件、美容業 4 件、デザイン業 2 件、建設業 1 件、学習塾 1 件の合計 14 件が創業した。

(6) 企業再投資促進補助事業 44,234,000 円

(事業の目的及び概要)

県の「新あいち創造産業立地補助金」と連動した補助制度であり、県内に 20 年以上かつ市内に概ね 10 年以上立地する中小企業が、一定の条件を満たす工場等の新增設を行う場合に、投資額の 10% (県 5%、市 5%、限度額 10 億円) を補助する。

企業の積極的な設備投資を促進し、既存工場の再生・活性化を図るとともに、中小企業の市外への流出防止及び雇用の維持拡大を図り、本市の商工業振興と活性化に寄与することを目的とする。

(事業の成果)

補助実績 1 件 44,234,000 円

(7) 中小企業カーボンニュートラル推進支援補助事業 29,923,000 円

(事業の目的及び概要)

中小企業のカーボンニュートラルに資する取組を支援することで、中小企業の持続的成長の実現並びに地域経済の健全な発展に資することを目的とする。

(事業の成果)

補助金の種類		件 数	補 助 額
省エネ・再エネ導入	市独自支援	28 件	27,095,000 円
	上乗せ支援	1 件	1,500,000 円
省エネ診断・CO2 削減計画	市独自支援	15 件	1,328,000 円
	上乗せ支援	0 件	0 円
合 計		44 件	29,923,000 円

6 商工業融資事業

予算現額 140,000,000 円 (140,000,000 円) 増減無
決 算 額 140,000,000 円 (140,000,000 円) 増減無

(1) 小規模企業等振興資金預託事業 100,000,000 円

(事業の目的及び概要)

金融機関との取引の薄い中小企業が事業運営上必要な資金を低利に借入れできるよう、愛知県制度融資に準じて預託を行う。

(事業の成果)

信用保証承諾実績

内 容	件 数	金 額
運 転 資 金	23 件	76,800 千円
設 備 資 金	2 件	7,300 千円
運転・設備併用	2 件	5,500 千円
計	27 件	89,600 千円

(2) 商工組合中央金庫預託事業 40,000,000 円

(事業の目的及び概要)

共同施設資金など、組合運営のための資金貸出し及び組合員の事業資金貸出しを目的とする商工組合中央金庫に預託する。

(事業の成果)

融資実行件数及び金額

直 接 貸 付 分		受 託 代 理 貸 付 分		合 計	
件 数	融 資 金 額	件 数	融 資 金 額	件 数	融 資 金 額
34 件	3,791,209 千円	0 件	0 千円	34 件	3,791,209 千円

7 市内巡回バス運営事業 予算現額 89,718,000 円 (45,664,000 円) 96.5%増
決算額 56,180,216 円 (44,150,680 円) 27.2%増

(1) 市内巡回バス運営事業 47,212,847 円

(事業の目的及び概要)

市内巡回バスの運行を行うことにより、高齢者、障害者等の交通弱者の利便を図るとともに、広く住民の地域社会参加を促進することを目的とする。

ア 運行コース

(ア) 中央巡回コース (オレンジ・パープル) 19.1 km

(イ) 市内外周コース (みどり・あお) 56.0 km

イ 運行時間 午前6時45分～午後7時26分

ウ 運行回数

(ア) 中央巡回コース：オレンジ1日8便・パープル1日4便

(イ) 市内外周コース：みどり 1日5便・あお 1日5便

(事業の成果)

ア コース別利用者数

(人)

中央巡回コース (オレンジ)	中央巡回コース (パープル)	市内外周コース (みどり)	市内外周コース (あお)	利用者合計
30,334	10,448	32,683	35,894	109,359

イ 月別利用者数

(人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
9,218	9,532	9,212	10,116	9,295	9,647
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
10,180	9,099	8,183	7,940	8,278	8,659
合 計				109,359	

(2) 市内巡回バス更新事業

0 円

令和 6 年 7 月 23 日車両購入契約。30,447,000 円を令和 7 年度へ繰越。

(3) 市内巡回バス利用促進事業

8,967,369 円

(事業の目的及び概要)

令和 6 年 3 月策定した地域公共交通計画に基づきくるくるバスの利便性の向上により利用者の増を図るため、大型商業施設へのバスの乗入れや、バス停の移設を実施した。

(事業の成果)

令和 7 年 3 月 3 日表のとおりバス停の新設・移設を行い、これに合わせてダイヤ改正を行った。

また、車内アナウンスで最寄りのバス停で医療機関をお知らせすることとした。

バス停名称		コース				説明
		オレン ジ	パ ー プ ル	あ お	み ど り	
商業施設	イクタフード食彩館			移	移	敷地内へ乗入 従前：神明社
	ドミー大浜店			新	新	敷地内へ乗入
	ドミー新川店		新			敷地内へ乗入
	アオキスーパー碧南店			新	新	店舗前道路
	バロー碧南店	移	移			敷地内通路 従前：音羽町
	ピアゴ碧南東店			移	移	敷地内通路 従前：霞浦町
その他施設	碧南駅			新	新	駅前広場
	B T S 高浜			新	新	敷地内
	新川町駅			移	移	より駅近くへ移設
関連	久沓北			新	新	B T S 関連
変更前		42	41	96	96	275
追加（移設）		0	1	5	5	11 (8)
たて計		42	42	101	101	286

8 ふれんどバス運行補助事業

予算現額 21,179,000 円 (18,071,000 円) 17.2%増

決 算 額 21,179,000 円 (17,541,000 円) 20.7%増

(事業の目的及び概要)

名鉄三河線（碧南駅～吉良吉田駅間）の廃止に伴い、碧南駅から吉良高校間の「ふれ

んどバス」運行による経常損失額を碧南市、西尾市が補助することにより、地域住民の公共交通を確保するとともに、住民の交通の利便性及び福祉の向上を図ることを目的とする。平成30年4月から終点を碧南駅から碧南高校まで延伸を行った。

(1) 運行ルート：碧南高校～碧南駅～吉良吉田駅～吉良高校 全長19.9km

片道所要時間 約52分

(2) 運行日数：原則365日

(3) バス停数：21箇所（碧南市4、西尾市9、旧一色町5、旧吉良町3）

(4) 運行料金：全区間一律18歳以上200円、18歳未満100円

（小学生未満無料）

（事業の成果）

(1) 月別利用者数 (人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
27,112	27,828	26,672	25,516	22,513	24,921
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
27,682	24,558	19,284	25,669	20,417	17,547
合 計				289,719	

(2) 関係市補助額

碧南市	21,179,000 円 (24.1%) 運行経費
西尾市	66,701,000 円 (75.9%) 運行経費

9 碧南市地域公共交通計画推進事業

予算現額 87,000 円 (0 円) 新規

決算額 73,555 円 (0 円) 新規

（事業の目的及び概要）

令和2年11月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が改正された。地域の暮らしと産業を支える移動手段を確保することが重要とされていることから、公共交通を中心に交通計画における事業を実施する。

（事業の成果）

（事業の成果）

碧南市地域公共交通計画に基づく取り組みとして、令和7年3月にくるくるバスのバス停の新設・移設、ダイヤ改正を行い、市内商業施設への乗り入れや他の公共交通機関への乗り換えが可能となった。

3 目 観光費	商工課	S D G s	 	
予算現額	14,236,000 円	決算額の	一般財源	13,956,071 円
決算額	13,956,071 円	財源内訳		
(前年度決算額	23,369,402 円)			

説 明

1 観光施設維持管理事業 予算現額 1,091,000 円 (5,166,000 円) 78.9%減
決 算 額 811,871 円 (4,946,442 円) 83.6%減

(1) 観光施設維持管理事業 811,871 円

(事業の目的及び概要)

市内の観光施設の維持管理を適切に行うことで、訪問者及び利用者の満足度の高い施設とすることを目的とする。

(事業の成果)

- ア 広藤園及び名鉄新川町駅隣接トイレの光熱水費、消耗品、修繕料などの需用費 224,002 円
- イ 広藤園賠償責任保険料の役務費 3,500 円
- ウ 広藤園及び名鉄新川町駅隣接公衆便所の清掃委託料 529,819 円
- エ 三河安城駅連絡通路広告物掲示使用料 54,550 円

2 観光行事開催事業 予算現額 11,945,000 円 (17,233,000 円) 30.7%減
決 算 額 11,944,200 円 (17,222,960 円) 30.6%減

(1) 観光行事開催事業 9,994,200 円

(事業の目的及び概要)

碧南 3 大花まつりを含む観光事業及び P R 事業を通じて、観光事業の振興と市の観光イメージの高揚を図り、市民福祉の向上と市内外の観光客誘致に寄与することを目的とする。

(事業の成果)

- ア 塩竈みなと祭りに出展を行った。 57,600 円
 - イ 碧南市観光協会へ委託し、以下の事業を行った。 9,486,600 円
 - (ア) 碧南 3 大花まつりを開催した。
 - (イ) 観光地発掘型参加イベントとして、グルメスタンプラリーを 2 回 (チーズ、ぱん) 実施した。
 - (ウ) ホームページ、SNS 発信、マルシェ出店、キャラクター活用による観光 P R を行った。
 - ウ 西三河広域観光推進協議会負担金 450,000 円

西三河 10 市町をエリアとした広域観光発展のために組織された協議会に参加し、令和 7 年度実施の事業計画を行った。
- (2) 大浜地区観光推進事業 1,950,000 円

(事業の目的及び概要)

大浜地区のにぎわいづくりに向けた活動を行う「大浜にぎわいづくり実行委員会」に補助することで、住民主体のまちづくりを支援する。また、大浜てらまちを広く紹介する「大浜てらまち案内人の会」の活動も合わせて支援し、地域文化の継承と地域への愛着を育む。

(事業の成果)

- ア 大浜にぎわいづくり実行委員会への補助 1,950,000 円
活動実績 月 1 階定例会を開催、大浜地区の観光魅力創出にかかる事業
第 2 3 回大浜てらまちウォーキングを開催した。(来場者数 3 3, 0 0 0 人)
- イ 大浜てらまち案内人の会
活動実績 月 1 回の定例会、案内 1 1 8 回(案内人数 6 2 7 人)

3 碧南市観光協会補助事業

予算現額 500,000 円(500,000 円)増減無
決算額 500,000 円(500,000 円)増減無

(事業の目的及び概要)

観光事業を企画・運営する碧南市観光協会へ事業運営費を補助することにより、碧南の観光事業の振興を目的とする。

- (1) 会員数 1 9 3 (令和 7 年 3 月 3 1 日現在)
- (2) 碧南市観光協会運営費補助事業 500,000 円

(事業の成果)

観光協会の運営が円滑かつ効率的に行えるよう支援を行った。

4 へきなん優良みやげ推奨品事業

予算現額 700,000 円(700,000 円)増減無
決算額 700,000 円(700,000 円)増減無

(事業の目的及び概要)

市と碧南商工会議所と共催で市内の商品を「へきなん優良みやげ推奨品」として認定(期間 2 年間)し、広く宣伝紹介するとともに、紹介パンフレットを作成配布し、碧南の名産・特産品として P R することにより産業と観光事業の活性化を図ることを目的とする。

(事業の成果)

- (1) 優良みやげ認定数
4 5 商品(2 7 事業所)(令和 7 年 3 月 3 1 日現在)
- (2) 展示コーナーの設置
ドン・キホーテ U N Y 碧南店、あおいパーク、碧南商工会議所、碧南市役所 1 階

1 目 土木総務費	土木港湾課	S D G s		
予算現額	132,067,000 円	決算額の	県支出金	522,000 円
決算額	128,312,180 円	財源内訳	一般財源	127,790,180 円
(前年度決算額	136,841,559 円)			

説 明

1 土木事務管理事業

予算現額 132,067,000 円 (143,792,000 円) 8.2%減

決 算 額 128,312,180 円 (136,841,559 円) 6.2%減

(1) 一般職人件費 (14 人)

126,264,619 円

(2) 土木事務管理費

2,047,561 円

1 目 道路橋梁総務費	土木港湾課	S D G s		
予算現額	15,185,000 円	決算額の	一般財源	14,257,562 円
決算額	14,257,562 円	財源内訳		
(前年度決算額	11,711,346 円)			

説 明

1 橋梁等維持管理事業 予算現額 2,204,000 円 (2,118,000 円) 4.1%増
決 算 額 1,308,362 円 (1,173,346 円) 11.5%増

2 道路台帳更新事業 予算現額 12,981,000 円 (10,538,000 円) 23.2%増
決 算 額 12,949,200 円 (10,538,000 円) 22.9%増

(事業の目的及び概要)

道路法第28条に規定する調書を策定するための経費である。

工事等による道路形態の変更に伴い、デジタル化された道路台帳現況平面図等の修正を行い、道路台帳及び道路台帳図の更新を図る。

(1) 委託料 12,949,200 円

名称	内容	金額 (円)
道路台帳更新業務委託	道路台帳現況平面図の修正 道路台帳及び道路台帳図の更新	12,509,200
道路台帳管理システム保守業務委託	道路台帳管理システムの保守	440,000

(事業の成果)

道路台帳等を更新し窓口で活用することにより、住民サービスの向上や窓口業務の効率化が図られた。

2 目 道路維持費	土木港湾課	S D G s		
予算現額	106,555,000 円	決算額の	その他特財	32,551,721 円
決算額	93,745,375 円	財源内訳	一般財源	61,193,654 円
(前年度決算額	113,006,851 円)			

説明

- 1 道路橋梁維持管理事業 予算現額 106,555,000 円 (118,884,000 円) 10.4%減
決 算 額 93,745,375 円 (113,006,851 円) 17.0%減

(事業の目的及び概要)

市内一円の道路除草、補修、路面清掃等の委託、側溝改良及び舗装補修工事を行うものであり、主なものは次表のとおりである。

(1) 委託料 59,507,580 円

名称	数量	金額 (円)
道路除草業務委託 (その 1)	30,900 m ²	11,460,900
道路除草業務委託 (その 2)	50,000 m ²	15,631,000
道路補修業務委託 (その 1)	696 m ²	6,686,900
道路補修業務委託 (その 2)	1,350 m ²	9,523,800
道路路面清掃業務委託	102.6 km	4,290,000
その他	71 件	11,914,980

(2) 工事請負費 33,911,550 円

名称	数量	金額 (円)
側溝改良工事	30 件	11,478,150
舗装補修工事	21 件	14,215,300
その他	25 件	8,218,100

(3) 原材料費

名称	数量	金額 (円)
常温合材	125 袋	206,250

(事業の成果)

道路の適切な維持管理及びまちの美化に寄与した。

3 目 道路新設改良費	土木港湾課	S D G s		
予算現額	704,006,121 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	44,920,000 円
決算額	465,722,173 円		県支出金	4,210,836 円
(前年度決算額	468,187,088 円)		その他特財	232,689,444 円
			一般財源	183,901,893 円

説 明

1 生活道路整備事業

予算現額 150,865,000 円 (150,760,000 円) 0.1%増

決 算 額 101,934,236 円 (106,384,811 円) 4.2%減

(事業の目的及び概要)

市内一円の生活道路整備のため、側溝及び舗装等の新設改良工事のほか、これらに関連する測量、分筆、用地の購入等を実施し、市民の生活基盤の安定を図るものであり、主なものは次表のとおりである。

(1) 委託料

7,897,410 円

名称	数量	金額 (円)
分筆測量登記等業務委託	10 件	5,919,830
公共用地境界確認業務委託	20 件	1,240,580
土地価格変動率に係る意見書作成業務委託	1 件	44,000
物件再算定業務委託	1 件	693,000

(2) 工事請負費

52,444,900 円

名称	数量	金額 (円)
側溝改良工事	4 件	18,898,000
道路改良工事	4 件	27,146,900
舗装改良工事	3 件	6,400,000

令和 7 年度へ繰越

38,700,000 円

(3) 公有財産購入

名称	数量	金額 (円)
道路用地の購入	6 件 11 筆 128.68 m ²	5,215,006

(4) 負担金

35,676,818 円

名称	数量	金額 (円)
水道事業	1 件	581,818
下水道事業	1 件	35,095,000

(事業の成果)

側溝・舗装等の改良工事を実施し、地区や市民からの要望への対応及び市内一円の交通安全並びにまちの美化に寄与した。

2 生活道路整備事業（繰越明許費）

予算現額 40,897,000 円 (35,862,900 円) 14.0%増

決 算 額 31,559,300 円 (33,478,100 円) 5.7%減

(事業の目的及び概要)

生活道路整備事業の繰越しを行い、事業の推進を図る。

工事請負費

31,559,300 円

名称	数量	金額 (円)
側溝改良工事	3 件	14,768,500
舗装改良工事	2 件	16,790,800

(事業の成果)

側溝、舗装の改良工事を実施し、地区や市民からの要望への対応及び市内一円の交通安全並びにまちの美化に寄与した。

3 主要道路整備事業

予算現額 328,942,000 円 (252,429,000 円) 30.3%増

決 算 額 158,048,138 円 (127,357,022 円) 24.1%増

(1) 長田橋橋梁改修事業

65,753,638 円

(事業の目的及び概要)

二級河川長田川は、県の河川整備計画に基づき、堤防の改修が進められており、市と県で一体となって事業を推進するため、河川事業の堤防改修に合わせて、老朽化した長田橋の架け替えを行うものであり、愛知県に対する負担金等を負担するものである。

<全体計画>

橋長 L= 37.0m

道路概要 計画幅員 11.5m (現況幅員 7.0m)

ア 土地賃借料

名称	数量	金額 (円)
仮橋道路賃借料	239.1 m ²	430,380

イ 負担金

名称	数量	金額 (円)
工事等負担金 (上部工製作工事等)	3 件	65,323,258

令和 7 年度へ繰越

119,185,000 円

(事業の成果)

長田橋の改修工事において、上部工製作工事が進捗した。

(2) 主要道路整備事業

66,974,600 円

(事業の目的及び概要)

本事業は、市内の 1、2 級市道において、計画的かつ効率的に改良及び修繕することにより、道路の安全性、快適性及び耐久性の向上を図るものである。

ア 委託料

10,014,400 円

名称	内容	金額 (円)
路面性状調査業務委託	路面調査延長 67km	7,121,400
市道大浜保育園線物件調査業務委託	施設撤去・復旧設計業務	2,893,000

イ 工事請負費

56,960,200 円

名称	数量	金額 (円)
舗装改良工事	2 件	35,545,400
側溝改良工事	1 件	21,414,800

(事業の成果)

舗装改良工事等を実施することにより、道路機能の向上が図られた。

(3) 矢作川堤防リフレッシュ事業

25,319,900 円

(事業の目的及び概要)

矢作川の堤防裏小段及び天端を活用し道路を新設することにより、交通網の整備を行うとともに、堤防強化による防災機能の向上を図るものである。また、中畑橋から棚尾橋までの既存の河川管理用道路を改良し、市内を南北に通行できる道路を整備することで、交通機能の向上を図る。

工事請負費

25,319,900 円

名称	内容	金額 (円)
矢作川堤防リフレッシュ道路工事 (第1工区)	延長 404m、舗装工 2,637 m ²	24,100,000
矢作川堤防リフレッシュ道路工事 (第1工区) 付帯工事	光ケーブル移設工 1 箇所	1,219,900

令和7年度へ繰越

47,372,100 円

(事業の成果)

矢作川堤防リフレッシュ道路工事により、中畑橋から棚尾橋までの区間の道路整備が進捗した。

4 主要道路整備事業（繰越明許費）

予算現額 121,980,121 円 (134,780,000 円) 9.5%減

決算額 116,191,188 円 (132,591,200 円) 12.4%減

(1) 長田橋橋梁改修事業

106,733,062 円

(事業の目的及び概要)

長田橋橋梁改修事業の繰越しを行い、事業の進捗を図る。

負担金

名称	数量	金額 (円)
工事負担金 (下部工工事)	1 件	106,733,062

(事業の成果)

長田橋の改修工事において、下部工工事が進捗した。

(2) 主要道路整備事業

9,458,126 円

(事業の目的及び概要)

主要道路整備事業の繰越しを行い、事業の推進を図る。

ア 公有財産購入費

名称	数量	金額 (円)
神有中山線道路拡幅用地	1 件 3 筆 55.79 m ²	4,212,145

イ 補償、補填及び賠償金

名称	数量	金額 (円)
神有中山線道路拡幅用地に伴う物件補償	1 件	5,245,981

(事業の成果)

市道神有中山線の安全性を高めるため、道路拡幅用地を取得した。

5 狭あい道路整備促進事業

予算現額 58,733,000 円 (75,219,000 円) 21.9%減

決算額 55,873,764 円 (68,375,955 円) 18.3%減

(1) 狭あい道路整備促進事業 47,661,628 円

(事業の目的及び概要)

狭あい道路（幅員 4 メートル未満の道路）の拡幅に対する支援を行い、安全な住宅市街地の形成を図るものである。

ア 委託料

名称	数量	金額（円）
分筆測量登記等業務委託	33 件	18,547,140

イ 工事請負費 10,986,800 円

名称	数量	金額（円）
後退用地舗装工事	6 件	9,705,300
後退用地側溝改良工事	1 件	1,281,500

ウ 公有財産購入費

名称	数量	金額（円）
後退用地の購入	26 件 36 筆 381.81 m ²	16,822,788

エ 補償、補填及び賠償金

名称	数量	金額（円）
後退用地工作物等撤去費用の補助	14 件	1,292,600

(事業の成果)

後退用地の購入及び寄附採納により、狭あい道路の解消が図られた。

(2) 地籍調査事業 8,212,136 円

(事業の目的及び概要)

防災対策の一環として塩浜町地区の一筆地ごとの境界の位置や面積を測量するものであり、主なものは次表のとおりである。

委託料

名称	内容	金額（円）
都市再生地籍調査業務委託（塩浜地区）	地籍図、地籍簿、地籍測量図の作成	8,129,000

(事業の成果)

地籍調査の成果物である地籍図及び地籍簿を作成し、認証者である愛知県に提出した。なお、塩浜町地区の地籍調査は令和 6 年度で事業が完了した。

6 狭あい道路整備促進事業（繰越明許費） 予算現額 2,589,000 円（0 円）皆増
決算額 2,115,547 円（0 円）皆増

(事業の目的及び概要)

狭あい道路整備事業の繰越しを行い、事業の進捗を図る。

(1) 委託料

名称	数量	金額（円）
分筆測量登記等業務委託	4 件	1,569,100

(2) 公有財産購入費

名称	数量	金額（円）
後退用地の購入	2 件 3 筆 13.17 m ²	546,447

(事業の成果)

後退用地の購入等により、狭あい道路の解消が図られた。

4 目 橋梁維持費	土木港湾課	S D G s		
予算現額	196,250,000 円	決算額の	国庫支出金	89,650,000 円
決算額	180,731,100 円	財源内訳	その他特財	61,129,065 円
(前年度決算額	62,434,900 円)		一般財源	29,952,035 円

説 明

- 1 橋梁長寿命化対策事業 予算現額 51,700,000 円 (209,470,000 円) 75.3%減
決 算 額 48,977,500 円 (62,434,900 円) 21.6%減

(事業の目的及び概要)

碧南市が管理する橋梁は、現在 187 橋あり、道路交通の安全性を確保する上で、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化によるコスト削減を図る目的として、国土交通省が作成した道路橋定期点検要領に基づき、5 年に 1 回の頻度で点検を実施している。

この点検結果を受け、計画的な修繕を着実に進め、橋梁の長寿命化と修繕費等の削減等を図りつつ、道路ネットワークの安全性や信頼性を確保するものである。

(1) 委託料

名称	数量	金額 (円)
道路橋定期点検業務委託	道路橋定期点検 71 橋	36,753,200

(2) 工事請負費

12,224,300 円

名称	内容	金額 (円)
川口 10 号橋修繕工事	延長 6m 橋梁・橋面補修工	6,019,200
川口 11 号橋修繕工事	延長 6m 橋梁・橋面補修工	6,205,100

(事業の成果)

橋梁定期点検及び橋梁修繕工事を実施し、道路橋の適正な維持管理に努めた。

- 2 橋梁長寿命化対策事業 (繰越明許費) 予算現額 144,550,000 円 (0 円) 皆増
決 算 額 131,753,600 円 (0 円) 皆増

(事業の目的及び概要)

橋梁長寿命化対策事業の繰越しを行い、事業の進捗を図る。

工事請負費

名称	内容	金額 (円)
港南橋修繕工事	延長 39m 橋梁・橋面補修工、 橋梁現場塗装工、橋梁附属物工	131,753,600

(事業の成果)

橋梁修繕工事を実施し、道路橋の適正な維持管理に努めた。

1 目 河川総務費	土木港湾課	S D G s	  
予算現額	9,171,000 円	決算額の 財源内訳	県支出金 335,000 円
決算額	8,368,903 円		その他特財 29,000 円
(前年度決算額	5,486,595 円)		一般財源 8,004,903 円

説 明

1 河川事務管理事業 予算現額 368,000 円 (175,000 円) 110.3%増
決 算 額 225,600 円 (123,610 円) 82.5%増

2 河川維持管理事業 予算現額 4,741,000 円 (10,005,000 円) 52.6%減
決 算 額 4,293,303 円 (5,362,985 円) 19.9%減

(事業の目的及び概要)

市内の準用河川（古江川・沢渡川・堀川）の除草等を実施し、適切な河川の維持管理に努めるものであり、主なものは次表のとおりである。

委託料 4,069,525 円

名称	数量	金額 (円)
河川除草業務委託（古江川・沢渡川・堀川）	8,450 m ²	2,380,400
堀川浚渫業務委託	6 m ³	484,000
水門及び樋管保守点検業務委託（新川樋門等）	20 箇所	410,300
蜷川排水機場ゴミ片付け清掃委託	1 式	96,525
その他	3 件	698,300

(事業の成果)

準用河川の除草や清掃等を実施し、適切な河川の維持管理に努めた。

3 河川維持管理事業（繰越明許費） 予算現額 4,062,000 円 (0 円) 皆増
決 算 額 3,850,000 円 (0 円) 皆増

(事業の目的及び概要)

河川維持管理事業の繰越しを行い、事業の進捗を図る。

工事請負費

名称	内容	金額 (円)
長田川 7 号樋管等ゲート修繕工事	水密ゴム交換 1 式、ゲート取替 1 式	3,850,000

(事業の成果)

樋管の修繕工事を実施し、河川の適切な維持管理に努めた。

1 目 港湾管理費	土木港湾課	S D G s	 
予算現額	45,934,000 円	決算額の	国庫支出金 9,000,000 円
決算額	44,754,071 円	財源内訳	県支出金 488,000 円
(前年度決算額	40,899,460 円)		一般財源 35,266,071 円

説 明

1 港湾事務管理事業 予算現額 5,760,000 円 (17,827,000 円) 67.7%減
決 算 額 5,718,680 円 (17,575,650 円) 67.5%減

2 漁港維持管理事業 予算現額 860,000 円 (1,900,000 円) 54.7%減
決 算 額 796,400 円 (1,619,860 円) 50.8%減

(事業の目的及び概要)

蜷川漁港内の清掃や廃船の処理を行い、漁港利用者の安全性の確保と船舶の安全航行を図るものである。

(事業の成果)

蜷川漁港内の清掃や廃船の処理を行い、漁港の適切な維持管理に努めた。

3 港湾施設維持管理事業 予算現額 2,042,000 円 (2,548,000 円) 19.9%減
決 算 額 1,968,071 円 (2,245,550 円) 12.4%減

(事業の目的及び概要)

衣浦港中央ふ頭東地区に設置したボードウォーク施設の適正な維持管理に努め、施設の安全性、快適性を確保するものである。

(事業の成果)

ボードウォーク施設の修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。

4 港湾施設老朽化対策事業 予算現額 21,272,000 円 (3,495,000 円) 508.6%増
決 算 額 21,270,920 円 (3,458,400 円) 515.1%増

(事業の目的及び概要)

老朽化により性能及び機能が低下している港湾施設（護岸）等について、必要な改築を実施し、機能回復を図るものである。

工事請負費 21,270,920 円

名称	数量	金額 (円)
港南緑地護岸改築工事	延長 45m、上部工 73 m ³	19,987,000
その他	2 件	1,283,920

(事業の成果)

港南緑地の護岸改築工事を実施し、機能回復を図った。

5 衣浦港福祉協会補助事業 予算現額 16,000,000 円 (18,000,000 円) 11.1%減
決 算 額 15,000,000 円 (16,000,000 円) 6.3%減

(事業の目的及び概要)

衣浦港の港湾勤労者等の福祉の増進及び健康の増進を図るため、衣浦港湾会館の管理

運営を行う一般財団法人衣浦港福祉協会に対して運営費の補助を行うものである。

負担金、補助金及び交付金

名 称	数 量	金 額（円）
衣浦港福祉協会運営費補助	1 件	15,000,000

（事業の成果）

衣浦港福祉協会への運営補助を実施することにより、港湾勤労者等の福祉の増進等を図った。

1 目 都市計画総務費	都市計画課	S D G s	 
予算現額	261,823,000 円	決算額の	県支出金 40,000,000 円
決算額	241,109,974 円	財源内訳	その他特財 97,040,336 円
(前年度決算額	115,544,897 円)		一般財源 104,069,638 円

説 明

1 都市計画事務管理事業 予算現額 70,458,000円 (65,967,000円) 6.8%増
決 算 額 67,832,146円 (63,505,340円) 6.8%増

(1) 一般職人件費 (7 人) 67,235,415円

(2) 都市計画事務管理事業 596,731円

2 都市計画審議会運営事業 予算現額 280,000円 (140,000円) 100.0%増
決 算 額 126,000円 (56,000円) 125.0%増

(事業の目的及び概要)

都市計画に関する事項を審議するために開催する都市計画審議会の運営に要する経費である。

委員報酬 9人×7,000円×2回

区分	開催日	議案名	出席人数
第1回	8月28日	西三河都市計画生産緑地地区の変更(案)について	11人
第2回	12月26日	碧南市都市計画マスタープランの見直し(案)について 碧南市緑の基本計画の見直し(案)について 西三河都市計画区域区分の変更(案)について 西三河都市計画用途地域の変更(案)について 西三河都市計画臨港地区の変更(案)について 丸山町地区計画(案)の決定について 西三河都市計画道路の変更(案)について	11人

3 碧南中央駅公共駐車場等維持管理事業

予算現額 10,556,000円 (11,149,000円) 5.3%減

決 算 額 10,215,266円 (10,157,975円) 0.6%増

(事業の目的及び概要)

碧南中央駅公共駐車場及び駅前広場の維持管理に要する経費である。

(1) 公共駐車場維持管理事業 7,143,210円

名鉄碧南中央駅公共駐車場、同駐車場内公衆便所及び同構外公衆便所の維持管理経費

(2) 駅前広場等維持管理事業 3,072,056円

名鉄碧南駅西駅前広場、同待合所、名鉄碧南中央駅前広場及び名鉄新川町駅西駅前広場の維持管理経費

(事業の成果)

碧南中央駅公共駐車場の適切な運営と維持管理、駅前広場等の適切な維持管理に努めた。

一般会計	歳出	8 款 5 項	土木費 都市計画費
4 広域幹線道路推進事業	予算現額	274,000円 (370,000円)	25.9%減
	決 算 額	147,000円 (303,440円)	51.6%減

(事業の目的及び概要)

名浜道路を始め広域幹線道路の事業促進を図る協議会への負担金及び各会の要望会に出席するための旅費である。

(事業の成果)

名浜道路について、国・県への要望活動、合同勉強会を実施し、事業促進に取り組んだ。
衣浦豊田道路については、国道247号（産業道路）の4車線化工事が着実に進められた。

5 都市計画決定業務委託事業	予算現額	1,955,000円 (12,069,000円)	83.8%減
	決 算 額	1,903,000円 (11,209,692円)	83.0%減

(事業の目的及び概要)

都市計画の立案において重要な調査として位置付けられている都市計画の基礎調査や都市計画の変更に必要な図書の作成等を行うものである。

碧南市都市計画基礎調査業務委託 858,000円

碧南市生産緑地都市計画変更図書作成業務委託 781,000円

(事業の成果)

都市計画法第6条に基づき、県と市町村が互いに協力して調査を行い、都市計画の基礎資料とするとともに、市街化編入に必要となる資料を作成した。

6 景観事業	予算現額	176,000円 (186,000円)	5.4%減
	決 算 額	133,662円 (52,000円)	157.0%増

(事業の目的及び概要)

景観計画に関する事項を審議するために開催する景観審議会の運営等、当市の景色づくりに要する経費である。

委員報酬 4人×7,000円×1回

	開催日	議案名	出席人数
景観審議会	8月9日	碧南市の取り組みについて	5人

講師謝礼 2人×26,000円×2回

	開催日	議案名	出席人数
景色づくり意見交換会	5月21日	景色づくりの経緯と今後の進め方について	6人
	8月1日		6人

(事業の成果)

景色づくり意見交換会や景色づくり出前講座（西端小学校6年生）を実施し、景観計画の啓発を図った。

7 北部工業地整備事業	予算現額	175,682,000円 (40,800,000円)	330.6%増
	決 算 額	158,482,500円 (30,260,450円)	423.7%増

(事業の目的及び概要)

市内企業の流出防止や事業拡大、並びに新企業の誘致により、安定した雇用の創出を図るとともに、市街化区域の住工混在地において、住宅地の純化を図るものである。

一般会計	歳出	8 款 5 項	土木費 都市計画費
市道大久手 3 号線他道路改良工事			122,350,800円
市道大久手 3 号線他道路改良工事（その 2）			16,740,900円
排水管整備工事（第 3 工区）			12,512,500円
農業用水管布設替工事			4,296,600円
市道井口 6 号線他道路予備修正設計業務委託			2,581,700円

（事業の成果）

道路整備等を行い、北部工業地のインフラ整備の進捗を図ることができた。

8 都市計画マスタープラン中間評価事業

予算現額 2,442,000円（新規）

決 算 額 2,270,400円

（事業の目的及び概要）

令和元年 10 月に策定した都市計画マスタープランの中間評価を行い、必要に応じて中間見直しを行うものである。

都市計画マスタープラン及び緑の基本計画中間評価等業務委託 2,270,400円

（事業の成果）

中間評価を行い、都市計画マスタープランの一部を見直した。

2 目 土地区画整理費	都市整備課	S D G s			
予算現額	45,489,000 円	決算額の	その他特財	68,871 円	
決算額	39,425,271 円	財源内訳	一般財源	39,356,400 円	
(前年度決算額	35,066,093 円)				

説 明

- 1 区画整理事務管理事業 予算現額 23,489,000 円 (22,183,000 円) 5.9%増
 決 算 額 21,077,271 円 (21,118,093 円) 0.2%減
- (1) 一般職人件費 (2 人) 20,918,281 円
 (2) 区画整理事務管理事業 158,990 円
- 2 鴻島地区土地区画整理事業 予算現額 22,000,000 円 (18,777,000 円) 17.2%増
 決 算 額 18,348,000 円 (13,948,000 円) 31.5%増

(事業の目的及び概要)

土地区画整理事業により、健全な市街地の形成と公共施設の整備を促進するため、土地区画整理組合設立までに必要となる支援を行うものである。

名 称	内 容	金 額 (円)
鴻島地区区画整理設計準備及び地区界測量等業務委託	区画整理設計準備及び地区界測量等業務	18,348,000

(事業の成果)

土地区画整理事業の事業計画策定に向けて、区画整理設計準備、地区界測量等業務及び発起人会の運営補助を行った。

3 目 街路事業費	都市計画課	S D G s		
予算現額	586,678,200 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	63,600,000 円
決算額	375,426,818 円		県支出金	92,355,000 円
(前年度決算額	308,248,457 円)		その他特財	175,350,483 円
			一般財源	44,121,335 円

説明

- 1 街路維持管理事業 予算現額 1,569,000 円 (1,940,000 円) 19.1%減
決算額 1,276,000 円 (1,791,900 円) 28.8%減

(事業の目的及び概要)

都市計画街路等の維持管理に要する経費である。

街路施設修繕	1 件	304,700 円
除草清掃	2 件	478,500 円
街路施設改良	1 件	492,800 円

(事業の成果)

都市計画課が所管する都市計画施設の適切な維持管理に努めることができた。

- 2 都市計画道路関連整備事業 予算現額 414,890,000 円 (364,330,000 円) 13.9%増
決算額 239,108,918 円 (237,782,285 円) 0.6%増

- (1) (都) 碧南駅前線整備事業

(事業の目的及び概要)

道路交通の安全と利便性を確保するとともに、道路景観など地域の魅力を高め、地域内外と来訪者の交流を促進し地域の活性化を図るものである。

(都) 碧南駅前線 用地取得	9 件	78,904,134 円
(都) 碧南駅前線 物件補償	6 件	73,982,346 円
(都) 碧南駅前線電線共同溝設置工事 (第 2 期) 前払金		36,700,000 円
(都) 碧南駅前線側溝設置工事		13,829,200 円
(都) 碧南駅前線道路排水施設等整備工事		33,004,400 円

※172,565,562 円を令和 7 年度へ繰越

(事業の成果)

(都) 碧南駅前線の用地取得及び工事を行い、事業進捗を図ることができた。

- 3 都市計画道路関連整備事業 (繰越明許費) 予算現額 117,290,200 円 (0 円) 皆増
決算額 84,218,400 円 (0 円) 皆増

- (1) (都) 碧南駅前線整備事業

(事業の目的及び概要)

電線共同溝整備に関連する工事費等の繰越を行い、事業の進捗を図るものである。

(都) 碧南駅前線電線共同溝設置工事 (第 1 期)	50,981,900 円
(都) 碧南駅前線電線共同溝設置工事委託 (北側) その 1	19,779,100 円
(都) 碧南駅前線電線共同溝設置工事委託 (北側) その 2	13,457,400 円

(事業の成果)

(都) 碧南駅前線北側の電線共同溝の整備を行うことができた。

4 駅周辺環境整備事業

予算現額 52,929,000円 (70,660,000円) 25.1%減

決算額 50,823,500円 (68,674,272円) 26.0%減

(1) 名鉄碧南駅西駅前広場整備事業

(事業の目的及び概要)

碧南駅周辺地区都市再生整備計画の終了時に数値目標の達成状況等の検証を行うものである。

碧南駅周辺地区都市再生整備計画事後評価業務委託 3,465,000円

事後評価委員会 報償費 6人 58,500円

(事業の成果)

令和7年2月17日に碧南駅周辺地区都市再生整備計画事業評価委員会を開催し、整備計画に基づく事業効果を確認するとともに、今後のまちづくり方策を検討した。

(2) 名鉄北新川駅周辺整備事業

(事業の目的及び概要)

愛知県により事業化に向けた調査業務が進められている(都)西端線の名鉄横断部アンダーパスによる影響を踏まえた交通環境の変化など、将来の交通量を予測する中で、北新川駅周辺の市道ネットワークの検討を行うものである。

北新川駅周辺市道ネットワーク検討業務委託 13,412,300円

(事業の成果)

北新川駅周辺道路の交通課題の解消を図るべく、市道ネットワークの検討を進めた。

(3) 名鉄碧南中央駅前広場整備事業

(事業の目的及び概要)

名鉄碧南中央駅前広場の一部を改修し送迎用駐車場を整備することにより、ロータリーの混雑緩和を図るものである。

碧南中央駅前広場改修工事 32,640,300円

碧南中央駅前広場施設改修 2件 1,247,400円

(事業の成果)

送迎用駐車場9台分を整備し、ロータリーの混雑緩和を図ることができた。



4 目 都市下水路費	下水道課 財政課	S D G s	  
予算現額	1,853,258,000 円	決算額の	その他特財 11,400,000 円
決算額	1,844,793,475 円	財源内訳	一般財源 1,833,393,475 円
(前年度決算額	1,825,245,286 円)		

説 明

- 1 都市下水事務管理事業 予算現額 11,007,000 円 (9,936,000 円) 10.8%増
決 算 額 10,594,464 円 (9,355,751 円) 13.2%増

(1) 一般職人件費 (1 人) 10,439,183 円

(2) 都市下水事務管理事業 155,281 円

主 な 内 容		金 額
需 用 費	修繕料 (車検・車輛修繕)	155,281 円

- 2 都市下水路維持管理事業 予算現額 28,000,000 円 (23,100,000 円) 21.2%増
決 算 額 25,082,631 円 (22,481,901 円) 11.6%増

(事業の目的及び概要)

雨水排水路を適切に維持管理し、排水機能の確保を図るものである。

都市下水路維持管理事業 25,082,631 円

主 な 内 容		金 額
光 熱 水 費	電気料	23,091 円
役 務 費	電話料 (雁道マンホールポンプ遠方監視)	4,840 円
委 託 料	水路清掃委託 始め 17 件	24,525,600 円
工事請負費	水路等修繕工事 始め 5 件	529,100 円

(事業の成果)

雨水排水路の清掃及び修繕を実施し、降雨時の良好な雨水排除に寄与した。

- 3 都市下水路整備事業 予算現額 13,950,000 円 (9,500,000 円) 46.8%増
決 算 額 9,752,380 円 (7,997,634 円) 21.9%増

(事業の目的及び概要)

雨水排水路の改良を実施し、排水機能及び維持管理の向上を図るものである。

都市下水路整備事業 9,752,380 円

内 容		金 額
委 託 料	堀方樋門マイターゲート設置詳細設計業務委託	4,400,000 円
工事請負費	水路改良工事 始め 12 件	5,352,380 円
補償、補填及び 賠償金	上水道・N T T・中電等補償費	0 円

(事業の成果)

雨水排水路を改良し、降雨時の良好な雨水排除に寄与した。

一般会計	歳出	8 款	土木費
		5 項	都市計画費
4 下水道事業会計繰出事業	予算現額	1,781,929,000 円	(1,785,410,000 円) 0.2%減
	決 算 額	1,781,929,000 円	(1,785,410,000 円) 0.2%減

(事業の目的及び概要)

下水道事業会計への繰り出しにより、公共下水道事業の推進を図るものである。

(1) 下水道事業会計負担事業	1,653,971,000 円
(2) 下水道事業会計出資事業	127,958,000 円

(事業の成果)

公共下水道の整備として、面整備を 37.9ha 行い、整備済み面積は 1,446.9ha、整備率は約 89.8%となった。また、吹上排水区雨水管渠布設工事や雨池ポンプ場流入ゲート更新工事等を実施し、浸水対策の進捗を図ることができた。

5 都市下水路費臨時事業	予算現額	18,372,000 円 (0 円) 皆増
	決 算 額	17,435,000 円 (0 円) 皆増

(事業の目的及び概要)

公共下水道事業計画区域外における雨水排水路の改良を実施し、排水機能の向上を図るものである。

都市下水路費臨時事業	17,435,000 円

内 容		金 額
工事請負費	天神町水路改良工事 始め 3 件	17,435,000 円

(事業の成果)

雨水排水路を改良し、降雨時の良好な雨水排除に寄与した。

5 目 公園緑地費	都市整備課	S D G s	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナリシップで目標を達成しよう
予算現額	613,976,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	11,000,000 円		
決算額	586,028,078 円		県支出金	10,694,000 円		
(前年度決算額	559,422,460 円)		その他特財	63,031,107 円		
			一般財源	501,302,971 円		

説 明

1 公園緑地事務管理事業 予算現額 71,030,000 円 (74,056,000 円) 4.1%減
決 算 額 66,010,976 円 (71,873,141 円) 8.2%減

- (1) 一般職人件費 (8 人) 65,404,007 円
(2) 公園緑地事務管理事業 606,969 円

2 公園施設維持管理事業 予算現額 389,555,000 円 (361,609,000 円) 7.7%増
決 算 額 384,618,487 円 (355,115,694 円) 8.3%増

- (1) 公園施設維持管理事業 331,145,487 円

(事業の目的及び概要)

市内の公園緑地等の清掃、除草、樹木の剪定等を行うものであり、主なものは次表のとおりである。

名 称	数 量	金 額 (円)
電気料及び上下水道料	—	29,895,842
都市公園等修繕	121 件	23,201,662
都市公園等管理委託 (長期継続契約等)	121 箇所	137,131,970
児童遊園等管理委託	40 箇所	4,614,000
緩衝緑地維持管理委託	4 箇所	14,637,700
道路植栽管理委託	82 路線	43,803,100
都市公園等トイレ清掃業務委託	65 箇所	12,771,201
都市公園等遊具施設保守点検委託	103 箇所	4,488,000
フラワーポット等植栽管理委託	28 箇所	1,048,300
砂場清掃委託	53 箇所	2,820,400
剪定枝チップ化委託	770 m ³	7,498,700
水景施設保守点検委託	7 箇所	4,690,400
臨海公園芝滑補修工事	1 件	3,405,600

(事業の成果)

公園緑地等の美化に努め、市民からの要望や苦情に迅速に対応することができた。

- (2) 花しょうぶ維持管理事業 14,280,000 円

(事業の目的及び概要)

油ヶ渚遊園地・花しょうぶ園の維持管理及び花しょうぶ株の無料配布を行うものである。

名 称	内 容	金額 (円)
花菖蒲維持管理委託	植替え 3,175 株、除草 21,081 m ² 、施肥 3 回等	14,280,000

(事業の成果)

油ヶ渚遊園地・花しょうぶ園の適切な維持管理を行い、花しょうぶの育成促進と良好な開花を実現することができた。また、棚尾公民館始め 6 公共施設で花しょうぶ株の無料配布を実施した。

(3) 公園施設長寿命化対策事業

39,193,000 円

(事業の目的及び概要)

安心・安全な利用環境を維持するため、公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な施設、遊具の更新等を行うものであり、主なものは次表のとおりである。

工事請負費

名 称	内 容	金 額 (円)
臨海公園フェンス更新工事	老朽化したフェンスを更新	7,656,000
臨海公園噴水施設更新工事	水中照明設備、音響設備を更新	28,529,600

(事業の成果)

公園内の老朽化した施設の更新等を行い、安全に利用できる環境を創出した。

3 緑化推進啓発事業

予算現額 18,916,000 円 (19,521,000 円) 3.1%減

決 算 額 8,658,936 円 (8,567,901 円) 1.1%増

(事業の目的及び概要)

緑のまちづくりを推進し緑化啓発を図るものであり、主なものは次表のとおりである。

事 業 名	内 容	金 額 (円)
緑化保全事業	保存樹木 5 本、保存樹林 28 箇所 の保全、枯松撤去 1 本	1,063,500
公園等環境美化事業	公園等愛護会 31 団体が 27 箇所 の清掃等を実施	4,466,015
市民植木市実施事業	第 50 回市民植木市を 5 月 11 日に臨海公園で開催	1,795,421
都市緑化推進事業	県民参加緑づくり事業 2 件	1,334,000

(事業の成果)

保存樹木や保存樹林の保全及び環境美化活動への地域住民の参加が図られ、緑化啓発に結びついた。

4 緑花推進基金積立事業

予算現額 1,439,000 円 (643,000 円) 123.8%増

決 算 額 1,376,563 円 (642,754 円) 114.2%増

(事業の目的及び概要)

碧南市緑花推進基金へ利子等を積立てるものである。

項 目	金 額 (円)
令和 5 年度末基金残高	313,577,497
令和 6 年度積立額	1,376,563
令和 6 年度末取崩額	1,795,421
令和 6 年度末基金残高	313,158,639

(事業の成果)

令和 6 年度は、基金利子他 1 3 7 万円余を積立てた。

5 街区公園事業

予算現額 44,149,000 円 (51,942,000 円) 15.0%減

決 算 額 43,384,100 円 (51,916,500 円) 16.4%減

(事業の目的及び概要)

街区公園の整備を行うものであり、主なものは次表のとおりである。

ア 工事請負費

名 称	内 容	金 額 (円)
荒居町ちびっ子広場撤去工事	ちびっ子広場の廃止に伴う既設設備の撤去	3,518,900
西荒居公園整備工事	西荒居公園整備	33,509,300

イ 負担金

名 称	内 容	金 額 (円)
公共下水道整備工事負担金	西荒居公園整備工事に伴い新たに布設した下水道管の工事費用	5,728,000

(事業の成果)

緑の基本計画に基づき西荒居公園を整備することにより、地域住民 1 人当たりの公園面積を増進し、緑のまちづくりを推進することが出来た。

6 公園緑地費臨時事業

予算現額 13,418,000 円 (13,774,000 円) 2.6%減

決 算 額 9,031,000 円 (13,740,000 円) 34.3%減

(事業の目的及び概要)

公園緑地に関する施設の整備等を行うものであり、主なものは次表のとおりである。

ア 委託料

事 業 名	内 容	金 額 (円)
公園台帳作成業務委託	公園台帳作成 (緑町公園)	2,541,000

イ 工事請負費

事 業 名	内 容	金 額 (円)
水族館西交差点信号機移設工事	国道 2 4 7 号の拡幅に伴う信号機移設	5,335,000

(事業の成果)

公園台帳を作成し、適正な公園管理を行うことができた。

また、国道 2 4 7 号拡幅工事と進捗を合わせ信号機を移設し、交差点の安全を確保した。

7 地区公園事業

予算現額 72,539,000 円 (58,816,000 円) 23.3%増

決 算 額 70,224,416 円 (57,566,470 円) 22.0%増

(1) 明石公園指定管理事業

41,647,075 円

(事業目的及び概要)

民間事業者の創意工夫によるサービスの提供と安心・安全に利用できる環境を創出し、更なる利用促進を図るため、指定管理による管理運営を行うものである。

(事業の成果)

ア 明石公園遊具利用者数

利用促進事業等の取組みにより、前年度に引き続き、年間の大型遊具総利用回数が目標数 1 0 0 万人回を上回ることができた。

項 目	実 績
令和 5 年度利用者数	1,031,899 人回
令和 6 年度利用者数	1,040,818 人回
前年度対比	0.9%増

イ 主なイベント

催 事 名	開 催 日	主 な 内 容
ゴールデンウィークイベント	5/3(金)～5/6(月)	ちびっこ縁日
110 フェスティバル	5/26 (日)	警察イベント
七夕まつり	6/22(土)～7/7(日)	七夕笹飾り
碧南高等学校コラボイベント	7/21(日)	コラボ商品販売
水遊びイベント	7/20 (土)～8/31(土)	大型プールの設置
ハロウィンイベント	10/1(火)～10/31(木)	フォトスポット、ワークショップ等

3,800 万人達成記念行事	10/26(土)	記念品贈呈
クリスマスイベント	12/21(土)～12/22(日)	クリスマスプレゼント
明石公園のお正月	1/2(木)～1/13(月)	ゆるキャラ新年会、絵馬、大道芸等
節分イベント	2/1(土)～2/2(日)	豆まき、鬼ゲーム

(2) 指定管理者審査委員会運営事業

79,641 円

(事業の目的及び概要)

明石公園指定管理者審査委員会の運営を行うものである。

(事業の成果)

明石公園指定管理者審査委員会において、前年度の事業報告及び次年度の管理運営計画等について審議し、様々な提言を受け、事業に反映させることができた。

(3) 明石公園整備事業

28,497,700 円

(事業の目的及び概要)

明石公園利用者の安全を確保するため、施設の整備及び更新等を行うものであり、主なものは次表のとおりである。

ア 委託料

名 称	内 容	金 額 (円)
明石公園大型遊具保守点検及び法定検査等委託	大型遊具保守点検 3 回、法定検査 1 回、経年劣化した部品の更新等	22,957,000

イ 工事請負費

名 称	内 容	金 額 (円)
明石公園管理棟照明施設更新工事	明石公園管理棟照明の一部を LED 照明に更新	1,169,300

ウ 備品購入費

名 称	内 容	金 額 (円)
ゴーカート	2 人乗り 1 台	1,567,500
バッテリーカー	白パイ 1 台	875,600
メロディペット	パンダ 1 台	1,100,000
カート用エンジン	カート用エンジン 2 基	229,900

(事業の成果)

大型遊具の保守点検、法定検査及び老朽化したゴーカート等を更新し、利用者の安全を確保することができた。

8 碧南市緑の基本計画中間評価事業

予算現額 2,930,000 円 (新規)

決 算 額 2,723,600 円

(事業目的及び概要)

令和元年度に策定した碧南市緑の基本計画の中間評価を行い、必要に応じた計画の見直しを行うものである。

都市計画マスタープラン及び緑の基本計画中間評価等業務委託 2,723,600 円

(事業の成果)

都市計画マスタープラン等各種計画と整合した計画に見直すことができた。

1 目 建築総務費	建築課	S D G s		
予算現額	174,090,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	6,918,000 円
決算額	155,500,382 円		県支出金	3,759,000 円
(前年度決算額	148,125,340 円)		その他特財	39,791,403 円
			一般財源	105,031,979 円

説 明

- 1 建築総務事務管理事業 予算現額 126,168,000 円 (119,748,000 円) 5.4%増
 決 算 額 121,910,200 円 (114,575,758 円) 6.4%増
 (1) 一般職人件費 (16 人) 120,516,679 円
 (2) 建築総務事務管理事業 1,393,521 円

- 2 住宅耐震化等促進事業 予算現額 22,636,000 円 (22,437,000 円) 0.9%増
 決 算 額 10,528,000 円 (13,875,300 円) 24.1%減

(事業の目的及び概要)

地震による住宅や建築物の倒壊及びこれに起因する被害を減少させるため、昭和56年5月31日以前に着工した旧建築基準による民間木造住宅の無料耐震診断を実施し、診断の結果、耐震性が低いと判定された住宅の耐震改修工事等に補助を行うことで、住宅の耐震化を進める。また、道路等に接するブロック塀等の撤去費への補助、並びに強風対策として住宅瓦屋根耐風改修費への補助を行い、市民の生命、財産を守ることを目的とする。

- (1) 役務費 (郵便料) 126,000 円
 (2) 委託料 3,068,000 円
 民間木造住宅耐震診断事業派遣等業務委託 65 棟実施
 (3) 負担金、補助及び交付金 7,334,000 円
 ア 住宅耐震改修費等補助金 3 件実施 3,000,000 円
 イ 耐震除却費補助金 18 件実施 3,600,000 円
 ウ ブロック塀等撤去費補助金 10 件実施 624,000 円
 エ アスベスト対策費補助金 1 件実施 110,000 円

(事業の成果)

旧建築基準木造住宅の無料耐震診断を実施し、耐震性の低い住宅に対して、耐震改修、耐震除却費への補助及び道路等に接するブロック塀等の撤去費への補助により事業の促進に寄与した。

- 3 空家等対策事業 予算現額 6,773,000 円 (4,755,000 円) 42.4%増
 決 算 額 6,350,082 円 (2,748,482 円) 131.0%増

(事業の目的及び概要)

少子高齢化や既存住宅・建築物の老朽化、住宅ニーズの変化等に伴い、適切な管理が行われていない空き家等が増加してきており、空家特措法及び碧南市空家等対策計画に基づき、空き家等の発生抑制、適正管理の推進、利活用の推進及び管理不全な空き家等の対策を実施し、安全で安心な生活環境の保全を図ることを目的とする。

一般会計	歳出	8 款 6 項	土木費 住宅費
(1) 報償費（特定空き家等認定委員会講師料等謝礼）		15,000 円	
(2) 需用費（消耗品費等）		1,482 円	
(3) 役務費（郵便料等）		733,600 円	
(4) 負担金、補助金及び交付金 空き家等除却費補助	2 8 件実施	5,600,000 円	

（事業の成果）

適切な管理が行われていない空き家等の所有者への指導や助言、特定空き家等認定委員会の開催、空き家等への除却費補助等により、周辺へ悪影響のあった危険な空き家が除却、改善され、事業の促進に寄与した。

4 新築住宅建設等促進補助事業 予算現額 18,513,000 円（18,226,000 円）1.6%増
 決算額 16,712,100 円（16,925,800 円）1.3%減

(1) 新築住宅建設等促進補助事業

（事業の目的及び概要）

市内において住宅を新築又は新築住宅を取得された方に対して、その費用の一部を補助、及び市内に本社又は工場を有する事業者の事業所において生産された瓦を屋根材として使用したときに加算補助することにより、住宅環境の改善、住宅建設の促進及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。

ア 負担金、補助金及び交付金

新築住宅建設等促進補助金	1 7 2 件実施	14,012,100 円
（うち、瓦利用促進加算	2 3 件実施	1,502,300 円）

（事業の成果）

住宅の新築又は新築住宅を取得された方への補助や瓦加算補助により、住宅環境の改善、住宅建設の促進及び地域経済の活性化に寄与した。

(2) 三世代住宅建設等促進事業

（事業の目的及び概要）

新たに三世代で同居し、又は近居するために住宅等の新築若しくは購入又はリフォームを行う者に対し、新築等に係る費用の一部を補助することにより、世代間で助け合い、子どもから高齢者世代までが安心して生活できる居住環境の形成を図ることを目的とする。

ア 負担金、補助金及び交付金

三世代同居等補助金	1 4 件実施	2,700,000 円
（三世代同居 4 件、三世代同居リフォーム 1 件、三世代近居 9 件）		

（事業の成果）

新たに三世代で同居又は近居するために住宅等の新築若しくは購入を行う者への補助により、世代間で助け合い、子どもから高齢者世代までが安心して生活できる居住環境の形成に寄与した。

2 目 住宅管理費	建築課	S D G s		
予算現額	133,432,000 円	決算額の	国庫支出金	43,001,000 円
決算額	111,868,235 円	財源内訳	その他特財	65,367,235 円
(前年度決算額	133,181,021 円)		一般財源	3,500,000 円

説 明

1 市営住宅維持管理事業

予算現額 33,631,000 円 (32,827,000 円) 2.4%増

決 算 額 26,181,735 円 (28,847,407 円) 9.2%減

(事業の目的及び概要)

市営住宅 7 団地 4 2 8 戸にかかる修繕、点検委託の業務を行い、市営住宅の適切かつ安全な運営を図ることを目的とする。

(1) 施設修繕料 空室修繕 2 8 戸、維持修繕 3 8 件 13,801,905 円

(2) 施設維持管理費 エレベーター保守点検委託始め 2 1 件 12,379,830 円

(事業の成果)

空室の修繕により良質な住宅を低所得の住宅困窮者に提供することができ、維持修繕により経年等による設備等の劣化を改善し、入居者の利便性を維持・向上することができた。

また、施設維持管理委託により市営住宅の施設を適切に維持管理することができた。

2 市営住宅長寿命化事業

予算現額 96,301,000 円 (101,849,000 円) 5.4%減

決 算 額 82,186,500 円 (93,300,614 円) 11.9%減

(事業の目的及び概要)

各市営住宅の状態に応じて計画的な修繕や改善を実施し、市営住宅の長寿命化を図ることを目的とする。

(1) 委託料 3,874,200 円

ア 市営向山住宅集会所改修設計業務委託料 3,740,000 円

イ 市営笹山住宅アスベスト含有調査委託料 134,200 円

(2) 工事請負費 70,313,100 円

ア 市営向山住宅集会所改修工事 10,337,800 円

イ 市営向山住宅エレベーター改修工事 6,050,000 円

ウ 市営三度山住宅エレベーター改修工事 22,282,700 円

エ 市営笹山住宅エレベーター改修工事 10,780,000 円

オ 市営向山住宅 LED 照明改修工事 11,198,000 円

カ 市営新道住宅 LED 照明改修工事 9,664,600 円

(3) 備品購入費 7,999,200 円

ア バランス釜 1 2 台 (新道住宅) 1,663,200 円

イ 給湯器 4 8 台 (三度山住宅) 6,336,000 円

(事業の成果)

市営住宅の既存設備の修繕等により長寿命化を図り、入居者の利便性を維持・向上することができた。

一般会計	歳出	8 款	土木費
		6 項	住宅費
3 市営住宅整備事業	予算現額	3,500,000 円 (14,652,000 円)	76.1%減
	決算額	3,500,000 円 (11,033,000 円)	68.3%減

(事業の目的及び概要)

市営住宅の整備を実施し、安心して快適な居住環境を確保することを目的とする。

(1) 負担金、補助金及び交付金

下水道事業会計負担金 (張コンクリート $A = 600 \text{ m}^2$) 3,500,000 円

(事業の成果)

下水道課が実施した吹上排水区雨水管渠敷設工事に伴う、宮下住宅の敷地のコンクリート張り工事に係る建築課分の負担金を支出し、住宅の安全性、快適性の向上に寄与した。

1 目 消防費	危機管理課	S D G s		
予算現額	1,144,546,000 円	決算額の 財源内訳	県支出金	15,362,000 円
決算額	1,138,827,123 円		その他特財	8,009,199 円
(前年度決算額	1,053,146,004 円)		一般財源	1,115,455,924 円

説 明

1 衣浦東部広域連合分担金繰出事業

予算現額 1,086,617,000 円 (1,001,037,000 円) 8.5%増

決 算 額 1,086,615,550 円 (1,001,035,630 円) 8.5%増

(1) 衣浦東部広域連合分担金繰出事業 (共通経費分) 1,009,747,420 円

(事業の目的及び概要)

衣浦五市(刈谷市、安城市、知立市、高浜市及び碧南市)の総合的な消防力及び初動体制の充実・強化を図り、高度な消防サービスを提供することによって、圏域市民の生命、財産を火災から守るとともに、災害による被害の軽減を目指していく。

ア 指標

区 分	碧南市	刈谷市	安城市	知立市	高浜市	合 計
国調人口	72,458 人	153,834 人	187,990 人	72,193 人	46,106 人	532,581 人
割合	13.60%	28.88%	35.30%	13.56%	8.66%	100.00%
署所職員数	75 人	97 人	115 人	47 人	30 人	364 人
割合	20.60%	26.65%	31.60%	12.91%	8.24%	100.00%
面積	36.68 k m ²	50.39 k m ²	86.05 k m ²	16.31 k m ²	13.11 k m ²	202.54 k m ²
割合	18.11%	24.88%	42.49%	8.05%	6.47%	100.00%

イ 各市の負担割合

区 分	碧南市	刈谷市	安城市	知立市	高浜市	合 計
均等割	2.00%	2.00%	2.00%	2.00%	2.00%	10.00%
人口割	4.08%	8.66%	10.59%	4.07%	2.60%	30.00%
署所職員割	10.16%	13.68%	15.72%	6.37%	4.07%	50.00%
面積割	1.81%	2.49%	4.25%	0.80%	0.65%	10.00%
合計	18.05%	26.83%	32.56%	13.24%	9.32%	100.00%

(事業の成果)

消防力の強化による住民サービスの向上、消防に関する行財政運営の効率化が図られた。

(2) 衣浦東部広域連合分担金繰出事業 (単独経費分) 76,868,130 円

(事業の目的及び概要)

消防団員報酬、退職報奨金支給並びに消火栓や貯水槽の整備及び維持管理等に要する分担金。

(事業の成果)

151名の団員報酬支給、35名の退職報奨金支給並びに消火栓の維持管理及び1箇所の新規設置を行った。

2 消防団管理運営事業

予算現額 32,715,000 円 (35,122,000 円) 6.9%減
決 算 額 29,519,007 円 (30,430,672 円) 3.0%減

(1) 消防団運営事業 14,689,483 円

(事業の目的及び概要)

火災から市民の生命、身体及び財産を保護するとともに、水害、地震等の災害を排除し、これらの災害による被害を軽減するため、訓練等の消防団活動を行う。

ア 団員数 161 人 (消防団員 96 人、予備隊員 65 人) (令和 6 年 4 月 1 日時点)

イ 消防団の主な行事 (令和 6 年度)

月 日	行 事 名
6 月 2 日	碧南市消防団観閲式
6 月 13 日	水防訓練 (水門操作)
7 月 20 日	愛知県消防操法大会
10 月 27 日	碧南市消防団消防操法大会
11 月 10 日	碧南市総合防災訓練
12 月 27 日	年末夜警
3 月 22 日	碧南市消防団・消防予備隊入退式

(事業の成果)

若い力で地域を守る消防団活動により、市民の生命、身体及び財産を守ることができ、かつ、災害に備える体制を整え、及び維持することができた。

(2) 消防団管理事業 14,829,524 円

(事業の目的及び概要)

消防団の管理及び入団に要する経費。消防団を維持管理していく上で必要な制服をはじめとした物品等の購入及び企業防災力向上支援補助等を行う。

(事業の成果)

消防団 P R チラシの印刷等消防団員勧誘により、令和 7 年度 36 名の消防団員の加入を実現できた。

3 消防予備隊管理運営事業

予算現額 3,984,000 円 (4,084,000 円) 2.4%減
決 算 額 3,252,619 円 (3,267,688 円) 0.5%減

(1) 消防予備隊運営事業 2,768,319 円

(事業の目的及び概要)

火災から市民の生命、身体及び財産を保護するとともに、水害、地震等の災害を排除し、これらの災害による被害を軽減するため、訓練等の消防予備隊活動を行う。

(事業の成果)

消防団の後方支援として消防団員への指導や観閲式等の三人行事への参加、出動に伴う業務委託等予備隊の運営が適切に行われ、消防力の強化が図られた。

(2) 消防予備隊管理事業 484,300 円

(事業の目的及び概要)

消防予備隊の管理や研修に要する経費。

(事業の成果)

大規模災害等における救難活動に必要な知識習得のため視察研修を実施することができ、また、予備隊間の交流及び親睦を図ることができた。

一般会計		歳出	9 款 1 項	消防費 消防費
4	消防団施設維持管理事業	予算現額	4,719,000 円	(3,588,000 円) 31.5%増
		決 算 額	3,803,447 円	(2,472,274 円) 53.8%増
(1)	消防団施設維持管理事業			2,357,363 円
	(事業の目的及び概要)			
	消防会館等の施設維持管理に要する経費。			
	(事業の成果)			
	消防会館等の施設維持管理が適切に行われた。			
(2)	消防団車両維持管理事業			1,446,084 円
	(事業の目的及び概要)			
	消防ポンプ自動車等の消防団車両の維持管理に要する経費。			
	(事業の成果)			
	消防ポンプ自動車等消防団車両の法定点検を行い、維持管理が適切に行われた。			
5	石油貯蔵施設立地対策費等交付金事業	予算現額	16,511,000 円	(16,391,000 円) 0.7%増
		決 算 額	15,636,500 円	(15,939,740 円) 1.9%減
	(事業の目的及び概要)			
	消防団に必要な備品購入に要する経費。			
	(事業の成果)			
	可搬消防ポンプ 5 台、トランシーバー 50 台、防火衣 20 着及び発電機 3 台を更新した。			

2 目 水防費	危機管理課	S D G s	
予算現額	1,495,000 円	決算額の	県支出金
決算額	1,495,000 円	財源内訳	1,495,000 円
(前年度決算額	1,412,000 円)		

説 明

1 水門・樋門等操作委託事業

予算現額 1,495,000 円 (1,864,000 円) 19.8%減

決 算 額 1,495,000 円 (1,412,000 円) 5.9%増

(事業の目的及び概要)

知立建設事務所、衣浦港務所からの委託に伴う、水門・樋門等の操作委託に要する経費。

(1) 知立建設事務所関係

ア 新川水門

イ 高浜川水門

(2) 衣浦港務所関係

ア 本郷樋門

イ 那智樋門

ウ 新須磨樋門

エ 浜家樋管

オ 上人樋門

カ 大浜水門



(大浜水門)

(事業の成果)

水門・樋門等の操作が適切に行われるよう、点検や操作訓練を行った。

3 目 防災費	危機管理課	S D G s	
予算現額	78,191,000 円	決算額の	県支出金 6,016,000 円
決算額	68,473,251 円	財源内訳	一般財源 62,457,251 円
(前年度決算額	50,957,159 円)		

説 明

- 1 防災事務管理事業 予算現額 2,886,000 円 (2,891,000 円) 0.2%減
決 算 額 1,617,459 円 (2,416,996 円) 33.1%減

(事業の目的及び概要)

災害時に活動する防災ヘリコプター運営協議会等の費用負担及び市町村防災支援システム利用に要する経費等。

- 2 防災会議運営事業 予算現額 3,214,000 円 (3,170,000 円) 1.4%増
決 算 額 2,933,207 円 (2,918,474 円) 0.5%増

(事業の目的及び概要)

防災会議の開催及び地域防災計画修正に伴う経費。防災会議は会長及び委員 35 人以内で組織され、地域防災に関する重要事項を審議する。

(事業の成果)

令和 7 年 2 月 7 日に、碧南市防災会議を開催し、碧南市地域防災計画修正案及び碧南市水防計画修正案について審議され承認された。

- (1) 報酬 70,000 円
(2) 需要費 3,207 円
(3) 碧南市地域防災計画修正業務委託 2,860,000 円

- 3 国民保護協議会運営事業 予算現額 87,000 円 (87,000 円) 増減無
決 算 額 0 円 (0 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

国民保護協議会の開催に伴う経費。会長及び委員 35 人以内で組織され、国民保護の措置に関する重要事項を審議する。(協議会は平成 21 年度、26 年度、令和 4 年度に実施)

(事業の成果)

審議事項なしのため、協議会未開催。

- 4 自主防災会組織育成事業 予算現額 7,695,000 円 (7,873,000 円) 2.3%減
決 算 額 6,743,140 円 (6,296,024 円) 7.1%増

(事業の目的及び概要)

地域住民の生命と財産を守り、住民の隣保協同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、災害による被害の防止と軽減を図るため、38 自主防災会組織の育成に努める。

- (1) 各自主防災会等による消火器取扱訓練、可搬ポンプ取扱訓練、炊き出し訓練、防災備蓄倉庫資機材取扱訓練等を実施
(2) 碧南市総合防災訓練を実施

(事業の成果)

各地区で防災訓練等が実施され地域防災力の向上に寄与した。

5 南海トラフ地震強化地域対策事業

予算現額	3,665,000 円 (1,294,000 円)	183.2%増
決算額	2,803,393 円 (962,844 円)	191.2%増

(1) 災害発生時軽減対策事業

	0 円

(事業の目的及び概要)

南海トラフ地震等の発生に備え被害の軽減を図るための市民啓発に要する経費。

(事業の成果)

令和6年度は、協定締結団体にてワークショップ内で防災に関する講話を行ったため費用は発生しなかった。

(2) 防災情報メールサービス事業

	1,086,843 円

(事業の目的及び概要)

へきなん防災メールや碧南市LINE公式アカウントによる地震や気象、火災等の情報配信に要する経費。

(事業の成果)

地震や気象、火災等の防災情報をメール、LINEまたは固定電話により配信した。

受信件数 14,793 件 (令和7年3月末)

(3) 防災情報表示板維持管理事業

	1,716,550 円

(事業の目的及び概要)

避難施設看板、標高記載看板等の修繕、設置及び撤去等維持管理に要する経費。

(事業の成果)

各種看板等の設置、撤去及び修繕を行い、維持管理を適切に行った。

一時退避場所看板設置 1 か所 (東町内会館)

避難所看板設置 1 か所 (碧南高等学校体育館)

避難所看板撤去 4 か所 (棚尾ふれあい館、南部市民プラザ、日進公民館、川口農業センター)

6 防災施設維持管理事業

予算現額	40,915,000 円 (22,734,000 円)	80.0%増
決算額	38,489,871 円 (21,132,540 円)	82.1%増

(1) 防災倉庫維持管理事業

	1,618,265 円

(事業の目的及び概要)

防災倉庫及び防災備蓄倉庫の維持管理に要する経費。

(事業の成果)

防災倉庫及び防災備蓄倉庫の維持管理を適切に行った。

(2) 防災の家維持管理事業

	141,996 円

(事業の目的及び概要)

防災の家にかかる維持管理経費。

(事業の成果)

防災の家の清掃を伏見屋区に委託し、維持管理を適切に行った。

(3) 災害備蓄品整備事業

	25,081,083 円

(事業の目的及び概要)

南海トラフ地震等に備えた、非常食や飲料水、便袋等の備蓄に要する経費。

(事業の成果)

南海トラフ地震等に備えた、非常食や飲料水、便袋等の備蓄品を購入した。

非常食 クラッカー 16,590食

非常食 アルファ米 9,150食

飲料水 20ペットボトル 2,412本

災害用排便処理袋セット 171,400セット

(4) 防災行政無線維持管理事業 4,531,732 円

(事業の目的及び概要)

愛知県防災行政無線運営協議会負担金及び防災行政無線保守点検委託等に要する経費。

(事業の成果)

職員の無線従事者講習会への参加及び防災行政無線保守点検を行い、防災行政無線の管理運用を行った。また、災害時巡視用の I P 無線を 27 台導入した。

(5) 同報無線維持管理事業 5,374,903 円

(事業の目的及び概要)

同報無線保守点検委託等に要する経費。

(事業の成果)

同報無線保守点検を行い、維持管理を適切に行った。

(6) 防災車両維持管理事業 213,629 円

(事業の目的及び概要)

防災車両の維持管理に要する経費。

(事業の成果)

資機材搬送車及び広報車両の法定点検を行い、維持管理を適切に行った。

(7) 避難所資機材維持管理事業 1,528,263 円

(事業の目的及び概要)

避難所資機材倉庫等に配備されている物品の維持管理に要する経費。

(事業の成果)

資機材倉庫内の物品の補充、ポータブル電源及び充電用ソーラーパネルの購入を行い、避難所機能の充実を図るとともに、維持管理を適切に行った。

7 防災費臨時事業

予算現額 19,729,000 円 (17,319,000 円) 13.9%増

決算額 15,886,181 円 (17,230,281 円) 7.8%減

(1) 防災費臨時事業 15,575,531 円

(事業の目的及び概要)

最新の碧南市のハザードマップ等について市民及び市内の事業所に対して漏れなく、情報をわかりやすく提供するとともに、防災意識の啓発を図るためハザードマップ等を印刷し碧南市全域へ配布を行った。また、避難所等の見直しを行う中で、新たな指定避難所となった西端中学校に特設公衆電話の収納ボックスを設置した。廃止となった棚尾ふれあい館については資機材倉庫の撤去工事を行った。

(事業の成果)

ハザードマップの配布を行うことで、市民の防災意識向上に努めた。また、やさしい日本語版も作成し、日本語教室や外国人相談窓口で配布を行うことで、外国人の防災意識向上にも寄与した。

ア 委託料（ハザードマップ浸水想定データ修正委託、ハザードマップ配布等業務委託、西端中学校特設公衆電話収納ボックス設置委託） 15,482,031 円

イ 工事請負費（棚尾ふれあい館避難所資機材倉庫撤去処分工事費） 93,500 円

(2) 被災地域支援対策事業 310,650 円

(事業の目的及び概要)

当市職員を被災地に派遣するための旅費等の経費。

(事業の成果)

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地である石川県から愛知県に対し、各種業務支援のための職員派遣要請があった。そのため、愛知県より県内市町村においても支援要請があり、当市は住家の被害認定調査のため石川県志賀町へ職員を令和5年度に引き続き3名派遣した。

県外普通旅費（交通費、宿泊費等）

1目 教育委員会費	庶務課	SDGs	
予算現額	3,293,000 円	決算額の	
決算額	3,170,510 円	財源内訳	一般財源 3,170,510 円
(前年度決算額	3,266,990 円)		

説明

1 教育委員会運営事業

予算現額 3,293,000 円 (3,554,000 円) 7.3%減

決算額 3,170,510 円 (3,266,990 円) 3.0%減

(1) 教育委員会運営事業

3,090,510 円

(事業の目的及び概要)

学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化・スポーツに関する事務を管理し及びこれを執行するために設置された行政委員会である。

(事業の成果)

次のとおり教育委員会を開催し、教育行政の適切な運営に寄与した。

区 分	開催日数 (回)	開催内容 (件)				
		例 規	人 事	教育指導	その他	計
定例会	12	4	5	15	21	45
臨時会	1	0	1	0	0	1
計	13	4	6	15	21	46

(2) 教育委員会点検評価事業

80,000 円

(事業の目的及び概要)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会が実施した事業、施策等について、点検評価を実施する。

(事業の成果)

教育委員会の事業、施策等について自己評価を行い、愛知教育大学名誉教授の野平慎二氏に依頼し、外部評価を受けた。この結果、次年度以降の事業、施策等の課題を明らかにすることができた。

2目 事務局費	庶務課	SDGs	
予算現額	159,176,000 円	決算額の	県支出金 12,000 円
決算額	150,138,375 円	財源内訳	その他特財 1,988,831 円
(前年度決算額	138,336,438 円)		一般財源 148,137,544 円

説明

1 庶務課事務管理事業 予算現額 152,716,000 円 (135,031,000 円) 13.1%増
決算額 143,756,422 円 (131,577,691 円) 9.3%増

- (1) 教育長人件費
- (2) 一般職人件費 (14人)
- (3) 庶務課事務管理事業

2 学校基本調査事業 予算現額 13,000 円 (13,000 円) 増減無
決算額 12,918 円 (12,947 円) 0.2%減

(事業の目的及び概要)

文部科学省の基幹統計で、小中学校及び幼稚園に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的としている。

(事業の成果)

基本的事項を調査し、基礎的データを得た。

3 遠距離通学児童通学費補助事業 予算現額 14,000 円 (98,000 円) 85.7%減
決算額 0 円 (98,000 円) 皆減

(事業の目的及び概要)

碧南市遠距離通学費補助金交付規程に基づき、片道の通学距離が3キロメートル以上の小学生の自転車通学に要する保護者の経費負担の軽減を図ることを目的としている。

入学時に1人当たり14,000円を交付する。

(事業の成果)

交付対象者数0人 0円

4 私立高等学校等授業料等補助事業 予算現額 4,234,000 円 (3,764,000 円) 12.5%増
決算額 4,233,110 円 (3,763,564 円) 12.5%増

(事業の目的及び概要)

碧南市私立高等学校等授業料等補助金交付規程に基づき、私立高等学校等に在籍する者の授業料等の補助を行うことにより、保護者の経費負担の軽減及び公私立学校間における保護者負担の格差是正を図るとともに、教育の機会均等の原則を確保し、もって私立学校教育の振興に寄与することを目的としている。

(事業の成果)

補助金は、私立高等学校又は私立専修学校の高等課程に在籍する者の保護者に対して交付した。

年額 12,000 円 81人 972,000 円
年額 18,000 円 171人 3,078,000 円

授業料実際負担額 15人

183,110円

受給者数の推移

区 分	4年度	5年度	6年度
12,000円	63人	77人	81人
18,000円	127人	157人	171人
実際負担額	4人	2人	15人
計	194人	236人	267人

5 まなびさぽーと資金支給事業

予算現額 669,000円(793,000円) 15.6%減

決算額 621,000円(725,000円) 14.3%減

(事業の目的及び概要)

碧南市まなびさぽーと資金支給に関する条例に基づき、教育振興を図り将来社会に有用な人材を育成するため、学校教育法の規定による高等学校及び中学校に在学する生徒に対する学資の支給を行うことを目的としている。

(事業の成果)

(1) 高校生 月額9,000円×12月×5人

540,000円

受給者数の推移

区 分	4年度	5年度	6年度
高校生	9人	6人	5人

(2) 中学生

81,000円

科学教育に関する優秀な研究をした個人・グループに支給した。

ア 最優秀賞 20,000円 1点

研究テーマ：素晴らしき改良メダカの世界③

イ 優秀賞 10,000円 1点

研究テーマ：球の反発力と音の関係を探る

ウ 準優秀賞 5,000円 2点

研究テーマ：(ア) 鶏の卵の研究～卵の黄身の色は変えられるか？～

(イ) 髪の毛のキューティクル観察～ストレート、ツヤだし大作戦～

エ 努力賞 2,000円 11点

オ きらり賞 1,000円 19点

6 まなびさぽーと基金積立事業

予算現額 1,368,000円(2,006,000円) 31.8%減

決算額 1,367,831円(2,005,128円) 31.8%減

(事業の目的及び概要)

まなびさぽーと資金に必要な財源を確保するために、当該基金を設置し、積立てるものである。

(事業の成果)

積立額は、基金利子分及び寄附によるものであった。これに対して、取崩額はまなびさぽーと資金支給事業に充当した。

基金の状況	5年度末現在高	6年度積立額	6年度取崩額	6年度末現在高
	4,708,284円	1,367,831円	621,000円	5,455,115円

一般会計	歳出	10款	教育費
		1項	教育総務費
7 まなびさぼーと資金支給審査会運営事業	予算現額	30,000 円 (30,000 円)	増減無
	決算額	15,094 円 (22,108 円)	31.7%減
(事業の目的及び概要)			
教育委員会の諮問に応じ、まなびさぼーと資金の支給対象者について、当該審査会を設置し審査する。			
審査会は8人以内で組織され、中学校長及び識見を有する者を教育委員会が任命する。			
(事業の成果)			
委員は6人で2回開催し、まなびさぼーと高校生及び中学生の認定について審査した。			
8 学校等情報配信事業	予算現額	132,000 円 (132,000 円)	増減無
	決算額	132,000 円 (132,000 円)	増減無
(事業の目的及び概要)			
スマートフォン、パソコン等のメールを使用して、不審者情報、学校行事等の日程変更等に関する情報配信を行う。			
(事業の成果)			
学校から保護者等への情報伝達に利用されている。			

3 目 教育指導費	学校教育課	S D G s		
予算現額	295,312,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	4,011,000 円
決算額	277,844,141 円		県支出金	1,584,000 円
(前年度決算額	223,774,749 円)		その他特財	515,582 円
			一般財源	271,733,559 円

説 明

1 学校教育課事務管理事業 予算現額 5,098,000 円 (3,170,000 円) 60.8%増
決算額 4,287,945 円 (2,810,824 円) 52.6%増

2 学校教材・資料整備事業 予算現額 48,359,000 円 (11,232,000 円) 330.5%増
決算額 48,346,061 円 (10,548,865 円) 358.3%増

(事業の目的及び概要)

小中学校における学習、指導のために、学校教材・資料を整備する。

(事業の成果)

(1) 小中学校副読本等充実事業 9,901,410 円

児童生徒の学習をより豊かなものにするため、教科用図書以外に補助的な学習教材を与え、学習の一層の強化・充実を図った。

道徳副読本・ことばのきまり等

(2) 小中学校指導用資料充実事業 603,510 円

小中学校教師用教科書・指導書、特別支援学級用資料・教材、外国人児童生徒指導用資料の充実を図った。

(3) 小中学校教科書改訂対応事業 37,841,141 円

小学校の教科書改訂に伴い、小学校用の教師用教科書・指導書・教材を購入した。

3 生徒指導事業 予算現額 98,334,000 円 (91,340,000 円) 7.7%増
決算額 90,896,720 円 (82,515,424 円) 10.2%増

(事業の目的及び概要)

碧南市の小中学校の児童・生徒が心身ともに、より豊かな学校生活が送れるよう教育的諸活動を支援する。

(事業の成果)

(1) 教育相談事業 173,546 円

・教育相談…相談ケース人数 157 人 (面接回数：延べ 793 回)

(※R5…相談ケース人数 115 人 面接回数：延べ 654 回)

・適応指導教室…27 人

(※R5…24 人)

(2) 小中学校文化部運動部代表派遣事業 2,101,311 円

大会の参加費や負担金の補助、楽器運搬代、上位大会に出場する選手・団体の奨励費

(3) 音楽会実施事業 281,572 円

市内小中学校音楽会

(4) 特別支援教育・通級教室実施事業 309,897 円

- ・交流活動…校内即売会の実施
- ・啓発活動…年間2回 機関誌「ささえあい」発行、広報「へきなん」掲載
- ・通級教室…小学校7校、中学校4校

対象児童：97人（言語障害、情緒障害、LD）

- (5) 生き方発見チャレンジ活動事業 390,495 円
- ・職場体験学習…企業、公共施設等での職場体験を実施し、働くことや将来の生き方の方向性等を学んだ。
- (6) 外国人児童生徒指導事業 4,512,000 円
- ・外国人児童生徒に対して、巡回指導や保護者会、個人懇談の通訳等
ポルトガル語協力者2人、スペイン語協力者2人、
その他の言語協力者3人（インドネシア語、フィリピン語、ベトナム語）
- (7) 小中学校心の教室相談事業 18,265,259 円
- ・小学校（年間）相談回数…1,917回、遊び回数…1,492回
その他…1,505件、児童支援…3,589校時
（※R5 … 相談 1,485回、遊び 1,327回、他 1,149件、支援 3,507校時）
 - ・中学校（年間）面接相談…1,485件、電話相談…16件
その他…1,069件、生徒支援…4,246校時
（※R5 … 面接 839件、電話 34件、他 2,488件、支援 3,298校時）
- (8) 特別支援教育推進事業 13,000 円
- 発達障害児等への特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育推進委員会を開催する。また、専門家による巡回指導を実施し、支援の方法などを指導する。
- 特別支援教育推進委員会では、幼・保と小中学校、相談室等との連携を進めるための方策について協議した。個別の教育支援計画の活用や校内の支援体制のあり方、相談活動を今後の支援に生かすことなどを話し合った。また、発達障害児の支援や就学支援に生かした。
- (9) スクールカウンセラー活用事業 5,170,000 円
- 全小学校において、スクールカウンセラーを活用し、相談活動を行う。
- （5中学校には県費でカウンセラー配置）
- 年間相談件数 … 568件、年間相談時間 … 940時間
（※R5 … 相談件数 693件、相談時間 953時間）
- 相談内容…発達障害・友人関係・家庭生活・不登校・いじめ等
- (10) 学校生活支援事業 59,679,640 円
- スクールアシスタント配置事業（会計年度任用職員47人）
- 発達障害や身体に障害のある児童生徒の自立をめざして支援し、安心して充実した生活ができるための一助とすることを目的とする事業。
- また、言語の支援を必要とする外国籍児童も増加傾向にあるため、令和元年10月から通訳のできるアシスタントを増員し、支援を行っている。
- 47人のスクールアシスタントを要望のあった小学校7校に配置した。
- 対象児童は心身ともに安心、安全な学校生活を送りながら、自立に向けて成長している。

一般会計	歳出	10款 1項	教育費 教育総務費
4 教職員研究・研修事業	予算現額 4,975,000 円 (4,975,000 円) 増減無 決 算 額 4,896,800 円 (4,909,174 円) 0.3%減		

(事業の目的及び概要)

学校経営の充実と教職員の資質向上のために各種研修を実施する。

(事業の成果)

(1) 現職教育研修委託事業	1,995,000 円
(2) 学校教員・教諭研修事業	118,850 円
新規採用教員研修会…市内6回、管理職研修会…1回	
指導者研修会…1回、教科指導員研修会…1回	
普通救命講習会…1回 (eラーニング)	
小学校教員実技研修会…3回 (夏季3回)	
学校訪問指導…11小中学校	
(3) 教職員研究指導委託事業	2,773,000 円
・小中学校生徒指導・中学校進路指導・碧南市教育研修会	
(4) 教育研究室・教育論文募集事業	9,950 円
効果的な指導法、適切な教育理論の確立を図るための研究を委嘱し、教育水準の向上を図ることを目的とする。研究紀要を毎年発刊する。	
教育論文募集は毎年実施する。	
各種研修、指導を実施し、教職員の資質・指導力向上を図った。	

5 魅力ある学校づくり実施事業	予算現額 1,465,000 円 (1,531,000 円) 4.3%減 決 算 額 1,295,199 円 (1,479,868 円) 12.5%減

(事業の目的及び概要)

地域の特色を生かした魅力ある教育活動を展開し、地域に開かれた、地域に信頼される学校づくりをめざすために行う事業である。

(1) 新川和太鼓クラブ充実事業 (新川小)	94,000 円
(2) 中央小いきいきふれあい活動事業 (中央小)	34,554 円
(3) 地域の伝統と文化を引き継ぐクラブ活動事業 (大浜小)	89,000 円
(4) 地域と連携した藤井達吉子ども美術館づくり事業 (棚尾小)	100,000 円
(5) 日進ふれ愛生き生きランド事業 (日進小)	99,466 円
(6) FBC活動事業 (鷺塚小)	191,661 円
(7) エコクラブによる油ヶ淵の水質調査活動事業 (西端小)	35,000 円
(8) 地域とのふれあいを深める活動 (陶芸・園芸) (新川中)	132,049 円
(9) 「敬と愛」を高める体験・交流活動事業 (中央中)	174,469 円
(10) ICT活用での不登校対応及びICTスキル習得事業 (南中)	136,000 円
(11) 地域の人とふれあい豊かな心を育む緑化活動事業 (東中)	110,000 円
(12) 地域協働の学校づくり事業 (西端中)	99,000 円

(事業の成果)

各学校が地域の特色を生かした魅力ある教育活動を展開した。地域の人・もの・ことの財産を教育活動に利用することができ、地域に信頼され認められる教育活動を展開することができた。

一般会計	歳出	10款	教育費
		1項	教育総務費
6 指導法改善事業	予算現額	299,000 円 (286,000 円)	4.5%増
	決算額	299,000 円 (247,000 円)	21.1%増
(事業の目的及び概要)			
授業実践における指導理念・指導方法の改善・工夫等を指導していただけるアドバイザーを希望する小中学校へ派遣し、指導法改善をとおして教育の質の向上を図る。			
・新川小学校	西尾市スクールカウンセラー 山口力 先生		
	テーマ「不登校と児童・保護者理解について」		
	テーマ「保護者対応と教職員のメンタルヘルス～保護者との関係づくりと職場の人間関係づくり～」		
	豊田大谷高等学校非常勤講師 近藤信彦 先生		
	テーマ「主体的に関わり合い、他者と協働しながら、深い学びができる授業づくり」		
・中央小学校	愛知教育大学准教授 高綱睦美 先生		
	テーマ「学校全体としてキャリア教育に取り組むための視点とその実践方法」		
・大浜小学校	愛知教育大学准教授 高綱睦美 先生		
	テーマ「豊かな心をもつ浜っ子の育成～キャリア教育の視点 を大切にした全教科・領域の取組を通して～」		
	愛知教育大学准教授 高綱睦美 先生		
	テーマ「大浜小学校が目指す浜っ子キャリアパワーを生かした実践について」		
	山本学園 岩井伸江 先生		
	テーマ「新聞や新聞記事を使った授業実践を学ぶ」		
	ピアニストクラリネット奏者 太田紗耶香 先生、マゾン優貴葉 先生		
	テーマ「音楽鑑賞の指導法を学ぶ」		
・棚尾小学校	愛知教育大学教授 青山和裕 先生		
	テーマ「ひと・もの・こととかかわって学び、考えを深める棚尾っ子の育成ーTポイント（教師のかかわり）とTタイム（子ども同士のかかわり）を中心にー」		
	岐阜聖徳学園大学准教授 山田貞二 先生		
	テーマ「ひと・もの・こととかかわって学び、考えを深める棚尾っ子の育成ーTポイント（教師のかかわり）とTタイム（子ども同士のかかわり）を中心にー」		
	豊田紡織実業団長距離チームキャプテン 聞谷賢人 先生		
	テーマ「夢や目標、大切にしていること 長距離の走法とその指導」		
・日進小学校	岐阜聖徳学園大学准教授 山田貞二 先生		
	テーマ「豊かな心をもち 他者と共によりよく生きる子どもの育成～家庭・地域社会との連携を通して～」		
	元福井大学教授 三上肇 先生		
	テーマ「跳び箱の指導方法についてー安全の配慮と指導上の留意点ー」		
	元小中学校教員 奥谷初子 先生		
	テーマ「合唱の指導方法について」		
・西端小学校	豊田大谷高等学校非常勤講師 近藤信彦 先生		
	テーマ「話し合いで考えが深まる授業づくり」		

一般会計	歳出	10款	教育費
		1項	教育総務費
・新川中学校	あいせい紀年病院公認心理師臨床心理士 中西和紀 先生		
	テーマ「発達障害理解と心理検査」		
・中央中学校	岡崎市教育アドバイザー 三浦敦子 先生		
	テーマ「学級担任としての合唱指導」		
・東中学校	愛知教育大学教授 鈴木健二 先生		
	テーマ「他との関わりで学びを深める生徒の育成 ー楽しい道德授業と人間関係づくりを通してー」		
・西端中学校	株式会社クリーン商事代表取締役 鈴木康司 先生		
	テーマ「自主性と主体性をもって生きる生徒の育成 ～そうじを通して見えるもの～」		
	へきなん中央クリニック医師長 神谷圭亮 先生		
	テーマ「命の尊さや命との向き合い方について考える ～がん教育～」		

(事業の成果)

各校の研究テーマに即して、授業研究や講義等の研修を行うことで、教員の授業力向上を図ることができた。また、年々増加している若手教員にとっても具体的な指導の在り方について学べる機会となっており、有意義な事業となっている。

7 学校教育力向上指定研究委託事業

予算現額 500,000 円 (500,000 円) 増減無
決 算 額 500,000 円 (500,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

市教育委員会が指定する研究指定校が、3年間、設定したテーマで研究を進め、学校の教育活動を充実させるとともに、3年目に研究発表会を開催し、市内外の教職員に研究の成果を報告することで、その成果の普及に努める。

(事業の成果)

- ・研究1年目 西端小学校 テーマ決定、基礎研究
- ・研究2年目 東中学校 研究実践
- ・研究3年目 鷺塚小学校 研究発表

8 療休等緊急対応代替教職員配置事業

予算現額 350,000 円 (350,000 円) 増減無
決 算 額 47,000 円 (202,000 円) 76.7%減

(事業の目的及び概要)

療休等により、教員及び事務職員等に急な欠員が生じたときに、県費代替教員等が配置されるまでの間、市費により配置し対応する。

(事業の成果)

1小学校において、県の配置までの期間に年間47時間配置した。代替教職員の配置により、授業等、学校運営が順調に実施できた。

9 少人数指導授業推進事業（会計年度任用職員8人）

予算現額 27,091,000 円 (24,728,000 円) 9.6%増
決 算 額 24,486,180 円 (24,302,524 円) 0.8%増

(事業の目的及び概要)

小学校1、2年生を対象に1クラス30人を超える学校に非常勤講師を1名配置し、少

一般会計	歳出	10款 1項	教育費 教育総務費

人数指導に取り組む。対象教科は、国語、算数を主とし、生活科、体育等の教科でのチームティーチングも含め、個に応じたきめ細かな指導の充実に努めることを目的とする。

非常勤講師配置校 6校で8人を配置

1年生 新川小、棚尾小、鷺塚小、西端小

2年生 新川小、大浜小、日進小、鷺塚小

(事業の成果)

少人数によりきめ細かな指導が行えるため、基礎・基本の学習事項や基本的な生活習慣の習得を図ることができた。また、教員の児童一人一人にかかわる時間が増えたため、児童に確かな学力の定着を図ることができた。

10 小学校外国語活動・外国語科事業 予算現額 19,800,000 円 (19,800,000 円) 増減無
決算額 19,800,000 円 (19,800,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

5、6年生の「外国語科」70時間のうち35時間と、3、4年生の「外国語活動」35時間にALT（外国語指導助手）を派遣し、学級担任等とチームティーチングで授業を実施した。ALTの派遣により、英語に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てることを目的としている。(ALT4人)

(事業の成果)

ALTを通して生きた英語にふれることで、楽しく英語を学ぶことができた。授業の流れや教材の検討だけでなく、事前にALTとの打ち合わせを行い、実際の授業をより有効なものにしている。

11 学校図書館活動推進事業（司書職員）（会計年度任用職員8人）

予算現額 13,060,000 円 (11,984,000 円) 9.0%増

決算額 11,706,622 円 (10,104,227 円) 15.9%増

(事業の目的及び概要)

図書館相談活動、貸し出し時間の確保、蔵書の管理、地域ボランティアとの連携を行い、学校図書館の充実に努める。

(事業の成果)

全小学校に1人ずつ、中学校に1人を巡回方式で図書館司書を配置し、年間1,020時間の業務にあたった。小学校の図書指導の授業では、担任と連携しながら読み聞かせやレファレンスなどを行った。さらに休み時間も専門の常駐者がいることで、利用がしやすい環境を整えることができ、利用指導の工夫をすることもできた。

小中学校共に管理運営面では、本の修繕、曝書、新刊受入や古い本の廃棄を適切に実施し、図書室の学習環境がより整備された。

12 中学校英語科事業

予算現額 9,900,000 円 (9,900,000 円) 増減無

決算額 9,900,000 円 (9,900,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

中学校における英語教育のため、ALTを市内全中学校へ派遣している。各学級、年間約35時間ずつ勤務し、教科担任とともにチームティーチングで生徒の指導にあたる。英語を使ったコミュニケーションを中心とした活動を繰り返す中で、英語指導の充実に努

一般会計	歳出	10款 1項	教育費 教育総務費
める。(ALT 2人) (事業の成果) ALTとの会話を多く取り入れた授業の中で、生徒は楽しく英語を学んでいる。生の英語に触れ、正しい発音を学んでいる。			
13 中学校生徒指導対応充実事業（会計年度任用職員 5人）			
		予算現額 14,761,000 円（15,572,000 円）5.2%減	
		決算額 13,159,386 円（13,634,102 円）3.5%減	
(事業の目的及び概要) 中学校において、生徒指導上、特別の注意が必要な生徒に対し、学校生活を円滑に営むための特別の指導が行われるように、市独自の措置として生徒指導加配対応非常勤講師を各校に1人配置し、生徒の健全育成と問題行動の予防や解決を図る。			
(事業の成果)			
・市内5校すべてに配置されたことにより、どの学校も生徒指導主事の授業時間数が軽減された。そのため、生徒指導主事の校内生徒指導にかかる時間が増加し、学校全体が落ち着いた状態となった。 ・生徒指導加配対応非常勤講師の配置により、時間的な余裕ができた生徒指導主事を中心に、校内規則の徹底や規範意識の高揚に取り組むことができた。 ・全校生徒が落ち着きつつあり、全校集会や生徒集会、また学年集会などが、静かに、しっかりできるようになった。			
14 小中学校ハートフレンド派遣事業			
		予算現額 2,755,000 円（2,768,000 円）0.5%減	
		決算額 2,190,135 円（2,215,160 円）1.1%減	
(事業の目的及び概要) 市内小中学校において、不登校や問題行動など、問題を抱える児童・生徒のための相談員（ハートフレンド）として教員志望の大学生等を活用し、訪問指導や学習支援などに取り組み、児童生徒の支援に効果的な取り組みについて調査研究を行う。			
(事業の成果)			
32人のハートフレンドで、学校において児童生徒支援を行ったり、個別に家庭訪問や学校外で相談活動を行ったりした。延べ時間数にして約2,300時間の相談活動であった。その結果、学校での児童生徒支援においては、心に悩みをもった児童生徒の早期の相談活動により、不登校につながっていくことを未然に防ぐことができた。また定期的な家庭訪問や相談活動により、生活リズムが改善し、不登校傾向の児童生徒の表情が明るくなり、友達と上手に接することができるようになる成果がみられた。			
15 学校教育研究等受託事業			
		予算現額 302,000 円（1,000,000 円）69.8%減	
		決算額 300,000 円（360,000 円）16.7%減	
(事業の目的及び概要) 学校教育の資質向上を図るため、特に必要な研究領域に関する調査研究等を県より受託し実施する。			

(事業の成果)

中央中学校において、キャリアコミュニティプロジェクト「未来」を実施。「ものづくり」に関わる方々から体験談等を聴くことで、生徒たちが、普段知ることのできない課程や製品の魅力を知り、進路選択の幅を広げることにつなげることができた。

16 みどりの学校実施事業

予算現額 17,722,000 円 (15,477,000 円) 14.5%増

決算額 17,720,134 円 (14,263,419 円) 24.2%増

(事業の目的及び概要)

豊かな自然環境の中で集団宿泊を通じ、児童生徒と自然とのふれあいや人間的ふれあいを深めるとともに、地域社会への理解を深めるなど貴重な体験を与え、児童生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図る。

(事業の成果)

大自然の中での集団生活において、子どもたちは生き生きと活動することができ、満足感を感じることができた。宿泊場所では、声をかけあい部屋の整頓や清掃等を協力してやり切ることができた。これらの経験が、子どもたちの自立を促すとともに、友達関係を深めることとなった。小学校は1泊2日、中学校は2泊3日で全学校実施することができた。

・小学校 参加者 694人、時期 9月、場所 愛知県野外教育センター

・中学校 参加者 696人、時期 6月・9月・11月、場所 愛知県旭高原自然の家

17 日本語教育支援充実事業

予算現額 14,488,000 円 (14,277,000 円) 1.5%増

決算額 14,487,790 円 (14,276,220 円) 1.5%増

(事業の目的及び概要)

日本語教育が必要な児童生徒に対して、学習を通じ、学校生活や社会生活に関するルールを理解し、最低限の意思疎通が可能となるよう日本語の初期指導を行った。

(事業の成果)

6教室開設し、51人の児童生徒の受入れを行った。

18 小学校英語専科事業（会計年度任用職員2人）

予算現額 8,072,000 円 (7,435,000 円) 8.6%増

決算額 7,097,201 円 (5,299,009 円) 33.9%増

(事業の目的及び概要)

専門的できめ細やかな指導により確かな英語の学力の定着を図るため、小学校5、6年を中心に必要な学校に対し、英語専科非常勤講師を配置する。

(事業の成果)

県費英語専科教員未配置の小学校に2人配置し、充実した英語教育を実施することができた。

19 緊急対応修学旅行支援事業

予算現額 7,000 円 (300,000 円) 97.7%減

決算額 6,800 円 (51,070 円) 86.7%減

(事業の目的及び概要)

体調不良等の緊急時にタクシーで通院する場合に対して支援を行い、安心安全な修学旅

一般会計	歳出	10款 1項	教育費 教育総務費

行を実施するとともに保護者負担軽減を図ることを目的とする。

(事業の成果)

東中学校が利用した。

20 保健指導充実事業

予算現額 7,974,000 円 (7,050,000 円) 13.1%増

決算額 6,421,168 円 (6,355,863 円) 1.0%増

(事業の目的及び概要)

大規模校に養護教諭非常勤講師を配置し、養護教諭の負担を軽減する。(R4～)

養護教諭が宿泊学習等で不在になる学校へ養護教諭支援員を派遣する。(H28～)

(事業の成果)

養護教諭免許所持者等会計年度任用職員を大規模校（新小、南中）に2人配置した。配置校以外の学校の児童生徒の身体測定や健康診断時の応援も行った。修学旅行、みどりの学校対応で養護教諭支援員6人を368時間配置した。養護教諭が不在にならずにすみ、保健室へ来室する児童生徒の対応ができ、安心安全な学校運営ができた。

1目 学校管理費	庶務課 学校教育課	SDGs	
予算現額	510,621,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金 40,400,000 円
決算額	483,638,439 円		その他特財 218,091,703 円
(前年度決算額	306,218,961 円)		一般財源 225,146,736 円

説明

1 小学校管理費配分事業

予算現額 15,867,000 円 (15,870,000 円) 0.0%減

決算額 15,371,462 円 (15,236,525 円) 0.9%増

(事業の目的及び概要)

学校の管理運営に必要な経常経費（消耗品、食糧費、印刷製本費、燃料費等）を各学校へ配分する。

(事業の成果)

学校へ配分することにより、効率的な予算執行を行った。

新川小学校	2,730,613 円
中央小学校	2,315,289 円
大浜小学校	2,231,281 円
棚尾小学校	2,272,721 円
日進小学校	1,674,580 円
鷺塚小学校	2,321,578 円
西端小学校	1,825,400 円

2 小学校施設維持管理事業

予算現額 111,635,000 円 (114,502,000 円) 2.5%減

決算額 109,004,569 円 (100,218,971 円) 8.8%増

(事業の目的及び概要)

学校施設の保守点検や修繕を実施し、適切な維持管理を行う。

(事業の成果)

施設の修繕や保守点検を行い、児童が安全で快適に利用できるよう維持管理に努めた。

消耗品費（蛍光灯、修繕用部品・工具等）	1,550,301 円
燃料費（プロパンガス料）	6,368,379 円
光熱水費（電気料、上下水道料）	64,988,122 円
修繕料（各小学校施設修繕等）	8,352,206 円
役務費（簡易専用水道検査）	98,560 円
委託料（ごみ収集委託、樹木剪定委託等）	24,535,153 円
使用料及び賃借料（キャッチ利用料、NHK受信料等）	1,977,417 円
工事請負費（舗装復旧工事、通学路道路標識撤去工事）	1,028,500 円
原材料費（グラウンド整地用山砂等）	105,931 円

3 小学校スクールヘルパー派遣事業

予算現額 1,583,000 円 (1,510,000 円) 4.8%増

決算額 1,582,502 円 (1,502,709 円) 5.3%増

(事業の目的及び概要)

校内の環境美化作業、簡易な修繕、校内安全点検等を行う人材を各学校に派遣し、学校

一般会計	歳出	10款 2項	教育費 小学校費		
施設の管理運営業務を支援する。					
(事業の成果)					
スクールヘルパーの派遣により、校内の美化、安全が保たれ、教員が児童と向き合う時間が確保された。					
委託料（スクールヘルパー派遣）	1,582,502 円				
4 小学校管理用備品整備事業	予算現額 7,146,000 円（11,565,000 円） 38.2%減 決 算 額 7,128,770 円（11,514,479 円） 38.1%減				
(事業の目的及び概要)					
小学校の管理用備品・消耗品の整備・修繕を行う。					
(事業の成果)					
老朽化等により使用できなくなった備品等を新たに整備することにより、学校の円滑な管理運営を行った。					
消耗品費（事務椅子、児童用机等）	3,696,737 円				
修繕料（プリンタ、ストーブ等修繕）	331,100 円				
備品購入費（デジタル身長体重計等）	3,100,933 円				
5 小学校災害賠償補償給付事業	予算現額 485,000 円（487,000 円） 0.4%減 決 算 額 334,626 円（396,714 円） 15.7%減				
(事業の目的及び概要)					
全国市長会学校災害賠償保険の加入及び碧南市学校災害補償給付金の支払いを行う。					
(事業の成果)					
災害賠償補償保険料 3,951 人	294,626 円				
入院補償給付金 4 人	40,000 円				
受給者数の推移					
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
入院補償給付金受給者	2 人	4 人	2 人	7 人	4 人
6 小学校施設長寿命化事業	予算現額 346,360,000 円（192,000,000 円） 80.4%増 決 算 額 325,592,300 円（154,375,100 円） 110.9%増				
(事業の目的及び概要)					
老朽化した学校施設を計画的に修繕し、安全面・機能面の改善を図る。					
(事業の成果)					
委託料	27,285,500 円				
西端小学校北館トイレ改修事業設計業務委託	8,074,000 円				
鷺塚小学校 2・3 棟トイレ改修事業設計業務委託	10,961,500 円				
大浜小学校南館トイレ改修事業設計業務委託	8,250,000 円				
工事請負費	298,306,800 円				
中央小学校トイレ改修工事	173,151,000 円				
新川小学校トイレ改修工事	125,155,800 円				

一般会計	歳出	10款	教育費
		2項	小学校費
7 小学校施設長寿命化事業（繰越明許費）	予算現額	10,000,000 円（0 円）	皆増
	決算額	7,370,000 円（0 円）	皆増
(事業の目的及び概要)			
老朽化した学校施設を計画的に修繕し、安全面・機能面の改善を図る。			
(事業の成果)			
委託料		7,370,000 円	
新川小学校トイレ改修事業設計業務委託		7,370,000 円	
8 小学校管理費臨時事業	予算現額	17,545,000 円（24,837,000 円）	29.4%減
	決算額	17,254,210 円（22,974,463 円）	24.9%減
(事業の目的及び概要)			
小学校施設の維持管理、補修等学校管理に要する臨時的な経費			
(事業の成果)			
各種点検結果による修繕を行うことにより、適切な施設整備を行うことができた。			
消耗品費（すのこ、ポケットークSIMカード等）		551,100 円	
修繕料（新川小学校プール用滅菌機取替修繕等）		11,015,610 円	
委託料		286,000 円	
小学校理科用薬品等廃棄処分業務委託		167,200 円	
中央小学校アスベスト定性分析調査委託		118,800 円	
工事請負費		5,142,500 円	
日進小学校エレベーター機能維持工事		2,596,000 円	
日進小学校図書室エアコン取替工事		1,254,000 円	
空調設備設置工事（中央小学校日本語教室）		1,292,500 円	
備品購入費（視覚障害者用読書器）		259,000 円	

2目 教育振興費	庶務課 学校教育課	S D G s	
予算現額	196,457,000 円	決算額の	国庫支出金 2,077,000 円
決算額	190,509,697 円	財源内訳	一般財源 188,432,697 円
(前年度決算額	176,344,998 円)		

説 明

1 小学校教材費配分事業

予算現額 5,084,000 円 (5,084,000 円) 増減無

決 算 額 4,958,206 円 (5,014,918 円) 1.1%減

(事業の目的及び概要)

授業に必要な教材等に関する経費（消耗品、印刷製本費等）を各学校へ配分する。

(事業の成果)

学校へ配分することにより、効率的な予算執行を行った。

新川小学校	929,380 円
中央小学校	786,000 円
大浜小学校	736,828 円
棚尾小学校	764,424 円
日進小学校	520,996 円
鷺塚小学校	694,958 円
西端小学校	525,620 円

2 小学校教育環境整備事業

予算現額 8,995,000 円 (7,219,000 円) 24.6%増

決 算 額 8,819,338 円 (6,848,057 円) 28.8%増

(事業の目的及び概要)

小学校の教育用備品・消耗品の整備・修繕を行う。

(事業の成果)

老朽化等により使用できなくなった備品等を新たに整備することにより、学校の円滑な教育振興を行った。

消耗品費（パイプ椅子等）	4,494,494 円
修繕料（楽器修繕）	954,630 円
使用料及び賃借料（印刷機リース料）	924,000 円
備品購入費（電子式直線ミシン等）	2,446,214 円

3 小学校図書室充実事業

予算現額 4,601,000 円 (4,638,000 円) 0.8%減

決 算 額 4,546,566 円 (4,606,059 円) 1.3%減

(1) 図書整備事業

4,076,866 円

(事業の目的及び概要)

児童の読書活動を推進するために必要な学校図書館用図書の整備を図る。

(事業の成果)

課題図書及び一般図書の整備を行い、児童の読書活動の推進を行った。

消耗品費（図書館用雑誌等）	220,250 円
委託料（図書表装委託）	339,832 円

一般会計	歳出	10款 2項	教育費 小学校費
備品購入費（図書）	3,516,784 円		
(2) 図書室O A化事業	469,700 円		
（事業の目的及び概要）			
児童の読書活動を推進するために、学校図書コンピュータシステムを導入し、図書室の環境整備を図る。			
（事業の成果）			
使用料及び賃借料（図書システムリース料）	469,700 円		

4 小学校児童就学援助事業 予算現額 29,952,000 円（29,904,000 円）0.2%増
 決算額 26,579,606 円（27,019,991 円）1.6%減

（事業の目的及び概要）

学校教育法の規定に基づき、経済的理由によって就学困難などの児童の保護者に対し、必要な援助をする。

（事業の成果）

学用品費及び学校給食費等を援助することにより、義務教育の円滑な実施に寄与した。

(1) 要保護・準要保護児童就学援助費	382 人	22,905,964 円
(2) 特別支援教育就学奨励費	111 人	3,673,642 円

受給者数の推移

区 分	4 年度	5 年度	6 年度
要保護・準要保護児童就学援助費	344 人	389 人	382 人
特別支援教育就学奨励費	83 人	92 人	111 人
計	427 人	481 人	493 人

5 小学校教育用コンピュータ運営事業 予算現額 31,121,000 円（29,392,000 円）5.9%増
 決算額 29,758,410 円（28,277,638 円）5.2%増

（事業の目的及び概要）

全小学校のコンピュータ室に設置している教育用コンピュータを整備し、情報教育の推進に努める。

（事業の成果）

全小学校のコンピュータ室に設置しているパソコン、プリンタ及びサーバ類の機器の維持管理を適切に実施した。

消耗品費（プリンタトナー等）	2,574,990 円
委託料	5,206,740 円
コンピュータ教室プリンタW i - f i 設定等委託	1,433,740 円
定期保守点検及び緊急サポート等	3,773,000 円
使用料及び賃借料（パソコン各校41台、サーバ各校1台）	21,976,680 円

6 小学校校内LAN運営事業 予算現額 43,858,000 円（31,824,000 円）37.8%増
 決算額 43,151,947 円（31,766,626 円）35.8%増

（事業の目的及び概要）

小学校の各校内におけるLAN環境の維持運営及び校務支援システムの円滑な運用を図る。

一般会計	歳出	10款 2項	教育費 小学校費

(事業の成果)

インターネット利用料、LAN保守委託、ウィルス対策ソフト・校務支援システムの導入により、教職員の仕事環境の効率化に寄与した。

役務費（インターネット利用料、メールアドレス管理料）

3,025,522 円

委託料（定期保守点検及び緊急サポート等）

6,622,000 円

使用料及び賃借料（パソコン312台、センターサーバ機器、ネットワーク機器、校務支援システム、情報セキュリティ対策管理ソフト等）

33,504,425 円

7 小学校GIGAスクール構想推進事業

予算現額 72,846,000 円（72,898,000 円）0.1%減

決算額 72,695,624 円（72,811,709 円）0.2%減

(事業の目的及び概要)

文部科学省が掲げるGIGAスクール構想を推進するため、ICT環境整備を図る。

(事業の成果)

各普通教室、特別教室等に無線LAN環境の構築を行い、一人一台のタブレットを導入したことで、ICTを活用する教育環境ができた。

(1) 小学校GIGAスクール構想推進事業

63,991,940 円

消耗品費（電源アダプタ等）

4,642 円

修繕料（LANケーブル、情報コンセント修繕）

103,180 円

役務費（インターネット回線利用料等）

1,778,976 円

委託料（無線LAN機器等保守委託）

2,818,200 円

使用料及び賃借料（タブレット端末児童用3,987台、教員用270台）

59,286,942 円

(2) 小学校ICT支援員配置事業

8,703,684 円

委託料（小学校ICT支援員配置事業）

8,199,840 円

使用料及び賃借料（授業目的公衆送信補償金）

503,844 円

1目 学校管理費	庶務課 学校教育課	S D G s		
予算現額	161,118,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	5,383,000 円
決算額	135,413,851 円		その他特財	11,941,700 円
(前年度決算額	122,468,875 円)		一般財源	118,089,151 円

説 明

1 中学校管理費配分事業

予算現額 12,671,000 円 (12,673,000 円) 0.0%減

決 算 額 12,393,923 円 (12,217,193 円) 1.4%増

(事業の目的及び概要)

学校の管理運営に必要な経常経費（消耗品、食糧費、印刷製本費、燃料費等）を各学校へ配分する。

(事業の成果)

学校へ配分することにより、効率的な予算執行を行った。

新川中学校	2,414,583 円
中央中学校	1,982,342 円
南中学校	3,276,525 円
東中学校	2,915,752 円
西端中学校	1,804,721 円

2 中学校施設維持管理事業

予算現額 70,505,000 円 (71,550,000 円) 1.5%減

決 算 額 67,283,380 円 (59,644,521 円) 12.8%増

(事業の目的及び概要)

学校施設の保守点検、修繕等を実施し、適切な維持管理を行う。

(事業の成果)

施設の修繕、保守点検等を行い、生徒が安全で快適に利用できるよう維持管理に努めた。

消耗品費（蛍光灯、修繕用部品、工具等）	1,271,319 円
光熱水費（電気料、上下水道料）	43,917,634 円
修繕料（南中学校下水道内中継ポンプ等修繕等）	4,982,549 円
役務費（簡易専用水道検査等）	124,400 円
委託料（ごみ収集委託、樹木剪定委託等）	15,329,138 円
使用料及び賃借料（キャッチ利用料、NHK受信料等）	1,513,167 円
原材料費（グラウンド整地用山砂等）	145,173 円

3 中学校スクールヘルパー派遣事業

予算現額 1,126,000 円 (1,079,000 円) 4.4%増

決 算 額 1,125,072 円 (1,068,864 円) 5.3%増

(事業の目的及び概要)

校内の環境美化作業、簡易な修繕、校内安全点検等を行う人材を各学校に派遣し、学校施設の管理運営業務を支援する。

(事業の成果)

スクールヘルパーの派遣により、校内の美化、安全が保たれ、教員が生徒と向き合う時間が確保された。

一般会計	歳出	10款 3項	教育費 中学校費		
委託料（スクールヘルパー派遣）	1,125,072 円				
4 中学校管理用備品整備事業	予算現額 7,717,000 円（2,372,000 円）225.3%増 決算額 7,414,960 円（2,187,493 円）239.0%増				
(事業の目的及び概要) 中学校の管理用備品・消耗品の整備・修繕を行う。					
(事業の成果) 老朽化等により使用できなくなった備品等を新たに整備することにより、学校の円滑な管理運営を行った。					
消耗品費（事務用椅子等）	2,145,242 円				
修繕料（プリンタ、ファックス等）	184,618 円				
備品購入費（生徒用机、視力検査器等）	5,085,100 円				
5 中学校災害賠償補償給付事業	予算現額 374,000 円（377,000 円）0.8%増 決算額 263,166 円（166,447 円）58.1%増				
(事業の目的及び概要) 全国市長会学校災害賠償保険の加入及び碧南市学校災害補償給付金の支払いを行う。					
(事業の成果)					
災害賠償補償保険料 2,054 人	153,166 円				
入院補償給付金 5 人	110,000 円				
受給者数の推移					
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
入院補償給付金受給者	1 人	3 人	2 人	1 人	5 人
6 中学校施設長寿命化事業	予算現額 37,222,000 円（29,000,000 円）28.4%増 決算額 22,405,300 円（27,392,200 円）18.2%増				
(事業の目的及び概要) 老朽化した学校施設を計画的に修繕し、安全面・機能面の改善を図る。					
(事業の成果)					
委託料（東中学校校舎長寿命化改修事業設計業務委託）5,440,000 円					
工事請負費（西端中学校卓球場・柔剣道場外壁等改修工事） 16,965,300 円					
7 中学校管理費臨時事業	予算現額 31,503,000 円（21,965,000 円）43.4%増 決算額 24,528,050 円（19,792,157 円）23.9%増				
(事業の目的及び概要) 中学校施設の維持管理、補修等学校管理に要する臨時的な経費					
(事業の成果) 各種点検結果による修繕を行うことにより、適切な施設整備を行うことができた。					
修繕料（東中学校プールガスメーター取替等）8,591,440 円					
委託料（理科用薬品等廃棄処分委託）180,400 円					

一般会計	歳出	10款 3項	教育費 中学校費
工事請負費	12,822,700 円		
南中学校東門改修工事	2,640,000 円		
南中学校垂直式救助袋取替修繕工事	1,298,000 円		
空調設備設置工事（西端中学校英語教室等）	8,884,700 円		
備品購入費（丁合機）	561,000 円		
負担金（東中学校下水道受益者負担金）	2,372,510 円		

2目 教育振興費	庶務課 学校教育課	S D G s	
予算現額	132,328,000 円	決算額の	国庫支出金 941,000 円
決算額	124,466,732 円	財源内訳	一般財源 123,525,732 円
(前年度決算額	117,088,641 円)		

説明

1 中学校教材費配分事業

予算現額 4,016,000 円 (4,016,000 円) 増減無

決 算 額 3,933,093 円 (3,981,422 円) 1.2%減

(事業の目的及び概要)

授業に必要な教材等に関する経費（消耗品／印刷製本費など）をそれぞれの学校へ配分する。

(事業の成果)

学校へ配分することにより、効率的な予算執行を行った。

新川中学校	713,617 円
中央中学校	638,984 円
南中学校	1,195,000 円
東中学校	868,000 円
西端中学校	517,492 円

2 中学校教育環境整備事業

予算現額 8,603,000 円 (9,044,000 円) 4.9%減

決 算 額 8,063,372 円 (8,844,950 円) 8.8%減

(事業の目的及び概要)

中学校の教育用備品・消耗品の整備・修繕を行う。

(事業の成果)

老朽化等により使用できなくなった備品等を新たに整備することにより、学校の円滑な教育振興を行った。

消耗品費（デジタル身長体重計等）	3,888,516 円
修繕料（楽器修繕等）	1,483,838 円
使用料及び賃借料（印刷機リース料）	660,000 円
備品購入費（電子式直線ミシン等）	2,031,018 円

3 中学校図書室充実事業

予算現額 1,852,000 円 (1,852,000 円) 増減無

決 算 額 1,844,031 円 (1,841,900 円) 0.1%増

(事業の目的及び概要)

生徒の読書活動を推進するために必要な学校図書館用図書の整備を図る。

(事業の成果)

課題図書及び一般図書の整備を行い、生徒の読書活動の推進を行った。

消耗品費（図書館用雑誌等）	281,470 円
委託料（図書表装委託）	141,567 円
備品購入費（図書）	1,420,994 円

一般会計	歳出	10款 3項	教育費 中学校費
4 中学校生徒就学援助事業	予算現額 23,683,000 円 (23,828,000 円) 0.6%減 決算額 20,233,992 円 (20,672,792 円) 2.1%減		

(事業の目的及び概要)

学校教育法の規定に基づき、経済的理由によって就学困難などの生徒の保護者に対し、必要な援助をする。

(事業の成果)

学用品費及び学校給食費等を援助することにより、義務教育の円滑な実施に寄与した。

- (1) 要保護・準要保護生徒就学援助費 182人 19,119,829 円
(2) 特別支援教育就学奨励費 21人 1,114,163 円

受給者数の推移

区 分	4 年度	5 年度	6 年度
要保護・準要保護生徒就学援助費	204 人	191 人	182 人
特別支援教育就学奨励費	20 人	20 人	21 人
計	224 人	211 人	203 人

5 中学校教育用コンピュータ運営事業	予算現額 20,863,000 円 (19,617,000 円) 6.4%増 決算額 19,990,767 円 (19,413,570 円) 3.0%増

(事業の目的及び概要)

全中学校のコンピュータ室に設置している教育用コンピュータを整備し、情報教育の推進に努める。

(事業の成果)

全中学校のコンピュータ室に設置しているパソコン、プリンタ及びサーバ類の機器の維持管理を適切に実施した。

- 消耗品費 (プリンタトナー等) 863,307 円
委託料 (定期保守点検及び緊急サポート) 3,719,100 円
使用料及び賃借料 (パソコン各校41台、サーバ各校1台)
15,408,360 円

6 中学校校内LAN運営事業	予算現額 33,460,000 円 (22,734,000 円) 47.2%増 決算額 30,704,768 円 (22,599,900 円) 35.9%増

(事業の目的及び概要)

全中学校のそれぞれの校内におけるLAN環境維持運営及び校務支援システムの円滑な運用を図る。

(事業の成果)

インターネット利用料、LAN保守委託、ウィルス対策ソフト・校務支援システムの導入により、教職員の仕事環境円滑化に寄与した。

- 役務費 (インターネット利用料、メールアドレス管理料) 2,161,088 円
委託料 (定期保守点検及び緊急サポート等) 4,730,000 円
使用料及び賃借料 (パソコン196台、センターサーバ機器、ネットワーク機器、校務支援システム、情報セキュリティ対策管理ソフト等) 23,813,680 円

7 中学校GIGAスクール構想推進事業

予算現額 39,851,000 円 (39,886,000 円) 0.1%減

決算額 39,696,709 円 (39,734,107 円) 0.1%減

(事業の目的及び概要)

文部科学省が掲げるGIGAスクール構想を推進するため、ICT環境整備を図る。

(事業の成果)

各普通教室・特別教室等に、無線LAN環境の構築を行い、一人一台タブレットを導入したことで、ICTを活用する教育環境ができた。

(1) 中学校GIGAスクール構想推進事業	35,269,121 円
消耗品費 (電源タップ等)	4,642 円
修繕料 (LANケーブル修繕)	57,049 円
役務費 (インターネット回線利用料)	1,270,692 円
委託料 (無線LAN機器等保守委託)	2,013,000 円
使用料及び賃借料 (タブレット端末生徒用 2,168 台、教員用 175 台)	31,923,738 円
(2) 中学校ICT支援員配置事業	4,427,588 円
委託料 (中学校ICT支援員配置事業)	4,030,400 円
使用料及び賃借料 (授業目的公衆送信補償金)	397,188 円

1 目 幼稚園等管理費	保育課	S D G s	
予算現額	305,699,000円	決算額の	その他特財 1,678,880円
決算額	297,741,223円	財源内訳	一般財源 296,062,343円
(前年度決算額	270,546,614円)		

説明

- 1 幼稚園等事務管理事業 予算現額 277,128,000 円 (260,558,000 円) 6.4%増
決 算 額 273,043,761 円 (248,062,685 円) 10.1%増

(事業の目的及び概要)

幼稚園運営に必要な人件費・役務費等の支出を行い、適正な園運営を行う。

(事業の成果)

- (1) 一般職人件費 (36人) 260,491,049 円
(2) 幼稚園事務管理費 12,552,712 円
預かり保育利用人数及び利用率
延利用人数 1,975 人 (利用率 43.6%)
3 歳児 444 人 (32.3%) 4 歳児 664 人 (42.6%) 5 歳児 867 人 (54.1%)

- 2 幼稚園管理費配分事業 予算現額 4,019,000 円 (4,093,000 円) 1.8%減
決 算 額 3,906,332 円 (3,892,999 円) 0.3%増

(事業の目的及び概要)

幼稚園の管理運営に必要な経常経費を各幼稚園へ配分することにより、適切な園環境を提供する。

(事業の成果)

教育活動に必要な事業用消耗品の購入や保護者・園児に向けた講演・教室の講師料の支払いなど園運営に必要な支払いを行った。

- 新川幼稚園 922,486 円
中央幼稚園 779,137 円
大浜幼稚園 793,295 円
棚尾幼稚園 805,626 円
西端幼稚園 605,788 円

- 3 幼稚園施設維持管理事業 予算現額 18,652,000 円 (21,157,000 円) 11.8%減
決 算 額 16,816,830 円 (18,441,330 円) 8.8%減

(事業の目的及び概要)

幼稚園の維持管理に必要な施設修繕や物品を購入し、安心安全な園環境を提供する。

(事業の成果)

- 消耗品費 (幼児用普通便座始め 60 件) 541,878 円
光熱水費 (電気・上下水道料) 7,443,107 円
修繕料 (公立幼稚園遊具修繕始め 16 件) 3,147,367 円
役務費 (中央幼稚園浄化槽法定検査手数料) 26,000 円
委託料 (ごみ収集・夜間警備・消防設備点検ほか) 5,083,046 円

一般会計	歳出	10款	教育費
		4項	幼稚園費
使用料（レンタルモップ及びNHK放送受信料）			426,150 円
原材料費（白木材始め9件）			62,382 円
備品購入費（棚尾幼稚園冷蔵庫）			86,900 円
4 幼稚園管理費臨時事業	予算現額	5,900,000 円（150,000 円）	3,833.3%増
	決算額	3,974,300 円（149,600 円）	2,556.6%増
（事業の目的及び概要）			
公立幼稚園の管理運営に必要な施設修繕等を適切に行うことにより、安心安全な保育環境を提供する。			
（事業の成果）			
工事請負費（中央幼稚園リズム室屋根防水改修工事）			3,974,300 円

2目 幼稚園振興費	保育課	S D G s		
予算現額	19,377,000円	決算額の	国庫支出金	6,041,609円
決算額	17,134,785円	財源内訳	県支出金	2,968,950円
(前年度決算額	18,672,821円)		一般財源	8,124,226円

説明

1 幼稚園教材費配分事業

予算現額 3,248,000円 (3,248,000円) 増減無

決算額 3,246,355円 (3,247,491円) 0.0%減

(事業の目的及び概要)

幼稚園の教育活動に必要な教材用消耗品を購入する予算を各幼稚園へ配分する事業である。

(事業の成果)

教育活動に必要な教材用消耗品を購入した。

新川幼稚園	770,860円
中央幼稚園	652,947円
大浜幼稚園	643,868円
棚尾幼稚園	677,864円
西端幼稚園	500,816円

2 幼稚園教育環境整備事業

予算現額 744,000円 (800,000円) 7.0%減

決算額 722,860円 (761,730円) 5.1%減

(事業の目的及び概要)

教材用備品について、故障・耐用年数を経過したものを中心に整備・購入する。

(事業の成果)

教材用備品 (ステップ2 グリルプレイハウス始め9件) 722,860円

3 実費徴収に係る補足給付事業

予算現額 273,000円 (270,000円) 1.1%増

決算額 157,400円 (220,200円) 28.5%減

(事業の目的及び概要)

市外の私立幼稚園に通園する児童の副食代 (上限4,800円/月) について、市民税所得割の額が77,101円未満の世帯及び第3子以降の児童の影響分を私立幼稚園に補助する。

(事業の成果)

補助対象児童 延べ40人 (実人数4人)

4 子育てのための施設等利用給付金支給事業 (私立幼稚園)

予算現額 15,112,000円 (14,495,000円) 4.3%増

決算額 13,008,170円 (14,443,400円) 9.9%減

(事業の目的及び概要)

市外の私立幼稚園に通園する3歳児から5歳児のうち、市の認定を受けた者1人あたり月額25,700円を上限に補助を行う。

一般会計

歳出 10款 教育費
4項 幼稚園費

(事業の成果)

補助対象児童 延べ507人(実人数48人)

1目 社会教育総務費	生涯学習課	S D G s	 
予算現額	182,507,000 円	決算額の	その他特財 197,790 円
決算額	177,040,880 円	財源内訳	一般財源 176,843,090 円
(前年度決算額	172,491,958 円)		

説明

- 1 社会教育事務管理事業 予算現額 180,154,000 円 (176,433,000 円) 2.1%増
決算額 175,163,902 円 (170,842,562 円) 2.5%増

一般職人件費 (20人)

- (1) 社会教育関係登録団体数 325 団体

- (2) 文化振興団体活動費補助

碧南文化協会補助金

1,755,000 円

- 2 社会教育委員会議運営事業 予算現額 375,000 円 (377,000 円) 0.5%減
決算額 182,694 円 (257,856 円) 29.1%減

(事業の目的及び概要)

社会教育委員会議の運営に係る経費。社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言を行う。委員9名 年間2回開催

(事業の成果)

愛知県社会教育委員連絡協議会の開催する研修会に参加をするなど、社会教育委員の知見を深めることができた。

- 3 文化祭実施事業 予算現額 1,394,000 円 (1,359,000 円) 2.6%増
決算額 1,110,494 円 (1,282,731 円) 13.4%減

(事業の目的及び概要)

文化意識の向上と地域文化の発展に寄与するため、第75回碧南市文化祭を開催した。

- (1) 総合美術展 (公募展) 出品作品内訳

部門	委嘱作家	一般公募	総出品数
日本画	3	17	20
洋画	7	25	32
彫塑・工芸	7	31	38
書	18	64	82
写真	6	38	44
計()は令和5年度	41(40)	175(178)	216(218)

- (2) 芸能発表会 (公募)

出演者 18 団体

- (3) 来場者 3日間延べ約1,500名

- (4) 協賛団体作品展

文芸作品展、いけばな展、高校生作品展、俳句会、無線公開、お絵描き体験講座、へきなん市民俳句大会

(事業の成果)

多くの方に日頃の生涯学習成果を発表する機会と文化芸能に触れる機会を提供することができた。

4 文化振興基金積立事業

予算現額 198,000 円 (145,000 円) 36.6%増

決算額 197,790 円 (78,009 円) 153.5%増

(事業の目的及び概要)

文化振興事業の円滑な推進に必要な財源を確保するための文化振興基金に、利子、寄附金等を積み立てる。

(事業の成果)

令和5年度末基金残高	52,226,704 円
令和6年度積立額	197,790 円
令和6年度末基金残高	52,424,494 円

5 ODOROMA I 実施事業

予算現額 36,000 円 (33,000 円) 9.1%増

決算額 36,000 円 (30,800 円) 16.1%増

(事業の目的及び概要)

市内で活動している洋舞団体・個人の相互理解と親睦を深めると共に、洋舞について市民の関心を高め、碧南市の文化発展に寄与することを目的とする。

(1) 日時 令和7年2月2日(日) 午前の部 10時から11時30分まで
午後の部 14時から15時30分まで

(2) 出場者 18団体

(3) 来場者 約1,800名

(事業の成果)

多様なジャンルの洋舞の発表の場を提供し、幅広い世代の市民が洋舞に触れる機会を提供することができた。特に子どもや若者の発表の場として好評を得ている。

6 社会教育総務費臨時事業

予算現額 350,000 円 (0 円) 皆増

決算額 350,000 円 (0 円) 皆増

(事業の目的及び概要)

碧南文化協会に対する西三河文化協会美術展碧南開催の補助。

(事業の成果)

近隣市町を含め文化協会会員の日頃の鍛錬の成果が集約された素晴らしい展覧会が、碧南市藤井達吉現代美術館で開催された。



文化祭「芸能発表会」



ダンスイベント「ODOROMA I」

2目 公民館費	生涯学習課	S D G s	  
予算現額	100,314,000 円	決算額の	その他特財 6,045,867 円
決算額	64,199,775 円	財源内訳	一般財源 58,153,908 円
(前年度決算額	57,548,966 円)		

説明

1 公民館事務管理事業

予算現額 6,593,000 円 (8,047,000 円) 18.1%減

決算額 6,015,584 円 (7,392,800 円) 18.6%減

(事業の成果)

施設利用状況

館 名	利用回数	利用率	館 名	利用回数	利用率
新川公民館	2,313 回	43.82%	日進公民館	1,712 回	47.40%
中部公民館	1,843 回	55.01%	鷺塚公民館	1,748 回	48.33%
大浜公民館	1,786 回	44.13%	西端公民館	324 回	7.04%
棚尾公民館	3,251 回	48.52%	計	12,977 回	41.59%
			()は令和5年度	(12,597 回)	(40.57%)

2 公民館施設維持管理事業

予算現額 37,904,000 円 (35,757,000 円) 6.0%増

決算額 36,592,789 円 (33,718,702 円) 8.5%増

(事業の目的及び概要)

公民館の施設維持管理に要する経費

(事業の成果)

- (1) 消耗品 0 円
- (2) 光熱水費 11,851,116 円
- (3) 修繕料 2,003,100 円
- (4) 役務費 30,800 円
- (5) 委託料 21,277,773 円
- (受付業務、警備、ごみ収集、消防点検、清掃、樹木剪定、自動扉保守点検など)
- (6) 備品購入費 1,430,000 円

3 公民館運営審議会運営事業

予算現額 749,000 円 (749,000 円) 増減無

決算額 673,804 円 (679,906 円) 0.9%減

(事業の目的及び概要)

公民館運営審議会の運営に係る経費。社会教育法第29条及び碧南市公民館の設置及び管理に関する条例に基づき、公民館における各種事業の企画実施について調査審議する。

各公民館 年1回開催 委員数113名

(事業の成果)

各公民館にて開催し、委員より公民館運営に関する意見徴収を行った。

4 生涯学習推進事業

予算現額 1,584,000 円 (1,251,000 円) 26.6%増

決算額 897,620 円 (1,115,869 円) 19.6%減

(事業の目的及び概要)

市民の文化的意識及び学習意欲の向上に寄与するため、各種教室・講座等を開催する。

(事業の成果)

(1) 文化・教養講座

ア 文化講座

(ア) 「鬼瓦づくり講座」講師：梶川俊一郎 氏

令和6年 9月29日(日) 15名参加

(イ) 「はじめてのつまみ細工講座」講師：杉浦街子 氏

令和6年11月19日(土)から11月30日(土)全2回 9名参加

(ウ) 「はじめてのクラフト講座」講師：伊達 茜 氏

令和7年 1月25日(土)から 2月15日(土)全2回 10名参加

イ 生涯学習教養講座(愛知教育大学連携講座)

(ア) 「ICT支援員と学ぶプログラミング超入門～ブロックで実物を作り動かそう～」

講師：愛知教育大学 江島徹郎 教授

令和6年8月20日(火) 13名参加

(イ) 「オープン粘土で新しい年を迎える縁起物(招き猫・干支など)をつくろう」

講師：愛知教育大学 永江智尚 准教授

令和6年12月8日(日) 18名参加

ウ 学ばまい生涯学習

「はじめての篆刻講座」講師：加藤秀慧氏

令和6年4月20日(土)から令和6年9月21日(土) 全6回 4名参加

(2) 生涯学習講演会

演題：「食でつながる人と世界～30カ国のキッチンで学んだこと～」

講師：料理研究家 コウケンテツ 氏

日時：令和6年10月12日(土)

参加者数：230名

(3) 碧南市出前講座「市政なんでも百科」

市の職員等が講師となり出前講座を行う

(一般向け 78講座、小・中学生向け 41講座)

一般向け出前講座 47件 1,461人受講

No.	講座名(一般)	件数	No.	講座名(一般)	件数
1	防災講座 ～備えよう自助・共助～	7	14	発達障害についての理解と対応	1
2	筋トレ体操で若返り！	4	15	高齢者虐待を知ろう	1
3	認知症サポーター養成講座	4	16	みんなで防ごう！消費者トラブル	1
4	碧南の歴史	3	17	野菜を1日350g摂ろう！	1
5	もし話(もしバナ)ゲーム(トランプ)で縁起でもない話を身近に ～人生の最終段階で大切にしたい ことは何ですか？～	3	18	読み聞かせは、いいこといっぱい！	1

6	いいよね！自分でできる介護予防	3	19	愛知県の外来魚	1
7	かぜに抗菌薬が効かないってホント??	2	20	自分らしい生活をいつまでも続けるために ～介護予防サービスの上手な使い方～	1
8	手軽にできるニュースポーツ	2	21	75 歳になるとなにか変わる？後期高齢者医療保険のはなし	1
9	健口体操で健康寿命を伸ばそう	2	22	「姉妹友好都市とのつながりの輪」	1
10	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を予防しよう！～へきなん健康づくり 21 プランを推進しよう！～	2	23	寸劇で学ぶ認知症の方への声のかけ方講座	1
11	ごみの減量とリサイクル	1	24	知っているようで知らない！？碧南の観光資源	1
12	今日からはじめる ながら運動のススメ	2	25	塩分を減らしてみませんか？	1
13	もの忘れがあっても安心した暮らしを ～成年後見制度～	1			

小・中学生向け出前講座 30 件 1,342 人受講

No.	講 座 名 (小・中)	件数	No.	講 座 名 (小・中)	件数
1	地域のヒーローになろう！ ～消防団講座～	9	6	おじいさん、おばあさんに変身してみよう！	2
2	認知症キッズサポーター講座	7	7	障害者への差別をなくしましょう	1
3	防災講座	4	8	感染予防は手洗いから？！	1
4	どの本よもうかな？	3	9	外来生物について知ろう	1
5	へきなんの農業・水産業	2	10		

5 公民館自主文化事業

予算現額 6,228,000 円 (6,285,000 円) 0.9%減

決 算 額 5,655,600 円 (5,540,505 円) 2.1%増

(事業の目的及び概要)

地域住民の芸術・文化の向上と学習意欲の増進及び地区コミュニティの強化を図るため、各種講座及び事業を実施する。

(1) 文化教室

館 名	内 容	講座数	受講者数
新川公民館	暮らしに役立つボールペン、筆ペン講座等	3 講座	43 名
中部公民館	入門 スポーツウエルネス吹矢教室等	7 講座	65 名
大浜公民館	和室でリラックスストレッチ等	10 講座	160 名
棚尾公民館	からだにやさしいヨガ等	5 講座	63 名
日進公民館	いつまでも自分の足で歩こう！棒体操教室等	4 講座	54 名
鷺塚公民館	落語教室等	3 講座	30 名
西端公民館	子どものダンスと 3 B 体操等	3 講座	44 名
計 ()は令和 5 年度		35 講座 (28 講座)	459 名 (349 名)

(2) 自主文化事業

館 名	内 容	事業数
新川公民館	久杵地区夏祭り等	10 事業
中部公民館	高齢者グラウンド・ゴルフ大会等	5 事業
大浜公民館	わくわくクッキング等	10 事業
棚尾公民館	棚尾ふれあい運動会等	10 事業
日進公民館	地区夏祭り等	10 事業
鷺塚公民館	昔のあそびあれこれ等	16 事業
西端公民館	区民盆踊り大会等	4 事業
計 ()は令和5年度		65 事業 (60)

(事業の成果)

地域住民の教養の向上、健康の増進及び住民相互の交流を図れた。

6 公民館費臨時事業

予算現額 47,256,000 円 (9,344,000 円) 405.7%増

決 算 額 14,364,378 円 (9,101,180 円) 57.8%増

(事業の目的及び概要)

公民館の施設維持管理に要する臨時的経費。

(1) 消耗品費

不動産売買契約書収入印紙代 5,000 円

(2) 修繕料

棚尾公民館北玄関ホール横外壁タイル補修 320,100 円

棚尾公民館 4 階バルコニー軒天ボード修繕 262,900 円

棚尾公民館・児童センター非常照明用バッテリー等交換 237,490 円

棚尾公民館 1 階男子トイレ換気扇取替修繕 56,980 円

棚尾公民館消火設備点検に伴う修繕 33,000 円

(3) 委託料

棚尾公民館エレベーター改修事業設計業務委託 1,904,100 円

(4) 工事請負費

大浜公民館屋外給水管改修工事 3,190,000 円

(5) 公有財産購入費

日進公民館用地取得費 8,354,808 円

(事業の成果)

安全かつ快適に利用しやすい施設を維持することができ、利用者の利便性及び快適性が向上した。



生涯学習講演会
「食でつながる人と世界」
講師：コウケンテツ氏



愛知教育大学連携公開講座
ICT支援員と学ぶプログラミング超入門
～ブロックで実物を作り動かそう～

3目 文化財保護費	文化財課	S D G s	 
予算現額	52,949,000 円	決算額の	その他特財 4,445,399 円
決算額	45,279,872 円	財源内訳	一般財源 40,834,473 円
(前年度決算額	42,302,138 円)		

説 明

- 1 文化財保護事務管理事業 予算現額 26,960,000 円 (28,835,000 円) 6.5%減
 決算額 21,824,797 円 (26,273,290 円) 16.9%減
 一般職人件費 (3 人)

- 2 文化財保護審議会運営事業 予算現額 463,000 円 (521,000 円) 11.1%減
 決算額 211,009 円 (316,448 円) 33.3%減

(事業の目的及び概要)

条例の規定により設置された機関。教育委員会の諮問に応じて文化財の保護及び活用に関する重要な事項を調査、審議し、並びにこれらの事項について教育委員会に建議する。

(事業の成果)

定例会 3 回、委員視察研修 1 回を開催し、文化財展等事業の内容について協議した。

- 3 市史資料調査事業 予算現額 2,380,000 円 (1,671,000 円) 42.4%増
 決算額 1,944,534 円 (1,122,314 円) 73.3%増

(事業の目的及び概要)

当市の歴史を次世代に伝えるため、市史資料の収集、整理、保存調査及び発信を行う。

(事業の成果)

- (1) 市史資料収蔵品展「思い出の衣浦マンモスプール」

ア 期間 令和 6 年 8 月 3 日～9 月 1 日

イ 会場 文化会館

ウ 内容 昭和 49 年から 30 年間、人々に親しまれた衣浦マンモスプールのポスターを中心に、その他の資料と併せ、同プールや市内の海水浴場の様子を紹介した。

- (2) 碧南市史料第 74 集「南霞浦遺跡発掘調査報告書」発刊 300 部

- (3) 古文書入門講座

ア 開催日 令和 6 年 5 月 29 日、6 月 12 日・26 日、7 月 3 日

イ 場 所 藤井達吉現代美術館

ウ 内 容 「平家物語」や「寛政重修諸家譜」など、仮名文字や古文書を解説した。

- 4 文化財調査事業 予算現額 1,519,000 円 (4,184,000 円) 63.7%減
 決算額 722,305 円 (3,719,984 円) 80.6%減

(事業の目的及び概要)

市内の文化財及び資料等を調査・研究し、成果に応じて市民への公開等を行うとともに、文化財保護に関する啓発を行う。

(事業の成果)

- (1) 重要文化財の新指定に伴う特別公開・記念講演会の開催

ア 新指定重要文化財「絹本著色釈迦三尊像」特別公開

(ア) 会期 令和6年10月5日～10月20日 14日間

(イ) 会場 藤井達吉現代美術館

イ 記念講演会

(ア) テーマ 林泉寺蔵釈迦三尊像について ―重要文化財新指定の意義―

(イ) 会 期 令和6年10月12日

(ウ) 会 場 藤井達吉現代美術館

(エ) 講 師 大原嘉豊氏（京都国立博物館学芸部教育室長）

(オ) 参加者 51名

(2) 文化財展「碧南と鉄道」

ア 期間 令和6年2月8日～3月6日

イ 会場 文化会館

ウ 内容 幻となった鉄道計画や三河鉄道の歴史などに触れつつ、市域の鉄道について、市に収蔵される写真・資料などを中心に紹介した。

(3) 文化財防火デー行事

ア 開催日 令和7年1月16日

イ 場所 妙福寺（志貴町）

ウ 内容 消防車による放水訓練、署員による消火器取扱説明

(4) 歴史的建造物調査

ア 実施日 令和6年9月19日・20日

イ 場所 新川中央病院（松江町）

ウ 内容 実測、写真撮影、調書作成等

(5) 市指定文化財の件数（令和7年3月31日現在）

種 別		件 数	
有形文化財	建 造 物		1
	美術 工 芸 品	絵 画	3
		彫 刻	10
		工 芸 品	3
		書跡・典籍・古文書	14
		考古資料	0
		歴史資料	8
無形文化財	芸 能		0
	工芸技術		0
民俗文化財	有形民俗文化財		8
	無形民俗文化財		3
記 念 物	史 跡		0
	名 勝		0
	天然 記念物	動 物	0
		植 物	2
		地質鉱物	0
合 計			52

その他碧南市内文化財件数

重要文化財（国指定）4件

国登録有形文化財 2件

県指定文化財

6件

5 指定文化財保存事業

予算現額 842,000 円 (1,983,000 円) 57.5%減

決算額 800,730 円 (1,982,180 円) 59.6%減

(事業の目的及び概要)

指定文化財の保存のため、その維持管理と啓発及び伝統文化の継承に努める団体等に補助を行う。

(事業の成果)

補助対象事業	補助額	補助対象事業	補助額
称名寺文化財警報装置	181,764 円	霞浦神社ケヤキの保存	113,850 円
大浜中区乱杭渡り人形の修理	125,116 円	チャラボコ保存活動	200,000 円
鶴ヶ崎区囃子・三番叟伝統活動	90,000 円	大浜中区からくり・囃子・三番叟伝統活動	90,000 円

6 施設維持管理事業

予算現額 1,614,000 円 (1,415,000 円) 14.1%増

決算額 1,455,950 円 (1,274,035 円) 14.3%増

(事業の目的及び概要)

大浜の歴史と文化を活用したまちづくりを進めるため整備した大浜陣屋広場及び旧大浜警察署の維持管理を行う。

(事業の成果)

大浜陣屋広場及び旧大浜警察署の清掃や樹木剪定等の維持管理を行い、施設を安全で快適に利用していただくことができた。

7 歴史系企画展開催事業

予算現額 19,171,000 円 (8,577,000 円) 123.5%増

決算額 18,320,547 円 (7,613,887 円) 140.6%増

(事業の目的及び概要)

歴史に関する調査研究の成果を企画展示し、市民に公開することで、貴重な歴史資料等の大切さを伝え、歴史への関心を高めることを目的とする。

(事業の成果)

- (1) 企画展名 没後 100 年 富岡鉄斎
- (2) 期 間 令和 6 年 10 月 5 日～11 月 24 日 (44 日間)
- (3) 会 場 藤井達吉現代美術館
- (4) 主 催 市・市教育委員会・藤井達吉現代美術館、清荒神清澄寺 鉄斎美術館、毎日新聞社
- (5) 協 賛 ライブアートブックス
- (6) 観覧料 一般 1,000 円 高大生 600 円 中学生以下無料
- (7) 内 容 世に「最後の文人画家」と称えられる富岡鉄斎が令和 6 年大晦日に没後 100 年を迎えることを機に、改めて彼の画業と生涯を回顧した展覧会。京都国立近代美術館、富山県水墨美術館との巡回展。鉄斎の碧南との関わりも併せて紹介した。
- (8) 観覧者数 8,502 人 (1 日平均 193.2 人、有料 2,172 人 25.5%、無料 6,330 人)
うち期間中に小学校美術館学習を実施 参加者 658 人 (市内小学校 5 年生及び教員)

4目 青少年女性費	生涯学習課	S D G s		
予算現額	7,492,000 円	決算額の 財源内訳	県支出金	1,047,000 円
決算額	7,235,652 円		その他特財	17,500 円
(前年度決算額	8,053,829 円)		一般財源	6,171,152 円

説明

1 子ども会活動推進事業

予算現額 1,541,000 円 (2,260,000 円) 31.8%減

決算額 1,513,080 円 (1,767,449 円) 14.4%減

(事業の目的及び概要)

各単位子ども会相互の連絡調整を図るとともに、子ども会会員相互の連帯と友情の輪を広げ、単位子ども会の活動の充実を図る。

(1) 子ども会・会員数 20子ども会 3,442名

(2) 主な実施事業

ア 育成者養成講習会 ①令和7年3月15日(土) 文化会館

②令和7年3月16日(日) 文化会館

イ ドッジボール大会 令和6年8月3日(土) 37チーム 児童数520名

ウ 子どものつどい 令和6年11月24日(日) 文化会館 約5,800名来場

(事業の成果)

各単位子ども会の指導者の育成及び相互の連帯と情報交換に努めることができた。

2 青少年活動事業

予算現額 3,386,000 円 (3,386,000 円) 増減無

決算額 3,289,289 円 (3,295,986 円) 0.2%減

(事業の目的及び概要)

青少年が豊かな心と創造性を培い、時代の進展に積極的に対応できるよう、家庭・学校・地域が協力して様々な青少年健全育成事業を実施する。

(1) 青少年育成市民会議事業

市内の様々な団体の代表で組織し、市全体で取り組む啓発活動の実施や関係機関相互の連絡調整を図る。委員22名 年1回開催

ア 青少年とともにすすむ夏・冬の運動

夏：令和6年 7月 1日(月) から令和6年 8月31日(土)

冬：令和6年12月 1日(日) から令和7年 1月10日(金)

イ 親子キャッチ575の実施

ウ 青少年健全育成推進モデル地区設置事業 日進地区をモデル地区に指定

テーマ「地域みんなで 心をつなぐ ふれあい活動」

(2) 青少年育成推進員活動事業

各地区4名、計28名の青少年育成推進員を中心に、地域ぐるみの活動を展開した。

推進員連絡会の開催 年5回開催

(3) 二十歳を祝う会実施事業

代表者による実行委員会を組織し、若者たちの企画運営による式典を実施した。なお、民法改正により令和4年4月1日から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたが、名称を「二十歳を祝う会」とし、引き続き20歳を対象とした式典を開催した。

一般会計	歳出	10款 5項	教育費 社会教育費
ア 日時・場所 令和7年1月12日（日）14：00から（受付13：00から） 文化会館			
イ 内容 祝辞、映像、恩師からのビデオレター、実行委員によるバンド演奏			
ウ 参加者等 平成16年4月2日から平成17年4月1日生 対象者898名 出席者654名（出席率72.8%）			
(4) プレイメイト活動事業 青年団体であるHEXPO STAFFが、小学生を対象に、レクリエーションや工作、お菓子作りなど、様々な生活体験を提供する教室を開催する。 令和6年5月11日（土）から令和7年2月22日（土） 6講座 参加児童延べ約120名			
(5) 青少年問題協議会運営事業 青少年育成の基本方針の決定機関 委員14名 年1回開催			
(6) HEXPO STAFF活動事業 若者自らが各種イベントやボランティア活動などに取り組むことで、地域社会に貢献する豊かな心を持った青少年の育成を推進する。令和4年度からは、SNSを活用して実施内容を広く周知した。（ヘキスポスタッフ 約30名） ア 水遊びイベント 令和6年 8月10日（土） あおいパーク イ 雪遊びイベント 令和7年 2月 8日（土） 明石公園 ウ ヘキスポ祭 令和7年 3月 9日（木） 文化会館			
(7) 碧南市スカウト育成連絡協議会補助事業 青少年健全育成を図るため、碧南市スカウト育成連絡協議会に補助金を交付する。			
(事業の成果) 青少年育成関係団体や各地区推進員等の活動を支援し、様々な地域ぐるみの活動を展開することで、青少年健全育成の充実が図られた。また、二十歳を祝う会を始め若者たちが自ら企画運営する事業を支援し、次世代を担う人材の育成に寄与した。			
3 女性活動事業	予算現額	45,000 円（45,000 円）	増減無
	決 算 額	45,000 円（45,000 円）	増減無
(事業の目的及び概要) 女性団体相互の交流と連絡調整を図り活動の輪を広げるとともに、各種事業への参加・協力する母体となっている。			
(1) 構成団体 7団体（委員14名） 会議 年2回開催			
(2) 主な取組み ボランティア、エコキャップ回収、視察研修「碧南海浜水族館」			
(事業の成果) 各団体相互の交流及び情報交換、各種事業への参加等に努め、活動の充実が図られた。			
4 親子ふれあい活動事業	予算現額	726,000 円（1,330,000 円）	45.4%減
	決 算 額	606,400 円（1,204,039 円）	49.6%減
(事業の目的及び概要)			

親子で参加する事業を実施し、家庭教育やふれあいの重要性を再認識する機会とする。また、子育てに関心を持ち、父親としてのあり方や子育ての知識・情報を自ら習得しようとする「おやじの会」の活動を支援する。

(1) 親子ふれあい活動推進事業

ア 親子ふれあい講座

「親子でチャレンジ！パパとケーキづくり講座」令和6年5月12日（日）

講師：角谷和子 氏 小学生親子 21名参加

「親子でチャレンジ！クリスマスケーキづくり講座」令和6年12月17日（日）

講師：角谷和子 氏 小学生親子 19名参加

イ 地区親子ふれあい活動

公民館を拠点に親子のふれあいを深めるため各種事業を実施した。

7地区実施

(2) 地域「おやじの会」活動事業

ア 市内7地区のおやじの会連絡会 年5回開催

イ おやじの会活動事業委託

(事業の成果)

親子がふれあう体験活動の機会を提供し、家族の絆を強める一助となった。また、市内7地区のおやじの会相互の情報交換を行うとともに、独自の活動を通じて家庭教育への父親参加の重要性のPRが図られた。

5 P T A活動事業

予算現額 100,000 円 (100,000 円) 増減無

決算額 100,000 円 (100,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

小中学校幼稚園P T A連絡協議会の運営に係る経費。役員相互の連絡調整及び意見交換を行い、P T A活動の健全な発展と交流を図る。

(1) 会議

総会1回、役員会4回

(2) レクリエーション大会

種目：ソフトバレーボール

日時：令和6年9月7日（土） 臨海体育館

レクリエーション大会を開催し、単位P T A間の交流、市内P T A相互の交流を深めることができた。

6 放課後子ども教室推進事業

予算現額 1,694,000 円 (1,684,000 円) 0.6%増

決算額 1,681,883 円 (1,641,355 円) 2.5%増

(事業の目的及び概要)

放課後に学校の余裕教室を利用して、子どもたちの安全で安心な活動拠点を設け、指導員を配置し、学習や交流の機会を継続的に提供する。

(1) 開設場所 棚尾小学校

(2) 開設日 週3日（水、木、金）※長期休暇を除く。

授業終了後から16時30分まで（冬季は、16時10分まで）

(3) 登録児童数 68名

- (4) 指導体制 コーディネーター1名、指導員9名
 (5) 開設日数 延べ88日
 (6) 参加人数 延べ2,395名(1日平均27名)
 (事業の成果)

放課後の児童の安全で安心な居場所を設ける中で、児童間・世代間の交流が図られた。



HEXPO STAFF活動事業
「第30回平谷村と碧南市の雪交流会」



二十歳を祝う会実施事業
「バンド演奏」

5目 文化会館 中央公民館費	生涯学習課	S D G s	 
予算現額	93,533,000 円	決算額の	その他特財 8,982,402 円
決算額	89,024,197 円	財源内訳	一般財源 80,041,795 円
(前年度決算額	95,096,354 円)		

説 明

1 文化会館・中央公民館事務管理事業

予算現額 261,000 円 (288,000 円) 9.4%減

決 算 額 236,170 円 (262,320 円) 10.0%減

(事業の成果)

施設利用状況

	利用可能回数	利用回数	利用率
文化会館 13 室	10,580 回	4,362 回	41.23%
中央公民館 13 室	10,072 回	3,776 回	37.49%
計	20,652 回	8,138 回	39.41%
()は令和5年度	(22,684 回)	(8,348 回)	(36.80%)

2 文化会館・中央公民館施設維持管理事業

予算現額 84,972,000 円 (81,807,000 円) 3.9%増

決 算 額 82,262,827 円 (75,727,034 円) 8.6%増

(事業の目的及び概要)

文化会館の施設維持管理に要する経費。

(事業の成果)

(1) 消耗品費 (照明器具、新聞代、トイレトペーパー等)	608,120 円
(2) 燃料費・光熱水費	30,317,495 円
(3) 修繕料 (大会議室空調ドレン系統漏水修繕、防火シャッター修繕等)	1,704,010 円
(4) 役務費 (水質検査手数料等)	116,446 円
(5) 委託料	44,076,982 円

業 務	金額(円)	業 務	金額(円)
エレベーター保守点検	739,200	舞台管理	10,846,000
自家用電気工作物保安管理	574,200	消防設備器具保守点検	283,800
空調自動制御装置保守点検	550,000	舞台装置(吊りもの)保守点検	2,409,000
樹木剪定	440,000	ホール音響設備保守点検	825,000
吸収式冷温水発生装置保守点検	2,008,800	トイレ殺菌・脱臭・芳香装置保守点検	180,840
夜間警備	855,360	夜間受付管理業務	3,123,278
館内清掃	6,182,550	害虫駆除業務	220,000
会館諸設備運転管理	7,348,000	非常用エンジン発電機保守点検	349,800
受水槽保守点検	103,400	自動扉保守点検	105,600
電気時計設備保守点検	177,100	ホール照明設備保守点検	682,000

一般会計		歳出	10款 5項	教育費 社会教育費
ごみ収集	339,240	舞台管理（増員）		3,229,600
ホール空調用中性能フィルター 設備取替作業	453,200	アスベスト調査		646,800
建設設備定期検査等	1,034,000	その他		370,214

- (6) 使用料及び賃借料（床マット借上料、文化会館LED照明賃借料） 674,024 円
 (7) 工事請負費（文化会館レストラン空調機改修工事） 4,180,000 円
 (8) 備品購入費（波エフェクト） 585,750 円

3 文化会館中央公民館費臨時事業 予算現額 8,300,000 円 (19,107,000 円) 56.6%減
 決算額 6,525,200 円 (19,107,000 円) 65.8%減

（事業の目的及び概要）

文化会館の施設維持管理に要する臨時的経費

(1) 工事請負費

文化会館排水管改修工事 6,525,200 円

（事業の成果）

安全かつ快適に利用しやすい施設維持ができ、来館者の利便性の向上が図れた。

6目 南部市民プラザ費	生涯学習課	S D G s		
予算現額	69,053,000 円	決算額の	その他特財	3,095,369 円
決算額	66,907,724 円	財源内訳	一般財源	63,812,355 円
(前年度決算額)	62,950,016 円)			

説明

- 1 南部市民プラザ事務管理事業 予算現額 18,286,000 円 (17,594,000 円) 3.9%増
決算額 17,483,868 円 (17,124,274 円) 2.1%増

一般職人件費 (2 人)

南部市民プラザ施設利用状況

施設名		利用回数	利用率
文化施設	会議室 1・2、和室 1・2	1,065 回	28.91%
体育施設	アリーナ	4,944 回	67.10%
計 ※()内は令和 5 年度		6,009 回 (5,934 回)	54.37% (53.34%)

- 2 南部市民プラザ運営事業 予算現額 24,216,000 円 (22,627,000 円) 7.0%増
決算額 23,330,868 円 (21,639,042 円) 7.8%増

(事業の目的及び概要)

南部市民プラザの運営、施設維持及び管理に要する事業である。

- (1) 報償費 (ソフトミニバレー大会賞品) 27,000 円
(2) 消耗品費 (コピー料金、トイレトペーパー等) 219,793 円
(3) 燃料費・光熱水費 8,673,551 円
(4) 修繕料 (出入口ドア修繕、駐車場防護柵修繕、タイル壁補修等) 2,668,072 円
(5) 役務費 (施設賠償責任保険) 35,140 円
(6) 委託料 9,687,976 円

(夜間窓口業務、警備、ごみ収集、消防点検、清掃、樹木剪定、自動扉保守点検など)

- (7) 使用料及び賃借料 (レンタルマット、LED照明賃借料) 2,019,336 円

(事業の成果)

設備等の修繕・保守点検を行い、来館者が安全で快適に利用できるよう維持管理を行った。

- 3 南部市民プラザ費臨時事業 予算現額 26,551,000 円 (32,726,000 円) 18.9%減
決算額 26,092,988 円 (24,186,700 円) 7.9%増

(事業の目的及び概要)

快適な利用環境の提供、安全管理等のため臨時的に工事等を行う事業である。

- (1) 消耗品費 (卓球サポートセット) 29,700 円
(2) 委託料 (産業廃棄物処理委託、大規模改修設計業務委託) 17,990,148 円
(3) 工事請負費 (図書室上部防水工事、冷温水発生機整備工事等) 7,047,140 円
(4) 備品購入費 (卓球台 5 台、ソフトバレー等兼用支柱) 1,026,000 円

(事業の成果)

大規模改修計画を進め、スポーツ用具の買換えを行ったことで利用環境の向上を図った。

7目 市民図書館費	生涯学習課	SDGs	
予算現額	113,319,000 円	決算額の	その他特財 169,843 円
決算額	109,451,142 円	財源内訳	一般財源 109,281,299 円
(前年度決算額	99,911,714 円)		

説明

- 1 図書館事務管理事業 予算現額 63,638,000 円 (54,651,000 円) 16.3%増
 決算額 60,655,896 円 (53,239,382 円) 13.9%増
 一般職人件費 (7 人)

- 2 図書館施設維持管理事業 予算現額 722,000 円 (493,000 円) 46.5%増
 決算額 664,435 円 (453,510 円) 46.5%増

(事業の目的及び概要)

設備の保守点検や維持管理を図る事業である。

(1) 消耗品費 (落下防止テープ、マグネットシート等)	53,912 円
(2) 修繕料 (車検 2 台)	142,835 円
(3) 役務費 (Wi-Fi 使用料)	140,988 円
(4) 委託料 (無断持出検知器・電動書架等点検)	326,700 円

(事業の成果)

法定点検、定期点検を実施することで、事故のない安全な施設維持管理ができた。

- 3 図書館協議会運営事業 予算現額 128,000 円 (128,000 円) 増減無
 決算額 85,630 円 (92,620 円) 7.5%減

(事業の目的及び概要)

図書館協議会は、図書館法に定められたものであり、図書館の運営・方針を審議する諮問機関である。委員 10 名で年 2 回開催。

(事業の成果)

事業計画及び事業成果について審議し、図書館運営に対する意見交換を行った。

- 4 図書館用図書整備事業 予算現額 23,121,000 円 (23,019,000 円) 0.4%増
 決算額 22,861,940 円 (22,779,091 円) 0.4%増

(事業の目的及び概要)

市民の利用に供するため、資料を幅広く豊富に収集し、魅力ある蔵書構成を整備するために要する経費である。

(1) 消耗品費	
新聞雑誌追録	2,292,132 円
その他消耗品 (バーコードラベル等)	389,503 円
(2) 印刷製本費 (郷土資料製本 15 冊)	57,750 円
(3) 委託料 (書誌データ作成委託等)	1,240,747 円
(4) 使用料及び賃借料 (電子図書使用料、データベース使用料)	4,591,956 円
(5) 備品購入費 (図書・AV購入)	14,289,852 円

(事業の成果)

6,219点(AV資料含む)の資料、590タイトルの電子図書を購入した。

5 図書館利用促進事業

予算現額 182,000円(182,000円)増減無

決算額 181,435円(171,215円)6.0%増

(事業の目的及び概要)

幼児からお年寄りまでが学び、楽しみ、成長する文化活動を積極的に行うことにより、図書館利用の促進を図る事業である。

(事業の成果)

行 事 名	開 催 月 日	内 容	参加者数
おはなし会	毎月第2・4土曜日 (22回)	幼児・児童を対象にした紙芝居や絵本の読み聞かせ	290人
おひざにだっこの おはなし会 (0歳～未就園児向)	毎月第1・3木曜日 (44回)	0歳から未就園児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせやわらべうたを楽しむ	642人
絵本の時間	毎月第2金曜日 (12回)	1歳未満児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせや選び方を紹介し、わらべうたを楽しむ	34人
子ども読書の日記念行事&ゴールデンウィーク	4/20～5/6	絵本クイズ「わたしはどこ？」	225人
こどもとしょかんまつり	6/1～6/30	・読書手帳の配布	23冊
	6/1～6/30	・ルーペで読み解け！秘密の暗号文	469人
	6/16	・しゃぼんだまであそぼう！	46人
	6/29	・おはなし会スペシャル	45人
はじめましての 俳句講座	6/15	初心者に向けて俳句の詠み方などの講座を実施	20人
READポスター・ 図書館キャッチコピー コンテスト	7/6～9/1	ヤングアダルト（中高校生）から一般成人を対象に、読書推進の作品を募集	キャッチコピー 140点
図書館を使った 調べ学習講座	8/1～8/3 (全6回)	やってみよう！調べ学習	12人
夏休み行事	7/20～9/1	・読書手帳の配布	45冊
	7/20～9/1	・図書館ビンゴ	477人
	7/25(2回)	・工作教室「さんかく TENT をつくろう！」	23人
	8/29(2回)	・「図書館の裏側へGo！」	21人
へきにゃごまつり ～秋の読書月間～	10/26～11/24	・読書手帳の配布	45冊
	10/26～11/24	・ペアの本をさがそう！	162人
	11/10	・工作教室 「アドベントカレンダーをつくろう！」	15人
	11/16	・夕暮れ時のおはなし会	47人
	11/21～11/23	・へきにゃごに会いたい	—
	11/22、24	・使ってみよう！電子図書館	11人
	11/23、30 (全2回)	・大人のためのキャラクター似顔絵講座	12人
雑誌の付録抽選会	12/7	資料を借りた方を対象に、雑誌の付録を抽選で配布	181人
クリスマスおはなし会	12/14	クリスマスにちなんだおはなし会	58人
図書の貸出無制限	12/15～12/28	特別休館の前に図書の貸出冊数を無制限とした	—

廃棄雑誌・リサイクル本の無料配布	2/1～2/9	保存期間切れの雑誌とリサイクル本の配布	雑1,540冊 本1,764冊
図書の貸出無制限	2/6～2/19	年末年始に図書の貸出冊数を無制限とした	—
司書Xからの挑戦状	3/18～4/8	司書Xからの謎を解きながら館内を巡り、図書館にかくされた「宝」を探すゲームを実施	72人
子ども1日司書	3/25(2回)	小学生を対象に、資料の貸出・返却などの図書館の仕事を体験	8人
読書手帳の配布	随時	読書記録がつけられる冊子を、幼児・児童に配布	92冊
おうちでおはなし会 セットの貸出	随時	家庭でおはなし会を楽しめるように季節の絵本や紙芝居をセットにして貸出	5回
図書館訪問	随時(7回)	園児、児童、生徒へのおはなし会や図書館見学会等の実施	225人
図書館体験学習	随時(4回)	依頼のあった中学校等の職場体験学習生や大学生等の図書館実習生の受け入れを実施	8人
碧南市出前講座	随時(4回)	依頼のあった児童クラブの児童に向けてブックトーク「どの本読もうかな」を実施	189人
学校訪問	11/13(2回)	依頼のあった中学生の生徒に向けて文豪をテーマにしたブックトークを実施	155人
保護者向け 読み聞かせ講座	随時	幼稚園・保育園に司書が外向き、保護者に読み聞かせの大切さについて話し、読み聞かせに向く絵本を紹介する	—

6 ボランティア活動推進事業

予算現額 106,000 円 (106,000 円) 増減無
決 算 額 100,410 円 (90,801 円) 10.6%増

(事業の目的及び概要)

読書や図書館に関係するボランティアを養成し、ボランティア活動を推進するために必要な経費である。

(事業の成果)

行 事 名	開 催 月 日	内 容	参加者数
おはなしボランティア 養成講座	5/15、22、29 (全3回)	学校や図書館で活動するボランティアや、これからボランティアとして活動してみたい人を対象に、読み聞かせの基礎やコツなどを学ぶ	17人
音声訳ボランティア レベルアップ講座	12/17、1/21、 2/18(全3回)	音声訳ボランティアの方を対象に録音図書作製技術の向上を図る講座	9人

7 図書館コンピュータシステム運営事業

予算現額 8,190,000 円 (8,055,000 円) 1.7%増
決 算 額 8,029,175 円 (8,047,931 円) 0.2%減

(事業の目的及び概要)

図書館業務をコンピュータ処理により行うための経費である。

(1) 消耗品類 (トナー、ロール紙等)	344,905 円
(2) 委託料 (図書館システムソフト保守委託)	876,590 円
(3) 使用料及賃借料	
機器類及び機器保守リース料	4,226,970 円
システムサーバ使用料	2,580,710 円

(事業の成果)

本館・分館・公民館を結ぶ図書館システムネットワークの安全性・正確性を確保し業務を進めることができた。

8 南部分館運営事業

予算現額 3,588,000 円 (3,584,000 円) 0.1%増

決 算 額 3,574,590 円 (3,507,176 円) 1.9%増

(事業の目的及び概要)

幼児からお年寄りまでが学び、楽しみ、成長する文化活動を積極的に行うことにより、図書館利用の促進を図る事業である。

(事業の成果)

購入資料数 1,542 点 (AV 資料を含む)

行 事 名	開 催 月 日	内 容	参加者数
おはなし会	毎月第4日曜日 (7回)	幼児・児童を対象にした紙芝居や絵本の読み聞かせ	76人
おひざにだっこの おはなし会	毎月第2火曜日 (12回)	乳幼児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせや、わらべうたを楽しむ	114人
絵本の時間	毎月第3金曜日 (5回)	1歳未満児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせや選び方を紹介し、わらべうたを楽しむ	12人
子ども読書の日 記念行事	4/14	工作教室「お花のカードをつくろう」	10人
こどもとしょかんまつり	6/1～6/30	・読書手帳の配布	4冊
	6/1～6/30	・「本を読んでビンゴ！」	62人
	6/2	・「くるくるユーフォー」作って遊ぼう！	15人
	6/23	・へきにゃごおはなし会	38人
七夕おはなし会	7/7	七夕にちなんだおはなし会	35人
夏休み行事	7/20～9/1	・読書手帳の配布	2冊
	7/27～8/25	・スポーツクイズ 「オリンピックだよ！みんなしゅうごう」	213人
	8/4	・工作教室「おばけになっちゃった！？」	13人
	8/25	・アリーナでおはなし会	43人
へきにゃごまつり ～秋の読書月間～	10/26～11/24	・読書手帳の配布	1冊
	10/26～11/17	・ミニ工作「ストローとんぼをつくろう」	97人
	11/3	・工作「アリーナで秋まつり」	13人
	10/27、11/16	・じぶんでかりてみよう	15人
	11/24	・おいしいもののおはなし会	15人
廃棄雑誌無料配布	11/23、24	保存期限切れの雑誌の配布	576冊
図書の貸出無制限	12/15～12/28	年末年始に図書の貸出冊数を無制限とした	—
クリスマスおはなし会	12/15	クリスマスにちなんだおはなし会	37人
新春じゃんけん大会	1/4～1/8	資料を借りた子どもとじゃんけんをして、勝った子にしおりをプレゼント	30人
図書の貸出無制限	2/6～2/16	特別休館の前に図書の貸出冊数を無制限とした	—
雑誌の付録抽選会	2/9	雑誌の付録の抽選会を行い利用者に配布	60人
大人のための工作教室	3/6	英字新聞でエコバックを作る	9人
子ども1日司書	3/25(2回)	小学生を対象に、資料の貸出・返却などの図書館の仕事を体験	—人
図書館訪問	随時(11回)	園児、児童、生徒へのおはなし会や図書館見学会等の実施	274人

図書館体験学習	随時(4回)	依頼による中学校の職場体験の受け入れ	7人
保護者向け 読み聞かせ講座	随時(1回)	幼稚園・保育園に司書が出向き、保護者に読み聞かせの大切さについて話し、読み聞かせに向く絵本を紹介する	25人

9 中部分館施設維持管理事業

予算現額 6,684,000 円 (7,954,000 円) 16.0%減

決算額 6,353,802 円 (7,595,204 円) 16.3%減

(事業の目的及び概要)

中部分館の保守点検や修繕を実施し、施設の維持管理を行う事業である。

- (1) 消耗品費 (トイレトーパー、コルクボード等) 105,919 円
- (2) 光熱水費 2,191,797 円
- (3) 修繕料 (トイレ修繕、ブックポスト修繕等) 723,536 円
- (4) 委託費 3,056,450 円

業 務	金 額 (円)	業 務	金 額 (円)
施設警備	145,530	ごみ収集業務	339,240
エレベータ保守点検	620,400	害虫駆除	93,500
自家用電気工作物保安管理	158,400	消防設備器具保守点検	16,500
清掃業務	1,447,600	自動扉保守点検	99,000
屋根ドレン清掃	82,500	諸工料 (電気点検)	15,500
玄関前レンガ高圧洗浄	38,280		

- (5) 使用料及び賃借費 (LEDリース料)

276,100 円

(事業の成果)

設備等の修繕・保守点検を行い、来館者が安全で快適に利用できるよう維持管理を行った。

10 中部分館運営事業

予算現額 3,532,000 円 (3,499,000 円) 0.9%増

決算額 3,531,816 円 (3,497,784 円) 1.0%増

(事業の目的及び概要)

図書館サービス網の一拠点として、幼児からお年寄りまでが学び楽しむことができる事業を行い、図書館の利用促進を図る事業である。

(事業の成果)

購入資料数 1,423 点 (AV 資料を含む)

行 事 名	開 催 月 日	内 容	参加者数
おはなし会	毎月第3土曜日 (11回)	幼児・児童を対象にした紙芝居や絵本の読み聞かせ	124人
おひざにだっこの おはなし会 (0歳～未就園児向)	毎月第1・3水曜日 (22回)	0歳から未就園児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせやわらべうたを楽しむ	347人
絵本の時間	毎月第1金曜日 (6回)	1歳未満児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせや選び方を紹介し、わらべうたを楽しむ	21人
春休み行事	4/1～4/7	「へきにやごはどこ？」を開催	110人
タケノコの皮の枚数 あてクイズ	4/17～4/24	タケノコの皮の枚数を当てるクイズ。最終日には「タケノコ解体ショー」を開催	延べ95人

子ども読書の日記念 クイズ&ゴールデン ウィーク	4/20～5/6	へきにゃご変身カレンダーをつくろう	86人
こどもとしゃかんまつり	6/1～6/10 6/1～6/30 6/1～6/30 6/19	・絵本お楽しみセットの貸出 ・読書手帳配布 ・へきにゃごぬりえにちょうせん！ ・おひざにだっこのおはなし会スペシャル 「みんなでこうつうあんぜん」	60セット 16冊 138人 62人
廃棄雑誌無料配布	6/29～7/4	保存期限切れの雑誌の配布	709冊
夏休み行事	7/20～8/12 7/20～8/12 7/20～9/1 7/24（2回） 8/5～8/12 8/28	・おすすめ本セットの貸出 ・かんたん工作「あおむしくん」をつくろう ・読書手帳配布 ・夏休み図書館こどもお絵かき講座 「ポスター教室」 ・雑誌の付録お楽しみ抽選会 ・おはなし会スペシャル「えんにちおはなし会」 ・えんにちゲーム	89セット 200人 18冊 19人 延べ350人 51人 47人
へきにゃごまつり ～秋の読書月間～	10/26～11/24 10/27 11/1～11/24 11/1～11/24 11/9（2回）	・読書手帳配布 ・ハロウィンおはなし会 ・今日の1さつお読みします ・Go To Travel 本の世界を旅しよう ・陶器のおうちに色をぬろう	16冊 41人 延べ205人 94人 12人
大人のための 干支人形作り教室	11/30、12/14 （全2回）	粘土で干支の人形（巳）を作成	13人 （延べ22人）
図書の貸出無制限	12/15～12/28	年末年始に図書の貸出冊数を無制限とした	—
クリスマス おたのしみWeek	12/14～12/21	本を3冊以上借りた子どもにプレゼントを配布	85人
クリスマスおはなし会	12/21	クリスマスにちなんだおはなし会	67人
新春へきにゃごおみくじ	1/4～1/13	おすすめ本が書いてあるおみくじを設置	78人
図書の貸出無制限	2/6～2/19	特別休館の前に図書の貸出冊数を無制限とした	—
大人のためのミニ工作 教室	2/12	一般利用者を対象に、廃棄になった英字新聞等を利用し「星形トレー」を作成	18人
子ども一日司書	3/25（2回）	小学生を対象に、資料の貸出・返却などの図書館の仕事体験	4人
春休み工作教室	3/26（2回）	「きょうりゅうのたまごをつくろう」を開催	47人
読書手帳の配布	随時	読書記録がつけられる冊子を、幼児・児童に配布	26冊
碧南市出前講座	随時（2回）	依頼のあった児童クラブの児童に向けてブックトーク「どの本読もうかな」を行う	70人
図書館訪問	随時（5回）	園児、児童、生徒へのおはなし会や図書館見学会等の実施	139人
図書館体験学習	随時（5回）	依頼による中学校等の職場体験の受け入れ	10人
保護者向け 読み聞かせ講座	随時	幼稚園・保育園に司書が出向き、保護者に読み聞かせの大切さについて話し、読み聞かせに向く絵本を紹介する	—

11 市民図書館費臨時事業

予算現額 3,428,000 円（586,000 円）485.0%増

決算額 3,412,013 円（437,000 円）680.8%増

（事業の目的及び概要）

市民図書館の管理・運営に要する臨時経費である。

(1) 工事請負費

図書館玄関庇軒樋改修工事

1,166,000 円

図書館玄関庇屋根パネル改修工事

924,000 円

(2) 備品購入費

据置型拡大読書器

260,513 円

ブックチェックユニット（2台）

1,061,500 円

(事業の成果)

施設・設備の経年劣化に対応した修繕を実施し、安定的な開館が可能となった。

蔵書状況

(1) 図書資料等

(単位：冊)

区 分		5年度末 蔵書数	6 年 度 受 入 数			除籍等	6年度末 蔵書数
			購入	寄贈等	計		
本館	一般図書	313,115	4,732	283	5,015	2,704	315,426
	児童図書	86,988	1,340	265	1,605	906	87,687
	ヤング資料	11,413	154	9	163	142	11,434
	地域資料	20,720	14	383	397	50	21,067
	視聴覚資料	14,621	100	2,067	2,167	107	16,681
	小計	446,857	6,340	3,007	9,347	3,909	452,295
南部分館	一般図書	33,676	1,059	17	1,076	1,779	32,973
	児童図書	14,025	476	104	580	615	13,990
	ヤング資料	563	3	0	3	22	544
	視聴覚資料	2,027	2	0	2	22	2,007
	小計	50,291	1,540	121	1,661	2,438	49,514
中部分館	一般図書	43,170	1,079	25	1,104	2,190	42,084
	児童図書	16,704	307	95	402	442	16,664
	視聴覚資料	2,681	18	2	20	49	2,652
	小計	62,555	1,404	122	1,526	2,681	61,400
公民館		8,601	0	52	52	97	8,556
合 計		568,304	9,284	3,302	12,586	9,125	571,765

※集計の都合上、寄贈等には寄贈のほか、弁償や所蔵場所変更による他館からの移動等を含む。

また、除籍等にも他館への移動分を含む。

(2) 電子図書

(単位：タイトル)

5年度末蔵書数	2,310	6年度末蔵書数	2,937

(3) 逐次刊行物

(単位：タイトル)

区 分	本 館	南部分館	中部分館
雑 誌	162	58	67
新 聞	11	4	4

利用状況

(1) 利用者数

(単位：人)

5年度 利用者	6年度利用者					
	本館	南部	中部	公民館	電子図書	合 計
137,548	99,250	13,947	18,926	103	2,960	135,186

(2) 貸出冊数

(単位：冊)

区 分	5年度 貸出数	6年度貸出数					
		本館	南部	中部	公民館	電子	合 計
一 般 図 書	226,928	164,872	24,780	32,319	86	-	222,057
児 童 図 書	197,121	135,235	24,348	30,792	125	-	190,500
ヤ ン グ 資 料	13,737	11,468	346	515	0	-	12,329
地 域 資 料	300	298	1	11	0	-	310
視 聴 覚 資 料	38,886	27,545	2,963	4,482	15	-	35,005
雑 誌	34,852	22,427	4,574	6,199	0	-	33,200
電 子 図 書	2,800	-	-	-	-	2,968	2,968
合 計	514,624	361,845	57,012	74,318	226	2,968	496,369

※電子図書は一般、児童等の区分がないため「電子図書」で計上。

8目 芸術文化ホール費	生涯学習課	SDGs	
予算現額	159,655,000 円	決算額の	その他特財 1,195,358 円
決算額	156,916,148 円	財源内訳	一般財源 155,720,790 円
(前年度決算額	202,673,691 円)		

説明

1 芸術文化ホール事務管理事業 予算現額 10,000 円 (9,000 円) 11.1%増
決算額 0 円 (0 円) 増減無

2 芸術文化ホール運営事業 予算現額 155,388,000 円 (155,556,000 円) 0.1%減
決算額 155,387,148 円 (155,548,679 円) 0.1%減

(事業の目的及び概要)

平成 26 年 4 月 1 日から導入した指定管理者の管理運営に係る経費。「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」に基づきホールの機能性及び特性を活性化し、芸術文化ホールの基本方針に沿った舞台芸術の振興及び普及事業を展開する。また、芸術文化ホール指定管理者審査委員会において、指定管理者の検証に関する事項について調査及び審議する。

(1) 芸術文化ホール指定管理事業

155,300,000 円

ア 芸術文化ホール利用状況

部 屋 名	令和 6 年度 (開館日数 307 日)		令和 5 年度 (開館日数 308 日)	
	利用日数	利用率	利用日数	利用率
エメラルドホール	255 日	88.5%	236 日	82.2%
シアターサウス	251 日	87.2%	244 日	85.9%
スタジオ	276 日	91.1%	269 日	88.2%

イ エメラルドホール事業 (4 事業)

区分	催事名	開催日	入場者(人)
優れた演奏家によるコンサート	古楽器と不思議な声の饗宴	6/22(土)	118
	紀平凱成ピアノコンサートツアー2024	11/ 9(土)	289
	エメラルドオペラ「魔笛」ハイライト	1/11(土)	324
	宝くじ文化公演「上野耕平・高橋優介スペシャルコンサート」	2/ 2(日)	396

ウ シアターサウス事業 (4 事業)

区分	催事名	開催日	入場者(人)
優れた表現作品の上演	ジャズインシアター&バーVol. 28 エメラルドジャズクラブ〜ジャズで聴く昭和歌謡〜	8/ 9(金)	150
	愛知県芸術劇場ファミリープログラム 「ベック from スコットランド」	7/26(金)	71
	こどもパーク 0 才からのおんがくかい	8/ 4(日)	180
	RAMO デュオコンサート guest 山崎くるみ	11/30(土)	71

エ 若手演奏家を育成する事業 (1 事業)

催事名	開催日	入場者(人)
新人演奏家コンサート (エメラルドホール)	1/26(日)	149

オ ヘきなん落語事業・シアターサウス (1 事業)

催事名	開催日	入場者数(人)
第 69 回へきなん落語 桂二葉 独演会	9/14(土)	301

カ 市民が参加する公演事業 (8 事業)

催事名	開催日	入場者(人)
碧南ロック G I G 2024	6/ 2(日) 7/14(日)	300
エメラルドホール音楽祭 (エメラルドホール)	3/15(土)	254
シアターサウス芸術祭 (シアターサウス)	2/15(土) 2/22(土)	850
アウトリーチ発展事業 (講師:SGI-J)	3/23(日)	230
「みんなで楽しく企てよう」企画公演 エメラルドブラス	全 15 回練習 2/ 8(土)	参加者 51 220
「みんなで楽しく企てよう」企画公演 ゴミンゾク	7/28(日)	60
「みんなで楽しく企てよう」企画公演 星空おはなし会	10/26(土)	110
グランドピアノ試奏会	5/24(金) 7/12(金) 9/26(木) 11/15(金) 1/24(金) 3/13(金)	105

キ 共催事業 (8 事業)

催事名	開催日	入場者(人)
ピティナ・ピアノステップ 碧南夏季地区 (エメラルドホール)	6/ 9(日)	300
藤井達吉現代美術館ミュージアムコンサート	6/30(日)	70
県下ピアノ独奏コンクール (エメラルドホール)	11/ 2(土) 11/ 3(日)	203
ピティナ・ピアノステップ 碧南秋季地区 (エメラルドホール)	11/16(土) 11/17(日)	210
刈谷国際音楽コンクール ガラコンサート in 碧南 (エメラルドホール)	2/23(日)	160
碧南映画の会 映画上映&監督トークショー「世界のおきく」	6/16(日)	217
ダ・カーポデビュー50 周年記念コンサート	7/26(金)	208
J スコラーズの東京ブギヴギ 昭和の名曲コンサート&J スコ歌声倶楽部	11/12(火)	166

ク 映画上映会・シアターサウス (10 事業)

催事名	開催日	入場者(人)
シアターサウス映画館「老後の資金がありません！」	6/19(水)	234
シアターサウス映画館「流浪の月」	7/27(土)	86
シアターサウス映画館「フラガール」	8/24(土)	58
シアターサウス映画館「万引き家族」	11/24(日)	59
シアターサウス映画館「身代わり忠臣蔵」	1/ 5(日)	63
シアターサウス映画館「お終活 熟春！人生百年時代の過ごし方」	2/28(日)	285
キネマ通りなつかシネマ「ローマの休日」	10/18(金)	131
キネマ通りなつかシネマ「市民ケーン」	12/20(金)	101
キネマ通りなつかシネマ「誰が為に鐘は鳴る」	2/28(日)	160
クリスマス子ども映画会「FLY！」(スタジオで遊ぼう)	12/ 7(土)	161

ケ ワークショップ事業 (4 事業)

催事名	実施日	受講者(人)
こどもパーク	8/ 4(日)	751
エメラルド1Day 講座 ANET あそび塾 楽しいオペラを創ろう! かさじぞう	8/21(水)	48
はじめてのフルーツ体験教室	2/16(日)	35
やさしい打楽器ワークショップ	12/21(土)	21

コ アウトリーチ事業 (2 事業)

催事名	実施日	受講者(校)
小学校アウトリーチ (音楽)	10/ 2(水) 10/ 7(月) 11/20(水) 11/26(火) 12/ 2(月)	6
中学校アウトリーチ (ダンス)	10/25(金) 11/ 6(水) 12/ 4(水) 12/13(金)	4
市内施設連携公演 幼・保巡回公演	2/18(火) 2/20(木) 2/25(火) 3/11(火) 3/13(木)	5

サ 講座事業 (2 事業)

区分	受講者(人)
エメラルドカルチャー教室 1期6講座、2期6講座、3期6講座 (ヨガ・つまみ細工・占星術など)	延べ 318
1day 講座 夏4講座、秋4講座、春4講座 (ヨガ・ものづくり・己書・ギターなど)	延べ 84

シ 館外PR活動事業 (2 事業)

催事名	実施日	入場者(人)
ハロウィンウォーク	10/27(日)	900
モーニングコンサート Op.1 モーニングコンサート Op.2 モーニングコンサート Op.3	9/ 6(金) 12/ 6(金) 3/21(金)	1,198

ス フォーラムコンサート事業 <登録アーティストによるコンサート> (6 事業)

催事名	実施日	入場者(人)
「カラフルトゥッティ」	4/20(土)	70
「太鼓連 六」	5/18(土)	190
「カズトレイン Sax Quartet」	6/ 8(土)	120
「牧哲也ピアノトリオコンサート」	9/21(土)	111
「西村麻衣子オカリナコンサート」	10/19(土)	120
「へきなん芸文音楽フェスティバル&マルシェ」	11/ 2(土)	300

セ へきなんアートフェア事業 (1 事業)

催事名	実施日	入場者(人)
ART POT LUCK	10/13(日)	800

ソ 年度別事業状況

	令和6年度			令和5年度		
	事業数	公演数 講座数	人数	事業数	公演数 講座数	人数
エメラルドホール	14	22	4,311	12	17	2,839
シアターサウス	20	20	3,768	15	16	3,418
館外PR活動	1	1	900	1	1	900
講座	2	30	402	2	23	435
ワークショップ	4	4	855	4	4	689
フォーラムコンサート	6	6	911	6	6	595
ワンコイン	6	8	1,931	3	3	415

(2) 指定管理者審査委員会運営事業

87,148 円

芸術文化ホール指定管理者審査委員会の開催 年2回 委員7名

(事業の成果)

指定管理者制度を導入する中で、専門的かつ高度な舞台芸術事業を開催し、文化芸術の振興及び普及をすることができた。また、審査委員会において、指定管理者の適正な運営について検証することができた。

3 芸術文化ホール費臨時事業

予算現額 4,257,000 円 (10,060,000 円) 57.7%減

決算額 1,529,000 円 (7,255,600 円) 78.9%減

(事業の目的及び概要)

芸術文化村の施設の維持管理等に係る臨時的経費で、修繕・工事、備品購入等を行う。

(1) 備品購入費

袖幕6枚及び伸縮袖幕6枚

1,529,000 円

(事業の成果)

備品購入により来館者の利便性の向上が図れた。



エメラルドオペラ「魔笛」ハイライト



へきなん落語 桂二葉独演会

9目 哲学たいけん村 無我苑費	文化財課	S D G s	
予算現額	50,941,000 円	決算額の	その他特財 6,065,120 円
決算額	48,757,018 円	財源内訳	一般財源 42,691,898 円
(前年度決算額	43,485,606 円)		

説明

1 無我苑事務管理事業

予算現額 16,394,000 円 (16,112,000 円) 1.8%増

決算額 16,190,245 円 (15,703,958 円) 3.1%増

一般職人件費 (2 人分)

2 無我苑維持管理事業

予算現額 19,406,000 円 (19,314,000 円) 0.5%増

決算額 18,903,312 円 (18,486,995 円) 2.3%増

(事業の目的及び概要)

哲学たいけん村無我苑施設の保守点検や修繕を実施し、施設や設備等の維持管理を行う。

(事業の成果)

施設設備の清掃、保守点検、修繕等を行い、来苑者が安全で快適に利用できるよう維持管理を行った。

(1) 主な支出

ア 消耗品費 (蛍光灯、トイレトーパー等)	183,312 円
イ 燃料費・光熱水費	3,316,413 円
ウ 修繕料 (車検、トイレつまり、ガラスフィルム取替等)	586,085 円
エ 役務費 (看板広告代、郵便料等)	653,756 円
オ 委託料 (庭園管理、施設管理、清掃、自動扉保守点検など)	13,917,238 円
カ 使用料及び賃借料 (レンタルマット等)	246,048 円
キ 公課費 (土地改良区賦課金)	460 円

(2) 施設利用状況

年度	研修道場（安吾館）				市民茶室 （涛々庵）	
	和室 1		和室 2			
6	264 日	493 回	272 日	500 回	85 日	208 回
	86.0%	53.5%	88.6%	54.3%	27.7%	22.6%
5	255 日	475 回	265 日	493 回	81 日	192 回
	82.8%	51.4%	86.0%	53.4%	26.3%	20.8%
4	253 日	467 回	248 日	467 回	90 日	204 回
	82.1%	50.5%	80.5%	50.5%	29.2%	22.1%
3	224 日	395 回	233 日	418 回	31 日	68 回
	72.7%	42.7%	75.6%	45.2%	10.1%	7.4%
2	157 日	307 回	164 日	310 回	16 日	36 回
	60.2%	39.2%	62.8%	39.6%	6.1%	4.6%

※令和 6 年度開館日数 307 日 開館単位数 921 回 (午前・午後・夜間)

3 無我苑運営事業

予算現額 6,538,000 円 (6,406,000 円) 2.1%増

決 算 額 6,204,031 円 (6,105,326 円) 1.6%増

(事業の目的及び概要)

芸術作品の展示や各種講座等を開催し、無我苑の基本テーマである「心の健康及び精神文化の醸成並びに文化交流の推進」を図る。

(事業の成果)

事業名	実施日	定員	参加人数
(1) 春のコンサート (2部制) 「碧の風ヴァイオリンコンサート」	4/20	各 50 人	100 人
(2) 第 1 回哲学講座 「なぜ涙がでるのか」	5/18	講師都合により中止	
(3) 心と身体のバランスを整える指ヨガ教室 (全 2 回) 「コロナ禍で縮こまった身体と心を 解きほぐそう」	6/16、6/30	16 人	15 人
(4) 和の歳時記教室 「古き道具に花を添える～見立てを学ぶ～」	6/2、6/3	各 8 人	12 人
(5) 折り紙教室	7/6	15 人	10 人
(6) なんば提灯作り教室 (2部制)	7/20	各 5 人	10 人
(7) 第 2 回哲学講座 (オンラインで哲学講座) 「親孝行するとは何をするのか」	7/27	15 人	12 人
(8) 納涼落語会	8/3	各 50 人	51 人
(9) 第 3 回哲学講座 「なぜ昔から「最近の若者は」と言われるのか」	8/10	20 人	20 人
(10) 和の歳時記教室 「杉葉香を楽しむ」	8/30、8/31	各 8 人	16 人
(11) 梶谷真司思考のワークショップ 「問うとはどういうことか」	9/14	20 人	20 人
(12) 第 4 回哲学講座 「無駄は本当に無駄か」	10/19	20 人	20 人
(13) 万華鏡作り教室	10/4	講師都合により中止	
(14) はじめての琴教室	10/26、11/2、 11/9、11/16	6 人	6 人
(15) 第 5 回哲学講座 (オンラインで哲学講座) 「人生を豊かにする AI との付き合い方は」	11/30	10 人	10 人
(16) 和の歳時記教室 「おめでたい植物たちでつくるお正月飾り」	12/20、12/21	各 8 人	16 人
(17) 新春コンサート (2部制) 「ケルトの響き アイルランドと音楽」	1/19	各 48 人	96 人
(18) 碧南の歴史を学ぶ 「近世・近代の新川地区」	1/24	12 人	12 人
(19) はじめての聞香教室	2/15	20 人	20 人

(20) 茶の湯文化講座 「古田織部の人と書」		3/1	28 人	28 人		
(21) 瞑想回廊展示作家ワークショップ						
宮寄祥子展 糸でミニランプシェードをつくろう		5/19	20 人	12 人		
ポスターでたどる日本アニメ映画の世界展 ギャラリートーク		2/9、3/16	－	60 人		
(22) 瞑想回廊展示関連連携事業						
西村一成絵画展 学芸員トークライブ 「西村一成の絵画—自分の知らないところでとんでもないことが起こっている」		8/17	30 人	50 人		
(23) 展示						
ア 宮寄祥子展「水と光と音 糸で紡ぐ創造の旅」 令和6年4月13日～令和6年6月9日						
イ 第6回碧南高等学校美術部作品展「あなたに見えるわたしの世界展」 令和6年6月15日～令和6年7月28日						
ウ 花しょうぶまつり写生大会&碧南3大花まつりフォトコンテスト入賞作品展 令和6年6月19日～令和6年7月15日						
エ 西村一成 絵画展「深怪魚、碧海を泳ぐ」 令和6年8月3日～令和6年9月29日						
オ 無我苑収蔵品展 令和6年10月6日～令和6年11月17日						
カ 伊藤公洋 陶展「土と炎」 令和6年11月29日～令和7年1月26日						
キ 佐々木順一郎コレクション「ポスターでたどる日本アニメ映画の世界展」 令和7年2月1日～令和7年3月23日						
(24) 呈茶事業						
		6 年度	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度
立礼茶席	営業日数	307	308	308	307	261
	呈茶数	14,118	10,642	10,592	8,972	7,052
	前年対比	32.7%増	0.5%増	18.1%増	27.2%増	23.0%減
涛々庵茶会	呈茶数	688	629	653	194	0
	前年対比	9.4%増	3.7%減	236.6%増	皆増	皆減

4 無我苑臨時事業

予算現額 8,603,000 円 (3,944,000 円) 118.1%増

決算額 7,459,430 円 (3,189,327 円) 133.9%増

(事業の目的及び概要)

施設の利用に支障がある箇所の修繕等を行い、適切な維持管理を図る。

(事業の成果)

一般会計	歳出	10款 5項	教育費 社会教育費
(1) 瞑想回廊2階アスベスト調査委託			198,000 円
(2) 瞑想回廊2階南空調設備更新工事			4,963,200 円
(3) キュービクル修繕			599,500 円
(4) 瞑想回廊点字ブロック張替修繕			930,820 円
(5) 水道設備目隠し囲い壁設置修繕			640,200 円
(6) 庭園ポンプ中水管修繕			127,710 円

10目 水族館費	海浜水族館	S D G s	   
予算現額	226,805,000 円	決算額の	その他特財 92,326,643 円
決算額	206,873,143 円	財源内訳	一般財源 114,546,500 円
(前年度決算額	232,251,000 円)		

説明

1 水族館事務管理事業

予算現額 92,606,000 円 (93,613,000 円) 1.1%減

決算額 88,913,445 円 (90,947,622 円) 2.2%減

(1) 一般職人件費 (11人)

(2) 水族館事務管理事業

(事業の目的及び概要)

海浜水族館の事務管理に関する事業である。

(事業の成果)

前年度よりも少ない20万人弱(歴代7番目)の利用であったが、有料入館者数、年間パスポートの登録者数は増加した。

区 分	大 人		小 人		合 計	
	R6	R5	R6	R5	R6	R5
有料入館者数	80,741	80,656	29,682	30,368	110,423	111,024
年間パスポート入館者	11,593	10,411	2,290	2,254	13,883	12,665
無料入館者数	17,316	34,636	51,303	51,500	68,619	86,136
合 計	109,650	125,703	83,275	84,122	192,925	209,825

※大人は、高校生以上。小人は、年中以上。

主な無料入館者数は、次のとおり。以降、括弧書きは前年度の数値である。

年少以下の無料入館 38,009 (37,796) 人

障害者手帳 9,711 (8,901) 人

ジュニアパスポート 2,739 (2,791) 人

65歳以上の市民無料招待〔9月〕 238 (88) 人

2 水族館維持管理事業

予算現額 74,626,000 円 (76,737,000 円) 2.8%減

決算額 68,548,915 円 (66,034,701 円) 3.8%増

(事業の目的及び概要)

海浜水族館の修繕や保守点検を実施し、施設や展示機器等の維持管理を行うものである。

さらに、来館者の満足度の向上のため、ペーパーキャップ製作体験およびミュージアムショップ商品の充実を図っている。

(事業の成果)

設備等の修繕や保守点検を実施し、来館者が安全で快適に利用できるよう維持管理を行った。また、利用促進を想定しリニューアルオープン後に取り組んでいる物品販売に関しても来館者から好評をいただいている。

3 水族館協議会運営事業

予算現額 111,000 円 (124,000 円) 10.5%減

決算額 74,268 円 (80,468 円) 7.7%減

(事業の目的及び概要)

碧南海浜水族館協議会は博物館法に定められた博物館協議会として、水族館の運営、展示方針等を審議する諮問機関である。委員数12名以内で、年2回開催している。

(事業の成果)

事業計画及び成果について審議され、今後の運営及び展示方針等の参考及び指針とした。

4 水族館展示管理事業

予算現額 5,864,000 円 (6,441,000 円) 9.0%減

決算額 4,948,948 円 (5,506,746 円) 10.1%減

(事業の目的及び概要)

海浜水族館の展示に関する資料の収集を行う事業である。

(事業の成果)

(1) 水族館エリア

三河湾・伊勢湾を中心とした海水魚をはじめとして、大水槽の展示を充実させるため、マアジの群れや大型のナルトビエイを搬入して、より迫力あるイメージを印象付けることができた。また、春先の桜が咲く時期にサクラダイを展示するなど、季節を意識した内容で来館者の関心を高める展示を提供できた。

無脊椎動物（エビ・カニなど）	56	(50) 種	421	(310) 点
魚類	226	(210) 種	3,404	(2,409) 点
爬虫類（カメなど）	6	(5) 種	95	(113) 点
両生類（ドラゴンズベビーなど）	11	(10) 種	35	(31) 点
昆虫類	1	(0) 種	1	(0) 点

令和7年3月末展示数 計 300 (275) 種 3,956 (2,863) 点

※展示生物購入費 560,062 円 ※生物搬入 84 回 210 種 3,204 点

※餌料購入費 1,853,379 円

(2) 2階展示エリア

参加型解説として人気が高いクイズラリーは、26,781（昨年度 29,583）件の利用があった。

(3) ビオトープエリア

野生のカルガモがビオトープエリア内で産卵、ふ化を経て、成長した4羽が巣立っていった。この事例はマスコミにも取り上げられ、来館者からはたいへん好評であった。ボランティア活動について、ボランティアの登録者も申込者が年々増加しており、例年実施している米作りなど活動の幅が広がっている。ビオトープ観察会では、外部講師によるトンボのヤゴの調査をはじめとして、計4回の観察会を実施した。

5 校外学習実施事業

予算現額 85,000 円 (72,000 円) 18.1%増

決算額 50,352 円 (25,391 円) 98.3%増

(事業の目的及び概要)

海浜水族館を学校教育活動（社会人実習を含む）の中に積極的に取り入れ、効果的な学習活動を推進するものである。

(事業の成果)

市内の小学2・4・6年生の校外学習はすべて計画通り実施することができた。小学4年生の学校訪問指導についても、学校側の要請通りに対応することができた。

(1) 市内学校校外学習の受け入れ

学 習 内 容	対 象	学 校 数		学 級 数		児 童 数	
		R6	R5	R6	R5	R6	R5
いろいろな魚たち（水族館見学）	小学2年生	7	7	20	20	632	651
碧南の土地の広がり・昔の道具体験	小学4年生	7	7	21	22	656	649
魚の解剖・バックヤード見学	小学6年生	7	7	21	21	677	682
	合 計	21	21	62	63	1,965	1,982

(2) 市内学校訪問指導

学 習 内 容	対 象	件 数		児 童 数	
		R6	R5	R6	R5
ヤドカリとイソギンチャク	小学4年生	7	7	626	649
メダカの飼育について	小学5年生	2	-	66	-
	合 計	9	7	692	649

※令和5年度は、この他に小学6年生2件59人に対して訪問指導を行っている。

(3) 実習および体験学習の受け入れ

学 習 内 容	対 象	件 数		受け入れ人数	
		R6	R5	R6	R5
職場体験	中学生	9	11	9	11
博物館実習（6日間）	大学生	1	1	4	6
水族館実習（6日間）	大学・専門・高校生	4	9	4	9
	合 計	14	21	17	26

(4) 市外学校及び子供会等に向けた学習プログラム

学 習 内 容	対 象	件 数		児童生徒数	
		R6	R5	R6	R5
館内学習プログラム	市外小中学生他	59	10	2,597	908

6 博物館活動実施事業

予算現額 1,849,000 円 (1,426,000 円) 29.7%増

決 算 額 1,660,651 円 (1,319,249 円) 25.9%増

(事業の目的及び概要)

自然観察会、サマースクールなどの教育普及活動や三河地方に生息する魚類の生息調査をはじめとした日本産希少淡水魚やニホンイシガメの保護繁殖などの調査研究を行うものである。

(事業の成果)

幼稚園・保育園児から一般を対象とした教育普及活動について、バックヤードツアーをはじめとする学習プログラムを、ほぼ計画通りに実施することができた。

(1) 博物館教育普及活動事業

活 動 内 容	対 象	回 数		人 数	
		R6	R5	R6	R5
バックヤードツアー（計2種）	一般	118	111	2,943	2,558
水族館写生大会	幼・保・小・中	4	3	159	118
自然観察会（計4種）	一般	4	5	146	55
サマースクール（計3種）	小学生	7	5	248	79
各種工作教室（計5種）	一般	26	14	2,418	679
ビオトープイベント（計6種）	一般	6	6	※141	5,648
ビオトープボランティア（計8種）	ボランティア	8	7	162	161
計29種	合 計	173	151	6,217	9,298

※一部の事業は、来館者体験イベントであり、参加人数のカウントができないものがある。

(2) 日本産希少淡水魚保護事業

絶滅危惧種の種保存事業を実施し、ウシモツゴ 352 (296) 個体、カワバタモロコ 475 (282) 個体、ネコギギ 4 (0) 個体、イタセンパラ 50 (120) 個体のほか、ミナミメダカ 210 (270) 個体、ヤリタナゴ 29 (13) 個体、ニホンイシガメ 4 (46) 個体などが繁殖した。特に、イタセンパラは環境省中部地方環境事務所と、ウシモツゴ及びカワバタモロコは愛知県環境局環境政策部自然環境課と連携して保護活動を進めている。

7 特別展開催事業

予算現額 5,735,000 円 (5,521,000 円) 3.9%増

決算額 4,696,185 円 (3,518,423 円) 33.5%増

(事業の目的及び概要)

特別展は、夏休みや冬休みを中心に開催し、主に常設展で展示できないテーマについて期間限定で開催する。そのほか、季節や学習体験のできるイベントなどを通して楽しみながら学べる施設づくりに取り組む。

(事業の成果)

2回の特別展を開催したほか、時事に応じた話題性のあるイベント等、以下の行事を開催した。それぞれ季節に応じた展示を企画したことによりマスコミにも多く取り上げられ、来館者からも好評を得ることができた。

実施行事名称	開催期間	開催日数	見学者数
(1) 特別展			
・夏「水族最強決定戦」	7/20～9/29	63 日	※55,064 人
・冬「しましま みずたま ぐるぐる」	12/21～2/24	54 日	※31,193 人
(2) イベント			
・イシガメ放流と大きさクイズ	4/28	1 日	14 人
・カメ博士矢部先生講演会	4/29	1 日	52 人
・おもちゃの金魚すくい	5/3, 4・8/13～15	5 日	1,117 人
・ニホンイシガメ餌やり体験	4/27～10/20	153 日	4,400 人
・季節を発見！おたのしみ水槽 梅雨（アマガエル）	6/1～7/15	39 日	※26,901 人
ハロウィン（おかしな水族館）	9/28～11/4	33 日	※24,623 人
干支の生きもの	12/14～1/13	24 日	※12,100 人
恵方巻	1/18～2/2	11 日	※8,309 人
お花見（花より“だんごうお”）	3/8～3/31（4/13）	20 日	※12,352 人
・水族館の大そうじ「大水槽潜水清掃公開！」	4/19	1 日	109 人
・水族館の年末の大そうじ「大水槽潜水清掃公開！」	12/6	1 日	190 人
・こたろうむ	11/30～2/11	60 日	※29,312 人
・岡崎市東公園動物園行事 移動水族館	8/18	1 日	253 人
移動動物園	10/20	1 日	370 人
・夜の水族館	10/12	1 日	1,589 人
・碧南高校科学部 透明標本展	10/30～12/1	29 日	※14,659 人
合計 18 (17) 事業		498 (318) 日	222,607 (241,460) 人

※期間中の入館者数

一般会計	歳出	10款 5項	教育費 社会教育費
8 水族館費臨時事業	予算現額	45,929,000 円	(66,904,000 円) 31.4%減
	決算額	37,980,379 円	(64,818,400 円) 41.4%減
(事業の目的及び概要)			
海浜水族館の施設維持管理に要する臨時的な経費である。			
(事業の主な成果)			
施設の安全性かつ利便性が向上し、利用者が快適に利用できる環境整備が進んだ。			
需用費（ウェットスーツ2着、水族館入館券印刷等）		1,374,384 円	
委託料（2階展示エリア改修委託（設計）、アスベスト調査委託等）		7,076,520 円	
工事請負費（外壁改修工事、ミュージアムショップ床張替修繕）		28,417,400 円	
備品購入費（A i r レジ、ミュージアムショップ什器）		1,112,075 円	

11目 美術館費	藤井達吉現代美術館	SDGs	
予算現額	143,471,000 円	決算額の	その他特財 9,970,453 円
決算額	128,346,838 円	財源内訳	一般財源 118,376,385 円
(前年度決算額)	122,454,286 円)		

説明

1 美術館事務管理事業 予算現額 42,080,000 円 (25,180,000 円) 67.1%増
決算額 39,681,453 円 (23,066,075 円) 72.0%増

(1) 一般職人件費 (5人)

(2) 美術館事務管理事業

2 美術館協議会運営事業 予算現額 196,000 円 (196,000 円) 増減無
決算額 77,000 円 (127,960 円) 39.8%減

(事業の目的及び概要)

博物館法に定められた協議会で美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。委員数10名(収集部会委員は4名)。

(事業の成果)

(1) 令和6年12月17日に第1回收集部会を開催し収集候補作品について協議。

(2) 令和7年3月12日に第1回協議会を開催し事業計画、事業成果等について協議。また、収集部会の内容について報告を行った。

3 美術館施設管理事業 予算現額 42,527,000 円 (41,904,000 円) 1.5%増
決算額 35,227,258 円 (36,177,704 円) 2.6%減

(事業の目的及び概要)

美術館施設の保守点検や修繕を実施し、空調設備等設置機器などの維持管理を行う。

(事業の成果)

設備等の保守点検や修繕を行い来館者が安全で快適に利用できるよう維持管理を行った。

4 企画展開催事業 予算現額 44,220,000 円 (56,157,000 円) 21.3%減
決算額 39,884,045 円 (51,475,972 円) 22.5%減

(事業の目的及び概要)

多くの方に関心を持ってもらえるテーマを選定し、幅広い企画展示を行うとともに講演会、ワークショップ等を開催し、芸術文化の向上を図る。

(事業の成果)

(1) 企画展・常設展・共催展等

観覧者総数 57,401 人 (令和5年度 56,853 人)

ア 企画展

観覧者数 28,901 人 (※歴史系企画展 8,502 人含む) (令和5年度 31,313 人)

(ア) NEW FACE 2024 新収蔵品展

期間 32日間 (令和6年4月6日～5月12日)

観覧者数 2,243 人 (1日平均 70.1 人、有料 545 人 24.3%、無料 1,698 人)

- (イ) 春陽会誕生100年それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ
期間 38日間(令和6年5月25日～7月7日)
観覧者数 6,518人(1日平均171.5人、有料2,180人 33.4%、無料4,338人)
- (ウ) 松本竣介《街》と昭和モダン—糖業協会と大川美術館のコレクションによる—
期間 44日間(令和6年7月20日～9月8日)
観覧者数 6,406人(1日平均145.6人、有料2,259人 35.3%、無料4,147人)
- (エ) 足利市立美術館所蔵・浅川コレクション 夢を追いかけた“前衛”の鼓動
期間 45日間(令和7年1月4日～2月24日)
観覧者数 5,232人(1日平均116.3人、有料812人 15.5%、無料4,420人)

イ 常設展

観覧者数 23,892人(令和5年度 23,197人)

(ア) 「コレクション展 1～5期」

期間 256日間(令和6年4月6日～令和7年3月23日)

観覧者数 23,892人(1日平均93.3人)

ウ 共催展等

観覧者数 4,608人(令和5年度 2,343人)

(ア) 第31回西三文協美術展

期間 6日間(令和6年9月18日～9月23日)

観覧者数 1,167人(1日平均194.5人)

(イ) 第37回碧南市野外彫刻絵画コンテスト入賞作品展

期間 12日間(令和6年11月23日～12月8日)

観覧者数 275人(1日平均 22.9人)

(ウ) 第16回碧南文化協会選抜美術展

期間 8日間(令和6年11月30日～12月8日)

観覧者数 801人(1日平均 100.1人)

(エ) HEKINANから それぞれのスピリッツ展16th

期間 10日間(令和6年12月12日～12月22日)

観覧者数 603人(1日平均60.3人)

(オ) るるる展

期間 14日間(令和7年2月1日～2月16日)

観覧者数 355人(1日平均25.4人)

(カ) 第6回碧南ビエンナーレ

期間 12日間(令和7年3月11日～3月23日)

観覧者数 1,249人(1日平均104.1人)

(キ) 市民ギャラリー貸出

美術作品等を創作している皆さんの発表の場として多目的室Bを有料で開放

観覧者数 158人(1件延べ5日)

(2) 教育普及事業

参加者総数 1,811人(令和5年度 3,468人)

ア 「NEW FACE 2024 新収蔵品展」関連

(ア) 記念講演会「コレクションが語るもの」(4月28日)

講師 木本文平(当館館長) 参加者56人

- (イ) ワークショップ「いろんなひと」(5月4日)
講師 小島雅生氏 参加者 13 人
- (ウ) 当館学芸員によるギャラリートーク(期間中3回開催) 参加者計 46 人
- (エ) 中央小学校3年生遠足受け入れ(4月26日) 参加者 106 人
- イ 「春陽会誕生100年それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」関連
- (ア) 開催記念クロストーク「春陽会の発信力」(5月25日)
講師 入江観氏、原田光氏、土方明司氏、木本文平(当館館長) 参加者 68 人
- (イ) 開催記念講演会「春陽会の草創と、その後の発展」(6月8日)
講師 田中正史氏 参加者 38 人
- (ウ) ワークショップ「物語の挿絵を描いてみよう」(6月29日)
講師 岩崎里香氏 参加者 18 人
- (エ) ミュージアムコンサート「シロクマカルテット」(6月30日)
演奏 加藤圭一氏、大野由紀氏、柘植昌走氏、大野公善氏 参加者 60 人
- (オ) 当館学芸員によるギャラリートーク(期間中3回開催) 参加者計 102 人
- ウ 「松本竣介《街》と昭和モダン—糖業協会と大川美術館のコレクションによる—」
関連
- (ア) 記念講演会「昭和モダンの絵画」(7月20日)
講師 田中淳氏 参加者 39 人
- (イ) 高浜市やきものの里かわら美術館・図書館とのバスツアー(7月27日)
参加者 13 人
- (ウ) ワークショップ「コラージュとドローイング」(8月3日)
講師 加藤K氏 参加者 16 人
- (エ) みんなでアートを楽しむフリートークデー(8月18日)
ワークシート配布人数 計 108 人
- (オ) 高齢者向けギャラリートツアー(8月27日) ※台風10号接近のため中止
- (カ) コンサート(9月1日) ※台風10号接近のため中止
- (キ) 夜間特別開館(9月1日) ※台風10号接近のため中止
- (ク) 当館学芸員によるギャラリートーク(期間中4回開催) 参加者計 131 人
- エ 「足利市立美術館所蔵・浅川コレクション 夢を追いかけた“前衛”の鼓動」関連
- (ア) 記念コンサート「1960年代、世界を席卷したビートルズ・サウンズ！」
(1月11日)
演奏 アコースティック・ミカ・バンド 参加者 72 人
- (イ) ワークショップ「実験！—絵の具をプレス—」(1月12日)
講師 当館教育普及担当 参加者 14 人
- (ウ) 記念コンサート「ケイティ・フォード1960年代ポップス」(2月2日)
演奏 ケイティ・フォード 参加者 58 人
- (エ) 記念鼎談「魅力的なコレクションのエピソード」(2月8日)
講師 浅川邦夫氏、江尻潔氏、篠原誠司氏 参加者 54 人
- (オ) 当館学芸員によるギャラリートーク(期間中4回開催) 参加者計 96 人
- (カ) 中学校美術館学習(期間中)
参加者 703 人(市内中学校1年生及び教員)

5 美術品運営事業

予算現額 13,361,000 円 (16,550,000 円) 19.3%減
 決算額 12,727,684 円 (10,985,141 円) 15.9%増

(事業の目的及び概要)

市民が芸術に触れる機会の充実を図るため、美術品の収集・管理・保存を行うとともに美術に関するワークショップを開催。

(事業の成果)

(1) 主な支出

ア 報償費 (ワークショップ講師謝礼など)	170,500 円
イ 消耗品費 (ワークショップ材料等)	130,602 円
ウ 委託料 (収藏品写真撮影業務、額縁及び保存箱作成業務など)	4,030,582 円
エ 使用料及び賃借料 (収藏品管理システム利用料)	396,000 円
オ 備品購入費 (計 8,000,000 円)	
(ア) 須田 国太郎《井筒 (金春光太郎)》 水彩・素描	80,000 円
(イ) 須田 国太郎《猫》 水彩・素描	60,000 円
(ウ) 須田 国太郎《裸婦》 水彩・素描	60,000 円
(エ) 須田 国太郎《風景 (忠海)》 水彩・素描	50,000 円
(オ) 須田 国太郎《静物》 水彩・素描	50,000 円
(カ) 木村 荘八《陶器と果物》 油彩	1,500,000 円
(キ) 森田 恒友《漁夫の家族》 油彩	1,000,000 円
(ク) 森田 恒友《漁村 (網干)》 油彩	800,000 円
(ケ) 不染 鉄《南海孤帆》 日本画	1,800,000 円
(コ) 辻 晋堂《二人の孤独》 彫塑・立体	1,000,000 円
(サ) 辻 晋堂《Adobe》 版画	200,000 円
(シ) 辻 晋堂《作品》 版画	150,000 円
(ス) 辻 晋堂《作品》 版画	150,000 円
(セ) 辻 晋堂《作品》 版画	100,000 円
(ソ) 辻 晋堂《作品》 版画	100,000 円
(タ) 松本 竣介《少女像》 水彩・素描	900,000 円



△木村 荘八《陶器と果物》



△不染 鉄《南海孤帆》

(2) ワークショップの開催

ア 期間 令和 6 年 4 月 21 日～令和 7 年 3 月 16 日

イ 参加者等 50 講座 延べ 512 人 (令和 5 年度 49 講座 延べ 483 人)

(3) 出前講座

一般会計	歳出	10款 5項	教育費 社会教育費
ア 期間 令和6年6月13日～令和7年2月6日			
イ 参加者等 延べ529人（市内小学校2校 延べ18クラス）（令和5年度 延べ886人 市内小中学校6校 延べ30クラス）			

6 彫刻のあるまちづくり事業	予算現額	1,087,000 円（998,000 円）	8.9%増
	決算額	749,398 円（621,434 円）	20.6%増

（事業の目的及び概要）

彫刻のあるまちづくりの教育普及と野外彫刻13作品及び記念作品のメンテナンス等を行う。

（事業の成果）

（1）第37回野外彫刻絵画コンテスト

- ア 募集期間 夏休み期間
- イ 応募数 364 点（令和5年度 369 点）
- ウ 作品展示 令和6年11月23日～12月8日

1 目 保健体育総務費	学校教育課 スポーツ課	S D G s	
予算現額	117,781,000 円	決算額の	その他特財 2,607,320 円
決算額	115,020,536 円	財源内訳	一般財源 112,413,216 円
(前年度決算額	111,455,620 円)		

説明

- 1 保健体育事務管理事業 予算現額 62,320,000 円 (59,019,000 円) 5.6%増
 決算額 60,490,991 円 (56,763,543 円) 6.6%増
 一般職人件費 (7 人) 59,675,810 円 + 課執行分 815,181 円
- 2 小学校健康管理事業 予算現額 27,653,000 円 (27,757,000 円) 0.4%減
 決算額 27,398,575 円 (27,342,975 円) 0.2%増
 学校保健安全法に基づき児童及び小学校教職員の健康診断を実施
- 3 中学校健康管理事業 予算現額 14,818,000 円 (15,405,000 円) 3.8%減
 決算額 14,497,987 円 (14,743,313 円) 1.7%減
 学校保健安全法に基づき生徒及び中学校教職員の健康診断を実施
- 4 就学時健康管理事業 予算現額 1,390,000 円 (1,390,000 円) 増減無
 決算額 1,281,800 円 (1,377,360 円) 6.9%減
 学校保健安全法に基づき就学時の健康診断を実施
- 5 学校環境管理事業 予算現額 5,777,000 円 (5,665,000 円) 2.0%増
 決算額 5,739,799 円 (5,604,019 円) 2.4%増
 学校保健安全法に基づき学校環境調査を実施

* 上記事業 2、3 の健康診断委託料の内訳

児童、生徒及び教職員の健康診断委託

委 託 事 業 名	内 容	金 額
児童・生徒心臓疾患 検査委託	心電図 小学校 1,285 人 中学校 664 人	2,120,150 円 1,095,600 円
尿検査委託	小学校 3,966 人 中学校 2,097 人	1,570,536 円 830,412 円
教職員健康診断委託	定期健康診断 216 人 胃部間接撮影 87 人 (35 歳以上)	1,872,640 円 497,640 円

一般会計	歳出	10款	教育費
		6項	保健体育費
6 日本スポーツ振興センター事業	予算現額	5,723,000 円	(5,776,000 円) 0.9%減
	決算額	5,575,625 円	(5,624,410 円) 0.9%減

(事業の目的及び概要)

学校の管理下における児童生徒の負傷や疾病に対する医療費、障害見舞金、死亡見舞金等を給付する「災害共済給付」の掛金。

(事業の成果)

独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、共済掛金の支払いを行った。

7 碧南市学校保健大会実施事業	予算現額	100,000 円	(0 円) 皆増
	決算額	35,759 円	(0 円) 皆増

(事業の目的及び概要)

教育における保健衛生の研究並びに普及発展を図るため、碧南市学校保健大会を実施する。(隔年開催、前回令和4年度)

(事業の成果)

・記念講演

『学校生活とアレルギー』

あいち小児保健医療総合センター 保健センター保健室長 杉浦 至郎 氏

・研究発表

『小児の外傷や痛みへの対応』

(医師部会)

『養護教諭がおこなう包括的ないのちの学びについて

～いのちを大切にする心を育む取組～』

(養護教諭部会)

2目 学校体育費	学校教育課 スポーツ課	S D G s	
予算現額	14,917,000 円	決算額の 財源内訳	一般財源 13,945,691 円
決算額	13,945,691 円		
(前年度決算額	11,129,469 円)		

説明

1 学校体育事務管理事業 予算現額 381,000 円 (403,000 円) 5.5%減
決算額 379,251 円 (402,083 円) 5.7%減

2 学校体育行事実施事業 予算現額 953,000 円 (929,000 円) 2.6%増
決算額 891,122 円 (874,756 円) 1.9%増

(事業の目的及び概要)

小中学校における体育や部活動等で鍛えられた走力、跳力、投力等を競う場として各種大会を開催し、児童及び生徒の1つの目標とする。

碧南高浜支所大会、総合体育大会を開催した。

- ・令和6年度西三河中学校選手権大会碧南・高浜地区予選会
- ・令和6年度秋季市民スポーツ大会 (中学1・2年の部)
- ・第75回碧南市小学校陸上競技大会

3 部活動外部講師委嘱事業 予算現額 349,000 円 (1,024,000 円) 65.9%減
決算額 270,270 円 (865,040 円) 68.8%減

(事業の目的及び概要)

特別に専門的な指導を要する新体操のプロの講師を、委嘱し派遣する。

新体操部は令和6年度いっぱい廃部になるため、部活動として地域移行せず、本事業は令和6年度末をもって終了する。

(事業の成果)

- ・1学期33回委嘱 (これとは別に構成指導1回)

4 学校部活動地域移行支援事業 予算現額 13,234,000 円 (11,738,000 円) 12.7%増
決算額 12,405,048 円 (8,987,590 円) 38.0%増

(事業の目的及び概要)

少子化が進展し、学校部活動を従前と同様の体制で運営することが難しくなってきた中で、よりよいスポーツ環境づくりと文化芸術活動の場を目指して、専門性の高い指導者を配置すること (専門性の提供) と、学校の小規模化で運営・活動できない児童・生徒をなくすこと (選択の拡大) を推進し、持続可能な部活動環境を整備する。

(事業の成果)

- ・講師人数130人 年間3,504回
- ・部活動地域移行検討委員会委員謝礼 3回開催

3 目 社会体育費	スポーツ課	S D G s			
予算現額	149,537,000 円	決算額の	その他特財 30,827,888 円		
決算額	142,565,060 円	財源内訳	一般財源 111,737,172 円		
(前年度決算額	211,523,530 円)				

説明

1 社会体育事務管理事業

予算現額 2,572,000 円 (2,434,000 円) 5.7%増

決算額 2,373,581 円 (2,033,461 円) 16.7%増

(1) 社会体育事務管理事業

1,423,581 円

(2) スポーツ選手強化委託事業

950,000 円

2 社会体育施設維持管理事業

予算現額 73,857,000 円 (81,107,000 円) 8.9%減

決算額 69,882,207 円 (70,830,675 円) 1.3%減

(事業の目的及び概要)

社会体育に関する全般的な施設維持管理事業であり安心・安全に利用できる施設を目指す。

(事業の成果)

(1) 体育施設維持管理事業

67,219,228 円

ア 社会体育施設利用状況

施設名	利用件数 (件)		利用人数 (人)	
	R6 年度	R5 年度	R6 年度	R5 年度
臨海公園グラウンド	499	463	23,728	22,457
羽久手公園グラウンド	390	448	16,321	18,397
玉津浦グラウンド	618	566	47,676	42,785
2号地グラウンド	111	101	7,250	10,590
港南グラウンド	143	161	9,989	11,511
沢渡公園グラウンド	572	550	10,428	9,966
道場山西公園グラウンド	138	133	2,107	1,913
碧公園グラウンド	116	130	7,310	10,693
水源公園グラウンド	345	356	11,456	12,195
臨海公園テニスコート	4,759	4,557	43,551	40,104
羽久手公園テニスコート	708	542	5,834	5,489
水源公園テニスコート	1,388	1,436	12,691	12,617
港湾スポーツセンターテニスコート	3,905	3,733	30,762	30,599
港湾スポーツセンター弓道場	4,031	4,261	5,241	5,579
日進ゲートボール場	306	282	5,220	4,680
2号地運動広場	104	123	15,970	15,600
油ヶ渚地域運動広場	780	1,070	25,330	37,900
2号地多目的グラウンド	308	298	36,512	48,083
臨海公園ドーム	2,167	2,396	36,916	38,064
碧南緑地少年サッカー場	134	130	6,401	6,241
碧南緑地ビーチコート	1,692	1,497	38,354	35,953
合 計	23,214	23,233	399,047	421,416

イ 委託料

委 託 名	金 額(円)
碧南市臨海公園グラウンド・ドーム等施設管理業務委託	13,586,337
碧南緑地少年サッカー場芝生管理委託	8,903,070
臨海公園グラウンド芝生管理委託	7,340,630
港湾スポーツセンター及び碧南緑地スポーツ施設受付等管理業務委託	4,700,397
碧南市体育施設管理委託	3,662,282
碧南市体育施設トイレ清掃業務委託	2,277,444
その他(清掃、ごみ処理、警備委託等)	6,135,393
合 計	46,605,553

(2) 体育施設整備事業 2,662,979 円

沢渡公園防球ネット設置

碧南市臨海公園ドームLED照明設置

3 スポーツ推進審議会運営事業

予算現額 168,000 円 (168,000 円) 増減無

決 算 額 140,000 円 (140,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

碧南市スポーツ推進審議会に関する条例に基づき、スポーツ振興に関する事項について調査審議し、教育委員会に建議する。

(事業の成果)

審議会 2回開催

4 スポーツ推進委員会運営事業

予算現額 2,359,000 円 (2,550,000 円) 7.5%減

決 算 額 2,180,955 円 (2,266,985 円) 3.8%減

(事業の目的及び概要)

碧南市スポーツ推進委員に関する規則に基づき、住民のスポーツ振興について実技指導及び組織の育成等を図り、スポーツの振興に寄与する。

(事業の成果)

(1) 委員会 4回開催

(2) 活動状況

ア 実技指導 174人

イ 研修会 206人

ウ 運営委員会 44人

5 社会体育関係団体補助事業

予算現額 3,913,000 円 (5,183,000 円) 24.5%減

決 算 額 3,913,000 円 (4,512,373 円) 13.3%減

(事業の目的及び概要)

市民スポーツ活動、レクリエーション活動等の普及振興を図り、健康で豊かな市民生活の実現に寄与する。

(事業の成果)

(1) 碧南市レクリエーション協会補助事業 243,000 円

6団体 540人

(2) 碧南市スポーツ協会補助事業 1,800,000 円

一般会計		歳出	10款 6項	教育費 保健体育費
17団体	5,187人			
(3) 碧南市スポーツ少年団補助事業				270,000円
30団体	1,251人			
(4) へきなん総合型スポーツクラブ補助事業				1,600,000円
会員組数 456組	会員数 518人			
6 スポーツ大会実施事業		予算現額 3,767,000円 (3,468,000円)	8.6%増	
		決算額 3,578,352円 (3,062,615円)	16.8%増	
(事業の目的及び概要)				
各種レクリエーション、スポーツ大会を実施し、スポーツの普及を目指す。				
(事業の成果)				
(1) 各種レクリエーション・スポーツ大会実施事業				279,040円
(2) 市民駅伝大会委託事業				1,278,112円
一般	60チーム			
小学生	27チーム			
(3) へきなんマラソン実施事業				535,881円
ジョギング参加者	167人	(令和5年度	164人)	
マラソン 一般	135人	(令和5年度	129人)	
〃 小学生	77人	(令和5年度	63人)	
〃 中学生	78人	(令和5年度	110人)	
(4) 市民スキー大会実施事業				1,008,819円
教室参加者	3人	(令和5年度	11人)	
大会参加者	15人	(令和5年度	20人)	
(5) 西三河大会実施事業				476,500円
7 市民スポーツ大会実施事業		予算現額 1,623,000円 (1,505,000円)	7.8%増	
		決算額 1,605,821円 (1,498,071円)	7.2%増	
(事業の目的及び概要)				
全市民を対象に市民総合スポーツ大会を開催し、広くスポーツ活動の振興と健康の増進を図るため各種競技会を実施する。				
(事業の成果)				
競技種目	16競技	20種目中	20種目実施	
8 スポーツ教室開設事業		予算現額 13,427,000円 (13,587,000円)	1.2%減	
		決算額 12,627,526円 (12,241,916円)	3.1%増	
(事業の目的及び概要)				
広く市民にスポーツを親しんでもらうため、初心者を対象に教室を開設する。				
(事業の成果)				
昼間教室	5教室	246人	(令和5年度	5教室 235人)
夜間教室	5教室	212人	(令和5年度	5教室 180人)
子供教室	13教室	493人	(令和5年度	12教室 474人)
短期教室	0教室	0人	(令和5年度	1教室 19人)

一般会計	歳出	10款 6項	教育費 保健体育費

9 学校体育施設開放事業 予算現額 6,741,000 円 (5,870,000 円) 14.8%増
決算額 6,546,558 円 (5,434,818 円) 20.5%増

(事業の目的及び概要)

地域におけるスポーツ活動の場として、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設の開放を図る。

(事業の成果)

小学校 7 校、中学校 5 校、高等学校 2 校
開放登録団体 94 団体 登録者 3,899 人

10 碧南市新体操発表会等実施事業 予算現額 440,000 円 (536,000 円) 17.9%減
決算額 439,212 円 (451,392 円) 2.7%減

(事業の目的及び概要)

新体操の選手育成を目的とし、新体操発表会を開催し、新体操の更なる発展に寄与する。

(事業の成果)

人前で演技する緊張感を体験し、個人のステップアップを図る機会として、碧南市夏の新体操発表会を開催した。市内クラブチームに所属する 39 人が大会に参加した。

団体による新体操演技を披露し、演技する楽しさ、観る楽しさをアピールする機会として碧南市秋の新体操発表会を開催した。市内クラブチームに所属する 56 人が大会に参加した。

委託事業名	期 日	参加者(人)
碧南市夏の新体操発表会	6月23日(日)	39
碧南市秋の新体操発表会	11月23日(木)	56

11 大型ヨット体験乗船事業 予算現額 53,000 円 (49,000 円) 8.2%増
決算額 31,984 円 (33,100 円) 3.4%減

(事業の目的及び概要)

碧南市の特色としての海のスポーツであるヨット競技に親しむ契機とするため、ヨットの体験乗船を実施する。

(事業の成果)

9 艇のヨットオーナーの協力により、41 人が体験乗船に参加し、心に残る貴重な体験ができる場として体験乗船ができた。(令和 5 年度 参加者 49 人)

12 地域スポーツ推進事業 予算現額 350,000 円 (350,000 円) 増減無
決算額 317,292 円 (281,289 円) 12.8%増

(事業の目的及び概要)

地域ニュースポーツの各事業を行い、地域スポーツの推進を図る。

(事業の成果)

ディスクドッジ大会 in へきなを碧南緑地ビーチコートにて開催した。ビーチコートでのディスクドッジ大会は県内でも珍しく、碧南市の特色を活かした大会にすることができた。

一般会計	歳出	10款	教育費
		6項	保健体育費
13 スポーツ指導者養成事業	予算現額	261,000 円	(262,000 円) 0.4%減
	決算額	180,276 円	(187,352 円) 3.8%減

(事業の目的及び概要)

各種目別のスポーツ指導者を養成することを目的とする。

(事業の成果)

スポーツ指導者の資格等取得に関する経費の一部補助として、スポーツ少年団に補助金を交付した。また、スタートコーチ（ジュニア・ユース）の講習会を開催し、28名の指導者が受講した。スポーツ少年団をはじめ、地域スポーツの場で活躍できる人材を育成することができた。

14 全国女子軟式野球選抜交流大会実施事業	予算現額	610,000 円	(610,000 円) 増減無
	決算額	597,100 円	(591,416 円) 1.0%増

(事業の目的及び概要)

全国から女子軟式野球の強豪8チームによる質の高い試合を行うことにより、地元チームのレベル向上と、「観る元気ッス！」運動の実施を図る。

(事業の成果)

全国から強豪女子軟式野球チームを一堂に集め試合をすることにより、技術向上の機会を提供及び女子野球の楽しさのアピールし、女子軟式野球のさらなる発展に寄与した。

15 スポーツ推進計画推進事業	予算現額	1,132,000 円	(479,000 円) 136.3%増
	決算額	709,414 円	(423,787 円) 67.4%増

(事業の目的及び概要)

現行の碧南市スポーツ推進計画（平成27年3月策定）が令和6年度をもって計画期間が満了することから、次の10年間のスポーツ施策の方向性を位置づけた第2次碧南市スポーツ推進計画を策定した。また、スポーツを通じた「健康都市へきなん」を目指し、計画の目標を実現するための事業を実施した。

(事業の成果)

(1) 第2次碧南市スポーツ推進計画の策定（令和7年3月）

ア 基本理念

だれもがスポーツに親しみ明るく元気になること

スポーツがまちの活性化に活かされること

イ 目指す姿

スポーツで ひともまちも 元気ッス！

ウ 目標

「する」「みる」「ささえる」「つながる」の4つの元気ッス！運動に位置付けた取り組みを実施することにより、スポーツ実施率（週1回以上スポーツを実施している市民の割合）60%を目指す。

エ 策定委員会

4回

(2) 実施事業

やろまいペタボード碧南大会 参加者75人

一般会計	歳出	10款 6項	教育費 保健体育費
16 万博メモリアル駅伝出場委託事業	予算現額 500,000 円 (450,000 円) 11.1%増 決算額 499,869 円 (450,000 円) 11.1%増		
(事業の目的及び概要) 「愛知万博」を記念し、県内市町村の交流やスポーツの振興などを目的として2006年から開催されている「愛知駅伝」に参加する。			
(事業の成果) 小中学校や碧南市陸上競技協会の協力のもと、計18名の選手を選抜した。結果は県内全38市のうち25位であった。			
17 スラックライン全国大会実施補助事業	予算現額 200,000 円 (200,000 円) 増減無 決算額 200,000 円 (200,000 円) 増減無		
(事業の目的及び概要) 全国大会を行うことで、スラックラインのレベル向上を図るとともに、選手間の交流を図る。			
(事業の成果) 競技者は40人（へきなん総合型スポーツクラブのスラックライン教室参加者は、うち10人）、観客100人、スタッフ15人が集まり、日頃から磨いた技術を競い合った。 「体験コーナー」を併設し、子どもの集客に注力した。また、県外からの参加も多く、盛り上がった。オープンクラスはレベルの高い技を観ることができ、見応えのある決勝となった。			
18 碧南緑地ビーチスポーツ推進事業	予算現額 7,043,000 円 (6,292,000 円) 11.9%増 決算額 6,993,424 円 (4,956,967 円) 41.1%増		
(事業の目的及び概要) 碧南緑地ビーチコートの普及、新たなスポーツの競技者増加によるスポーツ実施率の向上及び全国大会等の誘致による市民の精神的な向上を目的としてビーチ競技の全国大会を実施する。			
(事業の成果) ビーチバレーボール、ビーチサッカーの2種目でそれぞれ全国大会の実施、誘致を行い、国内競技者へのPRと、継続した利用者の確保につながった。ビーチサッカー大会については、U-12の部を新設し、子ども世代への競技の普及及び競技力向上を図った。また、地元小学生を対象としたビーチサッカー教室を実施し、子ども世代のビーチ競技への関心を高め、定着化を図った。			
HEKINANカップ（ビーチサッカー全国大会）実施委託料		3,702,772 円	
ジャパンビーチバレーボールツアー2024 サテライト<BVT2>			
碧南大会実施委託料		300,000 円	
全国中学生ビーチバレーボール選手権大会実施委託料		2,275,786 円	
ビーチバレーネット購入費		186,001 円	
ビーチバレーコートライン購入費		182,979 円	
ビーチサッカーコートライン購入費		176,000 円	
その他（消耗品等）		169,886 円	

19 中学校部活動支援事業

予算現額 3,241,000 円 (1,886,000 円) 71.8%増

決算額 2,492,612 円 (1,560,231 円) 59.8%増

(事業の目的及び概要)

市内中学校に部活動として設置されている運動種目について、活動機会の増加を望む生徒が任意に参加できる活動の場を設けることで、中学生期におけるスポーツ活動の充実を図る。

(事業の成果)

バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール、サッカー、卓球、軟式野球、剣道、陸上の8種目で実施した。部活動が縮小傾向にある中、市内の中学1、2年生184人が登録し、学校時間外に運動機会を確保することができた。

種目	曜日	会場	登録生徒数	指導員数
バスケットボール	木	新川中	32人	14人
ソフトテニス	木	中央中	25人	13人
バレーボール	月	南中	41人	14人
サッカー	水	東中	31人	19人
卓球	月	新川中	15人	5人
軟式野球	木	新川中	18人	14人
剣道	月	南中	11人	5人
陸上	火	豊田織機	11人	5人

20 スケートボード大会実施補助事業

予算現額 200,000 円 (200,000 円) 増減無

決算額 200,000 円 (200,000 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

碧南市の施設を活用し、スポーツイベントを開催することで、地域を活気づけ、碧南市スポーツ推進計画の基本方針「する」「観る」「学ぶ」を体現し健康都市へきなんへの推進を図る。

(事業の成果)

競技者36人（へきなん総合型スポーツクラブのスケートボード教室参加者は、うち6人）、観客100人、スタッフ12人が集まった。初参加の子どももいたが、日頃の練習の成果を大いに発揮した。オープンクラスではレベルの高い技を観ることができた。

21 スポーツ振興基金積立事業

予算現額 25,380,000 円 (100,043,000 円) 74.6%減

決算額 25,378,877 円 (100,042,882 円) 74.6%減

(事業の目的及び概要)

スポーツ振興事業の円滑な推進に必要な財源を確保するため、碧南市スポーツ振興基金に積立てを行うものである。

(事業の成果)

令和5年度末基金残高	100,042,882 円
令和6年度積立額	25,000,000 円
令和6年度利子積立	378,877 円
令和6年度末基金残高	125,421,759 円

22 オリンピック・パラリンピック出場選手応援事業

予算現額 1,700,000 円（新規）

決 算 額 1,677,000 円

（事業の目的及び概要）

令和6年8月に開催されたパリ2024パラリンピック競技大会自転車競技に市内在住・在勤の川本翔大選手が出場したため、広く市民等に周知し、市を挙げて応援するとともにパラスポーツへの理解を深めるため、懸垂幕及び応援ブース等を設置した。

(1) スポーツ奨励費	200,000 円
(2) 応援懸垂幕・横断幕の作成	137,500 円
(3) 委託料（応援ブース設置、ポスター作成）	1,339,500 円

（事業の成果）

懸垂幕・横断幕の掲出、市役所及び臨海体育館での選手応援ブースの設置のほか、市公式LINEでのPRにより、選手の周知及び応援機運の醸成が図られた。

【大会結果】

(1) トラック3000m個人パシュート	4位入賞（日本新記録を更新）
(2) トラック1000mタイムトライアル	6位入賞
(3) ロードタイムトライアル	8位入賞
(4) ロードレース	20位



パラリンピックトラックレースの様子



川本選手の応援ブース（市役所）

4 目 勤労者体育センター費	スポーツ課	S D G s			
予算現額	7,281,000 円	決算額の 財源内訳	その他特財 一般財源	1,736,815 円	
決算額	5,587,247 円			3,850,432 円	
(前年度決算額	3,260,661 円)				

説明

- 1 勤労者体育センター維持管理事業 予算現額 3,584,000 円 (3,957,000 円) 9.4%減
決算額 2,857,487 円 (3,260,661 円) 12.4%減

(事業の目的及び概要)

勤労者体育センターにおける施設維持管理に要する経費である。

(事業の成果)

- (1) 碧南勤労者体育センター利用状況

利用件数(件)		利用人数(人)	
令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
1,820	2,047	22,258	25,319

- (2) 維持管理

ア 電気料・上下水道料 1,570,034 円

イ 修繕料

内 容	金 額(円)
2階ドア取替修繕	139,700
自動ドアエンジン取替修繕	363,000
合 計	502,700

ウ 委託料

委 託 名	金 額(円)
清掃業務委託	236,500
警備業務委託	145,530
その他(樹木剪定、保守点検等)	186,560
合 計	568,590

エ その他事業用消耗品等 216,163 円

- 2 勤労者体育センター費臨時事業 予算現額 3,697,000 円 (新規)
決算額 2,729,760 円

(事業の目的及び概要)

勤労者体育センターにおける施設維持管理に要する臨時的経費である。

(事業の成果)

- (1) LED照明賃貸借 96,360 円

照明をLED照明灯の賃貸借にすることで、消費電力の抑制及び温室効果ガス排出量の削減を図った。

- (2) 体育室壁修繕 2,633,400 円

体育室の壁がはがれ、利用者の安全確保に支障をきたすため、修繕工事を実施した。

5目 臨海体育館費	スポーツ課	S D G s	
予算現額	162,308,000 円	決算額の	その他特財 9,499,011 円
決算額	61,177,261 円	財源内訳	一般財源 51,678,250 円
(前年度決算額	56,772,899 円)		

説明

1 臨海体育館事務管理事業

予算現額 317,000 円 (337,000 円) 5.9%減

決算額 312,130 円 (331,800 円) 5.9%減

2 臨海体育館維持管理事業

予算現額 60,997,000 円 (59,723,000 円) 2.1%増

決算額 59,377,681 円 (54,242,969 円) 9.5%増

(事業の目的及び概要)

臨海体育館における施設維持管理に要する経費である。

(事業の成果)

(1) 施設維持管理事業

58,959,124 円

ア 臨海体育館利用状況

(ア) 団体利用

施設名	利用件数（件）								実利用件数 合計（件）		利用人数(人)	
	午前		午後Ⅰ		午後Ⅱ		夜間					
年度	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5
アリーナ	231	232	264	259	275	273	377	407	665	715	52,883	43,027
第1体育室	284	266	287	254	167	150	391	385	949	883	33,699	33,388
第2体育室	112	85	138	126	140	99	172	131	326	252	10,409	9,496
会議室	93	76	83	70	78	73	106	106	189	167	2,827	2,339
和 室	67	70	56	48	46	37	37	31	83	79	1,165	1,295
合 計	787	729	828	757	706	632	1,083	1,060	2,212	2,096	100,983	89,545

(イ) 個人利用

施設名	利用人数（人）								合計（人）	
	午前		午後Ⅰ		午後Ⅱ		夜間			
年度	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5
アリーナ	25	70	274	247	255	155	533	571	1,087	1,043
第1体育室	26	44	52	62	147	129	145	176	370	411
トレーニング室	6,560	5,839	－	－	4,987	4,855	7,822	6,722	19,369	17,416
合 計	6,611	5,953	326	309	5,389	5,139	8,500	7,469	20,826	18,870

イ 維持管理

(ア) 燃料費・光熱水費

15,501,919 円

(イ) 修繕料

3,989,920 円

(ウ) 委託料

委 託 名	金 額(円)
臨海体育館施設管理業務委託	17,963,000
清掃業務委託	10,268,280
夜間受付管理業務委託	3,264,684
ごみ収集委託	339,240
エレベーター保守点検委託	792,000

音響設備等保守点検委託	528,000
自家用電気工作物保安管理業務委託	501,600
警備委託業務	409,200
消防設備点検委託	314,600
その他(トレーニング器具点検等)	524,700
合 計	34,905,304

(エ) LED照明賃貸借 3,501,960 円

(オ) その他消耗品等 1,060,021 円

(2) 器具維持管理事業 418,557 円
トレーニング機器修繕等

3 臨海体育館費臨時事業 予算現額 101,014,000 円 (2,200,000 円) 4491.5%増
決 算 額 1,487,450 円 (2,198,130 円) 32.3%減

(事業の目的及び概要)

臨海体育館における施設維持管理に要する臨時的経費である。

(事業の成果)

(1) 備品購入費

内 容	金 額(円)
セノーコードレスバイクBFU 2台	1,256,200
臨海体育館卓球台 1台	231,250
合 計	1,487,450

(2) 臨海体育館屋根防水改修工事(令和7年度への繰越明許費) 99,473,000 円

臨海体育館のアリーナにおいて、複数箇所にわたり雨漏りが頻発しており、利用者の安全確保に支障をきたすとともに大会の進行等にも多大な影響を及ぼすため、屋根の防水改修工事を実施する。(令和7年9月末工事完了予定)

6 目 学校給食費	庶務課	S D G s			
予算現額	1,215,128,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	11,330,000 円	
決算額	1,018,664,018 円		その他特財	386,760,293 円	
(前年度決算額	871,038,849 円)		一般財源	620,573,725 円	

説 明

- 1 学校給食事務管理事業 予算現額 28,615,000 円 (25,470,000 円) 12.3%増
 決算額 27,608,852 円 (24,080,726 円) 14.7%増
- 一般職人件費 17,277,088 円
 学校給食事務管理事業 3,285,019 円
 学校給食費徴収事務業務委託事業 7,046,745 円
- 主な事業
 委託料 (口座振替システム業務委託) 3,777,488 円

- 2 学校給食センター維持管理事業 予算現額 107,714,000 円 (107,688,000 円) 0.0%増
 決算額 103,116,423 円 (98,092,498 円) 5.1%増

(事業の目的及び概要)

同一建物内で稼動している第1学校給食センター (平成19年9月建替) 及び第2学校給食センター (平成20年9月増築) の建物及び附帯設備、厨房機器・器具等の維持管理を行うための経費である。

(事業の成果)

設備・機器の保守点検を実施し、適正な維持管理を図ることができた。

施設維持管理事業 102,536,333 円

主な事業

燃料費 (L P ガス) 32,563,863 円

光熱水費 (電気料) 20,904,475 円

(上下水道料) 15,785,610 円

委託料 25,729,265 円

事業名	内容	金額
大型調理機器等保守点検委託 (第1・2)	年2回点検	1,767,700 円
施設設備管理・操作業務委託 (常時2名)	機器運転・整備	10,058,400 円
ごみ収集委託	可燃月5回ほか	1,659,680 円
ボイラー保守点検委託	年1回点検	2,320,670 円
ガスヒートポンプエアコン保守点検委託 (第1)	年2回点検	1,631,850 円
ガスヒートポンプエアコン保守点検委託 (第2)	年2回点検	1,385,780 円
冷蔵庫・冷凍庫等保守点検委託 (第1・2)	年2回点検	1,281,555 円
その他16件		5,623,630 円

器具維持管理事業 580,090 円

- 3 学校給食センター整備事業 予算現額 900,000 円 (900,000 円) 増減無
 決算額 889,317 円 (889,880 円) 0.1%減

(事業の目的及び概要)

第1、第2学校給食センターで使用する調理器具・食器具等の整備を行うための経費である。

(事業の成果)

調理器具・食器具等の整備を行い、衛生的及び効率的な給食業務が実施できた。

器具整備事業

889,317 円

4 学校給食センター運営審議会運営事業

予算現額 51,000 円 (58,000 円) 12.1%減

決算額 29,109 円 (29,109 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

学校給食センター運営審議会は、学校給食センターの運営に関する重要な事項について調査及び審議をするため、碧南市学校給食センターの設置に関する条例第4条に基づき設置されている。この審議会の開催および運営に要する経費である。

(事業の成果)

学校給食センター運営審議会を年1回開催し、適正な学校給食センター運営を図ることができた。

運営審議会委員13人、運営審議会年1回（令和6年7月30日）開催

5 学校給食調理事業

予算現額 391,373,000 円 (376,171,000 円) 4.0%増

決算額 390,774,265 円 (368,786,630 円) 6.0%増

(事業の目的及び概要)

適正な学校給食調理業務を実施するための衛生管理及び食材購入等に要する経費である。

(事業の成果)

安心・安全な学校給食を提供するとともに、給食残さの飼料化等を実施することで、環境にもやさしい給食とすることができた。

調理・洗浄器具等整備事業

136,180 円

給食業務職員管理事業

479,094 円

賄材料調達事業

373,076,211 円

(1) 学校給食の実施状況及び学校給食費（雑入）調定額

区 分	学校(園)名	給食回数(回)	延べ給食数(食)	給食費(円)
幼稚園	新川幼稚園	182	17,896	3,292,690
	中央幼稚園	182	14,565	2,416,250
	大浜幼稚園	182	16,088	2,528,730
	棚尾幼稚園	183	17,933	3,040,590
	西端幼稚園	182	11,407	1,711,240
小学校	新川小学校	187	144,789	34,712,664
	中央小学校	187	117,449	28,127,040
	大浜小学校	184	113,698	27,252,144
	棚尾小学校	184	119,254	28,561,032
	日進小学校	187	70,082	16,807,404
	鷺塚小学校	184	120,173	28,791,162
	西端小学校	188	79,446	19,067,040
中学校	新川中学校	188	74,737	20,155,362
	中央中学校	187	54,152	14,597,280

	南 中学校	187	120,792	32,578,332
	東 中学校	186	94,439	25,426,854
	西端中学校	187	39,147	10,569,690
その他	給食センター	190	13,311	3,194,640
合 計			1,239,358	302,830,144

(2) 卒業記念スペシャルメニュー給食

中学校3年生の卒業を記念して、献立を麦ご飯、ハヤシシチュー、ウインナー及び海そうサラダとし、中学校3年生のみ通常の給食に「焼きそば」と「ケーキ」を加えたスペシャルメニューを提供した。

実施日：令和7年2月12日（水）

食器具・食材料検査事業 348,480 円

食品・食器等検査状況

4月から3月まで（4月、8月を除く）、毎月（10回）実施した。

検査点数 46点（食品34点・食器等12点）

検査項目 残留農薬、大腸菌群、残留脂肪、（注）E. coli、澱粉性残留物、保存料、サルモネラ菌、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ、一般細菌数等

※（注）E. coliは糞便性大腸菌群

検査結果について特に問題となるような基準超過は認められなかった。

検査委託先：公益財団法人愛知県学校給食会、半田市医師会健康管理センター

食品残さ資源化事業 16,734,300 円

平成21年度から開始した事業で、調理くず及び給食の食べ残し等の回収及び運搬を行い、給食残さを飼料化し、牛乳パックを固形燃料化する事業。

6 学校給食配送事業 予算現額 53,036,000 円（52,079,000 円）1.8%増
決算額 51,657,188 円（52,078,400 円）0.8%減

（事業の目的及び概要）

学校給食の配送及び回収業務を委託するために要する経費である。

（事業の成果）

大きな問題もなく、学校給食の配送及び回収を行うことができた。

学校給食配送委託 51,657,188 円

7 学校給食業務委託事業 予算現額 301,301,000 円（290,796,000 円）3.6%増
決算額 301,301,000 円（290,796,000 円）3.6%増

（事業の目的及び概要）

学校給食の調理業務、洗浄業務、学校配膳業務・配膳補助業務等を実施するための経費である。

（事業の成果）

大きな問題もなく適正な学校給食の調理等を実施することができた。

学校給食センター給食調理等委託 301,301,000 円

一般会計	歳出	10款 6項	教育費 保健体育費
8 学校給食費臨時事業	予算現額	332,138,000 円	(38,587,000 円) 760.8%増
	決算額	143,287,864 円	(36,285,606 円) 294.9%増

(事業の目的及び概要)

学校給食センター等の管理運営に要する臨時的な経費である。

(事業の成果)

臨時的な経費の執行により、安定した調理業務を実施することができた。

消耗品費（調理器具の消耗品等）	1,863,246 円
修繕料（調理設備・器機、冷蔵庫、空調等）	5,338,718 円
空調設備改修工事	97,400,000 円
備品購入費（エプロン式フライヤー一式等）	38,685,900 円

1 目 公共施設災害復旧費	財政課	S D G s	
予算現額	20,000,000 円	決算額の	
決算額	0 円	財源内訳	
(前年度決算額)	0 円)		

説 明

1 災害復旧費

予算現額 20,000,000 円 (20,000,000 円) 増減無

決 算 額 0 円 (0 円) 増減無

(事業の目的及び概要)

台風、洪水、地震、その他の災害により被害を受けた施設等を原形に復旧するための経費である。

(事業の成果)

令和6年度は大きな自然災害が無かったため、執行していない。

1 目 元金	財政課	S D G s	
予算現額	1,084,499,000 円	決算額の	
決算額	1,084,498,060 円	財源内訳	一般財源
(前年度決算額	1,195,037,331 円)		1,084,498,060 円

説 明

1 市債償還金（元金） 予算現額 1,084,499,000 円（1,195,268,000 円）9.3%減
決 算 額 1,084,498,060 円（1,195,037,331 円）1.2%増

（事業の目的及び概要）

市債の元金償還に関する経費である。

（事業の成果）

平成21年度から、市税収入が大幅に減少したため、適債事業については起債対象とするようにした。令和6年度については、（都）碧南駅前線整備事業、長田橋橋梁改修事業、北部工業地整備事業、中央小学校トイレ改修事業などの大型事業費の財源として、市債を発行した。

令和6年度においては、借入額が償還額を下回ったことにより、年度末時点の市債現在高は前年度に対し1.7%減少した。

市債の状況

単位：円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
当該年度借入額	883,500,000	996,000,000	673,300,000	949,800,000
当該年度償還額	1,120,087,839	1,161,580,778	1,195,037,331	1,084,498,060
年度末市債現在高	8,878,061,386	8,712,791,566	8,191,054,235	8,056,356,175

2 目 利子	財政課	S D G s	
予算現額	28,558,000 円	決算額の	一般財源
決算額	23,345,235 円	財源内訳	23,345,235 円
(前年度決算額	23,069,952 円)		

説 明

- 1 市債償還金（利子） 予算現額 26,558,000 円（25,455,000 円）4.3%増
決 算 額 23,345,235 円（23,069,952 円）1.2%増

（事業の目的及び概要）

市債の利子償還に関する経費である。

（事業の成果）

平成21年度から、市税収入が大幅に減少したため、適債事業については起債対象とするようにした。令和6年度については、（都）碧南駅前線整備事業、長田橋橋梁改修事業、北部工業地整備事業、中央小学校トイレ改修事業などの大型事業費の財源として、市債を発行した。

令和6年度においては、借入額が償還額を下回ったことにより、年度末時点の市債現在高は前年度に対し1.7%減少した。

- 2 一時借入金利子 予算現額 2,000,000 円（2,000,000 円）増減無
決 算 額 0 円（ 0 円）増減無

（事業の目的及び概要）

会計年度内の歳計現金が不足した場合に、その不足を補うために借り入れる金銭をいう。借入限度額を20億円と設定し、借入利率は短期プライムレートで試算している。

（事業の成果）

令和6年度中は歳計現金が不足する事態はなく、一時借入を行うことはなかった。

1 目 予備費	財政課	S D G s	
予算現額	13,924,000 円	決算額の	
決算額	0 円	財源内訳	
(前年度決算額	0 円)		

説 明

- 1 予備費 予算現額 13,924,000 円（13,274,000 円）4.9%増
決 算 額 0 円（ 0 円）増減無

一般会計人件費款別支出状況（除報酬）

（単位：円）

款	人数	給 料	職 員 手 当	共 済 費	合 計
1 議 会 費	6	21,027,436	15,605,102	7,039,673	43,672,211
2 総 務 費	133	535,447,384	783,027,331	169,776,800	1,488,251,515
3 民 生 費	125	410,440,300	288,131,815	134,436,649	833,008,764
4 衛 生 費	23	85,557,338	58,130,879	28,333,303	172,021,520
5 労 働 費	1	4,940,400	3,452,494	1,666,390	10,059,284
6 農林水産業費	13	54,499,500	40,034,251	18,521,807	113,055,558
7 商 工 費	10	38,629,866	29,594,413	12,806,934	81,031,213
8 土 木 費	49	201,163,769	142,223,784	67,390,631	410,778,184
9 消 防 費	0	0	0	0	0
10 教 育 費	109	433,546,827	302,144,940	143,039,441	878,731,208
一般会計合計	469	1,785,252,820	1,662,345,009	583,011,628	4,030,609,457

※特別職（市長、副市長、教育長、その他特別職）、議員、会計年度任用職員を除く。

給与費支出内訳
【全会計】
特別職

	内 訳	金 額(単位：円)
長 等 (3人)	②給料	30,479,999
	③職員手当等	49,668,176
	④共済費	6,990,387
	計	87,138,562
議 員 (22人)	①報酬	118,720,086
	③職員手当等	48,365,010
	④共済費	31,930,000
	計	199,015,096
その他特別職	①報酬	34,569,589
	計	34,569,589
	合 計	320,723,247

一般職(950人)

(人数：令和7年3月1日現在)

節区分	内 訳	金 額(単位：円)
②給料		3,573,942,282
③職員手当等	扶養手当	77,088,010
	管理職手当	121,044,000
	地域手当	328,656,074
	住居手当	42,936,401
	通勤手当	47,548,316
	時間外勤務手当	317,022,065
	休日勤務手当	17,453,558
	夜間勤務手当	25,433,901
	宿日直手当	30,648,000
	特殊勤務手当	442,589,350
	管理職員特別勤務手当	908,000
	期末手当	821,256,760
	勤勉手当	713,949,851
	児童手当	49,935,000
	退職手当	530,976,212
④共済費		1,213,959,840
	合 計	8,355,347,620

【一般会計】
特別職

	内 訳	金 額(単位：円)
長 等 (3人)	②給料	30,479,999
	③職員手当等	49,668,176
	④共済費	6,990,387
	計	87,138,562
議 員 (22人)	①報酬	118,720,086
	③職員手当等	48,365,010
	④共済費	31,930,000
	計	199,015,096
その他特別職	報酬	22,529,589
	計	22,529,589
合 計		308,683,247

一般職(469人)

(人数：令和7年3月1日現在)

節区分	内 訳	金 額(単位：円)
②給料		1,785,252,820
③職員手当等		1,662,345,009
	扶養手当	43,398,433
	管理職手当	84,573,900
	地域手当	151,846,213
	住居手当	19,804,027
	通勤手当	21,565,346
	時間外勤務手当	141,371,728
	休日勤務手当	2,231,055
	夜間勤務手当	33,872
	宿日直手当	0
	特殊勤務手当	212,900
	管理職員特別勤務手当	908,000
	期末手当	413,401,373
	勤勉手当	353,256,454
	児童手当	25,350,000
	退職手当	404,391,708
④共済費		583,011,628
合 計		4,030,609,457

【国民健康保険特別会計】

特別職

内 訳	金 額(単位：円)
その他特別職 ①報酬	287,000
合 計	287,000

一般職(10人)

(人数：令和7年3月1日現在)

節区分	内 訳	金 額(単位：円)
②給料		34,562,184
③職員手当等		22,100,057
	扶養手当	288,000
	管理職手当	2,242,800
	地域手当	2,967,543
	住居手当	336,000
	通勤手当	558,400
	時間外勤務手当	746,986
	休日勤務手当	0
	夜間勤務手当	0
	宿日直手当	0
	特殊勤務手当	300
	管理職員特別勤務手当	0
	期末手当	8,160,555
	勤勉手当	6,619,473
	児童手当	180,000
	退職手当	0
④共済費		11,398,951
合 計		68,061,192

【訪問看護特別会計】

一般職(6人)

(人数：令和7年3月1日現在)

節区分	内 訳	金 額(単位：円)
②給料		21,004,155
③職員手当等		16,109,262
	扶養手当	510,476
	管理職手当	0
	地域手当	1,721,170
	住居手当	398,724
	通勤手当	356,400
	時間外勤務手当	2,534,638
	休日勤務手当	346,528
	夜間勤務手当	0
	宿日直手当	0
	特殊勤務手当	1,264,200
	管理職員特別勤務手当	0
	期末手当	4,885,275
	勤勉手当	3,831,851
	児童手当	260,000
	退職手当	0
④共済費		7,153,696
	合 計	44,267,113

【介護保険特別会計】

特別職

内 訳	金 額(単位：円)
その他特別職 ①報酬	11,753,000
合 計	11,753,000

一般職(19人)

(人数：令和7年3月1日現在)

節区分	内 訳	金 額(単位：円)
②給料		72,283,882
③職員手当等		54,592,653
	扶養手当	2,151,043
	管理職手当	747,600
	地域手当	6,012,005
	住居手当	652,521
	通勤手当	618,000
	時間外勤務手当	9,036,585
	休日勤務手当	169,686
	夜間勤務手当	0
	宿日直手当	0
	特殊勤務手当	1,230,600
	管理職員特別勤務手当	0
	期末手当	17,750,412
	勤勉手当	14,439,201
	児童手当	1,785,000
	退職手当	0
④共済費		24,465,292
合 計		151,341,827

【水道企業会計】

一般職(12人)

(人数：令和7年3月1日現在)

節区分	内 訳	金 額(単位：円)
②給料		51,839,700
③職員手当等		30,662,716
	扶養手当	938,000
	管理職手当	1,676,400
	地域手当	4,356,328
	住居手当	817,500
	通勤手当	590,420
	時間外勤務手当	4,220,330
	休日勤務手当	21,900
	夜間勤務手当	0
	宿日直手当	0
	特殊勤務手当	24,100
	管理職員特別勤務手当	0
	期末手当	9,388,031
	勤勉手当	8,169,707
	児童手当	460,000
	退職手当	0
④共済費		16,571,394
合 計		99,073,810

【公共下水道企業会計】

一般職(16人)

(人数：令和7年3月1日現在)

節区分	内 訳	金 額(単位：円)
②給料		59,073,503
③職員手当等		41,292,297
	扶養手当	1,692,000
	管理職手当	928,800
	地域手当	4,935,624
	住居手当	972,000
	通勤手当	316,800
	時間外勤務手当	5,128,276
	休日勤務手当	5,080
	夜間勤務手当	0
	宿日直手当	0
	特殊勤務手当	22,000
	管理職員特別勤務手当	0
	期末手当	13,978,822
	勤勉手当	11,877,895
	児童手当	1,435,000
	退職手当	0
④共済費		19,558,673
合	計	119,924,473

【病院企業会計】

一般職(418人)

(人数：令和7年3月1日現在)

節区分	内 訳	金 額(単位：円)
②給料		1,549,926,038
③職員手当等		1,740,343,504
	扶養手当	28,110,058
	管理職手当	30,874,500
	地域手当	156,817,191
	住居手当	19,955,629
	通勤手当	23,542,950
	時間外勤務手当	153,983,522
	休日勤務手当	14,679,309
	夜間勤務手当	25,400,029
	宿日直手当	30,648,000
	特殊勤務手当	439,835,250
	管理職員特別勤務手当	0
	期末手当	353,692,292
	勤勉手当	315,755,270
	児童手当	20,465,000
	退職手当	126,584,504
④共済費		551,800,206
合 計		3,842,069,748

会計年度任用職員支出内訳

(人数は令和7年3月1日現在)

会計	人数 (人)	金額 (円)				
		1節：報酬	3節： 職員手当	4節： 共済費	8節：旅費	合計
一般会計	492	755,401,118	228,557,141	123,167,780	13,224,670	1,120,350,709
国民健康保険特別会計	0	0	0	0	0	0
訪問看護事業特別会計	4	8,598,590	2,635,058	1,706,351	62,795	13,002,794
介護保険特別会計	11	22,494,166	6,830,281	4,477,695	470,094	34,272,236
保険事業勘定	11	22,494,166	6,830,281	4,477,695	470,094	34,272,236
介護サービス事業勘定	0	0	0	0	0	0
水道事業会計	7	13,677,388	4,773,695	2,105,492	123,035	20,679,610
下水道事業会計	3	5,293,709	1,936,968	1,113,690	58,320	8,402,687
病院事業会計（パートタイム）	219	636,020,431	75,899,546	45,552,613	3,627,651	761,100,241
パートタイム合計	736	1,441,485,402	320,632,689	178,123,621	17,566,565	1,957,808,277

会計	人数	2節：給料	3節：職員手当	4節：共済費		合計
病院事業会計（フルタイム）	13	40,708,159	102,757,792	13,049,409		156,515,360

一般会計 人数内訳

(人数は令和7年3月1日現在)

支出科目	勤務場所	人数 (人)
2 款 1 項 4 目等	本庁	103
	施設	140
	保育園・幼稚園	158
1 0 款 1 項 3 目	小中学校	91
合計		492

令和５年度繰越

一般会計

款	項	事業名	５年度から ６年度に繰 越した額
			円
２ 総務費	１ 総務管理費	行政情報システム開発事業	16,170,000
２ 総務費	１ 総務管理費	庁舎維持管理臨時事業	11,916,762
２ 総務費	３ 戸籍住民基本台帳費	戸籍管理事業	8,580,000
２ 総務費	３ 戸籍住民基本台帳費	コンビニ交付事業	1,881,000
３ 民生費	１ 社会福祉費	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業（追加分）	50,825,000
３ 民生費	１ 社会福祉費	物価高騰対応重点支援給付金（令和５年度支援世帯分）支給事業	107,916,000
４ 衛生費	１ 保健衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種事業	15,043,000
８ 土木費	２ 道路橋梁費	生活道路整備事業	40,897,000
８ 土木費	２ 道路橋梁費	長田橋橋梁改修事業	111,699,121
８ 土木費	２ 道路橋梁費	主要道路整備事業	10,281,000
８ 土木費	２ 道路橋梁費	狭あい道路整備促進事業	2,589,000
８ 土木費	２ 道路橋梁費	橋梁長寿命化対策事業	144,550,000
８ 土木費	３ 河川費	河川維持管理事業	4,062,000
８ 土木費	５ 都市計画費	（都）碧南駅前線整備事業	117,290,200
１０ 教育費	２ 小学校費	小学校施設長寿命化事業	10,000,000
１０ 教育費	５ 社会教育費	南部市民プラザ費臨時事業	7,367,000
１０ 教育費	６ 保健体育費	体育施設整備事業	0
合 計			661,067,083

明 許 費 事 業 決 算 額

6 年 度 決 算 額	左 の 財 源 内 訳				
	特 定 財 源				一般財源
	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	
円	円			円	円
15,939,000	8,525,000	0	0	0	7,414,000
9,166,740	0	0	0	0	9,166,740
6,952,000	6,952,000	0	0	0	0
1,881,000	1,881,000	0	0	0	0
27,250,388	27,250,388	0	0	0	0
44,764,928	44,764,928	0	0	0	0
3,571,195	3,571,195	0	0	0	0
31,559,300	0	0	0	0	31,559,300
106,733,062	1,660,000	0	94,400,000	0	10,673,062
9,458,126	4,400,000	0	4,500,000	0	558,126
2,115,547	995,000	0	0	0	1,120,547
131,753,600	70,400,000	0	60,900,000	0	453,600
3,850,000	0	0	0	0	3,850,000
84,218,400	46,000,000	0	34,300,000	2,418,900	1,499,500
7,370,000	0	0	0	0	7,370,000
7,047,140	0	0	0	0	7,047,140
0	0	0	0	0	0
493,630,426	216,399,511	0	194,100,000	2,418,900	80,712,015

令和 6 年 度 繰 越

一般会計

款	項	事業名	事業費	6年度 決算額
			円	円
3 民生費	1 社会福祉費	物価高騰対応重点支援給付金（令和6年度追加分）支給事業	176,314,429	138,184,429
3 民生費	1 社会福祉費	東部市民プラザ費臨時事業	52,648,090	18,088,090
6 農業水産業費	1 農業費	あおいパーク費臨時事業	93,257,138	13,257,138
7 商工費	1 商工費	市内巡回バス更新事業	30,447,000	0
8 土木費	2 道路橋梁費	生活道路整備事業	140,634,236	101,934,236
8 土木費	2 道路橋梁費	長田橋橋梁改修事業	184,938,638	65,753,638
8 土木費	2 道路橋梁費	矢作川堤防リフレッシュ事業	72,692,000	25,319,900
8 土木費	5 都市計画費	（都）碧南駅前線整備事業	411,674,480	239,108,918
8 土木費	5 都市計画費	公園緑地費臨時事業	13,031,000	9,031,000
10 教育費	3 中学校費	中学校管理費臨時事業（庶務課分）	28,474,050	24,528,050
10 教育費	5 社会教育費	棚尾公民館臨時事業	35,614,570	2,814,570
10 教育費	6 保健体育費	臨海体育館費臨時事業	100,960,450	1,487,450
10 教育費	6 保健体育費	学校給食費臨時事業	332,107,864	143,287,864
合 計			1,672,793,945	782,795,283

明 許 費 事 業 決 算 額

左 の 財 源 内 訳					令和7年度に 繰越した額
特 定 財 源				一般財源	
国庫支出金	県支出金	市 債	その他		
円	円	円	円	円	円
138,184,429	0	0	0	0	38,130,000
0	0	10,000,000	0	8,088,090	34,560,000
0	0	0	0	13,257,138	80,000,000
0	0	0	0	0	30,447,000
0	0	26,200,000	389,444	75,344,792	38,700,000
27,375,000	130,836	33,300,000	0	4,947,802	119,185,000
0	0	22,700,000	0	2,619,900	47,372,100
17,600,000	92,355,000	113,700,000	531,583	14,922,335	172,565,562
0	0	0	0	9,031,000	4,000,000
0	0	0	0	24,528,050	3,946,000
0	0	1,400,000	0	1,414,570	32,800,000
0	0	0	0	1,487,450	99,473,000
11,330,000	0	71,500,000	0	60,457,864	188,820,000
194,489,429	92,485,836	278,800,000	921,027	216,098,991	889,998,662

令和 6 年度物価高騰対策関連経費

会 計	番 号	事業名	事業内容
	1	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業（追加分）	令和 5 年度課税の住民税非課税世帯に対し、1 世帯につき 7 万円を支給
	2	物価高騰重点支援給付金（令和 5 年支援世帯分）支給事業	令和 5 年度課税の住民税均等割のみ課税世帯 1 世帯当たり 10 万円の給付金を支給するとともに、住民税非課税世帯・均等割のみ課税世帯に属する 18 歳以下の子ども一人 5 万円を加算支給
	3	物価高騰対応重点支援給付金（令和 6 年度支援世帯分）支給事業	令和 6 年度住民税非課税世帯・均等割のみ課税世帯で、令和 5 年度の給付金の対象でなかった世帯に対し、10 万円の給付金を支給するとともに、世帯に属する 18 歳以下の子ども一人 5 万円を加算支給
	4	物価高騰対応重点支援給付金（令和 6 年度追加分）支給事業	令和 6 年度住民税非課税世帯に対し、3 万円を支給するとともに、世帯に属する 18 歳以下の子ども一人 2 万円を加算支給
	5	保育所等給食費軽減対策支援事業	民間保育所・こども園に対し、給食の賄材料費として利用児童 1 人につき 1 食あたり 64 円を補助
	6	定額減税補足給付金支給事業	令和 6 年度個人住民税及び令和 6 年分所得税の定額減税について、減税しきれないと見込まれる人に対して、給付金を支給

(単位：千円)

決算額	財源内訳					国庫支出金のうち地方創生臨時交付金充当額	所管課
	国庫支出金	都道府県支出金	国・県費 令和7年度以降返還予定額	一般財源	地方債		
27,968	27,250	0	0	718	0	27,250	福祉課
44,764	44,764	0	0	0	0	44,764	福祉課
132,718	132,718	0	0	0	0	132,718	福祉課
138,184	137,283	0	0	901	0	137,283	福祉課
19,333	0	6,394	0	12,939	0	0	保育課
539,169	539,169	0	0	0	0	539,169	税務課
902,136	881,184	6,394	0	14,558	0	881,184	

一般会計建設工事概況

款・項・目	工事名	工事場所	契約方法	契約金額(円)
８・５・３	(都) 碧南駅前線電線共同溝設置工事 (第１期)	碧南市中町地内	条件付き一般競争 (事後)	81,981,900
８・２・３	市道市役所南中線舗装改良工事	碧南市松本町地内	条件付き一般競争 (事後)	9,395,100
８・３・１	長田川７号樋管等ゲート修繕工事	碧南市長田町地内始め	条件付き一般競争 (事後)	3,850,000
８・２・３	市道新道２号線側溝改良工事	碧南市新道町地内	条件付き一般競争 (事後)	11,744,700
８・２・３	市道荒居古川線舗装改良工事	碧南市荒居町地内始め	条件付き一般競争 (事後)	17,695,700
８・２・３	市道新川橋宮後公園線側溝布設工事	碧南市道場山町地内	条件付き一般競争 (事後)	5,014,900
８・２・３	市道中後１０号線側溝改良工事	碧南市中後町地内	条件付き一般競争 (事後)	6,708,900
１０・５・６	南部市民プラザ図書室上部防水改修工事	碧南市塩浜町地内	条件付き一般競争 (事後)	3,210,900
２・１・１０	市庁舎ＬＥＤ照明整備工事	碧南市松本町地内	条件付き一般競争 (事後)	7,720,900
６・３・２	北浦１号排水機場除塵機更新整備工事	碧南市見合町地内	条件付き一般競争 (事後)	45,045,000
６・３・２	農道舗装修繕工事 (宝町)	碧南市宝町地内始め	条件付き一般競争 (事後)	4,660,700
８・５・１	北部工業地農業用水管布設替工事	碧南市井口町地内	条件付き一般競争 (事後)	4,296,600
８・５・１	北部工業地排水管整備工事 (第３工区)	碧南市雁道町地内始め	条件付き一般競争 (事後)	12,512,500
６・３・２	碧南用水上部整備工事 (１工区)	碧南市三角町地内	条件付き一般競争 (事後)	23,390,400
６・３・２	碧南用水上部整備工事 (２工区)	碧南市前浜町地内始め	条件付き一般競争 (事後)	23,993,200
６・３・２	農道舗装修繕工事 (若水町)	碧南市若水町地内始め	条件付き一般競争 (事後)	5,069,900
８・２・３	市道大浜上町松本線他側溝改良工事	碧南市大浜上町地内始め	条件付き一般競争 (事後)	6,947,600
８・２・４	港南橋修繕工事 (週休２日)	碧南市港南町地内	条件付き一般競争 (事後)	131,753,600
８・２・３	市道神有１２号線側溝布設工事	碧南市天神町地内	条件付き一般競争 (事後)	4,742,100
８・２・３	市道天神２号線側溝布設工事	碧南市天神町地内	条件付き一般競争 (事後)	4,353,800
８・５・１	市道大久手３号線他道路改良工事	碧南市井口町地内始め	条件付き一般競争 (事前)	122,350,800
８・４・１	港南緑地護岸改築工事	碧南市 港南町 地内	条件付き一般競争 (事後)	19,987,000
８・２・３	矢作川堤防リフレッシュ道路工事 (第１工区)	碧南市流作町地内始め	条件付き一般競争 (事後)	64,477,600
８・２・３	市道港南１号線舗装改良工事	碧南市玉津浦町地内始め	条件付き一般競争 (事後)	16,784,900
８・２・３	市道潮見亥新田線舗装改良工事	碧南市前浜町地内	条件付き一般競争 (事後)	18,760,500
８・２・３	市道中町前浜線側溝改良工事	碧南市錦町地内始め	条件付き一般競争 (事後)	21,414,800
８・２・３	後退用地舗装整備工事	碧南市西山町地内始め	条件付き一般競争 (事後)	6,636,300
８・２・４	川口１０号橋修繕工事	碧南市川口町地内	条件付き一般競争 (事後)	6,019,200
８・２・４	川口１１号橋修繕工事	碧南市川口町地内	条件付き一般競争 (事後)	6,205,100
８・５・１	市道大久手３号線他道路改良工事 (その２)	碧南市大久手町地内始め	条件付き一般競争 (事後)	16,740,900
８・２・３	市道尾城天神線道路改良工事	碧南市天神町地内	条件付き一般競争 (事後)	13,071,300

(3,000千円以上)			
工事概要	契約者	担当課	備考 (令和6年度支払額)
施工延長 L=244m 管路工(電力管) L=1,138m 管路工(通信管 L=1,030m 管路工(照明配管) L=105m 特殊部工 N=8基 取付管工 N=11箇所 仮排水管工 L=7m	株式会社長谷基業	都市計画課	令和5年度契約 (50,981,900円)
工事延長 L=212m 舗装工 A=1280㎡ 区画線工 L=648m	株式会社JOB	土木港湾課	令和5年度契約 (5,895,100円)
長田川7号排水樋管 鋼製スライドゲート 水密ゴム取替 N=1門 油ヶ淵2号排水樋管 アルミ製フラップゲート 水密ゴム取替 N=1門 市民病院樋管 ステンレス製スライドゲート ゲート取替 N=1門 市民病院樋管 ステンレス製フラップゲート ゲート取替 N=1門	三基工業株式会社	土木港湾課	令和5年度契約 (3,850,000円)
工事延長 L=126m 側溝工 L=223m 舗装工 A=204㎡	株式会社片山建設	土木港湾課	令和5年度契約 (7,244,700円)
施工延長 L=540m 舗装工 A=3,000m ² 区画線工 L=1,557m	フジセキ建設株式会社	土木港湾課	令和5年度契約 (10,895,700円)
工事延長 L=77m 側溝工 L=77m 舗装工 A=144㎡	株式会社堀江建材	土木港湾課	令和5年度契約 (3,314,900円)
側溝工 L=36m 水樹工 N=3箇所 舗装工 A=159m ²	有限会社黒田積工	土木港湾課	令和5年度契約 (4,208,900円)
図書館及び玄関 防水改修工事 平面88㎡ 立上27㎡	親和建設株式会社	建築課	令和5年度契約 (2,010,900円)
LED照明整備 床面施工 446灯	日進電気工事	資産活用課	
背面降下前面掻揚式除塵機(1.6m×1.5m)更新 N=1基 機側操作盤更新 N=1面	三基工業株式会社	農業水産課	
舗装工 A=775m ²	石橋建設興業株式会社	農業水産課	
DIP(K) Φ450mm L=10.2m	有限会社黒田積工	農業水産課	
工事延長 L=100m 管さよ延長PRPΦ200 L=99m マンホール設置工 N=1基	株式会社長谷基業	下水道課	
工事延長 L=275m 舗装工 A=497m ² 防護柵工 L=275m 縁石工 L=270m	株式会社碧南建設	農業水産課	
工事延長 L=365m 構造物取壊し(無筋) V=163m ³ 構造物取壊し(有筋) V=299m ³	株式会社石和組	農業水産課	
舗装工 A=831m ²	有限会社伊藤建設	農業水産課	
側溝工 L=40m 集水樹工 N=3箇所 舗装工 A=169㎡ 区画線工 L=55m	株式会社JOB	土木港湾課	
工事延長 L=39m 橋梁現場塗装工 A=1,670m ² 橋梁補修工 一式 橋面補修工 一式 橋梁付属物工 一式	親和建設株式会社	土木港湾課	
側溝工 L=57m 集水樹工 N=4基 舗装工 A=56㎡	株式会社片山建設	土木港湾課	
工事延長 L=45m 側溝工 L=40m 舗装工 A=105㎡	株式会社片山建設	土木港湾課	
工事延長 L=259m 排水構造物工 L=508m 舗装工 A=3,607㎡ 防護柵工 L=489m 縁石工 L=230m	株式会社JOB	土木港湾課	
施工延長 L=45m 下層路盤工 A=193m ² 上部工 V=73m ³ 側溝工 L=45m VPΦ200布設工 L=4m 集水樹設置工 N=1基	株式会社碧南建設	土木港湾課	
工事施工延長 L=404m 舗装工 A=2,637m ² 掘削工 V=3,100m ³ 盛土工 V=2,080m ³ 擁壁工(ブロック積土留) H=0.8m L=289m 擁壁工(重力式擁壁) H=0.7m L=15m 防護柵工 L=411m 芝張工 A=2,700m ²	親和建設株式会社	土木港湾課	令和7年度継続 (24,100,000円)
工事延長 L=197m 舗装工 A=2,430㎡ 区画線工 L=584m	株式会社JOB	土木港湾課	
工事延長 L=205m 舗装工 A=1,780㎡ 区画線工 L=970m	株式会社長谷基業	土木港湾課	
工事延長 L=146m 側溝工 L=237m 舗装工 A=558㎡	株式会社角谷技建	土木港湾課	
工事箇所 N=10箇所 表層工 A=768m ² 下層路盤工 A=240m ²	株式会社長谷基業	土木港湾課	
工事延長 L=6m 橋梁補修工 N=一式 橋面補修工 N=一式	株式会社片山建設	土木港湾課	
工事延長 L=6m 橋梁補修工 N=一式 橋面補修工 N=一式	株式会社川口サービス	土木港湾課	
工事延長 L=109m 排水構造物工 L=134m 舗装工 A=731㎡ 防護柵工 L=138m	株式会社加藤土木	土木港湾課	
工事延長 L=65m 土工 N=1式 側溝工 L=107m 舗装工 A=284㎡	株式会社片山建設	土木港湾課	

一般会計建設工事概況

款・項・目	工事名	工事場所	契約方法	契約金額(円)
８・２・３	区画線設置工事（その１）	碧南市立山町地内始め	条件付き一般競争（事後）	7,958,500
８・２・３	区画線設置工事（その２）	碧南市向陽町地内始め	条件付き一般競争（事後）	5,644,100
８・２・３	市道明石海岸線他舗装改良工事	碧南市明石町地内始め	条件付き一般競争（事後）	6,004,900
８・２・３	市道蜷川志貴崎橋線舗装改良工事	碧南市志貴崎町地内始め	条件付き一般競争（事後）	5,252,500
８・２・３	市道天王公園西線他舗装改良工事	碧南市天王町地内	条件付き一般競争（事後）	4,995,100
８・５・３	碧南中央駅前広場改修工事	碧南市栄町地内	条件付き一般競争（事後）	32,640,300
８・５・３	（都）碧南駅前線側溝設置工事	碧南市中町地内	条件付き一般競争（事後）	13,829,200
８・５・３	（都）碧南駅前線電線共同溝設置工事（第２期）	碧南市中町地内	条件付き一般競争（事前）	91,960,000
８・５・３	（都）碧南駅前線道路排水施設等整備工事	碧南市中町地内	条件付き一般競争（事後）	33,004,400
６・１・５	あおいパーク非常照明更新工事	碧南市江口町地内	条件付き一般競争（事後）	4,422,000
１０・２・１	中央小学校トイレ改修事業（建築工事）	碧南市向陽町地内	条件付き一般競争（事後）	82,748,600
１０・２・１	中央小学校トイレ改修事業（機械設備工事）	碧南市向陽町地内	条件付き一般競争（事後）	77,415,800
１０・２・１	中央小学校トイレ改修事業（電気設備工事）	碧南市向陽町地内	条件付き一般競争（事後）	12,986,600
８・６・２	向山住宅ＬＥＤ照明改修工事	碧南市幸町地内	条件付き一般競争（事後）	11,198,000
１０・２・１	新川小学校トイレ改修事業（建築工事）	碧南市新川町地内	条件付き一般競争（事後）	64,977,000
４・２・１	塩浜事務所改築工事	碧南市塩浜町地内	条件付き一般競争（事後）	33,825,000
１０・２・１	新川小学校トイレ改修事業（電気設備工事）	碧南市新川町地内	条件付き一般競争（事後）	7,834,200
１０・２・１	新川小学校トイレ改修事業（機械設備工事）	碧南市新川町地内	条件付き一般競争（事後）	47,126,200
８・６・２	新道住宅ＬＥＤ照明改修工事	碧南市新道町地内	条件付き一般競争（事後）	9,664,600
１０・５・９	哲学たいけん村無我苑瞑想回廊２階南空調設備更新工事	碧南市坂口町地内	条件付き一般競争（事後）	4,963,200
１０・２・１	新川小学校トイレ改修事業（附帯整備工事）	碧南市新川町地内	条件付き一般競争（事後）	5,218,400
１０・４・１	中央幼稚園リズム室屋根防水改修工事	碧南市幸町地内	条件付き一般競争（事後）	3,974,300
１０・３・１	西端中学校卓球場・柔剣道場外壁等改修工事	碧南市神田町地内	条件付き一般競争（事後）	16,965,300
１０・５・１ ０	碧南海浜水族館 外壁等改修工事	碧南市浜町地内	条件付き一般競争（事後）	27,647,400
８・６・２	向山住宅集会所改修工事	碧南市幸町地内	条件付き一般競争（事後）	10,337,800
１０・６・６	学校給食センター空調設備改修工事	碧南市小屋下町地内	条件付き一般競争（事後）	243,668,700
１０・３・１	東中学校２階コンピュータ室空調機更新工事	碧南市天神町地内	条件付き一般競争（事後）	7,674,700
１０・５・５	文化会館排水管改修工事	碧南市源氏神明町地内	条件付き一般競争（事後）	5,688,100
３・２・１	新川児童クラブ防水改修工事	碧南市新川町地内	条件付き一般競争（事後）	10,103,500
３・１・１ ３	東部市民プラザ受水槽更新工事	碧南市照光町地内	条件付き一般競争（事後）	33,658,900
１０・３・１	中央中学校２階コンピュータ室空調機更新工事	碧南市植出町地内	条件付き一般競争（事後）	3,161,400
１０・６・５	臨海体育館屋根防水改修工事	碧南市浜町地内	条件付き一般競争（事後）	68,457,400

工事概要	契約者	担当課	(3,000千円以上)
			備考 (令和6年度支払額)
区画線工 L=3, 269m カラー塗装工 A=350m ²	株式会社長谷基業	土木港湾課	
区画線工 L=2, 902m カラー塗装工 A=130m ²	株式会社長谷基業	土木港湾課	
工事延長 L=130m 舗装工 A=782m ² 区画線工 L=161m	株式会社片山建設	土木港湾課	令和7年度継続 (2,400,000円)
工事延長 L=137m 舗装工 A=837m ² 区画線工 L=71m	株式会社JOB	土木港湾課	令和7年度継続 (2,100,000円)
工事延長 L=105m 舗装工 A=518m ² 側溝工 L=5m	株式会社碧南建設	土木港湾課	令和7年度継続 (1,900,000円)
縁石工 N=1式 排水工 N=1式 舗装工 N=1式 区画線工 N=1式 給水工 N=1式 電気施設工 N=1式 防護柵工 N=1式 付帯工 N=1式 撤去工 N=1式	株式会社加藤土木	都市計画課	
側溝工 L=137m 管渠工 L=29m 集水樹工 N=10箇所	株式会社加藤土木	都市計画課	
施工延長 L=244m 管路工(電力管) L=1, 500m 管路工(通信管) L=1, 394m 管路工(照明配管) L=136m 特殊部工 N=10基	株式会社長谷基業	都市計画課	令和7年度継続 (36,700,000円)
仮舗装工(車道) A=1, 200m ² 仮舗装工(歩道) A=600m ² 路床安定処理工 A=1, 240m ² 管渠工 N=40m 箱型マンホール設置工 N=1箇所 污水管布設工 L=8m 人孔設置工 N=1箇所	株式会社石和組	都市計画課	
非常照明更新 N=87台	衣浦イーテクト株式会社	建築課	
トイレ改修 北棟1階職員トイレ(男女) 1階昇降口前トイレ(男女) 北棟2, 3階トイレ(男女) 北棟1～3階トイレ(男女) 南棟1～3階トイレ(男女)	親和建設株式会社	建築課	
衛生器具設備工事 1式 給水設備工事 1式 排水設備工事 1式 給湯設備工事 1式 ガス設備工事 1式 換気設備工事 1式 外構・天井工事及び機械工事処分 1式	株式会社桶元	建築課	
電灯設備 1式 コンセント設備 1式 処分費 1式	新川電業株式会社	建築課	
電気設備工事 共用部 1式 電気設備工事 住戸内 1式 土工事 1式 撤去・処分費 1式	加藤電気工業株式会社	建築課	
トイレ改修 旧館 東側トイレ(男女) 旧館 西側トイレ(男女)	株式会社エフ	建築課	
事務所新築工事 木造平屋建て 延床面積 69.56m ²	株式会社碧南建設	建築課	
電灯設備 1式 コンセント設備 1式 処分費 1式	新川電業株式会社	建築課	
衛生器具設備工事 1式 給水設備工事 1式 排水設備工事 1式 換気設備工事 1式 処分費 1式	株式会社川口サービス	建築課	
電気設備工事 共用部、集会所 1式 電気設備工事 住戸内 1式 土工事 1式 撤去・処分費 1式	株式会社東洋電業	建築課	
空調設備工事 1式 電気設備工事 1式 建築工事 1式 発生材処分費 1式	株式会社川口サービス	建築課	
トイレ改修(附帯整備工事) 旧館 東側トイレ(男女) 廊下手洗い設置4ヶ所 旧館 西側トイレ(男女) 廊下手洗い設置6ヶ所	株式会社碧南建設	建築課	
屋根防水改修 リズム室	東海相互建設株式会社	建築課	
西端中学校卓球場・柔剣道場 外壁等改修工事 一式	東海相互建設株式会社	建築課	
碧南海浜水族館 外壁等改修工事一式	名倉建設株式会社	建築課	
屋根、外壁の老朽化対策 玄関部の段差解消 一部開口部の改修 照明器具の取替	株式会社エフ	建築課	
機械設備工事 1式 電気設備工事 1式 建築工事 1式 発生材処分費 1式	株式会社桶元	建築課	令和7年度継続 (97,400,000円)
ビル用マルチエアコン 1組	株式会社榊原設備工業所	建築課	
機械設備工事 一式 建築工事 一式 処分費 一式	株式会社井戸森工事	建築課	
新川児童クラブ 防水改修工事 一式	株式会社畔柳塗装	建築課	
飲用水受水槽 21m ³ 1基 給水ポンプユニット 1基	平松設備興業株式会社	建築課	令和7年度継続 (13,400,000円)
パッケージエアコン 1組	碧南設備	建築課	令和7年度継続 (R6支払 0円)
屋根改修 ウレタン系塗膜防水(機械式固定) 667m ² (密着) 1,403m ² シーリング打替	株式会社長谷基業	建築課	令和7年度継続 (R6支払 0円)

一般会計建設工事概況

款・項・目	工事名	工事場所	契約方法	契約金額(円)
6・1・5	あおいパーク浴室改修工事	碧南市江口町地内	条件付き一般競争 (事後)	66,533,500
8・5・5	水族館西交差点信号機移設工事	碧南市浜町地内	条件付き一般競争 (事後)	5,335,000
8・5・5	臨海公園フェンス更新工事	碧南市浜町地内	条件付き一般競争 (事後)	7,656,000
8・5・5	臨海公園芝滑補修工事	碧南市浜町地内	条件付き一般競争 (事後)	3,405,600
8・5・5	西荒居公園整備工事	碧南市立山町地内	条件付き一般競争 (事後)	33,509,300
8・5・5	臨海公園噴水施設更新工事	碧南市浜町地内	条件付き一般競争 (事後)	28,529,600
8・5・5	荒居町ちびっ子広場撤去工事	碧南市立山町地内	条件付き一般競争 (事後)	3,518,900
2・1・10	本庁舎北側植栽帯整備工事	碧南市松本町地内	条件付き一般競争 (事後)	4,376,900
8・5・5	水族館西交差点信号機移設工事(第二期)	碧南市浜町地内	条件付き一般競争 (事後)	3,443,000

特別会計建設工事概況

款・項・目	工事名	工事場所	契約方法	契約金額(円)
-	-	-	-	-

(3,000千円以上)

工事概要	契約者	担当課	備考 (令和6年度支払額)
浴室天井改修工事 屋根改修工事 1式 天井改修工事 1式 鉄骨塗装工事 1式 照明改修工事 1式 換気改修工事 1式	石橋建設興業株式会社	建築課	令和7年度継続 (R6支払 0円)
信号機(車両用)移設N=3基 車両感知器移設 N=1基	名鉄E Iエンジニア株式会社	都市整備課	
既設ネットフェンス撤去工 L=12.5m ネットフェンス設置工 L=11.9m 樹木剪定工A L=4.5m 樹木剪定工B L=11.5m	株式会社長谷基業	都市整備課	
人工芝再設置A=130m ²	株式会社長谷基業	都市整備課	
公園整備工事 A=1100m ² 土工 N=1式 サービス施設整備工 N=1式 遊戯施設整備工 複合遊具 N=1基、2連ブランコ N=1基 建物施設組立設置工 東屋 N=1基、トイレ N=1基	石橋建設興業株式会社	都市整備課	
既設設備撤去工 N=1式 照明設備工 水中照明 N=7.9台 音響設備工 アンプ N=2台 グラフィックイコライザー N=1台 屋外スピーカー N=4台	衣浦イーテクト株式会社	都市整備課	
土工 N=1式 管理施設整備工 N=1式 構造物撤去工 N=1式	株式会社角谷技建	都市整備課	
景観碎石敷き均し工 A=606m ² 防草シート設置工 A=606m ²	株式会社長谷基業	都市整備課	
信号機(車両用)移設N=1基 信号機(車両用)撤去N=2基	名鉄E Iエンジニア株式会社	都市整備課	令和7年度継続 (R6支払 0円)

(3,000千円以上)

工事概要	契約者	担当課	備考 (令和5年度支払額)
-	-	-	-

一般会計物品購入の概況

(1,000千円以上の物品)

款	項	目	品 名	数量	契約金額（円）	契約方法	契約者	担当課
2	1	10	小型乗用自動車（ハイブリッド）	2	3,518,392	入札	碧南トヨタ(株)	資産活用課
2	1	10	小型貨物自動車	1	1,264,020	随意	愛知トヨタEAST (株) 碧南中央店	資産活用課
3	1	3	マイクロバス（碧南ふれあい作業所送迎用車両）	1	11,276,297	随意	愛知トヨタEAST (株) 碧南中央店	福祉課
7	1	2	マイクロバス（くるくるバスパープル用）R7へ全額繰越	1	15,082,492	随意	愛知トヨタEAST (株) 碧南中央店	商工課
7	1	2	マイクロバス（くるくるバスオレンジ用）R7へ全額繰越	1	15,082,492	随意	愛知トヨタEAST (株) 碧南中央店	商工課
9	1	1	可搬消防ポンプ	5	10,989,000	入札	萬茂防災(株)	防災課
10	6	6	エプロン式フライヤー	1	12,204,500	入札	丸天産業(株)	第1学校給食センター
10	6	6	冷却式沈殿濾過タンク	1	4,933,500	入札	丸天産業(株)	第1学校給食センター
10	6	6	電気式スチームコンベクションオーブン	3	16,252,500	随意	丸天産業(株)	第1学校給食センター
10	5	11	木村 莊八《陶器と果物》	1	1,500,000	随意	塩谷 善夫	藤井達吉現代美術館
10	5	11	森田 恒友《漁夫の家族》	1	1,000,000	随意	(株)星野画廊	藤井達吉現代美術館
10	5	11	不染 鉄《南海孤帆》	1	1,800,000	随意	(株)星野画廊	藤井達吉現代美術館
10	5	11	辻 晉堂《二人の孤独》	1	1,000,000	随意	(株)岡崎画廊	藤井達吉現代美術館

注) 金額は消費税込みで計上
 ※所管課の名称は令和6年度のものです。

特別会計物品購入の概況

(1,000千円以上の物品)

款	項	目	品 名	数量	契約金額（円）	契約方法	契約者	担当課
-	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 金額は消費税込みで計上

特 別 会 計

1 概要

(1) 制度概要

職場の健康保険、後期高齢者医療保険制度に加入している人及び生活保護を受けている人を除いて、すべての人が国民健康保険に加入することとなっており、被保険者の疾病、負傷、出産又は死亡に関して必要な保険給付を行っている。

(2) 被保険者等

ア 加入状況

6 年度末	国保加入者		加入率	
	世帯数	被保険者数	世帯	被保険者
	7,518 世帯	11,688 人	24.5%	16.2%
対前年	△224 世帯	△519 人	△1.0%	△0.7%

イ 年齢階層別人数

年齢階層	国保加入者		全市	加入率
	人数	構成比		
0 歳～19 歳	1,170 人	10.0%	13,085 人	8.9%
20 歳～39 歳	1,627 人	13.9%	17,400 人	9.4%
40 歳～59 歳	2,772 人	23.7%	20,003 人	13.9%
60 歳～74 歳	6,119 人	52.4%	11,925 人	51.3%
75 歳～	—	—	9,698 人	—
合計	11,688 人	100.0%	72,111 人	16.2%

(3) 国民健康保険税

ア 令和 6 年度税率

区分	所得割	均等割	平等割	賦課限度額
医療分	6.7%	29,900 円	19,700 円	650,000 円
後期分	2.4%	11,400 円	7,500 円	240,000 円
介護分	1.9%	10,700 円	5,400 円	170,000 円

イ 令和 6 年度調定額及び収納率

区分	調定額	収入額	収納率
現年分	1,504,509,900 円	1,448,962,024 円	96.3%
滞繰分	101,170,071 円	48,583,574 円	48.0%
合計	1,605,679,971 円	1,497,545,598 円	93.3%

ウ 軽減の状況

区分	7 割 軽 減		5 割 軽 減		2 割 軽 減	
	世帯数	軽減額(円)	世帯数	軽減額(円)	世帯数	軽減額(円)
医療分	2,218	89,296,124	1,147	38,949,415	992	13,972,230
後期分	2,218	34,029,489	1,147	14,844,615	992	5,325,270
介護分	1,027	12,233,410	484	4,431,200	363	1,305,820

エ 未就学児均等割 2 分の 1 軽減の状況

人数	軽減額
333 人	4,219,523 円

オ 産前産後期間の免除の状況

人数	免除額
25 人	1,239,115 円

カ 減免の状況

事 由	件 数	金 額
1 市民税又は固定資産税の減免	0 件	0 円
2 災害等	0 件	0 円
3 傷病	0 件	0 円
4 失業等	1 件	77,500 円
5 生活保護法の規定による保護	3 件	21,400 円
6 収監等	4 件	86,700 円
7 低所得	1,206 件	7,460,800 円
8 障害者医療費助成	106 件	602,000 円
9 精神障害者医療費助成	178 件	864,200 円
10 母子家庭等医療費助成	76 件	425,200 円
11 旧被扶養者	49 件	2,869,000 円
12 特別な理由	0 件	0 円
合 計	1,623 件	12,406,800 円

(4) 保険給付費の内訳

区分	金額	対前年度
療養給付費	3,436,846,922 円	95.6%
療養費等	35,725,737 円	94.8%
高額療養費	509,198,518 円	95.5%
高額介護合算療養費	1,064,751 円	156.9%
出産育児一時金	17,179,175 円	80.2%
葬祭費	3,500,000 円	73.7%
審査支払手数料	10,458,758 円	97.6%
傷病手当金	0 円	皆減
合 計	4,013,973,861 円	95.5%

(5) 歳入

歳入決算額は 6,377,356,740 円で前年度対比 2.0%の減であった。

主なものとして、国民健康保険税は 1,497,545,598 円で前年度対比 5.9%の増、県支出金は 4,126,295,348 円で前年度対比 3.7%の減、繰入金は 695,914,855 円で前年度対比 2.7%の減、繰越金は 39,932,842 円で前年度対比 53.0%の減であった。

(6) 歳出

歳出決算額は 6,312,777,566 円で前年度対比 2.4%の減であった。

主なものとして、保険給付費が 4,013,973,861 円で前年度対比 4.5%の減であった。

1 項	一般被保険者国民健康保険税	国保年金課
予算現額	1,455,270,000 円 (1,390,511,000 円) 4.7%増	
決算額	1,497,545,598 円 (1,414,419,879 円) 5.9%増	

説明

一般被保険者国民健康保険税

2 項	退職被保険者等国民健康保険税	国保年金課
予算現額	6,000 円 (6,000 円) 増減無	
決算額	0 円 (0 円) 増減無	

説明

退職被保険者等国民健康保険税

1 項	県補助金	国保年金課
予算現額	4,239,688,000 円 (4,395,799,000 円) 3.6%減	
決算額	4,126,295,348 円 (4,284,787,236 円) 3.7%減	

説明

1	普通交付金	3,999,606,348 円
2	特別交付金	126,689,000 円

1 項	財産運用収入	国保年金課
予算現額	1,000 円 (1,000 円) 増減無	
決算額	4 円 (1 円) 300.0%増	

説明

国民健康保険事業基金利子

1 項 一般会計繰入金	国保年金課
予算現額 732,800,000 円 (736,324,000 円) 0.5%減 決算額 695,914,855 円 (714,905,573 円) 2.7%減	

説 明

- 1 一般会計繰入金 402,563,830 円
職員給与費等繰入金、出産育児一時金等繰入金、財政安定化支援事業繰入金、保険税減免分等、決算補填等目的分
- 2 保険基盤安定繰入金 287,892,387 円
保険税軽減分、保険者支援分
- 3 未就学児均等割保険料繰入金 4,219,523 円
- 4 産前産後期間保険料繰入金 1,239,115 円

1 項 繰越金	国保年金課
予算現額 39,932,000 円 (84,948,000 円) 53.0%減 決算額 39,932,842 円 (84,948,085 円) 53.0%減	

説 明

令和 5 年度からの繰越金

1 項 加算金、延滞金及び過料	国保年金課
予算現額 6,002,000 円 (5,002,000 円) 20.0%増 決算額 5,549,060 円 (6,473,519 円) 14.3%減	

説 明

延滞金

2 項 市預金利子	国保年金課
予算現額 33,000 円 (23,000 円) 43.5%増 決算額 111,000 円 (0 円) 皆増	

説 明

市預金利子

3 項 雑入	国保年金課 健康課
予算現額 2,831,000 円 (2,024,000 円) 39.9%増 決算額 3,439,033 円 (4,319,088 円) 20.4%減	

説 明

1 第三者納付金	467,988 円
2 返納金	2,963,695 円
3 参加者負担金	7,350 円
特定保健指導事業における参加者負担金 21 人	

1 項 国庫補助金	国保年金課
予算現額 8,594,000 円 (246,000 円) 3393.5%増 決算額 8,569,000 円 (212,000 円) 3942.0%増	

説 明

社会保障・税番号制度システム整備費補助金

国民健康保険特別会計

1 款 総務費
1 項 総務管理費
歳出

1 目 一般管理費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を	
予算現額	104,781,000 円	決算額の	一般財源	92,674,861 円
決算額	92,674,861 円	財源内訳		
(前年度決算額	82,800,697 円)			

説明

- 1 一般職人件費 (10人) 68,061,192 円
2 国民健康保険事務管理事業 24,613,669 円

2 目 連合会負担金	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を	
予算現額	588,000 円	決算額の	一般財源	521,510 円
決算額	521,510 円	財源内訳		
(前年度決算額	534,738 円)			

説明

国保連合会一般負担金事業

国民健康保険特別会計

1 款 総務費
2 項 徴税費
歳出

1 目 賦課徴収費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を	
予算現額	5,487,000 円	決算額の	一般財源	5,344,742 円
決算額	5,344,742 円	財源内訳		
(前年度決算額	4,659,607 円)			

説明

国保税賦課徴収事業

国民健康保険特別会計

1 款 総務費
歳出 3 項 運営協議会費

1 目 運営協議会費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と幸福を	
予算現額	319,000 円	決算額の	一般財源	290,150 円
決算額	290,150 円	財源内訳		
(前年度決算額	297,667 円)			

説 明

国民健康保険運営協議会運営事業
委員 15 人 3 回開催

国民健康保険特別会計

2 款 保険給付費
歳出 1 項 療養諸費

1 目 一般被保険者 療養給付費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と幸福を	
予算現額	3,516,459,000 円	決算額の	県支出金	3,433,867,437 円
決算額	3,436,846,922 円	財源内訳	その他特財	2,979,485 円
(前年度決算額	3,595,470,269 円)			

説 明

一般被保険者療養給付事業
療養給付費の状況

令和 6 年度 平均被保険者数 12,000 人 1 人当たり支給額 286,404 円
令和 5 年度 平均被保険者数 12,528 人 1 人当たり支給額 286,995 円

2 目 退職被保険者等 療養給付費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と幸福を	
予算現額	10,000 円	決算額の		
決算額	0 円	財源内訳		
(前年度決算額	0 円)			

説 明

退職被保険者等療養給付事業
療養給付費の状況

令和 6 年度 平均被保険者数 0 人
令和 5 年度 平均被保険者数 0 人

3 目 一般被保険者療養費	国保年金課	S D G s		
予算現額	38,125,000 円	決算額の	県支出金	35,725,737 円
決算額	35,725,737 円	財源内訳		
(前年度決算額	37,693,736 円)			

説 明

一般被保険者療養事業

療養費「柔道整復・マッサージ等」の状況

令和 6 年度 平均被保険者数 12,000 人 1 人当たり支給額 2,977 円

令和 5 年度 平均被保険者数 12,528 人 1 人当たり支給額 3,009 円

4 目 退職被保険者等療養費	国保年金課	S D G s		
予算現額	10,000 円	決算額の		
決算額	0 円	財源内訳		
(前年度決算額	0 円)			

説 明

退職被保険者等療養事業

療養費「柔道整復・マッサージ等」の状況

令和 6 年度 平均被保険者数 0 人

令和 5 年度 平均被保険者数 0 人

5 目 審査支払手数料	国保年金課	S D G s		
予算現額	11,916,000 円	決算額の	県支出金	10,452,668 円
決算額	10,452,668 円	財源内訳		
(前年度決算額	10,706,451 円)			

説 明

審査手数料支払事業

1 目 一般被保険者 高額療養費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を	
予算現額	545,724,000 円	決算額の	県支出金	508,746,320 円
決算額	509,198,518 円	財源内訳	その他特財	452,198 円
(前年度決算額	533,332,073 円)			

説 明

一般被保険者高額療養事業

高額療養費の状況

令和 6 年度 平均被保険者数 12,000 人 1 人当たり支給額 42,433 円
 令和 5 年度 平均被保険者数 12,528 人 1 人当たり支給額 42,571 円

2 目 退職被保険者等 高額療養費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を	
予算現額	200,000 円	決算額の		
決算額	0 円	財源内訳		
(前年度決算額	0 円)			

説 明

退職被保険者等高額療養事業

高額療養費の状況

令和 6 年度 平均被保険者数 0 人
 令和 5 年度 平均被保険者数 0 人

3 目 一般被保険者 高額介護合算療養費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を	
予算現額	1,180,000 円	決算額の	県支出金	1,064,751 円
決算額	1,064,751 円	財源内訳		
(前年度決算額	678,531 円)			

説 明

一般被保険者高額介護合算療養事業

国民健康保険特別会計

2 款 保険給付費
歳出 2 項 高額療養費

4 目 退職被保険者等 高額介護合算療養費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を	
予算現額	1,000 円	決算額の		
決算額	0 円	財源内訳		
(前年度決算額	0 円)			

説 明

退職被保険者等高額介護合算療養事業

国民健康保険特別会計

2 款 保険給付費
歳出 3 項 移送費

1 目 一般被保険者移送費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を	
予算現額	50,000 円	決算額の		
決算額	0 円	財源内訳		
(前年度決算額	0 円)			

説 明

一般被保険者移送事業

2 目 退職被保険者等 移送費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を	
予算現額	1,000 円	決算額の		
決算額	0 円	財源内訳		
(前年度決算額	0 円)			

説 明

退職被保険者等移送事業

国民健康保険特別会計

2 款 保険給付費
歳出 4 項 出産育児諸費

1 目 出産育児一時金	国保年金課	S D G s		
予算現額	29,000,000 円	決算額の 財源内訳	一般財源	17,179,175 円
決算額	17,179,175 円			
(前年度決算額	21,426,570 円)			

説 明

出産育児一時金給付事業

給付状況

35 件 1 件当たり支給額 488,000 円（産科補償 12,000 円加算）

2 目 支払手数料	国保年金課	S D G s		
予算現額	13,000 円	決算額の 財源内訳	一般財源	6,090 円
決算額	6,090 円			
(前年度決算額	9,030 円)			

説 明

手数料支払事業

29 件 1 件当たり 210 円

国民健康保険特別会計

2 款 保険給付費
歳出 5 項 葬祭諸費

1 目 葬祭費	国保年金課	S D G s		
予算現額	4,800,000 円	決算額の 財源内訳	一般財源	3,500,000 円
決算額	3,500,000 円			
(前年度決算額	4,750,000 円)			

説 明

葬祭費給付事業

給付状況

70 件 1 件当たり支給額 50,000 円

国民健康保険特別会計

2 款 保険給付費
歳出 6 項 その他給付諸費

1 目 傷病手当金	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を	
予算現額	100,000 円	決算額の	県支出金	0 円
決算額	0 円	財源内訳		
(前年度決算額	116,032 円)			

説 明

傷病手当金給付事業

新型コロナウイルス感染症に感染又は疑いがある場合に、療養のために労務に服することができない期間に応じて支給する手当金

令和 6 年度 0 件

令和 5 年度 4 件

国民健康保険特別会計

3 款 国民健康保険事業費納付金
歳出 1 項 医療給付費分

1 目 一般被保険者 医療給付費分	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を	
予算現額	1,461,310,000 円	決算額の	県支出金	113,255,000 円
決算額	1,461,309,969 円	財源内訳	一般財源	1,348,054,969 円
(前年度決算額	1,430,738,393 円)			

説 明

一般被保険者医療給付費分納付金支払事業

2 目 退職被保険者等 医療給付費分	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を	
予算現額	0 円	決算額の	一般財源	0 円
決算額	0 円	財源内訳		
(前年度決算額	800 円)			

説 明

退職被保険者等医療給付費分納付金支払事業

令和 6 年度以降、制度廃止。

国民健康保険特別会計 歳出 3 款 国民健康保険事業費納付金
後期高齢者支援金等分 2 項

1 目 一般被保険者後期 高齢者支援金等分	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を 	
予算現額	486,268,000 円	決算額の 財源内訳	一般財源	486,267,085 円
決算額	486,267,085 円			
(前年度決算額	494,887,437 円)			

説明

一般被保険者後期高齢者支援金等分納付金支払事業

国民健康保険特別会計 歳出 3 款 国民健康保険事業費納付金
介護納付金分 3 項

1 目 介護納付金分	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を 	
予算現額	174,252,000 円	決算額の 財源内訳	一般財源	174,251,837 円
決算額	174,251,837 円			
(前年度決算額	181,697,290 円)			

説明

介護納付金分納付金支払事業

国民健康保険特別会計 歳出 4 款 保健事業費
特定健康診査等事業費 1 項

1 目 特定健康診査等事業費	健康課	S D G s	3 すべての人に 健康と福祉を 	
予算現額	49,845,000 円	決算額の 財源内訳	県支出金	13,434,000 円
決算額	47,065,724 円		その他特財	7,350 円
(前年度決算額	46,397,101 円)		一般財源	33,624,374 円

説明

1 特定健康診査事業	46,742,816 円
2 特定保健指導事業	322,908 円

国民健康保険特別会計

4 款 保健事業費
歳出 2 項 保健事業費

1 目 保健衛生普及費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と幸せを もたらす	
予算現額	15,742,000 円	決算額の	一般財源	14,002,853 円
決算額	14,002,853 円	財源内訳		
(前年度決算額	18,435,006 円)			

説 明

- 1 国民健康保険医療費適正化事業 10,647,653 円
医療費通知、糖尿病性腎症等重症化予防等
- 2 国民健康保険健康診査助成事業 3,355,200 円
受診者件数 803 人 1,758 件

国民健康保険特別会計

5 款 基金積立金
歳出 1 項 基金積立金

1 目 国民健康保険事業 基金積立金	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と幸せを もたらす	
予算現額	1,000 円	決算額の	その他特財	4 円
決算額	4 円	財源内訳		
(前年度決算額	1 円)			

説 明

国民健康保険事業基金積立事業
基金の状況

令和 5 年度末基金現在高	951 円
令和 6 年度積立額	4 円
令和 6 年度取崩額	0 円
令和 6 年度末基金現在高	955 円

国民健康保険特別会計

6 款 公債費
歳出 1 項 公債費

1 目 利子	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と幸せを もたらす	
予算現額	1,000 円	決算額の		
決算額	0 円	財源内訳		
(前年度決算額	0 円)			

説 明

一時借入金利子

国民健康保険特別会計

歳出

7 款 諸支出金
1 項 償還金及び還付加算金

1 目 保険税還付金	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と幸せを もたらす	
予算現額	6,000,000 円	決算額の 財源内訳	一般財源	4,100,970 円
決算額	4,100,970 円			
(前年度決算額	5,183,110 円)			

説 明

保険税還付事業

2 目 償還金	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と幸せを もたらす	
予算現額	12,974,000 円	決算額の 財源内訳	一般財源	12,974,000 円
決算額	12,974,000 円			
(前年度決算額	318,000 円)			

説 明

- 1 国庫負担金返還事業 30,000 円
2 県負担金返還事業 12,944,000 円

国民健康保険特別会計

8 款 予備費
1 項 予備費

1 目 予備費	国保年金課	S D G s	3 すべての人に 健康と幸せを もたらす	
予算現額	20,000,000 円	決算額の 財源内訳		
決算額	0 円			
(前年度決算額	0 円)			

説 明

予備費

1 概要

(1) 制度の目的・概要

すべての年齢の在宅療養者に対して、主治医が訪問看護を必要と認めた場合に訪問看護指示書を受けて、医療保険により看護師等が訪問し、療養上の世話及び病状の観察・判断、診療の補助・医学的管理等を行う。

その人らしく療養生活ができるように、本人・家族を支援し、一人ひとりの健康課題を早期に発見し、医師と連携して合併症の発症や重症化を防止する。

療養者の状態にあった予防的ケアから看取りまで24時間対応で支援する。

(2) 利用状況

訪問看護事業の現況

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
実利用者数	418人	449人	513人
月平均利用者数	35人	37人	43人
延訪問回数	4,101回	4,048回	3,600回
月平均訪問回数	342回	337回	300回
1人平均訪問回数／月	9.6回	9.0回	7.0回
1人平均訪問時間／回	56分	54分	53分

(3) 歳入

歳入決算額は120,826,221円で、前年度対比8.3%の減であった。

(4) 歳出

歳出決算額は61,778,492円で、前年度対比13.3%の増であった。歳出の主なものは人件費で、全体の92.7%を占めている。

訪問看護事業特別会計

歳入

1 款

訪問看護療養費

1 項	訪問看護療養費	訪問看護 ステーション
予算現額	40,339,000 円 (43,187,000 円)	6.6%減
決算額	43,391,688 円 (42,539,647 円)	2.0%増

説 明

基本療養費、管理療養費、届出による24時間対応体制加算、特別管理加算・退院時共同指導加算・ターミナルケア療養費等、基本利用料及び条例で定めるその他利用料である。

(内訳)

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度対比
訪問看護療養費	40,596,101 円	39,684,127 円	2.3%増
訪問看護利用料	2,795,587 円	2,855,520 円	2.1%減

訪問看護事業特別会計

歳入

2 款

繰越金

1 項	繰越金	訪問看護 ステーション
予算現額	88,914,000 円 (90,732,000 円)	2.0%減
決算額	77,221,533 円 (89,055,730 円)	13.3%減

説 明

前年度からの繰越金

訪問看護事業特別会計

歳入

3 款

諸収入

1 項	市預金利子	訪問看護 ステーション
予算現額	1,000 円 (1,000 円)	増減無
決算額	92,000 円 (21,000 円)	338.1%増

説 明

市預金利子

2 項	雑入	訪問看護 ステーション
予算現額	1,000 円 (1,000 円)	増減無
決算額	121,000 円 (136,595 円)	11.4%減

説 明

安城碧海看護専門学校の臨地実習指導業務委託料

延べ 58 人

弥富看護専門学校の臨地実習指導業務委託料

延べ 16 人

訪問看護事業特別会計

1 款 訪問看護事業費
 歳出 1 項 訪問看護事業費

1 目 訪問看護事業費	訪問看護 ステーション	S D G s	
予算現額	95,535,000 円	決算額の	一般財源 61,778,492 円
決算額	61,778,492 円	財源内訳	
(前年度決算額	54,531,439 円)		

説 明

1 訪問看護運営事業	予算現額 95,535,000 円 (66,694,000 円) 43.2%増 決 算 額 61,778,492 円 (54,531,439 円) 13.3%増
(1) 一般職人件費 (6 人)	44,267,113 円
(2) 会計年度任用職員人件費 (4 人)	13,002,794 円
(3) 訪問看護運営事業	4,508,585 円

2 款 予備費
 歳出 1 項 予備費

1 目 予備費	訪問看護 ステーション	S D G s	
予算現額	33,720,000 円	決算額の	
決算額	0 円	財源内訳	
(前年度決算額	0 円)		

説 明

1 予備費	予算現額 33,720,000 円 (67,227,000 円) 49.8%減 決 算 額 0 円 (0 円) 増減無

1 概要

(1) 制度概要

高齢者の暮らしを社会みんなで支える仕組みとして、介護保険制度は平成12年度に施行された。地域共生社会の実現に向け、地域包括ケアシステムの推進や高齢者の自立支援、要介護状態の重症化防止が重点となってきた。

介護保険特別会計（保険事業勘定）は、介護保険法第3条第2項の規定に基づき、介護保険の保険者の収支について設けた会計である。歳入においては、介護保険料、公費等の収入を、歳出においては、保険給付費、地域支援事業費、事務費等の支出を計上している。

(2) 事業概要

ア 第一号被保険者（65歳以上）の状況（令和6年度末）

	人数	前年比
第一号被保険者数	17,408 人	4 人減 0.0%増
高齢化率	24.1%	0.1%増

イ 要介護（支援）認定者の状況（令和6年度末）

	人数	前年比	認定区分	人数	構成比
認定者数	3,070 人	61 人増	要支援 1	479 人	15.6%
			要支援 2	573 人	18.7%
認定者のうち 第一号被保険者	3,000 人	66 人増	要介護 1	506 人	16.5%
			要介護 2	474 人	15.4%
第一号被保険者の 認定率	17.2%	0.3 ポイント増	要介護 3	413 人	13.4%
			要介護 4	395 人	12.9%
			要介護 5	230 人	7.5%
			計	3,070 人	100.0%

ウ 介護予防・生活支援サービス事業の事業対象者の状況

新規事業対象者数 28 人
サービス利用者数（令和6年度末） 41 人

エ 介護保険サービスの利用状況（令和6年度末）

	人数	前年比	認定者に占める割合
居宅介護（予防）サービス利用者数	1,940 人	28 人増	63.2%
地域密着型（予防）サービス利用者数	313 人	21 人増	10.2%
施設介護サービス利用者数	451 人	5 人減	14.7%
計	2,704 人	44 人増	88.1%

介護保険特別会計（保険事業勘定）

オ 保険給付費の状況

サービスの種類	介護給付		予防給付		計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
居宅介護サービス等	41,254	2,037,693,625	10,236	176,725,232	51,490	2,214,418,857
訪問介護	4,768	386,650,941	0	0	4,768	386,650,941
訪問入浴介護	521	29,774,038	19	1,118,346	540	30,892,384
訪問看護	4,526	224,825,165	891	26,511,863	5,417	251,337,028
訪問リハビリテーション	720	24,946,575	159	4,858,274	879	29,804,849
居宅療養管理指導	6,926	39,792,036	716	4,502,195	7,642	44,294,231
通所介護	6,455	622,755,103	0	0	6,455	622,755,103
通所リハビリテーション	3,165	240,007,078	2,252	86,253,183	5,417	326,260,261
短期入所生活介護	1,631	188,445,211	24	523,105	1,655	188,968,316
短期入所療養(老健)	1,030	73,785,766	17	583,832	1,047	74,369,598
短期入所療養(療養型)(含む特定診療費)	0	0	0	0	0	0
特定施設入居者生活介護	151	30,551,832	36	2,707,403	187	33,259,235
福祉用具貸与	11,361	176,159,880	6,122	49,667,031	17,483	225,826,911
地域密着型サービス	3,536	493,349,079	48	7,887,643	3,584	501,236,722
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	45	5,201,843	0	0	45	5,201,843
地域密着型通所介護	2,137	142,368,900	0	0	2,137	142,368,900
認知症対応型通所介護	18	2,061,434	0	0	18	2,061,434
小規模多機能型居宅介護	294	62,176,737	24	2,286,280	318	64,463,017
認知症対応型共同生活介護	1,030	278,220,052	24	5,601,363	1,054	283,821,415
看護小規模多機能型居宅介護	12	3,320,113	0	0	12	3,320,113
施設介護サービス	5,538	1,653,293,927	-	-	5,538	1,653,293,927
介護老人福祉施設	3,365	956,805,596	-	-	3,365	956,805,596
介護老人保健施設	1,941	608,129,729	-	-	1,941	608,129,729
介護療養型医療施設(含む特定診療費)	0	0	-	-	0	0
介護医療院	232	88,358,602	-	-	232	88,358,602
居宅介護福祉用具等購入	232	7,180,675	127	3,667,890	359	10,848,565
居宅介護住宅改修	118	9,008,965	115	10,471,183	233	19,480,148
居宅介護サービス計画	15,321	241,843,451	7,225	34,045,268	22,546	275,888,719
小計	65,999	4,442,369,722	17,751	232,797,216	83,750	4,675,166,938
高額介護サービス	-	-	-	-	7,905	102,918,678
高額医療合算介護サービス	-	-	-	-	433	13,524,608
特定入所者介護サービス	-	-	-	-	2,401	69,217,202
審査支払手数料	-	-	-	-	83,122	2,880,165
合計	-	-	-	-	177,611	4,863,707,591

介護保険特別会計（保険事業勘定）

カ 介護予防・生活支援サービス事業費等の状況

サービスの種類		件数	金額(円)
訪問型サービス事業		851	13,458,586
	予防専門型訪問サービス	455	8,684,944
	家事援助型訪問サービス	396	4,773,642
通所型サービス事業		3,885	97,335,633
	予防専門型通所サービス	2,288	61,363,089
	運動器中心型通所サービス	1,517	34,701,394
	運動器機能向上加算	50	669,900
	弾力化分	3	84,958
	ミニデイ型通所サービス	27	516,292
介護予防ケアマネジメント事業		2,206	9,112,010
高額介護予防サービス相当事業		95	215,796
高額医療合算介護予防サービス相当事業		11	129,579
審査支払手数料		6,873	238,139
計		13,921	120,489,743

(3) 歳 入

歳入決算額は5, 583, 732, 812円で、前年度比0. 7%の増であった。

(4) 歳 出

歳出決算額は5, 471, 544, 606円で、前年度比4. 1%の増であった。保険給付費は4, 863, 707, 591円で、前年度比4. 0%の増、地域支援事業費は249, 743, 915円で、前年度比4. 8%の増、事務経費は183, 678, 833円で、前年度比9. 3%の増であった。

介護保険特別会計（保険事業勘定）

(5) 第9期事業計画と実績

	6年度事業計画		6年度実績		比較	
サービスの種類	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数(%)	金額(%)
居宅介護サービス等	42,108	2,039,363,000	51,490	2,214,418,857	122.3	108.6
訪問介護	5,220	390,979,000	4,768	386,650,941	91.3	98.9
訪問入浴介護	600	32,779,000	540	30,892,384	90.0	94.2
訪問看護	4,080	210,904,000	5,417	251,337,028	132.8	119.2
訪問リハビリテーション	804	27,163,000	879	29,804,849	109.3	109.7
居宅療養管理指導	6,336	40,814,000	7,642	44,294,231	120.6	108.5
通所介護	6,900	654,312,000	6,455	622,755,103	93.6	95.2
通所リハビリテーション	3,384	245,347,000	5,417	326,260,261	160.1	133.0
短期入所生活介護	1,608	162,248,000	1,655	188,968,316	102.9	116.5
短期入所療養介護	1,176	69,844,000	1,047	74,369,598	89.0	106.5
特定施設入居者生活介護	156	29,813,000	187	33,259,235	119.9	111.6
福祉用具貸与	11,844	175,160,000	17,483	225,826,911	147.6	128.9
地域密着型サービス	3,828	548,116,000	3,584	501,236,722	93.6	91.4
定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	36	8,895,000	45	5,201,843	125.0	58.5
地域密着型通所介護	2,340	181,522,000	2,137	142,368,900	91.3	78.4
認知症対応型通所介護	36	6,329,000	18	2,061,434	50.0	32.6
小規模多機能型居宅介護	336	73,218,000	318	64,463,017	94.6	88.0
認知症対応型共同生活介護	1,068	274,493,000	1,054	283,821,415	98.7	103.4
看護小規模多機能型居宅介 護	12	3,659,000	12	3,320,113	100.0	90.7
施設介護サービス	5,892	1,720,367,000	5,538	1,653,293,927	94.0	96.1
介護老人福祉施設	3,720	1,025,070,000	3,365	956,805,596	90.5	93.3
介護老人保健施設	1,896	584,170,000	1,941	608,129,729	102.4	104.1
介護医療院	276	111,127,000	232	88,358,602	84.1	79.5
居宅介護福祉用具等購入	180	4,452,000	359	10,848,565	199.4	243.7
居宅介護住宅改修	132	9,956,000	233	19,480,148	176.5	195.7
居宅介護サービス計画	15,720	252,596,000	22,546	275,888,719	143.4	109.2
小計	67,860	4,574,850,000	83,750	4,675,166,938	123.4	102.2
高額介護サービス	-	102,877,000	7,905	102,918,678	-	100.0
高額医療合算介護サービス	-	15,000,000	433	13,524,608	-	90.2
特定入所者介護サービス	-	85,745,000	2,401	69,217,202	-	80.7
審査支払手数料	-	2,888,000	83,122	2,880,165	-	99.7
合計	-	4,781,360,000	177,611	4,863,707,591	-	101.7

1 項 介護保険料	高齢介護課
予算現額 1,264,395,000 円 (1,174,291,000 円) 7.7%増 決算額 1,262,158,495 円 (1,175,108,890 円) 7.4%増	

説 明

第一号被保険者（65 歳以上）保険料

区 分		賦課人数	調定額(A)	収入額(B)	収納率(B/A)	還付未済額
現年度分	特別徴収保険料	16, 978 人	1, 170, 630, 456 円	1, 171, 819, 466 円	100. 1%	1, 189, 010 円
	普通徴収保険料	2, 255 人	94, 206, 266 円	88, 552, 516 円	94. 0%	32, 760 円
	小 計	19, 233 人	1, 264, 836, 722 円	1, 260, 371, 982 円	99. 6%	1, 221, 770 円
滞納繰越分普通徴収保険料		180 人	6, 792, 205 円	1, 786, 513 円	26. 3%	0 円

（注）特別徴収保険料及び普通徴収保険料の賦課人数には、併用徴収者 1,042 人を含む。

低所得者減免 5 人 35,133 円、災害損失による減免 9 人 204,680 円

1 項 国庫負担金	高齢介護課
予算現額 910,269,000 円 (936,838,000 円) 2.8%減 決算額 890,551,992 円 (893,367,841 円) 0.3%減	

説 明

介護給付費負担金として保険給付費のうち居宅介護等費 20%、施設介護費 15%相当

2 項 国庫補助金	高齢介護課
予算現額 173,882,000 円 (241,839,000 円) 28.1%減 決算額 182,470,839 円 (211,223,196 円) 13.6%減	

説 明

- 1 介護給付費財政調整交付金 98,011,000 円
高齢化率、所得水準の地域格差により配分。保険給付費の 2.08%相当
- 2 地域支援事業費交付金（介護予防・日常生活支援総合事業） 31,716,179 円
地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業）の 20%相当
- 3 地域支援事業費交付金（その他の地域支援事業） 33,693,660 円
地域支援事業費（その他の地域支援事業）の 38.5%相当
- 4 保険者機能強化推進交付金 6,160,000 円
自立支援、重度化防止の取組みについて、国が指標を設け、評価点数に応じて市町村に交付
- 5 介護保険保険者努力支援交付金 11,999,000 円

地域支援事業等の健康づくり事業の取組みについて国が指標を設け、評価点数に応じて市町村に交付。

6 介護保険事業費補助金 891,000 円

介護報酬改定等に伴うシステム改修に係る事業費 補助率 1 / 2

市町村規模に応じて補助基準額が定められており、改修事業費が基準額を上回る場合は、基準額の 1 / 2

1 項 支払基金交付金	高齢介護課
予算現額 1,382,970,000 円 (1,435,256,000 円) 3.6%減 決算額 1,336,454,265 円 (1,308,902,769 円) 2.1%増	

説 明

第二号被保険者（40～64 歳）保険料

1 介護給付費交付金 1,297,039,231 円

保険給付費の 27%相当

2 地域支援事業費交付金 39,415,034 円

地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業）の 27%相当

1 項 県負担金	高齢介護課
予算現額 717,941,000 円 (745,913,000 円) 3.8%減 決算額 694,329,000 円 (679,502,000 円) 2.2%増	

説 明

1 介護給付費県負担金 694,329,000 円

保険給付費のうち居宅介護等費 12.5%、施設介護費 17.5%相当

2 項 県補助金	高齢介護課
予算現額 38,089,000 円 (37,094,000 円) 2.7%増 決算額 34,671,315 円 (37,091,606 円) 6.5%減	

説 明

1 地域支援事業費交付金（介護予防・日常生活支援総合事業） 17,824,486 円

地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業）の 12.5%相当

2 地域支援事業費交付金（その他の地域支援事業） 16,846,829 円

地域支援事業費（その他の地域支援事業）の 19.25%相当

介護保険特別会計（保険事業勘定）

歳入 4 款 県支出金

3 項 財政安定化基金支出金	高齢介護課
予算現額 1,000 円 (1,000 円) 増減無 決算額 0 円 (0 円) 増減無	

説 明

貸付金

介護保険特別会計（保険事業勘定）

歳入 5 款 財産収入

1 項 財産運用収入	高齢介護課
予算現額 1,538,000 円 (604,000 円) 154.6%増 決算額 1,538,477 円 (603,849 円) 154.8%増	

説 明

介護給付費準備基金利子

介護保険特別会計（保険事業勘定）

歳入 6 款 繰入金

1 項 一般会計繰入金	高齢介護課
予算現額 820,924,000 円 (849,377,000 円) 3.3%減 決算額 820,923,869 円 (849,376,424 円) 3.3%減	

説 明

1 介護給付費繰入金	563,519,690 円
保険給付費の 12.5%相当等	
2 地域支援事業費繰入金（介護予防・日常生活支援総合事業）	8,580,026 円
地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業）の 12.5%相当等	
3 地域支援事業費繰入金（その他の地域支援事業）	31,254,655 円
地域支援事業費（その他の地域支援事業）の 19.25%相当等	
4 その他一般会計繰入金	183,342,306 円
事務費等	
5 介護保険料軽減負担繰入金	34,227,192 円
介護保険料第 1 ～ 3 段階軽減負担分	

2 項 基金繰入金	高齢介護課
予算現額 67,147,000 円 (126,363,000 円) 46.9%減 決算額 67,147,000 円 (126,363,000 円) 46.9%減	

説 明

介護給付費準備基金繰入金

介護保険特別会計（保険事業勘定）

歳入 8 款 諸収入

1 項 繰越金	高齡介護課
予算現額 288,293,000 円 (262,924,000 円) 9.6%増 決算額 288,293,026 円 (262,924,450 円) 9.6%増	

説 明

前年度からの繰越金 288,293,026 円

介護保険特別会計（保険事業勘定）

歳入 8 款 諸収入

1 項 市預金利子	高齡介護課
予算現額 61,000 円 (30,000 円) 103.3%増 決算額 463,000 円 (113,000 円) 309.7%増	

説 明

市預金利子

2 項 雑入	高齡介護課
予算現額 195,000 円 (209,000 円) 93.3%減 決算額 4,620,274 円 (728,964 円) 526.7%増	

説 明

1 雑入	4,620,274 円
(1) 介護予防事業利用負担金	52,000 円
(2) 福祉用具購入費返還金	16,560 円
(3) 第三者納付金	3,771,776 円
(4) 給付費返還金	779,938 円

3 項 延滞金、加算金及び過料	高齡介護課
予算現額 100,000 円 (102,000 円) 2.0%減 決算額 111,260 円 (134,360 円) 17.2%減	

説 明

1 加算金	0 円
2 延滞金	111,260 円
介護保険料延滞金 50 件	
3 過料	0 円

介護保険特別会計（保険事業勘定）

1 款 総務費
歳出 1 項 総務管理費

1 目 一般管理費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	128,077,000 円	決算額の	一般財源
決算額	119,921,658 円	財源内訳	119,921,658 円
(前年度決算額	111,841,775 円)		

説 明

1 介護保険事務管理事業 予算現額 128,077,000 円 (127,729,000 円) 0.3%増
決 算 額 119,921,658 円 (111,841,775 円) 7.2%増

- (1) 一般職人件費（13人） 100,124,302 円
- (2) 会計年度任用職員人件費（2人） 8,484,038 円
- (3) 介護保険事務管理事業 2,913,060 円
- (4) 介護保険システム改修事業 5,214,000 円
- 介護保険システム制度改正対応改修、保守委託等
- (5) 医療介護 ICT 導入事業 2,729,724 円
- 電子@連絡帳を使用した医療介護連携体制の構築
- (6) 地域包括支援センター事務管理事業 456,534 円

介護保険特別会計（保険事業勘定）

1 款 総務費
歳出 2 項 徴収費

1 目 賦課徴収費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	5,854,000 円	決算額の	一般財源
決算額	5,571,906 円	財源内訳	5,571,906 円
(前年度決算額	4,277,058 円)		

説 明

1 介護保険料賦課徴収事業 予算現額 5,854,000 円 (4,936,000 円) 18.6%増
決 算 額 5,571,906 円 (4,277,058 円) 30.3%増

納付通知書、本算定通知書印刷印字封入封緘委託、郵送料、口座振替手数料等

1 目 介護認定審査会費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	24,750,000 円	決算額の	一般財源 22,371,488 円
決算額	22,371,488 円	財源内訳	
(前年度決算額	14,029,800 円)		

説 明

1 介護認定審査会事業

予算現額 24,750,000 円（15,252,000 円） 62.3%増

決 算 額 22,371,488 円（14,029,800 円） 59.5%増

開催回数 128 回 審査件数 2,271 件

2 目 認定調査等費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	44,483,000 円	決算額の	一般財源 34,815,890 円
決算額	34,815,890 円	財源内訳	
(前年度決算額	33,101,731 円)		

説 明

1 認定調査等事業

予算現額 44,483,000 円（36,402,000 円） 22.2%増

決 算 額 34,815,890 円（33,101,731 円） 5.2%増

(1) 会計年度任用職員人件費（8 人）

20,500,580 円

(2) 介護調査等事業

14,315,310 円

主治医意見書記載手数料 2,356 件

介護保険特別会計（保険事業勘定）

1 款 総務費
 歳出 4 項 運営協議会費

1 目 運営協議会費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	790,000 円	決算額の	
決算額	252,091 円	財源内訳	一般財源 252,091 円
(前年度決算額	3,931,092 円)		

説明

1 介護保険運営協議会事業 予算現額 790,000 円（4,541,000 円）82.6%減
 決算額 252,091 円（3,931,092 円）93.6%減

介護保険運営協議会事業 252,091 円

介護保険運営協議会 委員 19 人 1 回開催

介護サービス運営協議会 委員 8 人 3 回開催

介護保険特別会計（保険事業勘定）

1 款 総務費
 歳出 5 項 趣旨普及費

1 目 趣旨普及費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	1,018,000 円	決算額の	
決算額	745,800 円	財源内訳	一般財源 745,800 円
(前年度決算額	839,850 円)		

説明

1 介護保険趣旨普及事業 予算現額 1,018,000 円（845,000 円）20.5%増
 決算額 745,800 円（839,850 円）11.2%減

介護保険パンフレット

みんなのあんしん介護保険 1,500 部

医療と介護ガイドマップ 1,500 部

介護保険特別会計（保険事業勘定） 歳出 2 款 保険給付費
1 項 介護サービス等諸費

1 目 居宅介護サービス等給付費	高齢介護課	S D G s		
予算現額	2,214,419,000 円	決算額の財源内訳	国庫支出金	450,087,200 円
決算額	2,214,418,857 円		県支出金	316,124,110 円
(前年度決算額	2,075,453,048 円)		その他特財	590,534,706 円
			一般財源	857,672,841 円

説明

1 介護サービス等事業 予算現額 2,214,419,000 円 (2,219,398,000 円) 0.2%減
決 算 額 2,214,418,857 円 (2,075,453,048 円) 6.7%増

要介護等認定者の居宅介護サービス給付

2 目 地域密着型介護サービス等給付費	高齢介護課	S D G s		
予算現額	547,186,000 円	決算額の財源内訳	国庫支出金	101,877,851 円
決算額	501,236,722 円		県支出金	71,555,123 円
(前年度決算額	502,405,880 円)		その他特財	133,668,334 円
			一般財源	194,135,414 円

説明

1 介護サービス等事業 予算現額 547,186,000 円 (575,259,000 円) 4.9%減
決 算 額 501,236,722 円 (502,405,880 円) 0.2%減

要介護等認定者の地域密着型介護サービス給付

3 目 施設介護 サービス給付費	高齢介護課	S D G s	
予算現額 1,720,367,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	336,036,893 円
決算額 1,653,293,927 円		県支出金	236,019,518 円
(前年度決算額 1,617,299,065 円)		その他特財	440,895,561 円
		一般財源	640,341,955 円

説明

1 介護サービス事業 予算現額 1,720,367,000 円 (1,825,662,000 円) 5.8%減
決 算 額 1,653,293,927 円 (1,617,299,065 円) 2.2%増

要介護認定者の施設介護サービス給付

介護保険特別会計（保険事業勘定） 歳出 2 款 保険給付費
1 項 介護サービス等諸費

4 目 居宅介護 福祉用具等購入費	高齢介護課	S D G s		
予算現額	12,919,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	2,205,003 円
決算額	10,848,565 円		県支出金	1,548,710 円
(前年度決算額	8,245,887 円)		その他特財	2,893,063 円
			一般財源	4,201,789 円

説明

1 介護サービス等事業 予算現額 12,919,000 円（13,166,000 円） 1.9%減
決算額 10,848,565 円（8,245,887 円） 31.6%増

要介護等認定者の福祉用具購入

腰掛便座 115 件、入浴補助用具 187 件、移動用リフトのつり具 3 件、
スロープ 35 件、歩行器 2 件、歩行補助つえ 17 件

5 目 居宅介護 住宅改修等費	高齢介護課	S D G s		
予算現額	25,226,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	3,959,398 円
決算額	19,480,148 円		県支出金	2,780,930 円
(前年度決算額	18,662,959 円)		その他特財	5,194,909 円
			一般財源	7,544,911 円

説明

1 介護サービス等事業 予算現額 25,226,000 円（26,615,000 円） 5.2%減
決算額 19,480,148 円（18,662,959 円） 4.4%増

要介護等認定者の住宅改修 233 件

6 目 居宅介護サービス 計画等給付費	高齢介護課	S D G s	
予算現額 決算額 (前年度決算額	283,257,000 円 275,888,719 円 264,461,804 円)	決算額の 財源内訳	国庫支出金 56,075,200 円 県支出金 39,385,085 円 その他特財 73,573,192 円 一般財源 106,855,242 円

説明

1 介護サービス等事業 予算現額 283,257,000 円（268,296,000 円） 5.6%増
決算額 275,888,719 円（264,461,804 円） 4.3%増

要介護等認定者のケアプラン作成 22,546 件

介護保険特別会計（保険事業勘定） 歳出 2 款 保険給付費
2 項 高額介護サービス等諸費

1 目 高額介護サービス等費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	102,919,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金 20,918,527 円
決算額	102,918,678 円		県支出金 14,692,376 円
(前年度決算額	97,105,411 円)		その他特財 27,446,050 円
			一般財源 39,861,725 円

説明

1 高額介護サービス等事業 予算現額 102,919,000 円（132,769,000 円）22.5%減
決 算 額 102,918,678 円（97,105,411 円）6.0%増

要介護等認定者の高額介護サービス給付 7,905 件

介護保険特別会計（保険事業勘定） 歳出 2 款 保険給付費
3 項 高額医療合算介護サービス等諸費

1 目 高額医療合算介護サービス等費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	14,959,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金 2,748,917 円
決算額	13,524,608 円		県支出金 1,930,734 円
(前年度決算額	13,987,374 円)		その他特財 3,606,703 円
			一般財源 5,238,254 円

説明

1 高額医療合算介護サービス等事業 予算現額 14,959,000 円（15,000,000 円）0.3%減
決 算 額 13,524,608 円（13,987,374 円）3.3%減

要介護等認定者の高額医療合算介護サービス給付 433 件

2 款 保険給付費
4 項 特定入所者介護サービス等諸費

介護保険特別会計（保険事業勘定）歳出

1 目 特定入所者 介護サービス等費	高齢介護課	S D G s		
予算現額	85,746,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	14,068,601 円
決算額	69,217,202 円		県支出金	9,881,250 円
(前年度決算額	76,472,994 円)		その他特財	18,458,639 円
			一般財源	26,808,712 円

説明

- 1 特定入所者介護サービス等事業 予算現額 85,746,000 円（98,713,000 円）13.1%減
決算額 69,217,202 円（76,472,994 円）9.5%減

低所得者の介護保険施設利用時における食費、居住費等の給付 2,401 件

2 款 保険給付費
5 項 その他諸費

介護保険特別会計（保険事業勘定）歳出

1 目 審査支払手数料	高齢介護課	S D G s		
予算現額	2,888,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	585,402 円
決算額	2,880,165 円		県支出金	411,164 円
(前年度決算額	2,771,366 円)		その他特財	768,074 円
			一般財源	1,115,525 円

説明

- 1 介護給付審査手数料支払事業 予算現額 2,888,000 円（2,818,000 円）2.5%増
決算額 2,880,165 円（2,771,366 円）3.9%増

愛知県国民健康保険団体連合会の審査支払事務 83,122 件

3 款 地域支援事業費

介護保険特別会計（保険事業勘定） 歳出 1 項 介護予防・生活支援サービス事業費

1 目 介護予防・生活支援サービス事業費	高齢介護課	S D G s	
予算現額 111,162,000 円		決算額の	国庫支出金 24,091,370 円
決算額 111,139,594 円		財源内訳	県支出金 13,214,037 円
(前年度決算額 98,837,127 円)			その他特財 29,220,014 円
			一般財源 44,614,173 円

説 明

- 1 介護予防・生活支援サービス事業 予算現額 110,795,000 円（105,000,000 円）5.5%増
決 算 額 110,794,219 円（98,621,804 円）12.3%増

要支援認定者及び事業対象者のサービス給付

- 2 高額介護予防サービス相当事業 予算現額 237,000 円（300,000 円）21.0%減
決 算 額 215,796 円（97,812 円）120.6%増

高額介護予防サービス相当事業費 95 件

- 3 高額医療合算介護予防サービス相当事業 予算現額 130,000 円（400,000 円）67.5%減
決 算 額 129,579 円（117,511 円）10.3%増

高額医療合算介護予防サービス相当事業費 11 件

2 目 介護予防ケアマネジメント事業費	高齢介護課	S D G s	
予算現額 9,132,000 円		決算額の	国庫支出金 1,975,180 円
決算額 9,112,010 円		財源内訳	県支出金 1,083,380 円
(前年度決算額 9,307,296 円)			その他特財 2,395,663 円
			一般財源 3,657,787 円

説 明

- 1 介護予防ケアマネジメント事業 予算現額 9,132,000 円（11,966,000 円）23.7%減
決 算 額 9,112,010 円（9,307,296 円）2.1%減

地域包括支援センターが行う介護予防・生活支援サービス事業利用者のケアマネジメント
ト 2,206 件

1 目 一般介護予防事業費		健康課 高齢介護課	S D G s	
予算現額	30,181,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	5,598,008 円
決算額	29,501,199 円		県支出金	3,498,755 円
(前年度決算額	30,763,743 円)		その他特財	7,736,747 円
			一般財源	12,667,689 円

説 明

1 対象者把握事業

予算現額 362,000 円（334,000 円） 8.4%増

決 算 額 360,774 円（293,473 円） 22.9%増

(1) 地域調査事業

介護予防調査

75 歳の市民に健康・生活状態の把握のため「介護予防のための生活機能に関する質問票」のアンケート調査を実施

質問票発送数 863 件 回収件数 791 件

2 介護予防普及啓発事業

予算現額 29,186,000 円（31,151,000 円） 6.3%減

決 算 額 28,646,970 円（29,873,679 円） 4.1%減

(1) 健康教育事業

1,288,903 円

ア すこやか健康講座

13 回 延 542 人

イ おたっしゃ大学 入学者 158 人

始業式 98 人

介護予防全般に関する講義等 計 4 講座 実 151 人 延 151 人

脳機能維持に関する教室等 計 2 講座 実 35 人 延 161 人

身体機能維持に関する教室等 計 4 講座 実 109 人 延 367 人

体力測定 34 人

ピンシヤン講座（生活習慣病予防と介護予防の共通点） 93 人

修了式 60 人

(2) 筋トレルーム 60 運営事業

27,004,631 円

3 会場に、トレーニングマシン及び健康運動指導士等を配置し指導を実施

会 場	会員登録者数	開設日	延利用者数
東部市民プラザ	1,412 人	291 日	8,216 人
あおいパーク	1,228 人	309 日	11,843 人
勤労青少年水上スポーツセンター	1,132 人	301 日	21,886 人
計	—	—	41,945 人

(3) 介護予防普及啓発事業

353,436 円

陶芸教室 12 回 延 164 人

健康測定会 2 回 延 99 人

介護保険特別会計（保険事業勘定）	歳出	3 款	地域支援事業費
		2 項	一般介護予防事業費
3 地域介護予防活動支援事業	予算現額	633,000 円	(681,000 円) 7.0%減
	決算額	493,455 円	(596,591 円) 17.3%減

(1) 機能訓練事業 335,855 円

遊友の会

市内 7 会場で月 2 回実施（みなわ会、なでしこ会、わかば会、さくら会、友楽会、浜友会、元気いきいき会）し、内容は健康チェック・軽体操・脳活性化ゲーム・レクリエーション等

会員数 98 人 計 156 回 延 1,433 人

(2) 介護予防サポーター育成事業 147,600 円

ア 介護予防サポーター養成講習会

4 回コース 受講者数 実 3 人 延 12 人（内登録者 1 人）

年度末介護予防サポーター登録者 31 人

イ 傾聴ボランティア養成講習会

3 回コース 受講者数 実 7 人 延 16 人（内登録者 0 人）

年度末へきなん傾聴の会登録者 15 人

(3) 担い手養成事業 10,000 円

チームオレンジにおける担い手（オレンジサポーター（認知症サポーター養成講座修了者））育成支援

開催 12 回 延 165 人

1 目 地域包括支援センター 運営事業費	高齢介護課	S D G s	
予算現額 106,290,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	27,579,391 円
決算額 81,651,154 円		県支出金	13,789,695 円
(前年度決算額 82,301,141 円)		一般財源	40,282,068 円

説 明

1 地域包括支援センター運営事業 予算現額 106,290,000 円 (98,021,000 円) 8.4%増
決 算 額 81,651,154 円 (82,301,141 円) 0.8%減

- (1) 地域包括支援センター管理事業 1,108,390 円
碧南社協地域包括支援センター西端出張所管理に関する経費
地域包括支援センター運営協議会 委員 10 人 2 回開催
- (2) 地域包括支援センター運営委託事業 80,517,736 円
碧南社協地域包括支援センター（西端出張所含む）、碧南東部地域包括支援センター
及び碧南南部地域包括支援センター運営業務委託
- (3) 地域ケア会議推進事業 25,028 円
自立支援型カンファレンス 24 回

碧南社協地域包括支援センター・西端出張所運営状況（新川・西端地区）

ア 総合相談支援業務

		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
延相談件数		733 件	880 件	772 件
相 談 者	本人	206 件	347 件	333 件
	家族	310 件	268 件	290 件
	ケアマネ・サービス事業者	64 件	56 件	32 件
	医療機関	48 件	104 件	46 件
	民生委員	35 件	30 件	29 件
	警察・消防	2 件	0 件	0 件
	近隣・地域	20 件	37 件	12 件
	行政関係	38 件	33 件	23 件
	その他	10 件	5 件	7 件

イ 権利擁護業務

		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
相談実人数		7 件	10 件	12 件
虐待と判断した件数		6 件	7 件	10 件

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
支援困難事例の相談		14 件	3 件	13 件

エ 介護予防ケアマネジメント業務

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
延件数	3,323 件	3,198 件	3,440 件
アセスメント	233 件	238 件	185 件
担当者会議	265 件	304 件	260 件
モニタリング	1,824 件	1,785 件	2,244 件
評価	84 件	94 件	108 件
連絡調整	878 件	770 件	640 件
その他	39 件	7 件	3 件

碧南東部地域包括支援センター運営状況（旭・中央地区）

ア 総合相談支援業務

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
延相談件数	588 件	599 件	773 件
相 談 者	本人	281 件	282 件
	家族	150 件	185 件
	ケアマネ・サービス事業者	26 件	40 件
	医療機関	33 件	38 件
	民生委員	43 件	18 件
	警察・消防	0 件	0 件
	近隣・地域	6 件	2 件
	行政関係	46 件	34 件
	その他	3 件	0 件

イ 権利擁護業務

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
相談実人数	10 件	9 件	7 件
虐待と判断した件数	9 件	8 件	7 件

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
支援困難事例の相談	28 件	44 件	56 件

エ 介護予防ケアマネジメント業務

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
延件数	2,903 件	2,913 件	2,830 件
アセスメント	238 件	250 件	181 件
担当者会議	215 件	256 件	244 件
モニタリング	2,084 件	2,033 件	2,041 件
評価	123 件	113 件	78 件
連絡調整	240 件	258 件	286 件
その他	3 件	3 件	0 件

碧南南部地域包括支援センター運営状況（大浜・棚尾地区）

ア 総合相談支援業務

		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
延相談件数		591 件	420 件	678 件
相 談 者	本人	29 件	42 件	35 件
	家族	193 件	149 件	251 件
	ケアマネ・サービス事業者	48 件	19 件	43 件
	医療機関	61 件	47 件	46 件
	民生委員	43 件	41 件	68 件
	警察・消防	1 件	0 件	0 件
	近隣・地域	3 件	4 件	25 件
	行政関係	208 件	111 件	206 件
	その他	5 件	7 件	4 件

イ 権利擁護業務

		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
相談実人数		10 件	9 件	12 件
虐待と判断した件数		9 件	8 件	11 件

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
支援困難事例の相談		15 件	25 件	30 件

エ 介護予防ケアマネジメント業務

		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
延件数		4,553 件	4,079 件	4,259 件
アセスメント		148 件	162 件	210 件
担当者会議		238 件	270 件	235 件
モニタリング		2,898 件	2,772 件	2,863 件
評価		220 件	193 件	197 件
連絡調整		976 件	656 件	728 件
その他		73 件	26 件	26 件

2 目 認知症総合支援事業費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	383,000 円	決算額の	国庫支出金 126,370 円
決算額	374,130 円	財源内訳	県支出金 63,185 円
(前年度決算額	332,932 円)		一般財源 184,575 円

説 明

1 認知症総合支援事業

予算現額 383,000 円（854,000 円）55.2%減

決 算 額 374,130 円（332,932 円）12.4%増

認知症初期集中支援チーム検討委員会	1 回		
認知症初期集中支援チーム員会議開催	6 回		
認知症初期集中支援チーム対応人数	6 人	延べ対応回数	48 回
認知症高齢者家族のつどい・本人交流会	6 回	参加延人数	83 人
認知症講演会	1 回	参加人数	100 人

3 目 在宅医療介護連携推進事業費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	6,786,000 円	決算額の	国庫支出金 1,910,869 円
決算額	5,657,292 円	財源内訳	県支出金 955,434 円
(前年度決算額	4,928,078 円)		一般財源 2,790,989 円

説 明

1 在宅医療介護連携推進事業

予算現額 6,786,000 円（6,272,000 円）8.2%増

決 算 額 5,657,292 円（4,928,078 円）14.8%増

- (1) 在宅医療介護連携推進事業 302,037 円
 医療介護連携推進委員会（在宅医療介護連携推進事業の進捗管理等）委員 15 人 2 回
- (2) 在宅医療サポートセンター事業 5,355,255 円
 会計年度任用職員人件費（看護師 1 名）・電話料

4 目 生活支援体制整備事業費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	58,000 円	決算額の	国庫支出金 15,854 円
決算額	46,937 円	財源内訳	県支出金 7,927 円
(前年度決算額	44,422 円)		一般財源 23,156 円

説 明

1 生活支援体制整備事業

予算現額 58,000 円（137,000 円）57.7%減

決 算 額 46,937 円（44,422 円）5.7%増

生活支援コーディネーターの配置
 （社会福祉協議会、地域包括支援センターから選任） 17 人

1 目 任意事業費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	12,152,000 円	決算額の	国庫支出金 4,061,176 円
決算額	12,023,460 円	財源内訳	県支出金 2,030,588 円
(前年度決算額	11,487,788 円)		一般財源 5,931,696 円

説 明

- 1 介護給付費適正化事業 予算現額 244,000 円（923,000 円）73.6%減
決 算 額 244,000 円（832,200 円）70.7%減

介護保険サービス確認通知書の印刷及び郵送 1 回

介護サービス利用者に対して、サービス利用状況を通知し、給付費用の再認識と適正利用の意識づけを図るとともに、事業者に対する介護報酬の不正請求の防止を図った。

- 2 家族介護支援事業 予算現額 107,000 円（204,000 円）47.5%減
決 算 額 106,250 円（87,818 円）21.0%増

徘徊高齢者家族支援サービス事業 106,250 円
年度末利用者数 5 人

- 3 地域自立生活支援事業 予算現額 11,511,000 円（10,980,000 円）4.8%増
決 算 額 11,402,200 円（10,456,760 円）9.0%増

(1) 一般高齢者配食サービス事業 10,152,600 円

配食数 33,842 食

年度末利用者 182 人

(2) 介護相談員派遣事業 1,249,600 円

介護保険サービス相談員 6 人

介護保険サービス相談員連絡会議 6 回開催

事業所訪問 66 回

- 4 住宅改修支援事業 予算現額 60,000 円（60,000 円）増減無
決 算 額 42,000 円（40,000 円）5.0%増

住宅改修支援事業補助金 21 件

- 5 認知症サポーター養成事業 予算現額 230,000 円（88,000 円）161.4%増
決 算 額 229,010 円（71,010 円）222.5%増

認知症サポーター養成講座 12 回

参加延人数 494 人 令和 6 年度末 7,804 名

オレンジサポーター登録者 264 人（うち新規 42 人）

認知症サポーターステップアップ研修 2 回 参加延人数 54 人

介護保険特別会計（保険事業勘定）

3 款 地域支援事業費
歳出 5 項 その他諸費

1 目 審査支払手数料	高齢介護課	S D G s		
予算現額	239,000 円	決算額の 財源内訳	国庫支出金	51,621 円
決算額	238,139 円		県支出金	28,314 円
(前年度決算額	231,453 円)		その他特財	62,610 円
			一般財源	95,594 円

説 明

1 介護予防・日常生活支援総合事業費審査手数料支払事業

予算現額 239,000 円 (260,000 円) 8.1%減

決 算 額 238,139 円 (231,453 円) 2.9%増

愛知県国民健康保険団体連合会の審査支払事務 6,873 件

介護保険特別会計（保険事業勘定）

4 款 基金積立金
歳出 1 項 基金積立金

1 目 基金積立金	高齢介護課	S D G s		
予算現額	114,650,000 円	決算額の 財源内訳	その他特財	1,538,477 円
決算額	114,650,000 円		一般財源	113,111,523 円
(前年度決算額	128,927,753 円)			

説 明

1 介護給付費準備基金積立事業

予算現額 114,650,000 円 (128,928,000 円) 11.1%減

決 算 額 114,650,000 円 (128,927,753 円) 11.1%減

基金の状況

令和 5 年度末基金残高	406,236,694 円
令和 6 年度積立額	114,650,000 円
令和 6 年度取崩額	67,147,000 円
令和 6 年度末基金残高	453,739,694 円

1 目 介護保険料還付金	高齢介護課	S D G s	
予算現額	2,511,000 円	決算額の	
決算額	2,360,865 円	財源内訳	一般財源 2,360,865 円
(前年度決算額	1,211,811 円)		

説明

- 1 介護保険料還付事業 予算現額 2,511,000 円 (2,000,000 円) 25.6%増
決算額 2,360,865 円 (1,211,811 円) 94.8%増

介護保険料過年度還付金（相続等還付 266 件、年金局返納 16 件）

2 目 償還金	高齢介護課	S D G s	
予算現額	57,405,000 円	決算額の	
決算額	57,403,402 円	財源内訳	一般財源 57,403,402 円
(前年度決算額	43,945,785 円)		

説明

- 1 介護給付費負担金償還事業 予算現額 53,181,000 円 (36,004,000 円) 47.7%増
決算額 53,180,399 円 (36,003,213 円) 47.7%増

- (1) 介護給付費国庫負担金償還事業 44,221,897 円
令和 5 年度精算分
(2) 介護給付費県負担金償還事業 8,958,502 円
令和 5 年度精算分

- 2 地域支援事業費交付金償還事業 予算現額 3,548,000 円 (7,924,000 円) 55.2%減
決算額 3,547,003 円 (7,923,572 円) 55.2%減

- (1) 地域支援事業費国庫交付金償還事業 2,420,838 円
令和 5 年度精算分
(2) 地域支援事業費県交付金償還事業 1,126,165 円
令和 5 年度精算分

- 3 介護保険事業費補助金償還事業 予算現額 676,000 円 (0 円) 皆増
決算額 676,000 円 (0 円) 皆増

令和 6 年度介護保険制度改正に伴うシステム改修費用への国庫補助金。

改修費用の確定に伴う補助金の令和 5 年度精算分 676,000 円

介護保険特別会計（保険事業勘定）

6 款 予備費
 歳出 1 項 予備費

1 目 予備費	高齢介護課	S D G s	
予算現額	0 円	決算額の	
決算額	0 円	財源内訳	
(前年度決算額	0 円)		

説 明

1 予備費

予算現額 0 円（1,000,000 円）100.0%減

決 算 額 0 円（ 0 円） 増減無

1 概要

(1) 制度の目的・概要

ア 訪問看護事業

介護保険法に規定する居宅サービスとして、在宅で療養する要介護・要支援状態にある高齢者に対して主治医が必要と認めた場合に訪問看護指示書を受けて事業を行う。

訪問看護の提供にあたっては、要介護者の心身の特性を踏まえ、日常生活動作の維持、向上を図るとともに、生活の質の確保を重視した在宅療養が継続できるよう支援する。

イ 居宅介護支援事業

介護保険法に規定する居宅介護支援事業所として、要介護状態にある方の自立に向けて、住み慣れた地域で生活をするため、要介護者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう保健・医療・福祉サービスの連携を図り、居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、介護サービス事業所との連絡調整、モニタリング、評価、給付管理等を行う。

(2) 利用状況

ア 訪問看護事業の現況

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
実利用者数	862人	834人	814人
月平均利用者数	72人	70人	68人
延訪問回数	5,701回	5,528回	5,347回
月平均訪問回数	475回	461回	446回
1人平均訪問回数／月	6.5回	6.6回	6.5回
1人平均訪問時間／回	45分	42分	42分

イ 居宅介護支援（ケアプラン作成）事業の要支援・要介護度別利用者の現況

区 分	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和6年度 (%)	0人 (0.0)	113人 (23.5)	126人 (26.3)	144人 (30.0)	59人 (12.3)	38人 (7.9)	480人 (100)
令和5年度 (%)	0人 (0.0)	129人 (25.0)	120人 (23.3)	113人 (21.9)	80人 (15.5)	73人 (14.2)	515人 (100)
令和4年度 (%)	48人 (8.6)	109人 (19.4)	154人 (27.4)	135人 (24.0)	54人 (9.6)	62人 (11.0)	562人 (100)

※月平均利用者：令和6年度40.0人、令和5年度42.9人、令和4年度46.8人

(3) 歳入

歳入決算額は82,909,152円で、前年度対比3.2%の増であった。
増となった理由は、介護保険での利用者の増加によるものである。

(4) 歳出

歳出決算額は53,443,971円で、前年度対比3.9%の増であった。歳出の主なものは人件費で、全体の95.8%を占めている。

1 項 給付費収入	訪問看護 ステーション
予算現額 46,356,000 円 (48,532,000 円) 4.5%減 決算額 47,218,721 円 (46,470,646 円) 1.6%増	

説 明

- 1 目 居宅サービス費収入は、要介護者等に対して行った訪問看護の費用と、届出による緊急時訪問看護加算、特別管理加算、ターミナルケア加算等の費用である。
- 2 目 居宅サービス計画費収入は、指定居宅介護支援事業所のケアマネジャーが利用者及び家族の意向を含めたアセスメント・居宅サービス計画作成・給付管理・モニタリング等、継続的な支援（ケアマネジメント）の費用である。

【内 訳】

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	前年度対比
居宅サービス費収入	41,397,924 円	40,227,286 円	2.9%増
居宅サービス計画費収入	5,820,797 円	6,243,360 円	6.8%減

2 項 自己負担金収入	訪問看護 ステーション
予算現額 5,689,000 円 (5,855,000 円) 2.8%減 決算額 6,710,665 円 (6,603,201 円) 1.6%増	

説 明

介護保険法の規定による訪問看護費用の自己負担 1 ～ 3 割分と、サービス費用の限度額超過分、条例で定める保険対象外サービス費及び交通費、衛生材料等の費用である。

1 項 一般会計繰入金	訪問看護 ステーション
予算現額 6,471,000 円 (0 円) 皆増 決算額 0 円 (0 円) 増減無	

説 明

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）経費不足分に対する一般会計からの繰入金。令和 6 年度は決算において一般会計繰入金を繰入れなくても歳出超過とならなかったため、一般会計からの繰入金が不要となった。

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

歳入 3 款 繰越金

1 項 繰越金	訪問看護 ステーション
予算現額 28,920,000 円 (27,245,000 円) 6.1%増 決算額 28,920,966 円 (27,245,049 円) 6.2%増	

説 明

前年度からの繰越金

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

歳入 4 款 諸収入

1 項 市預金利子	訪問看護 ステーション
予算現額 1,000 円 (1,000 円) 増減無 決算額 30,000 円 (5,000 円) 500.0%増	

説 明

市預金利子

2 項 雑入	訪問看護 ステーション
予算現額 1,000 円 (1,000 円) 増減無 決算額 28,800 円 (45,148 円) 36.2%減	

説 明

個別避難計画作成業務費

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

1 款 総務費
1 項 総務管理費

1 目 一般管理費	訪問看護ステーション	S D G s		
予算現額	84,852,000 円	決算額の	一般財源	53,183,555 円
決算額	53,183,555 円	財源内訳		
(前年度決算額	51,026,629 円)			

説明

1 事務管理事業

予算現額 84,852,000 円 (69,322,000 円) 22.4%増

決 算 額 53,183,555 円 (51,026,629 円) 4.2%増

- (1) 一般職人件費（6 人） 51,217,525 円
 (2) 会計年度任用職員人件費（保険料精算分） 0 円
 (3) 事務管理事業 1,966,030 円

2 款 サービス事業費

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定） 歳出

1 項 居宅介護サービス事業費

1 目 居宅介護サービス事業費	訪問看護ステーション	S D G s		
予算現額	512,000 円	決算額の	一般財源	229,726 円
決算額	229,726 円	財源内訳		
(前年度決算額	393,069 円)			

説明

1 訪問看護運営事業

予算現額 512,000 円 (563,000 円) 9.1%減

決 算 額 229,726 円 (393,069 円) 41.6%減

2 款 サービス事業費

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定） 歳出

2 項 居宅介護支援事業費

1 目 居宅介護支援事業費	訪問看護ステーション	S D G s		
予算現額	74,000 円	決算額の	一般財源	30,690 円
決算額	30,690 円	財源内訳		
(前年度決算額	28,380 円)			

説明

1 居宅介護支援事業

予算現額 74,000 円 (54,000 円) 37.0%増

決 算 額 30,690 円 (28,380 円) 8.1%増

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定） 歳出 3 款 予備費
1 項 予備費

1 目 予備費	訪問看護ステーション	S D G s	
予算現額	2,000,000 円	決算額の	
決算額	0 円	財源内訳	
(前年度決算額)	0 円)		

説 明

1 予備費 予算現額 2,000,000 円 (11,695,000 円) 82.9%減
決 算 額 0 円 (0 円) 増減無

1 概要

(1) 制度概要

平成20年4月1日から「老人保健法」が「高齢者の医療の確保に関する法律」へと全面的に改正され、75歳以上の方及び一定の障害があり申請により認定を受けた65歳以上の方に係る医療については、財政基盤の安定化を図るという考え方から、従来の医療保険制度から独立した後期高齢者医療制度を実施することとなった。なお、運営主体となる保険者は全市区町村が加入する都道府県後期高齢者医療広域連合である。

広域連合では、被保険者の認定、保険料の決定、医療の給付などを行い、市区町村では、被保険者への被保険者証の引渡し、保険料の徴収、被保険者からの各種届出や申請の受付などを行う。

財源は、患者負担を除き、公費（約5割）、現役世代からの支援金（約4割）のほか、被保険者からの保険料（約1割）によって賄うこととなっている。

(2) 被保険者等（令和6年度末）

ア 被保険者の状況

	人数	前年比
被保険者数	9,904 人	233 人増
対人口比率	13.7%	0.3%増

イ 年齢階層別人数

年齢階層	人数	構成比
65～74 歳	282 人	2.8%
75～79 歳	3,664 人	37.0%
80～84 歳	2,966 人	29.9%
85～89 歳	1,780 人	18.0%
90～94 歳	916 人	9.3%
95～99 歳	255 人	2.6%
100 歳～	41 人	0.4%
合 計	9,904 人	100.0%

ウ 医療費の自己負担割合別人数

負担割合	人数	構成比
3 割	959 人	9.7%
2 割	2,237 人	22.6%
1 割	6,708 人	67.7%
合 計	9,904 人	100.0%

(3) 保険料（令和6年度）

ア 保険料率等

所得割	均等割	保険料限度額
11.13% (10.4%) ※1	53,438 円	80 万円 (73 万円) ※2

令和6年度の保険料については、以下の激変緩和措置が設けられています。

※1 令和5年の基礎控除後の総所得金額が58万円以下の方の所得割率は10.4%となります。

※2 令和6年度に新たに75歳になり、後期高齢者医療保険に加入された方を除き、保険料限度額は73万円となります。

イ 調定額及び収納率

区 分		調定額	収入額	収納率
現年度分	特別徴収保険料	563,688,900 円	565,046,600 円	100.2%
	普通徴収保険料	487,755,000 円	485,721,900 円	99.6%
	小 計	1,051,443,900 円	1,050,768,500 円	99.9%
滞納繰越分普通徴収保険料		2,031,480 円	1,123,420 円	55.3%

ウ 軽減の状況

軽減割合		対象者	軽減額
低所得者 に対する 軽減	7 割軽減	3,145 人	113,003,337 円
	5 割軽減	1,293 人	33,628,044 円
	2 割軽減	1,257 人	13,075,854 円
被用者保険の被扶養者に 対する軽減（5 割軽減）		67 人	1,431,675 円
合 計		5,762 人	161,138,910 円

エ 減免の状況

事 由	件数	金額
災害	5 件	106,000 円
収監等	0 件	0 円
事業の休廃止、失業等	0 件	0 円
合 計	5 件	106,000 円

(4) 歳入

歳入決算額は、1,226,350,655 円で前年度対比 15.6% の増であった。そのほとんどは、被保険者から徴収する後期高齢者医療保険料と一般会計からの繰入金である。繰入金のうち保険基盤安定負担金は、低所得者の負担軽減を図るため、軽減額の 3/4 を県、1/4 を市が負担し広域連合へ納付するものである。

(5) 歳出

歳出決算額は、1,224,282,115 円で前年度対比 16.2% の増であった。その内、保険料の徴収に関する費用は 2,873,925 円である。この費用は一般会計から事務費繰入金として繰り入れることとなっており、特別会計では実質負担なしとなる。また、後期高齢者医療広域連合納付金は、1,219,216,890 円で、歳入の後期高齢者医療保険料と保険基盤安定繰入金の全額を広域連合へ納付することとなっている。

後期高齢者医療保険特別会計

歳入

1 款

後期高齢者医療保険料

1 項	後期高齢者医療保険料	国保年金課
予算現額	1,063,534,000 円 (901,530,000 円) 18.0%増	
決算額	1,051,891,920 円 (908,813,020 円) 15.7%増	

説 明

- 1 特別徴収保険料 565,046,600 円
現年度分特別徴収保険料
- 2 普通徴収保険料 486,845,320 円
(1) 現年度分普通徴収保険料 485,721,900 円
(2) 滞納繰越分普通徴収保険料 1,123,420 円

後期高齢者医療保険特別会計

歳入

2 款

繰入金

1 項	一般会計繰入金	国保年金課
予算現額	167,007,000 円 (147,807,000 円) 13.0%増	
決算額	164,012,835 円 (147,657,170 円) 11.1%増	

説 明

- 1 保険基盤安定繰入金 161,138,910 円
低所得者等の保険料軽減分を公費で補填する保険基盤安定制度の県・市負担金。
(県負担 3/4、市負担 1/4)
- 2 事務費繰入金 2,873,925 円
保険料徴収事務に関する経費で、市が負担する。

後期高齢者医療保険特別会計

歳入

3 款

繰越金

1 項	繰越金	国保年金課
予算現額	2,235,000 円 (2,564,000 円) 12.8%減	
決算額	8,017,500 円 (3,114,800 円) 257.4%増	

説 明

繰越金

出納整理期間中に納入された保険料で、次年度に広域連合へ納付する。

1 項 延滞金、加算金及び過料	国保年金課
予算現額 2,000 円 (2,000 円) 増減無 決算額 229,500 円 (177,800 円) 29.1%増	

説 明

1 延滞金 229,500 円
延滞金件数 18 件

2 過料 0 円

2 項 償還金及び還付加算金	国保年金課
予算現額 2,320,000 円 (2,371,000 円) 2.2%減 決算額 2,198,900 円 (1,540,900 円) 42.7%増	

説 明

1 後期高齢者医療保険料還付金 2,197,800 円
過年度保険料を還付金として支出したものについて、広域連合から返還される。
還付金返還件数 167 件

2 後期高齢者医療保険料還付加算金 1,100 円
過年度保険料の還付に係る加算金として支出したものについて、広域連合から返還される。
還付加算金返還件数 1 件

3 項 市預金利子	国保年金課
予算現額 1,000 円 (1,000 円) 増減無 決算額 0 円 (0 円) 増減無	

説 明

市預金利子

4 項 雑入	国保年金課
予算現額 1,000 円 (1,000 円) 増減無 決算額 0 円 (0 円) 増減無	

説 明

雑入

後期高齢者医療保険特別会計

1 款 総務費
歳出 1 項 徴収費

1 目 徴収費	国保年金課	S D G s	
予算現額	3,118,000 円	決算額の	
決算額	2,873,925 円	財源内訳	一般財源 2,873,925 円
(前年度決算額	2,581,194 円)		

説 明

後期高齢者医療保険料徴収事業

予算現額 3,118,000 円 (2,729,000 円) 14.3%増
決 算 額 2,873,925 円 (2,581,194 円) 11.3%増

後期高齢者医療保険料の徴収に要する経費。

後期高齢者医療保険特別会計 歳出 2 款 後期高齢者医療広域連合納付金
1 項 後期高齢者医療広域連合納付金

1 目 後期高齢者医療 広域連合納付金	国保年金課	S D G s	
予算現額	1,229,661,000 円	決算額の	
決算額	1,219,216,890 円	財源内訳	その他特財 1,219,216,890 円
(前年度決算額	1,049,163,296 円)		

説 明

後期高齢者医療広域連合納付金事業

予算現額 1,229,661,000 円 (1,049,175,000 円) 17.2%増
決 算 額 1,219,216,890 円 (1,049,163,296 円) 16.2%増

後期高齢者医療保険料と保険基盤安定繰入金を後期高齢者医療広域連合に支出するための経費。

○現年度分特別徴収保険料負担金	565,842,800 円
○現年度分普通徴収保険料負担金	482,887,660 円
○滞納繰越分普通徴収保険料	1,329,220 円
○令和 6 年 4・5 月出納整理期間納入分 (令和 5 年度過年度精算分支払)	8,018,300 円
○保険基盤安定負担金	161,138,910 円

後期高齢者医療保険特別会計

歳出

3 款
1 項諸支出費
償還金及び還付加算金

1 目 保険料還付金	国保年金課	S D G s		
予算現額	2,261,000 円	決算額の	その他特財	2,190,200 円
決算額	2,190,200 円	財源内訳		
(前年度決算額	1,538,600 円)			

説 明

後期高齢者医療保険料還付事業

予算現額 2,261,000 円 (2,312,000 円) 2.2%減

決 算 額 2,190,200 円 (1,538,600 円) 42.4%増

後期高齢者医療保険料の賦課額の変更等により保険料を還付した場合の還付金 167件

2 目 還付加算金	国保年金課	S D G s		
予算現額	60,000 円	決算額の	その他特財	1,100 円
決算額	1,100 円	財源内訳		
(前年度決算額	3,100 円)			

説 明

後期高齢者医療保険料還付事業

予算現額 60,000 円 (60,000 円) 増減無

決 算 額 1,100 円 (3,100 円) 64.5%減

後期高齢者医療保険料の賦課額の変更等により保険料を還付した場合の還付加算金 1件